２　０　２　４　年　度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部歯学科

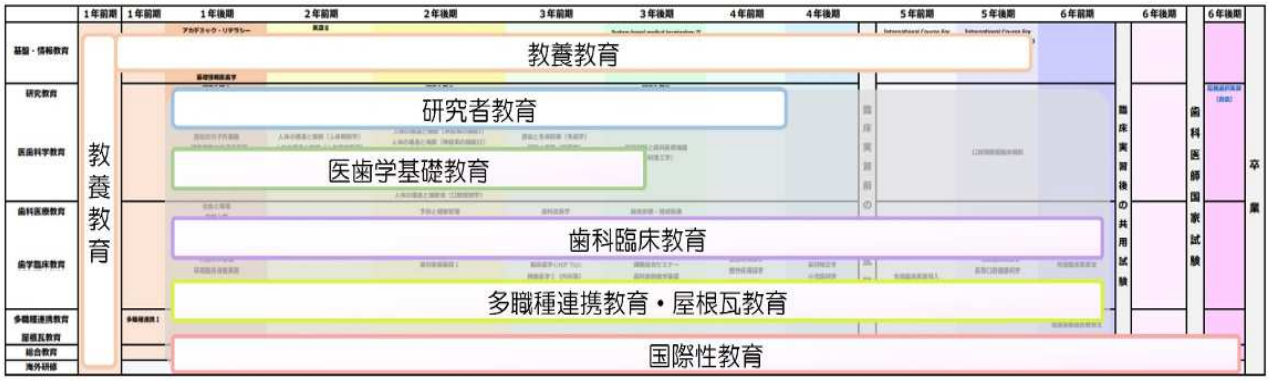
歯学部歯学科における教育の基本的理念

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康の維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。（指導者：歯科界の発展のために、いかなる分野においても牽引力をもって指導的役割を果たすことのできる人材）

一般教育目標

１．　幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
２．　基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
３．　科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
４．　全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識および基本的技術を修得する。
５．　社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

歯学科カリキュラム科目構成図（２０２３年度～）



ディプロマ・ポリシー

歯学部歯学科では、全学共通科目・専門科目の一部を除き多くの科目が必修であり、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、包括臨床実習受講の資格条件としての共用試験の合格、包括臨床実習終了時の臨床能力判定試験の合格とともに、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性
   自然科学、社会科学、人文科学の全学共通科目を履修し、幅広い教養と医療者としての豊かな人間性を涵養している。また、専門科目、関連する医学教育科目の履修を通じて、基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学知識を修得している。
2. 問題提起、解決能力
   全教育課程で修得した知識・技能・態度とともに、研究実習を通じて、科学的探求心をもち、自ら問題を発見し、新たな 課題を解決する力を涵養している。
3. 歯科医師としての基本的資質・能力
   専門科目、関連する医学教育科目、多職種連携科目の履修を通じ、地域、歯科医療現場で多様な場や人をつなぎ活躍できる歯科医師としての基本的資質・能力を修得している。
4. 国際性
   全学共通科目や専門科目を通じて、医歯学英語を修得するとともに、世界の歯科事情、国際貢献等の国際性を涵養している。

本学は、以上の要件を満たした卒業生が、国民の健康の維持・増進のために、使命感を持って歯科医療を実践するとともに、 国際的視野に立って歯科医学・歯科医療の進歩・発展に貢献することを強く望む。

カリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部歯学科の教育理念に基づき、「豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的 な歯科医療を実践し、国民の健康の維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる 指導者を育成する」ことを見据えたディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

- 学生が次の資質を修得することを、カリキュラムの目的とする。
  - 臨床的な視点で研究を実践する Clinician Scientist を志す研究者としての資質
  - 科学的な視点で根拠に基づく歯科医療を実践する Scientific Clinician の資質
  - 日本および国際社会における歯科医療・歯科医学を牽引する指導者としての資質
- カリキュラムは次の方針に従って策定する。
  - 学習成果基盤型とし、最新の歯学教育モデル・コア・カリキュラムの到達目標に加えて、本学独自の到達目標を設定する。
  - 学生の興味、学習準備状況、学習進度に柔軟に対応するため、多様な学習スタイルを想定した授業配置とする。
  - 学生の好奇心、探求心に基づき、自由な発想で自律的に学習する力を養うため、学生主体のアクティブラーニングを全科目で実施する。
  - 連携力・指導力を育成するため、学科横断・学年縦断科目により、学生が共に学び共に教えあう機会を設ける。 研究マインドを涵養するため、研究室に長期間配属する研究実習を実施する。
  - 学習の動機付けと学習内容の統合を支援するため、低学年からの早期臨床体験実習を実施する。

世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供する力を養うため、充実した診療参加型臨床実習を実施する。

下記が実施済であることを実習要件とする (2017年6月27日教育戦略会議にて決定)

・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している

・B型肝炎抗体価が陽性またはnon-responder (計6回ワクチン接種をしても陽性とならない)である

・T スポット®. TB検査を実施済である

・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

＊ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

<4種ワクチン接種>

・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者

・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者

・妊娠していることが明らかな者

・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者

<B型肝炎ワクチン接種>

・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者

・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	四種抗体検査 麻疹/風疹/ 流行性耳下腺炎/水痘 （対象：全員）	学生一般定期健康診断（全員）	1回目				2回目					
			四種ワクチン接種期間 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たない)→1回接種									
2年	B型肝炎抗原抗体検査 （対象：全員）		1回目	2回目					3回目			
			B型肝炎ワクチン接種期間　1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者									
	T スポット®. TB検査 （対象：全員）											
3年	B型肝炎抗原抗体検査 （対象：2年次にB肝ワクチン 1クール目を接種した者）		1回目	2回目					3回目			
			B型肝炎ワクチン接種期間　2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者									
4年	B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)											

B肝肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても抗体価が陰性の場合は、
「non-responder 」となり、それ以上の接種は行わない

ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。

対象学年で、検査やワクチン接種を受け忘れた場合は、保健管理センターへご相談ください。

※看護学専攻及び口腔保健学科は、B型肝炎抗原抗体検査及びワクチン接種を1年から開始

目　次

まえがき
基本的理念
一般教育目標
歯学科ディプロマポリシー
歯学科カリキュラムポリシー
実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について
2024年度歯学部歯学科専門科目授業計画表 1
学生周知事項等 3
歯科医師国家試験について 4
学生周知事項 5
災害関係連絡事項 10
学生・女性支援センター（５号館３階）について 12
保健管理センター（５号館２階）について 13
図書館（M&Dタワー３・４階）について 14
７号館の管理、使用について 16
ロッカーの使用について 17
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項 18
歯学科第１学年 2024年度授業時間割 19
歯学科第２学年 2024年度授業時間割 20
歯学科第３学年 2024年度授業時間割 22
歯学科第４学年 2024年度授業時間割 24
歯学科第５学年 2024年度授業時間割 26
教養科目時間割 32

01多職種連携Ⅰ 38
02歯学入門 42
03早期臨床体験実習 45
04基礎情報医歯学 47
05行動科学基礎 49
06社会と環境 52
07遺伝の分子的基盤 58
08細胞機能の分子的基盤 62
09生命を構成する分子とその代謝 64
10硬組織生化学の分子的基盤 66
11生命の分子的基盤実習 72
12人体の構造と機能（歯の解剖） 74

13研究入門Ⅰ 76
14研究入門Ⅰα 78
15AI・データサイエンスのための数学 79
16医療とAI・ビッグデータ入門 81
17アカデミック・リテラシー 84
18生命科学基礎 87
19英語Ⅱ 89
20 International Course for Clinical Dentistry L1 104
21人体の構造と機能(人体解剖学) 107
22人体の構造と機能(人体解剖実習) 111
23人体の構造と機能(組織学総論) 116
24人体の構造と機能(組織学各論) 119
25人体の構造と機能(人体の発生) 124
26学年混合セミナーⅠ 126
27医療とAI・ビッグデータ応用 130
28人体の構造と機能(神経系の機能Ⅰ) 132
29人体の構造と機能(神経系の機能Ⅱ) 134
30人体の構造と機能(生命維持のための生体機能) 136
31人体の構造と機能(口腔生理) 140
32人体の構造と機能(生理学実習) 143
33人体の構造と機能(口腔組織学) 146
34予防と健康管理 149
35歯科医療基礎Ⅰ 154
36医療統計学・疫学基礎 157
37研究入門Ⅱ 159
38研究入門Ⅱα 160
39自然科学演習 161
40人体の構造と機能 163
41臨床歯学イントロダクション 164
42感染と生体防御 170
43臨床予備実習 184
44病理 193
45予防と健康管理 200
46生体と薬物 211
47歯科放射線基礎 225
48病態科学演習 230
49内科･小児･遺伝疾患 236
50外科系疾患 242

51課題統合セミナー.....253
52学年混合選択セミナー.....274
53歯科生体材料.....295
54研究実習.....303
55歯と根尖歯周組織の疾患.....307
56咬合回復.....332
57臨床体験実習.....357
58歯周病.....362
59咬合育成・発達.....377
60顎口腔医療.....390
61全身と歯科医療.....396
62発展歯科臨床.....407
63臨床情報処理.....423
64包括臨床実習.....431
デンタルエクスターンシップ.....442
長寿口腔健康科学コース.....446

医歯学融合教育・医歯学基盤教育 451
歯学系コンピテンシー 452
医歯学融合教育科目における成績評価判定について 455
生命倫理Ⅰ(3年) 456
臨床統計II(3年) 460
グローバル・コミュニケーションII(3年) 465
生命倫理II(4年) 474
臨床統計III(4年) 478
頭頸部臨床 482
総合診療・地域医療 489
包括医療統合教育 494
規則集 497
東京医科歯科大学学則 498
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則 513
東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 544
東京医科歯科大学試験規則 548
東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規 549
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項 551
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項 552
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 554

2024年度　歯学部歯学科　専門科目授業計画表

第1学年

区分		日数	期間		
前期	入学式	1	2024年4月8日(月)	～	2024年4月8日(月)
	情報システム説明会	1	2024年4月9日(火)	～	2024年4月9日(火)
	歯学部オリエンテーション	1	2024年4月9日(火)	～	2024年4月9日(火)
	新入生健康診断	1	2024年4月10日(水)	～	2024年4月10日(水)
	多職種連携Ⅰ	1	2024年4月16日(火)	～	2024年4月16日(火)
後期	専門科目ガイダンス	1	2024年9月17日(火)	～	2024年9月17日(火)
	後期授業　1	62	2024年9月18日(水)	～	2024年12月17日(火)
	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	冬季休業	12	2024年12月18日(水)	～	2025年1月5日(日)
	後期授業　2	37	2025年1月6日(月)	～	2025年2月28日(金)
	進級判定（予定）	1	2025年3月21日(金)	～	2025年3月21日(金)
	春季休業	20	2025年3月1日(土)	～	2025年3月31日(月)

第2学年

区分		日数	期間		
前期	2学年ガイダンス	1	2024年4月4日(木)	～	2024年4月4日(木)
	前期授業　1	79	2024年4月4日(木)	～	2024年7月29日(月)
	B肝・Tスポット	1	2024年4月18日(木)	～	2024年4月18日(木)
	B肝検査	1	2024年5月14日(火)	～	2024年5月14日(火)
	B肝予防接種	1	2024年6月19日(水)	～	2024年6月19日(水)
	夏季休業	23	2024年7月30日(火)	～	2024年8月30日(金)
	前期授業　2	19	2024年9月2日(月)	～	2024年9月30日(月)
後期	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	後期授業　1	60	2024年10月1日(火)	～	2024年12月25日(水)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	解剖体追悼式				
	冬季休業	6	2024年12月26日(木)	～	2025年1月5日(日)
	後期授業　2	37	2025年1月6日(月)	～	2025年2月28日(金)
	御遺骨返還式				
	進級判定（予定）	1	2025年3月21日(金)	～	2025年3月21日(金)
	春季休業	20	2025年3月1日(土)	～	2025年3月31日(月)

第3学年

区分		日数	期間		
前期	3学年ガイダンス	1	2024年4月1日(月)	～	2024年4月1日(月)
	前期授業　1	84	2024年4月1日(月)	～	2024年7月31日(水)
	TOEFL試験	1	2024年4月10日(水)	～	2024年4月10日(水)
	B肝検査	1	2024年4月18日(木)	～	2024年4月18日(木)
	夏季休業	19	2024年8月1日(木)	～	2024年8月28日(水)
	前期授業　2	21	2024年8月29日(木)	～	2024年9月30日(月)
後期	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	後期授業　1	60	2024年10月1日(火)	～	2024年12月25日(水)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	冬季休業	6	2024年12月26日(木)	～	2025年1月5日(日)
	後期授業　2	37	2025年1月6日(月)	～	2025年2月28日(金)
	進級判定（予定）	1	2025年3月21日(金)	～	2025年3月21日(金)
	春季休業	20	2025年3月1日(土)	～	2025年3月31日(月)

第4学年

区分		日数	期間		
前期	4学年ガイダンス	1	2024年4月1日(月)	～	2024年4月1日(月)
	前期授業　1	84	2024年4月1日(月)	～	2024年7月31日(水)
	夏季休業	16	2024年8月1日(木)	～	2024年8月23日(金)
	前期授業　2	24	2024年8月26日(月)	～	2024年9月30日(月)
後期	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	後期授業　1	62	2024年10月1日(火)	～	2024年12月27日(金)
	研究実習発表会	1	2024年10月4日(金)	～	2024年10月4日(金)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	冬季休業	4	2024年12月28日(土)	～	2025年1月5日(日)
	後期授業　2	37	2025年1月6日(月)	～	2025年2月28日(金)
	進級判定（予定）	1	2025年3月21日(金)	～	2025年3月21日(金)
	春季休業	20	2025年3月1日(土)	～	2025年3月31日(月)

第5学年

区分		日数	期間		
前期	5学年ガイダンス	1	2024年4月1日(月)	～	2024年4月1日(月)
	前期授業　1	57	2024年4月1日(月)	～	2024年6月21日(金)
	共用試験説明会	1	2024年6月3日(月)	～	2024年6月3日(月)
	OSCE本試験	1	2024年7月13日(土)	～	2024年7月13日(土)
	CBT本試験	1	2024年7月23日(火)	～	2024年7月23日(火)
	再試験期間	5	2024年7月25日(木)	～	2024年7月31日(水)
	OSCE追・再試験	1	2024年8月3日(土)	～	2024年8月3日(土)
	CBT追・再試験	1	2024年8月20日(火)	～	2024年8月20日(火)
	登院式	1	2024年9月9日(月)	～	2024年9月9日(月)
	研修	2	2024年9月10日(火)	～	2024年9月11日(水)
	包括臨床実習（PhaseⅠオーバーラップ）	15	2024年9月12日(木)	～	2024年10月4日(金)
後期	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	包括臨床実習（PhaseⅡA）	58	2024年10月7日(月)	～	2024年12月27日(金)
	冬季休業	4	2024年12月28日(土)	～	2025年1月5日(日)
	包括臨床実習（PhaseⅡA）	57	2025年1月6日(月)	～	2025年3月31日(月)

第6学年

区分		日数	期間		
前期	包括臨床実習（PhaseⅡB）	72	2024年4月1日(月)	～	2024年7月12日(金)
	多職種連携Ⅲ	2	2024年6月25日(火)	～	2024年6月26日(水)
	夏季休業	19	2024年7月15日(月)	～	2024年8月9日(金)
	包括臨床実習（PhaseⅡB）	32	2024年8月13日(火)	～	2024年9月27日(金)
	D6終了時技能到達度確認試験（PCC-CX）	1	2024年9月7日(土)	～	2024年9月7日(土)
	D6終了時技能到達度確認試験（PCC-CX)追試験	1	2024年9月18日(水)	～	2024年9月18日(水)
	D6終了時技能到達度確認試験（PCC-CX)再試験	1	2024年9月27日(金)	～	2024年9月27日(金)
	器具の返却・大掃除	2	2024年9月30日(月)	～	2024年10月1日(火)
後期	創立記念行事（予定）	1	2024年10月1日(火)	～	2024年10月1日(火)
	自己研修	59	2024年10月2日(水)	～	2024年12月25日(水)
	大学祭（予定）	2	2024年10月19日(土)		2024年10月20日(日)
	冬季休業	6	2024年12月26日(木)	～	2025年1月5日(日)
	自己研修	19	2025年1月6日(月)	～	2025年2月2日(日)
	包括臨床実習（PhaseⅢ）	23	2025年2月3日(月)		2025年3月7日(金)
	卒業判定（予定）	1	2025年3月21日(金)		2025年3月21日(金)
	卒業式（予定）	1	2025年3月26日(水)		2025年3月26日(水)

学生周知事項等

歯科医師国家試験について

歯科医師になろうとする者は、厚生労働大臣の行う歯科医師国家試験に合格し、歯科医師の免許を受けなければならない。

歯科医師国家試験は臨床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して歯科医師として具有すべき知識及び技能について毎年厚生労働大臣が行う。

〔受験資格及び受験手続について〕

（受　験　資　格）　歯科医師国家試験は、次の号のいずれかに該当する者でなければ、これを受けることができない。

（1）学校教育法に基づく大学において、歯学の正規の課程を修めて卒業した者

（2）歯科医師国家試験予備試験に合格した者で、合格した後 1 年以上の診療及び口腔衛生に関する実地修練を経たもの。

（3）外国の歯科医学校を卒業し、又は外国で歯科医師免許を得た者であって、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有し、かつ、適当と認定したもの。

（提出書類）

ア．受験願書

イ．写真

ウ．受験手数料（収入印紙）　受験しようとする者は、上記に掲げられた書類を提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべてWebClass や電子メール(Webメール)を通して連絡する。見落としがないよう十分注意すると共に、1 日に 1 度はWebClassおよびメールを確認して不利益を被らないように心がけること。

2. 学生証について

（1）学生証は常に携帯すること。

（2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1 号館西 1 階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500 円）は学生本人の負担とする。

（3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

（1）課外活動または帰省等で JR 線を利用し、乗車区間が片道 100km を超える場合、旅客運賃の割引（2 割）を受けることができる。

（2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。

（3）年間使用限度枚数は 1 人 10 枚（1 回につき 2 枚まで）

（4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）に問い合わせること。

（5）学割証が必要なときは 5 号館 4 階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。

利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00

問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学教務係および証明書自動発行機にて発行する。

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html

（1）次に掲げるものは、歯学教務係（D棟南 2 階）で発行するので歯学部証明書交付願を提出すること（受付時間 8：30～17：15）

（原則として交付願を受理した日から 1 週間程度要する。）

①成績証明書

②英文の在学証明書

（２）次に掲げるものは、5 号館 4 階談話室にある自動発行機で発行する。

（利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00）

（問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

① 在学証明書

②卒業見込証明書（第 6 学年在学者のみ）

（３）次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、WebClassから様式をダウンロードのうえ歯学教務係へ手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

（1）授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を所定のFormsから提出すること。

なお欠席により追試験を希望する場合は、本試験終了後原則として 5 日以内に欠席届・追試験願・診断書を提出すること。

なお追試験願に関しても所定のFormsから提出すること。

（2）休学

病気その他の事由により、引き続き 3ヶ月以上休学する場合は、WebClassより様式をダウンロードのうえ休学願（保証人連署） を歯学教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお休学を許可される期間は、通算して 2 年以内となる。

※病気を理由に休学した場合は、必ず医師の診断書を添付すること。

※特別の事情があるときは、さらに1 年以内の休学が許可されることがある。

（3）復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、WebClassより様式をダウンロードのうえ復学願（保証人連署）を歯学教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

※病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨が記載された医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。

（4）退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、WebClassより様式をダウンロードのうえ退学願（保証人連署）を歯学教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

(5) 他大学受験

他大学受験を希望するものは、他大学等の受験月の**２ヶ月前までに歯学教務係へ他大学受験希望の旨を連絡すること。その後「他大学等入学志願許可申請書」を作成し歯学教務係へ提出すること。**

なお、他大学等入学志願許可申請書の提出をもって、教育委員長等と面談をおこなう。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同病院では必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。

問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（1）講義室、実習室、ロッカー室：歯学教務係（D棟南 2 階：内線 5411）
学部防災センター（D棟北 1 階）

（2）上記（1）以外：歯学部総務課（D棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は ５月中に、後期分授業料は １１月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

（１）平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

（２）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

１）聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館

２）正門⇔1 号館、2 号館、7 号館

3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

（３）白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

（４）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

（５）白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

15. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

（１）当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。

（２）上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めたときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。

１）当該機器の電源を強制的に OFF にする。

２）当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。

３）当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

16.カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、<u>万が一、学生証を忘れた場合、歯学教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。</u>

17.学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にds@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、1日1回は必ずチェックしておくこと。

18.その他

（1）クラブ、サークル等宛の郵便物等は、5号館4階談話室内にあるメールボックスにて保管しているので、責任者は適宜確認すること。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

（2）事務の窓口

教 務 事 務：歯学教務係（D棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5077）

奨学金： http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html

授業料免除：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html

災害関係連絡事項

1.　台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

・夜間（午後6 時以降）の授業を休講、夜間（午後6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

・夜間（午後6 時以降）の授業を休講、夜間（午後6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後4 時までに公示する。

2.　授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3.　大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学教務係（D棟南 2 階）03－5803－5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト　→　学内専用教職員学生向け情報　→　危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

4.　安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム（https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/）にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値はID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

（学内専用サイト　→　教職員学生向け情報サイト　→　危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

学生支援・保健機構について
学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5 号館 3 階

・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00（個別相談 10:30～16:00（ご予約ください））

・個別相談時間：事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP：本学トップページ>教育・研究>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。	e-mail：scenter.stc@tmd.ac.jp **個別相談に応じています**	上記＞学生支援室/障害学生支援室＞専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/stdc/)
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。		
ダイバーシティ・インクルージョン室（DI 室）	・妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。 ・病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。 ・今後の進路や生き方に関する支援及びその相談。 ・研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。 ・授乳・搾乳室の設置。 ・マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。	e-mail：info.ang@tmd.ac.jp **個別相談に応じています**	上記＞ダイバーシティ・インクルージョン室＞専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/ang/)

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

〇組織と業務

<table>
<tr><th>名称</th><th>場所</th><th>連絡先</th><th>業務内容</th></tr>
<tr><td>保健管理センター</td><td>湯島　5 号館 2 階</td><td>03-5803-5081</td><td rowspan="2">1. 健康相談
2. メンタルヘルス相談
3. 健康診断
4. 健康診断証明書の発行
5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など）
6. 各種抗体検査・ワクチン接種</td></tr>
<tr><td>保健管理センター分室</td><td>国府台　シャン・ドゥ・コーズリー1 階</td><td>047-300-7108</td></tr>
</table>

〇保健管理センターの利用について

1）メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。

2）月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。（以下は当面休止とさせていただきます。）その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">開室時間</td><td>湯島地区</td><td>８時４５分～１７時００分</td></tr>
<tr><td>国府台地区</td><td>９時４５分～１６時１５分
（木曜日のみ１５時４５分）</td></tr>
</table>

保健管理センターホームページ：https://www.tmd.ac.jp/hsc/

〇感染症等の対応について

コロナ感染症および学校感染症等の対応については下記ホームページよりご確認ください。

コロナ感染症の対応：https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/

学校感染症の対応：https://www.tmd.ac.jp/hsc/74_58d0b094c4e5e/

図書館について

１．場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

２．利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
休館日		年末年始

３．利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間について図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限日内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
  開館時：カウンターに返却してください。
  閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
  出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金でお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚　10 円　カラー1 枚　30 円
- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設

置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。
3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
（注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

４．問い合わせ先：内線　5596　　e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: https://www01s.ufinity.jp/tmdu_lib/

部屋の管理・使用について

1. 講義室・実習室の目的外使用について

●講義室および実習室は、原則として授業以外の使用は許可しない。

2. 講義室・実習室の管理について

- 講義室・実習室等でホワイトボードに連絡事項を書いたときは学生自身が消すこと。
- 講義室・実習室等においては、弁当・紙くず等は散らさないように必ずゴミ箱に捨てること。
- 参考書・ノート等の私物は講義室・実習室の中に放置しないこと。
  ※放置された私物は予告なく処分することがある。
- 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- 講義室・実習室等に学生が勝手に掲示物の貼付をすることは禁ずる。
- 講義室・実習室等においては、下駄履きは禁ずる。

3. その他

- 白衣を着たまま大学外を出ることを禁ずる。
- 病院内の通行に際しては、特に患者さんに配慮すること。
- 病院内の患者待合場所での休憩は差し控えること。

ロッカーの使用について

1. ロッカーの使用目的

- 学生ロッカーは、講義・演習・実習に関するものの保管に使用すること。

2. ロッカーの管理

- ロッカーは常に清潔に保ち、周囲の環境に配慮すること。
- 貴重品、飲食物、危険物、異臭のするもの、及び異臭の原因となるものは保管しないこと。
- ロッカーの暗証番号は、自己責任で厳重に管理すること。
- 暗証番号を失念した場合は、速やかに歯学教務係に報告し、指示に従うこと。

3. 使用期間

- 本学に在籍している期間のみ、ロッカーを使用することができる。
- 卒業、退学、休学等により在籍資格を失った場合は、速やかにロッカーを退去し、歯学教務係に返却すること。

4. ロッカー内及び室内の物品撤去

- 歯学教務係からロッカー内及び室内の撤去が通知された場合は、期限までにロッカー内及び室内の物品を撤去し、歯学教務係に返却すること。
- 撤去期限までにロッカー内及び室内の物品を撤去しない場合、物品はすべて廃棄される。

5. その他

- 歯学教務係は、ロッカー内の物品の盗難、紛失、破損、撤去等について一切責任を負わないため自己管理を徹底すること。

2022年12月21日

歯学科学生　各位

歯学部長
歯学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験・CBT）時の注意事項

歯学科専門科目ユニット試験（筆記試験・CBT）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1．ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。

私物を置く場所について
・学生証；机上に必ず置くこと（本人確認のため）
・スマートフォン/腕時計（スマートウォッチ等）；
電源をOFFにして、机上（監督者の指示でカバンに入れさせることもある）
・テイッシュペーパー：机上（監督者が確認して袋から出すこともある）
・その他のもの：カバンの中（カバンが無い場合は監督者が預かる）
・引き出し･天板下は、使用不可とする（カバンは床または隣の席に置く）

机上には原則、筆記用具と学生証、電源OFFにしたスマートフォン／腕時計（スマートウォッチ等）以外は置かないこと。教科書や参考書、ノートやプリント、小型パソコンなどの電子機器を机上または天板下（机下の棚）に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。

2．CBT実施に関係のないアプリケーションの利用、デバイス（USB等）の利用が認められた場合は、不正行為とみなす。

3．遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。原則試験時間の延長は認めないが、本人の責によらない理由により試験を受験した場合は、監督者の判断により延長を認めることができる。一旦試験を受験した場合は、当該科目の追試験を申請することはできない。

4．トイレ等の申し出がある場合は挙手をし、監督者の指示に従うこと。

5．ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。

6．持ち帰りが認められていない試験において、故意・過失にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。
（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ　別表懲戒の標準より抜粋）

（１）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（２）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（３）答案を交換した場合	停学
（４）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

歯学部　歯学科 1年		33W	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
2024年度		週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
04/16	火	第1週		多職種連携Ⅰ　【鈴木章夫記念講堂】										
04/29	月		昭和の日											
05/03	金		憲法記念日											
05/06	月		振替休日											
05/07	火	第2週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/08	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/14	火	第3週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/15	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/21	火	第4週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/22	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/28	火	第5週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/29	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/04	火	第6週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/05	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/11	火	第7週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/12	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/18	火	第8週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/19	水												疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/25	火												生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/26	水	第9週											疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/27	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/01	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/02	火	第10週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/03	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/04	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/08	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/09	火	第11週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/10	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/11	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/15	月		海の日											
07/22	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/23	火	第12週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/24	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/25	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/29	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/30	火	第13週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/31	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
08/12	月		振替休日											
09/16	月		敬老の日											
09/17	火												生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
09/18	水	第14週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
09/19	木			アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/20	金					研究入門Ⅰ　【その他】		研究入門Ⅰ　【その他】						
09/23	月		振替休日											
09/24	火			早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
09/25	水	第15週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
09/26	木			アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/27	金							研究入門Ⅰ　【その他】						
09/30	月			早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	早期臨床体験実習　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】			
10/01	火			遺伝の分子的基盤　【特別講堂】				人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
10/02	水	第16週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
10/03	木					AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	研究入門Ⅰ　【その他】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/04	金			アカデミック・リテラシー　【】		遺伝の分子的基盤　【共用講義室2】							疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/07	月				歯学入門　【遠隔授業（同期型）】	歯学入門　【遠隔授業（同期型）】	歯学入門　【遠隔授業（同期型）】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】			
10/08	火			細胞機能の分子的基盤　【特別講堂】				人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
10/09	水	第17週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
10/10	木			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/11	金			遺伝の分子的基盤　【遠隔授業（非同期型）】		歯学入門　【遠隔授業（非同期型）】							疫学応用　【情報検索室1】	
10/14	月		スポーツの日											
10/15	火							早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
10/16	水	第18週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
10/17	木					医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/18	金			細胞機能の分子的基盤　【遠隔授業（非同期型）】									疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/21	月			細胞機能の分子的基盤　【遠隔授業（非同期型）】				早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】		疫学応用　【情報検索室1】	
10/22	火				歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
10/23	水	第19週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
10/24	木			アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/25	金			細胞機能の分子的基盤　【遠隔授業（非同期型）】				生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】					疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/28	月			生命を構成する分子とその代謝　【特別講堂】					生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】				疫学応用　【情報検索室1】	
10/29	火	第20週			歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】		生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】					
10/31	木			アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
11/01	金			生命を構成する分子とその代謝　【特別講堂】				基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】		疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
11/04	月		振替休日											
11/05	火				歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】	歯学入門　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】		生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
11/06	水	第21週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
11/07	木			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】						臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
11/08	金								生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】				疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
11/11	月			生命を構成する分子とその代謝　【特別講堂】					生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】					
11/12	火					行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】			生命の分子的基盤実習　【歯学部基礎実習室】				生物統計学応用Ⅱ　【アクティブラーニング教室】	
11/14	木	第22週		アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	生命科学基礎　【】						
11/15	金			生命を構成する分子とその代謝　【特別講堂】										
11/18	月			硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】			
11/19	火					行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】		早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】			
11/20	水	第23週											生物統計学応用Ⅰ　【アクティブラーニング教室】	
11/21	木			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	生命科学基礎　【】						
11/22	金			硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】			
11/25	月			硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】			
11/26	火			硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】		行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】						
11/28	木	第24週		アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	生命科学基礎　【】						
11/29	金			硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】	硬組織生化学の分子的基盤　【特別講堂】		基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】					
12/02	月			歯学入門　【特別講堂】						早期臨床体験実習　【特別講堂】	早期臨床体験実習　【特別講堂】			
12/03	火			基礎情報医歯学　【】	基礎情報医歯学　【】	硬組織生化学の分子的基盤　【歯学部演習室】	硬組織生化学の分子的基盤　【歯学部演習室】							
12/05	木	第25週		AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	生命科学基礎　【】						
12/06	金			遺伝の分子的基盤　【特別講堂】		細胞機能の分子的基盤　【歯学科第4講義室】		細胞機能の分子的基盤　【情報検索室】						
12/09	月	第26週		人体の構造と機能（歯の解剖）　【】	人体の構造と機能（歯の解剖）　【】									
12/12	木			アカデミック・リテラシー　【】	アカデミック・リテラシー　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】							
12/19	木	第27週		AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】							
01/01	水		元日											
01/06	月			社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	行動科学基礎　【遠隔授業（非同期型）】						
01/07	火	第28週		行動科学基礎　【遠隔授業（非同期型）】		行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】		生命科学基礎　【特別講堂】						
01/09	木					医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】							
01/10	金			行動科学基礎　【歯学科第4講義室】				生命科学基礎　【特別講堂】						
01/13	月		成人の日											
01/14	火			行動科学基礎　【遠隔授業（非同期型）】		行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】		生命科学基礎　【特別講堂】						
01/15	水	第29週		AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】						
01/16	木			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】						
01/17	金			社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】			生命科学基礎　【歯学部演習室】					
01/20	月			社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（非同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】						
01/21	火	第30週		行動科学基礎　【遠隔授業（非同期型）】		行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】		行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】						
01/22	水			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】							
01/23	木			AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】	医療とAI・ビッグデータ入門　【】							
01/27	月			社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】							
01/28	火	第31週		社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	行動科学基礎　【遠隔授業（同期型）】		行動科学基礎　【遠隔授業（非同期型）】				
01/30	木					AI・データサイエンスのための数学　【】	AI・データサイエンスのための数学　【】							
01/31	金			社会と環境　【遠隔授業（同期型）】	社会と環境　【遠隔授業（同期型）】									
02/03	月			社会と環境　【特別講堂】	社会と環境　【特別講堂】	社会と環境　【特別講堂】	社会と環境　【特別講堂】	社会と環境　【特別講堂】						
02/04	火	第32週		行動科学基礎　【歯学科第4講義室】										
02/05	水			社会と環境　【特別講堂】										
02/11	火	第33週	建国記念の日											
02/12	水						生命を構成する分子とその代謝　【歯学部演習室】							

歯学部　歯学科　2年		41W	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
2024年度		週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
04/03	水	第1週						英語II: Academic Reading　【未定】							
04/04	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】					学年混合セミナーＩ【特別講堂】	学年混合セミナーＩ【特別講堂】				
04/08	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】									
04/09	火							人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/10	水	第2週						英語II: Academic Reading　【未定】							
04/11	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】						学年混合セミナーＩ【遠隔授業（非同期型）】	学年混合セミナーＩ【遠隔授業（非同期型）】				
04/12	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/15	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】									
04/16	火							人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/17	水	第3週						英語II: Academic Reading　【未定】							
04/18	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】						学年混合セミナーＩ【特別講堂】	学年混合セミナーＩ【特別講堂】				
04/19	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/22	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】									
04/23	火		人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/24	水	第4週						英語II: Academic Reading　【未定】							
04/25	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】				学年混合セミナーＩ【特別講堂】	学年混合セミナーＩ【特別講堂】				
04/26	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
04/29	月								昭和の日						
04/30	火	第5週	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】										
05/01	水							英語II: Conversation I（前期）【遠隔授業（同期型）】							
05/03	金								憲法記念日						
05/06	月								振替休日						
05/07	火		人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】								生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/08	水	第6週						英語II: Academic Reading　【未定】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/09	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】									
05/10	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】										
05/13	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】									
05/14	火							人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】		生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/15	水	第7週						英語II: Academic Reading　【未定】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/16	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】									
05/17	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
05/20	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】									
05/21	火		人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】		生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/22	水	第8週						英語II: Academic Reading　【未定】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/23	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】											
05/24	金		人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【特別講堂】			人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				
05/28	火		人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学総論）【特別講堂】								生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/29	水	第9週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
05/30	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】									
06/04	火		人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】								生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/05	水	第10週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/06	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）【】											
06/11	火	第11週	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【4階学生実習室】								生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/12	水							英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/18	火												生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/19	水	第12週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/20	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】									
06/24	月		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
06/25	火		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		生物統計学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/26	水	第13週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎【アクティブラーニング教室】		
06/27	木												臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
06/28	金		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/01	月		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/02	火		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/03	水	第14週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/04	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】							臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/05	金		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/08	月		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/09	火		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/10	水	第15週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/11	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】							臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/12	金		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/15	月								海の日						
07/16	火		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/17	水	第16週						英語II: Conversation II（前期）【遠隔授業（同期型）】							
07/18	木				医療とAI・ビッグデータ応用【】	医療とAI・ビッグデータ応用【】									
07/19	金		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/22	月		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/23	火		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/24	水	第17週											口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/25	木												臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/26	金		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】				
07/29	月		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】	人体の構造と機能（人体解剖実習）【】		口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/30	火	第18週											臨床試験方法論基礎【遠隔授業（同期型）】		
07/31	水												口腔疫学基礎【遠隔授業（同期型）】		
08/12	月								振替休日						
09/02	月		人体の構造と機能（人体解剖学）【】	人体の構造と機能（人体解剖学）【】				人体の構造と機能（神経系の機能II）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【歯学部演習室】						
09/03	火	第19週	人体の構造と機能（神経系の機能II）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（神経系の機能II）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学総論）【歯学部演習室】									
09/04	水											International Course For Clinical Dentistry L1【遠隔授業（非同期型）】			
09/09	月			International Course For Clinical Dentistry L1【遠隔授業（非同期型）】											
09/11	水	第20週											International Course For Clinical Dentistry L1　【遠隔授業（同期型）】		
09/12	木			International Course For Clinical Dentistry L1【遠隔授業（非同期型）】											
09/16	月								敬老の日						
09/17	火												生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
09/18	水	第21週						英語II: Academic Reading【未定】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
09/19	木												臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
09/20	金			International Course For Clinical Dentistry L1【遠隔授業（非同期型）】											
09/23	月								振替休日						
09/24	火	第22週											生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
09/25	水							英語II: Global Connections【遠隔授業（同期型）】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
09/26	木			International Course For Clinical Dentistry L1【遠隔授業（非同期型）】									臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
10/01	火							予防と健康管理　【歯学部演習室】					生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
10/02	水	第23週		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			英語II: Global Connections【遠隔授業（同期型）】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
10/03	木		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】			臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
10/04	金		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】								疫学応用　【遠隔授業（同期型）】		
10/07	月		人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】			歯科医療基礎Ｉ　【遠隔授業（同期型）】							
10/08	火		人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】			予防と健康管理　【歯学部演習室】					生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
10/09	水	第24週						英語II: Academic Reading　【未定】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
10/10	木		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】			臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
10/11	金							人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】		疫学応用　【情報検索室1】		
10/14	月								スポーツの日						
10/15	火		自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】		自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】		生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
10/16	水	第25週	予防と健康管理　【歯学部演習室】					英語II: Academic Reading　【未定】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
10/17	木		人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】			歯科医療基礎Ｉ　【科目責任者へ要確認】					臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
10/18	金		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】			人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】				疫学応用　【遠隔授業（同期型）】		
10/21	月		予防と健康管理　【歯学部演習室】					歯科医療基礎Ｉ　【科目責任者へ要確認】					疫学応用　【情報検索室1】		
10/22	火		自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】		自然科学演習　【】	自然科学演習　【】	自然科学演習　【】			生物統計学応用II【アクティブラーニング教室】		
10/23	水	第26週	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】			英語 II Conversation I（後期）【遠隔授業（同期型）】					生物統計学応用I【アクティブラーニング教室】		
10/24	木		歯科医療基礎Ｉ　【科目責任者へ要確認】										臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
10/25	金		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】								疫学応用　【遠隔授業（同期型）】		
10/28	月		人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】			人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】				疫学応用　【情報検索室1】		
10/29	火		人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】										
10/30	水	第27週						英語II: Academic Reading　【未定】							
10/31	木		歯科医療基礎Ｉ　【科目責任者へ要確認】					人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】			臨床試験方法論応用【遠隔授業（同期型）】		
11/01	金		人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生命維持のための各種機能）【遠隔授業（非同期型）】								疫学応用　【遠隔授業（同期型）】		

11/04	月						振替休日				
11/05	火		人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			生物統計学応用II 【アクティブラーニング教室】
11/06	水	第28週	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】		英語II Conversation I（後期）【遠隔授業（同期型）】				生物統計学応用I 【アクティブラーニング教室】
11/07	木		歯科医療基礎I 【科目責任者へ要確認】				人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（口腔生理）【遠隔授業（非同期型）】		臨床試験方法論応用 【遠隔授業（同期型）】
11/08	金		人体の構造と機能（生体維持のための生体機能）【特別講堂】	人体の構造と機能（生体維持のための生体機能）【特別講堂】	人体の構造と機能（生体維持のための生体機能）【特別講堂】						疫学応用 【遠隔授業（同期型）】
11/11	月		人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】		人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（非同期型）】	人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（非同期型）】		
11/12	火	第29週	人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				生物統計学応用II 【アクティブラーニング教室】
11/13	水		予防と健康管理 【特別講堂】				英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】			英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】	
11/14	木		歯科医療基礎I 【科目責任者へ要確認】	歯科医療基礎I 【科目責任者へ要確認】			人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
11/18	月		人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】		
11/19	火		人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
11/20	水	第30週	予防と健康管理 【特別講堂】				英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】			英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】	
11/21	木		歯科医療基礎I 【科目責任者へ要確認】								
11/22	金			医療統計学・疫学基礎 【遠隔授業（同期型）】							
11/25	月		人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【歯学部演習室】		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
11/26	火		人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
11/27	水	第31週	予防と健康管理 【特別講堂】				英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】			英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】	
11/28	木		歯科医療基礎I 【科目責任者へ要確認】				人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（組織学各論）【4階学生実習室】		
11/29	金			医療統計学・疫学基礎 【遠隔授業（同期型）】							
12/02	月		人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】		歯科医療基礎I 【遠隔授業（同期型）】				
12/03	火		自然科学演習 【】	自然科学演習 【】			予防と健康管理 【歯学部演習室】				
12/04	水	第32週	予防と健康管理 【特別講堂】				英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】			英語II Conversation II（後期）【遠隔授業（同期型）】	
12/05	木		人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】						
12/06	金			医療統計学・疫学基礎 【遠隔授業（同期型）】			人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（同期型）】	人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（同期型）】	人体の構造と機能（生理学実習）【遠隔授業（同期型）】		
12/09	月		人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】	人体の構造と機能（組織学各論）【特別講堂】		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
12/10	火	第33週	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】	人体の構造と機能（生理学実習）【歯学部基礎実習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
12/11	水		予防と健康管理 【特別講堂】								
12/13	金			医療統計学・疫学基礎 【遠隔授業（同期型）】							
12/16	月						人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
12/17	火						予防と健康管理 【歯学部演習室】				
12/18	水	第34週			予防と健康管理 【特別講堂】						
12/19	木			人体の構造と機能（口腔生理）【特別講堂】							
12/20	金			医療統計学・疫学基礎 【遠隔授業（同期型）】							
01/01	水						元日				
01/06	月		食生活と健康 【遠隔授業（非同期型）】				人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
01/07	火	第35週	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
01/09	木			医歯学基盤教育（生命倫理I）【】			人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
01/13	月						成人の日				
01/14	火	第36週	人体の構造と機能（口腔組織学）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【歯学部演習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【歯学部演習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
01/16	木		医歯学基盤教育（生命倫理I）【】	医歯学基盤教育（生命倫理I）【】							
01/17	金		食生活と健康 【遠隔授業（非同期型）】		社会と環境 【】						
01/20	月		環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	人体の構造と機能（口腔組織学）【歯学部演習室】	食生活と健康 【遠隔授業（非同期型）】		人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
01/21	火	第37週	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】	人体の構造と機能（口腔組織学）【4階学生実習室】		予防と健康管理 【歯学部演習室】				
01/23	木		医歯学基盤教育（生命倫理I）【】	医歯学基盤教育（生命倫理I）【】							
01/27	月		社会と環境 【】	人体の構造と機能（口腔組織学）【歯学部演習室】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】			
01/28	火	第38週	社会と環境 【】			環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	予防と健康管理 【歯学部演習室】				
01/30	木		医歯学基盤教育（生命倫理I）【】	医歯学基盤教育（生命倫理I）【】							
01/31	金		環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】							
02/03	月		環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	環境･社会と健康 【遠隔授業（同期型）】	社会と環境 【特別講堂】	人体の構造と機能（人体の発生）【】	人体の構造と機能（人体の発生）【】		
02/04	火	第39週					予防と健康管理 【歯学部演習室】				
02/05	水		ライフスタイルと健康 【特別講堂】								
02/10	月	第40週	人体の構造と機能（口腔組織学）【特別講堂】	人体の構造と機能（口腔組織学）【特別講堂】	人体の構造と機能（口腔組織学）【特別講堂】						
02/11	火						建国記念の日				
02/18	火	第41週					予防と健康管理 【特別講堂】				

歯学部　歯学科　3年		41W	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
2024年度		週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
04/01	月	第1週			臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】		臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】				
04/03	水			臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】				臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【遠隔授業（同期型）】			
04/04	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】				臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】		各診療科における診療の補助I　【遠隔授業（同期型）】			
04/05	金			臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】				口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】						
04/08	月	第2週		歯型彫刻　【３F示説室】				歯型彫刻　【３F示説室】						
04/09	火			歯型彫刻　【３F示説室】					感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（非同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】			
04/10	水							臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】					
04/11	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】				臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	選択コース1-B：自分らしいキャリアを創るには ー男女で考えるキャリアデザイン①ー　【遠隔授業（同期型）】	病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】			
04/12	金			臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】				歯型彫刻　【３F示説室】					
04/15	月	第3週		臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】		臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】	臨床歯学イントロダクション　【遠隔授業（同期型）】					
04/16	火			病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】				口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】						
04/17	水			歯型彫刻　【３F示説室】				歯型彫刻　【３F示説室】						
04/18	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】						選択コース1-B：自分らしいキャリアを創るには ー男女で考えるキャリアデザイン①ー　【遠隔授業（同期型）】				
04/19	金			病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】				感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】				
04/22	月	第4週		感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（同期型）】			各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】					
04/23	火			口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【遠隔授業（同期型）】						病理学総論　【特別講堂】				
04/24	水			感染と免疫概論　【遠隔授業（非同期型）】	感染と免疫概論　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】		口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】						
04/25	木							薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（同期型）】		選択コース１－A：海外留学と海外協力　【その他（歯学科）】				
04/26	金			病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】		薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】		薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】				
04/29	月	第5週						昭和の日						
04/30	火			病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】		病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】						
05/01	水			口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】				病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】						
05/02	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】				病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	選択コース１－A：海外留学と海外協力　【その他（歯学科）】				
05/03	金							憲法記念日						
05/06	月	第6週						振替休日						
05/07	火			病理学総論　【特別講堂】				病理学総論　【特別講堂】					生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/08	水			病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】		口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/09	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】				病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	選択コース1-B：自分らしいキャリアを創るには ー男女で考えるキャリアデザイン①ー　【遠隔授業（同期型）】				
05/10	金				感染と免疫概論　【特別講堂】			歯型彫刻　【３F示説室】						
05/13	月	第7週		口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】				病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】				
05/14	火			各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】					口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【歯学部演習室】				生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/15	水			病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性細菌と感染症　【遠隔授業（非同期型）】		薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/16	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】				薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】	薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】	[illegible]				
05/17	金			病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】		歯型彫刻　【３F示説室】						
05/20	月	第8週				病原性細菌と感染症　【特別講堂】		病原性ウイルスと感染症　【5階学生実習室】						
05/21	火			各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】				病原性ウイルスと感染症　【5階学生実習室】					生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/22	水			病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】				口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/23	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】				神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【遠隔授業（非同期型）】		選択コース2ア：歯科医学教育の「いろは」を学ぼう！　【遠隔授業（同期型）】				
05/27	月	第9週		口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】					病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】					
05/28	火			病理学総論　【4階学生実習室】				歯型彫刻　【３F示説室】					生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/29	水			口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】				病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】		神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【遠隔授業（非同期型）】			疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/30	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】				薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（同期型）】	薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（同期型）】	選択コース2ア：歯科医学教育の「いろは」を学ぼう！　【遠隔授業（同期型）】				
05/31	金			病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】										
06/03	月	第10週						神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【歯学部演習室】						
06/04	火			病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】				病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	バイオインフォマティックス概論　【】	バイオインフォマティックス概論　【】	病理学総論　【4階学生実習室】		生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/05	水			口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【遠隔授業（同期型）】				病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】			疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/06	木			医歯学基盤教育（生命倫理Ｉ）　【】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】	病原性ウイルスと感染症　【遠隔授業（非同期型）】		病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】		[illegible]				
06/07	金			口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【遠隔授業（同期型）】				病理学総論　【遠隔授業（非同期型）】						
06/10	月	第11週		口腔疾患の予防Ⅱ(実習)　【歯学部演習室】					神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【遠隔授業（同期型）】					
06/11	火			各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】					病理学総論　【特別講堂】				生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/12	水			生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】	生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】	生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】		歯科医療と社会　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/13	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】				バイオインフォマティックス概論　【】	バイオインフォマティックス概論　【】	[illegible]				
06/14	金			口腔病理学　【特別講堂】				口腔病理学　【特別講堂】						
06/17	月	第12週		口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】					口腔疾患の予防Ｉ（講義）　【特別講堂】		病原性ウイルスと感染症　【特別講堂】			
06/18	火			各診療科における診療の補助I　【科目責任者へ要確認】				生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】	生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】	生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】			生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/19	水			口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】				各診療科における診療の補助I　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/20	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】				薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】	薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】	薬理学概説（薬理I）　【遠隔授業（非同期型）】				
06/21	金			口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】				感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理III）　【遠隔授業（非同期型）】						
06/24	月	第13週		口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】				神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【遠隔授業（同期型）】						
06/25	火			口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】					生体免疫応答　【歯学部基礎実習室】				生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/26	水			歯科医療と社会　【遠隔授業（同期型）】				口腔病理学　【4階学生実習室】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/27	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】					生体免疫応答　【歯学部基礎実習室】	生体免疫応答　【歯学部基礎実習室】	生体免疫応答　【歯学部基礎実習室】		臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
06/28	金			薬理学概説（薬理I）　【情報検索室1】		バイオインフォマティックス概論　【】		口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】						
07/01	月	第14週		神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理II）　【遠隔授業（同期型）】				歯科医療と社会　【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/02	火			口腔病理学　【遠隔授業（非同期型）】				[illegible]	感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理III）　【遠隔授業（非同期型）】				臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/03	水				生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】			生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/04	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】					薬物と生体反応の実際（薬理IV）　【歯学部基礎実習室】				臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/05	金			[illegible]	[illegible]	[illegible]			薬物と生体反応の実際（薬理IV）　【歯学部基礎実習室】					
07/08	月	第15週		[illegible]	[illegible]	[illegible]		感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理III）　【遠隔授業（非同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/09	火			口腔病理学　【特別講堂】				口腔病理学　【4階学生実習室】					臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/10	水			口腔病理学　【4階学生実習室】				英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/11	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】						口腔病理学　【特別講堂】			臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/12	金			生体免疫応答　【遠隔授業（同期型）】					放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】					
07/15	月	第16週						海の日						
07/16	火			放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】	放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】	放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】		歯科医療と社会　【遠隔授業（同期型）】						
07/17	水				生体免疫応答　【特別講堂】			歯科法医学　【】	歯科法医学　【】	歯科法医学　【】				
07/18	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】					薬物と生体反応の実際（薬理IV）　【歯学部基礎実習室】					
07/19	金							歯科法医学　【】	薬物と生体反応の実際（薬理IV）　【歯学部基礎実習室】					
07/22	月	第17週		歯科医療と社会　【遠隔授業（同期型）】				歯科法医学　【】	歯科法医学　【】	歯科法医学　【】			口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/23	火			放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】									臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/24	水			歯科法医学　【】	歯科法医学　【】	歯科法医学　【】			薬物と生体反応の実際（薬理IV）　【歯学部基礎実習室】				口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/25	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】				歯科法医学　【】	歯科法医学　【】				臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/26	金			放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】					放射線の性質と画像検査の基本　【特別講堂】					
07/29	月	第18週		放射線の性質と画像検査の基本　【特別講堂】					放射線の性質と画像検査の基本　【遠隔授業（非同期型）】				口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/30	火			外科総論　【】	外科総論　【】	外科総論　【】			歯科医療と社会　【特別講堂】	歯科法医学　【特別講堂】	[illegible]		臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/31	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
08/12	月							振替休日						
08/29	木	第19週		医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】								
08/30	金							脳神経疾患　【】	脳神経疾患　【】	脳神経疾患　【】				
09/02	月	第20週		脳神経疾患　【】				消化器系・乳腺疾患　【】	消化器系・乳腺疾患　【】					
09/03	火				消化器系・乳腺疾患　【】	消化器系・乳腺疾患　【】		腎・泌尿器系疾患　【】	腎・泌尿器系疾患　【】	外科総論　【】				
09/04	水			循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	消化器系・乳腺疾患　【】	消化器系・乳腺疾患　【】		循環器・呼吸器系疾患　【】	循環器・呼吸器系疾患　【】	外科総論　【】				
09/05	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】		外科総論　【】	外科総論　【】					
09/06	金			循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】		循環器・呼吸器系疾患　【】	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	外科総論　【】				
09/09	月	第21週		外科総論　【】	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】		循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】					
09/10	火			放射線の性質と画像検査の基本　実習　【特別講堂】				循環器・呼吸器系疾患　【】	循環器・呼吸器系疾患　【】					
09/11	水							血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】					
09/12	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】					外科総論　【】				
09/13	金			放射線の性質と画像検査の基本　実習　【特別講堂】										
09/16	月	第22週						敬老の日						
09/17	火			放射線の性質と画像検査の基本　実習　【特別講堂】					血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】			生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
09/18	水			消化器系・乳腺疾患　【】	消化器系・乳腺疾患　【】			英語ⅡConversation I（後期）　【遠隔授業（同期型）】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
09/19	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】			小児疾患　【】	小児疾患　【】	小児疾患　【】			臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/20	金			放射線の性質と画像検査の基本　実習　【特別講堂】				小児疾患　【】	小児疾患　【】					
09/23	月	第23週						振替休日						
09/24	火			血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】				放射線の性質と画像検査の基本　実習　【特別講堂】				生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
09/25	水			小児疾患　【】	小児疾患　【】	小児疾患　【】		腎・泌尿器系疾患　【】	腎・泌尿器系疾患　【】				生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
09/26	木			医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションII）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅱ）　【遠隔授業（同期型）】				循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患　【】			臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/27	金				血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患　【】			遺伝病　【】	遺伝病　【】	遺伝病　【】				
09/30	月			小児疾患　【】	小児疾患　【】	放射線の性質と画像検査の基本　【歯学部演習室】		遺伝病　【】	遺伝病　【】					

| | | |

歯学部　歯学科　4年		38W	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
2024年度		週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
04/01	月			歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】				歯科材料の科学　【歯学部基礎実習室】						
04/02	火			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
04/03	水	第1週		歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】				英語II: Academic Reading　【未定】						
04/04	木							歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】		歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】				
04/05	金			全部床義歯補綴　【補綴実習室】							歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】			
04/08	月			全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】		全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】		全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】	全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】		歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】			
04/09	火			全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】	全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】			歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】	全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】					
04/10	水	第2週		全部床義歯補綴　【補綴実習室】				歯科材料の成形技術と臨床　【歯学部基礎実習室】						
04/11	木			医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】				歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】		選択コース1-F：自分らしいキャリアを創るには ー男女で考えるキャリアデザイン①ー　【遠隔授業（同期型）】				
04/12	金			歯の硬組織疾患とその対応　概論　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患とその対応　概論　【遠隔授業（同期型）】			歯科材料の科学　【遠隔授業（非同期型）】						
04/15	月			歯科材料の成形技術と臨床　【歯学部基礎実習室】				保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】						
04/16	火			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				歯科材料の科学　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】			
04/17	水	第3週		歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】			歯科材料の成形技術と臨床　【】						
04/18	木			医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】					選択コース1-F：自分らしいキャリアを創るには ー男女で考えるキャリアデザイン①ー　【遠隔授業（同期型）】				
04/19	金			歯の硬組織疾患とその対応　概論　【遠隔授業（同期型）】					全部床義歯補綴　【補綴実習室】					
04/22	月			歯科材料の成形技術と臨床　【遠隔授業（非同期型）】				保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】						
04/23	火			歯科材料の成形技術と臨床　【】					全部床義歯補綴　【補綴実習室】					
04/24	水	第4週		全部床義歯補綴　【補綴実習室】				英語II: Academic Reading　【未定】						
04/25	木			医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】		歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】		選択コース1-C：明るい開業の道しるべ　【遠隔授業（同期型）】				
04/26	金			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				歯科材料の成形技術と臨床　【歯学部基礎実習室】						
04/29	月		**昭和の日**											
04/30	火			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				歯科材料の成形技術と臨床　【補綴実習室】						
05/01	水	第5週		研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】		全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
05/02	木			医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】	医歯学基盤教育（臨床統計Ⅲ）　【遠隔授業（同期型）】		歯科材料の成形技術と臨床　【遠隔授業（非同期型）】		選択コース1-A：海外留学と海外協力　【その他（歯学科）】				
05/03	金		**憲法記念日**											
05/06	月		**振替休日**											
05/07	火			保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】					全部床義歯補綴　【補綴実習室】				生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/08	水	第6週		保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】				保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/09	木							歯科材料の成形技術と臨床　【遠隔授業（非同期型）】		選択コース1-A：海外留学と海外協力　【その他（歯学科）】				
05/10	金			研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】	歯科材料の成形技術と臨床　【歯学部基礎実習室】		全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】						
05/13	月			保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
05/14	火			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】					生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/15	水	第7週		全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/16	木			保存修復治療の基礎　【補綴実習室】						選択コース2-E：キャリアupのためのコミュニケーション 男女で考えるキャリアデザイン②　【遠隔授業（同期型）】				
05/17	金			保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】				保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】						
05/20	月			保存修復治療の基礎　【保存矯正実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
05/21	火			保存修復治療の展開　【補綴実習室】				保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】					生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/22	水	第8週		全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/23	木			保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】				保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】		選択コース2-A：歯科医師の進路　【遠隔授業（非同期型）】				
05/24	金			研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】	研究実習　【歯学部基礎実習室】		歯の硬組織疾患　【保存矯正実習室】						
05/28	火												生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/29	水	第9週						英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
05/30	木									選択コース2-E：キャリアupのためのコミュニケーション 男女で考えるキャリアデザイン②　【遠隔授業（同期型）】				
06/04	火												生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/05	水	第10週						英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/06	木									選択コース2-E：キャリアupのためのコミュニケーション 男女で考えるキャリアデザイン②　【遠隔授業（同期型）】				
06/11	火												生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/12	水	第11週						英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/13	木									選択コース2-F：歯科医学教育の「いろは」を学ぼう！　【遠隔授業（同期型）】				
06/18	火	第12週											生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/19	水							英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/25	火												生物統計学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/26	水	第13週						英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					疫学基礎　【アクティブラーニング教室】	
06/27	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/01	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/02	火	第14週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/03	水							英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/04	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/08	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/09	火	第15週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/10	水							英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】					口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/11	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/15	月	第16週	**海の日**											
07/17	水							英語II: Conversation II（前期）　【遠隔授業（同期型）】						
07/22	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/23	火	第17週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/24	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/25	木												臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/29	月												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/30	火	第18週											臨床試験方法論基礎　【遠隔授業（同期型）】	
07/31	水												口腔疫学基礎　【遠隔授業（同期型）】	
08/12	月		**振替休日**											
08/26	月			歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】								
08/27	火			全部床義歯補綴　【遠隔授業（同期型）】				全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】	全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】	全部床義歯補綴　【遠隔授業（非同期型）】				
08/28	水	第19週		歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】			部分床義歯補綴　【特別講堂】					
08/29	木			歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】	歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】			部分床義歯補綴　【特別講堂】					
08/30	金			クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】										
09/02	月			全部床義歯補綴　【３F示説室】				全部床義歯補綴　【３F示説室】						
09/03	火			歯の硬組織疾患　【遠隔授業（同期型）】										
09/04	水	第20週		全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【３F示説室】						
09/05	木			保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】		保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】		保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】	保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】	保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】				
09/06	金			臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】	保存修復治療の最新の臨床　【歯学科第3講義室】					
09/09	月			全部床義歯補綴　【３F示説室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
09/10	火			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
09/11	水	第21週		クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】				全部床義歯補綴　【補綴実習室】						
09/12	木			全部床義歯補綴　【補綴実習室】				保存修復治療の最新の臨床　【歯学科第3講義室】		保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】				
09/13	金			臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		部分床義歯補綴　【補綴実習室】						
09/16	月		**敬老の日**											
09/17	火			クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】					クラウンブリッジ　【補綴実習室】				生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
09/18	水	第22週		全部床義歯補綴　【特別講堂】				英語II Conversation I（後期）　【遠隔授業（同期型）】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
09/19	木			歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（同期型）】	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（非同期型）】	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（非同期型）】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】				臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/20	金			保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】				保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】						
09/23	月		**振替休日**											
09/24	火			歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（同期型）】	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（非同期型）】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
09/25	水	第23週		保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】				歯内治療実習　【保存矯正実習室】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
09/26	木			保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】		保存修復治療の最新の臨床　【遠隔授業（同期型）】		クラウンブリッジ　【その他】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
09/27	金			臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】						
09/30	月			歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（同期型）】	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（非同期型）】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】						
10/01	火			クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】				歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
10/02	水	第24週		クラウンブリッジ　【その他】				歯内治療実習　【保存矯正実習室】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
10/03	木			歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（同期型）】	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【遠隔授業（非同期型）】			クラウンブリッジ　【補綴実習室】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/04	金			研究実習　【歯学部演習室】	研究実習　【歯学部演習室】	研究実習　【歯学部演習室】		研究実習　【歯学部演習室】	研究実習　【歯学部演習室】	研究実習　【歯学部演習室】			疫学応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/07	月			歯内治療の展開　【遠隔授業（同期型）】	歯内治療の展開　【遠隔授業（非同期型）】	歯内治療の展開　【遠隔授業（非同期型）】			歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】					
10/08	火			保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】				保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
10/09	水	第25週		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する　【歯学部基礎実習室】	歯内治療実習　【保存矯正実習室】				生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	
10/10	木			保存修復治療の最新の臨床　【保存矯正実習室】				保存修復治療の展開　【保存矯正実習室】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】	
10/11	金			臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		歯内治療実習　【保存矯正実習室】					疫学応用　【情報検索室1】	
10/14	月		**スポーツの日**											
10/15	火			歯内治療の展開　【遠隔授業（同期型）】		歯内治療の展開　【遠隔授業（非同期型）】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】				生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】	
10/16	水	第26週		歯内治療の展開　【遠隔授業（同期型）】	歯内治療の展開　【遠隔授業（非同期型）】			部分床義歯補綴　【補綴実習室】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】	

10/17	木					クラウンブリッジ　【補綴実習室】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】
10/18	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】					疫学応用　【遠隔授業（同期型）】
10/21	月					歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】		疫学応用　【情報検索室1】
10/22	火					クラウンブリッジ　【補綴実習室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】
10/23	水	第27週	歯内治療の展開　【遠隔授業（同期型）】			クラウンブリッジ　【補綴実習室】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】
10/24	木		部分床義歯補綴　【特別講堂】			部分床義歯補綴　【特別講堂】					臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】
10/25	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	歯内治療実習　【保存矯正実習室】					疫学応用　【遠隔授業（同期型）】
10/28	月		歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】				部分床義歯補綴　【特別講堂】				疫学応用　【情報検索室1】
10/29	火		部分床義歯補綴　【補綴実習室】				クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
10/30	水	第28週	部分床義歯補綴　【補綴実習室】			部分床義歯補綴　【補綴実習室】					
10/31	木		歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯内治療実習　【保存矯正実習室】				臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】
11/01	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	部分床義歯補綴　【補綴実習室】					疫学応用　【遠隔授業（同期型）】
11/04	月					**振替休日**					
11/05	火		歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】			クラウンブリッジ　【補綴実習室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】
11/06	水	第29週	クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】			英語II: Academic Reading　【未定】					生物統計学応用I　【アクティブラーニング教室】
11/07	木			歯内治療の展開　【遠隔授業（同期型）】	歯内治療の展開　【歯学科第3講義室】		歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】		臨床試験方法論応用　【遠隔授業（同期型）】
11/08	金		歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】						疫学応用　【遠隔授業（同期型）】
11/11	月		部分床義歯補綴　【特別講堂】				部分床義歯補綴　【補綴実習室】				
11/12	火		部分床義歯補綴　【特別講堂】			クラウンブリッジ　【補綴実習室】					生物統計学応用II　【アクティブラーニング教室】
11/13	水	第30週	歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】				英語II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】	
11/14	木		歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】			歯内治療実習　【保存矯正実習室】					
11/15	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】					
11/18	月					歯内治療実習　【保存矯正実習室】					
11/19	火					歯内治療の展開　【歯学部基礎実習室】	歯内治療実習　【保存矯正実習室】				
11/20	水	第31週	クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】			英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】				英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】	
11/21	木		歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病基礎編　【歯学部基礎実習室】	歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】				
11/22	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】			
11/25	月		歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】					
11/26	火		部分床義歯補綴　【特別講堂】				部分床義歯補綴　【補綴実習室】				
11/27	水	第32週	クラウンブリッジ　【補綴実習室】			英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】			インプラント補綴　【】	英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】	
11/28	木		歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】				部分床義歯補綴　【特別講堂】				
11/29	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】		
12/02	月		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】		部分床義歯補綴　【CAD/CAM演習室】				
12/03	火		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】		部分床義歯補綴　【CAD/CAM演習室】				
12/04	水	第33週				英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】				英語 II Conversation II（後期）　【遠隔授業（同期型）】	
12/05	木		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				部分床義歯補綴　【遠隔授業（同期型）】				
12/06	金		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				研究実習　【特別講堂】	研究実習　【特別講堂】	研究実習　【特別講堂】		
12/09	月		クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】				歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】			
12/10	火		部分床義歯補綴　【補綴実習室】			部分床義歯補綴　【補綴実習室】					
12/11	水	第34週	クラウンブリッジ　【補綴実習室】			歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】			
12/12	木		部分床義歯補綴　【補綴実習室】			部分床義歯補綴　【補綴実習室】					
12/13	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】						
12/16	月		クラウンブリッジ　【遠隔授業（同期型）】				歯周病・歯周治療実習　【５F示説室】				
12/17	火						クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
12/18	水	第35週	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	部分床義歯補綴　【補綴実習室】					
12/19	木		部分床義歯補綴　【補綴実習室】			部分床義歯補綴　【補綴実習室】					
12/20	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】			
12/23	月		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】	咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
12/24	火						インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】		
12/25	水	第36週	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
12/26	木		クラウンブリッジ　【補綴実習室】			咬合回復統合　【歯学科第3講義室】					
12/27	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】	歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】				
01/01	水					**元日**					
01/06	月		部分床義歯補綴　【補綴実習室】			歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】			歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】		
01/07	火		部分床義歯補綴　【補綴実習室】				クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
01/08	水	第37週	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	歯周病臨床編　【歯学部基礎実習室】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】	インプラント補綴　【】		
01/09	木		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】		咬合回復統合　【遠隔授業（同期型）】		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
01/10	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】		クラウンブリッジ　【補綴実習室】				
01/13	月					**成人の日**					
01/14	火	第38週	咬合回復統合　【補綴実習室】								
01/15	水		歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】	歯周病のトピックス　【歯学部基礎実習室】							
01/17	金		臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】	臨床体験実習　【】						

2024年度授業カレンダー

D1-D2				1講 8:50-9:35	1講 9:45-10:30	2講 10:45-11:30	2講 11:40-12:25		昼休憩 12：25-13：30	3講 13:30-14:15	3講 14:25-15:10	4講 15:25-16:10	4講 16:20-17:05	5講 17:15-18:00
D3-D5				1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年												
4月1日	月	D5		**D5ガイダンス(中止)**	障害と歯科医療 （遠隔）	障害と歯科医療 （遠隔）			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）
4月2日	火	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）			小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	
4月3日	水	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）			ことばの世界（遠隔）	ことばの世界（遠隔）	ことばの世界（遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）
4月4日	木	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）								
4月5日	金	D5		小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）			歯科と色 （遠隔）	歯科と色 （遠隔）		有病高齢者の歯科治療 （遠隔）	有病高齢者の歯科治療 （遠隔）	有病高齢者の歯科治療 （遠隔）
4月8日	月	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	有病高齢者の歯科治療 （遠隔）	有病高齢者の歯科治療 （遠隔）	有病高齢者の歯科治療 （遠隔）
4月9日	火	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（D/OE合同）（5階実習室）			小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	
4月10日	水	D5		歯学科TOEFL ITP試験（特別講堂）希望者のみ	歯学科TOEFL ITP試験（特別講堂）希望者のみ	歯学科TOEFL ITP試験（特別講堂）希望者のみ			小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	障害と歯科医療 講義（遠隔）	
4月11日	木	D5		ことばの世界（遠隔）	ことばの世界（遠隔）	ことばの世界（遠隔）			歯科と色 （遠隔）	歯科と色 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	歯科医療と麻酔 （演習室1-4）		
4月12日	金	D5		小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（歯学部特別講堂）		
4月15日	月	D5		歯科と色 （遠隔）	歯科と色 （遠隔）	オクルージョン（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（演習室1-4）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	
4月16日	火	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）			歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療　（演習室1-4）		
4月17日	水	D5		小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）	小児の成長発育と咬合育成　講義（遠隔）			小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）		**ことばの世界　試験（演習室1-4）**	**有病高齢者の歯科治療試験（演習室1-4）**
4月18日	木	D5		歯科医療と麻酔 （演習室1-4）	歯科での局所麻酔 （遠隔）	歯科での局所麻酔 （遠隔）			歯科での局所麻酔 （遠隔）	歯科での局所麻酔 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	オクルージョン（遠隔）	歯科材料の科学(遠隔)	歯科材料の科学(遠隔)
4月19日	金	D5		小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成実習（5階実習室）			小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）			
4月22日	月	D5		小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成実習（5階実習室）			**歯科矯正・顎顔面矯正の治療　（演習室1-4）**	歯科矯正・顎顔面矯正の治療　（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（演習室1-4）	**障害と歯科医療（遠隔）**	障害と歯科医療 （遠隔）	
4月23日	火	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断（5階実習室）			歯科医療と麻酔（演習室1-4）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	
4月24日	水	D5		小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成実習（5階実習室）			小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）	小児の成長発育と咬合育成　実習（5階実習室）			
4月25日	木	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療(5階実習室)	歯科矯正・顎顔面矯正の治療(5階実習室)			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）			
4月26日	金	D5		顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）			
4月30日	火	D5		歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔 （演習室1-4）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の**治療**　（演習室1-4）		
5月1日	水	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11）			
5月2日	木	D5		歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11・基礎実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11・基礎実習室）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（5階実習室・演習室1-11・基礎実習室）			歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）			
5月7日	火	D5		**歯科と色　試験（演習室1-4）**	**障害と歯科医療　試験（演習室1-4）**	**歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断 試験（演習室1-4）**			歯科医療と麻酔（演習室1-4）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）			
5月8日	水	D5		歯科医療と救急（遠隔）	歯科医療と救急（遠隔）	歯科医療と救急（遠隔）			口腔顔面痛（演習室1-4）	口腔顔面痛（演習室1-4）	オクルージョン（遠隔）	オクルージョン（遠隔）		
5月9日	木	D5		歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）	歯科医療と麻酔（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	
5月10日	金	D5		歯科医療と救急（遠隔）	歯科医療と救急（遠隔）	歯科医療と救急（遠隔）			歯科での局所麻酔 （歯学部特別講堂）	歯科での局所麻酔 （歯学部特別講堂）	歯科での局所麻酔 （歯学部特別講堂）	歯科での局所麻酔 （遠隔）	歯科での局所麻酔 （遠隔）	
5月13日	月	D5		歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）	歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）	歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）			歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）	歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）	歯科医療と麻酔・歯科医療と救急医療・歯科での局所麻酔　実習（歯病7F歯科麻酔外来）			
5月14日	火	D5		顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）			臨床歯科放射線治療 （遠隔）	臨床歯科放射線治療 （遠隔）				
5月15日	水	D5		**歯科医療と麻酔　試験（演習室1-4）**	**歯科医療と救急　試験（演習室1-4）**	**歯科での局所麻酔　試験（演習室1-4）**				顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）		
5月16日	木	D5		**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**			こころの病と歯科臨床 （遠隔）	こころの病と歯科臨床 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	
5月17日	金	D5		全人的総合診断（遠隔）	全人的総合診断（遠隔）	全人的総合診断（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）				
5月20日	月	D5		口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（演習室1-4）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）		
5月21日	火	D5		オクルージョン（遠隔）	オクルージョン（遠隔）				口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）			
5月22日	水	D5		口腔顔面痛（遠隔）	臨床歯科放射線診断（遠隔）	臨床歯科放射線診断（遠隔）			顎機能障害（遠隔）	顎機能障害（遠隔）	臨床歯科放射線治療 （遠隔）	臨床歯科放射線治療 （遠隔）		
5月23日	木	D5		全人的総合診断（遠隔）	全人的総合診断（遠隔）	全人的総合診断（遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	臨床歯科放射線診断 （遠隔）	
5月24日	金	D5		全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）			顔面・顎口腔疾患 対面（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患 対面（演習室1-4）				
5月27日	月	D5		顎機能障害（遠隔）	顎機能障害（遠隔）	顎機能障害（遠隔）				全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）		
5月28日	火	D5		顎機能障害（遠隔）	顎機能障害（遠隔）	顎機能障害（遠隔）				**全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）**	**全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）**	**全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）**		
5月29日	水	D5		顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）			全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）	全人的総合診断　実習（3階実習室・演習室1-4）			
5月30日	木	D5		**小児の成長発育と咬合育成 試験（演習室1-4）**	**顎機能障害　試験（演習室1-4）**	**オクルージョン　試験（演習室1-4）**			臨床歯科放射線治療（1号館特別講堂）	臨床歯科放射線治療（1号館特別講堂）	学年混合選択セミナー （遠隔）	スポーツ歯科臨床（遠隔）	スポーツ歯科臨床（遠隔）	
5月31日	金	D5		顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）			歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	歯科矯正・顎顔面矯正の治療（遠隔）	口腔顔面痛（遠隔）		
6月3日	月	D5		顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）			顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）			
6月4日	火	D5		口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）	口唇口蓋裂（遠隔）			スポーツ歯科臨床（遠隔）	スポーツ歯科臨床（遠隔）	スポーツ歯科臨床（遠隔）	スポーツ歯科臨床（遠隔）		
6月5日	水	D5		**咀嚼と嚥下のバイオロジー（遠隔）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（遠隔）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（遠隔）**			ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	口腔顔面痛（演習室1-4）	口腔顔面痛（演習室1-4）	
6月6日	木	D5		根拠に基づく歯科医療 （遠隔）	根拠に基づく歯科医療 （遠隔）	根拠に基づく歯科医療（遠隔）			顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	顔面・顎口腔疾患 （遠隔）	学年混合選択セミナー （遠隔）	こころの病と歯科臨床 （遠隔）	こころの病と歯科臨床 （遠隔）	
6月7日	金	D5		こころの病と歯科臨床（演習室1-4）	こころの病と歯科臨床（演習室1-4）	こころの病と歯科臨床（演習室1-4）			ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	口腔顔面痛（歯学部特別講堂）	口腔顔面痛（遠隔）	
6月10日	月	D5		**スポーツ歯科臨床　試験（歯学部特別講堂）**	**全人的総合診断　試験（歯学部特別講堂）**	**口腔顔面痛　試験（歯学部特別講堂）**			**放射線診断　試験（演習室1-4）**	**放射線治療　試験（演習室1-4）**	**歯科矯正・顎顔面矯正の治療　試験（演習室1-4）**	**16：00共用試験説明会（演習室1-4）**	**16：00共用試験説明会（演習室1-4）**	
6月11日	火	D5		ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）			**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**	**咀嚼と嚥下のバイオロジー（演習室1-4）**	**16：00共用試験説明会（情報検索室）**	**共用試験説明会（情報検索室）**	
6月12日	水	D5		ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）			ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）			

2024年度授業カレンダー

D3-D5				1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年												
6月13日	木	D5		こころの病と歯科臨床（演習室1-4）	こころの病と歯科臨床（演習室1-4）	こころの病と歯科臨床（演習室1-4）					学年混合選択セミナー（遠隔）			
6月14日	金	D5		顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）	顔面・顎口腔疾患　実習（演習室1-4）				ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）	ケーススタディ（遠隔）		
6月17日	月	D5		こころの病と歯科臨床（遠隔）	こころの病と歯科臨床（遠隔）	こころの病と歯科臨床（遠隔）			顔面・顎口腔疾患（遠隔）	顔面・顎口腔疾患（遠隔）	顔面・顎口腔疾患（遠隔）	顔面・顎口腔疾患（遠隔）		
6月18日	火	D5		顔面・顎口腔疾患（遠隔）	顔面・顎口腔疾患（遠隔）	顔面・顎口腔疾患（遠隔）			根拠に基づく歯科医療（遠隔）	根拠に基づく歯科医療（遠隔）	根拠に基づく歯科医療（遠隔）			
6月19日	水	D5		歯科診療文書（遠隔）	歯科診療文書（遠隔）	歯科診療文書（遠隔）			歯科医療情報システム（遠隔）	歯科医療情報システム（遠隔）	歯科医療情報システム（遠隔）			
6月20日	木	D5		**咀嚼と嚥下のバイオロジー試験（演習室1-4）**		**こころの病と歯科臨床　試験（演習室1-4）**			**顔面・顎口腔疾患　試験（演習室1-4）**	**顔面・顎口腔疾患　試験（演習室1-4）**	**顔面・顎口腔疾患　試験（演習室1-4）**	**臨床情報処理 試験（演習室1-4）**		
6月21日	金	D5												
6月24日	月	D5												
6月25日	火	D5												
6月26日	水	D5												
6月27日	木	D5												
6月28日	金	D5												
7月1日	月	D5												
7月2日	火	D5												
7月3日	水	D5												
7月4日	木	D5												
7月5日	金	D5												
7月6日	土	D5												
7月8日	月	D5												
7月9日	火	D5												
7月10日	水	D5												
7月11日	木	D5												
7月12日	金	D5												
7月13日	土	D5		**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	**OSCE本試験**	
7月16日	火	D5												
7月17日	水	D5												
7月18日	木	D5												
7月19日	金	D5												
7月22日	月	D5												
7月23日	火	D5		**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	**CBT本試験（情報検索室）**	
7月24日	水	D5												
7月25日	木	D5		再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	
7月26日	金	D5		再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	
7月29日	月	D5		再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	
7月30日	火	D5		再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	
7月31日	水	D5		再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	再試験期間	
8月1日	木	D5		オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	
8月2日	金	D5		オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	オープンキャンパス	
8月3日	土	D5		**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	**OSCE追再試験**	
8月5日	月	D5												
8月6日	火	D5												
8月7日	水	D5												
8月8日	木	D5												
8月9日	金	D5												
8月13日	火	D5												
8月14日	水	D5												
8月15日	木	D5												
8月16日	金	D5												
8月19日	月	D5												
8月20日	火	D5		**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	**CBT追再試験（情報検索室）**	
8月21日	水	D5												

2024年度授業カレンダー

D3-D5				1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年												
8月22日	木	D5												
8月23日	金	D5												
8月26日	月	D5												
8月27日	火	D5												
8月28日	水	D5												
8月29日	木	D5												
8月30日	金	D5												
9月2日	月	D5												
9月3日	火	D5												
9月4日	水	D5												
9月5日	木	D5												
9月6日	金	D5												
9月9日	月	D5		登院式 （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	Phase1オリエンテーション （特別講堂）	
9月10日	火	D5		患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	患者対応接遇セミナー （演習室1-4）	
9月11日	水	D5		教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	教員合同研修 （演習室1-11）	
9月12日	木	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月13日	金	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月17日	火	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月18日	水	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月19日	木	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月20日	金	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月24日	火	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月25日	水	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）
9月26日	木	D5		頭頸部臨床解剖 （非同期）	頭頸部臨床解剖 （D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖 （D棟4階歯学部特別講堂）			頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）		
9月27日	金	D5		頭頸部臨床解剖（非同期）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）			頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）		
9月30日	月	D5		包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ （オーバーラップ）

2024年度授業カレンダー

D1-D2			1講 8:50-9:35	1講 9:45-10:30	2講 10:45-11:30	2講 11:40-12:25		昼休憩 12：25-13：30	3講 13:30-14:15	3講 14:25-15:10	4講 15:25-16:10	4講 16:20-17:05	5講 17:15-18:00
D3-D5			1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年											
10月1日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）
10月2日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）	包括臨床実習PhaseⅠ（オーバーラップ）
10月3日	木	D5	頭頸部臨床解剖（非同期）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）			頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）		
10月4日	金	D5	頭頸部臨床解剖（非同期）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）	頭頸部臨床解剖（D棟4階歯学部特別講堂）			頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）	頭頸部臨床解剖（解剖実習室）		
10月7日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）
10月8日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）	包括臨床実習PhaseⅡオリエンテーション（特別講堂）
10月9日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月10日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月11日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
10月15日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月16日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月17日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月18日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
10月21日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月22日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月23日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月24日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月25日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
10月28日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月29日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月30日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
10月31日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月1日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
11月5日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月6日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月7日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月8日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
11月11日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）		包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月12日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月13日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月14日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月15日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
11月18日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月19日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月20日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月21日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月22日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
11月25日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース
11月26日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月27日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月28日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
11月29日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
12月2日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月3日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月4日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月5日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月6日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		

2024年度授業カレンダー

D3-D5			1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年											
12月9日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月10日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月11日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月12日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月13日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
12月16日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月17日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月18日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月19日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月20日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
12月23日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月24日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月25日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月26日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
12月27日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
1月6日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月7日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月8日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月9日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月10日	金	D5											
1月13日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月14日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月15日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月16日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月17日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
1月20日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月21日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月22日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月23日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月24日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
1月27日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月28日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月29日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月30日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
1月31日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース	長寿口腔健康科学コース		
2月3日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月4日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月5日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月6日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月7日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
2月10日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月11日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月12日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月13日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月14日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
2月17日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月18日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）

2024年度授業カレンダー

D3-D5			1限 9:00-9:50 （教養連携は8:50-）	2限 10:00-10:50	3限 11:00-11:50 （教養連携、D5は-12:00）		昼休憩 11：50-12：50	4限 12:50-13:40	5限 13:50-14:40	6限 14:50-15:40 （教養連携は-16:00、D5は-16：30）	7限 15:50-16:40	8限 16：50-17：40	9限 17：50-18：40
2024年		学年											
2月19日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月20日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月21日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
2月24日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月25日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月26日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月27日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
2月28日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
3月3日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月4日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月5日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月6日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月7日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
3月10日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月11日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月12日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月13日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月14日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
3月17日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月18日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月19日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月20日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月21日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー
3月24日	月	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月25日	火	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月26日	水	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月27日	木	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）
3月28日	金	D5	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	包括臨床実習PhaseⅡ（A）	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー	臨床セミナー

第1学年　2024年度教養部カレンダー

前期	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
4月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
			TOEFL（4/2～4のいずれか1日）					入学式	各学部オリエンテーション 健康診断 情報説明会	教養部オリエンテーション	＜授業1＞			多職種連携Ⅰ	＜授業1＞		＜授業1＞		＜授業2＞		＜授業2＞	＜授業1＞	＜授業2＞		＜授業3＞			昭和の日	＜授業2＞								
5月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
				＜授業3＞		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	＜授業3＞	＜授業4＞					＜授業3＞	＜授業4＞	＜授業5＞					＜授業4＞	＜授業5＞	＜授業6＞					＜授業5＞	＜授業6＞	＜授業7＞						
6月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
									＜授業6＞	＜授業7＞	＜授業8＞					＜授業7＞	＜授業8＞	＜授業9＞					＜授業8＞	＜授業9＞	＜授業10＞					＜授業9＞	＜授業10＞	＜授業11＞						
7月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
		＜授業10＞	＜授業11＞	＜授業12＞					＜授業11＞	＜授業12＞	＜授業13＞					海の日 ＜授業12＞	＜授業13＞	＜授業14＞					＜授業13＞	＜授業14＞	＜授業15＞					＜授業14＞	＜授業15＞	＜授業15＞（月曜日）						
8月					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
					夏季休業				夏季休業						山の日	振替休日	夏季休業						夏季休業							夏季休業								
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15																							
		試験・追試							試験・追試																													

後期	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
9月																16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
																敬老の日		＜授業1＞				秋分の日	振替休日		＜授業2＞													
10月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
				＜授業3＞							＜授業4＞					スポーツの日		＜授業5＞			学園祭（予定）	学園祭（予定）			＜授業6＞							＜授業7＞						
11月						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
								文化の日	振替休日		＜授業8＞							＜授業9＞							＜授業10＞			勤労感謝の日				＜授業11＞					
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
				＜授業12＞							＜授業13＞							＜授業14＞					冬季休業							冬季休業								
1月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
				元日	冬季休業						＜授業15＞					成人の日		＜授業16＞							＜授業17＞							＜授業18＞					
2月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
											＜授業19＞						建国記念の日	試験・補講	試験・補講						試験・補講	試験・補講			天皇誕生日	振替休日							
3月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
									春季休業							春季休業							春季休業			春分の日	進級発表			春季休業							春季休業	

2024年度 教養部授業等日程

【前期】

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
月曜日	4/15	4/22	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	7/31				4/29・5/6は休み
グローバルKSK			5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17		7/1									
教養選択科目									6/24		7/8	7/15	7/22	7/29	7/31				
火曜日	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30				
水曜日	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24				
木曜日	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25				
金曜日	4/12	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26				5/3休み

＊行事、変則授業

4/2（火）～4（木） 教養部オリエンテーション・ガイダンス第1日目（TOEFL）（国府台）(いずれか1日)
4/9（火） 医学部健康診断、 医学部四種抗体検査（湯島・保健管理センター）、 歯学部情報システム説明会（湯島） 、歯学部オリエンテーション（湯島）
4/10（水） 歯学部健康診断、 歯学部四種抗体検査（湯島・保健管理センター）、 医学部情報システム説明会（湯島）、医学科オリエンテーション（湯島） 保健衛生学科ガイダンス（湯島）
4/11（木） 教養部オリエンテーション・ガイダンス第2日目（国府台）
4/16（火） 多職種連携Ⅰ（湯島）
5/22（水） 定期健康診断：男子（湯島・午後）、5/29（水）定期健康診断：女子（湯島・午後）
7/15（月・祝） 授業実施
7/31（水） 月曜日の授業を実施

＊グローバル教養総合講座変則日

5/13（月） 基調講演(Zoom)14:30～16:00

【後期】

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回
月曜日							【専門科目教育要項を参照のこと】												
火曜日							【専門科目教育要項を参照のこと】												
水曜日	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5
木曜日	9/19	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6
金曜日							【専門科目教育要項を参照のこと】												

2024年度　教養セミナーⅠ（各学科・専攻2年生）

前期

回数	月日	曜日	1講（8:50-10:30）	2講（10:45-12:25）	3講（13:30-15:10 ）	4講（15 :25-17:05）	5講（17:15-18:55）
1	4月3日	水	専門講義			Aグループ	
	4月10日	水				Bグループ	
	4月17日	水				Cグループ	
	4月24日	水				Dグループ	
2	5月1日	水				Aグループ	
	5月8日	水				Bグループ	
	5月15日	水				Cグループ	
	5月22日	水				Dグループ	
3	5月29日	水				Aグループ	
	6月5日	水				Bグループ	
	6月12日	水				Cグループ	
	6月19日	水				Dグループ	
4	6月26日	水				Aグループ	
	7月3日	水				Bグループ	
	7月10日	水				Cグループ	
	7月17日	水				Dグループ	
予備日	7月24日	水				予備日	

後期

回数	月日	曜日	1講（8:50-10:30）	2講（10:45-12:25）	3講（13:30-15:10 ）	4講（15 :25-17:05）	5講（17:15-18:55）
5	9月18日	水	専門授業			Aグループ	
	9月25日	水				Bグループ	
	10月2日	水				Cグループ	
	10月9日	水				Dグループ	
6	10月16日	水				Aグループ	
	10月23日	水				Bグループ	
	10月30日	水				Cグループ	
	11月6日	水				Dグループ	
7	11月13日	水				Aグループ	
	11月20日	水				Bグループ	
	11月27日	水				Cグループ	
	12月4日	水				Dグループ	
8	12月11日	水				Aグループ	
	12月18日	水				Bグループ	
	1月8日	水				Cグループ	
	1月15日	水				Dグループ	
予備日	1月22日	水				予備日	

2024年度医歯学融合教育（教養教育）

●医学科・歯学科（3年生）

月日	曜日	回数	1時限（9:00～9:50）	2時限（10:05～10:55）	3時限（11:10～12:00）
4月4日	木	1		主題別選択Ⅱ（前半） Zoom	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：前半） Zoom
4月11日	木	2			
4月18日	木	3			
4月25日	木	4			
5月2日	木	5			
5月9日	木	6			
5月16日	木	7			
5月23日	木	8			
5月30日	木	9		主題別選択Ⅱ（後半） Zoom	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：後半） Zoom
6月6日	木			専門科目	
6月13日	木	10		主題別選択Ⅱ（後半） Zoom	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （前期：後半） Zoom
6月20日	木	11			
6月27日	木	12			
7月4日	木	13			
7月11日	木	14			
7月18日	木	15			
8月22日	木	予備		主題別選択Ⅱ（予備日）	主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （予備日）
9月12日	木	1			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） Zoom
9月19日	木	2			
9月26日	木	3			
10月3日	木		専 門 科 目		
10月10日	木	4			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：前半） Zoom
10月17日	木	5			
10月24日	木	6			
10月31日	木	7			
11月7日	木				専門科目
11月14日	木	8			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （後期：後半） Zoom
11月21日	木	9			
11月28日	木	10			
12月5日	木	11			
12月12日	木	12			
12月19日	木	13			
1月9日	木	14			
1月16日	木	15			
1月23日	木	予備			主題別人文社会科学ｾﾐﾅｰ （医学科・歯学科3年生対象） 予備日

●医学科・歯学科（3年生）：2024年度 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限（11:10～12:00） ※Zoomによる実施														
			文化			生命			言語			制度			時間		
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
4月4日	木	1	オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション		
4月11日	木	2	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会
4月18日	木	3															
4月25日	木	4															
5月2日	木	5															
5月9日	木	6															
5月16日	木	7															
5月23日	木	8															
5月30日	木	1	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法
6月6日	木		専　門　科　目														
6月13日	木	2	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法
6月20日	木	3															
6月27日	木	4															
7月4日	木	5															
7月11日	木	6															
7月18日	木	7															
8月22日	木	予備	予備日														
9月12日	木	1	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー
9月19日	木	2															
9月26日	木	3															
10月3日	木		専　門　科　目														
10月10日	木	4	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー
10月17日	木	5															
10月24日	木	6															
10月31日	木	7															
11月7日	木		専　門　科　目														
11月14日	木	1	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
11月21日	木	2	合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
11月28日	木	3	総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
12月5日	木	4	総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
12月12日	木	5	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー		
12月19日	木	6	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー		
1月9日	木	7	総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
1月16日	木	8	合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー		
1月23日	木	予備	予備日														

専　門　科　目

時間割番号	021700				
科目名	多職種連携Ⅰ			科目ID	
担当教員	則武 加奈子, 濵 洋平, 清水 六花, 青山 二郎, 矢郷 哲志, 藤代 瞳, 伊藤 奏, 土田 優美, 今津 陽子, 布川 裕規, 鈴木 瞳, 金子 英司, 大河原 啓文, 大木 明子, 中川 美奈, 田中 ゆきえ[NORITAKE KANAKO, HAMA YOHEI, SHIMIZU Rikuka, AOYAMA Jirou, YAGOU Satoshi, FUJISHIRO Hitomi, ITOU Kanade, TSUCHIDA Yuumi, IMAZU YOKO, FUKAWA Yuuki, SUZUKI Hitomi, KANEKO EIJI, OOGAWARA Hirofumi, OKI MEIKO, NAKAGAWA MINA, TANAKA Yukie]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

必修 0.5 単位

主な講義場所

MD タワー2F 鈴木章夫記念講堂ほか

授業の目的、概要等

医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をとおして医療系大学初学者の自覚を持つ。医学部歯学部の 1 年生として、自らの知識や価値観を他学科の学生に共有することができる。また、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。演習活動を行う中で、協働を実現するために自らの役割を果たすことができる。

授業の到達目標

1. 本学初学年の学生として、自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。
2. 本学初学年の学生として、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
3. 他学科学生との演習活動の中で、協働を実現するために、自らの役割を果たすことができる。

R4 歯学教育モデル・コア・カリキュラム

C-1-3 チーム医療

患者中心のチーム医療の重要性を理解し、他の医療従事者との連携を身に付ける。

学修目標:

C-1-3-1 患者中心のチーム医療の意義を理解している。

C-1-3-2 医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。

C-1-3-3 医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	オリエンテーション 教員講演	実習の概略説明 各学科教員から講演(学科専攻・キャリア紹介、学生に期待することなど)	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介,	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する

						樺沢 勇司, 畔柳 和代	
5-8	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	グループワーク1	チームビルディングについて 取り組み説明 講演を聞いてグループで討論	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
9-12	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	質疑応答	教員講演に対する質問 学生質問に対して各学科専攻教員からの回答	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
13-16	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	患者講師講演	患者から見た「多職種協働の大切さ」 どのような医療者になってほしいか	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
17-20	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	グループワーク2	講演を聞いてグループで討論	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志,	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態

						大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	度、レポートにより評価する
21-24	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	質疑応答・全体討論	班ごとに代表学生から患者講師、教員へ質問　患者視点も含めた多職種連携について討論	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
25-28	4/16	08:50-17:05	鈴木章夫記念講堂	グループワーク3　まとめ	多職種連携についてグループで討論　まとめと事後課題説明	田中 真琴, 今津 陽子, 矢郷 哲志, 大河原 啓文, 中川 美奈, 山口 久美子, 鶴田 潤, 大木 明子, 則武 加奈子, 金子 英司, 井津井 康浩, 齋藤 良一, 大川 龍之介, 樺沢 勇司, 畔柳 和代	到達目標1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する

授業方法

講義、演習(グループワーク)

医学部歯学部の全学科全専攻の 1 年生(+2 年次編入生)が参加し、グループに分かれて討論を行う。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

成績評価の方法

成績はグループワークへの参加態度(30%)、レポート等の個人事後課題提出物(70%)により評価する。

成績評価の基準

以下の1・2の合計点数が 60 点以上を合格とする。

1. 参加態度

到達目標1～3に関連し、参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。

担当チューターによる評価を基本根拠する。 30 点満点

2. 課題提出物

期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。70 点満点

準備学習等についての具体的な指示

資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自視聴すること。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

試験の受験資格

全ての授業への出席を成績評価対象の基本とし、提出された課題により評価を行う。

・授業に出席し、演習に参加する。

・演習発表資料、個人事後課題などの課題を提示された期限までに提出すること。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。

これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

・1 日で行われる授業のため、その欠席の際には、事情を考慮した対応を図ることがある。

他科目との関連

多職種連携Ⅱ、Ⅲへの導入科目である。

履修上の注意事項

積極的に参加すること。課題を提出すること。

備考

2023 年度から新設された科目である。

東京医科歯科大学に入学した学生の、専門にかかわらずに全員が参加する科目である。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

鶴田　潤　 turucie@tmd.ac.jp

時間割番号	021710				
科目名	歯学入門			科目ID	
担当教員	鶴田　潤　　片桐さやか				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

本科目では，歯科界への入り口として本学に入学した学生が，将来歯科医師になるという認識を強く意識し，歯学科生としての自らのアイデンティティを醸成すること，これからの学びの具体的な目標を持つことを目的とする.

主な講義場所

対面授業　:1 号館　特別講堂

非同期授業:自宅、図書館、講義室　とする。公共の場所での受講は禁止する。

非同期授業の動画視聴や、自己学習の動画視聴については、その後の課題実施をもって、視聴記録を確認することがある。

授業の目的、概要等

本科目では，歯科界への入り口として本学に入学した学生が，将来歯科医師になるという認識を強く意識し，歯学科生としての自らのアイデンティティを醸成すること，これからの学びの具体的な目標を持つことを目的とする.

授業内容は，日本の歯科医療の歴史，現在の歯科医療全般の情報，歯科臨床と研究との関連に関わる内容を組み合わせて実施する.

授業の到達目標

① 歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動が必要とされる背景を説明できる。

② 歯科医師としての道を究めていく入口に立つ立場として、利他的な態度で医療に関わりながら、学びを進めるために必要な基本的知識を説明できる。

③ 歯科医師として学びを進めるために、積極的に学修に参加できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1	10/7	09:45-10:30	遠隔授業（同期型）	歯学入門1	授業説明　歯学導入1	鶴田　潤	①②③　講義（遠隔同期）Zoom 情報は追って連絡
2	10/7	10:45-11:30	遠隔授業（同期型）	歯学入門2	歯学導入2	鶴田　潤	①②③　講義（遠隔同期）Zoom 情報は追って連絡
3	10/7	11:40-12:25	遠隔授業（同期型）	歯学入門3	歯学導入3	鶴田　潤	①②③　講義（遠隔同期）Zoom 情報は追って連絡
4	10/11	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	歯学入門 4	歯学史 1	鶴田　潤，片桐　さやか	①②　講義（非同期）
5	10/11	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	歯学入門 5	歯学史 2	鶴田　潤，片桐　さやか	①②　講義（非同期）
6	10/11	11:40-12:25	遠隔授業（非同期型）	歯学入門 6	歯学史 3	鶴田　潤，片桐　さやか	①②　講義（非同期）
7	10/22	09:45-10:30	特別講	歯学入門 7	歯学概説1	鶴田　潤	①②③　講義･演

			堂, 遠隔授業(同期型)				習
8	10/22	10:45-11:30	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門8	歯学概説2	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
9	10/22	11:40-12:25	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門9	歯学概説3	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
10	10/29	09:45-10:30	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門10	歯学概説4	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
11	10/29	10:45-11:30	特別講堂	歯学入門11	歯学概説5	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
12	10/29	11:40-12:25	特別講堂	歯学入門12	歯学史4	鶴田 潤, 片桐 さやか	①② 講義 (非同期)
13	11/5	09:45-10:30	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門13	歯学概説6	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
14	11/5	10:45-11:30	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門14	歯学概説7	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
15	11/5	11:40-12:25	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	歯学入門15	歯学概説8	鶴田 潤	①②③ 講義・演習
16-17	12/2	08:50-10:30	特別講堂	歯学入門試験	試験	鶴田 潤, 片桐 さやか	筆記試験 開始時間の5分前には講義室で待機のこと。

授業方法

授業形式は, 講義, 動画教材にる事前予習を踏まえた演習活動, 学生同士でのグループ協働作業をもとにした課題実施などを行う.

授業内容

歯学導入 3回

歯学史 4回

歯学概説 8回 合計15回の授業を行う。

成績評価の方法

対面試験を実施。

筆記試験(記述(20 点)、多肢選択問題(80 点)) 100 点満点とする。

成績評価の基準

100 点満点において、60 点以上を科目合格点とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業 15 回で行われる内容とともに、自学自習を求める課題の実施が必須となる。 WebClass に提示される動画資料の視聴、課題実施を必ず行うこと。 1 単位付与の基準は、授業だけでないことをよく理解し、自らの学修を進めること。
試験の受験資格 授業で課されるすべての課題について、締め切りまでに提出を終えた場合に、試験の受験資格を認める。
モジュールの単位判定 試験の合否にて、単位判定を行う。

時間割番号	021720				
科目名	早期臨床体験実習			科目 ID	
担当教員	西山　暁				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯学入門

英語名:Introduction to Clinical Dentistry

ユニット番号:04

授業形態:実習

コマ数:36

主な講義場所

各診療科に関連した研究室等。

授業の目的、概要等

今後6年間にわたって歯科医学を学んでいくにあたり、今後の学習への強い動機を獲得するために、歯科医学 ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医の原則を理解し、医療人としての基本的態度を修得する。

授業の到達目標

1:歯科医療従事者に求められる基本的態度(挨拶、時間厳守、言葉づかい)を身につける。

2:歯科医療が人々の健康の維持・増進に果たす社会的役割を認識する。

3:1口腔単位として歯科疾患を理解する。

4:基礎医学、一般教養科目の重要性を説明できる。

5:自分自身の将来像を具体的に述べることができる。

6:自分の将来像を具現化するための具体的な目標設定ができる。

7:自分自身で問題を提起し、自ら解決する能力を養う習慣を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/24	08:50-09:35	特別講堂
2	9/24	09:45-10:30	特別講堂
3	9/24	10:45-11:30	
4	9/24	11:40-12:25	
5	9/24	13:30-14:15	
6	9/24	14:25-15:10	
7	9/24	15:25-16:10	
8	9/24	16:20-17:05	
9	9/30	08:50-09:35	
10	9/30	09:45-10:30	
11	9/30	10:45-11:30	
12	9/30	11:40-12:25	
13	10/15	13:30-14:15	特別講堂
14	10/15	14:25-15:10	特別講堂
15	10/15	15:25-16:10	特別講堂
16	10/15	16:20-17:05	特別講堂
17	10/21	13:30-14:15	特別講堂
18	10/21	14:25-15:10	特別講堂
19	10/21	15:25-16:10	特別講堂

20	10/21	16:20-17:05	特別講堂
21	11/5	13:30-14:15	特別講堂
22	11/5	14:25-15:10	特別講堂
23	11/5	15:25-16:10	特別講堂
24	11/5	16:20-17:05	特別講堂
25	11/19	13:30-14:15	特別講堂
26	11/19	14:25-15:10	特別講堂
27	11/19	15:25-16:10	特別講堂
28	11/19	16:20-17:05	特別講堂
29	11/25	13:30-14:15	特別講堂
30	11/25	14:25-15:10	特別講堂
31	11/25	15:25-16:10	特別講堂
32	11/25	16:20-17:05	特別講堂
33	12/2	15:25-16:10	特別講堂
34	12/2	16:20-17:05	特別講堂

授業方法

1グループ2～3人で各臨床の診療科あるいは専攻分野に配属され、自ら研究テーマを設定し、実施する。必要に応じて助言するために、各グループには各診療科のチューターが配置されている。テーマ決定、中間発表会を経て最終的には研究成果発表会で発表する。

成績評価の方法

出席、遅刻の有無、受講態度、実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、発表の態度等を総合的に評価する。

成績評価の基準

プレレポート、ポストレポートの提出。実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、態度等の総合評価と学生同士の相互評価結果、報告書の内容を総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

本学の HP から「2023 年度大学案内」を通読し、6 年間の歯学部カリキュラムにおけるこのカリキュラムの位置づけについて理解しておくこと。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

構成ユニット

2～3 名で 1 グループを構成し、各診療科に配属される。週に1回の実習を約 6 週間にわたり行う。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内のすべてのユニットに合格しなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出物の内容および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

歯科医療のおもしろさ： 後輩たちへ贈る 28 のドラマ／橋本光二, 升谷滋行, 飯野文彦 編：口腔保健協会, 2013

医の現在／高久 史麿 編：岩波書店

歯の健康学／江藤 一洋 編：岩波書店

必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。

参考書

必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。

備考

西山 暁 anishi.tmj@tmd.ac.jp（研究室：10 号館 2 階 206 室）

島田康史 shimada.ope@tmd.ac.jp

参照ホームページ

WebClass に掲載予定。

時間割番号	021730				
科目名	基礎情報医歯学			科目 ID	
担当教員	木下　淳博, 金澤　学, 須永　昌代, 土田　優美, 青木　和広[KINOSHITA ATSUHIRO, KANAZAWA MANABU, SUNAGA MASAYO, TSUCHIDA Yuumi, AOKI KAZUHIRO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

非同期の動画視聴と課題演習・提出による授業のため、欠席は想定していない。

授業の目的、概要等

●授業の目的　(Primary goal)

医学・歯学の研究・調査・臨床に必要な情報技術を理解し、その利用方法を習得する。ワープロ、メール、インターネットといった基本的な情報技術に加えて、研究・調査・臨床に実際に使用する情報技術について実習を行いながら学ぶ。ファイル操作など OS の基本的操作, e-learning の操作は習得済みであることを前提として講義・実習を行うので、事前に自身の知識を確認すること。

●授業の概要　(Outline of content and teaching method)

医歯学に関連する基礎的情報技術の知識・操作について演習を行う。演習は各自の PC を使用する。毎回、課題の提出を行う。

授業の到達目標

1. 情報セキュリティー、著作権を理解して、歯学に必要な情報処理を実践できる。
2. 静止画像の編集ができる。
3. 動画像の編集ができる。
4. 最新のデジタル歯科の概要を説明でき、フリーの CAD ソフトウェアで簡単な操作ができる。
5. 生物医学画像の取り扱いと解析ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	10/22	13:30-14:15	
2	10/22	14:25-15:10	
3	10/22	15:25-16:10	
4	10/22	16:20-17:05	
5	11/1	13:30-14:15	
6	11/1	14:25-15:10	
7	11/1	15:25-16:10	
8	11/1	16:20-17:05	
9	11/18	13:30-14:15	
10	11/18	14:25-15:10	
11	11/18	15:25-16:10	
12	11/18	16:20-17:05	
13	11/22	13:30-14:15	
14	11/22	14:25-15:10	
15	11/22	15:25-16:10	
16	11/22	16:20-17:05	
17	11/29	13:30-14:15	
18	11/29	14:25-15:10	
19	12/3	08:50-09:35	
20	12/3	09:45-10:30	

成績評価の方法

評価方法（　その他　）　　再評価(有)

各回の提出課題の達成度で評価する。

課題が提出されない場合は、当該授業を欠席したこととして扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

成績評価の基準 すべての課題を、指示通りに提出期限内に提出した場合は B 評価以上とする。
準備学習等についての具体的な指示 WebClass に事前掲載された資料・非同期ビデオを視聴し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、WebClass 上のビデオ等で詳細な指示を行う。
試験の受験資格 時間割が設定されている日から1週間以内に動画を視聴し、指示された演習を行って提出期限内にすべての課題ファイルを提出した者を成績評価の対象とする。 最終回終了時までに、科目評価(歯学科授業評価アンケートコース)の「基礎情報医歯学」に回答していること。
教科書 講義資料を WebClass にアップロードして配布する。
備考 演習では各自の PC を使用する。
連絡先(メールアドレス) 木下　淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp 青木　和広:kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp 金澤　学:m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 須永　昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp 土田　優美:yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 木下　淳博:金　16:00－17:00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野 青木　和広:毎週火曜の 17 時から 18 時　2 号館 2 階 216 号室(口腔基礎工学分野) これ以外はメールで問い合わせること。 金澤　学:火水木金　16:00- 18:00 2 号館 2 階　口腔デジタルプロセス学分野　Lab 1 須永　昌代:随時 土田　優美:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	021740				
科目名	行動科学基礎			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:講義演習 45 試験 2
1. 医の倫理 14コマ
2. チーム医療 12コマ
3. 医療安全 4コマ
4. プロフェッショナリズム 15コマ

授業形態:講義・演習・実習
ユニット番号:01行動科学は人間の行動を科学的に研究し、その法則性を解明しようとする学問である。医学に加え心理学、社会学、人類学、経済学などを含む文理融合指向の行動科学の知見は、その有用性からさまざまな領域で活用されている。本授業では医療にかかわる者が修得すべき行動科学関連領域として医の倫理、医療安全、チーム医療、プロフェッショナリズムに着目し、その基礎的知識・技能・態度を修得する。

主な講義場所
講義・演習はオンライン・実地双方で行う

授業の目的、概要等
全人的医療の実践に必要な行動科学の基本的な知識・技能・態度を修得することを本授業の目的とする。
本ユニットは1. 医の倫理、2. チーム医療、3. 医療安全、4. プロフェッショナリズムの4つのパートに分かれる。

授業の到達目標
1)プロフェッショナリズムの定義について理解する
2)医の倫理、医事法について基本的な理解を得る
3)医の倫理、医事法について基本的な文献を自分で読む
4)医の倫理、医事法についてさらなる問いを自分で立て、自分で考える
5)自身の体験や考え、授業で提示された事例について医療プロフェッショナリズムの文脈で省察する
6)チーム医療の基本について理解する
7)安全管理の基本について理解する

コアカリ番号
A-1-1)-①②③④
A-1-2)-①②③④
A-1-3)-①②③④⑤
A-4-1)-①②③
A-5-1)-①②③
A-6-1)-①②③④⑤⑥⑦
E-1-1)-⑧

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/12	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	医の倫理1	ガイダンス、「倫理」と「法」と医の関わり	小松 美彦, 飛田 綾子	
3-4	11/19	10:45-12:25	遠隔授業	医の倫理2	「生と死」講義	小松 美彦,	

			(同期型)			飛田 綾子	
5-6	11/26	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	医の倫理3	「生と死」学生プレゼン	小松 美彦, 飛田 綾子	
7-10	1/6	13:30-17:05	遠隔授業(非同期型)	行動科学基礎イントロダクション プロフェッショナリズム1		礪波 健一	
11-12	1/7	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	プロフェッショナリズム2		礪波 健一	
13-14	1/7	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	医の倫理4	「いのちの尊厳」講義	小松 美彦, 飛田 綾子	
15-18	1/10	08:50-12:25	歯学科第4講義室	チーム医療1		則武 加奈子	
19-20	1/14	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	プロフェッショナリズム3		礪波 健一	
21-22	1/14	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	医の倫理5	「いのちの尊厳」学生プレゼン	小松 美彦, 飛田 綾子	
23-26	1/15	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	チーム医療2		則武 加奈子	
27-30	1/20	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	医療安全		西山 暁	
31-32	1/21	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	プロフェッショナリズム4		礪波 健一	
33-34	1/21	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	医の倫理6	「治験とは」講義	小松 美彦, 飛田 綾子	
35-38	1/21	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	チーム医療3		則武 加奈子	
39-42	1/27	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	行動科学基礎		俣木 志朗	
43-44	1/28	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	医の倫理7	「治験とは」学生プレゼン	小松 美彦, 飛田 綾子	
45	1/28	15:25-16:10	遠隔授業(非同期型)	行動科学基礎総括		礪波 健一	
46-47	2/4	08:50-10:30	特別講堂	試験 1限 チーム医療 2限 プロフェッショナリズム		礪波 健一, 則武 加奈子	

成績評価の方法

授業の参加状況、期末試験の得点、レポートの提出状況、レポートの内容を担当教員・指導者間で協議し、成績評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

ノンテクニカルスキルについて事前に自己学習してください。

試験の受験資格

ユニットごとに授業に3分の2以上出席していること。

プレゼンテーション(作成・発表)に参加していること。

ミニ・レポートや授業ごとの課題を提出していること。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定

およびモジュールの単位判定に際しては、試験点数、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。
教科書 歯科医療人間科学へのいざない／G.Kent, R.Croucher 著 ; 新庄文明, 山崎久美子, 俣木志朗監訳,Kent, Gerry,Croucher, Ray,新庄, 文明,山崎, 久美子,俣木, 志朗,:医歯薬出版, 2005 命は誰のものか／香川知晶 [著],香川, 知晶,:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2021 <反延命>主義の時代 : 安楽死・透析中止・トリアージ／小松 美彦／編著,市野川 容孝／編著,堀江 宗正／編著,小松 美彦,市野川 容孝,堀江 宗正,小松 美彦,市野川 容孝,堀江 宗正,:現代書館, 2021-07 ブリッジブック医事法／甲斐克則編,甲斐, 克則,:信山社, 2018
参考書 いのちの選択 : 今、考えたい脳死・臓器移植／小松美彦 編,市野川容考 他編,:岩波書店 医学研究・臨床試験の倫理 : わが国の事例に学ぶ／井上悠輔 編著,一家綱邦 編著,井上／悠輔,一家／綱邦,:日本評論社 いのちを選ぶ社会 : 出生前診断のいま／坂井律子 著,坂井, 律子, 1960-,:NHK 出版, 2013 生命倫理とは何か／市野川容孝 編,市野川, 容孝, 1964-,:平凡社, 2002 臨床倫理学 : 臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ／Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade [著] ; [白浜雅司ほか訳],Jonsen, Albert R.,Siegler, Mark,Winslade, William J.,白浜, 雅司,赤林, 朗,蔵田, 伸雄,児玉, 聡,:新興医学出版社, 2006 ソシュールを読む／丸山, 圭三郎, 1933-1993,丸山圭三郎 [著]:講談社, 2012.7 Social construction : a reader／Gergen, Mary M.,Gergen, Kenneth J.,edited by Mary Gergen and Kenneth J. Gergen:Sage, 2003 Measuring medical professionalism／Stern, David Thomas,David Thomas Stern, editor:Oxford University Press, 2006
履修上の注意事項 本授業で行うグループ演習はひとりひとりの積極的参加により、クラス全体としての学習効果があがるので、遅刻・欠席がないよう体調管理を心掛けてください。
備考 医の倫理、チーム医療については演習、課題発表等アクティブラーニングの実施を行う。

時間割番号	021750				
科目名	社会と環境			科目ID	
担当教員	相田　潤　　佐々木好幸				
開講時期	2024年度後期	対象年次	1	単位数	1.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

環境・社会と健康、ライフスタイルと健康、食生活と健康の3つのユニットから構成され、社会と環境について理解を深めることを目的とする。講義・実習数は下記となる。

モジュール　社会と環境(021750)

モジュール単位:1.5単位
モジュール授業:講義:26コマ、演習:0コマ、実習:1コマ
モジュール総コマ数:27コマ

環境・社会と健康:講義12コマ
ライフスタイルと健康:講義・実習7コマ
食生活と健康:講義8コマ

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと

授業の目的、概要等
社会と健康の関係の概念を理解する。詳細は各ユニットの目的、概要等を参照のこと。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	1/6	08:50-09:35	遠隔授業(非同期型)	・わが国の健康・栄養状況と指針	国民健康・栄養調査、健康日本21(第2次)栄養・食生活、	相田　潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、国民健康栄養調査等を理解する。【学習方法】講義【事前学習】シラバスに沿った内容
2	1/6	09:45-10:30	遠隔授業(非同期型)	・食事摂取基準、食生活指針	食事摂取基準、食生活指針	相田　潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、食事摂取基準および食生活指針等を理解する。【学習方法】講義　【事前学習】シラバスに沿った内容
3	1/6	10:40-11:25	遠隔授業(非同期型)	・病態栄養、栄養管理	・病態栄養、病院における栄養管理、	豊島　瑞枝,相田　潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、病態栄

							養および栄養管理等を理解する。【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容
4	1/6	11:35-12:20	遠隔授業（非同期型）	・胎児期、発生期の栄養と健康	胎児期、発生期の栄養と健康について	相田 潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、胎児期、発生期の栄養と健康について理解する。【学習方法】講義 佐藤憲子（非常勤講師）【事前学習】シラバスに沿った内容
5	1/17	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	・食育、食育基本法、第４次食育推進計画、	・食育、食育基本法、第４次食育推進計画、	相田 潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、食育および食育推進計画等を理解する。【学習方法】講義【事前学習】シラバスに沿った内容
6	1/17	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	・口腔保健と食育：ライフステージ別の食育、	・口腔保健と食育：ライフステージ別の食育、	相田 潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、口腔保健と食育について理解する。【学習方法】講義【事前学習】シラバスに沿った内容
7-8	1/17	10:40-12:20	遠隔授業（同期型）	ライフスタイルと健康① 国民の口腔保健状況、遠隔歯科診療		財津 崇	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する【学習方法】講義【事前学習】シラバスに沿った内容
9	1/20	08:50-09:35	遠隔授業（同期型）	衛生の主要指標 公衆衛生学総論	WebClass: IL2400178 D1 社会と環境 2024 ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 1),4),5) 【学習方法】講義・演習【事前学習】シラ

							バスに沿った内容を参考書で予習
10	1/20	09:45-10:30	遠隔授業（同期型）	人口統計　人口静態、人口動態	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 1),4),5) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
11	1/20	10:40-11:25	遠隔授業（非同期型）	・口腔疾患と栄養・食生活	・う蝕と糖質、代用甘味料、　・口腔疾患と栄養・食生活　・う蝕と糖質、代用甘味料、　・口腔疾患と栄養・食生活	相田 潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、口腔疾患と栄養・食生活等を理解する。【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
12	1/20	11:35-12:20	遠隔授業（同期型）	・特別用途食品、特定保健用食品他　・食品衛生法、	・特別用途食品、特定保健用食品他　・食品衛生法、	相田 潤	【到達目標】栄養と食育を説明できるために、特別用途食品等を理解する。【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
13	1/27	08:50-09:35	遠隔授業（同期型）	ライフスタイルと健康② 健康の社会的決定要因		相田 潤	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する 【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
14	1/27	09:45-10:30	遠隔授業（同期型）	人口問題　生命表	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 1),4),5) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
15	1/27	10:40-11:25	遠隔授業（同期型）	疫学１　疫学総論、疫学史	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 6),7),8) 【学習方法】講義・演習

							【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
16	1/27	11:35-12:20	遠隔授業（同期型）	疫学２　疫学研究のデザインと分類	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 6),7),8) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
17	1/28	08:50-09:35	遠隔授業（同期型）	ライフスタイルと健康② 健康の社会的決定要因		相田 潤	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する 【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
18	1/28	09:45-10:30	遠隔授業（同期型）	ライフスタイルと健康③ ヘルスプロモーション		相田 潤	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する 【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
19	1/28	10:45-11:30	遠隔授業（同期型）	ライフスタイルと健康③ ヘルスプロモーション		相田 潤	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する 【学習方法】講義 【事前学習】シラバスに沿った内容
20	1/28	11:35-12:20	遠隔授業（同期型）	疫学３　臨床疫学	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 6),7),8) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習

21	1/31	08:50-09:35	遠隔授業（同期型）	環境保健１　空気の成分、騒音	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
22	1/31	09:45-10:30	遠隔授業（同期型）	環境保健２　温熱環境	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024　ZoomID: パスコード:	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
23	2/3	08:50-09:35	特別講堂	環境保健３　水質	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
24	2/3	09:45-10:30	特別講堂	廃棄物処理	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
25	2/3	10:40-11:25	特別講堂	食品衛生　HACCP、食中毒	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
26	2/3	11:35-12:20	特別講堂	感染対策　感受性対策、感染源対策、感染経路対策	WebClass: IL2400178　D1 社会と環境 2024	佐々木 好幸	【到達目標】環境・社会と健康 2),3) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
27-28	2/3	13:30-15:10	特別講堂	ライフスタイルと健康④ ヘルスプロモーション		相田 潤	【到達目標】ライフスタイルと健康について説明できるために、ヘルスプロモーションの概念を理解する 【学習方法】講義 【事前学習】シラ

							バスに沿った内容
29-30	2/5	08:50-10:30	特別講堂	試験		相田 潤, 佐々木 好幸	

授業方法

各ユニットの到達目標を参照のこと

授業内容

各ユニットの到達目標を参照のこと

成績評価の方法

出席状況および試験により評価する

成績評価の基準

出席状況および試験により評価する

準備学習等についての具体的な指示

各ユニットの準備学習等についての具体的な指示を参照のこと

試験の受験資格

講義・演習の 2/3 以上の出席(非同期遠隔授業実施の場合は視聴記録で確認する)

構成ユニット

下記の3つのユニットから構成される:

01 環境・社会と健康　講義・演習

02 ライフスタイルと健康　講義

03 食生活と健康　講義・演習

モジュールの単位判定

出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される

履修上の注意事項

各ユニットの履修上の注意事項を参照のこと

時間割番号	021760				
科目名	遺伝の分子的基盤			科目ID	
担当教員	渡部　徹郎, 小林　美穂[WATABE TETSURO, KOBAYASHI Miho]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

・モジュール名:生命の分子的基盤
・ユニットコマ数:12+2
・必要自習時間: 各自の理解度による
・授業形態:講義
・ユニット番号:O1

主な講義場所

対面講義のみ 1 号館 9 階特別講堂、D 棟南 4 階歯学部特別講堂で実施し、遠隔講義は Webclass(非同期型)または Zoom (同期型)で実施する。
※2024 年 12 月 6 日に実施する筆記試験も 1 号館 9 階特別講堂にて対面で行う。

授業の目的、概要等

遺伝子からタンパク質合成への流れに基づく生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用、ヒトゲノムの解析を理解する。ゲノム、染色体、遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。
遺伝情報の物質的な特徴や遺伝子発現への流れについて、その仕組みを統合的に理解し、歯科医科学の基盤知識を養う。

授業の到達目標

以下の項目について、自分の言葉で論理的に説明できることを到達目標とする。

1)細胞構造と遺伝情報の流れについて相互の関係が説明できる。
2)核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。
3)デオキシリボ核酸(DNA)の構造とその複製・修復の機序を説明できる。
4)リボ核酸(RNA)の構造と転写・翻訳の過程とそれぞれの調節機序を説明できる。
5)タンパク質の合成と分配の機序を説明できる。
6)遺伝子発現の制御機構を説明できる。
7)塩基配列の変化を伴わない遺伝子機能の変化を説明できる。
8)がんをはじめとする遺伝性疾患の発生機序を説明できる。
9)遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。
10)染色体分析と DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を
11)薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	10/1	08:50-12:25	特別講堂	講義:がんのゲノミクス 演習:がんのゲノミクス	＊事前に、webclass「1)2024 講義Ⅰ (がんのゲノミクス)遺伝の分子的基盤」を受講してから授業に出席してください。 (AL)※授業内容を踏まえた討議を行うとともに、演習として小テストを行います。	渡部　徹郎	遺伝性疾患の発生機序を理解する。薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を理解する。
5-6	10/4	08:50-10:30	遠隔授業	講義: DNA・RNA・タンパ	WebClass: [D1 生命の分子的基	小林　美穂	メンデルの法則

			(非同期型)	ク質 ①	盤] 2-1)2024 講義 Ⅱ-1 (DNA) / 2-2)2024 講義 Ⅱ-2 (RNA)		や遺伝子型と表現型の関係を理解する。核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能、修復機構を理解する。DNA 複製と修復、DNA から RNA への転写を理解する。遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解する。
7-8	10/4	10:45-12:25	共用講義室 2	演習: DNA・RNA・タンパク質 ①	(AL)※ DNA の模型を作成し、DNA の複製について体感する演習を行います。※WEB データベースを用いた遺伝子解析の演習を行います。※討議として授業内容をもとにした質問への回答と意見を募ります。※演習として小テスト(設問の回答と解説)を行います。	小林 美穂	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解する。核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能、修復機構を理解する。DNA 複製と修復、DNA から RNA への転写を理解する。遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解する。
9-10	10/11	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	講義: DNA・RNA・タンパク質 ②、遺伝子の発現とエピゲノム	WebClass: [D1 生命の分子的基盤] 3-1)2024 講義 Ⅲ-1 (タンパク質) / 3-2)2024 講義 Ⅲ-2 (遺伝子の発現制御とエピゲノム)	小林 美穂	DNA からタンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節機構を理解する。遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解する。染色体分析と DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を理解する。
11-12	10/11	10:45-12:25	特別講堂	演習: DNA・RNA・タンパク質 ②、遺伝子の発現とエピゲノム	(AL)※討議として、授業内容をもとにした質問に回答してもらい、意見を募ります。※演習として小テスト(設問の回答と解説)を行います。	小林 美穂	DNA からタンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節機構を理解する。遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解する。染色体分析と DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を理

							解する。
13-14	12/6	08:50-10:30	特別講堂	対面試験		小林 美穂	

授業方法

◆Webclass による非同期型遠隔授業は、その講義内容をもとに実施する対面授業または遠隔同期までに視聴すること。

◆対面授業では、Webclass による非同期型遠隔授業の内容をもとに討議・グループディスカッション等のアクティブラーニングや小テストを実施する。

◆Zoom による同期型遠隔授業では、Webclass による非同期型遠隔授業の内容をもとにチャット機能を用いた討議・グループディスカッションや小テスト、オンライン講義を生かして実際に手を動かす演習(NCBI データベースを用いた遺伝子解析等)などのアクティブラーニングを中心に実施する。

※対面および遠隔同期型授業では質問への回答を行う時間を設けます。

成績評価の方法

2024 年 12 月 6 日に対面による筆記試験を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

最終試験で 90 点以上をとると「A+」、70 点以上をとると「B(歯科医師国家試験合格レベルに相当)」

準備学習等についての具体的な指示

初回の講義(10 月 1 日)までに、WebClass: D1 生命の分子的基盤 「事前ガイダンス_遺伝の分子的基盤」を聴講しておくこと。

高校の「化学」および「生物」の教科書に書かれている内容を充分に理解していることが前提で講義を行います。

これらの理解が不充分と思われる場合は、事前に基礎生物学・基礎化学について復習して授業にのぞむこと。

試験の受験資格

◆全授業時間数のうち、3分の2以上出席していることが望ましいが、必須ではない(遠隔:同期・非同期を含む)。

・遠隔非同期:webclass 視聴履歴時間が 100%に満たない場合は欠席とする。

・遠隔同期:Zoom 講義への出席時間が半分以上および講義中の質問に対するチャットでの回答をもって出席とする。

・対面講義:カードタッチ及び小テストの提出をもって出席とする。

構成ユニット

ユニット名:遺伝の分子的基盤

モジュールの単位判定

各ユニットごとに成績判定を行い、その上でモジュールの単位判定を行う。

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎著,前野, 正夫,磯川, 桂太郎,:羊土社, 2016

エリオット生化学・分子生物学／Despo Papachristodoulou [ほか] 著 ; 村上誠, 原俊太郎, 中村元直訳,Papachristodoulou, Despo K.,Snape, Alison,Elliott, W. H.,Elliott, Daphne C.,村上, 誠,原, 俊太郎,中村, 元直,:東京化学同人, 2016

口腔生化学 = Oral Biochemistry／早川太郎, 須田立雄 監修,早川, 太郎, 1934-,須田, 立雄, 1935-,:医歯薬出版, 2018

参考書

細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳,Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis, Julian,Morgan, David Owen,Raff, Martin C.,Roberts, K. (Keith),Walter, Peter,青山, 聖子,斉藤, 英裕,滋賀, 陽子,田口, マミ子,滝田, 郁子,中塚, 公子,羽田, 裕子,船田, 晶子,宮下, 悦子,中村, 桂子,松原, 謙一,:ニュートンプレス, 2017

ストライヤー生化学／Jeremy M. Berg [ほか] 著,Berg, Jeremy M.,Tymoczko, John L.,Gatto, Gregory J. (Gregory Joseph), Jr,Stryer, Lubert,入村, 達郎,岡山, 博人,清水, 孝雄,仲野, 徹,:東京化学同人, 2018

他科目との関連

本授業内容は、生命の分子的基盤実習および基礎研究実習の基盤となる。

備考

ユニット授業では、アクティブラーニング(実習、演習、課題発表、グループワーク、討論、ディベート、PBL、CBL、TBL 等)として、以下の演習を行う。

・設問への回答(Web ではチャット機能を用いる)と解説。

・DNA の簡易的な模型を作成して DNA 複製の仕組みを体感する。

・NCBI データベースを用いた Web による遺伝子解析。

担当教員の連絡先:
小林美穂 助教(病態生化学分野) メールで連絡してください miho-k.bch@tmd.ac.jp
渡部徹郎 教授(病態生化学分野) メールで連絡してください t-watabe.bch@tmd.ac.jp

時間割番号	021770				
科目名	細胞機能の分子的基盤			科目ID	
担当教員	渡部　徹郎[WATABE TETSURO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤
コマ数:15
授業形態:講義
ユニット番号:03

授業の目的、概要等

生命現象を理解するために生体膜の構造と機能を関連づける。

授業の到達目標

1） 生体膜の基本構造を説明できる。
2） 生体分子(低分子)が膜を横切って移動する仕組みを説明できる。
3） タンパク質が細胞内の異なったコンパートメントに局在化・移動する仕組みを説明できる。
4） 細胞骨格の構造と役割を説明できる。
5） 細胞内情報伝達経路の仕組みを説明できる。
6） 細胞周期、細胞分裂、細胞死の仕組みを説明できる。
7） 細胞外マトリックスの構造と役割を説明できる。
8） 唾液の生成の仕組みを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	10/8	08:50-12:25	特別講堂	生体膜の構造と機能	生体膜の機能　低分子の膜輸送 細胞内小器官・細胞内輸送	渡部　徹郎	脂質二重層の形成を説明できる。生体膜の物質透過性を説明できる。 受動輸送と能動輸送を説明できる。 細胞内小器官の機能を説明できる。 翻訳中輸送、核輸送のしくみを説明できる。
5-8	10/18	08:50-12:25	遠隔授業(非同期型)	細胞骨格　シグナル伝達	細胞骨格と細胞接着　シグナル伝達	渡部　徹郎	アクチンフィラメント、微小管、中間型フィラメントの機能を説明できる。 細胞接着分子の構造と機能を説明できる。シグナル分子の化学的性質と機能を説明できる。

							受容体の種類と機能を説明できる。
9-12	10/21	08:50-12:25	遠隔授業（非同期型）	細胞外マトリックス	細胞外マトリックス 1, 2	井上 カタジナアンナ	コラーゲン繊維の形成と相互作用する分子を説明できる。代表的なプロテオグリカン分子の構造の特徴と機能を説明できる。 糖鎖の種類を説明できる。
13-15	10/25	08:50-11:30	遠隔授業（非同期型）	細胞周期と細胞死 唾液腺の生化学		渡部 徹郎	細胞死の役割と分子機構を説明できる。 細胞周期を制御する分子機構を説明できる。 唾液の生成の分子機構を説明できる。
16-17	12/6	10:45-12:25	歯学科第4講義室	期末試験		渡部 徹郎	
18-19	12/6	13:30-15:10	情報検索室	期末試験		渡部 徹郎	

成績評価の方法

2024 年 2 月 14 日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義資料(動画)を見ながら内容を理解する。

各講義の最後にあるまとめスライドをみて、理解度を確認する。

試験の受験資格

出席要件は試験規則第 5 条 3 項に従う。

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,:医歯薬出版, 2011

参考書

徹底レクチャー唾液・唾液腺／日本唾液腺学会 編,吉原俊雄 監修,:金原出版, 2016

・「エリオット 生化学・分子生物学、第 3 版」 エリオットら(東京化学同人)

・「カープ 分子細胞生物学」 カープら(東京化学同人)

・「ストライヤー 生化学」 L. Stryer ら(東京化学同人)

・「唾液・唾液腺」日本唾液腺学会編 （金原出版）

備考

1-4 の講義は対面でおこない、各自が予め示した課題について予習をおこなった上で、説明を聞いて自己評価をおこなう。

時間割番号	021780				
科目名	生命を構成する分子とその代謝			科目ID	
担当教員	中濵　健一[NAKAHAMA KENICHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤
コマ数:20＋1
必要自習時間　1時間/日
授業形態:講義・演習
ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔授業(同期型)または 1 号館 9 階特別講堂

授業の目的、概要等

生命を構成する分子とその代謝を理解する。

授業の到達目標

1）タンパク質の構造と生物学的機能の関係について理解し、説明できる。
2）酵素の働きとその調節機構について理解し、説明できる。
3）糖代謝とエネルギー生成の仕組みを説明できる。
4）脂質代謝の仕組みを説明できる。
5）アミノ酸、核酸の代謝の仕組みを説明できる。
6）物質代謝の制御による生体機能の調節について説明できる。
7）代謝とその異常について理解し説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	10/21	08:50-12:25	特別講堂	タンパク質と酵素反応	タンパク質の構造と機能　酵素反応速度　アロステリック酵素　酵素阻害剤	中濵　健一	タンパク質の構造と特徴を理解し、説明できる。酵素反応について理解し、酵素阻害剤の作用機序を説明できる。(講義)
5-8	10/28	08:50-12:25	特別講堂	糖代謝とペントースリン酸回路	解糖系　クエン酸回路　電子伝達系　ペントースリン酸回路	中濵　健一	糖代謝におけるエネルギー産生システムを説明できる。　ペントースリン酸回路の役割を説明できる。　(講義)
9-12	11/1	08:50-12:25	特別講堂	脂質代謝と窒素代謝	脂質の合成・分解　アミノ酸・核酸代謝	中濵　健一	脂質代謝、アミノ酸・核酸代謝を説明できる。(講義)
13-16	11/11	08:50-12:25	特別講堂	代謝の統合	糖-脂質-タンパク質の代謝のつながりと調節機構	中濵　健一	糖-脂質-タンパク質の代謝のつながりと調節機構を説明できる。(講

							義)
17-20	11/15	08:50-12:25	特別講堂	代謝の総合演習	臨床症例の生化学的考察	中濵 健一	人の臨床症状を生化学的に説明できる。(演習)
21	2/12	11:40-12:25	歯学部演習室			中濵 健一	演習室1～4

授業方法

Zoom または対面授業

授業内容

生命を構成する分子とその代謝を理解する。

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業前に必ず予習を行い、積極的に授業に望むこと。具体的には、教科書指定されている図書を参照しながら、配布されたプリントの概略の理解に努める事。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳:東京化学同人, 2007

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

参考書

ストライヤー生化学／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳:東京化学同人, 2004

生化学／キャンベル, ファーレル [著],川嵜敏祐 監訳:廣川書店, 2004

カラー図解人体の正常構造と機能／坂井建雄, 河原克雅 総編集,:日本医事新報社, 2008

イラストレイテッドハーパー・生化学／ハーパー [原著] ; R.K. Murray [ほか著] ; 五十嵐和彦 [ほか訳],Harper, Harold Anthony,Murray, Robert K.,Bender, David A.,Botham, Kathleen M.,Kennelly, Peter J.,Rodwell, Victor W.,Weil, P. Anthony,五十嵐, 和彦,清水, 孝雄,:丸善出版, 2013

口腔生化学／畑隆一郎 [ほか]編著,早川太郎, 須田立雄, 木崎治俊 監修,:医歯薬出版, 2011

ヒューマンバイオロジー : 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005

備考

最終日にグループディスカッション(対面)またはブレイクアウトルーム(Zoom の場合)に少人数割り当て、課題を解き、プレゼンテーションをする(演習)。

連絡先(メールアドレス)

nakacell@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)

時間割番号	021790				
科目名	硬組織生化学の分子的基盤			科目ID	
担当教員	林　幹人[HAYASHI MIKIHITO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態:講義

主な講義場所

第1講義室

授業の目的、概要等

歯や骨など硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤知識を養う。

授業の到達目標

1)骨芽細胞の機能を説明できる。
2)破骨細胞の機能を説明できる。
3)硬組織の病態を説明できる。
4)骨・軟骨代謝に関わる調節因子を理解できる。
5)カルシウム代謝と骨疾患の病態を理解できる。
6)歯および骨発生の分子メカニズムを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/18	08:50-09:35	特別講堂	硬組織概論	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林　幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
2	11/18	09:45-10:30	特別講堂	硬組織概論	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林　幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。

3	11/18	10:45-11:30	特別講堂	軟骨・骨	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
4	11/18	11:40-12:25	特別講堂	軟骨・骨	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
5	11/22	08:50-09:35	特別講堂	骨芽細胞・骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
6	11/22	09:45-10:30	特別講堂	骨芽細胞・骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
7	11/22	10:45-11:30	特別講堂	骨芽細胞・骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統

					的知識を養う。		合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
8	11/22	11:40-12:25	特別講堂	骨芽細胞・骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
9	11/25	08:50-09:35	特別講堂	破骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
10	11/25	09:45-10:30	特別講堂	破骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
11	11/25	10:45-11:30	特別講堂	破骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤

							的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
12	11/25	11:40-12:25	特別講堂	破骨細胞	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
13	11/26	08:50-09:35	特別講堂	骨代謝とサイトカイン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
14	11/26	09:45-10:30	特別講堂	骨代謝とサイトカイン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
15	11/26	10:45-11:30	特別講堂	骨代謝とサイトカイン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示さ

							れた事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
16	11/29	08:50-09:35	特別講堂	Ca 代謝とホルモン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
17	11/29	09:45-10:30	特別講堂	Ca 代謝とホルモン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
18	11/29	10:45-11:30	特別講堂	Ca 代謝とホルモン	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
19	12/3	10:45-11:30	歯学部演習室	ユニット最終判定テスト	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	試験とレポートによる総括的評価を行う。
20	12/3	11:40-12:25	歯学部演習室	ユニット最終判定テスト	歯や骨などの硬組織の知識を統合的に理解し、歯科医科学の基盤的知識を養う。	林 幹人	試験とレポートによる総括的評価を行う。

成績評価の方法

試験およびレポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業前に予習を行い、授業および試験にのぞむこと。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

教科書

口腔生化学:医歯薬出版

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学:羊土社

新骨の科学:医歯薬出版

参考書

口腔生化学(医歯薬出版株式会社)

はじめの一歩の生化学・分子生物学(羊土社)

骨ペディア(羊土社)

生化学・分子生物学　エリオット(東京化学同人)

ヒューマンバイオロジー(医学書院)

骨研究がわかる(羊土社)

新 骨の科学 (医歯薬出版株式会社)

Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal Systems, San Diego, CA:ELSEVIER, 2010

備考

担当教員の Office Hour:

林幹人　准教授(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降

hayashi.csi@tmd.ac.jp

時間割番号	021800				
科目名	生命の分子的基盤実習			科目 ID	
担当教員	井上　カタジナアンナ，林　幹人[INOUE KATAJINAANNA, HAYASHI MIKIHITO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:生命の分子的基盤
コマ数:18+0
授業形態:講義・演習
ユニット番号:05

主な講義場所

基礎実習室

授業の目的、概要等

生命を構成する主要な分子(核酸、タンパク質)の性質について実習を通して理解する。

授業の到達目標

1)核酸の性質を理解し、核酸研究方法を習得する。
2)タンパク質の性質を知るための生化学的手法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	10/25	13:30-17:05	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	分子生物学実習	林　幹人，中濵　健一，佐々木　純子，長谷川　純矢
5-8	10/28	14:25-18:00	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	分子生物学実習	林　幹人，中濵　健一，佐々木　純子，長谷川　純矢
9-12	10/29	14:25-18:00	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	分子生物学実習	林　幹人，中濵　健一，佐々木　純子，長谷川　純矢
13-16	11/8	14:25-18:00	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	生化学実習	井上　カタジナアンナ，渡部　徹郎，中濵　健一，竹内　純，小林　美穂，高橋　和樹，弓削　進弥
17-20	11/11	14:25-18:00	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	生化学実習	井上　カタジナアンナ，渡部　徹郎，中濵　健一，竹内　純，小林　美穂，高橋　和樹，弓削　進弥

21-24	11/12	14:25-18:00	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	生化学実習	井上 カタジナアンナ, 渡部 徹郎, 中濵 健一, 竹内 純, 小林 美穂, 高橋 和樹, 弓削 進弥	

成績評価の方法

・レポート作成

準備学習等についての具体的な指示

実習前に WebClass の教材を用いて必ず予習を行い、積極的に実習に望むこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・WebClass の教材を4分の3以上視聴していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

（AL） 実験、グループディスカッション

時間割番号	021810				
科目名	人体の構造と機能(歯の解剖)			科目ID	
担当教員	岩永　譲, 吹野　恵子, 北河　憲雄[WANAGA JO, FUKINO Keiko, KITAGAWA NORIO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目名:人体の構造と機能(歯の解剖学)
ユニット責任者:岩永譲
開設時期:1年　後期
コマ数(授業コマ数＋試験コマ数):16(講義実習)+2(筆記試験)
授業形態:講義　・実習
試験:に筆記試験を実施(鑑別試験とは別)

授業日程

9/ 30(月)午後(対面講義・実習)13:30-17:05
10/1(火)午後(対面講義・実習)13:30-17:05
10/7(月)午後(対面講義・実習)13:30-17:05
10/8(火)午後(対面講義・実習)13:30-17:05

10/8(火)の義実習時間内に歯の鑑別試験を行う。
12/9(月)に筆記試験を行う。

主な講義場所

講義・実習:1 号館 9 階特別講堂

授業の目的、概要等

ヒトの乳歯と永久歯の正常な形態、歯列、咬合を学び、歯の形態の特徴と機能の関係や臨床科目との関連を理解する。
歯の英語用語を覚え、歯の形態について、図表を使ってわかりやすく説明する能力を身につける。

授業の到達目標

1)　乳歯と永久歯の名称と、個々の歯の形態的特徴を説明できる。
2)　歯を正しく鑑別できる。
3)　歯列と咬合について説明できる。
4)　永久歯の形態異常を説明できる
5)　歯の英語用語を使用できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/30	13:30-14:15	
2	9/30	14:25-15:10	
3	9/30	15:25-16:10	
4	9/30	16:20-17:05	
5	10/1	13:30-14:15	

6	10/1	14:25-15:10	
7	10/1	15:25-16:10	
8	10/1	16:20-17:05	
9	10/7	13:30-14:15	
10	10/7	14:25-15:10	
11	10/7	15:25-16:10	
12	10/7	16:20-17:05	
13	10/8	13:30-14:15	
14	10/8	14:25-15:10	
15	10/8	15:25-16:10	
16	10/8	16:20-17:05	
17	12/9	08:50-09:35	
18	12/9	09:45-10:30	

成績評価の方法

授業態度、鑑別試験のほかに、12 月 9 日に実施される筆記試験の結果をもとに包括的評価をする。

筆記試験

選択式問題　25題

記述式問題　10題

準備学習等についての具体的な指示

特に事前の予習は必要ないが、講義実習後の復習が重要となる。歯学科の学生となり、初めてとなる歯に関する授業である。耳慣れない用語が多く登場し、その場で 100%理解することはほぼ不可能である。必ず復習を行うこと。

試験の受験資格

講義・実習は全て出席しなければならない。

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

歯の解剖学／藤田　恒太郎／原著,:金原出版, 1995

ウォールフェルの歯科解剖学図鑑／リッケン・C・シャイド, ガブリエラ・ワイス著 ; 金英姫, 車谷雅子, 難波寛子訳,Scheid, Rickne C.,Weiss, Gabriela,前田, 健康,金, 英姫,車谷, 雅子,難波, 寛子,:ガイアブックス, 2015

参考書

簡明歯の解剖学／三好作一郎 編著,:医歯薬出版, 1996

歯の解剖学入門／赤井三千男 編,:医歯薬出版, 1990

歯の解剖学と歯型彫刻法／菊池憲一朗, 影山幾男, 春原正隆編著,菊池, 憲一朗,影山, 幾男,春原, 正隆,:永末書店, 2021

履修上の注意事項

自宅等での勉強のため、歯の模型を貸し出すが、決められた期限に返却のない学生は最終成績評価の際に減点対象とする。その他、実習に必要な器具等は特にない。

備考

本授業においては講義時実習時ともにアクティブラーニングを行う。

欠席の際は北河准教授まで理由を添えて連絡をすること(kitagawa.omfa@tmd.ac.jp)

参照ホームページ

過去に行った本授業の内容は Journal of Dental Education にて 2023 年に論文として当分野から発表した。興味のある学生は参照してほしい。

https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/jdd.13254

時間割番号	021820				
科目名	研究入門Ⅰ			科目ID	
担当教員	笛木　賢治[FUEKI KENJI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目:研究入門1
開設時期:1 年　後期
コマ数(授業コマ数+試験コマ数):14 + 0
授業形態:講義と討論(アクテイブラーニング)

主な講義場所

遠隔(オンライン)で講義を実施する.

授業の目的、概要等

研究に関する導入編として，研究者を講師として，具体的な研究活動と経験に関する講義を行う. 講義を通じて研究者の生の声に触れることで，研究とは何かについて知り，研究の面白さと意義を理解することで，研究に対するモチベーションを高め次年度以降の研究入門と研究実習への円滑な導入を図ることを目的とする.

授業の到達目標

1)研究の活動内容と意義を説明できる.
2)研究の種類と特徴を説明できる.
3)研究を行う上で必要な知識、技能、適切な態度を説明できる.
4)研究結果を科学的に検証する方法を説明できる
5)研究を社会に還元する方法を説明できる.
6)研究を行う上で守る規範を説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/20	10:45-12:25	その他	講義 1ー2	イントロダクション	笛木　賢治
3-6	9/20	13:30-17:05	その他	講義 3ー6		笛木　賢治
7-10	9/27	13:30-17:05	その他	講義 7ー10		笛木　賢治
11-14	10/3	13:30-17:05	その他	講義 11ー14		笛木　賢治

授業方法

遠隔(オンライン)で同期または非同期での講義を行う. 同期型講義後には講師との質疑討論を行う.

授業内容

研究に関する導入編として，研究者を講師として，具体的な研究活動と経験に関する講義を行う.

成績評価の方法

授業の出席と授業後アンケートの回答状況で評価する.

準備学習等についての具体的な指示

事前学習として必要な資料は，授業2日前までに Web Class 上に掲示するので，必ず閲覧すること.

試験の受験資格

本科目の全授業時間数の2／3以上出席すること

構成ユニット

01　研究入門Ⅰ

モジュールの単位判定

本科目の単位を取得するためには、01ユニットに合格していなければならない。科目の合格および単位判定に際しては、授業出席コマ数と授業後アンケートの回答を判断材料とする。

参考書

理化学研究所　科学道 100 冊
https://kagakudo100.jp/

他科目との関連
研究入門Ⅰは，次学年以降に実施する研究入門Ⅱ，Ⅲおよび研究実習Ⅰ,Ⅱ，Ⅲの導入編である.
備考
連絡先:笛木賢治　kunfu.rpro@tmd.ac.jp　オフィスアワー(木:13:00ー17:00)

時間割番号	021830				
科目名	研究入門Ⅰα			科目ID	
担当教員	笛木　賢治[FUEKI KENJI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目:研究入門Ⅰα(自由科目)
開設時期:1 年　後期コマ数(授業コマ数+試験コマ数):40 + 0
授業形態:実習
※　履修希望者が多い場合には分野配属がかなわない場合があります.

主な講義場所
配属先の研究室

授業の目的、概要等
研究入門Ⅰの発展型として実習形式の授業を行う. 受講を希望する学生を基礎系研究室に配属し, 研究室のメンバーと直接に触れ合い活動を共にする場を提供する. これにより, 研究の実際について体験的に理解を深め, 3 年次での研究実習Ⅱでの分野配属での研究活動への円滑な導入を図る.

授業の到達目標
1)配属先の研究室の研究分野を説明できる.
2)配属先の研究者の研究活動内容を説明できる.
3)研究の実際について体験し理解したことを説明できる.

授業方法
配属先の研究室に出向き, 研究室のメンバーと直接に触れ合い活動を共にする.

授業内容
配属した研究のテーマ

成績評価の方法
授業(配属先分野)への出席回数と態度, レポートの内容で評価する.

準備学習等についての具体的な指示
配属先分野の教員と相談すること

試験の受験資格
本科目の全授業コマの 3/4 以上出席すること

構成ユニット
01 研究入門Iα

モジュールの単位判定
本科目の単位を取得するためには、01ユニットに合格していなければならない。科目の合格および単位判定に際しては、実習参加回数とレポートを判断材料とする。

他科目との関連
次年度以降の研究入門, 研究実習へ発展させる.

備考
・分野配属先の選定に際して, 事前に面接を行います.
・次年度の活動した内容について報告会を開催する予定です.

連絡先:笛木賢治　kunfu.rpro@tmd.ac.jp　オフィスアワー(木:13:00－17:00)

時間割番号	021840				
科目名	AI・データサイエンスのための数学			科目 ID	
担当教員	中林　潤, 中山　まどか[NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所

同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

数論など数学の基本から始めて、微積分や代数、行列など基礎数学について学び、AI やデータサイエンスを習得するために必要な数理リテラシーを身につける。

授業の到達目標

数論や微積分、代数、行列などの基礎的知識を理解し、AI・データサイエンスを習得するのに必要な数学的基礎知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/19	10:45-11:30	
2	9/19	11:40-12:25	
3	9/26	10:45-11:30	
4	9/26	11:40-12:25	
5	10/3	10:45-11:30	
6	10/3	11:40-12:25	
7	10/10	08:50-09:35	
8	10/10	09:45-10:30	
9	10/10	10:45-11:30	
10	10/10	11:40-12:25	
11	10/24	08:50-09:35	
12	10/24	09:45-10:30	
13	11/7	08:50-09:35	
14	11/7	09:45-10:30	
15	11/21	08:50-09:35	
16	11/21	09:45-10:30	
17	12/5	08:50-09:35	
18	12/5	09:45-10:30	
19	12/19	08:50-09:35	
20	12/19	09:45-10:30	
21	1/15	08:50-09:35	
22	1/15	09:45-10:30	
23	1/16	08:50-09:35	
24	1/16	09:45-10:30	
25	1/22	08:50-09:35	
26	1/22	09:45-10:30	
27	1/23	08:50-09:35	
28	1/23	09:45-10:30	
29	1/30	10:45-11:30	
30	1/30	11:40-12:25	

授業方法

講義と実習により進める
授業内容 数論、微積分、代数、行列、確率
成績評価の方法 出席状況と授業中の態度、授業内課題と最終レポートの点数などを勘案して総合的に判断する
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」に従う。
準備学習等についての具体的な指示 特に準備学習は不要であるが、講義後の復習を行い毎回の講義内容をしっかり理解することが重要である。
試験の受験資格 授業数の 2/3 以上の出席
他科目との関連 「医療と AI･ビッグデータ入門」の講義を理解し、実習を行うための基礎知識となる。

時間割番号	021850				
科目名	医療と AI･ビッグデータ入門			科目 ID	
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 清水 秀幸, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 木下 淳博, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 角 勇樹, 平川 晃弘, 須藤 毅顕, 石丸 美穂, 曹 日丹, 中山 まどか, 中島 義和, 江花 有亮[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Junn, TAKAHASHI Kunihiko, BANNNAI Hideo, SHIMIZU Hideyuki, HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, TOKUNAGA SHINICHI, KINOSHITA ATSUHIRO, OKADA ERIKO, NAWA Nobutoshi, KASHIMADA Ayako, MORITA KUMIKO, TSUCHIDA Yuumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI YASUO, SUMI YUKI, HIRAKAWA Akihiro, SUDOU Takeaki, ISHIMARU MIHO, SOU Hitann, NAKAYAMA Madoka, NAKAJIMA Yoshikazu, EBANA YUSUKE]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2ー1)

主な講義場所

同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理･データサイエンス･AI の基礎的素養を習得する。

なぜ、数理･データサイエンス･AIを学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康･医療分野での AI の活用事例を学ぶ。

将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。

授業の到達目標

･社会で起きている変化を理解し、数理･データサイエンス･AI を学ぶことの意義を説明できる。
･AI を活用した新しいビジネス/サービスを説明できる
･どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。
･データ･AI を活用するために使われている技術を概説できる。
･データ･AI を活用することによって、どの様な価値が生まれているかを説明できる。
･データ･AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。
･データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	10/17	10:45-11:30	
2	10/17	11:40-12:25	
3	10/31	10:45-11:30	
4	10/31	11:40-12:25	
5	11/7	10:45-11:30	
6	11/7	11:40-12:25	
7	11/14	10:45-11:30	
8	11/14	11:40-12:25	
9	11/28	10:45-11:30	
10	11/28	11:40-12:25	
11	12/5	10:45-11:30	
12	12/5	11:40-12:25	
13	1/9	10:45-11:30	
14	1/9	11:40-12:25	
15	1/16	10:45-11:30	

16	1/16	11:40-12:25	
17	1/22	10:45-11:30	
18	1/22	11:40-12:25	
19	1/23	10:45-11:30	
20	1/23	11:40-12:25	
21	1/29	10:45-11:30	
22	1/29	11:40-12:25	
23	1/30	10:45-11:30	
24	1/30	11:40-12:25	
25	2/6	10:45-11:30	
26	2/6	11:40-12:25	
27	2/13	10:45-11:30	
28	2/13	11:40-12:25	

授業方法

・前半は講義、後半はグループによる演習を行う。

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:

社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習:

データハンドリング、機械学習など

成績評価の方法

・各講義後の webclass 上の課題および各演習後のプログラミング課題により成績評価を行う。

・試験は実施しない。

・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席したこととして扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

成績評価の基準

・科目責任者が応用演習中に行う課題を主として判定する。

・期限を過ぎて提出された課題は、「遅延課題」として評価する。

・課題をすべて提出し、提出された成果物によりすべての課題の到達目標に達していると判断された場合は B 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす。

・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす。

・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。

参考書

参考書

・東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,:マイナビ出版, 2019

・データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,:講談社, 2019

・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社

・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative
・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社
・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社
・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社
他科目との関連
・情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる。
履修上の注意事項
・グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。
備考
・実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。
・事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと
オフィスアワー
中林 潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9
木下 淳博:金 16:00－17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野
曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00–PM.5:00 10 号館 3 階 301 室
須藤 毅顕:毎週火曜日 AM.11:00–PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室
連絡先（メールアドレス）
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp
曹 日丹:caoemdv@tmd.ac.jp
須藤 毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp

連絡先（メールアドレス）
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp
岡田 英理子:eriko.gast@tmd.ac.jp
曹 日丹:caoemdv@tmd.ac.jp

オフィスアワー
中林 潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9
木下 淳博:金 16:00－17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野
岡田 英理子:随時
曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00–PM.5:00 10 号館 3 階 301 室

時間割番号	021860				
科目名	アカデミック・リテラシー			科目 ID	
担当教員	木谷真紀子				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

「アカデミック・リテラシー」は、調査力・思考力・表現力・コミュニケーション能力を総合的に向上させ、高校までの学習に対する受動的な意識から、大学生としての主体的な学びの意識へと早期に転換させることを目指した取り組みである。「文章表現リテラシー」「情報活用リテラシー」「口頭表現リテラシー」で構成される。大学生活や今後に向け、調査、分析、考察し、論理的また明確に文章にし、またプレゼンテーションやディスカッションなどをする能力を身につけることを目標とする。

主な講義場所

国府台キャンパスにて対面で実施予定。

授業の目的、概要等

1情報活用リテラシー ： レポートや論文などアカデミックな論理的文章の執筆や、発表のために必要で正確な情報を収集し、活用できるようになる。

2文章表現リテラシー ： 複数の文献を用いて 3000 字以上の論理的文章が書けるようになる。

3口頭表現リテラシー ： PPT を用いたアカデミックプレゼンテーションができるようになる。

授業の到達目標

1情報活用リテラシー

・研究倫理の観点から、情報収集のために必要なリテラシーを身につける

・複数の情報を比較して、情報を精査する視点を得ることができるようになる

2文章表現リテラシー

・論理的に展開するための定型に則った文章を書けるようになる

・自ら問いを立て、調査やデータに基いた考察分析ができるようになる

3口頭表現リテラシー

・論理的に展開するためのを身につけることができる

・定型に則った明解なプレゼンテーションができるようになる

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/19	08:50-09:35	
2	9/19	09:45-10:30	
3	9/26	08:50-09:35	
4	9/26	09:45-10:30	
5	10/4	08:50-09:35	
6	10/4	09:45-10:30	
7	10/24	08:50-09:35	
8	10/24	09:45-10:30	
9	10/31	08:50-09:35	
10	10/31	09:45-10:30	
11	11/14	08:50-09:35	
12	11/14	09:45-10:30	
13	11/28	08:50-09:35	
14	11/28	09:45-10:30	
15	12/12	08:50-09:35	
16	12/12	09:45-10:30	

授業方法

文章表現、情報活用、口頭表現の三種類の内容で構成し、担当者が講義を行う。受講者には、課題の執筆や口頭発表、ディスカッションなどを課す。アクティブラーニング形式で行うため、出席し、能動的な態度で臨むこと。

授業内容

1. ガイダンス
・リテラシー授業、今後の課題について説明
・自己紹介文執筆、提出(400 字)
・文献検索と引用法について Zoom 講義で振り返り
2. 情報活用Ⅰ、文章表現Ⅰ
書評とディスカッションへの記事提出
優れた自己紹介文の紹介、メールの書き方、論理的文章の型や、レポートの描き方など説明。この授業で書く 3000 字のレポートについての説明。
3. 情報活用Ⅱ、口頭表現Ⅰ、文章表現Ⅱ
ディスカッションで提出した記事について、他紙、全国紙、地方紙などを提出、記事内容の比較分析。情報倫理・研究倫理の要点について Zoom 講義で説明。
ディスカッションについての説明の後、新聞記事に基づいたディスカッション
提出した記事から引用した論理的文章の提出。
4. 情報活用Ⅲ、文章表現Ⅲ
記事の比較分析、ディスカッションを通して考えたことなどを提出。書評記事を提出。
前回の文章の返却。それに基づいた説明。
5. 文章表現Ⅳ、口頭表現Ⅱ
第 4 回で提出した書評を引用し書籍を紹介する文章の提出。
アカデミックプレゼンテーションの型、スライドの作成方法など説明。
ブックトークについての説明。
6. 口頭表現Ⅲ
第 4 回で提出した書籍の、PPT を用いたブックトークの実施。
7. 文章表現Ⅴ、情報活用Ⅳ
この授業で書く 3000 字のレポートについてのテーマの決定。
自分のテーマに基づく、アンケート、インタビューの実施について。
アンケート項目の検討と提出。

成績評価の方法

情報活用の課題 30%、文章表現の課題 30%、口頭表現 20%、
期末コメントシート 20%

成績評価の基準

(授業開始前)授業内容を把握し、学期を通して扱う書評と、ディスカッションのテーマとしたい記事を探し、初回授業で提出する。
(授業開始後)シラバスに則った課題を遅れることなく提出する。

準備学習等についての具体的な指示

与えられた課題に取り組み、〆切を遅れず提出すること。

試験の受験資格

授業内の課題を提出し、3 分の 2 以上の授業に出席していること。

教科書

授業内で指示。

参考書

授業内で指示。

他科目との関連

グローバル教養総合講座「情報活用」。また本講義で学んだアカデミック・リテラシーを、他の授業でいかす。

履修上の注意事項

「アカデミック・リテラシー」そのものを身につける授業であるため、生成 AI などの使用が認められた場合は、厳しく対応する。　課題は遅れることなく提出すること。授業には能動的に臨むこと。

時間割番号	021870				
科目名	生命科学基礎			科目ID	
担当教員	奈良　雅之, 伊藤　正則[NARA MASAYUKI, ITO MASANORI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

・曜日・時間:不定期
・対象学科:歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

生命科学基礎(生物学):国府台キャンパス
生命科学基礎(化学):湯島キャンパス

授業の目的、概要等

(生物学)生命現象を分子、細胞、個体レベルで理解し、得られた知識を根拠にして疾患の発症機構や治療法を論理的に説明できるようになる。

(化学)前期の化学 D で勉強した原子・分子の構造論、化学熱力学をさらに深めることにより、生命現象を物理化学の理論に基づいて理解します。

授業の到達目標

(生物学)①生命現象を分子、細胞、個体レベルで理解できる。
②①で得た知識を論理的に活用して疾患の発症機構や治療法を説明することができる。

(化学)①相平衡、化学平衡、酸化還元平衡を熱力学の原理に基づいて理解できる。
②反応速度論、酵素反応速度論について理解できる。
③講義内容に関する演習問題や参考文献を自学自習で取り組むことができる。

授業で扱った関連した文献や演習問題を概ね理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	11/14	13:30-17:05		血液　代謝	血液の組成と機能を理解する。代謝の特徴を理解する。	伊藤　正則	授業形態(対面(講義室))
5-8	11/21	13:30-17:05		化学反応速度論	反応速度論の基本事項を理解した上で、酵素反応の理解を深める。	奈良　雅之	授業形態(対面(講義室))
9-12	11/28	13:30-17:05		内分泌	内分泌の仕組みを理解する。	伊藤　正則	授業形態(対面(講義室))
13-15	12/5	13:30-16:10		神経	神経系の構造と機能を理解する。	伊藤　正則	授業形態(対面(講義室))
16-19	1/7	13:30-17:05	特別講堂	熱力学の原理	熱力学の法則を確認した上で、ギブスエネルギー、熱力学的関係式を理解する。	奈良　雅之	授業形態(対面(講義室))
20-23	1/10	13:30-17:05	特別講堂	化学ポテンシャル	開放系の熱力学について学び、相平衡、溶液の取り扱いについて理解する。	奈良　雅之	授業形態(対面(講義室))
24-27	1/14	13:30-17:05	特別講堂	化学平衡と酸化還元平衡	熱力学の平衡論への応用として、化学平衡、酸化還元平衡の原理を	奈良　雅之	授業形態(対面(講義室))

					理解する。		
28-30	1/17	14:25-17:05	歯学部演習室	分子細胞	生命現象を分子・細胞レベルで理解する。	伊藤　正則	授業形態(対面(講義室))

授業方法

授業は基本的に講義形式で進めますが、適宜、課題問題の演習、答案の発表などアクティブラーニングを取り入れます。

成績評価の方法

評価:試験(定期試験)100%・レポート 0%・その他 0%

再評価:有 (再評価方法　再試験)

生物学 50%, 化学 50%のウエイトで評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上の出席

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎著,前野, 正夫,磯川, 桂太郎,:羊土社, 2016

からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木, 明徳,井上, 貴央,:西村書店, 1998

化学熱力学／原田義也著,原田, 義也,:裳華房, 2012

参考書

Molecular biology of the cell／Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,Johnson, Alexander D,Lewis, Julian, 1946-2014,Morgan, David Owen, 1958-,Wilson, John, 1944-,Hunt, Tim, 1943-:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

化学／奈良雅之著,奈良, 雅之,:医歯薬出版, 2020

反応速度論／真船文隆, 廣川淳著,真船, 文隆,廣川, 淳,:裳華房, 2017

連絡先(メールアドレス)

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	021890				
科目名	英語 II: Academic Reading			科目 ID	
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

・曜日・時間:水曜5・6限(3講)
・対象学科:歯学部
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

さまざまなテーマについて英語の原文を読書します。 また、学生が書いた文章と専門家が書いた文章の両方について話し合い、評価します。

このコースの主な目標は、英語の読解力を向上させることです。

授業の到達目標

(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

新しい語彙を理解して使用することができる

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の3点を満たすことが、B 評価(70点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
2	4/10	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 1	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
3	4/10	14:25-15:10	未定, 遠隔授業	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワ

			(同期型)				ーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
4	4/17	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
5	4/17	14:25-15:10	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 2	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
6	4/24	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion test 1	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
7	4/24	14:25-15:10	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
8	5/1	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
9	5/1	14:25-15:10	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
10	5/8	13:30-14:15	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion 4	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
11	5/8	14:25-15:10	未定, 遠隔授業(同期型)	Discussion test 2	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571

							Passcode: 351911
12	5/15	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
13	5/15	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
14	5/22	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
15	5/22	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
16	9/18	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
17	9/25	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 1	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
18	9/25	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
19	10/2	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
20	10/2	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 2	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクション

							ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
21	10/9	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion test 1	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
22	10/9	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
23	10/16	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
24	10/16	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
25	10/23	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 4	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
26	10/23	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion test 2	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
27	10/30	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
28	10/30	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

29	11/6	13:30-14:15	未定，遠隔授業（同期型）	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
30	11/6	14:25-15:10	未定，遠隔授業（同期型）	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

授業方法

スキルの指導と実践

授業内容

クラス1: Orientation

クラス 2—11: Skills Instruction and Continuous Assessment

クラス 12—15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30%　assignments: 30%　final assessments: 40%

再評価はありません

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目（1単位）は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

教科書

We will use articles from the internet.

参考書

Reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

参照ホームページ

連絡先（メールアドレス）
JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	021900				
科目名	英語Ⅱ: Global Connections			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

・曜日・時間:水曜 3 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English
様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる

To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English
英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)

To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting
国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/18	13:30-14:15	遠隔授業（同期型）	Orientation	Introduction to course	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom Meeting ID: 974 0503 2702 Passcode: 803253
2-3	9/25	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
4-5	10/2	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6-7	10/9	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8-9	10/16	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
10-11	10/23	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
12-13	10/30	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
14-15	11/6	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Active and thoughtful participation: 80%　Group discussion: 20%

再評価:　再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目（1単位）は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項 教員がとる出欠を優先します。
連絡先(メールアドレス) PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00 管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	021910				
科目名	英語Ⅱ: Conversation Ⅰ			科目ID	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

・曜日・時間:水曜 3 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ, "Conversation Ⅰ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation Ⅰ	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode: 575373
2-3	4/10	13:30-15:10	遠隔授業	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse	Active Learning,

			(同期型)			Ryan	Seminar, Zoom 同上
4-5	4/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	4/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	5/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	5/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	5/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上
14-15	5/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上
16	9/18	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode: 575373
17-18	9/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
19-20	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
21-22	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
23-24	10/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
25-26	10/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
27-28	10/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
29-30	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50%　Homework: 10%　English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30–13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	021920				
科目名	英語Ⅱ: Conversation Ⅱ			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

・曜日・時間:水曜 3 講(ただし、後期は水曜 3 講および 5 講)
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ "Conversation Ⅱ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/29	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation Ⅱ	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode:

							575373
2-3	6/5	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	6/12	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	6/19	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	6/26	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	7/3	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	7/10	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	7/17	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
16-17	11/13	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 1, Class 2	Intro to Conversation Ⅱ, Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode: 575373
18	11/13	17:15-18:00	遠隔授業（同期型）	Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
19-20	11/20	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
21-22	11/20	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
23-24	11/27	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
25-26	11/27	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
27-28	12/4	13:30-15:10	遠隔授業（同期型）	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
29-30	12/4	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法 Skills Instruction and Practice
授業内容 Class 1: Orientation Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 Conversation Ⅱ 評価:Attendance & Participation: 40%　Homework: 10%　English Interview: 25%　Discussion Test: 25% 再評価:　再評価はありません。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。
履修上の注意事項 教員がとる出欠を優先します。

時間割番号	021940			
科目名	International Course For Clinical Dentistry L1		科目ID	
担当教員	Janelle Renee MOROSS, 關　奈央子[Janelle Renee MOROSS, SEKI Naoko]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業	該当する			

授業形態:演習

主な講義場所

遠隔授業

オンデマンド教材とオンラインセッション(入室のための ID とパスワードは WebClass に掲示)

授業の目的、概要等

歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)は学部学生の臨床的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。

ICCD は学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能にします。

ディスカッションや、問題解決のためにチームで仕事をしたり、論理的な議論を作り上げたりする機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本を強化します。

授業の到達目標

全てのレベル(L1-3)を修了したとき、

1. 英語の理解能力を向上
2. 歯学分野の英語の語彙力を向上
3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション
4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解

することができる。

コース修了時、

1. 文化的コンピテンシーの向上
2. ネットワーキング能力の向上
3. 問題解決能力の向上
4. 英語で臨床歯学を学修すること
5. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得
6. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上
7. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得

を期待できます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/4	17:00-17:50	遠隔授業(同期型)	1. イントロ　Zoom ID は後日配布	・コースイントロダクション(日本語)　・本コースをプロデュースする臨床系教員との対談(日本語)　※前後で 9/11 プレゼンの打ち合わせがあります。	金澤 学, 駒田 亘, 關 奈央子, 水谷 幸嗣, 駒ヶ嶺 友梨子, 畑山 貴志, 米満 郁男, 金森 ゆうな, 保坂 啓一
2	9/4	17:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	2. プレゼン準備	・プレゼンテーション準備　※WebClass「IL2400215 歯学部国際歯科臨床教育コース L1 2024」の掲示板を適宜使用してください。	金森 ゆうな

3	9/9	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	3. オンデマンド学習配信期間　9/9（月）(9:00)-　13（金）(23:59)	・歯科英単語学習　・リーディング教材	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 駒ヶ嶺　友梨子, 金森　ゆうな
4	9/11	18:30-20:30	遠隔授業（同期型）	4. 国際交流　Zoom ID は後日配布	・自己紹介・プレゼンテーション（国や文化、大学の紹介）　・コミュニケーションアクティビティ	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 金森　ゆうな
5	9/12	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	5. 学習確認テスト　配信期間　9/12（木）(9:00)-13（金）(23:59)	・学習確認テスト	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 駒ヶ嶺　友梨子, 金森　ゆうな
6-7	9/18	18:30-20:50	遠隔授業（同期型）	6. 国際交流　Zoom ID は後日配布	・講義　・ディスカッションとプレゼンテーション（「高齢化に付随した問題点と解決策」）　・フィードバック（20:35-20:50）	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 駒ヶ嶺　友梨子
8	9/20	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	7. 復習教材提供　配信期間　9/20（金）(9:00)-27（金）(23:59)	・歯科英単語学習・リーディング教材	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 駒ヶ嶺　友梨子, 金森　ゆうな
9	9/26	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	8. 学習確認テスト　配信期間　9/26（木）(9:00)-27（金）(23:59)	・学習確認テスト	Janelle Renee MOROSS, 關奈央子, 駒ヶ嶺　友梨子, 金森　ゆうな

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキング、WebClass の課題修了が考慮されます。
70%はオンラインセッション（オンライン 1 回目 10%、2 回目 30%（準備含む）、3 回目 30%）、30%はオンデマンド教材により評価されます。

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に WebClass にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加してください。

試験の受験資格

1. オンラインセッションへの出席と参加
定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する準備をしてくること。
各日、予定されているオンラインセッション時間の 2/3 以上の出席をもって出席とみなす。
2. WebClass コースに配信される課題
WebClass の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。当該課題を定められた期間内に履修すること。

参考書

:クインテッセンス出版

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、必要な WebClass のオンデマンド課題を全て修了し、プレゼンテーションを準備し、そして授業でのディスカッションとプレゼンテーションに参加すること。　2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2（D4）レベル 3（D5）でもコースを受講することになります。　3. ICCD は全てのレベル（レベル 1-3）を履修したのちに単位が付与されます。

備考

オンライン授業においては AL（ペア／グループディスカッション、ケース演習など）を行う。

参照ホームページ
参考)https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/
連絡先(メールアドレス)
關　奈央子:nseki.edev@tmd.ac.jp
Janelle Renee MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー
關　奈央子:毎週月曜日　15:00 – 16:00　M&D タワー7階　教員室
Janelle Renee MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	021970				
科目名	人体の構造と機能(人体解剖学)			科目ID	
担当教員	岩永　譲, 吹野　恵子, 北河　憲雄[WANAGA JO, FUKINO Keiko, KITAGAWA NORIO]				
開講時期	2024年度前期	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目名:人体の構造と機能(人体解剖学)
ユニット責任者:岩永譲
開設時期:2年　前期
コマ数(授業コマ数＋試験コマ数):60＋2
授業形態:講義（非同期講義:52コマ/対面講義:8コマ）
試験:9/2に筆記試験を実施

主な講義場所

対面授業(4月8日･15日･23日･5月24日):3号館6階学生実習室

授業の目的、概要等

人体の構造と機能(人体解剖学)は、人体解剖学の総論ならびに各論からなる。人体解剖学の総論は、人体の構造を理解し説明するための基本的事項、ならびに人体の構造の基本的な成り立ちについての学習する。各論は系統解剖および局所解剖に分けて行われる。特に局所解剖においては頭頸部局所解剖への講義時間を多く取ることにより、歯科医師国家試験に重要となる、さらには歯科医療に従事するものとして将来重要となる内容を細かく解説する。近年、歯科医療において一般的な口腔外科手術や画像診断の発達に伴い、より詳細な解剖学的知識が要求されるようになってきた。大学を卒業後にそのような詳細な解剖を学ぶ機会はほとんどなく、この歯学科2年生の時期が今後の長きにわたる歯科医師人生においてもっとも深く解剖学を学べる機会である。将来行う歯科医療に繋げるために、肉眼解剖学の基礎を本授業で身につけて欲しい。

授業の到達目標

本授業における到達目標は、以下のとおりである。
・全身の構造と機能の基本を理解すること
・頭頸部の構造と機能の詳細を理解すること
・別科目として行われる発生学・組織学と関連付けて形態学を多角的な視点で考察ができる知識を身につけること
・歯科臨床に必要な事項と関連づけて理解すること

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	4/8	08:50-09:35	
2	4/8	09:45-10:30	
3	4/8	10:45-11:30	
4	4/8	11:40-12:25	
5	4/9	13:30-14:15	
6	4/9	14:25-15:10	
7	4/9	15:25-16:10	
8	4/9	16:20-17:05	
9	4/12	13:30-14:15	
10	4/12	14:25-15:10	
11	4/12	15:25-16:10	
12	4/12	16:20-17:05	
13	4/15	08:50-09:35	
14	4/15	09:45-10:30	

15	4/15	10:45-11:30	
16	4/15	11:40-12:25	
17	4/16	13:30-14:15	
18	4/16	14:25-15:10	
19	4/16	15:25-16:10	
20	4/16	16:20-17:05	
21	4/19	13:30-14:15	
22	4/19	14:25-15:10	
23	4/19	15:25-16:10	
24	4/19	16:20-17:05	
25	4/22	08:50-09:35	
26	4/22	09:45-10:30	
27	4/22	10:45-11:30	
28	4/22	11:40-12:25	
29	4/23	13:30-14:15	
30	4/23	14:25-15:10	
31	4/23	15:25-16:10	
32	4/23	16:20-17:05	
33	4/26	13:30-14:15	
34	4/26	14:25-15:10	
35	4/26	15:25-16:10	
36	4/26	16:20-17:05	
37	5/13	08:50-09:35	
38	5/13	09:45-10:30	
39	5/13	10:45-11:30	
40	5/13	11:40-12:25	
41	5/14	13:30-14:15	
42	5/14	14:25-15:10	
43	5/14	15:25-16:10	
44	5/14	16:20-17:05	
45	5/17	13:30-14:15	
46	5/17	14:25-15:10	
47	5/17	15:25-16:10	
48	5/17	16:20-17:05	
49	5/20	08:50-09:35	
50	5/20	09:45-10:30	
51	5/20	10:45-11:30	
52	5/20	11:40-12:25	
53	5/21	13:30-14:15	
54	5/21	14:25-15:10	
55	5/21	15:25-16:10	
56	5/21	16:20-17:05	
57	5/24	13:30-14:15	
58	5/24	14:25-15:10	
59	5/24	15:25-16:10	
60	5/24	16:20-17:05	
61	7/5	09:45-10:30	
62	7/8	09:45-10:30	

63	7/9	09:45-10:30	
64	7/12	09:45-10:30	
65	7/16	09:45-10:30	
66	7/19	09:45-10:30	
67	7/22	09:45-10:30	
68	7/23	09:45-10:30	
69	7/26	09:45-10:30	
70	7/29	09:45-10:30	
71	9/2	08:50-09:35	
72	9/2	09:45-10:30	

授業方法

● 対面授業

4 月 8 日・15 日・23 日・5 月 24 日の 4 回(8 コマ)は 3 号館 6 階学生実習室にて対面講義で行われる。その際には通常の講義と同様筆記用具を持参すること。

● 非同期授業

上記以外の日程は指定された動画ならびに講義資料、参考資料を閲覧する。

授業内容

骨学・筋学・神経学・脈管学等の系統解剖を学んだ後に部位別の局所解剖を学ぶ。特に頭頸部の局所解剖には多くの時間を割き解説を行う。

成績評価の方法

人体の構造と機能の評価は、9 月 2 日に実施される筆記試験によって行う。

筆記試験

選択式問題 25 題

記述式問題 10 題

準備学習等についての具体的な指示

本授業では、60 コマある中で 52 コマは非同期講義、8 コマは対面講義(3 号館 6 階学生実習室)である。対面講義の直前にある非同期講義は、対面講義の予習、さらには対面講義の理解を深める内容となっているため、対面講義の事前には非同期講義を視聴しておくことが必須となる。事前の非同期講義の理解度が対面講義の意義をより深いものとする。

試験の受験資格

対面講義(8 コマ)は全て出席しなければならない。

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W.M. Mitchell [原著]; 秋田恵一訳,Drake, Richard L. (Richard Lee),Vogl, Wayne,Mitchell, Adam W. M.,秋田, 恵一,Gray, Henry,:エルゼビア・ジャパン, 2019

人体解剖カラーアトラス／Peter H. Abrahams [ほか] 著 ; 佐藤達夫, 秋田恵一訳,Abrahams, Peter, 1947 Aug.5-,佐藤, 達夫,秋田, 恵一,Spratt, Jonathan D.,Loukas, Marios,Van Schoor, Albert-Neels,McMinn, R. M. H. (Robert Matthew Hay),:エルゼビア・ジャパン, 2021

参考書

Gray's anatomy : the anatomical basis of clinical practice／editor-in-chief, Susan Standring ; section editors, Neel Anand ... [et al.],Gray, Henry,Standring, Susan,Anand, Neel,:Elsevier, 2021

ネッター解剖学アトラス : 電子書籍付／Frank H.Netter 著,相磯貞和, 今西宣晶 訳,Netter, Frank Henry, 1906-1991,相磯, 貞和, 1951-,今西, 宣晶,:エルゼビア・ジャパン, 2022

ビジュアル歯科臨床解剖 : 基礎から応用まで／岩永譲著,岩永, 譲,:クインテッセンス出版, 2020

他科目との関連

「人体の構造と機能」は、「人体解剖学」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」、「発生学」といった他の解剖系科目や「生理学」とも密接な関係にある。　臨床的な事項との関連を、積極的に意識することで、臨床系の科目を学習する際に有機的につなげていくことができる。様々なところで関連を考えながら学んでほしい。

履修上の注意事項

講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁止する。

備考

本授業においては対面講義時にアクティブラーニングを行う。

欠席の際は北河准教授まで理由を添えて連絡をすること(kitagawa.omfa@tmd.ac.jp)

時間割番号	021980				
科目名	人体の構造と機能(人体解剖実習)			科目ID	
担当教員	岩永 譲, 吹野 恵子, 北河 憲雄[IWANAGA JO, FUKINO Keiko, KITAGAWA NORIO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目名:人体の構造と機能(人体解剖実習)
ユニット責任者:岩永譲
開設時期:2年 前期
コマ数(授業コマ数+試験コマ数):120
授業形態:実習
試験:実習時間内に実習試験を 3 回行う

主な講義場所

解剖実習室
歯学部特別講堂(7/26 のみ)

授業の目的、概要等

人体の構造と機能(人体解剖学)の講義で学んだ内容を、献体を自分の手で解剖し、自分の目で観察し、見出した構造を同定して、説明できることを目指す。人体解剖実習は、人体に初めて直接触れる実習である。献体には故人の意思を十分に理解し敬意を払って接しなければいけない。献体について、解剖実習に臨むにあたっての注意については初日(6 月 24 日)に教員から説明を行う。敬意を表現するためにも十分な予習をした上で参加することが求められる。

授業の到達目標

人体解剖学実習に参加し、解剖実習体を人体解剖学実習手順にしたがって
①自分の手で解剖し、
②自分の目で観察し、
③剖出した構造を同定する。

人体を理解するためには、構造の名称をある程度知らなくては理解できないし、構造のもつ意味も理解できない。人体解剖学実習で用いるチェックリストは、実習の理解を深めるために用いる。また、チェックリストの内容については解剖実習の実習班の全員で共有する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	6/24	08:50-09:35	
2	6/24	09:45-10:30	
3	6/24	10:45-11:30	
4	6/24	11:40-12:25	
5	6/24	13:30-14:15	
6	6/24	14:25-15:10	
7	6/24	15:25-16:10	
8	6/24	16:20-17:05	
9	6/25	08:50-09:35	
10	6/25	09:45-10:30	
11	6/25	10:45-11:30	
12	6/25	11:40-12:25	
13	6/25	13:30-14:15	
14	6/25	14:25-15:10	
15	6/25	15:25-16:10	
16	6/25	16:20-17:05	
17	6/28	08:50-09:35	

18	6/28	09:45-10:30	
19	6/28	10:45-11:30	
20	6/28	11:40-12:25	
21	6/28	13:30-14:15	
22	6/28	14:25-15:10	
23	6/28	15:25-16:10	
24	6/28	16:20-17:05	
25	7/1	08:50-09:35	
26	7/1	09:45-10:30	
27	7/1	10:45-11:30	
28	7/1	11:40-12:25	
29	7/1	13:30-14:15	
30	7/1	14:25-15:10	
31	7/1	15:25-16:10	
32	7/1	16:20-17:05	
33	7/2	08:50-09:35	
34	7/2	09:45-10:30	
35	7/2	10:45-11:30	
36	7/2	11:40-12:25	
37	7/2	13:30-14:15	
38	7/2	14:25-15:10	
39	7/2	15:25-16:10	
40	7/2	16:20-17:05	
41	7/5	08:50-09:35	
42	7/5	10:45-11:30	
43	7/5	11:40-12:25	
44	7/5	13:30-14:15	
45	7/5	14:25-15:10	
46	7/5	15:25-16:10	
47	7/5	16:20-17:05	
48	7/8	08:50-09:35	
49	7/8	10:45-11:30	
50	7/8	11:40-12:25	
51	7/8	13:30-14:15	
52	7/8	14:25-15:10	
53	7/8	15:25-16:10	
54	7/8	16:20-17:05	
55	7/9	08:50-09:35	
56	7/9	10:45-11:30	
57	7/9	11:40-12:25	
58	7/9	13:30-14:15	
59	7/9	14:25-15:10	
60	7/9	15:25-16:10	
61	7/9	16:20-17:05	
62	7/12	08:50-09:35	
63	7/12	10:45-11:30	
64	7/12	11:40-12:25	
65	7/12	13:30-14:15	

66	7/12	14:25-15:10	
67	7/12	15:25-16:10	
68	7/12	16:20-17:05	
69	7/16	08:50-09:35	
70	7/16	10:45-11:30	
71	7/16	11:40-12:25	
72	7/16	13:30-14:15	
73	7/16	14:25-15:10	
74	7/16	15:25-16:10	
75	7/16	16:20-17:05	
76	7/19	08:50-09:35	
77	7/19	10:45-11:30	
78	7/19	11:40-12:25	
79	7/19	13:30-14:15	
80	7/19	14:25-15:10	
81	7/19	15:25-16:10	
82	7/19	16:20-17:05	
83	7/22	08:50-09:35	
84	7/22	10:45-11:30	
85	7/22	11:40-12:25	
86	7/22	13:30-14:15	
87	7/22	14:25-15:10	
88	7/22	15:25-16:10	
89	7/22	16:20-17:05	
90	7/23	08:50-09:35	
91	7/23	10:45-11:30	
92	7/23	11:40-12:25	
93	7/23	13:30-14:15	
94	7/23	14:25-15:10	
95	7/23	15:25-16:10	
96	7/23	16:20-17:05	
97	7/26	08:50-09:35	
98	7/26	10:45-11:30	
99	7/26	11:40-12:25	
100	7/26	13:30-14:15	
101	7/26	14:25-15:10	
102	7/26	15:25-16:10	
103	7/26	16:20-17:05	
104	7/29	08:50-09:35	
105	7/29	10:45-11:30	
106	7/29	11:40-12:25	
107	7/29	13:30-14:15	
108	7/29	14:25-15:10	
109	7/29	15:25-16:10	
110	7/29	16:20-17:05	

授業方法

4,5 月に行われた人体の構造と機能(人体解剖学)講義の内容を理解しているという前提で実習を進めていく。

原則的に午前はビデオ実習(非同期)、午後は解剖実習室で解剖(13:30-17:05)を行う。第14回の発表会(歯学部特別講堂)のみ1日対面で

行う。
午前中にビデオで学んだ内容を午後に解剖実習室で実際の献体で詳細を確認することとなる。その際に教員側で準備しているチェックリストの項目をチェックすることで構造物を確認したこととする。詳細については初日(6 月 24 日)に教員から説明を行う。

授業内容

15 日間にわたって解剖実習を行う(最終日は予備日のため何もなければ 14 日間)。第 14 回の発表会以外は第一回の説明会も含め午前は非同期、午後は解剖実習室(13:30-17:05)となる

第 1 回 6 月 24 日(月)説明会
第 2 回 6 月 25 日(火)中枢(脳と脊髄)
第 3 回 6 月 28 日(金)頭蓋底
第 4 回 7 月 1 日(月)中枢(脳と脊髄)と頭蓋底 実習試験
第 5 回 7 月 2 日(火)胸腹部
第 6 回 7 月 5 日(金)上下肢背部
第 7 回 7 月 8 日(月)胸腹部と上下肢背部 実習試験
第 8 回 7 月 9 日(火)頭頸部 1
第 9 回 7 月 12 日(金)頭頸部 2
第 10 回 7 月 16 日(火)頭頸部 3
第 11 回 7 月 19 日(金)頭頸部 4
第 12 回 7 月 22 日(月)頭頸部 5
第 13 回 7 月 23 日(火)頭頸部 6 実習試験
第 14 回 7 月 26 日(金)頭頸部 7 発表会(1 日)歯学部特別講堂
第 15 回 7 月 29 日(月)予備日

成績評価の方法

実習態度、提出するチェックリスト、実習試験(実習中に 3 回)により成績評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

本実習は、事前に実習の流れをビデオ講義で視聴し、そのまま実習に臨めるという非常に実践的な内容となっている。目で見たものを実際に自分の手でその日に確認することができるため記憶にも残りやすい一方、実習の流れを確認せずに実習に臨むと、その 1 日を無駄に過ごすことにもなりかねない。またチェックリストの項目は実習のビデオ講義で全て網羅しているため、ただ単にビデオで見た構造物を献体で観察するだけなく、名称も含め何度も口に出して反復することにより記憶に定着する。実習の前にどれだけビデオ講義を理解しているかで結果は大きく変わる。

試験の受験資格

15 回の人体解剖実習は全て出席しなければならない。
受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W.M. Mitchell [原著]; 秋田恵一訳:エルゼビア・ジャパン, 2019
人体解剖カラーアトラス(電子書籍付)(原書第 8 版)／佐藤 達夫 翻訳,秋田 恵一 翻訳:南江堂, 2021

参考書

ネッター解剖学アトラス : 電子書籍付／Frank H.Netter 著,相磯貞和, 今西宣晶 訳,Netter, Frank Henry, 1906-1991,相磯, 貞和, 1951-,今西, 宣晶,:エルゼビア・ジャパン, 2022
Gray's anatomy : the anatomical basis of clinical practice／editor-in-chief, Susan Standring ; section editors, Neel Anand ... [et al.],Gray, Henry,Standring, Susan,Anand, Neel,:Elsevier, 2021
ビジュアル歯科臨床解剖 : 基礎から応用まで／岩永譲著,岩永, 譲,:クインテッセンス出版, 2020

他科目との関連

履修上の注意事項

解剖実習体については、十分に敬意を払って接すること。人体解剖実習手順、参考資料等、教材は全て著作物であり、著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。実習室内にスマートフォンやカメラの持ち込みを固く禁ずる。解剖実習に関することを SNS 等に書き込みした場合には、厳しい処分を行う。人体解剖実習器具は貸し出しを行う。メス刃、マスク、グローブ等の消耗品と実習着は各自準備が必要となる。詳細はメーリングリスト等でアナウンスするため確認をすること。

備考

欠席の際は北河准教授まで理由を添えて連絡をすること（kitagawa.omfa@tmd.ac.jp ）

時間割番号	021990				
科目名	人体の構造と機能(組織学総論)			科目ID	
担当教員	井関　祥子, 吉本　由紀, 足立　礼孝[ISEKI SACHIKO, YOKOYAMA YUKI, ADACHI Noritaka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、組織学は総論と各論に分けられる。総論は「からだ」を構成する最小構成単位である細胞をまず学び、四大組織(上皮組織・結合組織・神経・筋)の特徴と機能を順に学ぶ。講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●概論●

1)組織標本作製法、観察法を説明できる。顕微鏡を正しく操作できる。
2)細胞内小器官、細胞内骨格、細胞接着装置など細胞の微細構造を説明できる。
3)人体の器官系、器官、組織、細胞の階層を説明できる。
4)4大組織(上皮、結合組織、神経、筋)を列挙し、説明できる。

●上皮組織●

5)上皮組織を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。
6)腺の概念と基本構造、種類を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●結合組織●

7)結合組織を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。
8)結合組織の細胞間を満たす有形・無形成分を説明できる。
9)骨の組織構造を説明でき、形成と改造の仕組みを説明できる。また、切片を見て識別できる。
10)軟骨を分類でき、それぞれの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。
11)血液の構成を説明でき、血球の分類と造血過程を説明できる。また、塗沫標本を見て識別できる。

●神経組織●

12)中枢神経と末梢神経の構造の違いや細胞構成の違いを説明でき、マクロ的な構造と合わせて説明できる。
13)末梢神経の断面を見て、構造の階層を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●筋組織●

14)骨格筋、心筋、平滑筋を区分でき、それぞれの組織学的な特徴と機能を説明できる。
15)骨格筋の横断面を見て、構造の階層を説明できる。また、切片を見て識別できる。
16)骨格筋の縦断面を見て、筋原線維や横紋の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
17)骨格筋、心筋、平滑筋を支配する神経とその支配様式の違いを説明できる。
18)錐内筋、ゴルジの腱器官の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	4/23	08:50-09:35	特別講堂
2	4/23	09:45-10:30	特別講堂
3	4/23	10:45-11:30	特別講堂
4	4/30	08:50-09:35	4 階学生実習室
5	4/30	09:45-10:30	4 階学生実習室

6	4/30	10:45-11:30	4 階学生実習室
7	5/7	08:50-09:35	特別講堂
8	5/7	09:45-10:30	特別講堂
9	5/7	10:45-11:30	特別講堂
10	5/21	08:50-09:35	4 階学生実習室
11	5/21	09:45-10:30	4 階学生実習室
12	5/21	10:45-11:30	4 階学生実習室
13	5/28	08:50-09:35	特別講堂
14	5/28	09:45-10:30	特別講堂
15	5/28	10:45-11:30	特別講堂
16	6/4	08:50-09:35	4 階学生実習室
17	6/4	09:45-10:30	4 階学生実習室
18	6/4	10:45-11:30	4 階学生実習室
19	6/11	08:50-09:35	4 階学生実習室
20	6/11	09:45-10:30	4 階学生実習室
21	6/11	10:45-11:30	4 階学生実習室
22	9/3	10:45-11:30	歯学部演習室
23	9/3	11:40-12:25	歯学部演習室

成績評価の方法

・組織実習の提出課題は、三段階で判定をする。

・最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。

・最終判定は、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。

2. 実習はバーチャルスライドおよび顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。

3. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

教科書

組織学／阿部和厚, 牛木辰男 著:南山堂, 2019

バーチャルスライド 口腔組織学／田畑 純 著・文・その他,杉浦 真琴 著・文・その他,田畑 純,杉浦 真琴,:羊土社, 2021-11-19

講義を受けるにあたり、予め参考書やその他関連する成書の該当箇所を通読し、不明な点を明確にしておく。講義資料は Webclass 上で PDF ファイルにて配布するので留意すること。

参考書

標準組織学総論／藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,藤田尚男, 藤田恒夫 原著:医学書院, 2015.3

標準組織学／藤田尚男, 藤田恒夫 共著,:医学書院, 2017

標準細胞生物学／近藤, 尚武, 1944-,柴田, 洋三郎, 1946-,藤本, 豊士, 1954-,石川, 春律, 1935-2008,近藤尚武, 柴田洋三郎, 藤本豊士, 溝口明 編,石川春律 監修:医学書院, 2009.2

カラーアトラス機能組織学／Kerr, Jeffrey B,河田, 光博, 1952-,小路, 武彦, 1955-,Jeffrey B.Kerr 原著,河田光博, 小路武彦 監訳:エルゼビア・ジャパン, 2013.1

カラーアトラス組織・細胞学／岩永敏彦著,:医歯薬出版, 1990

Di Fiore 人体組織図譜／Eroschenko, Victor P,相磯, 貞和, 1951-,Victor P.Eroschenko 著,相磯貞和 訳:南江堂, 2011.5

機能を中心とした図説組織学／Young, Barbara,Heath, John W,Stevens, Alan,澤田, 元,依藤, 宏,大野, 伸一,B.Young, J.S.Lowe, A.Stevens, J.W.Heath [著],澤田元, 依藤宏, 大野伸一, 佐々木克典 訳:医学書院, 2009.3

カラーアトラス組織学／Wheater, Paul R,柴崎, 晋, 1929-,P.R.ホィーター [ほか]著,柴崎晋 監訳:西村書店, 1988.8

入門組織学／牛木, 辰男, 1957-,牛木辰男 著:南江堂, 2013.3

最新カラー組織学／Gartner, Leslie P, 1943-,Hiatt, James L, 1934-,石村, 和敬, 1949-,井上, 貴央, 1952-,L.P.ガートナー, J.L.ハイアット 著,石村和敬, 井上貴央 監訳:西村書店, 2003.4

履修上の注意事項

＜実習の注意＞　・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。　・スケッチは期限内に提出し、採点後に返却され、この点数が最終評価に反映される。提出がない場合はその分の点数が得られない。　・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。　・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。　・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。

＜追試・再試について＞　・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。　・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする(必ず行うものではない)。　・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない(満点でも 60 点が最終成績となる)。

備考

組織実習では、課題学習型(PBL)もとりいれたアクティブラーニングを実施する。

時間割番号	021a00				
科目名	人体の構造と機能(組織学各論)			科目ID	
担当教員	井関　祥子, 吉本　由紀, 足立　礼孝[ISEKI SACHIKO, YOKOYAMA YUKI, ADACHI Noritaka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

組織学各論は、組織学総論で学んだことを基本として、循環系、リンパ系、消化管系、内分泌系、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器を順にとりあげ、それぞれの組織と機能を学習し、各器官ごとの特徴や役割を学ぶ。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●脈管系・リンパ系●

1)動脈、静脈、毛細血管の組織と機能を説明できる。
2)血管の構造を説明でき、固有細胞である内皮細胞について説明できる。また、切片を見て識別できる。
3)リンパ管とリンパ節の組織構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
4)リンパ小節の構造と機能、活性化の有無による違いを説明できる。
5)脾臓のふたつの構造(赤脾髄と白脾髄)の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
6)胸腺の組織構造の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
7)腸管リンパや体の各部にあるリンパを説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系・口腔●

8)口腔、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの組織構造と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
9)消化管の付属腺の組織構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
10)口腔粘膜を分類でき、それぞれの特徴と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
11)舌乳頭の組織分類と機能、および味蕾の配置を説明できる。また、切片を見て識別できる。
12)唾液腺の分類と配置、漿液性と粘液性の違い、組織構造などを説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系(腸管)●

13)絨毛と陰窩を識別でき、部位によって構成がどのように変化するかを説明できる。また、切片を見て識別できる。
14)粘膜筋板、乳糜管、腸腺、十二指腸腺などの構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
15)腸陰窩部の主細胞や副細胞などの特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●消化器系(肝胆膵)●

16)肝臓の組織構造と機能を説明できる。特に血液の流れと胆汁の流れの違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
17)胆嚢の組織構造の特徴を説明できる。
18)膵臓の外分泌腺と内分泌腺の違いを組織構造と機能で説明できる。また、切片を見て識別できる。

●呼吸器と皮膚●

19)鼻腔～気管～肺の組織構造の変化と違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
20)細気管支の分類ができ、呼吸細気管支から肺胞管にいたる構造変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。
21)肺胞を構成する血管と肺胞上皮の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
22)皮膚の組織構造(表皮、真皮、付属器官)の特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
23)毛や爪にある母細胞や組織構造、成分、機能を説明できる。
24)皮膚が持つ感覚器を列挙でき、それぞれの構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
25)皮膚にある色素細胞が作る色素胞の分配の仕組みを説明できる。

●内分泌器●

26)脳下垂体の前葉と後葉の組織構造の違い、由来の違いを説明できる。

27)脳下垂体の中の血管の走行を説明でき、前葉ホルモンと後葉ホルモンの形成様式の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
28)脳下垂体と関係する視床下部の構造と機能を説明できる。
29)甲状腺と上皮小体の組織構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
30)副腎皮質(3 層)と髄質、それぞれの特徴と分泌物の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
31)膵臓、消化器、生殖器などが持つ内分泌機能の説明ができる。また、切片を見て識別できる。

●泌尿器●
32)腎臓の皮質と髄質の違い、脈管と尿管の走行について、構造と特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。
33)腎単位を構成する腎小体と尿細管の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
34)腎小体を構成する糸球体とボーマン嚢の構造と各部の機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
35)原尿から尿ができるまでの過程と尿量調整の仕組みを説明できる。
36)腎臓、尿管、膀胱、尿道などの組織構造の違いや特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●生殖器●
37)精巣の内部構造、とりわけ、曲精細管の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
38)男性生殖器の付属腺、尿路、精路の構造や働きを説明できる。また、切片を見て識別できる。
39)卵巣の内部構造、とりわけ、卵胞の発生段階と構造変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。
40)子宮壁の性周期に伴う構造変化と内分泌系の制御を説明できる。また、切片を見て識別できる。
41)男女の生殖器発生様式の違いを説明できる。
42)精子と卵の形成過程、受精のプロセスを説明できる。

●中枢神経●
43)大脳皮質の構造(6 層)と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
44)脳幹にある多数の神経核の構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
45)上衣細胞、脈絡叢細胞、脳脊髄液の形成プロセスなどを説明できる。また、切片を見て識別できる。
46)小脳のプルキンエ細胞や周囲組織の説明ができる。また、切片を見て識別できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	10/7	08:50-09:35	歯学部演習室
2	10/7	09:45-10:30	歯学部演習室
3	10/7	10:45-11:30	歯学部演習室
4	10/8	08:50-09:35	4 階学生実習室
5	10/8	09:45-10:30	4 階学生実習室
6	10/8	10:45-11:30	4 階学生実習室
7	10/17	08:50-09:35	歯学部演習室
8	10/17	09:45-10:30	歯学部演習室
9	10/17	10:45-11:30	歯学部演習室
10	10/23	08:50-09:35	歯学部演

			習室
11	10/23	09:45-10:30	歯学部演習室
12	10/23	10:45-11:30	歯学部演習室
13	10/28	08:50-09:35	4 階学生実習室
14	10/28	09:45-10:30	4 階学生実習室
15	10/28	10:45-11:30	4 階学生実習室
16	10/29	08:50-09:35	4 階学生実習室
17	10/29	09:45-10:30	4 階学生実習室
18	10/29	10:45-11:30	4 階学生実習室
19	11/5	08:50-09:35	歯学部演習室
20	11/5	09:45-10:30	歯学部演習室
21	11/5	10:45-11:30	歯学部演習室
22	11/6	08:50-09:35	4 階学生実習室
23	11/6	09:45-10:30	4 階学生実習室
24	11/6	10:45-11:30	4 階学生実習室
25	11/11	08:50-09:35	歯学部演習室
26	11/11	09:45-10:30	歯学部演習室
27	11/11	10:45-11:30	歯学部演習室
28	11/12	08:50-09:35	特別講堂
29	11/12	09:45-10:30	特別講堂
30	11/12	10:45-11:30	特別講堂
31	11/18	08:50-09:35	4 階学生実習室
32	11/18	09:45-10:30	4 階学生実習室
33	11/18	10:45-11:30	4 階学生実習室
34	11/19	08:50-09:35	4 階学生実習室
35	11/19	09:45-10:30	4 階学生実習室
36	11/19	10:45-11:30	4 階学生

			実習室
37	11/25	08:50-09:35	歯学部演習室
38	11/25	09:45-10:30	歯学部演習室
39	11/25	10:45-11:30	歯学部演習室
40	11/28	13:30-14:15	4 階学生実習室
41	11/28	14:25-15:10	4 階学生実習室
42	11/28	15:25-16:10	4 階学生実習室
43	12/9	08:50-09:35	特別講堂
44	12/9	09:45-10:30	特別講堂
45	12/9	10:45-11:30	特別講堂

成績評価の方法

・組織実習の提出課題は 3~4 段階で判定、採点される。点数は最終評価に含まれ、提出がない場合は得点がない。

・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。

・最終判定は、ミニテスト、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。

2. 実習はバーチャルスライドおよび顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。

3. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

教科書

組織学／阿部和厚, 牛木辰男 著:南山堂

口腔の発生と組織／田畑, 純, 1961-,田畑純 著:南山堂, 2019.4

バーチャルスライド 口腔組織学／田畑 純 著・文・その他,杉浦 真琴 著・文・その他,田畑 純,杉浦 真琴,:羊土社, 2021-11-19

参考書

Ross 組織学／Pawlina, Wojciech,内山, 安男, 1947-,相磯, 貞和, 1951-,Wojciech Pawlina 著,内山安男, 相磯貞和 監訳:南江堂, 2019.4

標準組織学／藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,藤田尚男, 藤田恒夫 共著:医学書院, 2010.10

入門組織学／牛木, 辰男, 1957-,牛木辰男 著:南江堂, 2013.3

グレイ解剖学／Drake, Richard Lee, 1950-,Vogl, Wayne,Mitchell, Adam W. M,秋田, 恵一, 1962-,Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell [著],秋田恵一 訳:エルゼビア・ジャパン, 2019.9

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・スケッチは期限内に提出し、採点後に返却される。点数は最終判定に含まれるが、提出がない場合得点は得られない。 ・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ＜追試・

再試について＞　・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。　・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする（必ず行うものではない）。　・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない（満点でも 60 点が最終成績となる）。　講義を受けるにあたり、予め参考書やその他関連する成書の該当箇所を通読し、不明な点を明確にしておく。講義資料は Webclass 上で PDF ファイルにて配布するので留意すること。
備考 組織実習では、課題学習型（PBL）もとりいれたアクティブラーニングを実施する。講義を受けるにあたり、予め参考書やその他関連する成書の該当箇所を通読し、不明な点を明確にしておく。

時間割番号	021a10				
科目名	人体の構造と機能（人体の発生）			科目 ID	
担当教員	井関　祥子，足立　礼孝[SEKI SACHIKO, ADACHI Noritaka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数：29＋3 （必要自習時間 10 時間）
授業形態：講義＋演習

授業の目的、概要等

人体の発生とその基本的な仕組みについて、初期発生から器官形成の過程を理解する。また、口腔・頭蓋・顎顔面領域の形成について概要を把握する。

授業の到達目標

1) 人体における初期発生の仕組みを説明できる。
2) 減数分裂の過程を概説できる。
3) 生殖子（卵子・精子）形成および受精の過程を概説できる。
4) 三胚葉の形成過程と分子機構を説明できる。
5) 三胚葉から形成される器官の器官形成の概要を説明できる。
6) 各器官の器官形成に重要な分子を列挙し、分子機構を説明できる。
7) 胚性幹細胞と組織幹細胞を区別し、その特徴を説明できる。
8) 発生過程の異常と先天異常との関連を概説できる。
9) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。
10) 頭部神経堤細胞の役割について説明できる。
11) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。
12) 特殊感覚器と中枢神経系の発生を概説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	10/2	09:45-10:30	
2	10/2	10:45-11:30	
3	10/11	13:30-14:15	
4	10/11	14:25-15:10	
5	10/11	15:25-16:10	
6	10/11	16:20-17:05	
7	10/18	13:30-14:15	
8	10/18	14:25-15:10	
9	10/28	13:30-14:15	
10	10/28	14:25-15:10	
11	11/5	13:30-14:15	
12	11/5	14:25-15:10	
13	11/14	13:30-14:15	
14	11/14	14:25-15:10	
15	11/18	13:30-14:15	
16	11/18	14:25-15:10	
17	11/18	15:25-16:10	
18	11/25	13:30-14:15	
19	11/25	14:25-15:10	
20	12/9	13:30-14:15	
21	12/9	14:25-15:10	

22	12/16	13:30-14:15	
23	12/16	14:25-15:10	
24	1/6	13:30-14:15	
25	1/6	14:25-15:10	
26	1/9	13:30-14:15	
27	1/9	14:25-15:10	
28	1/20	13:30-14:15	
29	1/20	14:25-15:10	
30	1/27	13:30-14:15	
31	1/27	14:25-15:10	
32	2/3	13:30-14:15	
33	2/3	14:25-15:10	
34	2/3	15:25-16:10	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義を受けるにあたり、予め参考書やその他関連する成書の該当箇所を通読し、不明な点を明確にしておく。講義資料は Webclass 上で PDF ファイルにて配布するので留意すること。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・小テスト、筆記試験結果、実習レポートをもとに包括的評価を行う。

参考書

・「ラングマン人体発生学」第 11 版（訳:安田峯生、山田重人）メディカル・サイエンス・インターナショナル

・「ラーセン最新人体発生学」第2版（監訳:相川英三・山下和雄・三木昭徳・大谷浩）西村書店

・「ムーア人体発生学」第8版(訳:瀬口春道・小林俊博他)・医歯薬出版

備考

本講義の一部では口頭試問等のアクティブラーニングを行う。

連絡先(メールアドレス)

井関　祥子:s.iseki.emb@tmd.ac.jp

足立　礼孝:noriemb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

井関　祥子:随時　(必ず事前に連絡すること)

足立　礼孝:平日　AM.9:00-17:00　M&D タワー6 階　分子発生学分野

時間割番号	021a20				
科目名	学年混合セミナーⅠ			科目ID	
担当教員	鶴田　潤				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

本学学生については，将来の歯科医師，研究者としての活躍に際し，その業界の指導者としての活躍が期待されている．指導者としての活躍には，確かな知識，それらをもととした適切な判断，様々な価値感を受容し包容力のある言動，行動を図ることが必要である．

本科目では，学年混合セミナーⅡ・Ⅲと併せ，多様な文化，社会，考え方を理解する資質の修得を目標とし，国際社会における歯科医療保健のあり方を，複数学年(2,3,4 年)混成班でのプロジェクト形式での学びを進める．

授業方法として，少人数演習を行う予定であり，1 学年 15 名程度のグループに分け，その中で，各学年 2 名合計 6 名程度の少人数チームを作る．各グループでは，それぞれ異なる大テーマをもとに基調講義，プロジェクト実施活動・調査演習，報告会を行うこととし，それぞれの学習活動においては，学年を超えた協働を目指す．これら授業を通し，学年混合協働での協働に関わる資質，国際的視座の獲得を期待する．
（屋根瓦教育）

なお、2024 年度は、2年生のみでの開講となるため、3～4名グループでの活動を行うこととする。

主な講義場所
（対面）　　D 棟4階　特別講堂
（非同期）　　講義室あるいは自宅
（グループ作業）　講義室・図書館ほか

授業の目的、概要等
将来の歯科医師，研究者としての活躍に際し，その業界の指導者としての活躍が期待されている．指導者としての活躍には，確かな知識，それらをもととした適切な判断，様々な価値感を受容し包容力のある言動，行動を図ることが必要である．

多様な文化，社会，考え方を理解する資質の修得を目標とし，国際社会における歯科医療保健のあり方を，複数学年(2,3,4 年)混成班でのプロジェクト形式での学びを進める．

授業の到達目標
1）患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応するための基本を習得する。
2）地域医療の中で、我が国と異なる文化や価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
3）日本の医療の特徴、国際社会への貢献、協力の重要性を理解している。
4）世界の保健・医療問題の概要を理解している。

歯学教育モデル・コア・カリキュラム 2022 年度改訂

資質
SO:社会における医療の役割の理解(Medicine in Society)
健康の代弁者として公衆衛生の向上を図るために、医療は社会の一部であるという自覚を持ち、経済的な
観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野も持ちながら、公正な歯科医療を提供していく。
SO-01 社会保障(社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)を理解している。
SO-02 予防と健康増進を理解している。
SO-03 医療、保健、福祉、介護とそれを取り巻く社会環境を理解している。
SO-04 社会や地域における歯科医療の現状を理解し、口腔の健康を通じて全身の健康の増進の
活動に積極的に参加できる。
SO-05 地域医療において、各種制度に基づく歯科医師の果たす役割を自覚し、行動できる。

SO-06 災害時における歯科医師の役割を理解している。
SO-07 国際社会における多様性を理解し、地域医療でも活躍できる。

学習目標
C-7 国際的素養の獲得と国際医療への貢献
国際社会の一員として地域医療の多様性を把握し、国際医療に貢献するために、国際貢献や国際協力に求められる基本的な能力を身に付ける。
学修目標:
C-7-1 患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。
C-7-2 地域医療の中で、我が国と異なる文化や価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
C-7-3 日本の医療の特徴、国際社会への貢献、協力の重要性を理解している。
C-7-4 世界の保健・医療問題の概要を理解している。
C-7-5 パンデミックにおける院内感染対策、国際的な感染症対策と日本の防疫対策を理解している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	15:25-16:10	特別講堂	導入(対面)	授業説明	鶴田 潤	到達目標 1)2)3)4) 学習方法 講義 そのほか
2	4/4	16:20-17:05	特別講堂	グループ話し合い(対面)	方針の確認	鶴田 潤	到達目標 1)2)3)4) 学習方法 AL 演習 そのほか ・授業終了時に、2コマ分の授業振り返りシートを提出を行う。
3	4/11	15:25-16:10	遠隔授業(非同期型)	講義(オンデマンド)・作業	非常勤講師制作ビデオ視聴 グループ作業を行う	鶴田 潤	到達目標 1)2)4) 学習方法 AL 演習 そのほか
4	4/11	16:20-17:05	遠隔授業(非同期型)	作業	グループ作業を行う	鶴田 潤	到達目標 1)2)4) 学習方法 演習 そのほか ・授業終了時に、2コマ分の授業振り返りシートを提出を行う。
5	4/18	15:25-16:10	特別講堂	講義・作業	グループ作業を行う	鶴田 潤	到達目標 1)2)4) 学習方法 AL 演習 そのほか
6	4/18	16:20-17:05	特別講堂	作業	グループ作業を行う	鶴田 潤	到達目標 1)2)4) 学習方法 AL 演習 そのほか ・授業終了時に、2コマ分の

							授業振り返りシートを提出を行う。
7	4/25	15:25-16:10	特別講堂	評価	各グループが作成した資料を、グループメンバーで視聴し、グループとしての評価を行う。	鶴田 潤	到達目標 1)2)3)4) 学習方法 AL 演習 そのほか
8	4/25	16:20-17:05	特別講堂	評価 まとめ	各グループが作成した資料を、グループメンバーで視聴し、グループとしての評価を行う。	鶴田 潤	到達目標 1)2)3)4) 学習方法 AL 演習 そのほか ・授業終了時に、2 コマ分の授業振り返りシートを提出を行う。

授業方法

授業方法として，少人数演習を行う予定であり，1 学年 15 名程度のグループに分け，その中で，各学年 2 名合計 6 名程度の少人数チームを作る．各グループでは，それぞれ異なる大テーマをもとに基調講義，プロジェクト実施活動・調査演習，報告会を行うこととし，それぞれの学習活動においては，学年を超えた協働を目指す．これら授業を通し，学年混合協働での協働に関わる資質，国際的視座の獲得を期待する．

授業内容

国際社会における歯科医療保健のあり方を検討するために、

・英国における歯科医療
・タイにおける歯科医療　について、学ぶ。

成績評価の方法

ルーブリックに基づいた評価を実施し、総合的に評価を行う。
形成的に成長を期待する項目も含む。

・提出された課題評価　60%
・ピア評価　20%
・自己評価　20%

成績点として、60点以上を合格とする。

成績評価の基準

ルーブリックに基づいた評価を実施し、総合的に評価を行う。
形成的に成長を期待する項目も含む。

・提出された課題評価　60%
・ピア評価　20%
・自己評価　20%

成績点として、60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

関連する情報については、Web サイトで多くの情報を入手することができる。
そのため、確度の高い情報を自ら読み解き、それぞれの課題に対する学習を進めてくることを勧める。

試験の受験資格

・グループ活動が主となるため、授業への出席は基本とする。
・全ての課題提出が確認された場合に、成績評価対象とする。

モジュールの単位判定
本科目成績が合格の場合、単位を付与する。
他科目との関連
学年混合セミナーⅡ（3年次）　学年混合セミナーⅢ（4年次）と年次進行する。
履修上の注意事項
2024 年度は、2年生しか在籍しないため、2年生のみでのプロジェクト実施とする。　　担当者 ： 鶴田　潤　turucie@tmd.ac.jp

時間割番号	021a30				
科目名	医療とAI･ビッグデータ応用			科目ID	
担当教員	中林 潤, 木下 淳博, 石丸 美穂, 曹 日丹, 角 勇樹, 平川 晃弘, 清水 秀幸, 徳永 伸一, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 須藤 毅顕, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, KINOSHITA ATSUHIRO, ISHIMARU MIHO, SOU Hitann, SUMI YUKI, HIRAKAWA Akihiro, SHIMIZU Hideyuki, TOKUNAGA SHINICHI, MORITA KUMIKO, TSUCHIDA Yuumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI YASUO, SUDOU Takeaki, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2ー1)

主な講義場所

同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

AI･データサイエンスの価値を理解し、将来的に医療分野におけるデータサイエンスを活用したAI技術研究を自らあるいは企業などと共同で推進するために必要な実践力を身に付ける

授業の到達目標

･データサイエンスを実践するために必要な数理モデルの理論的背景を概説できる
･データサイエンスを実践するために必要なAIモデルの理論的背景を概説できる
･データサイエンスを実践するために必要な前処理を行うことができる
･AIの基本的なモデルのプログラムを作成できる
･教師あり機械学習と教師なし機械学習の違いを説明できる
･機械学習を活用し、課題解決につなげることができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	4/25	10:45-11:30	
2	4/25	11:40-12:25	
3	5/9	10:45-11:30	
4	5/9	11:40-12:25	
5	5/16	10:45-11:30	
6	5/16	11:40-12:25	
7	5/30	10:45-11:30	
8	5/30	11:40-12:25	
9	6/20	10:45-11:30	
10	6/20	11:40-12:25	
11	7/4	10:45-11:30	
12	7/4	11:40-12:25	
13	7/11	10:45-11:30	
14	7/11	11:40-12:25	
15	7/18	10:45-11:30	
16	7/18	11:40-12:25	

授業方法

･講義とPythonを用いたプログラミング演習をZoomで行う。

授業内容

･AI総論(医療AI、最新AI技術
･データの読み込み(MNIST、load_data()、配列操作)
･データセットの理解と加工(繰り返し、one-hot encoding)
･多層パーセプトロン①(重み、ニューロン、活性化関数)

・多層パーセプトロン②（学習、エポック、正解率と誤差）
・多層パーセプトロン③（損失関数、誤差逆伝播法）
・畳み込みニューラルネットワーク①（畳み込み、プーリング）
・その他応用演習

成績評価の方法

・各講義及び演習後の課題により成績評価を行う。
・試験は実施しない。
・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席したこととして扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

準備学習等についての具体的な指示

・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。

参考書

・東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,:マイナビ出版, 2019
・データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,:講談社, 2019
・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社
・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative
・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社
・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社
・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社

連絡先（メールアドレス）

須藤 毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

須藤 毅顕:毎週火曜日 AM.11:00-PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室

時間割番号	021a40				
科目名	人体の構造と機能（神経系の機能 I）			科目 ID	
担当教員	上阪直史				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名　人体の構造と機能
ユニットコマ数　12
必要自習時間　6 時間
授業形態　　対面あるいはビデオ講義
ユニット番号 No.6
授業形式「「講義」「演習」

主な講義場所

対面あるいはビデオ講義

授業の目的、概要等

脳・神経系の基本の作動原理と運動制御の神経機構を理解する。

授業の到達目標

以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。
・神経細胞の構造と、および静止膜電位と活動電位の発生機序について
・興奮の伝導の機序について
・シナプスの構造と興奮性・抑制性伝達の仕組みについて
・骨格筋の構造と収縮のメカニズムについて
・筋の伸張受容器の構造と機能について
・脊髄・脳幹における反射

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	09:45-10:30	特別講堂	神経細胞の生理学	神経細胞の機能発現のメカニズム	上阪 直史, 田中 大介	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
2	4/4	10:45-11:30	特別講堂	神経細胞の生理学	神経細胞の機能発現のメカニズム	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
3	4/12	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経細胞の機能発現のメカニズム	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
4	4/12	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経細胞の機能発現のメカニズム	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
5	4/12	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経可塑性	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
6	4/19	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経可塑性	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
7	4/19	09:45-10:30	遠隔授業	神経細胞の生理学	グリア細胞、脳機能を調べる最新	上阪 直史	神経の機能を細

			（非同期型）		の方法		胞・分子レベルで説明できる
8	4/19	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	グリア細胞、脳機能を調べる最新の方法	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
9	4/26	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経を介した反射のメカニズム、ニューロモデュレーション	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
10	4/26	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経を介した反射のメカニズム、ニューロモデュレーション	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
11	4/26	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	神経細胞の生理学	神経を介した反射のメカニズム、ニューロモデュレーション	上阪 直史	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
12	9/2	13:30-14:15	歯学部演習室	試験		上阪 直史, 田中 大介	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる
13	9/2	14:25-15:10	歯学部演習室	試験		上阪 直史, 田中 大介	神経の機能を細胞・分子レベルで説明できる

授業方法

講義を行う。講義中に講義に関する問題を出し、結果を学生にフィードバックする。
また課題を出し、その課題に対して学生にフィードバックする。
（アクティブラーニング）

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が 60 点以上を合格とする。
・不合格者には、1 回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・レポートの全提出
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

シンプル生理学 第 7 版／貴邑冨久子, 根来英雄 共著,貴邑, 富久子, 1939-,根来, 英雄, 1934-,:南江堂, 2016
標準生理学 第 8 版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014
生理学テキスト 第 8 版／大地陸男 著,大地, 陸男, 1939-,:文光堂, 2017
基礎歯科生理学 第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三,:医歯薬出版, 2014
カンデル神経科学 第 5 版／Eric R. Kandel［ほか］編,Kandel, Eric R.,Schwartz, James H. (James Harris), 1932-,Jessell, Thomas M.,Siegelbaum, Steven,Hudspeth, A. James,Mack, Sarah,金澤, 一郎(1941-),宮下, 保司,岡野, 栄之,和田, 圭司,加藤, 総夫(医学),入來, 篤史(1957-),藤田, 一郎(1956-),伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子(1960-),笠:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04

備考

連絡先
上阪直史:uesaka.cnb@tmd.ac.jp

授業内容に関する質問は授業中、あるいは授業直後に聞くこと

時間割番号	021a50				
科目名	人体の構造と機能（神経系の機能Ⅱ）			科目ID	
担当教員	上阪直史				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名　人体の構造と機能
ユニットコマ数　9
必要自習時間　6 時間
授業形態　　対面あるいはビデオ講義
ユニット番号 No.7
授業形式「「講義」「演習」

主な講義場所

対面あるいはビデオ講義

授業の目的、概要等

・感覚（化学感覚、聴覚、前庭覚）、および脳の高次機能について理解する。

授業の到達目標

以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。
・化学感覚（味覚、嗅覚）、視覚、聴覚、前庭覚について、刺激受容のしくみと基本的な伝導路、中枢における情報処理について理解する。
・記憶や学習といった高次脳機能や脳疾患を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/10	08:50-09:35	特別講堂	神経細胞の生理学	五感の神経生物学的理解	上阪　直史	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
2	5/10	09:45-10:30	特別講堂	神経細胞の生理学	五感の神経生物学的理解	上阪　直史	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
3	5/10	10:45-11:30	特別講堂	神経細胞の生理学	五感の神経生物学的理解	上阪　直史	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
4	5/17	08:50-09:35	特別講堂	神経細胞の生理学	高次脳機能と脳疾患	田中　大介	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
5	5/17	09:45-10:30	特別講堂	神経細胞の生理学	高次脳機能と脳疾患	田中　大介	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
6	5/17	10:45-11:30	特別講堂	神経細胞の生理学	高次脳機能と脳疾患	田中　大介	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
7	5/24	08:50-09:35	特別講堂	神経細胞の生理学	睡眠の神経生物学	中井　彩加	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
8	5/24	09:45-10:30	特別講堂	神経細胞の生理学	睡眠の神経生物学	中井　彩加	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
9	5/24	10:45-11:30	特別講堂	神経細胞の生理学	睡眠の神経生物学	中井　彩加	神経の高次機能

							を細胞・分子レベルで説明できる
10	9/3	08:50-09:35	歯学部演習室	試験		上阪 直史	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる
11	9/3	09:45-10:30	歯学部演習室	試験		上阪 直史	神経の高次機能を細胞・分子レベルで説明できる

授業方法

講義を行う。講義中に講義に関する問題を出し、結果を学生にフィードバックする。
また課題を出し、その課題に対して学生にフィードバックする。
（アクティブラーニング）

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が 60 点以上を合格とする。
・不合格者には、1 回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・レポートの全提出
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

標準生理学 第 8 版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014
基礎歯科生理学 第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三,:医歯薬出版, 2014
カンデル神経科学 第 5 版／Eric R. Kandel［ほか］編,Kandel, Eric R.,Schwartz, James H. (James Harris), 1932-,Jessell, Thomas M.,Siegelbaum, Steven,Hudspeth, A. James,Mack, Sarah,金澤, 一郎(1941-),宮下, 保司,岡野, 栄之,和田, 圭司,加藤, 総夫(医学),入來, 篤史(1957-),藤田, 一郎(1956-),伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子(1960-),笠:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-04
神経科学テキスト : 脳と行動 第 4 版／カールソン／〔著〕,泰羅雅登／監訳,中村克樹／監訳,Carlson, Neil R. ,泰羅 || 雅登,中村:丸善出版, 2013

備考

連絡先
上阪直史:uesaka.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー
上阪直史:随時(メイルでの事前連絡後)

時間割番号	021a60				
科目名	人体の構造と機能（生命維持のための生体機能）			科目 ID	
担当教員	上阪直史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名　人体の構造と機能
ユニットコマ数　18
必要自習時間　10 時間
授業形態　　対面あるいはビデオ講義
ユニット番号 No.8
授業形式「「講義」「演習」

主な講義場所
対面あるいはビデオ講義

授業の目的、概要等
・循環、呼吸、消化・吸収など、おもに無意識下で行なわれ、個体の生命維持に関与する機能を植物性機能と呼ぶ。この植物性機能に関する基礎的な知識を修得する。

授業の到達目標
以下の項目について基本的な説明ができるようになることを目標とする。
・血液の成分とその機能について
・自律神経の構造とその機能について
・循環の機能について
・呼吸の機能について
・消化・吸収のしくみについて
・代謝と体温調節のしくみについて
・腎での排泄機能と体液調節のしくみについて
・内分泌の機能について
・生殖器官の構造と機能について

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	自律神経	交感神経と副交感神経の機能とメカニズム	上阪　直史	自律神経の基本的な構造と機能を理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
2	10/3	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	内分泌	ホルモンの機能とメカニズム	上阪　直史	ホルモンの基本的な機能を理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
3	10/3	10:45-11:30	遠隔授業	内分泌	ホルモンの機能とメカニズム	上阪　直史	

			（非同期型）				
4	10/4	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	消化と吸収	消化と吸収のメカニズム	上阪　直史	消化・吸収に関わる臓器の基本的な機能を細胞レベルで理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
5	10/4	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	消化と吸収	消化と吸収のメカニズム	上阪　直史	
6	10/4	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	消化と吸収	消化と吸収のメカニズム	上阪　直史	
7	10/10	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	血液・循環	血液・循環のメカニズム	上阪　直史	血液・循環に関わる臓器の基本的な機能を細胞レベルで理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
8	10/10	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	血液・循環	血液・循環のメカニズム	上阪　直史	
9	10/10	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	血液・循環	血液・循環のメカニズム	上阪　直史	
10	10/18	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	腎臓	腎臓の働きと恒常性維持	上阪　直史	腎臓の基本的な機能を細胞レベルで理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
11	10/18	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	腎臓	腎臓の働きと恒常性維持	上阪　直史	
12	10/18	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	腎臓	腎臓の働きと恒常性維持	上阪　直史	
13	10/25	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	体温調節	体温調節のメカニズム	上阪　直史	体温調節に関わる臓器の基本的な機能を細胞レ

							ベルで理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
14	10/25	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	体温調節	体温調節のメカニズム	上阪 直史	
15	10/25	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	体温調節	体温調節のメカニズム	上阪 直史	
16	11/1	08:50-09:35	遠隔授業（非同期型）	呼吸	呼吸のメカニズム	田中 大介	呼吸に関わる臓器の基本的な機能を細胞レベルで理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
17	11/1	09:45-10:30	遠隔授業（非同期型）	呼吸	呼吸のメカニズム	田中 大介	
18	11/1	10:45-11:30	遠隔授業（非同期型）	呼吸	呼吸のメカニズム	田中 大介	
19	11/8	08:50-09:35	特別講堂	自律神経とホルモンの働きまとめ	アクティブラーニング	上阪 直史, 田中 大介	自律神経の基本的な構造やホルモンの種類と機能を理解し、それが人間の身体の恒常性維持にどのように寄与しているかを説明できるようになる
20	11/8	09:45-10:30	特別講堂	自律神経とホルモンの働きまとめ	アクティブラーニング	上阪 直史, 田中 大介	
21	11/8	10:45-11:30	特別講堂	自律神経とホルモンの働きまとめ	アクティブラーニング	上阪 直史, 田中 大介	
22	12/6	09:45-10:30	特別講堂			上阪 直史, 田中 大介	

授業方法

講義を行う。講義中に講義に関する問題を出し、結果を学生にフィードバックする。
また課題を出し、その課題に対して学生にフィードバックする。
（アクティブラーニング）

成績評価の方法

・ユニット終了後に筆記試験を行なう。筆記試験は、合計得点が 60 点以上を合格とする。
・不合格者には、1 回の再試験の機会を与える。再試験も合計得点が 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

参考書として挙げた書籍を利用して事前学習を行うとよい。

試験の受験資格

・レポートの全提出

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

シンプル生理学　第 7 版／貴邑冨久子, 根来英雄 共著,貴邑, 富久子, 1939-,根来, 英雄, 1934-,:南江堂, 2016

標準生理学　第 8 版／小澤瀞司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 瀞司,福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014

生理学テキスト　第 8 版／大地陸男 著,大地, 陸男, 1939-,:文光堂, 2017

基礎歯科生理学　第 6 版／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三,:医歯薬出版, 2014

ギャノング生理学　第 25 版／Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwen L.Brooks [著],岡田泰伸 監修,佐久間康夫, 岡村康司 監訳,Barrett, Kim E,Barman, Susan M,Boitano, Scott,岡田, 泰伸,佐久間, 康夫, 1946-,岡村, 康司,:丸善出版, 2017

備考

連絡先

上阪直史:uesaka.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上阪直史:随時(メイルでの事前連絡後)

時間割番号	021a70				
科目名	人体の構造と機能（口腔生理）			科目 ID	
担当教員	上阪直史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名：人体の構造と機能
ユニット責任者：上阪直史
ユニット番号： 12
開設時期：2年　後期
コマ数（授業コマ数＋試験コマ数）：12（必要自習時間 6 時間）
授業形態：講義　Zoom or ビデオ講義
授業形式「「講義」「演習」

授業の目的、概要等

口腔領域の感覚と運動にかかわる神経機構を理解する

授業の到達目標

1） 口腔領域の体性感覚機能が説明できる。
2） 正常な咀嚼の神経制御機構について説明できる。
3） 正常な嚥下の神経制御機構について説明できる。
4） 唾液の分泌機構について説明できる。
5） 口腔領域の痛みについて説明できる。
6） 味覚の神経メカニズムを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	13:30-14:15	遠隔授業（非同期型）	味覚	味覚機能に関わる細胞・分子と味覚を司る神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
2	10/3	14:25-15:10	遠隔授業（非同期型）	味覚	味覚機能に関わる細胞・分子と味覚を司る神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
3	10/3	15:25-16:10	遠隔授業（非同期型）	味覚	味覚機能に関わる細胞・分子と味覚を司る神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
4	10/10	13:30-14:15	遠隔授業（非同期	唾液	唾液に関わる細胞・分子と唾液を司る神経系の構造と機能、および	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本

			型）		これらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて		を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
5	10/10	14:25-15:10	遠隔授業（非同期型）	唾液	唾液に関わる細胞・分子と唾液を司る神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
6	10/10	15:25-16:10	遠隔授業（非同期型）	唾液	唾液に関わる細胞・分子と唾液を司る神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	田中　大介	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
7	10/31	13:30-14:15	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
8	10/31	14:25-15:10	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
9	10/31	15:25-16:10	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
10	11/7	13:30-14:15	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学2	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
11	11/7	14:25-15:10	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学2	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健

					響を与えるかについて		康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
12	11/7	15:25-16:10	遠隔授業（非同期型）	口腔の神経生理学2	咀嚼、嚥下などの口腔機能に関わる神経系の構造と機能、およびこれらが全身の健康にどのように影響を与えるかについて	上阪　直史	口腔システムの神経機能の基本を理解し、口腔健康が全身の健康とどのように関連しているかを説明できる
13	12/19	09:45-10:30	特別講堂	口腔生理試験	口腔生理試験	田中　大介, 上阪　直史	

授業方法

講義を行う。講義中に講義に関する問題を出し、結果を学生にフィードバックする。
また課題を出し、その課題に対して学生にフィードバックする。
（アクティブラーニング）

成績評価の方法

ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い包括的評価を行う。
尚、この試験の合計得点が 6 割に達したものを合格とする。
不合格者には、1 回の再試験の機会を与える。
尚、再試験も合計得点が 6 割に達したものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・レポートの全提出
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編.:医歯薬出版, 2014
ビジュアル口腔生理学／浅沼直和, 和泉博之, 稲永清敏, 杉谷博士, 外崎肇一, 西川泰央, 丸井隆之, 宗形芳英 執筆,:学建書院, 2008

参考書

・「標準生理学」医学書院（神経系に限らない一般的な生理学教科書）
・「生理学テキスト」文光堂 （生理学全般の教科書）

備考

質問等
上阪直史: uesaka.cnb@tmd.ac.jp

時間割番号	021a80				
科目名	人体の構造と機能（生理学実習）			科目 ID	
担当教員	上阪直史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名　人体の構造と機能
ユニットコマ数　18
必要自習時間　6 時間
授業形態　　対面実習と Zoom あるいはビデオ講義
ユニット番号 No.11
授業形式「「講義」「実習」

主な講義場所

1 号館西 歯学部基礎実習室
1 号館西 歯学部基礎小実習室

授業の目的、概要等

・人体機能のうち、おもに感覚や運動に関する機能について、実験を通して実体験し、感覚や運動のメカニズムを理解する。

授業の到達目標

・味覚に関する実験を行ない、味覚の諸特性に関するメカニズムを解釈・説明できる。
・咀嚼時の筋電や咬合力を観察・記録し、咀嚼機能について解釈・説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	11/11	13:30-14:15	遠隔授業（非同期型）
2	11/11	14:25-15:10	遠隔授業（非同期型）
3	11/11	15:25-16:10	遠隔授業（非同期型）
4	11/26	08:50-09:35	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
5	11/26	09:45-10:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
6	11/26	10:45-11:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
7	12/2	08:50-09:35	歯学部基

			礎実習室, 歯学部基礎小実習室
8	12/2	09:45-10:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
9	12/2	10:45-11:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
10	12/5	08:50-09:35	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
11	12/5	09:45-10:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
12	12/5	10:45-11:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
13	12/6	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)
14	12/6	14:25-15:10	遠隔授業(同期型)
15	12/6	15:25-16:10	遠隔授業(同期型)
16	12/10	08:50-09:35	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
17	12/10	09:45-10:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室
18	12/10	10:45-11:30	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小

			実習室

授業方法

実習内容の説明(非同期)

対面での実習

実習内容の発表(オンライン)

3から 4 班に分ける。班分けは Webclass にアップする実習書を参照ください。

成績評価の方法

・項目ごとに個人レポート、またはグループレポートを作成する。

・実習内容を各班が発表(オンライン)する。

・実習期間中は、毎回の開始時と終了時に出席をとる。

・やむを得ない理由で欠席・遅刻する場合は、教務係に理由書、診断書、遅延証明等を提出するとともに、担当教員に連絡すること。

・全日出席は出席点を 1 とし、無断遅刻・早退の場合は 0.5 を減じる。

・全日程の出席で3分の2未満は単位認定されない。

・最終評価は、出席点、レポート点、および授業態度をもとに総合的に判断する。

準備学習等についての具体的な指示

・実習は、データをとること、被験者となること、データを解析すること、および結果を解釈してまとめること、等の作業を自ら参加して行なうことが重要なので、かならず出席しましょう。

・この実習前に行なわれる講義や実習(人体解剖実習、人体の構造 Ⅱ、神経系の機能 Ⅰ・Ⅱ など)と関連が深いので、これらの講義・実習の内容を復習しておきましょう。

教科書

・教科書は特に指定しない。

・適宜、資料を配布する。

履修上の注意事項

不要な私語は慎むこと。 密にならないよう一定の距離 (1m以上)を保つこと。 当日の朝に検温と体調管理を行い、webclass にアップすること。 白衣を着用する。

備考

連絡先

上阪直史:uesaka.cnb@tmd.ac.jp

田中大介: dhtanaka.mphm@tmd.ac.jp

竹内敦也: takeuchi.atsuya@gmail.com

オフィスアワー

メイルで日時を確認すること

授業内容に関する質問は授実習中、あるいは実習直後に聞くこと

時間割番号	021a90				
科目名	人体の構造と機能（口腔組織学）			科目ID	
担当教員	井関　祥子，吉本　由紀，足立　礼孝[ISEKI SACHIKO, YOKOYAMA YUKI, ADACHI Noritaka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

口腔組織・発生学では、組織学の総論と各論で学んだことを基本として、歯と歯周組織の組織構造およびそれらの発生の仕組みを学び、顎顔面の発達に伴う咀嚼器の発生と発達、経年的変化の過程を包括的に修得する。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。

授業の到達目標

●口腔と歯の発生●

1）歯の定義と構成を説明できる。
2）ヒトの発生、とりわけ、頭頸部、顔面の発生を説明できる。
3）咽頭弓（鰓弓）の発生と上顎・下顎の形成様式を説明できる。
4）口腔の開通、一次口蓋、二次口蓋の説明ができる。また、切片を見て識別できる。
5）歯冠形成期（肥厚期、蕾状期、帽状期、鐘状期初期、鐘状期後期）の各段階での歯胚の構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
6）歯根形成期（形成開始期、伸長期、萌出期、咬合開始期、機能期）の分類と構造の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
7）歯の萌出と交換の仕組みを説明できる。
8）ヘルトヴィッヒの上皮鞘とマラッセの上皮遺残について、構造と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。

●エナメル質形成と象牙質形成●

9）象牙質形成とエナメル質形成について、形成細胞、石灰化様式などと合わせて説明できる。また、切片を見て識別できる。
10）象牙質とエナメル質に見られるさまざまな成長線や構造について説明ができる。また、切片を見て識別できる。
11）歯髄の組織構造、特徴、役割、経年変化を説明できる。また、切片を見て識別できる。
12）歯髄の中の神経の走行と、歯の痛みについて説明できる。

●セメント質形成と歯周組織●

13）セメント質の部位による違い（有細胞と無細胞）を説明できる。また、切片を見て識別できる。
14）加齢変化を部位ごとに分けて列挙でき説明できる。また、切片を見て識別できる。
15）歯根膜とりわけ主線維とシャーピー線維の構造と機能、形成様式などを説明できる。
16）歯肉溝上皮や付着上皮の特徴と機能を説明できる。
17）歯肉線維について説明できる。

●口腔諸器官●

18）口腔粘膜を分類でき、それぞれの特徴と機能を説明できる。また、切片を見て識別できる。
19）口唇や舌の組織構造を説明できる。また、切片を見て識別できる。
20）咽頭弓器官や舌の発生を説明できる。
21）唾液腺の組織構造と機能の違いを説明できる。また、切片を見て識別できる。
22）顎関節の構造と機能の特徴を説明できる。また、切片を見て識別できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	1/6	08:50-09:35	歯学部演習室
2	1/6	09:45-10:30	歯学部演習室
3	1/6	10:45-11:30	歯学部演習室
4	1/7	08:50-09:35	4 階学生実習室
5	1/7	09:45-10:30	4 階学生実習室
6	1/7	10:45-11:30	4 階学生実習室
7	1/14	08:50-09:35	歯学部演習室
8	1/14	09:45-10:30	歯学部演習室
9	1/14	10:45-11:30	歯学部演習室
10	1/20	08:50-09:35	歯学部演習室
11	1/20	09:45-10:30	歯学部演習室
12	1/20	10:45-11:30	歯学部演習室
13	1/21	08:50-09:35	4 階学生実習室
14	1/21	09:45-10:30	4 階学生実習室
15	1/21	10:45-11:30	4 階学生実習室
16	1/27	08:50-09:35	歯学部演習室
17	1/27	09:45-10:30	歯学部演習室
18	1/27	10:45-11:30	歯学部演習室
19	1/28	08:50-09:35	4 階学生実習室
20	1/28	09:45-10:30	4 階学生実習室
21	1/28	10:45-11:30	4 階学生実習室
22	2/10	08:50-09:35	特別講堂
23	2/10	09:45-10:30	特別講堂
24	2/10	10:45-11:30	特別講堂

成績評価の方法

・組織実習の提出課題は、3~4 段階で判定をし、最終判定の点数に加算されるが未提出の場合は点数が得られない。

・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。

・最終判定は、実習課題、筆記試験の点数を一定比で合計し、100 点満点の 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 教科書は必ず購入し、予習・復習に活用すること。また、講義資料 PDF も講義の 1 週間以上前には配布を開始するので、予習しておくこと。

2. 実習はバーチャルスライドおよび顕微鏡を使って組織切片を観察し、組織スケッチを描いて提出する。講義の復習をしておくことが実習の効率をぐっと高くする。

3. 試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。また、いかに要説できるか、簡単な図を描けるかも重要である。加えて組織切片を用いたスライド試験を行い、実習の課題をきちんと学んでいるかを問う。

試験の受験資格

・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

教科書

口腔の発生と組織／田畑, 純, 1961-,田畑純 著:南山堂, 2019.4

バーチャルスライド 口腔組織学／田畑 純 著・文・その他,杉浦 真琴 著・文・その他,田畑 純,杉浦 真琴,:羊土社, 2021-11-19

口腔の機能と解剖 = Oral Function and Anatomy／田畑純, 角田佳折 著,田畑, 純, 1961-,角田, 佳折,:南山堂, 2021

参考書

口腔組織・発生学 : カラーエッセンシャル／Avery, James K,高野, 吉郎, 1949-,佐々木, 崇寿, 1952-2007,矢嶋, 俊彦, 1942-,入江, 一元, 1961-,ジェイムズ・K.エイヴリー 著,高野吉郎 監訳,佐々木崇寿, 矢嶋俊彦, 入江一元 訳:西村書店, 2002.4

口腔組織・発生学／脇田, 稔, 1944-,前田, 健康, 1959-,中村, 浩彰,脇田稔, 前田健康, 中村浩彰, 網塚憲生 編集:医歯薬出版, 2015.2

Ten Cate's oral histology : development, structure, and function／Ten Cate, Arnold Richard,Nanci, Antonio:Elsevier, c2018

履修上の注意事項

＜実習の注意＞ ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12 色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4 のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・スケッチは期限内に提出し、採点後に返却される。点数は最終判定に含まれるが、提出がない場合は特典が得られない。 ・実習は最初の 10 分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・実習は PBL 形式をとる。予習を少しでもしておくと効率がよい。また、教科書は必携、アトラスなども必要である。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ＜追試・再試について＞ ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする(必ず行うものではない)。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100 点満点の 60 点以上を合格とするが、最終成績は 60 点以上の点は与えられない(満点でも 60 点が最終成績となる)。

時間割番号	021b00				
科目名	予防と健康管理			科目ID	
担当教員	相田 潤　財津 崇　五十嵐公				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

口腔疾患の予防Ⅰ（講義）、口腔疾患の予防Ⅱ（実習）、歯科医療と社会、歯科法医学のユニットから、口腔疾患の予防や管理について幅広く理解を深めることを目的とする。講義・実習数は下記となる。
★以下、変更の必要あり ★

モジュール XX.

モジュール単位:
モジュール授業: 講義:コマ、 演習:コマ、実習:コマ
モジュール総コマ数:コマ

01 口腔疾患の予防 講義・演習
02 口腔疾患の予防 実習
03 歯科医療と社会 講義
04 歯科法医学 講義

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと。

【歯科医療と社会】遠隔授業または講義室

授業の目的、概要等
口腔疾患の予防と健康管理を行うために必要な基本的知識、技術、態度を身につけ、さらに我が国の歯科保健医療制度や歯科法医学に関する基本的知識を習得する。

【歯科医療と社会】歯科医師法および関連法規、保健、医療、福祉、介護に関する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと。

【歯科医療と社会】
1）歯科医師法および関連法規等を概説できる。コアカリ（平成 28 年度版；以下同）A-1-3)④ B-2-1)①③
2）医療法等および医療制度の方向性を概説できる。コアカリ A-7-1)②③ B-2-1)② B-2-2)①⑧
3）保健・医療・福祉・介護に関連する社会制度を概説できる。コアカリ B-2-1)④ B-2-2)①②③
4）保健・医療・福祉・介護の連携を説明できる。コアカリ A-7-1)③ B-2-1)⑥⑦
5）地域における歯科医療提供体制を説明できる。コアカリ A-7-1)④ B-2-1)⑥⑦

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/1	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯	講義:齲蝕の疫学・予防		相田 潤, 財津 崇, 松山	

			学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室			祐輔	
4-6	10/8	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習:齲蝕の予防		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
7-9	10/16	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義:歯周病の疫学・予防		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
10-12	10/21	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習:地域保健や法律		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
13-15	11/12	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義:地域保健や法律		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
16-18	11/13	08:50-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】講義 医事法制1	医療法など	五十嵐 公	D棟(歯科棟南)4階 【到達目標】2) 【学習方法】講義
19-21	11/19	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習:母子・学校・成人・高齢者の口腔保健		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
22-24	11/20	08:50-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】講義 歯科医療と社会保障	歯科医療と社会保障	宮原 勇治	D棟(歯科棟南)4階 【到達目標】1), 2),3), 4), 5) 【学習方法】講義
25-27	11/26	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習	講義:母子・学校・成人・高齢者の口腔保健		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	

			室, 歯学部演習室, 歯学部演習室				
28-30	11/27	08:50-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】講義・演習 医療・福祉・介護関連制度	（AL）医療保険制度など	五十嵐 公	D棟(歯科棟南)4階 【到達目標】3) 【学習方法】演習／講義
31-33	12/3	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習：疫学・口腔と全身		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
34-36	12/4	08:50-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】講義 医事法制２	歯科三法	五十嵐 公	D棟(歯科棟南)4階 【到達目標】1) 【学習方法】講義
37-39	12/10	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義：疫学・口腔と全身		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
40-42	12/11	08:50-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】講義 落ち穂拾い	国民医療費、地域歯科医療など	五十嵐 公	D棟(歯科棟南)4階 【到達目標】4), 5)【学習方法】講義
43-45	12/17	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習：診療所での感染予防		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
46	12/18	10:45-11:30	特別講堂	【歯科医療と社会】試験		五十嵐 公	D棟(歯科棟南)4階
47-49	1/7	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義：国際歯科保健・災害歯科保健・障害児・者の口腔保健や法		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
50-52	1/14	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学	実習：疫学・口腔と全身		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	

			部演習室, 歯学部演習室				
53-55	1/21	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義:診療所での感染予防		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
56-58	1/28	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	実習:口臭・その他の歯科疾患		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
59-61	2/4	13:30-16:10	歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室, 歯学部演習室	講義:口臭・その他の歯科疾患		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	
62-63	2/18	13:30-15:10	特別講堂	試験		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	

授業方法

各ユニットの授業方法を参照のこと。

授業内容

各ユニットの授業内容を参照のこと。

成績評価の方法

各ユニットの成績評価の方法を参照のこと。

【歯科医療と社会】歯科医療と社会の配点は小テスト 3 割、試験 7 割とするが、最終的な成績判定は「予防と健康管理」全体で行われる。

成績評価の基準

各ユニットの成績の方法を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

各ユニットの準備学習等についての具体的な指示を参照のこと。

【歯科医療と社会】

・日頃から各種ニュース等の報道に気を配り、保健、医療、福祉、介護に関する課題や制度改正の方向性等の情報を積極的につかむよう心がけること。

・毎回の講義内容を十分に復習し、次の講義に備えること。

試験の受験資格

各ユニットごとに行う。各ユニットの受験資格を参照のこと。

【歯科医療と社会】授業の出席、小テスト実施を試験の受験資格とする。遠隔授業の出席確認は Zoom または WebClass のアクセス記録による。

構成ユニット

下記の4つのユニットから構成される:

01 口腔疾患の予防 講義・演習

02 口腔疾患の予防 実習

03 歯科医療と社会 講義

04 歯科法医学 講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

各ユニットの履修上の注意事項を参照のこと。 【歯科医療と社会】参考書等はできる限り最新のものを選び参照すること。

備考

健康推進歯学分野 教授 相田潤

aida.ohp@tmd.ac.jp

毎週火曜日 PM.4:30-5:30 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野 図書室

【歯科医療と社会】

・法改正や制度変更など、歯科を取り巻く社会環境は絶えず変化しているので、丸暗記ではなく、社会の仕組みや成り立ちを大づかみに学ぶことが大切である。授業で触れる法や社会制度に特有の用語や考え方は、将来の実社会で有用となる。

・授業時間中の一部に、学生が自ら考えるための簡単なAL(演習)を行う。

・連絡先:五十嵐 公 igarashi.hce(@)tmd.ac.jp

※Email は上記アドレス の (@) 部分を @ に変えてください。

時間割番号	021b10				
科目名	歯科医療基礎Ⅰ			科目ID	
担当教員	新田 浩　　梅森 幸				
開講時期	2024年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

講義:3コマ、実習:30コマ

歯科医療基礎Ⅰ:歯科医師となる上で，歯科医療現場での歯科医師としての職責を理解し，患者診療に関しての業務内容を理解することは必須である．本科目では，歯科医療基礎Ⅱ，歯科医療基礎Ⅲと連携した授業内容を提供することで，ステューデント・デンティストとして患者診療を行う上で必要となる歯科医師としての基本的知識・技能・態度を修得し，歯科職能集団の共同体への参加を果たすことを本授業の目的とする．
授業内容としては，具体的には，歯科診療現場における器材準備や診療補助といった，業務リスクの低い業務への参加に必要となる基本的知識・技能・態度，また，診療現場における参加過程を通じて，術者が行う医療面接や口腔内診査の施術状況，その際の患者の心理等の観察により，歯科診察の基本構造について学ぶ．
授業方法としては，学生の歯科医療の現場への導入として，正統的周辺参加を可能とする実習を行う．
科目番号:●
授業形態:講義、実習
コマ数:●コマ

主な講義場所
各診療科診療室
遠隔(zoom)

授業の目的、概要等
将来の歯科医師としての自覚を 高めるために、歯科臨床の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標
1） 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2） 患者さんを安全に誘導する。
3） 患者さんの問題点に配慮する。
4） 指導教員、D6学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5） 各診療室で基本的な診療補助をする。
6） 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7） 安全に配慮した行動をする。
8） コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9） 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10)歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

コアカリ番号:E-1-1)-①②③④⑤⑥ F-3-1)-②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/7	13:30-16:10	遠隔授業(同期型)	Group discussion	Group discussion	梅森 幸, 則武 加奈子	実習 グループワーク(遠隔) ミーティング ID: 955 7590 8417 パスコード:

							841661
4-7	10/17	13:30-17:05	科目責任者へ要確認	【実習/演習】相互実習 / Group discussion(遠隔)	クラスを2班に分けて実施 WebClass:D2 歯科医療基礎Ⅰ 2024	梅森 幸, 則武 加奈子	実習/グループワーク(遠隔) ミーティング ID: 955 7590 8417 パスコード: 841661
8-11	10/21	13:30-17:05	科目責任者へ要確認	【実習/演習】相互実習 / Group discussion(遠隔)	クラスを2班に分けて実施 WebClass:D2 歯科医療基礎Ⅰ 2024	梅森 幸, 則武 加奈子	実習/グループワーク(遠隔) ミーティング ID: 955 7590 8417 パスコード: 841661
12-14	10/24	08:50-11:30	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
15-17	10/31	08:50-11:30	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
18-20	11/7	08:50-11:30	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
21	11/14	08:50-09:35	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
22-23	11/14	09:45-11:30	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
24-26	11/21	08:50-11:30	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
27-30	11/28	08:50-12:25	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
31-33	12/2	13:30-16:10	遠隔授業(同期型)	Group discussion	Group discussion	梅森 幸, 則武 加奈子	実習 グループワーク(遠隔) ミーティング ID: 955 7590 8417 パスコード: 841661

成績評価の方法

1)毎回の指導教員による観察記録(形成的評価)

2)毎回の実習記録(形成的評価)

3)レポート(形成的評価)

成績評価の基準

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。

・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

・合格判定および単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。

ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。

・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

・合格判定および単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

モジュールの単位判定

合格判定および単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック／岩田隆紀 著・文・その他,岩田隆紀 編集,水谷幸嗣 著・文・その他,水谷幸嗣 編集,岩野義弘 著・文・その他,岩野義弘 編集,松浦孝典 著・文・その他,松浦孝典 編集,岩田隆紀,水谷幸嗣,岩野義弘,松浦孝典,:クインテッセンス出版, 2022-03-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

実習では AL(スモールグループディスカッション)を行う。

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D2 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 本実習全体に関する指導担当者のオフィスアワー:まずはメールにて問い合わせ、アポをとること

新田 浩:nitta.behd(@)tmd.ac.jp

梅森 幸:sumegend(@)tmd.ac.jp

則武 加奈子:noritake.irm(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021b20				
科目名	医療統計学・疫学基礎			科目ID	
担当教員	相田　潤　　木野　志保　　松山　祐輔				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

疫学の基礎を学ぶ

主な講義場所

Zoom でのオンライン講義

授業の目的、概要等

授業目的

歯科疫学の基礎を理解する。

概要

歯科疫学の基礎を理解する。疫学論文を正しく理解するための土台をつくる。

授業の到達目標

歯科・口腔保健分野の疫学研究論文を読み臨床などに活かすための基礎的な素養を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	11/22	09:45-12:25	遠隔授業（同期型）	疫学研究の基礎	相田　潤, 松山　祐輔
4-6	11/29	09:45-12:25	遠隔授業（同期型）	論文の検索方法と発表形式の説明　口腔の疫学研究の紹介1　グループワーク1	相田　潤, 松山　祐輔
7-9	12/6	09:45-12:25	遠隔授業（同期型）	グループワーク1の発表　口腔の疫学研究の紹介2　グループワーク2	相田　潤, 松山　祐輔
10-12	12/13	09:45-12:25	遠隔授業（同期型）	グループワーク2の発表　口腔の疫学研究の紹介3　個人ワーク	相田　潤, 松山　祐輔
13-15	12/20	09:45-12:25	遠隔授業（同期型）	個人発表	相田　潤, 松山　祐輔

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

出席(50 点)および発表内容(50 点)を総合して評価する

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

試験の受験資格

試験は無い。講義時間内のプレゼンテーションにより評価を行う。

モジュールの単位判定

講義時間内のプレゼンテーションにより評価を行う。

教科書

ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法 : Evidence-based dentistry の実践のために／石丸美穂, 大野幸子 著,康永秀生 監修,石丸, 美穂,大野, 幸子,康永, 秀生,:新興医学出版社, 2022

アドバンスト分析疫学 : 369 の図表で読み解く疫学的推論の論理と数理／モイセス スクロ, F.ハビエル ニエト 著,木原正博, 木原雅子 訳,Szklo, Moyses,Nieto, F. Javier,木原, 正博, 1953-,木原, 雅子,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2020 セルフケア指導脱!誤解と思い込み : 今はこうする!最新の解釈&臨床／高柳篤史 監著,相田潤, 遠藤眞美, 佐藤涼一, 鈴木誠太郎, 山岸敦 著,高柳, 篤史,相田, 潤,遠藤, 眞美,佐藤, 涼一,鈴木, 誠太郎,山岸, 敦,:クインテッセンス出版, 2021
履修上の注意事項 課されたレポート等は必ず提出すること。

時間割番号	021b30				
科目名	研究入門Ⅱ			科目ID	
担当教員	笛木賢治　　井関祥子　　小野卓史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

研究入門Ⅱ
開設時期:2 年　後期
コマ数(授業コマ数+試験コマ数):10 + 0
授業形態:講義, 発表, 討論(アクテイブラーニング)

主な講義場所
各研究室または遠隔(オンライン)で実施する.

授業の目的、概要等
研究入門Ⅰの発展科目として, 研究論文を読むことにより, 科学論文の構成を知り, 研究成果を社会に還元するために必須である基本的知識を習得する. これにより, D3 での研究実習への円滑な導入を図ることを目的とする.

授業の到達目標
1) 科学論文の種類と特徴を説明できる.
2)科学論文の構成を説明できる.
3)科学論文を作成する上で必要な知識、技能、規範を説明できる.
4)科学論文が雑誌掲載されるまでのプロセスを説明できる.

授業方法
各研究室または遠隔(オンライン)で演習と講義を行う.

授業内容
課題とする論文を読み, 研究内容の発表と討議を行う.

成績評価の方法
授業の出席と発表で評価する.

準備学習等についての具体的な指示
事前学習として必要な論文等の資料を確認すること.

試験の受験資格
本科目の全授業時間数の2／3以上出席すること

構成ユニット
01　研究入門Ⅱ

モジュールの単位判定
本科目の単位を取得するためには、01ユニットに合格していなければならない。科目の合否および単位判定に際しては、授業出席コマ数ならびに発表と課題の成績を判断材料とする。

他科目との関連
研究入門Ⅱは, D3 で行う研究実習の導入科目となる.

時間割番号	021b40				
科目名	研究入門Ⅱα			科目ID	
担当教員	笛木賢治　井関祥子　小野卓史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

科目:研究入門Ⅱα(自由科目)
開設時期:2 年　後期コマ数(授業コマ数+試験コマ数):40 + 0
授業形態:実習
※　履修希望者が多い場合には分野配属がかなわない場合があります.

主な講義場所
配属先の研究室

授業の目的、概要等
研究入門Ⅱの発展科目として実習形式の授業を行う. 受講を希望する学生を基礎系研究室に配属し, 研究室のメンバーと直接に触れ合い活動を共にする場を提供する. これにより, 研究の実際について体験的に理解を深め, 3 年次での研究実習Ⅱでの分野配属での研究活動への円滑な導入を図る.

授業の到達目標
1)配属先の研究室の研究分野を説明できる.
2)配属先の研究者の研究活動内容を説明できる.
3)研究の実際について体験し理解したことを説明できる.

授業方法
配属先の研究室に出向き, 研究室のメンバーと直接に触れ合い活動を共にする.

授業内容

配属した研究のテーマ

成績評価の方法
授業(配属先分野)への出席回数と態度, レポートの内容で評価する.

準備学習等についての具体的な指示
配属先分野の教員と相談すること

試験の受験資格

本科目の全授業コマの 3/4 以上出席すること

構成ユニット

01 研究入門Ⅱα

モジュールの単位判定

本科目の単位を取得するためには、01ユニットに合格していなければならない。科目の合否および単位判定に際しては、実習参加回数とレポートを判断材料とする。

他科目との関連
3 年時の研究実習への導入科目となる.

備考
・分野配属先の選定に際して, 事前に面接を行います.

連絡先:笛木賢治　kunfu.rpro@tmd.ac.jp　オフィスアワー(木:13:00－17:00)

時間割番号	021b50				
科目名	自然科学演習			科目 ID	
担当教員	伊藤正則　　奈良雅之　　中林 潤				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日掲示する。

授業の目的、概要等

「具体的な問題点」を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決する技術を習得する。学生間での話し合いと教員によるアドバイスによって、問題点を解決する方法と正解は必ずしも１つでは無いことを理解するのと同時に、自身の学習方法の欠点を理解し、改善する。加えて、簡潔かつ解り易い言葉で説明する技術と建設的な話し合いを行ううえで必要なコミュニケーション技術を習得する。

授業の到達目標

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	10/15	08:50-09:35	
2	10/15	09:45-10:30	
3	10/15	10:45-11:30	
4	10/15	11:40-12:25	
5	10/15	13:30-14:15	
6	10/15	14:25-15:10	
7	10/15	15:25-16:10	
8	10/15	16:20-17:05	
9	10/22	08:50-09:35	
10	10/22	09:45-10:30	
11	10/22	10:45-11:30	
12	10/22	11:40-12:25	
13	10/22	13:30-14:15	
14	10/22	14:25-15:10	
15	10/22	15:25-16:10	
16	12/3	08:50-09:35	
17	12/3	09:45-10:30	

授業方法

problem-based learning (PBL)

授業内容

6 あるいは 7 名から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1－3 の順に行う。

1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。
2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。
3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。

この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった自主的な学習が必要である。

成績評価の方法

評価は、授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、レポートの記述内容による。詳細は第 1 回目のガイダンスで説明する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。論理的方法によって問題を解決することを試みる。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

課題シートなどの配布資料。

参考書

必要に応じて紹介する。

時間割番号	021008				
科目名	人体の構造と機能			科目 ID	DD-230200-Z
担当教員	上阪直史　井関祥子				
開講時期	2024 年度 1.5 通年	対象年次	2～3	単位数	19
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール No. 2

授業の目的、概要等

1. 身体の部位と方向用語、組織・器官及び個体の発生と成長の過程を理解する。
2. 組織、器官及び個体の成熟期以降の加齢変化(老化)を理解する。
3. 人体諸器官の正常な構造及び生理的機能とその機序を理解する。

授業の到達目標

人体を構成する組織、器官の構造と生理的機能および発生の仕組みを知るとともに、成長、発育・発達、加齢の過程でそれらがどの様に変化するかを理解する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとに設定する。

構成ユニット

01 人体の構造 Ⅰ (解剖学総論、運動系)
02 人体の構造 Ⅱ (脈管系、末梢神経系、器官系)
03 人体の発生
04 組織学総論(四大組織)
05 組織学各論(器官ごとの組織学)
06 神経系の機能Ⅰ(神経生理学総論、運動機能)
07 神経系の機能Ⅱ(知覚、情動、本能、睡眠、高次機能)
08 生命維持のための生体機能
09 人体解剖実習
10 中枢神経系
11 生理学実習
12 口腔生理
13 口腔組織・発生学
14 医療と造形
15 歯の解剖
16 歯型彫刻

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

モジュール責任者　　9 時から18時
上阪直史　uesaka.cnb@tmd.ac.jp
井関祥子　s.iseki.emb@tmd.ac.jp

時間割番号	021049				
科目名	臨床歯学イントロダクション			科目 ID	DD-350600-L
担当教員	若林 則幸, 髙市 敦士[WAKABAYASHI NORIYUKI, TAKAICHI Atsushi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床歯学イントロダクション
ユニットコマ数:30 コマ
授業形態:講義・演習(Online: Zoom Meeting, WebClass)
モジュール番号:6
ユニット番号:1

主な講義場所

Zoom によるリモート講義

授業の目的、概要等

主要な歯科疾患とそれに対する治療方法の特徴, および治療の流れを理解する。

授業の到達目標

1)臨床歯学の主要専門用語の理解/表記/発音ができる.
2)患者中心の医療とインフォームドコンセントについて説明できる.
3)患者の要望や懸念, 社会的背景を認識することができる.
4)歯科臨床科目の対象とする疾病の特徴を説明できる.
5)歯科臨床科目の治療の特徴を説明できる.
6)各歯科臨床科目のつながりと治療の流れを説明できる.
7)臨床上の疑問を定義でき, 治療のエビデンスを認識できる.
8)患者の全身状態と歯科診療との関連の強さを知る.
9)歯科臨床におけるチーム医療の重要性を知る.
10)医療の質と医療アクセスに関する知識を身につける.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	導入講義		新田 浩	ミーティング ID: パスコード:
2	4/1	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	部分床義歯		髙市 敦士	ミーティング ID: パスコード:
3	4/1	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	クラウンブリッジ		野崎 浩佑	ミーティング ID: パスコード:
4	4/1	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	全部床義歯		濵 洋平	ミーティング ID: パスコード:
5	4/1	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	インプラント		下岸 将博	ミーティング ID: パスコード:

6	4/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者		猪越 正直	ミーティング ID: パスコード:
7	4/3	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顎義歯		村瀬 舞	ミーティング ID: パスコード:
8-11	4/3	11:00-14:40	遠隔授業 (同期型)	補綴系 TBL	Zoom および WebClass 11:50-12:50 は昼休み	野﨑 浩佑, 髙市 敦士, 村瀬 舞, 濵 洋平, 下岸 将博, 猪越 正直	ミーティング ID: パスコード:
12	4/3	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	修復		田端 倫子	ミーティング ID: パスコード:
13	4/4	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	歯内治療		牧 圭一郎	ミーティング ID: パスコード:
14	4/4	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯周病		大杉 勇人	ミーティング ID: パスコード:
15-17	4/5	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	保存系 TBL	Zoom および WebClass	牧 圭一郎, 畑山 貴志, 大杉 勇人	ミーティング ID: パスコード:
18	4/10	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	障害者歯科		楠本 康香	パスコード:
19	4/11	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	口腔腫瘍外科		釘本 琢磨	ミーティング ID: パスコード:
20	4/11	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	顎顔面外科		原園 陽介	ミーティング ID: パスコード:
21	4/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯科麻酔		脇田 亮	ミーティング ID: パスコード:
22-25	4/12	10:00-13:40	遠隔授業 (同期型)	外科系 TBL	Zoom および WebClass 11:50-12:50 は昼休み	脇田 亮, 楠 本 康香, 釘 本 琢磨, 原	ミーティング ID: パスコード:

						園 陽介	
26	4/15	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	顎顔面矯正		東堀 紀尚	ミーティング ID: パスコード:
27	4/15	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	咬合機能矯正		石田 雄之	ミーティング ID: パスコード:
28	4/15	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	小児歯科		大石 敦之	ミーティング ID: パスコード:
29	4/15	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	顎関節		石山 裕之	ミーティング ID: パスコード:
30-32	4/15	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	育成機能系 TBL	Zoom および WebClass	東堀 紀尚, 大石 敦之, 石山 裕之, 石田 雄之	ミーティング ID: パスコード:

授業方法

Online: Zoom Meeting, WebClass

講義は Zoom を用いたオンライン形式とし, TBL の際には WebClass を併用する.

授業内容

臨床系分野の診療内容の紹介を行う.

今後の学部教育での各論への導入としての役割を本授業に期待している.

成績評価の方法

・ユニットの合格判定には, グループ学習の成績(個人テストおよびグループテスト)を基にして, 出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される.

準備学習等についての具体的な指示

事前学習として必要な資料がある場合は, 授業 3 日前までに Web Class 上に掲示するので, 必ず閲覧し, 指示に従うこと.

試験の受験資格

・合格には全体の3分の2以上の授業の出席を必要とする。

・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 臨床歯学イントロダクション

モジュールの単位判定

・合計4回実施されるグループ基盤学習(TBL)の成績及び平常学習態度で判定される.

・TBL の成績は, 個人:グループが 5:5 で換算される.

教科書

歯科衛生士のための歯科臨床概論／松井恭平 [ほか] 編,松井, 恭平,:医歯薬出版, 2016

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

パーシャルデンチャー活用力 : ライフコースに沿った基本から使いこなしまで／和田淳一郎, 高市敦士, 若林則幸著,和田, 淳一郎,高市,

敦士,若林, 則幸,:医歯薬出版, 2016
備考 ・第3学年学生を, ユニット責任者が決めた8つのグループに分け, 同一のグループ編成で全てのグループ学習を行う. オフィスアワー: 高市敦士 随時(メールにて面談の日程を調整すること:a.takaichi.rpro@tmd.ac.jp) 歯科棟 11 階　生体補綴歯科学分野 第 3 研究室 若林則幸 随時(メールにて面談の日程を調整すること:wakabayashi.rpro@tmd.ac.jp) 歯科棟 11 階　生体補綴歯科学分野 教授室

時間割番号	021024				
科目名	歯型彫刻			科目ID	DD-330216-E
担当教員	大竹　志保[OTAKE SHIHO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:人体の構造と機能
ユニットコマ数:27＋0
必要自習時間:5時間
授業形態:実習
ユニット番号:16

主な講義場所

補綴実習室、補綴示説室(7号館3階)

授業の目的、概要等

永久歯の歯冠の解剖学的形態を正確に理解し、歯冠形態を回復するための基本的技法を修得する。

授業の到達目標

1)ワックス棒を彫刻し、直線、曲線、点および面によって構成される種々の立体を造ることができる。
2)解剖学的歯冠形態を描画できる。
3)ワックス棒を彫刻し、解剖学的歯冠形態を造ることができる。
4)歯牙石膏半切模型にワックスを築盛し、歯冠形態を回復できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/8	09:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	上顎右側中切歯近心側ワックス修復	高橋　礼奈	【到達目標】4)【学習方法】実習
4-6	4/8	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	上顎右側第1大臼歯近心咬合面側ワックス修復	高橋　礼奈	【到達目標】4)【学習方法】実習
7-9	4/9	09:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	上顎右側第1小臼歯近心咬合面側ワックス修復	高橋　礼奈	【到達目標】4)【学習方法】実習
10-12	4/12	13:50-16:40	3F 示説室, 補綴実習室	下顎右側第1大臼歯近心側ワックス修復	高橋　礼奈	【到達目標】4)【学習方法】実習
13-15	4/17	09:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	上顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	大竹　志保, 吉田　隆義, 南　孝, 岡田　大蔵, 村上　奈津子, 豊嶋　悠輔, 濵　洋平	【到達目標】1),2),3)【学習方法】実習
16-18	4/17	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	大竹　志保, 吉田　隆義, 南　孝, 岡田	(【到達目標】1),2),3)【学習方法】実習

					大蔵, 村上 奈津子, 豊嶋 悠輔	
19-21	5/10	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	大竹 志保, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 村上 奈津子, 風間 龍之輔	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】実習
22-24	5/17	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	下顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	大竹 志保, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 村上 奈津子, 風間 龍之輔	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】実習
25-27	5/28	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	下顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	大竹 志保, 吉田 隆義, 南 孝, 岡田 大蔵, 村上 奈津子, 豊嶋 悠輔	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】実習

成績評価の方法

実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布されるテキストを熟読の上、臨むこと。また歯の解剖学など、歯冠、歯根形態に関連する講義に関して十分復習を行い、知識を整理しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名：歯型彫刻

モジュールの単位判定

実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。

参考書

・歯型彫刻実習は、実習の際にテキストが配布される。

履修上の注意事項

事前にテキストで予習して実習に臨むこと。

備考

本ユニットでは、アクティブラーニング（実習）を行う。

時間割番号	021050				
科目名	感染と生体防御			科目 ID	DD-330700-Z
担当教員	鈴木　敏彦[SUZUKI TOSHIHIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:76＋5
授業形態:講義(遠隔)・演習・実習(遠隔および対面)
モジュール番号:07　感染と生体防御

授業の目的、概要等

感染症の原因となる病原生物の性状および作用を学ぶとともに，生体防御機構を理解する．また今日の生命科学に必要不可欠なバイオインフォマティックスの基礎を理解する．

授業の到達目標

各ユニットを参考にすること．

成績評価の方法

ユニット毎に評価が変わるため，各ユニットに記載されている内容を確認すること．

準備学習等についての具体的な指示

授業の範囲をシラバスに記載しているため，当該授業の前に，相当する部位を予習しておくこと．また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には，それぞれの担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある．

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す．ただし，当該モジュール全ユニットの実習全てに出席しなければならない。

構成ユニット

01 感染と免疫概論
02 病原性細菌と感染症
03 病原性ウイルスと感染症
04 バイオインフォマティックス概論
05 生体免疫応答

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない．なお，ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される．なお，当該モジュールの全ユニットにおける全ての実習への出席が単位取得に必要である．
また，各ユニットにおける再試験は1回のみしか行わない．

教科書

口腔微生物学 = ORAL MICROBIOLOGY : 感染と免疫／石原和幸，今井健一，小川知彦，落合邦康，落合智子，葛城啓彰，上西秀則，清浦有祐，古西清司，田中芳彦，中澤太，浜田信城，前田伸子 編集,高尾亞由子，玉井利代子，長環，宮川博史 執筆,石原，和幸，1960-,今井，健一,小川，知彦,高尾，亞由子,玉井，利代子,長，環,:学建書院，2018
口腔微生物学・免疫学／川端重忠，小松澤均，大原直也，寺尾豊，浜田茂幸 編集,川端，重忠,小松澤，均,大原，直也,:医歯薬出版，2021

履修上の注意事項

本モジュールでは，全ユニットを合格してモジュールを合格とする．そのため，1ユニットでも合格とならなかった場合は，モジュールとして不合格となるので，注意すること．

備考

モジュール責任者:鈴木敏彦
オフィスアワー:火曜日午後 5 時
連絡先:suzuki.bact@tmd.ac.jp

時間割番号	021051			
科目名	感染と免疫概論		科目 ID	DD-330701-L
担当教員	鈴木　敏彦[SUZUKI TOSHIHIKO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:感染と生体防御
コマ数:11＋1
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

全て遠隔授業

授業の目的、概要等

感染と生体防御の基礎的機構を理解する.

授業の到達目標

1） 感染症と人類の歴史について概説できる.
2） 微生物学の歴史を概説できる.
3） 微生物の多様性について説明できる.
4） 免疫学の歴史を概説できる微生物の多様性について説明できる.
5） リンパ球循環について説明できる.
6） サイトカイン・ケモカインについて説明できる.
7） 医学的に重要な寄生虫について、生活環および感染経路を説明できる.
8） 国際的に問題となっている寄生虫病の現状について説明できる.
9） 血液の構成成分を列挙できる.
10） 血液・免疫系細胞の分化について説明できる.
11） 免疫担当細胞の種類が列挙でき, その機能が説明できる.
12） 抗原受容体の多様性獲得のしくみが説明できる.
13） Ｂリンパ球の分化と機能について説明できる.
14） 抗体の役割について説明できる.
15） Ｔリンパ球の分化と抗原認識について説明できる.
16） バイオセイフティの概念を説明できる.
17） 滅菌と消毒の意義と代表的な方法について原理を説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	4/9	13:50-14:40	
2	4/9	14:50-15:40	
3	4/9	15:50-16:40	
4	4/19	12:50-13:40	
5	4/19	13:50-14:40	
6	4/19	14:50-15:40	
7	4/22	09:00-09:50	
8	4/22	10:00-10:50	
9	4/22	11:00-11:50	
10	4/24	09:00-09:50	
11	4/24	10:00-10:50	
12	5/10	10:00-10:50	

成績評価の方法

・計11 コマ分のリアクションペーパー（確認テスト）により学修の程度を評価する.

・上記テスト (30%) および 2024 年 5 月 10 日(金)に筆記試験 (70%) を行い, 総括的評価を行う.
準備学習等についての具体的な指示 当該授業の前に, 指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと. また, 授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため, 試験時には, それぞれ担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある.
試験の受験資格 履修者全員が受験資格を有す.
モジュールの単位判定 遠隔授業(zoom による同期型授業あるいは web class 上にアップロードしたビデオを視聴)に参加することにより出席とする。当該講義時間以降に公開するので確認すること。リアクションペーパー(確認テスト)もweb classにアップロードするので、講義後1週間以内に直接入力して提出するか、あるいはメール添付にて担当教員まで提出すること。
備考 AL として、講義後の確認テスト実施、あるいはリアクション・ペーパーの提出を行う。

時間割番号	021052			
科目名	病原性細菌と感染症		科目 ID	DD-330702-Z
担当教員	鈴木　敏彦[SUZUKI TOSHIHIKO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:感染と生体防御
コマ数:26＋1
授業形態:講義・実習
ユニット番号:02

主な講義場所

実習を除き、全て遠隔授業

授業の目的、概要等

感染予防と治療の基礎を，微生物の特性に着眼して理解するとともに，その方法と限界について知る.
到達目標(SBOs)：授業明細を参照

授業の到達目標

1. 細菌の構造と機能の特徴について説明できる.
2. 細菌の増殖と代謝経路の特徴について説明できる.
3. 化学療法と薬剤耐性について概説できる.
4. 細菌の遺伝発現の制御機構について説明できる.
5. 細菌の遺伝子伝播の特徴とその機構と病原性との関わりについて説明できる.
6. 共生細菌とそれが関与する宿主免疫、慢性疾患について説明できる
7. 細菌の病原性について説明できる.
8. 細菌の感染・発症にかかわる病原体側の因子、宿主側の因子，感染経路を説明できる.
9. グラム陽性球菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
10. グラム陽性桿菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
11. グラム陰性球菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
12. グラム陰性桿菌について細菌学的特徴，感染症を説明できる.
13. 細胞内寄生細菌について、細菌学的特徴，感染症を説明できる.
14. 真菌感染症について説明できる.
15. 口腔感染症について説明できる.
16. 口腔フローラの成立過程を説明できる.
17. 歯垢の成立過程を理解し，バイオフィルムとしての歯垢を説明できる.
18. う蝕および歯周疾患に関与する細菌についてその発症過程と病原性因子を説明できる.
19. 口腔細菌により起こる全身疾患について説明できる.
20. 細菌の基本的な染色を実施できる.
21. 細菌の分離培養とその細菌の鑑別ができる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	4/24	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	
2	4/26	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	
3	4/26	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	

4	4/26	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	
5	4/30	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	
6	4/30	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	
7	4/30	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	
8	5/2	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	
9	5/2	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	
10	5/8	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	
11	5/8	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	
12	5/8	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	
13	5/9	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	
14	5/9	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	
15	5/13	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	
16	5/13	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	
17	5/13	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	
18	5/15	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	
19	5/15	10:00-10:50	遠隔授業（非同期型）	
20	5/15	11:00-11:50	遠隔授業	

			（非同期型）	
21	5/20	11:00-11:50	特別講堂	試験

成績評価の方法

・実習レポート（提出締め切りは実習において提示）および 2024 年 5 月 20 日（月）に筆記試験を行い，総括的評価を行う.

・病原性細菌と感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を求めます.

準備学習等についての具体的な指示

当該授業の前に，事前配布された授業資料および指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと．また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には担当の教員からあらかじめ範囲を指示することがある．授業の資料を 3 日前までに Web class へアップロードするので、各自利用して下さい。

試験の受験資格

履修者全員が受験資格を有す．ただし，病原性細菌と感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を必須とする.

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない．なお，ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては，提出レポート内容が評価に加味される.

参考書

標準微生物学　第 14 版／中込治，神谷茂，錫谷達夫　編集,:医学書院，2018

口腔微生物学・免疫学　第 5 版／川端重忠・小松澤均・大原直也・寺尾豊・浜田茂幸　編:医歯薬出版，2021

備考

AL として実習においてグループワークと討論を実施する。

時間割番号	021053			
科目名	病原性ウイルスと感染症		科目 ID	DD-330703-Z
担当教員	鈴木　敏彦[SUZUKI TOSHIHIKO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:感染と生体防御
コマ数:15＋1
授業形態:講義･実習
ユニット番号:03

主な講義場所

実習を除き、全て遠隔授業

授業の目的、概要等

ウイルスの構造と性状を学び，ウイルス感染症の病態を理解する.
到達目標(SBOs)： 授業明細を参照

授業の到達目標

1. ウイルスの増殖および感染の概略を説明できる.
2. ウイルスの形態，構造および分類について説明できる.
3. DNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる.
4. RNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる.
5. 肝炎ウイルスとその感染症と予防法について説明できる.
6. レトロウイルス(HIV，HTLV-I)とその感染症および予防法について説明できる.
7. ウイルス感染の予防と治療の基礎を説明できる.
8. ウイルス感染症の迅速診断の基礎を理解できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	5/17	09:00-09:50	
2	5/17	10:00-10:50	
3	5/17	11:00-11:50	
4	5/20	12:50-13:40	
5	5/20	13:50-14:40	
6	5/20	14:50-15:40	
7	5/21	12:50-13:40	
8	5/21	13:50-14:40	
9	5/21	14:50-15:40	
10	6/4	12:50-13:40	
11	6/5	12:50-13:40	
12	6/5	13:50-14:40	
13	6/5	14:50-15:40	
14	6/6	10:00-10:50	
15	6/6	11:00-11:50	
16	6/17	15:50-16:40	

成績評価の方法

･実習レポート(提出締め切りは実習において提示)および 2024 年 6 月 17 日(月)に筆記試験を行い，総括的評価を行う.
･病原性ウイルスと感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を求めます.

準備学習等についての具体的な指示

当該授業の前に，事前配布された授業資料及び指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと. また，授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため，試験時には，担当教員からあらかじめ範囲を指示することがある. 授業の資料を 3 日前までに Web

class へアップロードするので、各自利用して下さい.
試験の受験資格 履修者全員が受験資格を有す. ただし, 病原性ウイルスと感染症の実習は限られた日数で実習を実施するため、全日程の参加を必須とする.
参考書 標準微生物学　第 14 版／中込治, 神谷茂, 錫谷達夫編:医学書院, 2018
備考 AL として実習においてグループワークと討論を実施する。

時間割番号	021054			
科目名	バイオインフォマティックス概論		科目 ID	DD-330704-L
担当教員	鈴木敏彦			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:感染と生体防御
コマ数:4+1
授業形態:講義
ユニット番号:O4

主な講義場所

全て遠隔授業

授業の目的、概要等

バイオインフォマティックスは計算科学、数学、統計学を用いた分子生物学で、時代とともに大きく発展を続けている学問分野です. 本授業では、生命科学、計算科学、データベースなどのバイオインフォマティックスの基本知識を習得することを目的とします.

授業の到達目標

1. 代表的な公共分子生物学データベースを利用することができる.
2. DNA やタンパク質の配列解析を説明できる.
3. ヒトゲノムの構造と遺伝的多型を理解できる.
4. ゲノム解析を用いた医学応用について理解できる.
5. よく使われるオーミクス解析の研究手法を理解できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	6/4	13:50-14:40	
2	6/4	14:50-15:40	
3	6/13	12:50-13:40	
4	6/13	13:50-14:40	
5	6/28	11:00-11:50	

成績評価の方法

当該講義日の最後に AL として確認テスト、2024 年 6 月 28 日(金)に筆記試験を実施し評価する.

準備学習等についての具体的な指示

バイオインフォマティックスを理解するためには生物学、生化学、分子生物学の知識も必要である. 教科書「バイオインフォマティクス入門」の第1章「生命科学」を予習しておくことが望ましい. (また授業内容が広範囲に渡る場合、試験時に担当教員があらかじめ範囲を指示することがある.)

試験の受験資格

出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す.

教科書

出版社:慶應義塾大学出版会(2015/8/22)
・ISBN-10: 4766422511
・ISBN-13: 978-4766422511
バイオインフォマティクス入門
日米バイオインフォマティクス学会編

参考書

出版社:メディカル・サイエンス・インターナショナル; 第 2 版(2005/12/15)
・ISBN-10: 4895924262

・ISBN-13: 978-4895924269
バイオインフォマティクス ゲノム配列から機能解析へ 第 2 版
マウント デービッド W. (著), 岡崎 康司(著), 坊農 秀雄(著)

備考

AL として確認テストを実施する。

連絡先:岡野 徳壽 okano.bact@tmd.ac.jp

時間割番号	021055			
科目名	生体免疫応答		科目 ID	DD-330705-Z
担当教員	鈴木　敏彦[SUZUKI TOSHIHIKO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:感染と生体防御

コマ数:20＋1
授業形態:講義・実習
ユニット番号:05

主な講義場所

全ての講義は遠隔授業であるが，免疫学実習(1)は1号館西6階の歯学部基礎実習室で行う.

授業の目的、概要等

病原生物や様々な刺激に対して生体の免疫系がどのように応答するか，また免疫系により引き起こされる疾患を理解する.

授業の到達目標

1） 抗原提示細胞について説明できる.
2） Ｔリンパ球の機能と特徴を説明できる.
3） 抗原特異的な免疫応答の成立を説明できる.
4） 免疫寛容を説明できる.
5） 細胞性免疫と液性免疫が説明できる.
6） 免疫関連疾患とその発症機序を説明できる.
7） 移植片拒絶について説明できる.
8） アレルギーの分類とその内容が説明できる.
9） 粘膜免疫の特徴について説明できる.
10） 自然免疫と適応免疫が説明できる.
11） 細菌・ウイルスに対する免疫応答が説明できる.
12） 自己免疫疾患について説明できる.
13） 免疫不全について説明できる.
14） 癌に対する免疫応答について説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/12	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	講義　抗原提示細胞とMHC	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】1, 3 【学習方法】遠隔講義　Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
2	6/12	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	講義　Ｔリンパ球のエフェクター機能	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】2, 3 【学習方法】遠隔講義(同期) Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
3	6/12	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　免疫寛容	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】3, 4 【学習方法】遠隔

							講義　Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
4	6/18	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	講義　感染免疫（1）先天免疫	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】6, 10, 11 【学習方法】遠隔講義　Zoom ID:　Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
5	6/18	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義　感染免疫（2）適応免疫	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】5, 6, 10, 11 【学習方法】遠隔講義 Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
6	6/18	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義　感染免疫（3）ワクチン	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】6, 10, 11 【学習方法】遠隔講義　Zoom ID:　Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
7-9	6/25	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業（非同期型）	実習　免疫学実習（1）	AL（アレルギーに関する実習）WebClass:	東　みゆき, 永井　重徳, 張　晨陽, 上條　達央, 櫻井　仁亨	【到達目標】5, 6, 8 【学習方法】実習 【注意事項】全体をA, Bの2班に分けA班が6月25日に実習を行う。B班は6月27日5~7限「感染免疫(1)~(3)」を非同期ビデオで履修する。
10	6/27	13:50-14:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業（非同期型）	講義　移植免疫	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】1, 3, 5, 7 【学習方法】非同期ビデオ 【事後学習】リアクションペーパー回答 【注意事項】A班のみ履修。B班は6月25日の免疫学実習(1)と同内容を実習室で行う。
11	6/27	14:50-15:40	歯学部基礎実習室, 遠隔	講義　腫瘍免疫	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】6, 14 【学習方法】非同期ビデオ 【事後

			授業(非同期型)				学習】リアクションペーパー回答【注意事項】A 班のみ履修。B 班は 6 月 25 日の免疫学実習(1)と同内容を実習室で行う。
12	6/27	15:50-16:40	歯学部基礎実習室, 遠隔授業(非同期型)	講義　アレルギーおよび自己免疫疾患	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】6,　8, 12, 13 【学習方法】非同期ビデオ【事後学習】リアクションペーパー回答 【注意事項】A 班のみ履修。B 班は 6 月 25 日の免疫学実習(1)と同内容の実習を実習室で行う。
13-14	7/3	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　粘膜免疫	AL　WebClass:	樗木　俊聡	【到達目標】6, 9【学習方法】遠隔講義　Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答【注意事項】90 分授業
15-17	7/3	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	実習　免疫学実習(2)	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】5, 6, 8【学習方法】実習に関する演習/遠隔講義　Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
18-20	7/12	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	実習　免疫学実習(3)	AL　WebClass:	永井　重徳	【到達目標】1)－14) 【学習方法】講義全般に関する演習/遠隔講義 Zoom ID: Passcord: 【事後学習】リアクションペーパー回答
21	7/17	10:00-10:50	特別講堂	ユニット 5 試験		永井　重徳	

成績評価の方法

・各講義終了後1週間以内のリアクション・ペーパーの提出により, 出席確認及び形成的評価を行う.

・リアクション・ペーパー (20%), レポート (20%) および 2024 年 7 月 17 日に筆記試験 (60%) を行い, 総括的評価を行う.

準備学習等についての具体的な指示

ユニット5開始前に, ユニット1で学習したことを復習しておくこと. また, 講義終了ごとに, 学習確認のためのリアクション・ペーパーを実施する. 講義資料およびプリントは, Web システムにアップロードされる.

試験の受験資格

・履修者全員が受験資格を有す.

モジュールの単位判定

遠隔授業(zoom による同期型授業あるいは WebClass 上にアップロードしたビデオを視聴)に参加するとともに, 当該講義時間以降に公開するリアクションペーパー(確認テスト)を, 講義後1週間以内に提出することで出席とする。

参考書

・リッピンコット シリーズ イラストレイテッド免疫学 原書3版(丸善) 監訳:矢田 純一 / 高橋 秀実 / 藤尾 圭志(原書 Lippincott Illustrated Reviews: Immunology, Lippincott Williams & Wilkins)

・免疫学イラストレイテッド 原書第7版(南江堂) 監訳:高津 聖志 ほか(原書 Immunology 7th Edition, Mosby Elsevier)

・分子細胞免疫学 原書第7版(エルセビア出版) 監訳:松島 綱治・山田 幸宏(原書 Cellular and Molecular Immunology, 7th Edition, Saunders)

・エッセンシャル免疫学 第3版(メディカル・サイエンス・インターナショナル) 監訳:笹月 健彦(原書 THE IMMUNE SYSTEM, fourth edition, Garland Science)

・標準免疫学 第3版(医学書院) 監修:宮坂 昌之

・免疫学の基礎 第5版(東京化学同人) 監修:入村 達郎 編著:辻 勉

備考

AL として, 講義後のリアクション・ペーパーの提出, 実習, 演習を行う。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8 階南 細菌感染制御学分野教員室

時間割番号	021056				
科目名	臨床予備実習			科目 ID	DD-350800-Z
担当教員	新田　浩, 梅森　幸, 則武　加奈子[NITTA HIROSHI, UMEMORI SACHI, NORITAKE KANAKO]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:56
モジュール番号:08
モジュール単位:2単位
モジュール授業　講義:5 コマ、実習:51 コマ

主な講義場所

各診療科診療室
遠隔(zoom)

授業の目的、概要等

将来の歯科医師としての自覚を 高めるために、歯科臨床の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標

1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2) 患者さんを安全に誘導する。
3) 患者さんの問題点に配慮する。
4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5) 各診療室で基本的な診療補助をする。
6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7) 安全に配慮した行動をする。
8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10)歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

コアカリ番号:E-1-1)-①②③④⑤⑥　F-3-1)-②

授業方法

講義:
実習

授業内容

講義:ガイダンスと実習に必要な知識
実習:配属された診療科での見学実習、実施可能なアシスト業務

成績評価の方法

1)毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価)
2)毎回の実習記録(形成的評価)
3)レポート(形成的評価)

成績評価の基準

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。
・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。
・合格判定および単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。

ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。

・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生は未履修とし、次年度に当該科目を再履修しなければならない。

・合格判定および単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

構成ユニット

01 各診療科における診療の補助Ⅰ

02 各診療科における診療の補助Ⅱ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック／岩田隆紀 著・文・その他,岩田隆紀 編集,水谷幸嗣 著・文・その他,水谷幸嗣 編集,岩野義弘 著・文・その他,岩野義弘 編集,松浦孝典 著・文・その他,松浦孝典 編集,岩田隆紀,水谷幸嗣,岩野義弘,松浦孝典,:クインテッセンス出版, 2022-03-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

全体での遠隔時(同期型)では AL(スモールグループディスカッション)を行う。

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

本実習全体に関する指導担当者のオフィスアワー:まずはメールにて問い合わせ、アポをとること

新田 浩:nitta.behd(@)tmd.ac.jp

梅森 幸:sumegend(@)tmd.ac.jp

則武 加奈子:noritake.irm(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021057			
科目名	各診療科における診療の補助Ⅰ		科目ID	DD-350801-Z
担当教員	梅森　幸[UMEMORI SACHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床予備実習

コマ数:26
授業形態:講義・実習
ユニット番号:O1

主な講義場所
各診療科診療室
遠隔(zoom)

授業の目的、概要等
将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標
1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2) 患者さんを安全に誘導する。
3) 患者さんの問題点に配慮する。
4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5) 各診療室で基本的な診療補助をする
6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7) 安全に配慮した行動をする。
8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10)歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

コアカリ番号:E-1-1)-①②③④⑤⑥ F-3-1)-②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/4	15:50-17:40	遠隔授業(同期型)	【講義】オリエンテーション	オリエンテーション WebClass:D3 臨床予備実習 2024	梅森　幸	講義(遠隔) ミーティング ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175
3-5	4/10	13:50-16:40	科目責任者へ要確認	【実習/演習】相互実習 / Group discussion(遠隔)	クラスを2班に分けて実施 WebClass:D3 臨床予備実習 2024	梅森　幸, 則武　加奈子	実習/グループワーク ミーティング ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175
6-8	4/22	13:50-16:40	科目責任者へ要確認	【実習/演習】相互実習 / Group discussion(遠隔)	各診療科での診療の補助	梅森　幸, 則武　加奈子	実習/グループワーク ミーティング ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175

9-11	5/14	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
12-14	5/21	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
15-17	6/4	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
18-20	6/11	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
21-23	6/18	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
24-26	6/19	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	【演習】Group discussion	Group discussion	梅森 幸, 則武 加奈子	グループワーク（遠隔） ミーティング ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175

成績評価の方法

1）毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録（形成的評価）

2）毎回の実習記録（形成的評価）

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。

ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング ： 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド ： 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック／岩田隆紀 著・文・その他,岩田隆紀 編集,水谷幸嗣 著・文・その他,水谷幸嗣 編集,岩野義弘 著・文・その他,岩野義弘 編集,松浦孝典 著・文・その他,松浦孝典 編集,岩田隆紀,水谷幸嗣,岩野義弘,松浦孝典,:クインテッセンス出版,2022-03-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

全体での遠隔時(同期型)では AL(スモールグループディスカッション)を行う。

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていな いため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。
欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科総合診療科の新田 浩教授が担当する。

本実習全体に関する指導担当者のオフィスアワー:まずはメールにて問い合わせ、アポをとること
新田 浩:nitta.behd(@)tmd.ac.jp
梅森 幸:sumegend(@)tmd.ac.jp
則武 加奈子:noritake.irm(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021058			
科目名	各診療科における診療の補助Ⅱ		科目ID	DD-350802-E
担当教員	則武　加奈子[NORITAKE KANAKO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床予備実習
コマ数:30
授業形態:実習・SGD・発表
ユニット番号:O2

主な講義場所

各診療科診療室
Zoom

授業の目的、概要等

将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。

授業の到達目標

1） 患者さんに自己紹介、挨拶をする。
2） 患者さんを安全に誘導する。
3） 患者さんの問題点に配慮する。
4） 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。
5） 各診療室で基本的な診療補助をする。
6） 清潔・不潔に配慮した行動をする。
7） 安全に配慮した行動をする。
8） コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。
9） 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。
10）歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。

コアカリ番号:E-1-1)-①②③④⑤⑥　F-3-1)-②

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/9	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	【演習】Group discussion	Group discussion	梅森　幸, 則武　加奈子	グループワーク（遠隔）ミーティング　ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175
4-6	10/11	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森　幸, 則武　加奈子	実習
7-9	10/25	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森　幸, 則武　加奈子	実習
10-12	11/1	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森　幸, 則武　加奈子	実習
13-15	11/8	09:00-11:50	科目責任	【実習】各診療科での診	各診療科での診療の補助	梅森　幸, 則	実習

			者へ要確認	療の補助		武 加奈子	
16-18	11/15	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
19-21	11/29	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
22-24	12/6	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	【実習】各診療科での診療の補助	各診療科での診療の補助	梅森 幸, 則武 加奈子	実習
25-27	12/9	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	【演習】Group discussion	Group discussion	梅森 幸, 則武 加奈子	グループワーク(遠隔) ミーティング ID: 967 8614 7107 パスコード: 776175
28-30	12/13	09:00-11:50	科目責任者へ要確認	予備日	予備日	梅森 幸, 則武 加奈子	予備日

成績評価の方法

1)毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価)
2)毎回の実習記録(形成的評価)
3)SGD 後の課題(レポート)(形成的評価)

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。
ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。

試験の受験資格

・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
・SGD 後の課題(レポート)を提出しなければならない。
・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる! スタッフも楽しくなる!歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法/新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10
見逃しケースのなぜを解く! 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント/礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新

田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10
歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック／岩田隆紀 著・文・その他,岩田隆紀 編集,水谷幸嗣 著・文・その他,水谷幸嗣 編集,岩野義弘 著・文・その他,岩野義弘 編集,松浦孝典 著・文・その他,松浦孝典 編集,岩田隆紀,水谷幸嗣,岩野義弘,松浦孝典,:クインテッセンス出版, 2022-03-10

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

全体での遠隔時(同期型では)AL(スモールグループディスカッション)を行う。

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。
欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。
※ 統括責任者は歯科総合診療科の新田 浩教授が担当する。

本実習全体に関する指導担当者のオフィスアワー:まずはメールにて問い合わせ、アポをとること
新田 浩:nitta.behd(@)tmd.ac.jp
則武 加奈子:noritake.irm(@)tmd.ac.jp
梅森 幸:sumegend(@)tmd.ac.jp
※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021059				
科目名	病理			科目 ID	DD-330900-Z
担当教員	布川　裕規[FUKAWA Yuuki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:85＋6
授業形態講義・実習
モジュール番号:9

授業の目的、概要等

疾病の原因、病態に関する基本的知識を体系的に修得する。

成績評価の方法

ユニット 1:病理学総論とユニット 2:口腔病理学の得点を合計して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとに 3/4 以上の授業に出席した者に受験資格を与える。

構成ユニット

01 病理学総論
02 口腔病理学

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等も考慮される。

備考

モジュール責任者・担当者
栢森　高　連絡先:kayamori.mpa@tmd.ac.jp
布川裕規　連絡先:yfukawa.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー:毎週　月、木曜日　PM.16:00-17:00　1 号館東 4 階口腔病理学分野　第 1 研究室

時間割番号	021060			
科目名	病理学総論		科目ID	DD-330901-Z
担当教員	布川裕規			
開講時期	2024年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

コマ数:47+3
授業形態講義・実習
モジュール番号:9
ユニット番号:01

主な講義場所

授業は講義、実習ともにZoomまたはWebClassを用いた遠隔授業に大学の講義室での対面授業を加えたかたちで実施します。定期試験は大学の講義室で対面形式で行います。日程表を見て間違いのないように気をつけて授業に参加してください。

授業の目的、概要等

疾患の成り立ちについて、総論的な知識を得るための授業を行います。

授業の到達目標

疾患の成り立ちについて、病因論、細胞組織傷害、循環障害、炎症、先天異常、腫瘍の各項目について総論的な知識を全身疾患をモデルとして自ら考え、理解できるようになる。具体的には、理解できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/11	15:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	細胞組織傷害、変性		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
3-5	4/16	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	内分泌障害、細胞死		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
6-8	4/19	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	循環障害		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
9-10	4/23	14:50-16:40	特別講堂	修復と再生	昭和大学口腔病理学美島教授特別講義	池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面授業
11-13	4/30	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	炎症		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
14-17	5/1	12:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	循環障害 バーチャル実習		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
18-20	5/7	09:00-11:50	特別講堂	先天異常	東都大学勝部教授特別講義	勝部 憲一	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面授業
21-22	5/7	12:50-14:40	特別講堂	自己免疫疾患		布川 裕規	【到達目標】シラ

							バス参照【学習方法】対面授業
23-25	5/22	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	感染症		布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
26-28	5/27	13:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	炎症 バーチャル実習		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
29-31	5/28	09:00-11:50	4階学生実習室	顕微鏡実習	これまで習った範囲のプレパラート観察	池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面顕微鏡実習 色鉛筆持参
32-33	5/29	12:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	肺の病理	医学部桐村先生特別講義	桐村 進	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
34-36	5/31	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	腫瘍総論	腫瘍の定義、分類、腫瘍の細胞生物学、病理組織像	池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
37-39	6/4	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	上皮性腫瘍		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
40-41	6/4	15:50-17:40	4階学生実習室	顕微鏡実習	これまで習った範囲のプレパラート観察	池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面顕微鏡実習 色鉛筆持参
42-43	6/6	12:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	非上皮性腫瘍		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
44-46	6/7	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	総括、まとめ		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
47-49	6/11	13:50-16:40	特別講堂	病理学総論試験		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面筆記試験

授業方法

授業は講義、実習ともに Zoom または WebClass を用いた遠隔授業および大学の講義室を使用した対面授業で実施します。病因論、細胞組織傷害、循環障害、炎症、先天異常、腫瘍について授業を行い、適宜小テストおよび課題に取り組ませることで、自ら学ぶ力も涵養します。

授業内容

病因論、細胞組織傷害、組織修復と再生、循環障害、炎症、先天異常、腫瘍について総合的な知識を身につけるために全身疾患をモデルとした授業を行います。

成績評価の方法

定期試験の得点に、小テストおよび課題に対するレポートの評価を加味して評価します。

成績評価の基準

基本的に 100 点満点換算し、60 点（当該科目の到達目標を概ね達成した）以上を合格とします。合格点に達しなかった者については再試験を行い、60 点以上を合格とします。

準備学習等についての具体的な指示

全身の疾患を学ぶにあたり、全身の解剖の知識が必要です。特に全身臓器の解剖・組織学的な知識を可能な限り準備学習しておいてください。病理学総論では全身臓器の構造と機能が理解できていると学習が非常に楽になり、かつ、疾患への興味が深まります。

試験の受験資格

3/4 以上の授業に出席した者に受験資格を与える。WebClass の動画資料は、動画をすべて視聴した履歴を確認できた場合に出席とし、Zoom による遠隔同期授業は原則として開始時から終了時までの参加をもって出席と認める。

参考書

ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster 原著,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard),豐國, 伸哉,高橋, 雅英,：エルゼビア・ジャパン, 2018

カラールービン病理学 ： 臨床医学への基盤／ラファエル・ルービン, デイヴィッド・S・ストレイヤー編 ； 鈴木利光 ［ほか］ 監訳,Rubin, Raphael,Strayer, David S. (David Sheldon),Rubin, Emanuel,鈴木, 利光,：西村書店, 2017

標準病理学／北川昌伸, 仁木利郎編集,北川, 昌伸,仁木, 利郎,：医学書院, 2019

備考

適宜グループディスカッションの機会をつくり、理解を深める。

時間割番号	021061				
科目名	口腔病理学			科目 ID	DD-330902-Z
担当教員	布川裕規				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:38＋3
授業形態講義・実習
モジュール番号:9
ユニット番号:02

主な講義場所

授業は講義、実習ともに Zoom または WebClass を用いた遠隔授業に大学の講義室での対面授業を加えたかたちで実施します。定期試験は大学の講義室で対面形式で行います。

授業の目的、概要等

歯科医師になるために特に必要な顎口腔領域の病理学を理解してもらうために行う授業です。

授業の到達目標

顎口腔領域の疾患の成り立ちと形態学的な特徴について、病理学的に理解できる。具体的には、う蝕・根尖性歯周炎、歯周疾患、顎骨病変・嚢胞、全身疾患に伴う口腔病変、口腔粘膜疾患、歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、非腫瘍性唾液腺疾患、唾液腺腫瘍の各項目について理解できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/14	09:00-11:50	特別講堂	全身疾患と口腔病変	東都大学勝部教授特別講義	勝部 憲一	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面授業
4-6	6/14	12:50-15:40	特別講堂	う蝕、根尖性歯周炎	非常勤講師中西先生特別講義	中西 正一	【到達目標】シラバス参照【学習方法】対面授業
7-9	6/17	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	歯周疾患、歯肉増殖症		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
10-12	6/19	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	顎骨の病変、嚢胞		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
13-15	6/21	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	非歯原性腫瘍		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
16-18	6/24	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	口腔粘膜疾患		布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
19-21	6/25	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	嚢胞、非歯原性腫瘍 バーチャル実習		池田 通	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業

22-24	6/26	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	唾液腺腫瘍		布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
25-27	6/28	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	非腫瘍性唾液腺疾患		布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
28-30	7/2	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	唾液腺腫瘍 バーチャル実習		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
31-33	7/9	09:00-11:50	特別講堂	非腫瘍性唾液腺疾患 バーチャル実習		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
34-36	7/9	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	歯原性腫瘍		布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
37-39	7/10	09:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	歯原性腫瘍 バーチャル実習		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業
40-42	7/11	14:50-17:40	特別講堂	口腔病理学試験		池田 通, 布川 裕規	【到達目標】シラバス参照【学習方法】オンデマンド授業

授業方法

授業は講義、実習ともに Zoom または WebClass を用いた遠隔授業および大学の講義室を使用した対面授業で実施します。適宜小テストおよび課題を出すことで、学生が自ら学ぶ力も涵養します。

授業内容

う蝕と根尖性歯周炎、辺縁性歯周炎、顎骨の病変、嚢胞、先天異常、唾液腺疾患、軟膜疾患、口腔領域の腫瘍性病変について各論的な細かい点まで言及します。

成績評価の方法

定期試験の得点に、小テストおよび課題レポートの評価を加味して評価します。

成績評価の基準

100 点満点に換算し、60 点（当該科目の到達目標を概ね達成した）以上を合格とします。60 点に達しなかった者については再試験を行い、60 点以上を合格とします。

準備学習等についての具体的な指示

頭頸部の解剖・組織学の知識が必要です。可能な限り準備学習しておいてください。口腔病理学は歯学部独自の授業です。自分たちが最も詳しい専門家になることを自覚してください。疾患の病態の暗期に終わらず、多角的な深い知識を得るためには頭頸部の解剖・組織学の知識が不可欠です。また、ここでの学習成果は口腔外科の学習に不可欠となります。

試験の受験資格

3/4 以上の授業に出席した者に受験資格を与える。WebClass の動画資料は、動画をすべて視聴した履歴を確認できた場合に出席とし、Zoom による遠隔同期授業は原則として開始時から終了時までの参加をもって出席と認める。

参考書

新口腔病理学／下野正基［ほか］編；田中昭男［ほか］執筆,下野, 正基,田中, 昭男,:医歯薬出版, 2018

口腔病理アトラス／高田隆, 豊澤悟編,高木, 實,高田, 隆,豊澤, 悟,:文光堂, 2018

備考
適宜グループディスカッションの機会をつくり、理解を深める。

時間割番号	021068				
科目名	予防と健康管理			科目 ID	DD-341000-Z
担当教員	櫻田宏一				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:78＋4
授業形態:講義・実習
モジュール番号:10

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと。

授業の目的、概要等
口腔疾患の予防と健康管理を行うために必要な基本的知識、技術、態度を身につけ、さらに我が国の歯科保健医療制度や歯科法医学に関する基本的知識を習得する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと。

授業方法
各ユニットの授業方法を参照のこと。

授業内容
各ユニットの授業内容を参照のこと。

成績評価の方法
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと。

成績評価の基準
各ユニットの成績評価の基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの準備学習等についての具体的な指示を参照のこと。

試験の受験資格
各ユニットの受験資格を参照のこと。

構成ユニット
01 口腔疾患の予防 講義・演習
02 口腔疾患の予防 実習
03 歯科医療と社会 講義
04 歯科法医学 講義

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定並びにモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容および平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得および進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項
各ユニットの履修上の注意事項を参照のこと。

備考
モジュール責任者:櫻田 宏一
オフィスアワー:17:00～18:00
連絡先:sakurada.fde@tmd.ac.jp

時間割番号	021069			
科目名	口腔疾患の予防Ⅰ（講義）		科目ID	DD-341001-L
担当教員	相田　潤, 松山　祐輔[AIDA Junn, MATSUYAMA Yuusuke]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

コマ数:24＋2
授業形態:講義
モジュール番号:10

主な講義場所

遠隔授業
1 号館 9 階特別講堂

授業の目的、概要等

口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。

授業の到達目標

1） 日本の歯科保健医療制度を説明できる。
2） 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。
3） 口腔疾患の疫学と疫学的指標を説明できる。
4） 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。
5） 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
6） 口腔疾患の第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
7） 口腔疾患のセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを説明できる。
8） ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。
9） 主な口腔疾患の予防を説明できる。
10） 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。
11） 災害時の歯科保健医療の必要性と歯科医師の役割を説明できる。
12） 国際歯科保健医療活動を説明できる。
13） 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/5	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義:齲蝕の疫学・予防	相田　潤, 松山　祐輔, 財津　崇, 木野志保	
4-6	4/16	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義:歯周病の疫学・予防	相田　潤, 松山　祐輔, 財津　崇, 木野志保	
7-9	4/24	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義:疫学・口腔と全身	相田　潤, 松山　祐輔, 財津　崇, 木野志保	
10-12	5/1	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義:地域保健や法律	相田　潤, 松山　祐輔, 財津　崇, 木野志保	
13-15	5/8	12:50-15:40	遠隔授業	講義:母子・学校・成人・	相田　潤, 松	

			（同期型）	高齢者の口腔保健	山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	
16-18	5/13	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：国際歯科保健・災害歯科保健・障害児・者の口腔保健や法	相田 潤, 松山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	
19-21	5/27	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：行政/ ライフコースにあった歯科保健指導と学校歯科健診/社会的決定要因やナッジを利用した行動変容を考える	相田 潤, 松山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	
22-24	5/29	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：診療所での感染予防	相田 潤, 松山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	
25-27	6/5	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：口臭・その他の歯科疾患	相田 潤, 松山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	
28-29	6/17	13:50-15:40	特別講堂	講義：口腔疾患の予防試験	相田 潤, 松山 祐輔, 財津 崇, 木野志保	

授業方法

座学講義（グループワーク、討論、ディベート等アクティブラーニングも含む）

授業内容

別表のとおり

成績評価の方法

・講義中および講義終了後の筆記試験を総括的評価とする。

成績評価の基準

・講義の参加状況と試験から全体で60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

予防歯科学・口腔衛生学は、基礎科目、臨床科目と関連する箇所が多い。また、衛生学・公衆衛生学、衛生行政等とも関連があるので、関連の深い分野については、予防歯科学・口腔衛生学で学習した内容と、それぞれの科目で学習した内容とを自分でまとめて正しい知識として習得することが重要である。

下記に示す参考書や文献などを参照して講義後に講義範囲を復習をすることを勧める。

試験の受験資格

・3 分の2以上の出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01：口腔疾患の予防　講義

02：口腔疾患の予防　実習

03：歯科医療と社会　講義

04：歯科法医学　　講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定

およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。
教科書 口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編,安井, 利一, 1951-,宮崎, 秀夫, 1952-,鶴本, 明久, 1952-,:医歯薬出版, 2017 Oral Epidemiology: A Textbook on Oral Health Conditions, Research Topics and Methods (Textbooks in Contemporary Dentistry)／Marco A. Peres (編集), Jose Leopoldo Ferreira Antunes (編集), Richard G. Watt (編集), 2020
参考書 予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編,予防歯科臨床教育協議会,:医歯薬出版, 2004 オーラルヘルスプロモーション : 21 世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著,川口陽子, 中村千賀子 監訳,Schou, Lone,Blinkhorn, A. S,川口, 陽子, 1955-,中村, 千賀子, 1945-,:口腔保健協会, 1994 口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編,安井, 利一, 1951-,宮崎, 秀夫, 1952-,鶴本, 明久, 1952-,:医歯薬出版, 2017 Oral Epidemiology A Textbook on Oral Health Conditions, Research Topics and Methods／Peres M, Antunes F, Watt R.:Springer International Publishing, 2020

時間割番号	021070				
科目名	口腔疾患の予防Ⅱ(実習)			科目ID	DD-341002-E
担当教員	財津　崇[ZAITSU TAKASHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:予防と健康管理
コマ数:24(24+0)(必要自習時間　10時間)
授業形態:実習
ユニット番号:02

主な講義場所

口腔保健学科実習室、1 号館 6 階演習室 1～11、基礎実習室、1 号館 9 階特別講堂、D 棟南 4 階特別講堂

授業の目的、概要等

口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。

授業の到達目標

1) 日本の歯科保健医療制度を説明できる。
2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。
3) 口腔疾患の疫学と疫学的指標を説明できる。
4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。
5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。
6) 口腔疾患の第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
7) 口腔疾患のセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアを説明できる。
8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。
9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。
10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。
11) 災害時の歯科保健医療の必要性と歯科医師の役割を説明できる。
12) 国際歯科保健医療活動を説明できる。
13) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/3	15:50-17:40	遠隔授業(同期型)	う蝕予防の講義と発表準備のグループワーク		相田　潤, 財津　崇, 松山　祐輔	Zoom ミーティングに参加する ミーティング ID: パスコード:
3-5	4/23	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	フッ化物応用や歯周病予防の発表		相田　潤, 財津　崇, 松山　祐輔	Zoom ミーティングに参加する ミーティング ID: パスコード:
6-8	5/14	13:50-16:40	歯学部演	フッ化物洗口・塗布の実		相田　潤, 財	

			習室, 歯学部演習室, 歯学部基礎実習室, 特別講堂	習・歯磨剤や歯ブラシの説明(FDI のも説明)		津 崇, 松山 祐輔	
9-11	5/22	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	疫学の実習・二次データの利用		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	Zoom ミーティングに参加する ミーティング ID: パスコード:
12-14	6/7	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	疫学の実習・二次データの利用発表		相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	Zoom ミーティングに参加する ミーティング ID: パスコード:
15-17	6/10	09:00-11:50	歯学部演習室, 口腔保健学科臨床基礎実習室, 口腔保健学科相互実習室, 特別講堂	口臭・その他の歯科疾患	口臭測定の実習	相田 潤, 財津 崇, 松山 祐輔	

授業方法

ZOOM/参加型実習

授業内容

フッ化物応用・タバコ政策・環境についてのディスカッション
ライフコースにあった歯科保健指導と学校歯科健診
疫学の実習・二次データの利用
フッ化物洗口・塗布の実習・歯磨剤や歯ブラシの説明(FDI のも説明)
口臭測定の実習

成績評価の方法

・ レポート(9 割)および実習態度(1 割)を総括的評価とする。なお、実習を休んだ場合は、担当教員に連絡をとり、指定されたレポートを提出すること。

成績評価の基準

実習の参加状況と試験から全体で60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

口腔疾患の予防(講義)の内容を十分理解したうえで実習に臨むこと。

試験の受験資格

・4分の3以上の出席を必要とする。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01：口腔疾患の予防　講義
02：口腔疾患の予防　実習
03：歯科医療と社会　講義
04：歯科法医学　　講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編：医歯薬出版, 2004
口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編安井, 利一, 1951-,宮崎, 秀夫, 1952-,鶴本, 明久, 1952-,：医歯薬出版, 2017

参考書

口腔保健・予防歯科学／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編：医歯薬出版, 2017
予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編：医歯薬出版, 2004
オーラルヘルスプロモーション：21 世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著,川口陽子, 中村千賀子 監訳：口腔保健協会, 1994

履修上の注意事項

1. 実習書は、口腔疾患の予防（講義・実習）の際に毎回必ず持参する。 2. 班によって実施する内容、集合場所が異なる場合があるので、注意する。また、実習時間は延長することがある。 3. 実習では、きれいな白衣を着用し、爪、髪の毛を清潔に保ち、高いヒール・つま先を覆っていない靴の着用などは避ける。 4. 実習 3、8 では昼食後の口腔清掃を行う。 5. 実習 2、6、9 では昼食後の口腔清掃、飲食、喫煙をしない。 6. 実習 1 では、赤鉛筆、実習 2 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、実習 3 では白衣、歯ブラシ、実習4では白衣、歯ブラシ、実習 5 では白衣、歯ブラシ、飲み物、実習 6 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、ミラーセット（実習 2 で配布）、実習 8 では白衣、実習 9 では白衣、歯ブラシ、色鉛筆、ミラーセット（実習 2 で配布）、実習 10 では色鉛筆、マジック、はさみ、のり等の文具など教材つくりに必要なもの、実習 11 ではパソコンを持参する。 7. 実習終了後は、提出用紙に必要事項を記入し、切り取って提出する。記入内容、提出方法については、毎回指示を出す。レポート内容によっては再提出を指示されることがある。その際は、指定された期限までに、新規にレポートを作成し、再提出を指示されたレポートとあわせて提出する。 7. 本実習は、全ての提出用紙ならびにレポートを提出していることが必須条件である。実習を休んだ場合は、必ず担当者に連絡を取り、指示を仰ぐ。その際、再実習もしくは課題等の指示がある。

時間割番号	021071			
科目名	歯科医療と社会		科目 ID	DD-341003-L
担当教員	五十嵐　公[IGARASHI ISAO]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:予防と健康管理
コマ数:16(15+1)
必要自習時間:1時間
授業形態:講義
ユニット番号:03

主な講義場所

遠隔授業または講義室

授業の目的、概要等

歯科医師法および関連法規、保健、医療、福祉、介護に関する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。

授業の到達目標

1) 歯科医師法および関連法規等を概説できる。コアカリ(平成 28 年度版;以下同)A-1-3)④ B-2-1)①③
2) 医療法等および医療制度の方向性を概説できる。コアカリ A-7-1)②③ B-2-1)② B-2-2)①⑧
3) 保健・医療・福祉・介護に関連する社会制度を概説できる。コアカリ B-2-1)④ B-2-2)①②③
4) 保健・医療・福祉・介護の連携を説明できる。コアカリ A-7-1)③ B-2-1)⑥⑦
5) 地域における歯科医療提供体制を説明できる。コアカリ A-7-1)④ B-2-1)⑥⑦

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/12	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	講義　医事法制 1	医療法など	五十嵐　公	【到達目標】2)【学習方法】遠隔講義【その他】ZoomID:パスコード:
4-6	6/26	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　歯科医療と社会保障	歯科医療と社会保障	宮原　勇治	【到達目標】1), 2),3), 4), 5)【学習方法】遠隔講義【その他】ZoomID:パスコード:
7-9	7/1	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	講義・演習　医療・福祉・介護関連制度	(AL) 医療保険制度など	五十嵐　公	【到達目標】3)【学習方法】演習／遠隔講義【その他】ZoomID:　パスコード:
10-12	7/16	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	講義　医事法制 2	歯科三法	五十嵐　公	【到達目標】1)【学習方法】遠隔講義【その他】ZoomID:パスコード:
13-15	7/22	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　落ち穂拾い	国民医療費、地域歯科医療など	五十嵐　公	【到達目標】4), 5)【学習方法】遠隔講義【その他】ZoomID:パスコード:
16	7/30	13:50-14:40	特別講堂	試験		五十嵐　公	1号館西9階

成績評価の方法 各講義での小テスト(3 割)、および授業日程第 16 回のユニット試験(7 割)をもって総括的評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・日頃から各種ニュース等の報道に気を配り、保健、医療、福祉、介護に関する課題や制度改正の方向性等の情報を積極的につかむよう心がけること。 ・毎回の講義内容を十分に復習し、次の講義に備えること。
試験の受験資格 授業の出席、小テスト実施を試験の受験資格とする。遠隔授業の出席確認は Zoom または WebClass のアクセス記録による。
教科書 教科書は特に指定しない。
参考書 スタンダード社会歯科学 第 8 版／尾﨑哲則, 鳥山佳則, 平田創一郎, 藤井一維, 山本龍生 編集:学建書院, 2023
履修上の注意事項 参考書等はできる限り最新のものを選び参照すること。
備考 ・法改正や制度変更など、歯科を取り巻く社会環境は絶えず変化しているので、丸暗記ではなく、社会の仕組みや成り立ちを大づかみに学ぶことが大切である。授業で触れる法や社会制度に特有の用語や考え方は、将来の実社会で有用となる。 ・授業時間中の一部に、学生が自ら考えるための簡単なAL(演習)を行う。 ・連絡先:五十嵐 公 igarashi.hce(@)tmd.ac.jp ※Email は上記アドレス の (@) 部分を @ に変えてください。

時間割番号	021072			
科目名	歯科法医学		科目 ID	DD-341004-L
担当教員	櫻田　宏一[SAKURADA KOICHI]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:予防と健康管理
コマ数:16(15+1)
授業形態:講義
ユニット番号:04

主な講義場所

1 号館 9 階特別講堂あるいは Zoom による同期型遠隔授業を予定。

授業の目的、概要等

歯科法医学の知識および一般社会との関連を学び、法医学的視点に立って問題解決できる能力を修得する。

授業の到達目標

1)歯科法医学が扱う学問領域を理解し、その社会的意義を説明できる。
2)死因究明制度を理解し、歯科医師との関連を説明できる。
3)個人識別の種類と原理について理解する。
4)法医学における死体現象および死因の特定について理解する。
5)歯科所見を用いた個人識別の有用性について説明できる。
6)骨形態および顔画像解析による個人識別法について理解する。
7)大規模災害時での歯科医師による身元確認作業の重要性について説明できる。
8)歯科医師と虐待あるいは医療訴訟との関連について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	7/17	12:50-13:40	
2	7/17	13:50-14:40	
3	7/17	14:50-15:40	
4	7/19	12:50-13:40	
5	7/19	13:50-14:40	
6	7/19	14:50-15:40	
7	7/22	12:50-13:40	
8	7/22	13:50-14:40	
9	7/22	14:50-15:40	
10	7/24	09:00-09:50	
11	7/24	10:00-10:50	
12	7/24	11:00-11:50	
13	7/25	12:50-13:40	
14	7/25	13:50-14:40	
15	7/25	14:50-15:40	
16	7/30	14:50-15:40	特別講堂

成績評価の方法

・筆答試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

配布資料を事前にチェックし、次の講義に備えること。

試験の受験資格

・全講義時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

法歯科医学 : 基礎知識から臨床・災害時の対応まで 第 2 版／髙橋雅典 監修,都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編:永末書店, 2022

あたらしい検案・解剖マニュアル = The New Textbook for Forensic Death Investigations and Autopsies／池谷博, 櫻田宏一 著:金芳堂, 2018

NEW エッセンシャル法医学 = New Essentials of Forensic Medicine 第 6 版／髙取健彦 監修,長尾正崇, 中園一郎, 山内春夫 編:医歯薬出版, 2019

備考

櫻田宏一 sakurada.fde@tmd.ac.jp

骨形態による個人識別授業の中で、骨資料を用いたグループ討議によるアクティブラーニングを実施する。

時間割番号	021073				
科目名	生体と薬物			科目 ID	DD-331100-Z
担当教員	影近弘之　　玉村啓和				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:63＋3
モジュール番号:11
授業形態:講義・実習

主な講義場所
Zoom 講義・WebClass

授業の目的、概要等
生体における薬物作用に関する知識と、歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。

授業方法
講義は原則、遠隔授業となるが、一部の演習は対面で行う。
実習は原則的に対面授業となる。

成績評価の方法
原則的にユニットごとのCBT形式テストによる評価(9 割)、与えられた課題や授業態度などを最終的に加味した総合評価を行う。実習(ユニット名:薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ))においてはレポートと実習態度、実習試験で判定する。
なお、CBT 形式のユニットテストにおいて、6 割の正解率が得られない者は再試験となる。
再試験でも 6 割に正解率が満たない場合は不合格となる。

成績評価の基準
・A+の評価は、CBT 形式のテストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。
　実習においては、深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示
・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷して講義に臨むこと。
・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格
3 分の 2 の出席。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。
遠隔授業(非同期型)を視聴し、感想の記入や小テストなどの課題を提示された期限までに提出して出席となる。また、小テストは満点をとるなど指定がある場合は、その条件をクリアした場合に出席となる。

構成ユニット
01 薬理学概説(　薬理Ⅰ　)
02 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(　薬理Ⅱ　)
03 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(　薬理Ⅲ　)
04 薬物と生体反応の実際(　薬理Ⅳ　)

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄

／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編,大谷啓一 監:医歯薬出版, 2018
今日の治療薬 : 解説と便覧／浦部/晶夫 || 編集,島田/和幸 || 編集,川合/眞一 || 編集,伊豆津/宏二 || 編集,舘田/一博 || [ほか]執筆,浦部/晶夫 || 編集,島田/和幸 || 編集,川合/眞一 || 編集,伊豆津/宏二 || 編集,舘田/一博:南江堂, 2021
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線LANにつながるスマートフォン、PCあるいはタブレット端末を用いて回答を求める場合がある。

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
影近 弘之 kage.chem@tmd.ac.jp （メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass:https://lib02.tmd.ac.jp/
IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024
IL2400203 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 2024

時間割番号	021074			
科目名	薬理学概説(薬理Ⅰ)		科目ID	DD-331101-L
担当教員	影近　弘之, 玉村　啓和, 永田　将司, 石田　良典[KAGECHIKA HIROYUKI, TAMAMURA HIROKAZU, NAGATA MASASHI, ISHIDA Ryousuke]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:生体と薬物
コマ数:17+1
必要自習時間数:17
授業形態:講義
ユニット番号:1

主な講義場所

WebClass, Zoom

授業の目的、概要等

生体における薬物作用に関する知識と歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。

授業の到達目標

1) 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
2) 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。
3) 薬物の構造活性相関について説明できる。
4) 薬物の適用方法の種類とその特徴について説明できる。
5) 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。
6) 薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。
7) 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)について説明できる。
8) 新薬の開発とその臨床応用について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/25	12:50-14:40	遠隔授業(同期型)	薬理学概論・作用様式 薬物受容体	講義 薬理学および薬力学概論、薬物作用様式、薬物受容体の種類と特徴	影近　弘之	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
3-4	4/26	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	薬物の化学構造と薬理作用 薬物の適応方法	講義 薬物の化学構造の特徴、薬物の適用方法と特徴	玉村　啓和	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
5-6	4/26	14:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	薬物動態①②	講義 薬物の投与方法の種類と特徴、薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	永田　将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
7-9	5/15	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	薬物動態③　特殊集団における薬物動態①②	講義 薬物動態の基本パラメータ、TDM の概念、年齢、妊娠、病態、遺伝的素因が影響する薬物動態の特徴	永田　将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom

10	5/16	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	特殊集団における薬物動態③	講義 年齢、妊娠、病態、遺伝的素因が影響する薬物動態の特徴	永田 将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
11	5/16	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	生物学的検定	講義 薬物の生物学的検定法の特徴と用量反応曲線	石田 良典	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
12	5/30	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	薬物の併用・相互作用①	薬物動態学的相互作用および薬力学的相互作用	平井 利典	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
13	5/30	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	薬物の併用・相互作用②	薬物動態学的相互作用および薬力学的相互作用	平井 利典	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
14	6/20	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	薬物の毒性と有害作用	講義 薬の主作用と副作用の関係、薬害、薬物連用の影響	永田 将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
15	6/20	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	薬事関連法規および薬物の取り扱い	講義 薬機法などの薬事関連法規と薬物の保管と取り扱い	永田 将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
16-17	6/20	14:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	新薬の開発と臨床応用①②	講義 医薬品の開発プロセス、臨床試験における医薬品の評価	永田 将司	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) Zoom
18	6/28	09:00-09:50	情報検索室1	試験		影近 弘之, 玉村 啓和	

成績評価の方法

原則的にユニットごとのCBT形式テストによる評価(9割)、授業態度などを最終的に加味した総合評価を行う。
なお、CBT形式のユニットテストにおいて、6割の正解率が得られない者は再試験となる。
再試験でも6割に正解率が満たない場合は不合格となる。

成績評価の基準

・A+の評価は、CBT形式のテストで深い理解を試す問題に対する正解および授業参加状況など(カメラオン)を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷して講義に臨むこと。

・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説(薬理Ⅰ)
2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)
3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)
4 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳,Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 || 修二,橋本 || 敬太郎,赤池 || 昭紀,石井:廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編,大谷啓一 監:医歯薬出版, 2018
今日の治療薬 2022 : 解説と便覧／島田和幸 編集,川合眞一 編集,伊豆津宏二 編集,今井靖 編集,島田和幸,川合眞一,伊豆津宏二,今井靖,:南江堂, 2022-01-13
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線LANにつながるスマートフォン、PCあるいはタブレット端末を用いて回答を求める場合があり、原則としてカメラオンとする。

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
影近 弘之 kage.chem@tmd.ac.jp(メールにて面談の日程を調整すること)

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass:https://lib02.tmd.ac.jp/
IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024

連絡先(メールアドレス)

影近 弘之:kage.chem@tmd.ac.jp

オフィスアワー

影近 弘之:毎週水、木曜日 AM.10:00-PM.2:00
21 号館 6 階教授室 609A

時間割番号	021075			
科目名	神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)		科目ID	DD-331102-L
担当教員	影近 弘之, 青木 和広, 七田 崇[KAGECHIKA HIROYUKI, AOKI KAZUHIRO, SHICHITA Takashi]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:生体と薬物
コマ数:14+1(必要自習時間 14 時間)
授業形態:講義
ユニット番号:02

主な講義場所

Zoom 講義・WebClass
6 月 3 日(火)は 12 時 50 分に集合

授業の目的、概要等

中枢神経系および末梢神経系に作用する代表的な薬物と麻酔薬、鎮痛薬、抗炎症薬などを理解する。

授業の到達目標

1) 中枢神経系に作用する薬物について説明できる。
2) 自律神経系に作用する薬物について説明できる
3) 運動神経系に作用する薬物について説明できる。
4) 全身麻酔薬、局所的麻酔薬について説明できる。
5) 抗炎症薬、鎮痛薬について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/23	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系作用薬総論、 自律神経系に作用する薬物① (アドレナリン作動性関連薬、コリン作動性関連薬)	講義 末梢神経系作用薬の分類とその特徴および作用機序、自律神経系作用薬(交感神経作動薬・副交感神経作動薬)の種類と特徴	影近 弘之, 青木 和広	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) 6 月 3 日の TBL 授業のためによく復習しておくこと
3-4	5/29	14:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	自律神経系に作用する薬物②、 体性神経系に作用する薬物①、運動神経系に作用する薬物①	講義 自律神経系作用薬(交感神経作動薬・副交感神経作動薬)の種類と特徴、自律神経拮抗薬、筋弛緩薬などの運動神経系作用薬の種類と特徴	青木 和広	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期) 6 月 3 日の TBL 授業のためによく復習しておくこと
5-7	6/3	12:50-15:40	歯学部演習室	自律神経系に作用する薬物③、 体性神経系に作用する薬物②、運動神経系に作用する薬物②	AL(TBL 演習) (13 時 45 分 1 号館 6 階演習室集合) 確認テスト、グループ作業、発展テスト、まとめ講義	青木 和広	対面授業! 最初に確認テストを行うため、遅刻しないこと。スマートフォンを持参。 WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024

							の確認問題へアクセスできるように準備すること。
8-9	6/10	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	中枢神経系作用薬①	講義 局所麻酔薬、全身麻酔薬	七田 崇	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
10-12	6/24	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	中枢神経系作用薬②	講義 麻薬、抗炎症薬、睡眠薬、向精神薬、抗不安薬の種類と特徴	七田 崇	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
13-14	7/1	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	中枢神経系作用薬③	講義 中枢神経興奮薬、抗てんかん薬、神経疾患に対する治療薬の種類と特徴	七田 崇	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
15	7/10	14:50-15:40	情報検索室1	試験		影近 弘之, 玉村 啓和	

成績評価の方法

・原則的にユニットごとのテストによる評価（80%）、授業態度や授業参加状況など平常点を最終的に加味した総合評価を行う。
・ユニットテストで 6 割の正答率が得られない者は、再試験となる。
・再試験でも 6 割の正答率が得られない場合は、不合格となる。
・6 月 3 日（火）の TBL 授業では、最初に行う確認テストとグループでのディスカッション後の確認テストを平常点の参考にする。

成績評価の基準

・A+の評価は、授業に対する姿勢や期末テストで深い理解を試す問題に対する正解および授業参加状況（カメラオン等）も一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷してから講義に臨むこと。
・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。
・5 月 23 日、29 日の非同期講義の内容を復習してきたうえで、6 月 3 日の対面授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。なお同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。
非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、感想を記入し、小テスト（確認テスト）を行う、もしくは合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。

構成ユニット

1 薬理学概説（薬理Ⅰ）
2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物（薬理Ⅱ）
3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬（薬理Ⅲ）
4 薬物と生体反応の実際（薬理Ⅳ）

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄

／監訳：廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,：南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明 [ほか] 編,鈴木, 邦明,戸苅, 彰史,青木, 和広,兼松, 隆,筑波, 隆幸,大谷, 啓一,：医歯薬出版, 2018
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,：エルゼビア・ジャパン, 2018
今日の治療薬 2022 : 解説と便覧／島田和幸 編集,川合眞一 編集,伊豆津宏二 編集,今井靖 編集,島田和幸,川合眞一,伊豆津宏二,今井靖,：南江堂, 2022-01-13

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線 LAN につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末をクリッカー代わりに用いて回答を求める場合があり、原則としてカメラオンとする。 ・6 月 3 日 TBL 授業では、WebClass につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末を各自準備すること。

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
影近 弘之 kage.chem@tmd.ac.jp
メールにて面談の日程を調整すること

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass：https://lib02.tmd.ac.jp/
IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024

連絡先（メールアドレス）

影近 弘之:kage.chem@tmd.ac.jp

オフィスアワー

影近 弘之:毎週水、木曜日 AM.10:00-PM.2：00
21 号館 6 階教授室 609A

時間割番号	021076		
科目名	感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)	科目ID	DD-331103-L
担当教員	渡部 徹郎, 芦田 浩, 影近 弘之, 笹野 哲郎, 井原 健介, 依田 哲也, 仁科 博史, 佐々木 雄彦, 立石 知也, 道 泰之, 藤井 晋也, 長谷川 純矢[WATABE TETSURO, ASHIDA Hiroshi, KAGECHIKA HIROYUKI, SASANO TETSUO, IHARA KENSUKE, YODA Tetsuya, NISHINA HIROSHI, SASAKI Takehiko, TATEISHI TOMOYA, MICHI YASUYUKI, FUJII Shinnya, HASEGAWA Junnya]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		

モジュール名:生体と薬物
コマ数:14+1(必要自習時間 14 時間)
授業形態:講義
ユニット番号:03

主な講義場所

Zoom 講義・WebClass

授業の目的、概要等

消毒薬、感染症治療薬、悪性腫瘍治療薬、循環器系、呼吸器系、消化器系、血液に作用する代表的な薬物、解毒薬、内分泌系、口腔疾患への漢方薬物療法、唾液分泌に関連する薬物について理解する。

授業の到達目標

1) 代表的な消毒薬について説明できる。
2) 代表的な感染症治療薬について説明できる。
3) 代表的な悪性腫瘍治療薬について説明できる。
4) 循環器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
5) 呼吸器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
6) 消化器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。
7) 血液に作用する薬物を説明できる。
8) 代表的な重金属拮抗薬を説明できる。
9) 内分泌系に作用する薬物を説明できる。
10)漢方薬による生体反応を説明できる。
11)唾液腺に作用する薬物について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/21	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	循環器系に作用する薬物①②、血液に作用する薬物	講義 高血圧治療薬、不整脈治療薬、心不全治療薬、狭心症治療薬、止血薬、抗血栓薬	笹野 哲郎, 井原 健介	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
4	7/2	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	悪性腫瘍治療薬	講義 悪性腫瘍の特徴とその治療薬	渡部 徹郎	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
5-6	7/2	13:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	感染症治療薬①②	講義 感染症と抗感染症薬、感染症治療薬の作用と有害作用、主な抗感染症治療薬について	芦田 浩	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
7	7/5	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	唾液腺に作用する薬物	講義 唾液分泌に作用する薬物について	依田 哲也	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024

							遠隔(同期)Zoom
8	7/5	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	消化器系作用薬	講義 消化性潰瘍治療薬	仁科 博史	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
9	7/5	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	内分泌系作用薬物	講義 ホルモン作用薬	佐々木 雄彦, 長谷川 純矢	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)
10	7/8	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	呼吸器系作用薬	講義 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬	立石 知也	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
11	7/8	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	消毒薬	講義 消毒薬の作用機序と分類、主な消毒薬と歯科で汎用される消毒薬について	道 泰之	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(同期)Zoom
12	7/8	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	ビタミン	講義 水溶性および脂溶性ビタミン	影近 弘之	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
13-14	7/8	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	漢方薬物療法、歯科における漢方薬	講義 東洋医学と漢方薬、歯科で汎用される漢方薬、補足	藤井 晋也	WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024 遠隔(非同期)
15	7/30	15:50-16:40	情報検索室1	試験		影近 弘之, 玉村 啓和	

成績評価の方法

・原則的にユニットごとのテストによる評価を基本とし、授業態度や授業参加状況などを最終的に加味した総合評価を行う。
・ユニットテストで 6 割の正答率が得られない者は、再試験となる。
・再試験でも 6 割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

・A+の評価は、授業参加状況(カメラオン)や期末テストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料配付、e-learning(Web Class)へのアップロード等があった場合は、必ず目を通し必要な場合は印刷してから講義に臨むこと。
・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。なお同期・非同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説(薬理Ⅰ)
2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)
3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)
4 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュ

ラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],髙折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013

薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳.:廣川書店, 2013

病態生理の基礎知識から学べる循環器治療薬パーフェクトガイド／古川哲史 著,:総合医学社, 2016

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,:南江堂, 2017

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監:医歯薬出版, 2018

ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

今日の治療薬 2022 : 解説と便覧／島田和幸 編集,川合眞一 編集,伊豆津宏二 編集,今井靖 編集,島田和幸,川合眞一,伊豆津宏二,今井靖,:南江堂, 2022-01-13

履修上の注意事項

・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線LANにつながるスマートフォン、PCあるいはタブレット端末を用いて回答を求める場合があり、原則としてカメラオンとする。

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

影近 弘之 kage.chem@tmd.ac.jp （メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。

歯学部 WebClass:https://lib02.tmd.ac.jp/

WebClass: IL2400205 D3 薬理Ⅰ～Ⅲ 2024

連絡先（メールアドレス）

影近 弘之:kage.chem@tmd.ac.jp

オフィスアワー

影近 弘之:毎週水、木曜日 AM.10:00-PM.2:00

21 号館 6 階教授室 609A

時間割番号	021077			
科目名	薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)		科目ID	DD-331104-E
担当教員	影近　弘之[KAGECHIKA HIROYUKI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:生体と薬物
コマ数:18＋0(必要自習時間 6 時間)
授業形態:実習
ユニット番号:04

主な講義場所

1 号館 6 階歯学部基礎実習室・WebClass

授業の目的、概要等

薬物によりおこる生体反応を観察して薬理作用について理解する。小グループに分かれて実習を行うため実習書のとおりに行う。

授業の到達目標

1) 生物学的検定法を説明できる。
2) 競合的拮抗作用を説明できる。
3) 中枢神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
4) 自律神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
5) 体性神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。
6) 局所麻酔薬、抗炎症薬による生体反応を説明できる。
7) 全身麻酔薬、鎮痛薬による生体反応を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	7/4	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 1	AL(実習) 全身麻酔薬① ED50①	影近 弘之, 青木 和広, 楠 康一, 佐藤 俊三, 山野 晃史, 宮田 佑吾	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎実習室
4-6	7/5	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 2	AL(実習) 局所麻酔薬① 抗炎症薬①	影近 弘之, 青木 和広, 山野 晃史, 瀬戸 浩行, 加藤 玄樹, 清水 幹容, 猪爪 舞子	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎実習室
7-9	7/18	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 3	AL(実習) 全身麻酔薬② ED50②	玉村 啓和, 楠 康一, 清水 幹容, 佐藤 俊三, 青木 和広, 小藤 智史	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎実習室
10-12	7/19	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 4	AL(実習) 局所麻酔薬② 抗炎症薬②	青木 和広, 玉村 啓和, 小藤 智史, 宮田 佑吾,	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎

						猪爪 舞子	実習室
13-15	7/24	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 5	AL(実習) 自律神経作用薬①	影近 弘之, 青木 和広, 猪爪 舞子, 佐藤 俊三, 小藤 智史, 宮田 佑吾	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎実習室
16-18	7/25	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	薬理実習 6	AL(実習) 自律神経作用薬②	影近 弘之, 青木 和広, 山野 晃史, 瀬戸 浩行, 加藤 玄樹, 椨 康一, 清水 幹容	WebClass IL2300161 D3 薬理学実習(薬理Ⅳ) 歯学部基礎実習室

成績評価の方法

・実習レポートと実習態度、自習用シミュレーション教材の実施状況、実習試験などによる総括的評価とする。

成績評価の基準

・A+の評価は深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

・必ず実習書を目を通してから実習に臨むこと。
・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席。やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。
連絡が無く欠席した場合や、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。連絡があり、正当な理由が認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

構成ユニット

1 薬理学概説(薬理Ⅰ)
2 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)
3 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)
4 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、平常学習態度等が評価におよび加味される。また歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

グッドマン・ギルマン薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン, ギルマン [著],LAURENCE BRUNTON, BRUCE CHABNER, BJÖRN KNOLLMAN [編],高折修二, 橋本敬太郎, 赤池昭紀, 石井邦雄 監訳.:廣川書店, 2013
薬理書 : 薬物治療の基礎と臨床／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳,橋本敬太郎／監訳,赤池昭紀／監訳,石井邦雄／監訳.:廣川書店, 2013
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,:南江堂, 2017
現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監:医歯薬出版, 2018
今日の治療薬 2022 : 解説と便覧／島田和幸 編集,川合眞一 編集,伊豆津宏二 編集,今井靖 編集,島田和幸,川合眞一,伊豆津宏二,今井靖,:南江堂, 2022-01-13
ラング・デール薬理学／H.P.Rang, J.M.Ritter, R.J.Flower, G.Henderson 原著,渡邊直樹 監訳,Rang, H. P,Ritter, J. M,Flower, Rod J,渡邊, 直樹, pub. 2018,:エルゼビア・ジャパン, 2018

備考

実習によるアクティブラーニングを実施する。

昨年度の実習終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善。
担当教員のオフィスアワーおよび連絡先
影近　弘之　kage.chem@tmd.ac.jp　（メールにて面談の日程を調整すること）

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。
歯学部 WebClass：https://lib02.tmd.ac.jp/
IL2400203 D3　薬理学実習（薬理Ⅳ）2024

連絡先（メールアドレス）

影近　弘之:kage.chem@tmd.ac.jp

オフィスアワー

影近　弘之:毎週水、木曜日　AM.10:00-PM.2：00
21 号館 6 階教授室 609A

時間割番号	021078				
科目名	歯科放射線基礎			科目 ID	DD-341200-Z
担当教員	三浦　雅彦[MIURA MASAHIKO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:講義 21 コマ、実習 15 コマ
モジュール番号:12

主な講義場所
ユニット 1, 2 の講義場所を確認のこと。

授業の目的、概要等
放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を確認し受講すること。

成績評価の方法
・ユニット 1 は、9 月 30 日の筆記試験および授業への参加、発表を総括的評価とする。
・ユニット 2 は、レポートによる総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの指示に従う。

試験の受験資格
・ユニットごとに、受験資格を必要とする
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット
ユニット 1:放射線の性質と画像検査の基本
ユニット 2:放射線の性質と画像検査の基本　実習

モジュールの単位判定
ユニット 1 とユニット 2 について、それぞれ単位判定を必要とする。

備考
ユニット1「放射線の性質と画像検査の基本　」は、AL(討論)を含む。
ユニット2「放射線の性質と画像検査の基本　実習」は、AL(実習)である。

モジュール責任者:三浦雅彦
オフィスアワー:月・水・金、16:00～18:00、D 棟北 12 階教授室
メールアドレス:masa.mdth(@)tmd.ac.jp
＊E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えて下さい。

時間割番号	021079			
科目名	放射線の性質と画像検査の基本		科目 ID	DD-341201-L
担当教員	三浦　雅彦[MIURA MASAHIKO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯科放射線基礎
コマ数:21＋1(必要自習時間 8 時間)
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

・1 号館 9F 特別講堂
・遠隔講義(WebClass および Zoom)

授業の目的、概要等

放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。

授業の到達目標

1) 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。
2) エックス線画像の形成原理を説明できる。
3) エックス線フィルム および増感紙の構造と性質を説明できる。
4) エックス線写真処理 の原理と方法を説明できる。
5) エックス線投影の原則を説明できる。
6) ディジタルエックス線撮影の原理および特徴を説明で きる。
7) 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
8) パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。
9) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法 および適応を説明できる。
10) 造影エックス線撮影の種類と適応を説明できる。
11) CT, MRI, US, 核医学検査の原理と口腔顎顔面領域における適応を説明できる。
12) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。
13) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。
14) 放射線の細胞致死効果を説明できる。
15) 腫瘍に対する放射線の作用について説明できる
16) 放射線の人体に対する影響を説明できる。
17) 放射線防護の基本概念を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	7/12	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	放射線とX線の性質	渡邊　裕	到達目標 1)~6)・非同期ビデオ
4	7/16	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	放射線診断学概論	立石　宇貴秀	到達目標 1)~6),11・非同期ビデオ
5	7/16	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	胸部の放射線診断	土屋　純一	到達目標 1)~6),11・非同期ビデオ
6	7/16	11:00-11:50	遠隔授業(非同期	腹部の放射線診断	足立　拓也	到達目標 1)~6),11・非同期ビ

			型)			デオ
7-9	7/23	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線診断学総論	中村 伸	到達目標 7)~9)・非同期ビデオ
10-12	7/26	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	放射線診断学総論	栗林 亜実	到達目標 10)~13)・非同期ビデオ・
13-15	7/26	13:50-16:40	特別講堂	放射線生物学	三浦 雅彦	到達目標 14),15)・対面講義(AL 討論)
16-18	7/29	09:00-11:50	特別講堂	放射線生物学	三浦 雅彦	到達目標 15),16)・対面講義(AL 討論)
19-21	7/29	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	放射線管理学	戒田 篤志	到達目標 16),17)・非同期ビデオ・
22	9/30	11:00-11:50	歯学部演習室	筆記試験	三浦 雅彦	

成績評価の方法

・9 月 30 日の筆記試験および授業での発表等を含めて総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義資料を、Web Class に掲載するので、事前に閲覧しておくこと。

試験の受験資格

・授業への出席率は試験の受験要件とはしない。全員に受験資格あり。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集:医歯薬出版, 2018

Oral Radiology: Principles and Interpretation 7th ed／White SC, Pharoah MJ:Mosby, 2014

第 4 版 歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著:砂書房, 2015

歯科臨床における画像診断アトラス 第2版／日本歯科放射線学会 編:医歯薬出版, 2020

Radiobiology for the Radiologist 8th ed／Eric J Hall and Amato J Giaccia eds:Lippincott Williams & Wilkins

放射線医科学 : 生体と放射線・電磁波・超音波／大西武雄 監修,松本英樹 副監修,近藤隆, 島田義也, 田内広, 平岡真寛, 三浦雅彦, 宮川清, 宮越順二 編集:医療科学社, 2016

履修上の注意事項

全授業から試験問題を出題するため、授業に出席し知識を深める。

備考

ユニット授業中において、対面講義にて AL 討論の場を設ける。

WebClass 情報、Zoom 情報は、授業前に掲載するので授業明細にて確認すること。

三浦雅彦 masa.mdth(@)tmd.ac.jp

＊E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えて下さい。

時間割番号	021080			
科目名	放射線の性質と画像検査の基本　実習		科目 ID	DD-341202-E
担当教員	渡邊　裕[WATANABE HIROSHI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯科放射線基礎
コマ数:15+0
必要自習時間:10 時間
授業形態:実習
ユニット番号:02

主な講義場所

1)歯科棟北 4 階第一総合診療室エックス線室
2)7 号館 4 階エックス線実習室
3)1 号館特別講堂
4)D 棟南 4 階特別講堂
あるいは、上記 1)、2)は工事中の可能性があるため、WebClass 上でオンデマンド実習となる可能性がある。

授業の目的、概要等

放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。

授業の到達目標

1） デジタルエックス線画像の取得方法を説明し、実施できる。
2） 放射線の物理学的性質を説明できる。
3） Phantom を用いた口内法エックス線撮影の方法を説明し、実施できる。
4） パノラマエックス線撮影の方法を説明できる。
5） 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
6） CT, MRI の口腔顎顔面領域における適応を説明できる。
7） 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。
8） 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	9/10	09:00-11:50	特別講堂, その他(歯学科)	渡邊 裕, 戒田 篤志, 今泉 晶子, 中村 伸, 栗林 亜実	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7),8) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】実習書
4-6	9/13	09:00-11:50	特別講堂, その他(歯学科)	渡邊 裕, 戒田 篤志, 今泉 晶子, 中村 伸, 栗林 亜実	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7),8) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】実習書
7-9	9/17	09:00-11:50	特別講堂, その他(歯学科)	渡邊 裕, 戒田 篤志, 今泉 晶子, 中村 伸, 栗林 亜実	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7),8) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】実習書

10-12	9/20	09:00-11:50	特別講堂, その他(歯学科)	渡邊 裕, 戒田 篤志, 今泉 晶子, 中村 伸, 栗林 亜実	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7),8) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】実習書
13-15	9/24	13:50-16:40	特別講堂, その他(歯学科)	渡邊 裕, 戒田 篤志, 今泉 晶子, 中村 伸, 栗林 亜実	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7),8) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】実習書

授業方法

実習室や情報検索室でのリアルな実習を予定している。状況によっては、WebClass 上に移行することもある。

成績評価の方法

・レポートを総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

・本ユニットは、実習および演習となるので、事前に実習テキストを読み、実習内容を大まかに理解しておくこと。

試験の受験資格

・特別な理由がない限り、全出席を必要とする。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

放射線の性質と画像検査の基本　実習

モジュールの単位判定

ユニットの実習項目ごとに提出するレポートの点数で判定を行う。

60%以上の得点が得られた場合を合格とする。

欠席した実習においてはレポートは0点となるので、原則として休まないこと。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集,岡野, 友宏, 1947-,小林, 馨, 1955-,有地, 榮一郎,:医歯薬出版, 2018

White and Pharoah's Oral Radiology: Principles and Interpretation, 8e／Sanjay Mallya, Ernest Lam:Mosby, 2018

標準ディジタル X 線画像計測／市川勝弘, 石田隆行 共編,市川, 勝弘,石田, 隆行,日本放射線技術学会,:オーム社, 2010

歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著,金田, 隆, 1959-,倉林, 亨, 1957-,佐野, 司,:砂書房, 2015

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編,日本歯科放射線学会,:医歯薬出版, 2008

参考書はユニット 01 と同様である。

他科目との関連

本実習は、講義「放射線の性質と画像検査の基本」の実習である。

備考

・本ユニットは、実習を主体とした実習である。

ユニット責任者

渡邊裕

オフィスアワー　月～金　9:00-17:00

連絡先:hiro.orad@tmd.ac.jp

時間割番号	021081				
科目名	病態科学演習			科目ID	DD-341300-Z
担当教員	前田 茂　　濵 洋平				
開講時期	2024年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:57(0)(必要自習時間30時間)
授業形態:講義・演習
モジュール番号:13　　ユニット番号:01

主な講義場所

Zoom、WebClassを利用した遠隔授業(対面に変更の可能性あり).

授業の目的、概要等

授業の目的

解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学、免疫学、薬理学などの知識、また医学領域の知識を、臨床歯科学における疾病の病態の解釈と理解に統合する。
また、全身疾患を有する患者の歯科治療に関する基礎知識を養う。

授業概要

全身および口腔領域における疾病について、講義、ケースシナリオ、演習を組み合わせた授業を通して統合的な学習を進める。

授業の到達目標

・臨床症例の病態を、症状や検査データを元に推論し、基礎医学的知識を用いて論理的に説明できるスキルを身につける。
・全身疾患を有する患者に歯科治療を適切に施せる基礎的知識を身につける。

個別学習項目

〇糖尿病
1. 糖尿病について病態生理学的に説明できる。
2. 糖尿病の疫学について説明できる。
3. 糖尿病の治療法について説明できる。
4. 糖尿病の重要な合併症について説明できる。
5. 糖尿病と口腔領域疾患との関連について説明できる。
6. 糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法を立案できる。

〇開口障害
7. 顎口腔系の解剖について説明できる。
8. 下顎運動に関連する筋, 神経系の機能を説明できる。
9. 顎機能異常について概説できる。
10. 全身疾患に伴う開口障害について説明できる。

〇循環器疾患を持つ患者の歯科治療(心電図演習を含む)
11. 高血圧・低血圧について病態生理学的に説明できる。
12. 虚血性心疾患について病態生理学的に説明できる。
13. 不整脈について病態生理学的に説明できる。
14. 感染性心内膜炎について病態生理学的に説明できる。
15. 心不全について病態生理学的に説明できる。
16. 12誘導心電図について電気生理学的に説明できる(心電図演習)。
17. 12誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)。
18. 重要な不整脈について心電図学的に解析できる(心電図演習)。

19. 循環器疾患と口腔領域疾患の関連について説明できる。
20. 循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法を概説できる。
21. 循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤について概説できる。

〇遺伝子疾患
22. 遺伝子診断法を説明できる。
23. 顎・顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因を説明できる。
24. シナリオで扱う遺伝子疾患の主な治療法について概説できる。

〇疼痛
25. 神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能を説明できる。
26. シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。
27. 鎮痛の機序を説明できる。
28. 顔面領域に生じる慢性疼痛について説明できる。
29. 口腔内に疼痛を生じる疾病、疾患を列挙できる。

〇腫瘍
30. 増殖と腫瘍の関係について述べることができる。
31. 腫瘍の発生の原因を説明できる。
32. 癌の診断、進展、予後について概説できる。
33. 口腔領域の腫瘍について、その病因と病理像を説明できる。
34. 全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。

〇嚥下障害
35. 嚥下に関わる中枢神経の役割を説明できる。
36. 嚥下障害の病因を説明できる。
37. 嚥下障害の治療法、リハビリテーションについて説明できる。
38. 嚥下障害を伴う全身疾患について、病因、機序、治療法を説明できる。

〇感染症
39. 炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化について説明できる。
40. 炎症による組織学的変化を理解し、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴を説明できる。
41. 口内炎についての病因・臨床病態および治療法について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/8	12:50-15:40		心電図1	AL　高血圧・低血圧・虚血性心疾患・不整脈・感染性心内膜炎・心不全について病態生理学的に説明／12 誘導心電図について電気生理学的に説明(心電図演習)／12 誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)／重要な不整脈について心電図学的に解析(心電図演習)	笹野 哲郎, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]11-21 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
4-6	10/9	09:00-11:50	歯学部演習室	感染症1	AL　炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化／炎症による組織学的変化、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴／口内炎についての病因・臨床病態およ	鈴木 敏彦, 道 泰之, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]39-41 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし

					び治療法		
7-9	10/11	12:50-15:40	特別講堂	腫瘍1	AL　増殖と腫瘍の関係／腫瘍の発生の原因／癌の診断、進展、予後／口腔領域腫瘍の病因と病理像／全身疾患に伴う口腔病変の臨床像と病理像	濵 洋平, 釘本 琢磨, 山口 浩平, 前田 茂, 布川 裕規	[到達目標]30-34 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
10-12	10/18	09:00-11:50	歯学部演習室	感染症2	AL　炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化／炎症による組織学的変化、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴／口内炎についての病因・臨床病態および治療法	前田 茂, 鈴木 敏彦, 道泰之, 山口 浩平, 濵 洋平	[到達目標]39-41 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
13-15	10/18	12:50-15:40	歯学部演習室	腫瘍2	AL　増殖と腫瘍の関係／腫瘍の発生の原因／癌の診断、進展、予後／口腔領域腫瘍の病因と病理像／全身疾患に伴う口腔病変の臨床像と病理像	濵 洋平, 釘本 琢磨, 山口 浩平, 前田 茂, 布川 裕規	[到達目標]30-34 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
16-18	10/22	09:00-11:50	歯学部演習室	心電図2	AL　高血圧・低血圧・虚血性心疾患・不整脈・感染性心内膜炎・心不全について病態生理学的に説明／12 誘導心電図について電気生理学的に説明(心電図演習)／12 誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)／重要な不整脈について心電図学的に解析(心電図演習)	笹野 哲郎, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]11-21 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
19-21	10/23	13:50-16:40	歯学部演習室	循環器疾患を持つ患者の歯科治療1	AL　循環器疾患と口腔領域疾患の関連／循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法／循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤	笹野 哲郎, 脇田 亮, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]11-21 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
22-24	10/25	13:50-16:40	歯学部演習室	嚥下障害1	AL　嚥下に関わる中枢神経の役割／嚥下障害の病因／嚥下障害の治療法、リハビリテーション／嚥下障害を伴う全身疾患の病因、機序、治療法	上阪 直史, 戸原 玄, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]35-38 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
25-27	10/29	09:00-11:50	歯学部演習室	疼痛1	AL　神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 ／シナプスの構造と興奮伝達の仕組み／鎮痛の機序／顔面領域に生じる慢性疼痛／口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	前田 茂, 山崎 陽子, 濵 洋平, 山口 浩平	[到達目標]25-29 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
28-30	10/29	12:50-15:40	歯学部演習室	嚥下障害2	AL　嚥下に関わる中枢神経の役割／嚥下障害の病因／嚥下障害の治療法、リハビリテーション／嚥下障害を伴う全身疾患の病因、機序、治療法	上阪 直史, 戸原 玄, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]35-38 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
31-33	10/31	12:50-15:40	歯学部演習室	糖尿病1	AL　糖尿病について病態生理学的に説明／糖尿病の疫学／糖尿	赤座 実穂, 片桐 さやか,	[到達目標]1-6 [学習方法]グル

					病の治療法／糖尿病の重要な合併症／糖尿病と口腔領域疾患との関連／糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法	濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	ープワーク [事前学習]特になし
34-36	11/5	13:50-16:40	特別講堂	循環器疾患を持つ患者の歯科治療2	AL 循環器疾患と口腔領域疾患の関連／循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法／循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤	笹野 哲郎, 脇田 亮, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]11-21 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
37-39	11/6	12:50-15:40	歯学部演習室	開口障害1	AL 顎口腔系の解剖／下顎運動に関連する筋, 神経系の機能／顎機能異常／全身疾患に伴う開口障害	上阪 直史, 西山 暁, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]7-10 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
40-42	11/7	12:50-15:40	歯学部演習室	遺伝子疾患1	AL 遺伝子診断法の基礎/顎・顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因/上記遺伝子疾患の主な治療法	井関 祥子, 濵 洋平, 小林 起穂, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]22-24 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
43-45	11/12	09:00-11:50	歯学部演習室	疼痛2	AL 神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 ／シナプスの構造と興奮伝達の仕組み／鎮痛の機序／顔面領域に生じる慢性疼痛／口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	前田 茂, 山﨑 陽子, 濵 洋平, 山口 浩平	[到達目標]25-29 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
46-48	11/18	12:50-15:40	特別講堂	開口障害2	AL 顎口腔系の解剖／下顎運動に関連する筋, 神経系の機能／顎機能異常／全身疾患に伴う開口障害	上阪 直史, 西山 暁, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]7-10 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
49-51	11/19	13:50-16:40	特別講堂	予備日	予備日	前田 茂, 山口 浩平, 濵 洋平	
52-54	11/22	09:00-11:50	特別講堂	遺伝子疾患2	AL 遺伝子診断法の基礎/顎・顔面領域に変異を生じる主な遺伝子疾患の臨床的特徴とその原因/上記遺伝子疾患の主な治療法	井関 祥子, 濵 洋平, 小林 起穂, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]22-24 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし
55-57	11/22	12:50-15:40	特別講堂	糖尿病2	AL 糖尿病について病態生理学的に説明／糖尿病の疫学／糖尿病の治療法／糖尿病の重要な合併症／糖尿病と口腔領域疾患との関連／糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法	赤座 実穂, 片桐 さやか, 濵 洋平, 山口 浩平, 前田 茂	[到達目標]1-6 [学習方法]グループワーク [事前学習]特になし

授業方法

授業については、各学習項目に対して 6 コマの学習時間とし、ミニレクチャー、グループディスカッション、ミドルセッション、グループ発表、ラップアップセッションの組み合わせによって行う。具体的にはおおよそ以下の流れに沿って授業を進める。

1日目

・プレテスト（WebClass）
　ケースシナリオで期待される学習目標に関わる多肢選択テストを行う。

・ミニレクチャー（臨床症例：臨床系 or 歯系教員、講義形式）（ZOOM）
　臨床系教員により、ケースに関わる臨床症例を提示し、簡単な導入を行う。

・グループディスカッション（ZOOM）
　ミニレクチャーの内容と学生自らの持っている基礎的知識あるいはネット検索により、ケースシナリオの病因、病態を解釈し、班の学習目標を設定する時間とする。

・ミドルセッション（病態科学：基礎系 or 医系教員、講義形式）（ZOOM）
　グループディスカッションの後、基礎系教員により、ケースシナリオで期待される学習目標に関連する講義を受ける。ネット検索事項の確認にもつながる。

・グループディスカッション（ZOOM）
　ミドルセッションの内容をもとに、さらに討論をすすめ、2 日目のグループ討論報告の準備をはじめ、個人の学習目標を設定する時間とする。（個人の目標と班における討議内容を WebClass で提出）

2日目
・グループディスカッション（学習報告）（ZOOM）
　各自学習してきた内容を報告し、班の発表内容としてまとめる。個人においては、2日目のはじまる前に学習内容のレジュメを WebClass にレポートとして提出する。

・グループ討議報告（教員による評価）（ZOOM）
　グループとしてまとめた討議内容を WebClass 上に提出する。担当教員が選んだ班がプレゼンテーションを行う。質疑応答の時間を設ける。提出された討議内容を教員が評価する。

・ラップアップセッション（基礎系あるいは臨床系教員）（ZOOM）
　必要に応じて、ケースシナリオで期待された学習内容について簡略に解説し、グループ討議報告において不確実であった知識について教員からコメントを加える。

・ポストテスト（WebClass）
　ケースシナリオで期待される学習目標に関わる多肢選択問題を解く。その後テストの解説を教員が行う。

成績評価の方法
プレテスト、レポート提出状況、グループ別の討議報告内容およびポストテストの総合成績により評価する。

成績評価の基準
成績評価の算出は、おおよそ、以下の割合で加点される。プレテスト（10%）、レポート提出（20%）、グループ別の討議報告内容（40%）、ポストテスト（30%）
　レポート未提出の場合は、レポート提出の点数が1回あたり25%ずつ下がるものとする（4回未提出で0点）。また、欠席または途中で退席した場合、そのセッションの評価を25%下げる（2回欠席の場合評価は50%となる）が、特別な理由がある場合には成績判定の際に考慮する。
　なお、出席判定に利用するので、Zoom には大学のアカウント（.....ds@tmd.ac.jp）でログインすること。また、Zoom に接続されていても授業に参加していないことが明らかと判断された場合は、欠席とする場合があるので積極的に授業に参加すること

準備学習等についての具体的な指示
・学習項目ごとに必要な準備学習を行うこと。特に、各学習項目 2 日目の討議前に提出する個人の学習項目に準じたレジュメ作成に注力すること。
・すでに終了している授業および同時期に行われているモジュール授業の内容を復習すること。
・参考図書についても、その内容に準ずる。

構成ユニット

01 病態科学演習ユニット

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、原則的には全ての学習項目において学習到達目標に達していなければならない。なお、モジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、プレテスト、ポストテストだけでなく、平常学習態度等が評価に加味され最終判定される。

参考書

Chou's Electrocardiography in Clinical Practice: Adult and Pediatric, 6e／Borys Surawicz and Timothy K. Knilans：Saunders, 2008

ハリソン内科学／ダン L. ロンゴ ほか 編,福井次矢, 黒川清 日本語版監修,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013

全身的偶発症とリスクマネジメント ： 高齢者歯科診療のストラテジー／大渡凡人 著,：医歯薬出版, 2012

新臨床内科学／貫和敏博 [ほか]編,高久史麿, 尾形悦郎, 黒川清, 矢崎義雄 監修,：医学書院, 2009

ブラウンワルド心臓病学レビュー&アセスメント／Leonard S.Lilly [著],小室一成 監訳,宮内秀行 責任編集,：メディカルレビュー社, 2011

Goldman-Cecil medicine／Lee Goldman, Andrew I. Schafer,：Elsevier/Saunders, 2016

病態生理の基礎知識から学べる循環器治療薬パーフェクトガイド／古川哲史 著,：総合医学社, 2016

他科目との関連

・基礎医学講義だけでなく、内科系・外科系講義の内容も関連する

備考

・ 欠席の際は、理由書を、教務掛へ提出すること。
・ 交通機関等の乱れによる遅刻の際は、証明書を提出すること。
・ 学習時、自学自習を基本とし、安易に質問しないこと。
・ その他、質問を行うにあたってのマナーもわきまえること。
・ 必要に応じ、モジュールコーディネーターによる面談を行うことがある。
・ 本授業では Zoom を利用してグループディスカッションや発表を行う。ディスカッションの際は Zoom と同時にインターネット検索などもできる環境にあることが望ましい。

モジュールコーディネーター
前田 茂
maedas.daop@tmd.ac.jp
オフィスアワー：メールで問い合わせ

副モジュールコーディネーター
濵 洋平
y.hama.gerd@tmd.ac.jp
オフィスアワー：メールで問い合わせ

時間割番号	021082				
科目名	内科・小児・遺伝疾患			科目 ID	DD-351400-L
担当教員	脇田　亮				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:32＋12
授業形態:講義
モジュール番号:14

授業の目的、概要等

1. 内科疾患の原因、病態、治療に関する知識を修得する
2. 小児科疾患についてその原因、病態、治療に関する知識を修得する
3. 遺伝性疾患について原因、病態、治療に関する知識を修得する

成績評価の方法

最終日に筆記試験を行う。出席も評価の際に考慮することがある。

準備学習等についての具体的な指示

本モジュール受講にあたり、特に準備等は必要ではないが、これまで学習した基礎医学の知識を再確認しておくこと。

試験の受験資格

ユニットごとに 3 分の 2 以上の出席を必要とする。受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

O1 1.循環器疾患・2.呼吸器疾患・3.消化器疾患
O2 4.血液疾患・5.内分泌疾患・6.膠原病・7.腎尿路疾患・8.神経疾患
O3 9.小児疾患
O4 10.遺伝病

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

モジュール責任者
氏名　脇田　亮
オフィスアワー　水　17:00-18:00 10 号館 4 階
連絡先（メールアドレス）ryoanph@tmd.ac.jp

時間割番号	021083			
科目名	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患		科目 ID	DD-351401-L
担当教員	伊藤　孝哉[ITOU Takaya]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:内科・小児・遺伝疾患
コマ数:9＋3
授業形態:講義
ユニット番号:01

授業の目的、概要等

循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標

1)代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する
2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的循環器・呼吸器・消化器疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/4	09:00-09:50	
2	9/6	09:00-09:50	
3	9/6	10:00-10:50	
4	9/6	11:00-11:50	
5	9/6	13:50-14:40	
6	9/9	12:50-13:40	
7	9/9	13:50-14:40	
8	9/26	13:50-14:40	
9	9/26	14:50-15:40	
10	11/6	09:00-09:50	

成績評価の方法

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。
・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
・レポート提出により受験資格を認めることがある。

モジュールの単位判定

筆記試験を行う。出欠も評価に加える。場合によってはレポート提出が求められることもある。

連絡先(メールアドレス)

伊藤　孝哉:tito.anph@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤　孝哉:伊藤孝哉:毎週火曜日 5pm-7pm 10 号館 4 階教員室

毎週水曜日 3pm-6pm 同上
毎週木曜日 5pm-7pm 同上

時間割番号	021084			
科目名	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患		科目 ID	DD-351402-L
担当教員	伊藤　孝哉[ITOU Takaya]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:内科・小児・遺伝疾患
コマ数:9＋5
授業形態:講義
ユニット番号:02

授業の目的、概要等

血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標

1)代表的な血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の成因と要因について理解する
2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/9	10:00-10:50	
2	9/9	11:00-11:50	
3	9/11	12:50-13:40	
4	9/11	13:50-14:40	
5	9/17	13:50-14:40	
6	9/17	14:50-15:40	
7	9/24	09:00-09:50	
8	9/24	10:00-10:50	
9	9/27	10:00-10:50	

成績評価の方法

・原則的にユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。
・適宜レポートによる形成的評価を行う。
・再試験は 12 月末に行う予定です。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
・レポート提出により受験資格を認めることがある。

連絡先(メールアドレス)

伊藤　孝哉:tito.anph@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤　孝哉:伊藤孝哉:毎週火曜日 5pm-7pm 10 号館 4 階教員室
毎週水曜日 3pm-6pm 同上
毎週木曜日 5pm-7pm 同上

時間割番号	021085				
科目名	小児疾患			科目 ID	DD-351403-L
担当教員	佐藤　裕[SATOU Yuu]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

【モジュール名】内科・小児・遺伝疾患
8 コマ
授業形態:講義

主な講義場所
ZOOM 予定

授業の目的、概要等
小児疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する。

授業の到達目標
1)代表的な小児疾患の成因と要因について理解する
2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的小児疾患(口腔を含む)の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/19	12:50-13:40	
2	9/19	13:50-14:40	
3	9/19	14:50-15:40	
4	9/20	12:50-13:40	
5	9/20	13:50-14:40	
6	9/25	09:00-09:50	
7	9/25	10:00-10:50	
8	9/25	11:00-11:50	
9	9/30	09:00-09:50	
10	9/30	10:00-10:50	

成績評価の方法
・講義終了後に筆記試験を行う。
・適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格
・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定
筆記試験を行う。出欠も評価の対象となる。場合によってはレポート提出が求められることもある。

時間割番号	021086				
科目名	遺伝病			科目 ID	DD-351404-L
担当教員	佐藤　裕[SATOU Yuu]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

【モジュール名】内科・小児・遺伝疾患
5 コマ
授業形態:講義

主な講義場所
ZOOM 予定

授業の目的、概要等
遺伝性疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する

授業の到達目標
1)代表的な遺伝性疾患の成因と要因について理解する
2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な遺伝性疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/27	12:50-13:40	
2	9/27	13:50-14:40	
3	9/27	14:50-15:40	
4	9/30	12:50-13:40	
5	9/30	13:50-14:40	
6	10/1	09:00-09:50	

成績評価の方法
・講義終了後に筆記試験を行い、総括的評価を行う。
・適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格
・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定
筆記試験を行う。出欠も評価の対象となる。場合によってはレポート提出が求められることもある。

時間割番号	021087				
科目名	外科系疾患			科目 ID	DD-351500-L
担当教員	原田　浩之, 黒嶋　雄志[HARADA HIROYUKI, KUROSHIMA Takeshi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:48(8)
授業形態:講義
モジュール番号:15

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し, その予防, 診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、各ユニットにおいて参考図書における該当箇所を熟読しておくことが望ましい。

構成ユニット

01 外科総論
02 皮膚疾患
03 消化器系・乳腺疾患
04 循環器・呼吸器系疾患(外科系)
05 腎・泌尿器系疾患
06 生殖器系疾患
07 脳神経疾患
08 運動器系疾患

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、新歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

モジュール責任者: 黒嶋雄志
E-mail: kuroosur@tmd.ac.jp

時間割番号	021088			
科目名	外科総論		科目 ID	DD-351501-L
担当教員	富岡　寛文[TOMIOKA HIROFUMI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:8＋1
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し，その予防，診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1)基本的検査とカルテ記載ができる。
2)基本的な外科処置ができる。
3)血液疾患の病態、診断、治療と予後が説明できる。
4)炎症の病態、診断、治療と予後が説明できる。
5)良性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。
6)悪性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	7/30	09:00-09:50	
2	7/30	10:00-10:50	
3	7/30	11:00-11:50	
4	9/3	14:50-15:40	
5	9/4	14:50-15:40	
6	9/5	12:50-13:40	
7	9/5	13:50-14:40	
8	9/6	14:50-15:40	
9	9/9	09:00-09:50	
10	9/12	14:50-15:40	

成績評価の方法

・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、参考図書における当該箇所を熟読しておくが望ましい。

試験の受験資格

・全授業の時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂, 2009
標準外科学／坂井義治, 田邉稔, 池田徳彦編集,北野, 正剛,田邉, 稔(外科学),池田, 徳彦,坂井, 義治,:医学書院, 2019

備考

授業においては、AL(シンクペア／グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

時間割番号	021089			
科目名	皮膚疾患		科目 ID	DD-351502-L
担当教員	友松　伸允[TOMOMATSU Nobuyoshi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:6＋1
授業形態:講義
ユニット番号:02

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

皮膚の構造と機能を理解し，主な皮膚疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1） 皮膚の構造と機能を説明できる。
2） 湿疹・皮膚炎を概説できる。
3） 蕁麻疹を概説できる。
4） 薬疹・水疱症・膿疱症を概説できる。
5） 皮膚悪性腫瘍を概説できる。
6） 皮膚感染症を概説できる。

旧コアカリ番号:E-6

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	10/23	09:00-09:50		
2	10/23	10:00-10:50		
3	10/23	11:00-11:50		
4	10/30	12:50-13:40		
5	10/30	13:50-14:40		
6	10/30	14:50-15:40		
7	11/25	09:00-09:50	特別講堂	試験

成績評価の方法

・出席，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

皮膚疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

今日の皮膚疾患治療指針／塩原哲夫［ほか］編集,塩原，哲夫,:医学書院，2012

時間割番号	021090			
科目名	消化器系・乳腺疾患		科目 ID	DD-351503-L
担当教員	黒嶋　雄志[KUROSHIMA Takeshi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:8＋1
授業形態:講義
ユニット番号:03

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

消化器系および乳腺の構造と機能を理解し，主な消化器疾患、乳腺疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1） 消化器系の構造と機能を説明できる。
2） 主な食道疾患を列挙できる。
3） 主な胃・十二指腸疾患を列挙できる。
4） 主な胆・肝・膵疾患を列挙できる。
5） 主な小腸疾患を列挙できる。
6） 主な大腸疾患を列挙できる。
7） 乳腺の構造と機能、乳腺疾患を説明できる。

歯学教育モデル・コア・カリキュラム
C-3-4)-(7)
E-6

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/2	12:50-13:40	
2	9/2	13:50-14:40	
3	9/3	10:00-10:50	
4	9/3	11:00-11:50	
5	9/4	10:00-10:50	
6	9/4	11:00-11:50	
7	9/18	09:00-09:50	
8	9/18	10:00-10:50	
9	10/30	09:00-09:50	

成績評価の方法

・出席，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に参考図書の関連領域の部分に一通り目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書
消化器疾患最新の治療 2021-2022／小池　和彦　編集,山本　博徳　編集,瀬戸　泰之　編集,小池　和彦,山本　博徳,瀬戸　泰之,:南江堂, 2021 乳腺疾患／泉雄勝, 妹尾亘明編,泉雄, 勝,妹尾, 亘明,:金原出版, 1993 外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂, 2009
参照ホームページ
kuroosur(@)tmd.ac.jp 上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021091			
科目名	循環器・呼吸器系疾患		科目 ID	DD-351504-L
担当教員	黒嶋　雄志[KUROSHIMA Takeshi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:5＋1
授業形態:講義
ユニット番号:04

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

循環器・呼吸器系の構造と機能を理解し，主な循環器・呼吸器系疾患（外科系）の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。

授業の到達目標

1） 循環器系の構造と機能を説明できる。
2） 主な心像・大動脈疾患を列挙できる。
3） 主な動脈・静脈疾患を列挙できる。
4） 原発性肺癌と転移性肺腫瘍を概説できる。
5） 胸膜・縦隔疾患を列挙できる。

歯学教育モデル・コア・カリキュラム
C-3-4)-(4)
C-3-4)-(8)
E-6

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/4	12:50-13:40	
2	9/4	13:50-14:40	
3	9/6	12:50-13:40	
4	9/10	12:50-13:40	
5	9/10	13:50-14:40	

成績評価の方法

・出席，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

胸部を中心とした循環器・呼吸器の解剖・生理機能を復習して講義に出席するとより講義内容を理解することができる。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

今日の内科学／宮本昭正[ほか]/編,宮本昭正[ほか]/編,:医歯薬出版，1995
外科学／鈴木時雄，吉野肇一編集,鈴木，時雄,吉野，肇一,:医学書院，1996

参照ホームページ

kuroosur(@)tmd.ac.jp

上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

時間割番号	021092			
科目名	腎・泌尿器系疾患		科目 ID	DD-351505-L
担当教員	友松　伸允[TOMOMATSU Nobuyoshi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:2＋1
授業形態:講義
ユニット番号:05

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

腎・泌尿器系の構造と機能を理解し，主な腎・泌尿器系疾患(外科系)の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1） 腎・泌尿器系の構造と機能を説明できる。
2） 尿路系結石を概説できる。
3） 腎嚢胞・腫瘍を概説できる。
4） 主な膀胱疾患を列挙できる。
5） 前立腺・精巣疾患を概説できる。

旧コアカリ番号:E-6

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/3	12:50-13:40	
2	9/3	13:50-14:40	
3	9/25	12:50-13:40	
4	9/25	13:50-14:40	
5	10/21	11:00-11:50	

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

「今日の内科学」宮本昭正:医歯薬出版、1993
「泌尿・生殖器系疾患」奥山明彦:(看護のための最新医学講座第 22 巻)、中山書店、2001

時間割番号	021093			
科目名	生殖器系疾患		科目 ID	DD-351506-L
担当教員	津島　文彦[TSUSHIMA FUMIHIKO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:4＋1
授業形態:講義
ユニット番号:06

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

生殖器系の構造と機能を理解し，主な生殖器系疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1） 女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。
2） 妊娠・不妊を概説できる。
3） 外陰・膣疾患を列挙できる。
4） 子宮疾患を列挙できる。
5） 卵巣疾患を列挙できる。
6） 妊婦の歯科治療時の注意点を説明できる。

旧コアカリ番号:C-3-4)-(11), E-6

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	11/5	09:00-09:50	
2	11/5	10:00-10:50	
3	11/5	11:00-11:50	
4	11/18	11:00-11:50	
5	12/4	09:00-09:50	

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

生殖器系疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に講義資料および参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

「泌尿・生殖器系疾患」(看護のための最新医学講座第 22 巻)奥山明彦:中山書店、2001

備考

ケースを元にした演習を行う予定である。

時間割番号	021094				
科目名	脳神経疾患			科目 ID	DD-351507-L
担当教員	儀武啓幸				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:外科系疾患
コマ数:3＋1
授業形態:講義
ユニット番号:07

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

脳神経系の構造と機能を理解し, 主な脳神経疾患の原因, 症候, 病態, 診断と治療を学ぶ。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1) 脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。
2) 頭蓋内圧亢進を概説できる。
3) 脳血管障害(脳梗塞, 脳内出血, くも膜下出血)を概説できる。
4) 頭部外傷を概説できる。
5) 頭蓋内血腫を列挙できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	8/30	12:50-13:40	
2	8/30	13:50-14:40	
3	8/30	14:50-15:40	
4	9/2	09:00-09:50	

成績評価の方法

・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

受講前に参考図書の関連領域の部分に一通り目を通しておく事が望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

よくわかる脳神経外科学／平塚秀雄, 大野喜久郎, 岡田洽大共著,平塚, 秀雄,大野, 喜久郎,岡田, 洽大,:金原出版, 1996
脳神経外科学／太田富雄総編集 ; 川原信隆 [ほか] 編集,太田, 富雄,川原, 信隆,野崎, 和彦,吉峰, 俊樹,若林, 俊彦,:金芳堂, 2016

時間割番号	021095			
科目名	運動器系疾患		科目 ID	DD-351508-L
担当教員	儀武　啓幸[YOSHITAKE HIROYUKI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:外科系疾患
コマ数:3＋1
授業形態:講義
ユニット番号:08

主な講義場所

遠隔

授業の目的、概要等

運動器の構造と機能を理解し，主な運動器疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶ。
ユニット中の課題として、ケースを元にした演習を行う予定である。

授業の到達目標

1） 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。
2） 骨粗鬆症を概説できる。
3） 関節疾患を列挙できる。
4） 骨肉腫，ユーイング肉腫を概説できる。
5） 椎間板ヘルニアを概説できる。
6） 脊髄損傷を概説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	11/11	09:00-09:50	
2	11/11	10:00-10:50	
3	11/11	11:00-11:50	
4	12/4	11:00-11:50	

成績評価の方法

・受講態度，筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

標準整形外科学／井樋栄二 [ほか] 編集,井樋，栄二,吉川，秀樹,津村，弘,田中，栄(整形外科学),高木，理彰,:医学書院，2020
TUREK'S ORTHOPAEDICS: PRINCIPLES AND THEIR APPLICATION.／Weinstein, Stuart L.:LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS，2005

時間割番号	021096				
科目名	課題統合セミナー			科目ID	DD-351600-L
担当教員					
開講時期	2024 年度2年通年 (秋)	対象年次	3～5	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール番号 18
モジュール単位 3
モジュール総コマ数 59
講義 47 コマ 実習 12 コマ

主な講義場所
遠隔講義(同期・非同期含む) が主であるが、各ユニットの詳細を確認すること。

授業の目的、概要等
課題統合セミナーでは一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参考のこと。

授業方法
各ユニットより異なるため、ユニットのシラバスの詳細を確認すること。

成績評価の方法
各ユニットにより異なるが、全ユニットで, 各々合格していなければ, 自動的にモジュールの合格を失う. すなわち全てのユニットを合格しなくてはモジュール合格に到らないことに留意する.

成績評価の基準
各ユニットにより異なる

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの指示に従い、準備学習を行うこと

試験の受験資格
試験方法は、ユニットにより異なる。
詳細は各ユニット情報を確認すること。
筆記試験の受験資格は、全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

構成ユニット
01 咀嚼と嚥下のバイオロジー
02 骨のバイオロジー
03 ことばの世界
04 オクルージョン
05 歯科と色
06 口唇裂口蓋裂
07 全人的総合診断

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項
ユニットのコマ数が少ないものもあり、ユニットの出席要件を満たすには欠席できないものもある。健康管理には十分留意すること。

備考
MC　小野 卓史　　t.ono.orts@tmd.ac.jp
副 MC　細道　純　　hosomichi.orts@tmd.ac.jp

時間割番号	021097			
科目名	骨のバイオロジー		科目 ID	DD-351601-L
担当教員	林　幹人[HAYASHI MIKIHITO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:課題統合セミナー
コマ数:7
授業形態:講義
ユニット番号:1

主な講義場所

1 号館 9 階特別講堂、D 棟南 4 階歯学部特別講堂

授業の目的、概要等

骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。

授業の到達目標

1)骨芽細胞の機能を説明できる。
2)破骨細胞の機能を説明できる。
3)骨モデリング、リモデリングを説明できる。
4)骨・軟骨代謝に関わる生物学的調節因子とその連携を理解できる。
5)骨疾患の病態とその治療方法を理解できる。
6)骨発生の分子メカニズムを説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/2	09:00-09:50	特別講堂	概論・導入テスト	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林　幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。試験と課題レポートによる総括的評価を行う。
2	10/2	10:00-10:50	特別講堂	軟骨・骨芽・骨細胞	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林　幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
3	10/4	09:00-09:50	特別講堂	破骨細胞	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林　幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを

							中心におく。
4	10/4	10:00-10:50	特別講堂	炎症・サイトカイン	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林 幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
5	10/7	09:00-09:50	特別講堂	骨制御因子と薬物療法	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林 幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
6	10/7	10:00-10:50	特別講堂	ホルモン・オステオネットワーク	骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。	林 幹人	講義前に指示された事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクティブラーニングを中心におく。
7	10/21	10:00-10:50	特別講堂	最終判定試験		林 幹人	試験とレポートによる総括的評価を行う。

授業内容

講義前に指示された明確な事前学習の実施により、講義における学習深化を高めるアクテイブラーニングを中心におく。

成績評価の方法

試験と課題レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

授業前に必ず予習し、試験および授業にのぞむこと。

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

教科書

口腔生化学:医歯薬出版

参考書

口腔生化学(医歯薬出版株式会社)

はじめの一歩の生化学・分子生物学(羊土社)

骨ペディア(羊土社)

Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal Systems, San Diego, CA:ELSEVIER, 2010

骨研究がわかる(羊土社)

新 骨の科学 (医歯薬出版株式会社)

Developmental Biology Scott F Gilbert (Sinauer Associates Inc)

備考

林幹人准教授(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 hayashi.csi@tmd.ac.jp

時間割番号	021570			
科目名	咀嚼と嚥下のバイオロジー		科目 ID	DD-551602-L
担当教員	戸原　玄，吉見　佳那子，稲次　基希，中川　量晴，山口　浩平[TOHARA HARUKA, YOSHIMI Kanako, INAJI MOTOKI, NAKAGAWA Kazuharu, YAMAGUCHI Kouhei]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名課題統合セミナー、モジュール番号16、ユニット名咀嚼と嚥下のバイオロジー、ユニット番号2
授業 9 回(1ー3 回目および 7ー9 回目は対面:歯学部演習室、4ー6 回目は遠隔)、テスト 1 回(歯学部演習室)
下記の書籍の事前学習が推奨されるが、授業後に当日の振り返りで資料を見直し、わからないところについては自習で調べる、もしくは備考欄に示す教員に質問するのが望ましい。

主な講義場所

歯学部演習室および遠隔授業(1ー3 回目および 7ー9 回目は対面、5ー6 回目は遠隔)

授業の目的、概要等

咀嚼・嚥下に関する知識を統合理解し、歯科医療における位置付けを確認する。

授業の到達目標

1)咀嚼・嚥下に関わる構造を説明できる。
2)咀嚼・嚥下の機能を説明できる。
3)咀嚼・嚥下の神経制御機構を説明できる。
4)摂食嚥下に関わる器官の発生過程を理解する。
5)摂食・嚥下障害の病態を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	5/16	09:00-11:50	歯学部演習室	摂食嚥下総論　麻痺や筋力低下や栄養の評価、嚥下のスクリーニングテスト、口腔機能評価	摂食嚥下総論　麻痺や筋力低下や栄養の評価、嚥下のスクリーニングテスト、口腔機能評価を学ぶ	戸原　玄，吉見　佳那子	摂食嚥下に関連するベースについての知識を学ぶ　教授戸原、助教吉見による講義
4-6	6/5	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	摂食嚥下に関連する疾患、特に脳血管障害、認知症、フレイル	摂食嚥下に関連する疾患、特に脳血管障害、認知症、フレイルを学ぶ	稲次　基希	原因疾患の知識を臨床、研究に対する理解につなげる　1コマ目脳外科稲次先生、2・3コマ目浴風会病院老年内科阿部庸子先生　ID: 980 2433 5849 パス: 518577
7-9	6/11	12:50-15:40	歯学部演習室	VF、VE、エコー、加えて行政からの視点	VF、VE、エコー、加えて行政からの視点を学ぶ	中川　量晴，山口　浩平	専門的な評価法を学ぶ　摂食嚥下リハ准教授中川、講師山口および厚生労働省石井美紀学外非常

							勤講師による講義
10	6/20	09:00-09:50	歯学部演習室	テスト	テスト	山口 浩平, 吉見 佳那子	講義の範囲内からテストを出題

授業方法

双方向の対話型講義を行う

授業内容

摂食嚥下に関連する解剖、脳血管疾患、認知症などの関連疾患、摂食嚥下の評価法、摂食嚥下の訓練や対処法、特に TMDU で行っている摂食嚥下関連研究

成績評価の方法

試験は講義で扱った範囲から出題。

成績評価の基準

出席および最終授業で行う試験結果を用いて、総合的に判断する。

準備学習等についての具体的な指示

参考書を参照の上学習を準備する。

試験の受験資格

全授業のうち、3分の2以上出席

構成ユニット

2咀嚼と嚥下のバイオロジーユニット

モジュールの単位判定

当ユニットに関しては教室で試験を行う。

参考書

咀嚼する脳 : 咀嚼運動をコントロールする脳・神経の仕組み／中村嘉男 著,中村, 嘉男, 1933-,:医歯薬出版, 2005

摂食・嚥下と誤嚥のメカニズム／里田隆博, 戸原玄監修,里田, 隆博,戸原, 玄,:医歯薬出版, 2013

備考

オフィスアワーは随時。メールで確認。

戸原玄:h.tohara.swal@tmd.ac.jp

山口 浩平:yanma627@yahoo.co.jp

双方向の対話型、もしくは参加型の講義を行う。

参照ホームページ

http://www.swallowing.link/

連絡先(メールアドレス)

戸原 玄:h.tohara.swal@tmd.ac.jp

オフィスアワー

戸原 玄:随時(ただし必ず事前に連絡のこと)10 号館 5 階 戸原教授室

時間割番号	021568			
科目名	ことばの世界		科目ID	DD-551603-L
担当教員	服部 麻里子, 荒井 隆行, 正木 啓太, 村瀬 舞[HATSUTORI MARIKO, ARAI Takayuki, MASAKI Keita, MURASE MAI]			
開講時期	2024年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

課題統合セミナーは一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い，より深く理解することを目的とする.
モジュール名:課題統合セミナー
ユニット名:ことばの世界
ユニットコマ数:6＋1
必要自習時間:3
授業形態:遠隔同期型
ユニット番号:03

主な講義場所

講義と演習は遠隔同期型で行う.
試験は講義室にて行う.

授業の目的、概要等

ことばの世界では，臨床で必要とされる「ことばに関する訴え」に対する解決策を探る.
これまで解剖学や生理学で学んできた知識を臨床に応用することを想定し，基礎知識の確認，音響学，そして臨床での解決までを学ぶ.
学習目標(GIO):
歯科診療における発声と発語について理解する.

授業の到達目標

到達目標(SBOs):
1)発声・発語に関連する解剖学の知識を整理する
2)発声・発語の生理学と音響学について知る
3)歯科に関係する発声・発語について理解する
4)発声・発語の評価について理解し，実践できる
5)言語訓練について知り，言語治療における歯科医師の役割を理解する

関連するコアカリ学習目標

E-2-2)-⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。
E-2-4)-(11)-③発音・構音・発語障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-3-4)-(2)-①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
A-5-1)-①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	1.発声・発語の解剖学	(AL)講義と演習	隅田 由香	到達目標 1 時刻 2024年4月3日 12:45 PM パスコード:

							121212
2	4/3	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	2.発声・発語の音響学	(AL)講義と演習	荒井 隆行	到達目標 2 時刻: 2024 年 4 月 3 日 01:45 PM パスコード:
3	4/3	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	3.歯科と発声・発語	(AL)講義と演習	服部 麻里子	到達目標 3 時刻: 2024 年 4 月 3 日 02:45 PM パスコード:
4	4/11	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	4.発声・発語の評価	(AL)講義と演習	村瀬 舞	到達目標 4 時刻: 2024 年 4 月 11 日 09:00 AM パスコード:
5	4/11	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	5. 言語訓練	(AL)講義と演習	正木 啓太	到達目標 5 時刻: 2024 年 4 月 11 日 10:00 AM パスコード:
6	4/11	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	6.まとめと演習	(AL)講義と演習	服部 麻里子	到達目標 1－5 時刻: 2024 年 4 月 11 日 11:00 AM パスコード:
7	4/17	16:50-17:40	歯学部演習室	ことばの世界 試験		服部 麻里子, 村瀬 舞, 正木 啓太	

授業方法

講義と演習

授業内容

1.発声・発語の解剖学

2.発声・発語の音響学

3.歯科と発声・発語

4.発声・発語の評価
5.言語訓練
6.まとめと演習

成績評価の方法

事前学習の実施状況, 講義でのグループワークへの取り組みと演習への取り組み, 筆記試験の結果を総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

WebClass にアップロードされた配布資料に目を通したうえで, 講義に臨むこと.
以下のホームページを読み, 動画を見ておくこと.
https://splab.net/vocal_tract_model/ja/

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない.
受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし,次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

構成ユニット

01 咀嚼と嚥下のバイオロジー
02 骨のバイオロジー
03 ことばの世界
04 オクルージョン
05 歯科と色
06 口唇裂口蓋裂
07 全人的総合診断

モジュールの単位判定

本モジュールは, 複数学年にまたがるモジュールなので, 歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない.

モジュールの単位を取得するためには, 当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない. なお, ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては, 出席日数, 提出レポート内容, 及び平常学習態度等が評価に加味される.

教科書

顎顔面補綴の臨床 : 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編,大山, 喬史, 1939-,谷口, 尚, 1952-,:医学情報社, 2006
国試合格力養成:補綴歯科学の要点と解説／下山和弘, 羽村章編著,下山, 和弘,羽村, 章,:医歯薬出版, 2020
イラスト顎顔面解剖学／松村譲児, 島田和幸編著,松村, 譲兒,島田, 和幸,:中外医学社, 2012
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食・嚥下障害／溝尻源太郎 編著,熊倉勇美 編著,溝尻源太郎,熊倉勇美,:医歯薬出版, 2004
JOHNS37 巻 5 号 2021 年 5 月号 口腔癌診療の最前線／「JOHNS」編集委員会:東京医学社, 2021

参考書

Maxilofacial rehabilitation／John Beumer:quintessence, 2011
図解言語聴覚療法技術ガイド／深浦順一 編集主幹,長谷川賢一, 立石雅子, 佐竹恒夫 編集委員,:文光堂, 2014
言語聴覚士に必要な歯科の知識／植松宏 監修,谷口尚, 片倉伸郎, 大野友久, 隅田由香 著,:インテルナ出版, 2007
口腔顎顔面領域の異常と言語障害 : 器質性構音障害治療のポイント／伊東節子 編著,:医歯薬出版, 2001
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食・嚥下障害／溝尻源太郎 編著,熊倉勇美 編著,:医歯薬出版, 2004
音声 = Speech／滝口哲也 編著,有木康雄 [ほか] 共著,滝口, 哲也,有木, 康雄,鏑木, 時彦,戸田, 智基,南角, 吉彦,藤本, 雅晴,木下, 慶介, 日本音響学会,:コロナ社, 2021
口蓋帆・咽頭閉鎖不全 : その病理・診断・治療／舘村卓著,舘村, 卓,:医歯薬出版, 2012

国試合格力養成!補綴歯科学の要点と解説／下山和弘, 羽村章 編著,:医歯薬出版, 2020 プロソドンティックス:末永書店, 2020 音とことばのふしぎな世界 : メイド声から英語の達人まで／川原繁人著,川原, 繁人,:岩波書店, 2015 JOHNS38 巻 12 号 2022 年 12 月号 チームで支える頭頸部癌診療 顎顔面補綴の立場から 隅田由香 1599-1604 東京医学社出版 出版年 2022 年
備考 各授業でアクティブラーニングを取り入れる. 演習とグループディスカッションを行う.
参照ホームページ 上智大学荒井教授の HP http://www.splab.net/
連絡先(メールアドレス) 服部 麻里子:sasamfp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 麻里子:随時(メールか teams メッセージにて面談の日程を調整すること)D 棟 11 階生体補綴歯科学分野第 3 研究室

時間割番号	021569				
科目名	オクルージョン			科目 ID	DD-551604-L
担当教員	小野　卓史, 細道　純[ONO TAKASHI, HOSOMICHI JIYUN]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:6＋1(必要自習時間3時間)
授業形態:講義
ユニット番号:04

主な講義場所

1回目～6回目:遠隔授業(Zoom 講義)
7回目:筆記試験

授業の目的、概要等

一般目標(GIO):
咬合に関する知識を整理し、人の一生とともに俯瞰的に理解する。

授業の到達目標

個別行動目標(SBOs):
1)乳歯の正常な萌出ならびに異常とそれに関与する因子を説明できる。
2)乳歯列から混合歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる。
3)混合歯列から永久歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる
4)生理学的観点から咬合の重要性を説明できる。
5)咬合の維持ならびに崩壊に関与する因子を説明できる。
6)咬合と全身機能との関係を説明できる。
7)咬合治療におけるチームアプローチの重要性を具体的に述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/15	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯列弓の形態と正常咬合	講義・WebClass・リアクションペーパー	岩永　譲	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】遠隔講義/全体議論 【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】
2	4/18	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)	乳歯列の咬合	講義・WebClass・リアクションペーパー	岩本　勉	【到達目標】1),2) 【学習方法】遠隔講義/全体議論 【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】

3	5/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	混合歯列から永久歯列へ	講義・WebClass・リアクションペーパー	松本　芳郎	【到達目標】3）【学習方法】遠隔講義/全体議論【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】
4	5/8	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	咬合の生理学	講義・WebClass・リアクションペーパー	上阪　直史	【到達目標】4）【学習方法】遠隔講義/全体議論【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】
5	5/21	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	高齢者の咬合回復	講義・WebClass・リアクションペーパー	濵　洋平	【到達目標】5),6）【学習方法】遠隔講義/全体議論【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】
6	5/21	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顎欠損・舌欠損患者の咬合回復	講義・WebClass・リアクションペーパー	服部　麻里子	【到達目標】7）【学習方法】遠隔講義/全体議論【事前学習】WebClass 配布資料/授業アンケート回答　【Zoom】
7	5/30	11:00-11:50	歯学部演習室	筆記試験	客観的試験、論述試験による総括的評価	小野　卓史, 細道　純	【到達目標】1),2),3),4),5),6),7）【学習方法】筆記試験

成績評価の方法

授業における AL（毎回の授業でリアクションペーパーを Webclass にて提出）、ユニット最終回の筆記試験により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

準備学習として、指定教科書を熟読すること。

試験の受験資格

全出席が試験受験資格とする。

構成ユニット

04 オクルージョン

モジュールの単位判定

1. 東京医科歯科大学試験規則第5条第3項の規定に基づく。
2. 全出席が試験受験資格とする。
3. 出席は取らず、筆記試験で採点する。
4. 筆記試験による評価とともに、提出されたALの内容(毎回の授業でリアクションペーパーをWebclassにて提出)および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

国試合格力養成:補綴歯科学の要点と解説／下山和弘, 羽村章編著,下山, 和弘,羽村, 章,:医歯薬出版, 2020
・咀嚼運動の生理学(中村嘉男、医歯薬出版、1998)
・テキストブック　オクルージョン(Mohl/Zarb/Carlsson/Rugh 共著、藍稔訳、クインテッセンス、1993)
・入門咬合学(古谷野潔ほか、補綴臨床 Practice Selection、医歯薬出版)
・新編咬合学辞典(保母須美也、クインテッセンス出版)
・全図解　顎関節症とかみ合わせの悩みが解決する本(健康ライブラリー図解シリーズ、講談社、2011)
・歯科技工別冊・図解咬合の基礎知識(五十嵐孝義・田村勝美、医歯薬出版)
・オクルージョン・咬合治療の理論と臨床(覚道幸男・三谷春保・碑田豊治、医歯薬出版)
・スポーツ歯学の臨床(大山喬史、医学情報社)
・顎顔面補綴の臨床(大山喬史・谷口尚、医学情報社)
・スポーツ歯科臨床マニュアル(日本スポーツ歯科医学会編、医学情報社)
・Clinical Management of Head, Neck and TMJ Pain and Dysfunction(Gelb H, WB Saunders, 1985)
・New Concepts in Craniomandibular and Chronic Pain Management(Gelb H, Mosby-Wolfe, 1994)

備考

授業前日に、WebClass から講義資料を配信予定です。授業においては、AL(授業当日に、WebClass を介してリアクションペーパー作成・提出)を実施します。試験の受験資格を喪失しないように、体調管理に十分留意するとともに、出欠には余裕をもって各講義に臨んで下さい。

小野　卓史　t.ono.orts@tmd.ac.jp

時間割番号	021519			
科目名	歯科と色		科目 ID	DD-551605-L
担当教員	山城　正司, 興地　隆史, 服部　麻里子, 瀧田　美奈, 高橋　礼奈[Masashi Yamashiro, OKIJI TAKASHI, HATSUTORI MARIKO, TAKITA Mina, TAKAHASHI RENA]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

課題統合セミナーは一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い，より深く理解することを目的とする.
モジュール名:課題統合セミナー
ユニット名:歯科と色
ユニットコマ数:6＋1
必要自習時間:2
授業形態:遠隔同期型
ユニット番号:05

主な講義場所

講義と演習は遠隔同期型で行う.
試験は講義室にて行う.

授業の目的、概要等

歯科診療における色の効果について理解する.
色についての基本的な知識を習得するとともに、歯科保存治療、補綴歯科治療、口腔外科治療等における色の関りについて理解する.
学習目標(GIO):
歯科診療における色の効果について理解する.

授業の到達目標

到達目標(SBOs):
1)色の基本的性質について説明できる.
2)口腔および顎顔面の色の特徴について説明できる.
3)口腔および顎顔面の治療における色の果たす役割を説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1	4/5	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	色の基本	(AL)講義と演習	服部　麻里子	到達目標　1　時刻: 2024 年 4 月 5 日 12:45 PM
2	4/5	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	保存修復における色	(AL)講義と演習	高橋　礼奈	到達目標　2, 3　時刻: 2024 年 4 月 5 日 01:45 PM

							パスコード:
3	4/11	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	歯内治療と歯の変色	(AL)講義と演習	興地　隆史	到達目標　2, 3 時刻: 2024 年 4 月 11 日 12:45 PM パスコード:
4	4/11	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	間接法歯冠修復における色	(AL)講義と演習	瀧田　美奈	到達目標　2, 3 時刻: 2024 年 4 月 11 日 01:45 PM パスコード:
5	4/15	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	口腔粘膜と色	(AL)講義と演習	山城　正司	到達目標　2, 3 時刻: 2024 年 4 月 15 日 09:00 AM パスコード:
6	4/15	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顎顔面補綴における色	(AL)講義と演習	服部　麻里子	到達目標　2, 3 時刻: 2024 年 4 月 15 日 10:00 A パスコード:
7	5/7	09:00-09:50	歯学部演習室	試験		服部　麻里子	

授業方法

講義と演習

授業内容

1.色の基本
2.保存修復における色
3.歯内治療と歯の変色
4.間接法歯冠修復における色
5.口腔粘膜と色
6.顎顔面補綴における色

成績評価の方法

事前学習の実施状況と演習への取り組み，筆記試験の結果を総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

WebClass にアップロードされた配布資料に目を通したうえで，講義に臨むこと.

試験の受験資格

全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない.

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし,次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

構成ユニット

01 咀嚼と嚥下のバイオロジー

02 骨のバイオロジー

03 ことばの世界

04 オクルージョン

05 歯科と色

06 口唇裂口蓋裂

07 全人的総合診断

モジュールの単位判定

本モジュールは，複数学年にまたがるモジュールなので，歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない．モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない．なお，ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される.

参考書

歯の色の話／日本歯科色彩学会 編著,:クインテッセンス出版, 1999

Fundamentals of color Shade matching and communication in esthetic dentistry 2nd ed／S.J.Chu, A 他:Quintessence, 2010

これで納得!デンタルホワイトニング ：Dental Whitening 101／加藤純二, 金子潤, 大槻昌幸, 守矢佳世子 編著,:医歯薬出版, 2012

ホワイトニング&プリベンション ：「白い歯」からはじまるカリエスフリー時代の臨床アドバイス 10／椿智之 著,:クインテッセンス出版, 2011

歯科審美学 = Esthetic dentistry／日本歯科審美学会 編,日本歯科審美学会,:永末書店, 2019

ホワイトニング New Generation／宮崎真至 編著:医歯薬出版, 2022

備考

各授業でアクティブラーニングを取り入れる．演習とグループディスカッションを行う.

参照ホームページ

WebClass から配信予定

連絡先(メールアドレス)

服部 麻里子:sasamfp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 麻里子:随時(メールか teams メッセージにて面談の日程を調整すること)D 棟 11 階生体補綴歯科学分野第 3 研究室

時間割番号	021520			
科目名	口唇口蓋裂		科目ID	DD-551606-L
担当教員	小川　卓也[OGAWA TAKUYA]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:課題統合セミナー
コマ数:9+0(必要自習時間:2時間)
授業形態:講義
ユニット番号:06

授業の目的、概要等

口唇口蓋裂の病態ならびに治療法を理解する。

授業の到達目標

1) 口唇口蓋裂の発生と成因を説明できる。
2) 口唇口蓋裂患者の言語の問題を述べることができる。
3) 各時期における外科治療について述べることができる。
4) 顎発育障害および咬合不全に対する治療体系を説明できる。
5) 口唇口蓋裂のチームアプローチの重要性を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の発生と成因	講義	井関　祥子	ミーティング ID: パスコード:
2	5/20	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂児が出生した時に	講義	落合　聡	ミーティング ID: パスコード:
3	5/20	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	口唇口蓋裂の外科治療1(出生直後から口唇・口蓋形成術まで)	講義	森田　圭一	
4	5/21	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の言語治療	講義	正木　啓太	ミーティング ID: パスコード:
5	5/21	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の矯正治療1(幼児期・学童期まで)	(AL) 講義・演習	米満　郁男	ミーティング ID: パスコード:
6	5/21	14:50-16:30	遠隔授業(同期型)	口唇口蓋裂の矯正治療2(青少年期から成人まで)	講義	小川　卓也	ミーティング ID: パスコード:
7	6/4	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	口唇口蓋裂の外科治療2(幼児期から成人期まで)	講義	森田　圭一	

8	6/4	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	口唇口蓋裂の補綴治療	（AL） 講義・演習	服部　麻里子	ミーティング ID: パスコード:
9	6/4	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	口唇口蓋裂のチーム医療（まとめ）	（AL） 講義・演習	小川　卓也	ミーティング ID: パスコード:

成績評価の方法

・出席ならびにレポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

口唇口蓋裂についての講義を理解するために、事前に参考図書の関連領域を熟読しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。止むを得ず講義の出席が不足する場合は、これらのレポートの内容により受験資格の付与を検討する。

参考書

口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床／高橋庄二郎 著,:日本歯科評論社, 1996

アトラス顎顔面矯正 : 顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療／黒田敬之 監修,大山紀美栄, 本橋信義, 鈴木聖一 編,黒田, 敬之, 1936-,大山, 紀美栄, 1940-,本橋, 信義, 1948-,鈴木, 聖一, 1954-,:医歯薬出版, 2002

備考

一部のユニット授業においては、AL（演習）を行う。

小川卓也　t-ogawa.mort@tmd.ac.jp

時間割番号	021521			
科目名	全人的総合診断		科目ID	DD-551607-L
担当教員	梅森　幸, 新田　浩, 則武　加奈子[UMEMORI SACHI, NITTA HIROSHI, NORITAKE KANAKO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール番号:　16
ユニット授業:
講義:9コマ
実習:9コマ(グループローテーション演習・実習)
試験:1コマ

主な講義場所

1号館西6階演習室、病院1階歯科総合診療科他

授業の目的、概要等

＜講義＞

口腔内診察の基本を理解するとともに、与えられた患者医療情報を全人的・総合的に分析することにより、正しい診断、治療法の選択、治療計画の立案について理解する。

＜グループローテーション演習・実習＞

口腔内検査相互実習、医療面接演習、治療計画の立案演習を通して、包括臨床実習に繋がる全人的総合診断の態度と技能の基本を修得する。

授業の到達目標

1)　患者医療情報を正しく収集できる。
2)　口腔内診察の基本が正しく実施できる
3)　患者医療情報を分類する。
4)　患者医療情報から正しい診断を行う。
5)　診断から治療法が選択できる。
6)　患者中心の治療計画が立案できる。

コアカリ番号:、F-1-1)-①②③、F-1-2)-①②③④　F-2-1)-①②③④⑤⑥、F-2-2)-⑫

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/17	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】診断の基本		新田　浩	プレテスト(web class)
2	5/17	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】基本的診断法		梅森　幸	web class
3	5/17	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】医療面接と患者の心理		梅森　幸	web class、ポストテスト(web class)
4	5/23	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】歯周疾患と歯内疾患		城戸　大輔	プレテスト(web class)、web class
5	5/23	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】粘膜疾患			web class
6	5/23	11:00-11:50	遠隔授業	【講義】欠損部と補綴		秀島　雅之,	web class、ポス

			(非同期型)			則武 加奈子	トテスト(web class)
7	5/24	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】う蝕と審美		城戸 大輔	プレテスト(web class)、 web class
8	5/24	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】全身疾患と口腔症状		新田 浩	web class
9	5/24	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	【講義】治療方針・治療計画		新田 浩	web class、 ポストテスト(web class)
10-12	5/27	13:50-16:40	科目責任者へ要確認	【実習】ローテーション実習	3班に分かれて実習を行います。(集合場所、実施時間帯も異なるので、確認すること)	梅森 幸, 則武 加奈子, 西山 暁	実習、グループワーク、プレテスト、ポストテスト
13-15	5/28	13:50-16:40	科目責任者へ要確認	【実習】ローテーション実習	3班に分かれて実習を行います。(集合場所、実施時間帯も異なるので、確認すること)	梅森 幸, 則武 加奈子, 西山 暁	実習、グループワーク、プレテスト、ポストテスト
16-18	5/29	12:50-15:40	科目責任者へ要確認	【実習】ローテーション実習	3班に分かれて実習を行います。(集合場所、実施時間帯も異なるので、確認すること)	梅森 幸, 則武 加奈子, 西山 暁	実習、グループワーク、プレテスト、ポストテスト
19	6/10	10:00-10:50	特別講堂		ユニット試験	梅森 幸	

授業方法

講義:9コマ、実習:9コマ

講義は原則1コマ:50 分授業 10 分休憩

実習は 3 班に分けてローテーション演習・実習を実施する(各3コマ)。

授業内容

【講義】

全人的総合診断基本:診断とは、基本的診察法、医療面接、

全身的総合診断応用:歯周疾患と歯内治療、粘膜疾患、欠損と補綴、う蝕と審美、全身と口腔内症状、治療方針・治療計画

【実習】

口腔内診察実習、医療面接実習、治療計画立案実習

成績評価の方法

・プレテスト、ポストテストの成績は最大 25 点とし、筆記試験は 75 点満点とする。筆記試験には英語問題も出題する。

・授業・演習・実習中の平常点、およびユニット最後の筆記試験(2024 年 6 月 10 日)により総括的に評価する。

成績評価の基準

平常点と筆記試験の合計点数(100 点満点)が 60 点以上の学生は合格とする。

60 点未満の場合は再試験とする。

再試験は 100 満点とし、60 点以上を合格とする。再試験には平常点は加算しない。不合格者は次年度再履修とする。

準備学習等についての具体的な指示

必要実習時間9時間:5年前期までに履修した臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識(疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など)と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識(疾患名、病態、歯科との関連など)についての再確認をしておくこと。

試験の受験資格

・ユニット内の全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・3コマ連続の授業開始前にプレテスト、終了後にポストテストを実施する。

プレテスト、ポストテストの両方が揃っている学生は出席3コマ、どちらか一方のみは出席1コマの扱いとする。

グループローテーション演習・実習の出席は開始時に行う。出席確認時に不在の学生は欠席扱いとするが、演習・実習への参加は認め

る。ただし理由なく30分以上遅刻した場合は、当該演習・実習への参加を認めず、後日補習とする。

モジュールの単位判定

講義、グループローテーション演習・実習中の平常点、およびユニット最後の筆記試験(2024 年 6 月 10 日)により総括的に評価し、合格した場合に単位認定とする。

教科書

見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド : 落とし穴を回避して主訴の解決に導く手順とポイント／礪波健一 著・文・その他,礪波健一 編集,則武加奈子 著・文・その他,則武加奈子 編集,梅森 幸 著・文・その他,梅森 幸 編集,新田 浩 著・文・その他,新田 浩 編集,小田 茂 著・文・その他,小田 茂 編集,荒木孝二 著・文・その他,荒木孝二 編集,礪波健一,則武加奈子,梅森 幸,新田 浩,小田 茂,荒木孝二,:クインテッセンス出版, 2021-02-10

参考書

人間学入門 : 医療のプロをめざすあなたに／日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会/準備教育小委員会 編,:南山堂, 2009

学生のための医療概論／千代豪昭, 黒田研二 編,:医学書院, 2010

歯科医療のおもしろさ : 後輩たちへ贈る28のドラマ／橋本光二, 升谷滋行, 飯野文彦 編,:口腔保健協会, 2013

歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編,:クインテッセンス出版, 2013

知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療 : 歯科医療につながる医学知識／小谷順一郎, 田中義弘 編集主幹,足立了平, 河合峰雄, 佐久間泰司, 民田浩一 編,:永末書店, 2008

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 髙戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,:朝倉書店, 2013

医療者の心を贈るコミュニケーション : 患者さんと一緒に歩きたい／日下隼人著,日下, 隼人,:医歯薬出版, 2016

日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム／WENDY LEVINSON, SHIPHRA GINSBURG, FREDERIC W.HAFFERTY, CATHERINE R.LUCEY [著],宮田靖志, 小泉俊三 監訳,Levinson, Wendy S,Ginsburg, Shiphra,Hafferty, Frederic W., 1947-,宮田, 靖志,小泉, 俊三, 1946-,:カイ書林, 2018

実践クリティカル・シンキングのすすめ : 探究・臨床力をアップするEBMの学び方と活用ポイント／八重垣健 監著,八重垣, 健,:クインテッセンス出版, 2009

履修上の注意事項

グループローテーション演習・実習を休んだ場合は補習を必要とする。補習を受けなかった場合は総括評価を保留とする。

備考

本ユニットの出席確認の方法は初回授業時に詳細を説明する。

演習・実習・グループワークによるアクティブラーニングを実施する。

本実習全体に関する指導担当者のオフィスアワー:まずはメールにて問い合わせ、アポをとること

新田 浩:nitta.behd(@)tmd.ac.jp

梅森 幸:sumegend(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

参照ホームページ

必要実習時間9時間:5年前期までに履修してきた臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識(疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など)と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識(疾患名、病態、歯科との関連など)についての再確認をしておくこと。

時間割番号	021098				
科目名	学年混合選択セミナー			科目 ID	DD-331700-L
担当教員					
開講時期	2024 年度 2.5 通年	対象年次	3～5	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:10
授業形態:講義・演習
モジュール番号:17

主な講義場所
各ユニットのシラバスを参照のこと

授業の目的、概要等
興味を抱く医歯学領域のテーマを自ら選び、理解を深める。

授業の到達目標
各ユニットのシラバスを参照のこと

成績評価の方法
各ユニットのシラバスを参照のこと

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットのシラバスを参照のこと

試験の受験資格
各ユニットのシラバスを参照のこと

構成ユニット
01 選択コース 1-A～ 複数のユニット (いずれか一つを選択する)
02 選択コース 2-A～ 複数のユニット (いずれか一つを選択する)

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、すべてのユニット (=2 ユニット)に合格しなければならない。
各ユニット共に、出席要件、単位判定の要件が記載されているので、確認すること。

ユニットの合格判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される場合がある。

参考書
各ユニットのシラバスを参照のこと

履修上の注意事項
各ユニットのシラバスを参照のこと

備考
鶴田 潤
turucie@tmd.ac.jp

備考
ユニット授業においては、AL(フリーディスカッション)を行う。

時間割番号	021591			
科目名	選択コース１ーA:海外留学と海外協力		科目 ID	DD-331700-L
担当教員	渡邊　裕[WATANABE HIROSHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:５＋０
必要自習時間:５
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

・講義は 1 回目、2 回目、3 回目を非同期動画視聴にて、4 回目、5 回目を Zoom によるオンライン講義および討論にて行います。

授業の目的、概要等

歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、 海外協力に関する知識を修得する。

授業の到達目標

1） 海外留学することの成果について説明できる。
2） 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。
3） 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。
4） 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。
5）歯科領域における海外協力の実際について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	14:50-15:40	その他（歯学科）	海外留学の奨め 1（臨床編）		西村　賢市, 渡邊　裕
2	4/18	14:50-15:40	その他（歯学科）	海外留学の奨め 2（研究編）		片桐　さやか, 渡邊　裕
3	4/25	14:50-15:40	その他（歯学科）	歯科医師の海外協力		高田　恒彦, 渡邊　裕
4	5/2	14:50-15:40	その他（歯学科）	自衛隊による海外歯科医療　支援活動	参加 Zoom ミーティング	山田　毅 渡邊　裕
5	5/9	14:50-15:40	その他（歯学科）	東南アジアの歯科事情	参加 Zoom ミーティング	渡邊　裕

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・講義のテーマは広範にわたります。自身の興味のある分野について、あらかじめ知見を深めておくことをお勧めします。

試験の受験資格

・東京医科歯科大学試験規則第5条第3項の規定に基づく

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

時間割番号	021592			
科目名	選択コース１－B：研究論文作成・特許取得		科目 ID	DD-331701-L
担当教員	中禮　宏[CHUREI HIROSHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名：学年混合選択セミナー
コマ数：5
授業形態：講義
ユニット番号：01

主な講義場所

WebClass での講義

授業の目的、概要等

学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を討論し，理解する。

授業の到達目標

1）研究発表における受賞の意義を説明できる。
2）独創的研究、先端医療技術について説明できる。
3）特許取得制度とその出願方法について説明できる。

授業方法

動画配信講義

授業内容

1）特許取得の意義と制度
2）産学連携
3）独創的研究・先端医療技術-1
4）独創的研究・先端医療技術-2
5）研究論文作成・特許取得-まとめ

成績評価の方法

・成績点とレポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・歯科領域で利用されている器材で、すでに特許となっている新技術について調べておく。
・自分が将来どのような発明（研究）をしたら、歯科臨床に役立つのか創案する。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

出席点＋レポート提出

履修上の注意事項

・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

連絡先（メールアドレス）

中禮　宏:chu.spmd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中禮　宏:毎週月曜日 AM.9:00-PM.4：00 D 棟 11 階

時間割番号	021593				
科目名	選択コース1ーC:明るい開業の道しるべ			科目ID	DD-331702-L
担当教員	東堀　紀尚				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:5+0
必要自習時間:2時間
授業形態:同期型遠隔授業
ユニット番号:01

主な講義場所
同期型遠隔授業

授業の目的、概要等
歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。

授業の到達目標
1)歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。
2)開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要か洞察できる。
3)自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	開業の手順	講義・開業の手順についての解説	小島　龍哉, 東堀　紀尚	ミーティング ID: パスコード: Webclass: IL2400015
2	4/18	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯科医院の収支	講義演習・歯科医院の収支についての解説	東堀　紀尚, 荒井　秀昭	ミーティング ID: パスコード: Webclass: IL2400015
3	4/25	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯科医師会とは	講義演習・歯科医師会の役割や意義についての解説	熊谷　宏, 東堀　紀尚	ミーティング ID: パスコード: Webclass: IL2400015
4	5/2	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	医療訴訟	講義・医療訴訟についての解説	東堀　紀尚, 戸田　聡	ミーティング ID: パスコード: Webclass: IL2400015
5	5/9	14:50-15:40	遠隔授業	開業医の現実	講義・開業医から見た現実につい	辻　隆次, 東	ミーティング ID:

			（同期型）		て実例をともに解説	堀　紀尚	パスコード: Webclass: IL2400015　　レポート課題配布予定

成績評価の方法

レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

参考資料を熟読し、理解を深める。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

選択コース１－C：明るい開業の道しるべ

履修上の注意事項

以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

備考

講義演習によるアクティブラーニングを行う

時間割番号	021616			
科目名	選択コース 1-D:アカデミアで活躍するプロフェッショナル		科目 ID	
担当教員	鶴田　潤[TSURUTA JIYUN]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:5+0
授業形態:講義+演習
ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔授業(非同期・同期)

Zoom 授業の場合は、以下でアクセス。

授業の目的、概要等

世界の歯科医療界・歯学を率いる本学、協定校 King's College London において、研究・臨床・教育の最前線を開拓し活躍している歯学系教員のプロフェッショナルとしての自覚、想い、仕事への姿勢などに関する講義を通し、受講生が、変化し続ける社会における歯科医師の職責を理解し、アントレプレナーシップ(さまざまなリスクへ立ち向かい、新たな事業をおこすための姿勢)、今後の自らの成長の道筋を見出す姿勢を習得することを目的とする。

授業の到達目標

1) プロフェッションのあり方を説明できる。
2) 歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる
3) 歯科医師に課された責任を説明できる。
4) 他者との議論を通し、現在の自分の資質を認識できる。
5) 将来へ向け、自分の成長過程を描ける。

歯学教育モデル・コア・カリキュラム　平成 28 年度改訂版
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/06/15/1325989_29_02.pdf

A-1-3)-①
A-1-3)-④

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	導入　課題実施	鶴田　潤	講義　到達目標 1) 2) 3) Zoom　ミーティン

2	4/18	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	健康支援口腔保健衛生学分野 教授 樺沢勇司 先生 質疑応答 課題実施	鶴田 潤, 樺沢 勇司	講義 到達目標 1）2）3） WebClass 学習資料視聴
3	4/25	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	口腔再生再建学分野 教授 丸川恵理子先生 講義 課題実施	鶴田 潤, 丸川 恵理子	講義 到達目標 1）2）3） WebClass 学習資料視聴
4	5/2	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	King's College London TMDU 非常勤講師 Richard Foxton 先生 講義 課題実施	鶴田 潤	講義 到達目標 1）2）3） Zoom ミーティン
5	5/9	14:50-15:40	歯学科第 3 講義室, 遠隔授業（同期型）	摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄先生 質疑応答	鶴田 潤, 戸原 玄	（AL）講義・演習 到達目標4)5) Zoom ミーティン

授業方法

・5回の授業については、同期・非同期授業を予定する。
・設定課題については、必ず、実施・提出を行うこと。
期日までの設定課題が全て提出が、評価対象となることの必須条件。
不足している場合は、ユニット未履修とする。

・授業時間外の自習活動として、非同期教材の実施を予定することもあるので、必ず実施すること。

授業内容

4 月 11 日（木）までに、全ての教材を WebClass にアップロードする。

4 月 11 日： 統合教育機構・鶴田（Zoom 授業）
4 月 18 日： King's College London TMDU 非常勤講師 Richard Foxton 先生（非同期：WebClass）
4 月 25 日： 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄先生（同期：Zoom）
5 月 2 日： 健康支援口腔保健衛生学分野 教授 樺沢勇司 先生（同期：Zoom）
5 月 9 日： 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄先生（同期：Zoom）

受講生は、各回の授業終了後に課題を実施すること。
（締め切り翌週水曜日 23:59 を基本、未提出者の最終提出締め切りは、5 月 15 日（水）23:59 までとし、それまでに課題を全て提出していない者は、評価対象外とする。）
出席記録は取らないが、動画教材の視聴記録は確認する。

成績評価の方法

受講生は、各回の授業終了後に課題を実施すること。
（締め切り翌週水曜日 23:59 を基本、未提出者の最終提出締め切りは、5 月 15 日（水）23:59 までとし、それまでに課題を全て提出していない者は、評価対象外とする。）

成績評価の基準

点数配分
課題提出点 50 点（10 点満点・5 回分）

時間割番号	021624			
科目名	選択コース 1-F: 自分らしいキャリアを創るには ～男女で考えるキャリアデザイン①～		科目 ID	
担当教員				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
ユニット名:選択コース 1-F 自分らしいキャリアを創るには～男女で考えるキャリアデザイン①～
ユニット責任者:栗林亜実
ユニット番号:01
開設時期:3, 4, 5年 前期
ユニットコマ数(授業コマ数＋試験コマ数):5＋0
授業形態:講義、演習

授業の目的、概要等

医療従事者及び一人の人間として、自分のキャリアの方向性を引き出し、今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようにする。男女共に多様なキャリアの選択肢があることを知り、医療現場の男女共同参画の視点を培う。将来、育児、介護等のライフイベントを経てもキャリアデザインを立案できる能力を育成する。

授業の到達目標

1)キャリアについて理論的に考えることで、自分らしいキャリアデザインのポイントを学ぶ。
2)演習やワークを通じて、自分の価値観や、過去・現在・未来のキャリアを客観的に理解する。
3)男女共に多様なキャリアの方向性や働き方の違いを知り、将来、仕事と家庭とを良質するための方法をシミュレーションする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	講義:キャリアとは	講義形式で行う zoom ミーティング	栗林 亜実, 有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 講義 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
2	4/18	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習:自分の価値観を知ろう	AL 演習形式で行う ミーティングI	有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 演習 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
3	4/25	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習:過去・現在のキャリア	AL 演習形式で行う ミーティング ID:	有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 演習 [事前学習] 選択コースのテ

							ーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
4	5/2	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	演習：仕事とプライベートの両立	AL 演習形式で行う　ミーティングID:	有馬　牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 演習 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
5	5/9	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	演習：将来のキャリアを考えよう	AL 演習形式で行う　ミーティングID:	有馬　牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 演習 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。

成績評価の方法

受講態度などを基に総合的評価を行なう。

準備学習等についての具体的な指示

選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。

試験の受験資格

5 回の授業のうち 4 回以上出席しなければならない

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない

構成ユニット

1-F　自分らしいキャリアを創るには～男女で考えるキャリアデザイン①～

備考

ユニット授業においては、AL　演習形式で行う。

有馬牧子　昭和大学医学部医学教育学講座講師（メールはいつでも可）

makiko39@med.showa-u.ac.jp

課題提出が、締め切りまでに行われた場合・10 点

課題内容評価点　50 点(10 点満点・5 回分)
課題提出物の評価基準:
各講師の講演より、プロフェッショナルとしての責務を理解し、将来歯科医師を目指す学生として今後の成長過程を自らの言葉で描くことができているかどうかを判断する。

・プロフェッショナルとしての責務の理解　5 点
・自分自身の成長過程の十分な表現　　5 点

総括的評価として、60 点以上を本ユニット合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本学教員である講師の話を聞くことで、皆さんの将来を描く機会としてほしいと思います。そのために、アカデミアの実情、歯学に関する職業のあり方、自分の将来を考えるために必要な情報を、Web サイト、マスメディア・雑誌・新聞や、歯学関連書籍を読み、これから自分が一人の職業人として足を踏み入れる世界について、自分自身での考えをもって参加すること。

提示される事前学習課題(非同期教材)については、必ず、視聴、実施すること。

試験の受験資格

・試験の受験資格として、出席日数は扱わない。

参考書

手仕事の医療 : 評伝石原寿郎／秋元秀俊 著,:生活の医療, 2017
マンガ 西洋歯科医の始祖 小幡英之助／常盛 千恵、大分県中津市:梓書院, 2011

履修上の注意事項

授業内容および講師の変更がある場合は、事前に連絡を行う。 「人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中 心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道(みち)を究めていく。」 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの中でも、歯科医師として求められる基本的な資質・能力として、第一に扱われているのが、このプロフェッショナリズムである。ともすれば、学ぶことで習得できる資質であると考えられることもあるが、人の生活、すなわち人生に直接的に関わる歯科医師として成長は、単に学ぶことだけでは終わるものではなく、常に意識をもち、研鑽を継続する中で、自ずとその身となるものである。本ユニットでは、歯科医師を目指す歯学科生として、社会の歯科医師に対してのその期待・責務にどのように応えることができるか、非常勤講師の先生(海外歯科医師や本学歯科医師)の講演やグループ討議を通して、皆で考える時間とする。

備考

講義・討論(ペア)・グループディスカッション を行う。

参照ホームページ

参考論文:
1)鶴田潤、補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか ― 専門継続研修, 専門医制度のあり方―
http://www.hotetsu.com/s/doc/irai2017_1_03.pdf
2)鶴田 潤. 内の目外の目(第 192 回) 歯科医療人材育成と歯科医療の管理(その 2) 日本歯科医師会雑誌. 2018.11; 71 (8): 646-647.
3)鶴田 潤. 内の目外の目(第 191 回) 歯科医療人材育成と歯科医療の管理(その 1) 日本歯科医師会雑誌. 2018.10; 71 (7): 556-557.
4)鶴田 潤. 将来の歯科医療を考える ～専門職集団としての将来～ 日本歯科医師会雑誌. 2015.02; 67 (11): 6-16.

時間割番号	021618			
科目名	選択コース 2-A:歯科医師の進路		科目 ID	
担当教員	鶴田　潤			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:5＋0
授業形態:講義＋演習
ユニット番号:02

授業の目的、概要等

歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢がある事を認識する。

授業の到達目標

1)歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。
2)進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。
3)進路を選択する上で、自らの適正について評価できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/16	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	歯学部卒業から開業まで	講義　WebClass:	清水　義一	【到達目標】1),2),3)【学習方法】非同期動画視聴
2	5/23	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	歯科医師の行政職	講義　WebClass:	柳澤　智仁	【到達目標】1),2),3)【学習方法】非同期動画視聴
3	5/30	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	基礎研究者として	遠隔講義(ZOOM)　ミーティング ID: 994 2796 1622　パスコード: 960761	栢森　高	【到達目標】1),2),3)【学習方法】遠隔講義
4	6/6	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	総合病院の歯科医師として	講義　WebClass	上丸　英	【到達目標】1),2),3)【学習方法】非同期動画視聴
5	6/13	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	「歯科医師の進路」総括・まとめ	AL, 遠隔講義(ZOOM)　ミーティング ID: 994 2796 1622　パスコード: 960761	栢森　高	【到達目標】1),2),3)【学習方法】遠隔講義, 全体討論

授業方法

全 5 回のうち、3 回は非同期型、2 回は ZOOM による同期型講義を行います。
同期型2回のうち1回はアクティブラーニング(講義内容に関する討議)を実施します。

成績評価の方法

課題として提出されたレポート評価による総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

歯科医師の進路には様々な選択肢がある。臨床はもちろん研究職など、医療従事者としての歯科医師がどのような場で活躍しているのかを事前に調べておく事が望ましい。

試験の受験資格

課題を全て提出することが必要。

備考

全 5 回のうち、3 回は非同期型、2 回は ZOOM による同期型講義を行います。同期型2回のうち1回はアクティブラーニング(講義内容に関する討議)を実施します。

連絡先：鶴田潤　turucie@tmd.ac.jp

時間割番号	021619				
科目名	選択コース 2-B:製品開発への途			科目 ID	
担当教員	中禮宏				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:5
授業形態:講義
ユニット番号:02

授業の目的、概要等

歯科関連器材が製品開発されるまでの過程を各企業の開発担当社から学び，臨床研究における産学連携の意義を理解する。

授業の到達目標

1)どのようなニーズから製品開発プロジェクトが生まれるのか具体例を説明できる。
2)機器や材料の製品開発までの過程を説明できる。
3)産学連携における企業と大学の役割について説明できる。

授業方法

WebClass にての動画配信

授業内容

歯科関連企業担当者からの講義
1)キャノン電子
2)ジーシー
3)吉田製作所
4)松風
5)トクヤマデンタル

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・歯科領域で利用されている器具、器材について調べておく。

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

履修上の注意事項

＊過去に受講歴がある学生は履修できません

時間割番号	021620			
科目名	選択コース 2-C:他職種との連携・協働 -歯科医師に求めること-		科目 ID	
担当教員	吉田直美			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合セミナー
ユニットコマ数:5
必要自習時間:1 コマにつき 1 時間
授業形態:講義・演習
ユニット番号:2

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。

授業の到達目標

1） 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を概説する。
2） 地域における住民のネットワークづくり支援について概説する。
3） 歯科診療所における歯科衛生士・歯科医師の役割を説明する。
4） 病院における看護師・歯科衛生士の役割を説明する。
5） 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/16	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動	歯科医療従事者の現況 歯科衛生士の歴史的背景、キャリアパス、活動	吉田 直美	目標1 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を考える
2	5/23	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義 病院における専門職種間の連携	病院における歯科衛生士と歯科医師などの連携	足達 淑子	目標4 病院における看護師・歯科衛生士の役割を理解する
3	5/30	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義 人びとの生活の質を向上するための活動とその意義	人びとの生活の質向上のための歯科医療従事者の活動	足達 淑子	目標2 地域における住民のネットワークづくり支援について考える。
4	6/6	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義 地域の歯科医療における歯科医師と歯科衛生士の協働	地域の歯科医療における歯科医師と歯科衛生士の協働	渡邉 麻理	目標3 歯科診療所における歯科衛生士・歯科医師の役割を理解する
5	6/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義・演習 高齢者への口腔健康管理と 多職種連携の実際	AL 口腔健康管理 多職種連携の実際	鈴木 瞳	目標5 高齢者の健康支援と専門職種間の連携を理解する

成績評価の方法

・視聴状況、課題への取り組みならびに提出による総括的評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない(非同期の授業は課題提出で確認する)。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
備考 演習を一部取り入れる。 webclass に動画並びに課題を UP する。

時間割番号	021622			
科目名	選択コース 2-E: キャリア up のためのコミュニケーション 男女で考えるキャリアデザイン②		科目 ID	
担当教員	栗林亜実			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
ユニット名:選択コース 2-E キャリア up のためのコミュニケーション ～男女で考えるキャリアデザイン②～
ユニット責任者:栗林亜実
ユニット番号:02
開設時期:3, 4, 5年 前期
ユニットコマ数(授業コマ数＋試験コマ数):5＋0
授業形態:講義、演習

授業の目的、概要等

キャリアを築いていく上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、日々の人間関係や医療従事者としてのコミュニケーションに役立てる。
自分の要求や気持ちの伝え方や、人の話を聴くポイントなどを具体的に身につける。
医療現場や日常の場面において、コンフリクトや課題が生じたときに問題解決に導くためのコミュニケーション方法を学ぶ。

授業の到達目標

1)自分のコミュニケーションのパターンを理解する。
2)職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。
3)医療現場、組織の中で協働するためのコミュニケーション方法を学ぶほか、多様性や男女共同参画意識を推進するためのコミュニケーション方法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/16	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	講義:コミュニケーションとは？	講義形式で行う zoom ミーティング ID:	有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 講義 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
2	5/23	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習:自分のコミュニケーションパターンを知ろう	AL 演習形式で行う ミーティング ID:	有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法] 演習 [事前学習] 選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
3	5/30	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習:聴く・話す・伝える・要求する	AL 演習形式で行う ミーティング ID:	有馬 牧子	[到達目標] 1), 2), 3) [学習方法]

							演習 ［事前学習］選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
4	6/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	演習：多様性を活かすコミュニケーション①	AL 演習形式で行う ミーティングID:	有馬 牧子	［到達目標］ 1), 2), 3) ［学習方法］演習 ［事前学習］選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。
5	6/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	演習：多様性を活かすコミュニケーション②	AL 演習形式で行う ミーティングID:	有馬 牧子	［到達目標］ 1), 2), 3) ［学習方法］演習 ［事前学習］選択コースのテーマであるキャリアデザインについて、事前に調べ準備をしておくこと。

成績評価の方法

受講態度などを基に総合的評価を行なう。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

5 回の授業のうち 4 回以上出席しなければならない

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない

構成ユニット

2-E キャリア up のためのコミュニケーション ～男女で考えるキャリアデザイン②～

備考

ユニット授業においては、AL 演習形式で行う。

有馬牧子 昭和大学医学部医学教育学講座講師（メールはいつでも可）

makiko39@med.showa-u.ac.jp

参照ホームページ

授業の目的及び到達目標を理解し、事前に学習準備をすること。

時間割番号	021617			
科目名	選択コース 2-F:歯科医学教育の「いろは」を学ぼう！		科目 ID	
担当教員	鶴田　潤[TSURUTA JIYUN]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3～5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:学年混合選択セミナー
コマ数:5＋0
授業形態:講義＋演習
ユニット番号:02

主な講義場所

・5回の授業については、同期・非同期授業を予定する。
・設定課題については、必ず、実施・提出を行うこと。
　期日までの設定課題が全て提出が、評価対象となることの必須条件。
　不足している場合は、ユニット未履修とする。

Zoom の場合は、以下のアドレスでアクセスのこと。

授業の目的、概要等

歯科医学教育は、卒前・卒後教育において、歯科医療従事者の人材育成に必須のものである。プロフェッションとして、社会に説明責任を持つ歯科医療界は、後進の育成に対して明確に責任を持つものであり、「学ぶ」立場である歯科学生より、将来、歯科医師、歯科衛生士、他スタッフへ「指導する」立場となる自身の立場を理解し、教育者としての自覚を持つことを本授業の目的とする。

授業の到達目標

1)歯科医学教育の基本を説明する。
2)歯科医学モデル・コア・カリキュラムを概説する。
3)カリキュラムプランニングの基本を説明する。
4)模擬的な授業計画の立案を行う。
5)教育者となるために必要な課題を見出す。

歯学教育モデル・コア・カリキュラム　平成 28 年度改訂版
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/06/15/1325989_29_02.pdf

A-2-1) 課題探求・解決能力
A-2-1)-①
A-2-1)-②
A-2-1)-③
A-2-1)-④
A-2-1)-⑤

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/16	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	歯科医学教育とは・歯科医学教育モデル・コア・カリキュラムとは		鶴田　潤	（講義）　到達目標1）　2） ZoomID　ミーティ
2	5/23	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	カリキュラムプランニングの基本（カリキュラムとは、目標とは）	授業後に課題実施	鶴田　潤	（AL）（講義）　到達目標　3） ZoomID　ミーティ
3	5/30	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	カリキュラムプランニング演習（目標設定）		鶴田　潤	（AL）（演習）　到達目標　3）　4） ZoomID　ミーティ
4	6/6	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	カリキュラムプランニングの基本（方略・評価とは）	授業後に課題実施	鶴田　潤	（AL）（講義）　到達目標　3）　4） ZoomID　ミーティ
5	6/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	将来の指導者の役割（講義）	授業後に課題実施	鶴田　潤	（講義）　到達目標　5）

授業内容

5 月 16 日：歯科医学教育とは・歯科医学教育モデル・コア・カリキュラムとは（講義）
5 月 23 日：カリキュラムプランニングの基本（カリキュラムとは、目標とは）（講義）
（課題①）：目標設定演習（課題実施）
5 月 30 日：カリキュラムプランニング演習（目標設定）
6 月　6 日：カリキュラムプランニングの基本（方略・評価とは）（講義）
（課題②）：方略・評価設定演習（課題実施）
6 月 13 日：将来の指導者の役割（講義）
（課題③）：将来に向けての自己課題と解決策（レポート）

成績評価の方法

課題提出状況および課題内容の合計点により評価を行う。

課題については、翌週水曜日23：59までの提出を基本とする。
以降、遅延提出も可能であるが、評価点が下がる。
また、
全ての課題について、6 月 19 日（水）23：59までに提出されない場合は、評価対象外として扱う。

成績評価の基準

点数配分

課題提出点　　60 点(20 点満点・3 回分)

課題提出が、締め切りまでに行われた場合・20 点

締め切り遅れて行われた場合・10 点

課題内容評価点　40 点(10 点満点・2 回分＋20 点・1 回分)

課題提出物の評価基準:

課題①・②　模擬的な授業計画の立案に関しての評価　10 点満点

（目標4)）

課題③　　歯科医療界における指導者たる教育者となるために必要な課題を見出す。20 点

（目標1～3、5）

総括的評価として、60 点以上を本ユニット合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・試験の受験資格として、出席日数は扱わない。

教科書

歯学教育モデル・コア・カリキュラム　平成 28 年度改訂版

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/06/15/1325989_29_02.pdf

参考書

医学教育におけるカリキュラム開発

https://www.jstage.jst.go.jp/article/mededjapan/45/1/45_25/_pdf

履修上の注意事項

授業内容および講師の変更がある場合は、事前に連絡を行う。

備考

講義・討論(ペア)・グループディスカッション　を行う。

時間割番号	021115				
科目名	歯科生体材料			科目 ID	DD-451800-Z
担当教員	宇尾　基弘[UO MOTOHIRO]				
開講時期	2024 年度通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:68(実用自習時間 19 時間)
授業形態:講義・実習
モジュール単位:3.93,　モジュール授業:講義 50 コマ、実習 18 コマ、試験 3 コマ

主な講義場所

講義は WebClass、第 2 講義室(ユニット 1)、第 3 講義室(ユニット 2,3)
実習は基礎実習室、補綴実習室

授業の目的、概要等

歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途について、歯科医療や歯科技工に用いられる材料(高分子材料、セラミックス、金属材料、複合材料)と器械・器具の固有の性質、特性及び用途を理解する。
歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法について、歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法(成形・加工・熱処理を含む)を理解する。

授業の到達目標

歯科医療で使用される金属、有機、無機、複合材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, それら材料の使用方法および成型方法を理解し説明できる。
具体的には
歯科医療機器(歯科材料・器械・危惧)の特性と用途について;
①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。
②材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。
③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。
歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法について
④成形修復・予防塡塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑤歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑥接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑦歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑧口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑨歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

授業方法

WebClass 上での動画視聴および小テストへの回答を中心に講義を進める。
初回の講義で動画視聴、小テストの回答などについて説明する。

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

成績評価の基準

全ユニットにおいて、ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味した総合点で 6 割以上を取得すること。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。
実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

各ユニットの試験日までに、該当ユニットの講義動画を全て視聴し、該当ユニットの小テスト全てに回答していなければならない。

構成ユニット

01 歯科理工学基礎
02 歯科生体材料の性質
03 歯科材料の成型技術と臨床

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義動画の全ての視聴、小テスト全ての回答および実習総数の4分の3以上の出席が単位取得に必要である。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2016
:医歯薬出版, 2019

参考書

歯科理工学教育用語集 第 3 版／日本歯科理工学会 編,日本歯科理工学会,:医歯薬出版, 2018

備考

モジュール責任者:宇尾基弘(先端材料評価学分野)
連絡先:uo.abm@tmd.ac.jp
オフィスアワー:随時(必ず事前に連絡すること)

時間割番号	021116			
科目名	歯科理工学基礎		科目 ID	DD-351801-Z
担当教員	宇尾　基弘[UO MOTOHIRO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯科生体材料
ユニットコマ数:16(必要自習時間 5 時間)
授業形態:講義・実習(講義:12 コマ、実習:3 コマ、試験 1 コマ)
ユニット番号:01

主な講義場所

WebClass、基礎実習室

授業の目的、概要等

歯科材料を含む生体材料を理解するための基礎として、材料科学の基本知識を修得する。

授業の到達目標

歯科材料を含む材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	10/2	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	歯科生体材料モジュールオリエンテーション 材料物性評価の基礎 ZOOM ID: 982 2710 6542 パスコード: 952876	宇尾　基弘
4-6	10/7	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	金属材料の　基礎(WebClass)	宇尾　基弘
7-9	10/10	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	無機材料の　基礎(WebClass)	宇尾　基弘
10-12	10/16	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	有機・複合材　料の基礎(WebClass)	宇尾　基弘
13-15	10/17	13:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(成形修　復材料)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈

授業方法

WebClass 上での動画視聴および小テストへの回答を中心に講義を進める。
モジュール初回の講義で動画視聴、小テストの回答などについて説明する。

授業内容

1) 材料の物性評価の基礎
2) 金属材料の基礎
3) 無機材料の基礎
4) 有機・複合材料の基礎

成績評価の方法 ユニット試験成績に動画視聴状況、小テスト回答、レポートなどを加味して算出する。
成績評価の基準 歯科材料を含む生体材料を理解するための基礎として、材料科学の十分な基本知識が得られていること。 具体的には、ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味した総合点で 6 割以上を取得すること。
準備学習等についての具体的な指示 講義に関しては WebClass 上の注意事項をよく読んで視聴すること。。 実習に関しては WebClass 上の実習書の該当項目を読むと共に、関連する実習動画を視聴して当日の実習内容を理解しておくこと。また実習開始時の説明が非常に重要なので、実習開始時間に遅れないこと。
試験の受験資格 ユニット試験は行わず、レポート提出により評価を行う。但し、指定期日までに、本ユニットの講義動画を全て視聴し、本ユニットの小テスト全てに回答していなければならない。
教科書 スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2023
参考書 歯科理工学教育用語集 第 3 版／日本歯科理工学会 編:医歯薬出版, 2018
備考 ・当該ユニットの試験に不合格の者は次年度に当該ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021139			
科目名	歯科材料の科学		科目ID	DD-451802-Z
担当教員	宇尾　基弘[UO MOTOHIRO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯科生体材料
ユニットコマ数:24(必要自習時間 6 時間)
授業形態:講義・実習(講義:20 コマ、実習:3 コマ、試験 1 コマ)
ユニット番号:02

主な講義場所

WebClass、第 3 講義室、基礎実習室

授業の目的、概要等

歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法について、歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法(成形・加工・熱処理を含む)を理解する。

授業の到達目標

歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法について
④成形修復・予防塡塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑤歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑥接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑦歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑧口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
⑨歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/1	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	歯科材料・歯質の物性・印象材・模型材(WebClass)	宇尾　基弘
4-7	4/1	12:50-16:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	D4 ガイダンス・実習(模型材と印象材)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈
8-10	4/3	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	合金の状態図・歯科用合金(WebClass)	宇尾　基弘
11-12	4/4	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	歯科用合金(続き)(WebClass)	宇尾　基弘
13	4/4	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	陶材・セラミックス(WebClass)	宇尾　基弘
14	4/5	15:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	陶材・セラミックス(続き)(WebClass)	宇尾　基弘
15	4/8	15:50-16:40	遠隔授業(非同期	歯科用レジン(WebClass)	宇尾　基弘

			型)		
16	4/9	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	歯科用レジン(続き)(WebClass)	宇尾 基弘
17-18	4/11	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	成形修復材料(WebClass)	宇尾 基弘
19-22	4/12	12:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	合着材・仮封材・暫間修復材・その他の歯科材料(WebClass)	宇尾 基弘
23	4/16	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	ユニット試験	宇尾 基弘, 和田 敬広, 宮安 杏奈

授業方法

WebClass 上での動画視聴および小テストへの回答を中心に講義を進める。
初回の講義で動画視聴、小テストの回答などについて説明する。

授業内容

1) 歯科材料・歯質の物性
2) 印象材・模型材
3) 合金の状態図
4) 歯科用合金
5) 陶材・セラミックス
6) 歯科用レジン
7) 成形修復材料
8) 合着材
9) 仮封材・暫間修復材・その他の歯科材料

成績評価の方法

ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。

成績評価の基準

歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法について十分な理解が得られていること。
具体的には、ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味した総合点で 6 割以上を取得すること。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては WebClass 上の注意事項をよく読んで視聴すること。。
実習に関しては WebClass 上の実習書の該当項目を読むと共に、関連する実習動画を視聴して当日の実習内容を理解しておくこと。また実習開始時の説明が非常に重要なので、実習開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

試験日までに、本ユニットの講義動画を全て視聴し、本ユニットの小テスト全てに回答していなければならない。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2023

参考書

歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編,:医歯薬出版, 2011

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021140			
科目名	歯科材料の成形技術と臨床		科目 ID	DD-451803-Z
担当教員	宇尾　基弘[UO MOTOHIRO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯科生体材料
ユニットコマ数:28(必要自習時間 6 時間)
授業形態:講義・実習(講義:15 コマ、実習:12 コマ、試験 1 コマ)
ユニット番号:03

主な講義場所

WebClass、基礎実習室、補綴実習室

授業の目的、概要等

歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途について、歯科医療や歯科技工に用いられる材料(高分子材料、セラミックス、金属材料、複合材料)と器械・器具の固有の性質、特性及び用途を理解する。

授業の到達目標

歯科医療機器(歯科材料・器械・危惧)の特性と用途について;
①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。
②材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。
③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/10	12:50-15:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(レジン　1)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈
4-6	4/15	09:00-11:50	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(レジン　2)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈
7-9	4/17	12:50-15:40		歯科用ワック　ス(WebClass)	宇尾　基弘
10-12	4/22	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	埋没材と精　密鋳造(WebClass)	宇尾　基弘
13-15	4/23	09:00-11:50		切削・研削・　研磨(WebClass)	宇尾　基弘
16-18	4/24	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	合金の接合(WebClass)	宇尾　基弘
19-21	4/26	12:50-15:40	歯学部基礎実習室, 歯学部基礎小実習室	実習(精密鋳　造 1)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈

22-24	4/30	12:50-15:40	補綴実習室	実習(精密鋳　造2)	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈
25-26	5/2	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	合金の熱処　理と腐食(WebClass)	宇尾　基弘
27-28	5/9	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	インプラント材料, 光と色(WebClass)	宇尾　基弘
29	5/10	11:00-11:50	歯学部基礎実習室	ユニット試験	宇尾　基弘, 和田　敬広, 宮安　杏奈

授業方法

WebClass 上での動画視聴および小テストへの回答を中心に講義を進める。
モジュール初回の講義で動画視聴、小テストの回答などについて説明する。

授業内容

1) 歯科用ワックス
2) 埋没材と精密鋳造
3) 切削・研削・研磨
4) 合金の熱処理と腐食
5) 合金の接合
6) インプラント材料
7) 光と色

成績評価の方法

ユニット試験成績に動画視聴状況、小テスト回答、レポートなどを加味して算出する。

成績評価の基準

歯科医療機器(歯科材料・器械・危惧)の特性と用途について十分な理解が得られていること。
具体的には、ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味した総合点で 6 割以上を取得すること。

準備学習等についての具体的な指示

講義に関しては WebClass 上の注意事項をよく読んで視聴すること。。
実習に関しては WebClass 上の実習書の該当項目を読むと共に、関連する実習動画を視聴して当日の実習内容を理解しておくこと。また実習開始時の説明が非常に重要なので、実習開始時間に遅れないこと。

試験の受験資格

試験日までに、本ユニットの講義動画を全て視聴し、本ユニットの小テスト全てに回答していなければならない。

教科書

スタンダード歯科理工学 第 7 版:学建書院, 2023

参考書

歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編,:医歯薬出版, 2011

備考

・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。

時間割番号	021141				
科目名	研究実習			科目ID	DD-461900-Z
担当教員	井関　祥子、小野　卓史、笛木　賢治、足立　礼孝				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:244(O)(必要自習時間 70 時間)
授業形態:講義・実習
モジュール番号:13　　ユニット番号:O1

授業の目的、概要等

医療の進歩に不可欠な医歯学研究を自主的に実践することで、問題解決の方法を習得するとともに科学的検証の重要性を理解し、歯学研究に貢献できる歯科医師としての技能と意識を涵養する。

授業の到達目標

1) 自ら関心を持つ問題について、配属先教員と相談し研究課題を設定することができる。
2) 研究課題を科学的研究として遂行するための計画を立て、自ら説明することができる。
3) 研究活動に必要な具体的な知識、技能、適切な態度を習得することができる。
4) 研究結果を科学的に検証して評価することができる。
5) 研究活動について報告書を作成し、発表することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/16	13:50-14:40	歯学部基礎実習室		
2	4/16	14:50-15:40	歯学部基礎実習室		
3	4/16	15:50-16:40	歯学部基礎実習室		
4	5/1	09:00-09:50	歯学部基礎実習室		
5	5/1	10:00-10:50	歯学部基礎実習室		
6	5/1	11:00-11:50	歯学部基礎実習室		
7	5/10	09:00-09:50	歯学部基礎実習室		
8	5/10	10:00-10:50	歯学部基礎実習室		
9	5/24	09:00-09:50	歯学部基礎実習室		
10	5/24	10:00-10:50	歯学部基礎実習室		
11	5/24	11:00-11:50	歯学部基礎実習室		井関　祥子
	6/3 - 7/31	9:00- 通常 9:00-15:40	配属先	6 月 3 日～7 月 31 日(6 月 6、13 日は、学年混合選択セミナーのため 5 コマ、それ以外は 1 日 6 コ	配属先教員

				マとする)	
	8/1 － 8/23	夏季休暇	配属先	夏期休暇中への延長は、学生が希望し、配属先が承諾した場合のみ	配属先教員
12	10/4	09:00-09:50	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
13	10/4	10:00-10:50	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
14	10/4	11:00-11:50	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
15	10/4	12:50-13:40	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
16	10/4	13:50-14:40	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
17	10/4	14:50-15:40	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)/懇親会	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
18	12/6	13:50-14:40	特別講堂	研究実習発表会(口頭発表)	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
19	12/6	14:50-15:40	特別講堂	研究実習発表会(口頭発表)	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史
20	12/6	15:50-16:40	特別講堂	研究実習発表会(口頭発表)	井関 祥子, 笛木 賢治, 小野 卓史

成績評価の方法

・学生は自ら活動記録を付け、活動記録を定期的に配属先教員に提出し、形成的評価を受ける。
・学生は、研究実習発表会(全員必須)において研究活動を発表し、形成的評価を受ける。
・モジュール終了時には、配属先教員による評価シート、研究活動報告書の評価を合わせ、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

・配属先教員と相談すること

試験の受験資格

・全授業時間数の講義2／3出席、実習期間3／4以上活動。
・活動(出席)状況は、配属先教員が記録する。

構成ユニット

01 研究実習

モジュールの単位判定

本モジュールの単位を取得するためには、01ユニットに合格していなければならない。なお、モジュールの合格および単位判定に際しては、出席日数、研究活動報告書内容、研究成果発表及び配属先教員による学習態度の評価シートを判断材料とする。また、複数学年にまたがるモジュールであり、歯学科カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

・講義時間数の2／3以上出席(ただし、配属先の実習の内容によっては、欠席するとその実習ができなくなる講義がある)　・全実習時間数の3／4以上活動(活動状況は配属先教員が記録する)　・10 月 4 日の発表会への出席、発表、審査・研究活動報告書の提出　・12 月(予定)の口腔病学会への参加　以上の要件を満たした学生をユニット合格とし、これらの内容によって成績判定が行われる。

備考

＜備考＞:詳細については、講義の中で説明する。

コース設定:

Aコース:大学内研究室(医／歯／難治研／生材研他)へ配属するコース

Bコース:学外研究機関へ配属するコース

B コースについては、基本的には希望者自身で先方との交渉一切を行う。また、関連する交通費、滞在費、保険料(保険に加入することが義務づけられるため)などは個人で負担すること。

Bコース海外派遣については、英語能力に一定のレベルを持っていることが前提条件となる。

A, Bコースとも原則は 1 分野(研究室)1 人だが、場合によっては複数人の一分野への配属もあり得る。

実習期間について:

8 月 1 日～8 月 23 日までの夏季休暇における実習の延長については、学生本人が希望した上で、配属先分野が了承した場合のみ可とする。

学生発表会事前抄録について:

9 月 2 日(月)17:00 までに、PDF 形式で、メールに添付し歯学教務係まで提出すること。期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。(件名とファイル名いずれも『事前抄録 2024(事務処理番号／氏名)』とすること。) Times New Roman12 ポイントにて、目的、研究方法、結果、考察について、A4 サイズ 1 ページに収めること。図表の使用も可だが、白黒印刷される点に注意すること。

学生発表会(発表方法)について:

10 月 4 日(金)に学生全員がポスター発表と質疑応答を行い、教員による審査を受ける。ポスター作成様式については、講義中に説明する。この際の優秀発表者が 12 月開催予定の口腔病学会にて口演発表を行う。

研究活動報告書について:

10 月 31 日(木)17:00 までに、PDF 形式で、メールに添付し教務掛まで提出すること。(件名およびファイル名ともに『研究活動報告書 2021(事務処理番号／氏名)』とすること。) 期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。

① タイトルページに、タイトル、配属先分野、配属先分野分野長、配属先分野指導担当教員、学籍番号および氏名を明記する。

② 要旨、背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献、図表、展望、感想の項目を設け、A4 でタイトルページを除き 8 ページ以内に収めること。

③ 研究実習報告書チェックリストを添付すること。

④ 報告書の体裁をなしていないものは再提出となる(パワーポイントファイルの集合体、エクセルデータの直接貼り付けなど)。

研究活動報告書作成の際には配属先教員と充分に議論すること。

その他:

実習期間中は、連絡事項は e-learning 学習管理システムに掲示されるので、随時、学生各人が確認すること。

研究室配属が基本となるので、通常の講義、実習とは異なり、仕事場の一員となることを強く自覚し、社会人としてふさわしい行動をとること。

研究実習は、配属先研究室で「教えてもらう」時間ではなく、「学ぶ」時間を得ていることを、きちんと認識し、能動的に実習を行うこと。

実習期間中、相談等がある場合は、下記、オフィスアワーに研究室を訪問(要事前連絡)するか、e-mail を用いて早めに連絡をとること。

連絡先

井関　祥子: s.iseki.emb@tmd.ac.jp

笛木　賢治: kunfu.rpro@tmd.ac.jp

小野　卓史: t.ono.orts@tmd.ac.jp

足立　礼孝 n.adachi.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

井関　祥子：随時（必ず事前に面談の日程を調整すること）　M&D タワー6 階 N-605

笛木　賢治：月・水・金　17:00-18:00（メールにて面談の日程を調整すること）　歯科棟北 11 階咬合機能健康科学分野第1研究室

小野　卓史：月・火・木　17:00-18:00（メールにて面談の日程を調整すること）　歯科棟南 12 階　教授室

参照ホームページ

・ 日本学術会議　HP：http://www.scj.go.jp/index.html

・ 日本学術会議　科学者の行動規範について
　HP：http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf

・ 日本学術振興会　HP：http://www.jsps.go.jp/

時間割番号	021142				
科目名	歯と根尖歯周組織の疾患			科目 ID	DD-452000-Z
担当教員	興地　隆史, 島田　康史[OKIJI TAKASHI, SHIMADA Yasushi]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4	単位数	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態:講義、実習
モジュール総コマ数:171＋8
モジュール番号:20

主な講義場所

講義:遠隔授業(同期型または非同期型)
実習:保存矯正実習室

授業の目的、概要等

歯と根尖歯周組織に生ずる疾患の病因・病態を理解し、その予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。

成績評価の方法

・各ユニットで指定された日時に試験を実施し、総括的評価を行う。
・出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・各ユニットで指定された教科書、参考書、資料などを用いて予習を行う。
・Web 教材での準備学習が指示された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・ユニット03、05、08では全授業時間数のうち4分の3以上、その他のユニットでは全授業時間数のうち3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 歯の硬組織疾患とその対応 概論
02 歯の硬組織疾患
03 保存修復治療の基礎
04 保存修復治療の最新の臨床
05 保存修復治療の展開
06 歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する
07 歯内治療の展開
08 歯内治療実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

備考

モジュール責任者
興地隆史(歯髄生物学分野)t.okiji.endo@tmd.ac.jp

時間割番号	021143			
科目名	歯の硬組織疾患とその対応　概論		科目 ID	DD-452001-L
担当教員	島田康史			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
ユニット名:歯の硬組織疾患とその対応　概論
コマ数:6+0(第 2　ユニットで実施)
必要自習時間:2 時間
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

歯の硬組織疾患とその治療の概要を理解し、臨床に必要な基礎知識を身につける。

授業の到達目標

1）保存修復治療の概要を説明できる。
2）歯内治療の概要を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/12	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	「講義」保存修復学概論	保存修復学概論に関する講義	島田　康史	ミーティング ID: パスコード:
2-3	4/12	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」歯内療法学概論	歯内療法学概論に関する講義	興地　隆史	ミーティング ID: パスコード:
4-6	4/19	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」う蝕の処置と窩洞	う蝕の処置と窩洞と窩洞に関する講義	島田　康史	ミーティング ID: パスコード:

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

以下に目を通しておくこと
・保存修復学21(P1-20)、永末書店
　第 1 章　概論

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学21　第六版／田上　順次　監修,奈良　陽一郎　監修,山本　一世　監修,斎藤　隆史　監修,亀山　敦史　編集,北村　知昭　編集,齋藤　正寛　編集,佐野　英彦　編集,島田　康史　編集,新海　航一　編集,二階堂　徹　編集,西谷　佳浩　編集,野杁　由一郎　編集,野田　守　編集,林　美加子　編集,平山　聡司　編集,冨士谷　盛興　編集,古澤　成博　編集,保坂　啓一　編集,前田　英史　編集,真鍋　厚史　編集,村松　敬　編集,山田　嘉重　編

集,山本 雄嗣 編集,横瀬 敏志 編集,吉山 昌宏 編集,米田 雅裕 編集,田上 順次:永末書店, 2022-02-18

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,:医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰ほか編,千田, 彰,宮崎, 真至,林, 美加子,向井, 義晴,斎藤, 隆史,:医歯薬出版, 2019

う蝕治療ガイドライン／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2015

／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,田上, 順次, 1955-,花田, 信弘, 1953-,桃井, 保子, 1951-,:永末書店, 2008

Sturdevant's art and science of operative dentistry／Ritter, André V.,Boushell, Lee W.,Walter, Ricardo,Sturdevant, Clifford M.,:Elsevier, 2019

Summitt's Fundamentals of Operative Dentistry 4th edition:Quintessence, 2013

歯界展望 別冊 コンポジットレジンによる最新 MI 修復 東京医科歯科大学田上教室の研究と臨床／田上 順次 (著, 編集):医歯薬出版, 2019

Dental Caries The disease and its clinical management:2015, Wiley Blackwell

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015

う蝕治療ガイドライン／日本歯科保存学会 編,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,:永末書店, 2008

失敗しない歯髄保存療法 : 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著,:クインテッセンス出版, 2006

バイオロジーに基づいた実践歯内療法学／Gunnar Bergenholtz, Preben Horsted-Bindslev, Claes Reit 編著,須田英明 総監訳,赤峰昭文, 興地隆史, 恵比須繁之, 林善彦 監訳,:クインテッセンス出版, 2007

・Art and science of operative dentistry, Mosby.

・Pathway of the Pulp 8th ed, Mosby

・Seltzer and Bender' s The Dental Pulp, 2nd ed, Quintessence

・Essential Endodontology, 2 nd ed, Blackwell Publishing

備考

ユニット授業においては、AL(形成的小テスト)を行う

島田康史 shimada.ope@tmd.ac.jp

畑山貴志 060371ds@gmail.com

時間割番号	021144			
科目名	歯の硬組織疾患		科目 ID	DD-452002-L
担当教員	畑山　貴志[HATAYAMA Takashi]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
ユニット名:歯の硬組織疾患
コマ数:18+3
必要自習:10 時間
授業形態:講義
ユニット番号:02

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

歯の常態を理解し、う蝕ならびにその他の歯質欠損の病態と治療の進め方を理解する。
歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義と方法を理解する。
修復材料の特性、成分及び構造を把握し、適切な材料の選択ならびに取り扱い方を理解する。

授業の到達目標

1）歯の硬組織の構造と機能を説明できる。
2）う蝕の病因と病態を説明できる。
3）う蝕の症状・診断・治療法を説明できる。
4）歯冠欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。
5）窩洞の意義と窩洞形成の方法を説明できる。
6）切削・研磨用材料と使用機器の特徴と使い方を説明できる。
7）歯冠修復に用いる材料の構造と物性を理解する。
8）歯冠修復法の種類と特徴及びその適応を説明できる。
9）接着性修復材料をもちいた修復の概要と特性を説明できる。
10）修復に必要な前処理の目的と意義を説明できる。
11）歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。
12）う蝕の予防法を理解し、う蝕リスクの診断法を説明できる。
13）間接法修復の進め方と使用する材料の種類と性質を説明できる。
14）仮封ならびに暫間装置の意義、種類及び特徴を説明できる。
15）歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。
16）歯科用レーザーの保存修復治療への応用法の術式と特徴を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/17	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	「講義」歯の正常と異常	歯の正常と異常に関する講義	大槻　昌幸	ミーティング ID: パスコード:
2-3	4/17	10:00-11:50	遠隔授業（同期型）	「講義」う蝕の診断と修復治療の準備	う蝕の診断と修復治療の準備に関する講義	島田　康史	ミーティング ID: パスコード:
4-5	4/25	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	「講義」接着のメカニズム	接着のメカニズムに関する講義	島田　康史	ミーティング ID:

							パスコード:
6-7	5/24	12:50-14:40	保存矯正実習室	中間筆記試験	中間筆記試験	畑山　貴志	集合時間:12:50 場所:7 号館 5 階保存実習室　持ち物:筆記用具、学生証 試験形式:選択式＋記述式　試験時間:13:00－13:50(予定)
8	8/26	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	「講義」コンポジットレジン材料学	コンポジットレジン材料学に関する講義	稲井　紀通,畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
9	8/26	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	「講義」コンポジットレジン:臨床	コンポジットレジン:臨床に関する講義	佐藤　隆明	ミーティング ID: パスコード:
10	8/26	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」歯髄保護、仮封	歯髄保護、仮封に関する講義	佐藤　隆明	ミーティング ID: パスコード:
11	8/28	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	「講義」間接法修復	間接法修復に関する講義	二階堂　徹,畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
12	8/28	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	「講義」インレー修復	インレー修復に関する講義	島田　康史	ミーティング ID: パスコード:
13	8/28	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」歯以外への接着、セメント	歯以外への接着、セメントに関する講義	高橋　礼奈	ミーティング ID: パスワード:
14	8/29	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	「講義」デジタルデンティストリー	デジタルを活用した歯科治療に関する講義	畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
15	8/29	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	「講義」直接法修復における DX	デジタルを活用した保存修復治療に関する講義	保坂　啓一,畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
16	8/29	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」う蝕治療ガイドライン	う蝕治療ガイドラインに関する講義	高橋　礼奈	ミーティング ID: パスコード:
17	9/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	「講義」病院における歯科治療と医科歯科連携	虎ノ門病院における歯科治療と医科歯科連携についての講義	杉崎　順平,畑山　貴志	ミーティング ID:

							パスコード:
18	9/3	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	「講義」象牙質知覚過敏症	象牙質知覚過敏症に関する講義	畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
19	9/3	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	「講義」Tooth Wear	Tooth Wear に関する講義	北迫　勇一, 畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:

成績評価の方法

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

保存修復学 21　第六版

第 2 章　齲蝕

第 3 章　齲蝕以外の硬組織疾患「5.象牙質知覚過敏症(dentin hypersensitivity)」

第 11 章　コンポジットレジンインレー修復

第 12 章　セラミックインレー修復

第 13 章　メタルインレー修復

第 14 章　合着・接着

第 17 章　補修修復

を事前に学習しておくこと

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学21　第六版／田上　順次 監修,奈良　陽一郎 監修,山本　一世 監修,斎藤　隆史 監修,亀山　敦史 編集,北村　知昭 編集,齋藤　正寛 編集,佐野　英彦 編集,島田　康史 編集,新海　航一 編集,二階堂　徹 編集,西谷　佳浩 編集,野杁　由一郎 編集,野田　守 編集,林　美加子 編集,平山　聡司 編集,冨士谷　盛興 編集,古澤　成博 編集,保坂　啓一 編集,前田　英史 編集,真鍋　厚史 編集,村松　敬 編集,山田　嘉重 編集,山本　雄嗣 編集,横瀬　敏志 編集,吉山　昌宏 編集,米田　雅裕 編集,田上　順次:永末書店, 2022-02-18

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,:医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰ほか編,千田, 彰,宮崎, 真至,林, 美加子,向井, 義晴,斎藤, 隆史,:医歯薬出版, 2019

う蝕治療ガイドライン　第二版／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,田上, 順次, 1955-,花田, 信弘, 1953-,桃井, 保子, 1951-,:永末書店, 2008

Sturdevant's art and science of operative dentistry／Ritter, André V.,Boushell, Lee W.,Walter, Ricardo,Sturdevant, Clifford M.,:Elsevier, 2019

Dental Caries The disease and its clinical management 3rd edition:Wiley Blackwell, 2015

歯界展望　別冊　コンポジットレジンによる最新　MI　修復　東京医科歯科大学田上教室の研究と臨床／田上　順次 (著, 編集):医歯薬出版, 2019

根面う蝕のガイドライン-非切削でのマネジメント-／特定非営利活動法人　日本歯科保存学会:永末書店, 2022

Summitt's Fundamentals of Operative Dentistry 4th edition:Quintessence, 2013

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015

・う蝕学、永末書店

・う蝕治療ガイドライン、日本歯科保存学会編、永末書店

・Art and science of operative dentistry, Mosby.

備考

ユニット授業においては、AL（Q＆A、ディスカッションなど）を行う。

島田康史　shimada.ope@tmd.ac.jp
畑山貴志　060371ds@gmail.com

時間割番号	021145			
科目名	保存修復治療の基礎		科目 ID	DD-452003-E
担当教員	畑山　貴志[HATAYAMA Takashi]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
ユニット名:保存修復治療の基礎 33 コマ
必要自習時間:10 時間
授業形態:実習
ユニット番号:O3

主な講義場所

7 号館 5 階実習室

授業の目的、概要等

う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。
う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。

授業の到達目標

1）診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。
2）切削・研磨用材料と機器を使用できる。
3）う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。
4）歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。
5）直接法接着修復の基本操作を行うことができる。
6）修復に必要な前処理の基本的操作ができる。
7）間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/3	13:50-16:40	保存矯正実習室	「実習」診療器材の取扱い・抜去歯の観察	実習器材の貸与と準備・抜去歯の観察、実習に必要な抜去歯の確認	畑山　貴志, 中元　絢子, 中根　晶, 高田　恒彦	実習
4-6	4/15	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」抜去歯の観察・う蝕の除去	実習に必要な抜去歯の確認、抜去歯にてう蝕の除去	畑山　貴志, 中元　絢子, 馬場　雄大, 中根　晶, 永野　大樹	実習
7-9	4/22	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」1 級窩洞	1 級窩洞の CR 修復	畑山　貴志, 盧山　晨, 長谷川　真夕	実習　F-3-3）歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルイン

							レー修復、補修修復)を実施できる。
10-12	5/7	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」5 級窩洞の CR 修復、WSD の CR 修復	5 級窩洞の CR 修復、WSD の CR 修復(模型歯)	畑山 貴志, 片平 信弘, 品川 淳一, 久野 裕介, 内沼 茂樹	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
13-15	5/8	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」3 級窩洞/4 級窩洞	3 級窩洞の CR 修復、4 級窩洞の CR 修復(模型歯)	畑山 貴志, 関 由一, 西村 美穂, 内沼 茂樹, 長谷川 真夕, 馬場 雄大	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
16-18	5/8	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」2 級窩洞	2 級窩洞の CR 修復(模型歯)	畑山 貴志, 西村 美穂, 内沼 茂樹, 長谷川 真夕, 馬場 雄大	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
19-21	5/13	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」レジンインレー形成とレジンコーティング	レジンインレー形成とレジンコーティング法の習得(模型歯)	畑山 貴志, 中沖 靖子, 堀口 尚司, 桐原 大, 永野 大樹, 盧山 晨	実習
22-24	5/16	09:00-11:50	補綴実習室, 保存	「実習」印象採得・模型作製	インレー形成した模型歯の印象採得を行い、石膏模型を作製する	畑山 貴志, 荒岡 大輔,	実習

			矯正実習室			荒牧 音, 石川 芽生, 西村 美穂, 津田 優香	
25-27	5/17	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」インレー作製(デモ)と装着	インレー作製(デモ)、インレー体を模型歯に合着用セメントを用いて装着する	池田 正臣, 畑山 貴志, 桐原 大, 吉峰 斉昭, 浦部 功, 佐藤 健人, 大林 翔	実習
28-30	5/17	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」インレー除去とCR修復	インレー除去とCR修復	畑山 貴志, 桐原 大, 吉峰 斉昭, 佐藤 健人, 中田 琢也	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
31-33	5/20	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」GIC充填とHYS処理	5級窩洞のグラスアイオノマーセメント充填と歯頸部HYS処置(模型歯)	畑山 貴志, 中沖 靖子, 堀口 尚司, 永野 大樹, 高橋 基	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。

成績評価の方法

・適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

実習における製作物の提出、インストラクターによる評価等により総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

アップロードしてある実習項目の動画を事前に視聴し, Webclassを用いてアクティブラーニングを行うこと.

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学21 第六版／田上 順次 監修,奈良 陽一郎 監修,山本 一世 監修,斎藤 隆史 監修,亀山 敦史 編集,北村 知昭 編集,齋藤 正

寛 編集,佐野 英彦 編集,島田 康史 編集,新海 航一 編集,二階堂 徹 編集,西谷 佳浩 編集,野杁 由一郎 編集,野田 守 編集,林 美加子 編集,平山 聡司 編集,冨士谷 盛興 編集,古澤 成博 編集,保坂 啓一 編集,前田 英史 編集,真鍋 厚史 編集,村松 敬 編集,山田 嘉重 編集,山本 雄嗣 編集,横瀬 敏志 編集,吉山 昌宏 編集,米田 雅裕 編集,田上 順次:永末書店, 2022-02-18

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,:医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰ほか編,千田, 彰,宮崎, 真至,林, 美加子,向井, 義晴,斎藤, 隆史,:医歯薬出版, 2019

う蝕治療ガイドライン／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,田上, 順次, 1955-,花田, 信弘, 1953-,桃井, 保子, 1951-,:永末書店, 2008

Sturdevant's art and science of operative dentistry／Ritter, André V.,Boushell, Lee W.,Walter, Ricardo,Sturdevant, Clifford M.,:Elsevier, 2019

コンポジットレジン修復の効率 UP : 短い時間で・無駄なく・ミスなく審美性を獲得!／宮崎真至 編著,秋本尚武, 保坂啓一 著,宮崎, 真至,秋本, 尚武, 1961-,保坂, 啓一,:医歯薬出版, 2020

歯界展望 別冊 コンポジットレジンによる最新 MI 修復 東京医科歯科大学田上教室の研究と臨床／田上 順次 (著, 編集):医歯薬出版

・Sturdevant's Art and Science of Operative Dentistry

備考

ユニット授業においては、AL（Q&A、ピア・ティーチングなど）を行う。

連絡先（メールアドレス）

畑山 貴志:060371ds@gmail.com

時間割番号	021146			
科目名	保存修復治療の最新の臨床		科目 ID	DD-452004-L
担当教員	畑山　貴志[HATAYAMA Takashi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
ユニット名:保存修復治療の最新の臨床
コマ数:15＋3
必要自習時間:3 時間
授業形態:講義
ユニット番号:04

主な講義場所

遠隔授業

授業の目的、概要等

審美的な歯科治療に関する知識を習得し、その治療方法を理解する。
歯質保存的な歯冠修復の意義を理解する。

授業の到達目標

1）審美的な歯科治療の意義を説明できる。
2）審美的な歯科治療法を列挙し、その基本的な術式と特徴を説明できる。
3）MIの意義を説明できる。
4）修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。
5）歯科修復物への接着／補修方法を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/5	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	「講義」歯のホワイトニングとその他の色調回復法	歯のホワイトニングとその他の色調回復法に関する講義	大槻　昌幸	ミーティング ID: パスコード:
3	9/5	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	「講義」MI 審美修復	MI 審美修復に関する講義	岸川　隆蔵, 畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
4	9/5	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	「講義」補修修復・メインテナンス	補修修復・メインテナンスに関する講義	井上　剛	ミーティング ID: パスコード:
5	9/5	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	「講義」セメント・アマルガム修復	セメント・アマルガム修復についての講義	井上　剛	ミーティング ID: パスコード:
6	9/5	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	「講義」レーザー	レーザーに関する講義	中根　晶, 畑山　貴志	ミーティング ID: パスコード:
7	9/6	12:50-13:40	遠隔授業	「講義」無髄歯の修復	無髄歯の修復に関する講義	佐藤　隆明	ミーティング ID:

			(同期型)				パスコード:
8-9	9/6	13:50-15:40	歯学科第3講義室	「講義」歯の治療学:研究・臨床・専門医	歯の治療学:研究・臨床・専門医に関する講義	北村 知昭, 畑山 貴志	対面授業
10-11	9/12	12:50-14:40	歯学科第3講義室	「講義」AI時代の保存治療最前線	AI時代の保存治療最前線 に関する講義	野杁 由一郎, 畑山 貴志	対面授業
12	9/12	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	「講義」CRの適応拡大と新概念	CR修復の適応拡大と新概念に関する講義	田代 浩史, 畑山 貴志	ミーティングID: パスコード:
13-14	9/26	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	「講義」う蝕のマネジメントと機能的歯科材料	う蝕のマネジメントと機能的歯科材料に関する講義	平石 典子	ミーティングID: パスコード:
15	9/26	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	「講義」ラミネートベニア修復	ラミネートベニア修復に関する講義	高橋 真広, 畑山 貴志	ミーティングID: パスコード:
16-18	10/10	09:00-11:50	保存矯正実習室	試験	試験	畑山 貴志	Webclassを用いた試験 7号館5階保存実習室に9時集合

成績評価の方法

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

保存修復学21 第六版

第5章 診療設備・器材「5.レーザー(laser)」

第9章 グラスアイオノマーセメント修復

第10章 アマルガム修復

第16章 歯の漂白

を事前に学習しておくこと

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学21 第六版／田上 順次 監修,奈良 陽一郎 監修,山本 一世 監修,斎藤 隆史 監修,亀山 敦史 編集,北村 知昭 編集,齋藤 正寛 編集,佐野 英彦 編集,島田 康史 編集,新海 航一 編集,二階堂 徹 編集,西谷 佳浩 編集,野杁 由一郎 編集,野田 守 編集,林 美加子 編集,平山 聡司 編集,冨士谷 盛興 編集,古澤 成博 編集,保坂 啓一 編集,前田 英史 編集,真鍋 厚史 編集,村松 敬 編集,山田 嘉重 編集,山本 雄嗣 編集,横瀬 敏志 編集,吉山 昌宏 編集,米田 雅裕 編集,田上 順次:永末書店, 2022-02-18

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,:医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰ほか編,千田, 彰,宮崎, 真至,林, 美加子,向井, 義晴,斎藤, 隆史,:医歯薬出版, 2019

う蝕治療ガイドライン 第二版／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,田上, 順次, 1955-,花田, 信弘, 1953-,桃井, 保子, 1951-,:永末書店, 2008

Sturdevant's art and science of operative dentistry／Ritter, André V.,Boushell, Lee W.,Walter, Ricardo,Sturdevant, Clifford M.,:Elsevier, 2019

コンポジットレジン修復の効率 UP : 短い時間で・無駄なく・ミスなく審美性を獲得!／宮崎真至 編著,秋本尚武, 保坂啓一 著,宮崎, 真至,秋本, 尚武, 1961-,保坂, 啓一,:医歯薬出版, 2020

歯界展望 別冊 コンポジットレジンによる最新 MI 修復 東京医科歯科大学田上教室の研究と臨床／田上 順次 (著, 編集):医歯薬出版, 2019
根面う蝕のガイドライン-非切削でのマネジメント-／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2022
コンポジットレジン修復の発想転換／田代浩史 著,:医歯薬出版, 2015
接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,:医歯薬出版, 2015
・Art and science of operative dentistry, Mosby.

備考

ユニット授業においては、AL(Q&A など)を行う。

島田康史 shimada.ope@tmd.ac.jp
畑山貴志 060371ds@gmail.com

時間割番号	021147			
科目名	保存修復治療の展開		科目 ID	DD-452005-E
担当教員	畑山　貴志[HATAYAMA Takashi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
ユニット名:保存修復治療の基礎　33コマ
必要自習時間:10 時間
授業形態:実習
ユニット番号:O3

主な講義場所

7 号館 5 階保存修復実習室

授業の目的、概要等

う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。
う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。

授業の到達目標

1）診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。
2）切削・研磨用材料と機器を使用できる。
3）う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。
4）歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。
5）直接法接着修復の基本操作を行うことができる。
6）修復に必要な前処理の基本的操作ができる。
7）間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	5/21	09:00-11:50	補綴実習室, 保存矯正実習室	「実習」3 級窩洞/4 級窩洞/シリコンガイド使用	シリコンガイドを使用した 3 級窩洞、4 級窩洞に対する CR 修復(模型歯)	畑山　貴志, 岩本　奈々子, 濱田　具之, 伊藤　志麻, 久野　裕介	実習　F-3-3）歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
4-6	5/21	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」2 級窩洞/トッフルマイヤー使用	2 級窩洞に対するトッフルマイヤーを使用した CR 修復(模型歯)	畑山　貴志, 岩本　奈々子, 濱田　具之, 伊藤　志麻, 久野　裕介	実習　F-3-3）歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポ

							ジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
7-9	5/23	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」咬頭含むアンレー窩洞 CR 充填	シリコンガイド用いた咬頭を含む大型のアンレー窩洞に対する CR 充填(模型歯)	畑山　貴志, 荒牧　音, 浦部　功, 関　由一, 高橋　真広	実習　F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
10-11	5/23	12:50-14:40	保存矯正実習室	「実習」作品提出	(AL)	畑山　貴志	実習
12-14	9/20	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」上顎大臼歯頬側面に対する CR 充填	上顎大臼歯頬側面に広がるう蝕に対する CR 充填(模型歯)	畑山　貴志, 石川　芽生, 吉峰　斉昭, 荒岡　大輔, 高橋　基	実習　F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
15-17	9/20	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」破折歯/根充後の CR 充填	根充後の CR 修復(抜去歯)、破折歯の CR 修復(模型歯)	畑山　貴志, 日下　輝雄, 石川　芽生, 荒岡　大輔, 高橋　基	実習　F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療　①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ　メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
18-20	9/25	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」1 級窩洞/2 級窩洞/ラバーダム設置	ラバーダム防湿を行なった上での 1 級、2 級窩洞に対する CR 修復	畑山　貴志, 東　高士, 片	実習　F-3-3) 歯と歯周組織の疾

					(模型歯)	平 信弘, 関 由一, 佐藤 健人	患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
21-23	9/27	12:50-15:40	保存矯正実習室	「実習」ベニア CR 修復と補修	ベニア CR 修復、補修修復(模型歯)	畑山 貴志, 片平 信弘, 品川 淳一, 中田 琢也, 大林 翔	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
24-26	10/8	09:00-11:50	保存矯正実習室	「実習」下顎前歯隣接面 CR 修復(実習)と前装冠修理(デモ)	下顎前歯隣接面 CR 修復に対する CR 修復と, 前装冠の破折に対する CR 修復(デモ)	畑山 貴志, 品川 淳一, 岩本 奈々子, 伊藤 志麻, 津田 優香	実習 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセ メント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
27-28	10/8	12:50-14:40	保存矯正実習室	「実習」作品提出	(AL)	畑山 貴志	実習
29-30	10/10	12:50-14:40	保存矯正実習室	「実習」実習試験		畑山 貴志	実習

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

実習における製作物提出、インストラクターによる評価等により総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

アップロードしてある実習項目の動画を事前に視聴し, Webclass を用いてアクティブラーニングを行うこと.

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

保存修復学21 第六版／田上 順次 監修,奈良 陽一郎 監修,山本 一世 監修,斎藤 隆史 監修,亀山 敦史 編集,北村 知昭 編集,齋藤 正寛 編集,佐野 英彦 編集,島田 康史 編集,新海 航一 編集,二階堂 徹 編集,西谷 佳浩 編集,野杁 由一郎 編集,野田 守 編集,林 美加子 編集,平山 聡司 編集,冨士谷 盛興 編集,古澤 成博 編集,保坂 啓一 編集,前田 英史 編集,真鍋 厚史 編集,村松 敬 編集,山田 嘉重 編集,山本 雄嗣 編集,横瀬 敏志 編集,吉山 昌宏 編集,米田 雅裕 編集,田上 順次:永末書店, 2022-02-18

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,:医歯薬出版, 2015

保存修復学／千田彰ほか編,千田, 彰,宮崎, 真至,林, 美加子,向井, 義晴,斎藤, 隆史,:医歯薬出版, 2019

う蝕治療ガイドライン／日本歯科保存学会編,日本歯科保存学会,:永末書店, 2015

う蝕学 : チェアサイドの予防と回復のプログラム／田上順次, 花田信弘, 桃井保子 編,田上, 順次, 1955-,花田, 信弘, 1953-,桃井, 保子, 1951-,:永末書店, 2008

Sturdevant's art and science of operative dentistry／Ritter, André V.,Boushell, Lee W.,Walter, Ricardo,Sturdevant, Clifford M.,:Elsevier, 2019

コンポジットレジン修復の効率 UP : 短い時間で・無駄なく・ミスなく審美性を獲得!／宮崎真至 編著,秋本尚武, 保坂啓一 著,宮崎, 真至,秋本, 尚武, 1961-,保坂, 啓一,:医歯薬出版, 2020

歯界展望 別冊 コンポジットレジンによる最新 MI 修復 東京医科歯科大学田上教室の研究と臨床／田上 順次 (著, 編集):医歯薬出版, 2019

・Sturdevant's Art and Science of Operative Dentistry

備考

ユニット授業においては、AL(Q&A、ピア・ティーチングなど)を行う。

連絡先(メールアドレス)

畑山 貴志:060371ds@gmail.com

時間割番号	021148			
科目名	歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する		科目 ID	DD-452006-L
担当教員	興地　隆史[OKIJI TAKASHI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
コマ数:9＋1
必要自習時間:各回1時間以上
授業形態:講義(遠隔授業)
ユニット番号:06

主な講義場所

遠隔授業(同期型もしくは非同期型)

授業の目的、概要等

歯髄疾患と根尖性歯周疾患に適切に対処するために、これらの疾患の診断と治療の進め方に関する基礎的知識を修得する。

授業の到達目標

1)歯内治療の目的、対象疾患と治療の流れを概説できる。
2)歯髄疾患の病因と病態を説明できる。
3)根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
4)根管の機械的拡大・形成の目的と方法を説明できる。
5)根管の化学的清掃と消毒の目的と方法を説明できる。
6)根管充填の目的、時期および方法を説明できる。
7)歯髄疾患と根尖性歯周疾患の診断法を説明できる。
8)歯髄保存療法の分類、適応症および術式を説明できる。
9)歯髄除去療法の分類、適応症および術式を説明できる。
10)感染根管治療およびその補助療法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/19	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因・病態と治療概論	講義:歯髄疾患概論, 根尖性歯周疾患概論	興地　隆史	到達目標 1-3 Zoom
2	9/19	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	根管の処置 1　根管の拡大形成	講義:根管形成器具, 根管長測定法, 根管形成法	興地　隆史	到達目標 4 WebClass
3	9/19	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	根管の処置 2　根管清掃・消毒	講義:根管洗浄, 根管貼薬, 仮封	興地　隆史	到達目標 5 WebClass
4	9/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	根管充填	講義:根管充填材, 根管充填法	興地　隆史	到達目標 6 Zoom
5	9/24	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断	講義:診査・検査法, 診断の流れ	興地　隆史	到達目標 7 WebClass
6	9/30	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	歯髄除去療法	講義:抜髄法	興地　隆史	到達目標 9 Zoom
7	9/30	10:00-10:50	遠隔授業(非同期	歯髄保存療法	講義:覆髄法, 生活断髄法	興地　隆史	到達目標 8 WebClass

			型)				
8	10/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	感染根管の治療法	講義:感染根管治療, その他の治療法	興地 隆史	到達目標 10 Zoom
9	10/3	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	演習 ケーススタディー	アクティブラーニング(課題学習)	興地 隆史	到達目標 1-10 WebClass
10	10/9	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	筆記試験	筆記試験	興地 隆史	到達目標 1-10

成績評価の方法

・2024 年 10 月 9 日に、筆記試験を行う。
・提出レポート内容、小テスト等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・講義資料、Web 教材および指定された参考書を用いて予習・復習を行う。
・課題や Web 教材の予習が課された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・各回の授業とも, 課されたレポートの提出により出席と判定する.
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

エンドドンティクス 第 6 版／興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子 編集主幹:永末書店, 2022
歯内治療学 第 5 版／勝海一郎, 興地隆史、石井信之、中田和彦 編,:医歯薬出版, 2018

履修上の注意事項

・遠隔授業では、指示に従いレポートを提出する。

備考

・AL(ケーススタディー)では、指示に従いプロダクトを作成する。

時間割番号	021150				
科目名	歯内治療の展開			科目 ID	DD-452008-L
担当教員	興地隆史				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
コマ数:12+1
必要自習時間:各回1時間以上
授業形態:講義, グループ演習(遠隔授業)
ユニット番号:08

主な講義場所

遠隔授業(同期型もしくは非同期型)

授業の目的、概要等

さまざまな歯内治療の症例に適切に対処するために、患者や患歯の状態に応じた治療の進め方を理解する。

授業の到達目標

1)再根管治療の適応症と術式を説明できる。
2)外科的歯内治療を列挙し、適応症および術式を説明できる。
3)歯内治療時の偶発症について、種類、処置及び予防を説明できる。
4)歯内治療における緊急処置の種類と方法を説明できる。
5)歯の外傷を分類し、診断と治療における歯内治療との関連を概説できる。
6)歯根吸収を分類し、診断と治療における歯内治療との関連を概説できる。
7)根未完成歯における歯内治療の適応症と術式を説明できる。
8)歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を説明できる。
9)歯内治療に関する知識を総合的に結びつけ、診査、診断、治療法を説明できる。
10)高齢者、有病者の歯内治療を説明できる。
11)歯内治療における先端的な器材・術式を概説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	再根管治療　外科的歯内治療	講義:再根管治療, 外科的歯内治療	渡邉 聡	到達目標 1, 2
2	10/7	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	偶発症の原因と対処法	講義:各種偶発症の原因と対処法	渡邉 聡	到達目標 3 WebClass
3	10/7	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	緊急処置	講義:緊急処置法	渡邉 聡	到達目標 4 WebClass
4-5	10/15	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	演習　歯内治療実践チュートリアル 1	アクティブラーニング(グループ討議)	渡邉 聡, 吉岡 俊彦, 岡田 大和, 星原 康宏, 木村 俊介	到達目標 1-9
6	10/15	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	根未完成歯の歯内治療 歯内ー歯周疾患	講義:根未完成歯の治療法, 歯内ー歯周疾患の分類・治療法	興地 隆史	到達目標 7, 8 WebClass
7	10/16	09:00-09:50	遠隔授業	歯の外傷と歯内治療	講義:外傷歯の分類・診断・治療法	興地 隆史	到達目標 5

			(同期型)				
8	10/16	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	歯根吸収と歯内治療	講義:歯根吸収の分類・診断・治療法	興地 隆史	到達目標6 WebClass
9-10	10/23	09:00-10:50	遠隔授業(同期型)	演習 歯内治療実践チュートリアル2	アクティブラーニング(グループ発表)	渡邉 聡, 吉岡 俊彦, 岡田 大和, 星原 康宏, 木村 俊介	到達目標1-9
11	11/7	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	高齢者の歯内治療	講義:高齢者の歯内治療	興地 隆史	到達目標10
12	11/7	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄疾患/根尖性歯周疾患への先端的対応	講義:歯髄疾患/根尖性歯周疾患への先端的対応	澤田 則宏	到達目標11
13	11/19	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	筆記試験	筆記試験	興地 隆史	到達目標1-11

授業方法

成績評価の方法

・2024年11月19日に、筆記試験を行う。
・出席日数、提出レポート内容、小テスト等が評価に加味される。

準備学習等についての具体的な指示

・講義資料、Web教材および指定された参考書を用いて予習・復習を行う。
・課題やWeb教材の予習が課された場合は、その指示に従う。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・レポートが課された授業は, レポート提出をもって出席と判定する.
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

歯内治療の展開

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。

参考書

エンドドンティクス 第6版／興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子 編集主幹:永末書店, 2022
歯内治療学 第5版／勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編:医歯薬出版, 2018
歯内療法のケースアセスメントと臨床 : 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著,:医歯薬出版, 2013

履修上の注意事項

・遠隔授業では、指示に従い課題を提出する。

備考

・AL(歯内治療実践チュートリアル)では、グループ討議後、指示に従いプロダクト作成とグループ発表を行う。

時間割番号	021151				
科目名	歯内治療実習			科目 ID	DD-452009-E
担当教員	田澤健人				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯と根尖歯周組織の疾患
コマ数:42
必要自習時間:40 時間
授業形態:実習
ユニット番号:08
歯内治療学は、歯の硬組織、歯髄および根尖部歯周組織などの疾病に対する予防と治療を考究する臨床歯学の一分野である。本科目では、実習により歯内治療の基本的術式を学ぶ。

主な講義場所
7号館 5F 示説室、保存・矯正実習室

授業の目的、概要等
歯髄疾患ならびに根尖性歯周疾患に適切に対応するために、これらの疾患に対する基本的治療技術を習得する。

授業の到達目標
1. 歯内治療に必要な器材を準備できる。
2. ラバーダム防湿を行うことができる。
3. 髄腔開拡を人工歯で行うことができる。
4. 髄腔開拡を天然歯で行うことができる。
5. 根管形成, 根管貼薬, 仮封を人工歯で行うことができる。
6. 根管形成, 根管貼薬, 仮封を天然歯で行うことができる。
7. 電気的根管長測定を行うことができる。
8. 根管充塡を人工歯で行うことができる。
9. 根管充塡を天然歯で行うことができる。
10. ニッケルチタン製ロータリーファイルの基本操作を行うことができる。
11. 根管充塡材除去を行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	9/19	13:50-17:40	保存矯正実習室	実習概要説明、天然歯植立模型作成、髄腔開拡(人工歯 11)	実習概要説明。器具配布・貸与および抜去歯検査後、天然歯植立模型作成法を学ぶ。 歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で髄腔開拡の基本操作を学ぶ。	田澤 建人, 竹田 淳志, 和達 礼子, 金子 実弘	シラバス到達目標項目 1,3 を達成する
4-6	9/24	12:50-16:30	保存矯正実習室	髄腔開拡 (人工歯 11, 24, 46) 根管形成 (人工歯 24, 26)	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で髄腔開拡、根管形成、根管貼薬、仮封の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 田澤 建人, 小澤 雅彦, 河村 千鶴子, 安生 智郎, 高野 晃	シラバス到達目標項目 3,5 を達成する
7-9	9/25	12:50-16:30	保存矯正実習室	根管形成 (人工歯 24, 26)	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で根管形成、根管貼薬、仮封の基	川島 伸之, 田澤 建人, 萩谷 洋子,	シラバス到達目標項目 5 を達成する

					本操作を学ぶ。	高橋 里美, 山本 弥生子, 菊地 和泉	
10-12	9/30	12:50-16:30	保存矯正実習室	根管充填（人工歯 24, 26）	歯内治療に用いる器具・器械を理解する。人工歯を手に持った状態で根管形成、根管充填の基本操作を学ぶ。	田澤 建人, 小澤 雅彦, 河西 裕美, 竹田 淳志, 金子 実弘, 渡邉 聡	シラバス到達目標項目 8 を達成する
13-15	10/2	12:50-16:30	保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習（髄腔開拡・根管形成）（上顎前歯）	X 線写真の読影。天然歯を手に持った状態で髄腔開拡、電気的根管長測定、根管形成の基本操作を学ぶ。	牧 圭一郎, 田澤 建人, 和達 礼子, 山本 弥生子, 八尾 加奈子, 星原 康宏	シラバス到達目標項目 4,6,7,9 を達成する
16-18	10/9	13:50-17:40	保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習（根管充填)(上顎前歯)、天然歯単独植立模型実習（髄腔開拡・根管形成）（小臼歯）	① 天然歯を手に持った状態で根管充填の基本操作を学ぶ。 ②X 線写真の読影。天然歯を手に持った状態で髄腔開拡、電気的根管長測定、根管形成、根管貼薬、仮封の基本操作を学ぶ。	木村 俊介, 田澤 建人, 吉川 剛正, 安生 智郎, 八尾 加奈子, 雲野 颯	シラバス到達目標項目 2,4,6,7,9 を達成する
19-21	10/11	12:50-16:30	保存矯正実習室	天然歯単独植立模型実習（根管形成・根管充填）（小臼歯）	天然歯を手に持った状態で根管充填の基本操作を学ぶ。	海老原 新, 田澤 建人, 東 春生, 河村 千鶴子, 花田 隆周, 岡田 大和	シラバス到達目標項目 2,4,6,7,9 を達成する
22-24	10/15	13:50-17:40	保存矯正実習室	実習試験(単独植立模型: 髄腔開拡・根管形成・根管充填）（上顎前歯）	人工歯(上顎前歯)を用いて実技試験を行う。髄腔開拡、根管形成、根管充填）	川島 伸之, 田澤 建人, 吉川 剛正, 竹田 淳志, 金子 実弘, 植田 美紀	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8 を達成する
25-27	10/25	12:50-16:30	保存矯正実習室	顎模型実習（髄腔開拡・根管形成)(下大臼歯）	X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に臼歯を固定し、臼歯のラバーダム防湿、髄腔開拡、根管形成、根管貼薬・根管充填、仮封の基本操作を学ぶ。	渡邉 聡, 田澤 建人, 東 春生, 花田 隆周, 高橋 里美	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8 を達成する
28-30	10/31	13:50-17:40	保存矯正実習室	顎模型実習（根管形成・根管充填)(下大臼歯）	X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に臼歯を固定し、臼歯のラバーダム防湿、髄腔開拡、根管形成、根管貼薬・根管充填、仮封の基本操作を学ぶ。	牧 圭一郎, 田澤 建人, 河西 裕美, 雲野 颯, 橋本 健太郎	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8 を達成する
31-33	11/13	12:50-16:30	保存矯正実習室	顎模型実習（髄腔開拡)(上顎大臼歯)、NiTi 実習、GP 除去	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に臼歯を固定し、上顎大臼歯の髄腔開拡、仮封の基本操作を学ぶ。 ② NiTi による根管形成の基本操作を学ぶ。 ③GP 除去の基本操作を学ぶ。	木村 俊介, 田澤 建人, 高野 晃, 雲野 颯, 八尾 加奈子, 岡田 大和	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8,10,11 を達成する

34-36	11/14	12:50-16:30	保存矯正実習室	顎模型実習(髄腔開拡・根管形成)(上顎大臼歯)、NiTi 実習、GP 除去、顕微鏡実習	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に臼歯を固定し、上顎大臼歯の髄腔開拡、仮封の基本操作を学ぶ。 ② NiTi による根管形成の基本操作を学ぶ。③GP 除去の基本操作を学ぶ。	田澤 建人, 河西 裕美, 植田 美紀, 橋本 健太郎	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8,10,11 を達成する
37-39	11/18	12:50-16:30	保存矯正実習室	顎模型実習(根管形成・根管充塡)(上顎大臼歯)、GP 除去、顕微鏡実習	① X 線写真の読影。マネキンに固定した顎模型に臼歯を固定し、上顎大臼歯の髄腔開拡、仮封の基本操作を学ぶ。 ② NiTi による根管形成の基本操作を学ぶ。③GP 除去の基本操作を学ぶ。	田澤 建人, 東 春生, 花田 隆周, 高橋 里美	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8,10,11 を達成する
40-42	11/19	13:50-17:40	保存矯正実習室	実習試験(顎模型: 髄腔開拡・根管形成・根管充塡)(小臼歯)	マネキンに固定した顎模型に上顎小臼歯を固定し、実技試験を行う。髄腔開拡、根管形成、根管充塡)	田澤 建人, 竹田 淳志, 安生 智郎, 高野 晃	シラバス到達目標項目 1,2,3,5,7,8 を達成する

成績評価の方法

実技試験((2024 年 10 月 24 日及び 11 月 27 日)を行い、総括的な評価を行う。
実習態度、出席、予習も考慮する。

成績評価の基準

実習における製作物提出, インストラクターによる評価, 実習試験により総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

デモ、実習を基本とする。講義内容(「歯髄疾患・根尖性歯周疾患を治療する」)、教科書、オリジナルプリント、WebClass を予習、復習するとともに、関連する講義(特に歯の形態)についての知識を参照する必要がある。
実習での使用テキスト:オリジナルプリント(各自 WebClass からダウンロードすること)
各回ごとのに Webclass のプリント、スライド、動画を予習してくること。

実習では抜去歯も使用する。上顎前歯、および上下顎小臼歯を最低各 1 本用意すること。
抜去歯は根管充塡がされていない、大きな修復物がない、う蝕が大きすぎない歯であること。

試験の受験資格

全授業時間数(14 回)のうち、4分の3以上出席していなければならない。
必修実習課題が終了している。

モジュールの単位判定

実技試験(2024 年 10 月 24 日及び 11 月 27 日)を行い、総括的な評価を行う。
実習態度、出席、予習も考慮する。

教科書

実習での使用テキスト:オリジナルプリント(各自 WebClass からダウンロードすること)

参考書

エンドドンティクス 第 6 版／興地隆史 石井信之 北村知昭 林 美加子 編集主幹:末永書店, 2022
歯内治療学 第 5 版／勝海一郎、興地隆史、石井信之、中田和彦 編著:医歯薬出版, 2018

履修上の注意事項

実習はすべての回に出席することを前提に構成されています。体調不良の場合は、実習前にメールで連絡してください。

備考

全回とも実習あるいは試験によるアクティブラーニングを行う

時間割番号	021117				
科目名	咬合回復			科目 ID	DD-451900-Z
担当教員	笛木　賢治[FUEKI KENJI]				
開講時期	2024 年度 1.5 通年（秋）	対象年次	3～4	単位数	12
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業形態：講義・実習
モジュール番号：21

授業の目的、概要等

歯の欠損による顎口腔系の形態および機能の異常を理解し，その診断・治療に必要な基本的知識と技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとの受験資格に従う.

構成ユニット

01 咬合回復基礎　（3年　後期）
02 全部床義歯補綴（4年　前期）
03 部分床義歯補綴（4年　後期）
04 クラウンブリッジ（4年　後期）
05 インプラント補綴（4年　後期）
06 咬合回復統合（4年　後期）

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには，当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては，出席日数，提出レポート内容，及び平常学習態度等が評価に加味される。また，複数学年にまたがるモジュールについては，歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考

連絡先：笛木賢治　kunfu.rpro@tmd.ac.jp　オフィスアワー（木：13:00－17:00）

連絡先（メールアドレス）

kunfu.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週　月，水，金曜日　PM.17:00-18:00　歯科棟北11階　咬合機能健康科学分野　第1研究室
メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	021118			
科目名	咬合回復基礎		科目 ID	DD-351901-Z
担当教員	和田　淳一郎[WADA JUNICHIRO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:咬合回復
コマ数:12＋1(必要自習時間4時間)
授業形態:講義
ユニット番号:01

授業の目的、概要等

咬合回復治療に関連する基礎的な知識を修得する.

授業の到達目標

1) 咬合回復の臨床的意義を説明できる.
2) 咬合に関連する形態および機能の常態を説明できる.
3) 咬合に関連する形態および機能の異常を説明できる.
4) 咬合に関連する形態および機能の回復を説明できる.
5) 顎機能異常について説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/1	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	咬合回復基礎1	咬合回復の意義	和田　淳一郎	咬合回復の意義について理解する
2-3	10/1	13:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	咬合回復基礎2	口腔解剖	岩永　譲	咬合回復に関連する顎口腔系の解剖を理解し, 基本的知識を得る
4-6	10/8	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	咬合回復基礎3	歯冠補綴における咬合回復	駒田　亘	歯冠補綴における咬合回復の意義を理解し, 基本的知識を得る
7-8	10/15	09:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	咬合回復基礎4	部分歯列欠損における咬合回復	笛木　賢治	部分歯列欠損における咬合回復の意義を理解し, 基本的知識を得る
9	10/15	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	咬合回復基礎5	無歯顎患者における咬合回復1	濵　洋平	無歯顎患者における咬合回復の意義を理解し, 基本的知識を得る
10	10/16	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	咬合回復基礎6	無歯顎患者における咬合回復2	濵　洋平	無歯顎患者における咬合回復の意義を理解し, 基本的知識を得る
11	10/16	10:00-10:50	遠隔授業(非同期	咬合回復基礎7	顎関節	西山　暁	咬合回復と関連する顎関節につ

			型)				いての基本的知識を得る
12	10/22	13:50-14:40	特別講堂	咬合回復基礎8	試験	和田　淳一郎	咬合回復基礎についての知識を問う

成績評価の方法

客観試験により総括的に評価する(受験資格は講義全体の 2/3 以上の出席とする)

準備学習等についての具体的な指示

WebClass 等のハンドアウトを確認し、適切に予習、復習を行うこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち，3分の2以上出席していなければ，試験受験が認められない.

出席の確認方法:

①オンライン同期型授業:出席ログについて,

1)開始後 10 分までの参加

2)参加から継続して授業終了までの参加

の両方をもって「出席」とみなす(ネットワーク環境を整えて参加すること)

②非同期授業:WebClass「D3 咬合回復基礎 2024」内の講義動画に対して，各講義時間(動画の時間)と同等以上の時間の視聴履歴をもって「出席」とみなす.

・例)動画の時間が 40 分の授業であれば，視聴時間 40 分以上が必要

・動画の再生可能期間は，該当授業の開始時間から同日夕方 18 時までとする

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし，次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

参考書

・「咀嚼運動の生理学」　中村嘉男著，医歯薬出版，東京，1998

・「テキストブック　オクルージョン」 Norman D Mohl, George A Zarb, Gunnar E Carlsson, John D Rugh 著／藍　稔訳，クインテッセンス，東京，1993

・「Management of Temporomandibular Disorders and Occlusion」 3rd Edition. Jeffrey P Okeson 著，Mosby, St Louis，1992

・「Illustrated Anatomy of the Head and Neck」Margaret J Fehrenback, Susan W Herring 著，W.B.Saunders Company，1996

・「ケルバーの補綴学Ⅰ，Ⅱ」 Korber,K,H 著，田端，河野，福島訳，クインテッセンス，東京，1986

備考

和田淳一郎

wadajun.rpro(@)tmd.ac.jp

メール送信の際はアドレスの()を外してください。

時間割番号	021152			
科目名	全部床義歯補綴		科目 ID	DD-451902-Z
担当教員	猪越　正直			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:咬合回復
ユニットコマ数:40.3
必要自習時間:30 時間
授業形態:ユニット番号 02

主な講義場所

講義:WebClass を用いた遠隔非同期
実習:7 号館 3 階実習室・示説室

授業の目的、概要等

可撤性義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する.

授業の到達目標

1)　全部床義歯の目的と意義を説明できる.
2)　全部床義歯の種類と適応症を説明できる.
3)　無歯顎患者の診査および診断を説明できる.
4)　全部床義歯の構成要素を説明できる.
5)　全部床義歯の設計原則を説明できる.
6)　全部床義歯の前処置の意義と方法を説明できる.
7)　全部床義歯の印象採得法を説明できる.
8)　全部床義歯の顎間関係記録法を説明できる.
9)　全部床義歯の咬合を説明できる.
10)　全部床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる.
11)　全部床義歯の研磨面形態を説明できる.
12)　蝋義歯の埋没および重合操作を説明できる.
13)　全部床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる.
14)　全部床義歯のメインテナンスを説明できる.
15)　即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる.
16)　全部床義歯製作のための技工操作を修得する.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/2	09:00-11:50	補綴実習室	実習1　器械検査、個人トレー1	本村　一朗	[到達目標]7.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
4-6	4/2	12:50-15:40	補綴実習室	実習2　個人トレー2	本村　一朗	[到達目標]7.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
7-9	4/5	09:00-11:50	補綴実習室	実習3　個人トレー3/咬合床1	本村　一朗	[到達目標]7.8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
10-11	4/8	09:00-10:50	遠隔授業	講義1　総論、予備印象	猪越　正直	[到達目標]1-7

			（非同期型）			[学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
12	4/8	11:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	講義2 精密印象	濵 洋平	[到達目標]7 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
13	4/8	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	講義3(前半) 咬合採得, 咬合器装着, ゴシック	金澤 学	[到達目標]8 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
14-15	4/8	13:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義3(後半) 咬合採得, 咬合器装着, ゴシック	金澤 学	[到達目標]8 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
16	4/9	09:00-09:50	遠隔授業（非同期型）	講義4(前半) 人工歯配列	大沼 啓	[到達目標]9.10 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
17-18	4/9	10:00-11:50	遠隔授業（非同期型）	講義4(後半) 人工歯配列	大沼 啓	[到達目標]9.10 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
19-21	4/9	13:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	講義5 試適, 歯肉形成, 重合	濵 洋平	[到達目標]11.12 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
22-24	4/10	09:00-11:50	補綴実習室	実習4 咬合床2	本村 一朗	[到達目標]8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
25-27	4/16	09:00-11:50	補綴実習室	実習5 咬合床3	本村 一朗	[到達目標]8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
28-30	4/19	13:50-16:40	補綴実習室	実習6 咬合採得	本村 一朗	[到達目標]8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
31-33	4/23	13:50-16:40	補綴実習室	実習7 咬合器装着	本村 一朗	[到達目標]8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
34-36	4/24	09:00-11:50	補綴実習室	実習8 ゴシックアーチ描記装置	本村 一朗	[到達目標]8.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
37-39	4/26	09:00-11:50	補綴実習室	実習9 デジタル配列実習	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習

						[事前学習]実習書を予習すること
40-42	4/30	09:00-11:50	補綴実習室	実習 10 前歯部陋配列1	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
43-45	5/1	12:50-15:40	補綴実習室	実習 11 前歯部陋配列2	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
46-48	5/7	13:50-16:40	補綴実習室	実習 12 前歯部陋配列3	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
49-51	5/10	12:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義6 削合、装着、修理	駒ヶ嶺 友梨子	[到達目標]9.13.15 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
52-54	5/13	12:50-15:40	補綴実習室	実習 13 臼歯部陋配列1	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
55-57	5/14	09:00-11:50	補綴実習室	実習 14 臼歯部陋配列2	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
58-60	5/14	12:50-15:40	補綴実習室	実習 15 臼歯部陋配列3	本村 一朗	[到達目標]9.10.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
61-63	5/15	09:00-11:50	補綴実習室	実習 16 歯肉形成1	本村 一朗	[到達目標]11.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
64-66	5/15	12:50-15:40	補綴実習室	実習 17 歯肉形成2	本村 一朗	[到達目標]11.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
67-69	5/20	12:50-15:40	補綴実習室	実習 18 実習試験	本村 一朗	
70-72	5/22	09:00-11:50	補綴実習室	実習 19 歯肉形成3・埋没1	本村 一朗, 鈴木 啓之	[到達目標]11.12.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
73-75	5/22	12:50-15:40	補綴実習室	実習 20 埋没2	本村 一朗, 柳原 有依子	[到達目標]12.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること

76-78	8/27	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義7 中継講義	濵 洋平	[到達目標]7 [学習方法]同期講義 [事前学習]精密印象の手順について予習すること
79	8/27	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	講義8 インプラントオーバーデンチャー	金澤 学	[到達目標]2 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
80	8/27	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	講義9 デジタル義歯	金澤 学	[到達目標]2 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
81	8/27	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	講義 10 義歯ケア	濵 洋平	[到達目標]14 [学習方法]非同期講義 [事前学習]特になし
82-84	9/2	09:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	実習 21 流鑞・填入/PBL	本村 一朗, 秋山 洋	[到達目標]12.16 [学習方法]実習/PBL [事前学習]実習書を予習すること
85-87	9/2	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	実習 22 PBL/流鑞・填入	本村 一朗	[到達目標]12.16 [学習方法]実習/PBL [事前学習]実習書を予習すること
88-90	9/3	09:00-11:50	補綴実習室	実習 23 辺縁形成実習	本村 一朗	[到達目標]7.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
91-93	9/4	09:00-11:50	補綴実習室	実習 24 削合1	本村 一朗	[到達目標]9.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
94-96	9/4	12:50-15:40	3F 示説室, 補綴実習室	実習 25 削合2/PBL	本村 一朗	[到達目標]9.16 [学習方法]実習/PBL [事前学習]実習書を予習すること
97-99	9/9	09:00-11:50	3F 示説室, 補綴実習室	実習 26 PBL/削合2	本村 一朗	[到達目標]9.16 [学習方法]実習/PBL [事前学習]実習書を予習すること
100-102	9/9	12:50-15:40	補綴実習室	実習 27 削合3	本村 一朗	[到達目標]9.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること

103-105	9/10	09:00-11:50	補綴実習室	実習 28 削合4／割り出し・形態修正	本村 一朗	[到達目標]12.16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
106-108	9/10	12:50-15:40	補綴実習室	実習 29 研磨1	本村 一朗	[到達目標]16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
109-111	9/11	12:50-15:40	補綴実習室	実習 30 研磨2	本村 一朗	[到達目標]16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
112-114	9/12	09:00-11:50	補綴実習室	実習 31 研磨3	本村 一朗	[到達目標]16 [学習方法]実習 [事前学習]実習書を予習すること
115-117	9/18	09:00-11:50	特別講堂	試験と発表会	本村 一朗	試験

成績評価の方法

・製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 小テスト, 実習試験, 筆記客観試験により総括的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.
実習の際には該当箇所のデモ動画を事前に視聴したうえで臨むこと.

試験の受験資格

・ユニットコマ数のうち, 4分の3以上出席していなければならない.
・受験資格を得られなった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

教科書

無歯顎補綴治療学／市川哲雄 [ほか] 編,市川, 哲雄,大川, 周治,平井, 敏博,細井, 紀雄,:医歯薬出版, 2016
コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 [ほか] 編,細井, 紀雄,平井, 敏博,長岡, 英一,赤川, 安正,鈴木, 哲也(歯科学),大川, 周治,:医歯薬出版, 2011
Prosthodontic treatment for edentulous patients : complete dentures and implant-supported prostheses／editors, George A. Zarb ... [et al.] ; associate editors, Aaron H. Fenton ... [et al.],Zarb, George A. (George Albert),Fenton, Aaron H.,:Mosby, 2013

参考書

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の印象／水口俊介, 飼馬祥頼 著,水口, 俊介,飼馬, 祥頼,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2011
写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の咬合採得／水口俊介, 飼馬祥頼著,水口, 俊介,飼馬, 祥頼,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2013
写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の試適・装着／水口俊介, 飼馬祥頼, 菊池圭介 著,水口, 俊介,飼馬, 祥頼,菊池, 圭介,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2014
総義歯臨床の押さえどころ／小林賢一著,小林, 賢一,:医歯薬出版, 2001
よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール／鈴木哲也著,鈴木, 哲也(歯科学),:クインテッセンス出版, 2011
コンプリートデンチャーの理論と臨床 : 総義歯をイメージする／早川巌著,早川, 巌,:クインテッセンス出版, 1995
鈴木哲也のよい義歯だめな義歯 2／鈴木, 哲也, 1954-,古屋, 純一,:クインテッセンス出版, 2021

備考

実習では、PBL(Probrem Based Learning)によるアクティブラーニングを行う.

時間割番号	021153			
科目名	部分床義歯補綴		科目 ID	DD-451903-Z
担当教員	若林則幸　　和田淳一郎			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

タイトル:部分床義歯補綴
モジュール:咬合回復Ⅰ
ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):93
授業形態:講義, 実習
モジュール番号:17
ユニット番号:03

主な講義場所

講義:特別講堂(D 棟南4階), 遠隔授業(ハイブリッド型講義)
実習:補綴実習室

授業の目的、概要等

部分床義歯を用いた咬合回復の治療に必要な知識と基本的技能を修得する.

授業の到達目標

1)部分床義歯の目的と意義を説明できる.
2)部分床義歯の種類と適応症を説明できる.
3)歯の欠損の診査および診断を説明できる.
4)部分床義歯の構成要素を説明できる.
5)部分床義歯の設計原則を説明できる.
6)部分床義歯の前処置の意義と方法を説明できる.
7)部分床義歯の印象採得法を説明できる.
8)部分床義歯の顎間関係記録法を説明できる.
9)部分床義歯の咬合を説明できる.
10)部分床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる.
11)部分床義歯の研磨面形態を説明できる.
12)蝋義歯の埋没および重合操作を説明できる.
13)部分床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる.
14)部分床義歯のメインテナンスを説明できる.
15)即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる.
16)部分床義歯製作の材料について説明できる.
17) 部分床義歯製作のための技工操作を修得する.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	8/28	13:50-16:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 1	歯の欠損と治療の意義, 欠損の分類, 支持	若林 則幸	歯の欠損と治療の意義, 欠損の分類, 支持について理解し, 説明できる
4-6	8/29	13:50-16:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 2	把持と維持, サベイング, 隣接面板, クラスプ	和田 淳一郎	把持と維持, サベイング, 隣接面板, クラスプについて理解し, 説明

							できる
7-9	9/13	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習1	サベイング・設計線記入	和田 淳一郎	サベイング・設計線記入を行うことができる
10-12	9/18	13:50-16:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 3	クラスプ以外の維持, オーバーデンチャー, 人工歯, 義歯床, 大連結子	髙市 敦士	クラスプ以外の維持, オーバーデンチャー, 人工歯, 義歯床, 大連結子について理解し, 説明できる
13-15	10/16	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習2	ワイヤークラスプ1	和田 淳一郎	ワイヤークラスプを屈曲することができる
16-18	10/24	09:00-11:50	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 4	大連結子, 初診時の診査, 概形印象, 診断, 支持組織の解剖	稲用 友佳	大連結子, 初診時の診査, 概形印象, 診断, 支持組織の解剖について理解し, 説明できる
19-21	10/24	12:50-15:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 5	印象, 設計, フレームワーク	和田 淳一郎	印象, 設計, フレームワークについて理解し, 説明できる
22-24	10/28	13:50-16:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 6	咬合採得, 咬合診査, 咬合器装着, 人工歯排列	村上 奈津子	咬合採得, 咬合診査, 咬合器装着, 人工歯排列について理解し, 説明できる
25-27	10/29	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習3	ワイヤークラスプ2	和田 淳一郎	ワイヤークラスプを屈曲することができる
28-30	10/30	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習4	咬合床製作1	和田 淳一郎	咬合床を製作することができる
31-33	10/30	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習5	咬合床製作2／ 咬合採得1	和田 淳一郎	咬合床を製作することができる, 咬合床を用いた咬合採得ができる
34-36	11/1	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習6	咬合採得2／ 咬合器装着	和田 淳一郎	咬合床を用いた咬合採得ができる, 咬合床を用いて歯列模型を咬合器に装着できる
37-39	11/11	09:00-11:50	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 7	重合完成, 床用材料, レジン床義歯(補強線), 装着	髙草木 謙介	重合完成, 床用材料, レジン床義歯(補強線), 装着について理解し, 説明できる

40-42	11/11	13:50-16:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習7	咬合器装着	和田 淳一郎	咬合床を用いて歯列模型を咬合器に装着できる
43-45	11/12	09:00-11:50	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 8	メインテナンス(リコール, 指導, 口腔の変化, 義歯の修理前半)	山﨑 俊輝	メインテナンス(リコール, 指導, 口腔の変化, 義歯の修理前半)について理解し, 説明できる
46-48	11/26	09:00-11:50	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 9	様々な対応(義歯の修理後半, 即時義歯, 治療用義歯, ノンメタルクラスプ)	髙草木 謙介	様々な対応(義歯の修理後半, 即時義歯, 治療用義歯, ノンメタルクラスプ)について理解し, 説明できる
49-51	11/26	13:50-16:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習8	耐火模型用前処置1	和田 淳一郎	耐火模型製作のための作業模型への前処置ができる
52-54	11/28	13:50-16:40	特別講堂, 遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 10	高齢者に対する義歯治療, パーシャルで英語	稲用 友佳	高齢者に対する義歯治療について理解し, 説明できる, 部分床義歯治療における会話を英語で行える
55-57	12/2	13:50-16:40	CAD/CAM演習室, 補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習9	耐火模型用前処置2 / デジタル設計1	和田 淳一郎	耐火模型製作のための作業模型への前処置ができる, CADソフトで義歯設計を行うことができる
58-60	12/3	13:50-16:40	CAD/CAM演習室, 補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習10	耐火模型用前処置3 / デジタル設計2	和田 淳一郎	耐火模型製作のための作業模型への前処置ができる, CADソフトで義歯設計を行うことができる
61-63	12/4	13:50-16:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習11	フレーム調整・人工歯排列1	和田 淳一郎	フレーム調整ができる, 人工歯排列ができる
64-66	12/5	13:50-16:40	遠隔授業(同期型)	部分床義歯補綴学 講義 Sec 11	部分床義歯TBL	笛木 賢治	部分床義歯TBL
67-69	12/10	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習12	人工歯排列2 / 歯肉形成1	和田 淳一郎	人工歯排列ができる, 歯肉形成ができる
70-72	12/10	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習13	人工歯排列3 / 歯肉形成2	和田 淳一郎	人工歯排列ができる, 歯肉形成ができる

73-75	12/12	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習14	設計実習1(紙上設計)	和田 淳一郎	部分歯列欠損患者の検査, 診断を行い, 義歯設計を行える
76-78	12/12	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習15	設計実習1(グループワーク)	和田 淳一郎	部分歯列欠損患者の検査, 診断を行い, 義歯設計を行える
79-81	12/18	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習16	前処置実習	和田 淳一郎	前処置を行う
82-84	12/19	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習17	設計実習2(紙上設計)	和田 淳一郎	部分歯列欠損患者の検査, 診断を行い, 義歯設計を行える
85-87	12/19	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習18	設計実習2(グループワーク)	和田 淳一郎	部分歯列欠損患者の検査, 診断を行い, 義歯設計を行える
88-90	1/6	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習19	設計実習:模型への記入	和田 淳一郎	紙面上で設計した義歯設計を作業模型に記載できる
91-93	1/7	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学 実習20	講義・実習試験	和田 淳一郎	講義・実習試験

成績評価の方法

筆記試験の成績, グループ学習(TBL)の成績, 実習における製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験により総合的に評価する.

準備学習等についての具体的な指示

すべての講義, 実習では, 学習内容を網羅したテキストと教材ビデオを授業3日前までにWeb Class上に配信するので, 事前に必ず閲覧すること.

とくに講義では, ビデオと重複する内容の説明は行わず, 問題演習と授業テーマに関する討議を行う.

試験の受験資格

・ユニットコマ数のうち, 4分の3以上出席していなければならない.

・対面講義および実習の出席は, カードリーダーでのみ管理する. 必ず, カードリーダーに学生証をかざし青く光ったことを確認すること.

- カード受付開始時間: 授業開始 10 分前(これより前の打刻は無視される)
- 遅刻基準時間: 授業開始 0 分後(以後の打刻は遅刻扱いとなる)
- 遅刻受付終了時間: 授業開始 10 分後(以後の打刻は欠席扱いとなる)

・受験資格を得られなった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない.

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには, 当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては, 出席日数および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学／藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆,:学建書院, 2016

小部分床義歯学／藍稔 著,:学建書院, 1994

パーシャルデンチャー活用力 = Partial Denture Decision Making : ライフコースに沿った基本から使いこなしまで／和田淳一郎, 高市敦士, 若林則幸 著,:医歯薬出版, 2016

参考書
, 2016 ・Stewart's Clinical Removable Partial Prosthodontics 4th Edition (Rodney D. Phoenix) ・McCracken's Removable Partial Prosthodontics (Alan Carr, David Brown)
履修上の注意事項
部分床義歯のユニットの合格判定は，筆記試験，実技試験，TBL の成績，授業中の発言回数を元に判定される．
備考
テーマごとにグループワーク，討論を行う． 授業最終回に TBL を行う．
参照ホームページ
http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html

時間割番号	021154				
科目名	クラウンブリッジ			科目 ID	DD-451904-Z
担当教員	駒田　亘[KOMADA WATARU]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:咬合回復
ユニットコマ数:119+3(必要自習時間　50 時間)
授業形態:講義、演習、実習
ユニット番号:04

主な講義場所

遠隔授業(Zoom)、歯学部第3講義室(7号館2階)
補綴実習室、補綴示説室(7号館3階)

授業の目的、概要等

クラウンによる修復について理解する。
講義中に修得した知識をもとにした演習活動(質疑応答)でアクティブラーニングを実施する。
講義で修得した知識を深める機会として、実習を通してアクティブラーニングを実施する。

授業の到達目標

1)　クラウンによる修復の特徴を説明できる。
2)　クラウンによる修復の種類を列挙できる。
3)　支台歯形成の目的と意義が説明できる。
4)　支台築造の意義を説明できる。
5)　支台築造の術式を説明できる。
6)　支台築造を模型歯で行うことができる。
7)　模型歯で支台歯形成を行うことができる。
8)　全部鋳造冠修復の意義と特徴を説明できる。
9)　全部鋳造冠修復の術式を説明できる。
10)模型歯で全部鋳造冠修復を行うことができる。
11)審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。
12)模型歯でプロビジョナルレストレーションの作製を行うことができる。
13)高速切削の意義と方法を説明できる。
14)高速切削器具を用いて模型歯で支台歯形成を行うことができる。
15)固定性義歯の目的と意義を説明できる。
16)固定性義歯の種類と適応症を説明できる。
17)歯の欠損の診査および診断を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	8/30	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　クラウンブリッジ総論	講義	駒田　亘	【到達目標】1),17) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024

4-6	9/11	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義 クラウンブリッジの種類	講義	瀧田 美奈	【到達目標】2),15),16) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
7-9	9/17	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義 支台歯形成 プロビジョナルレストレーション	講義	野﨑 浩佑	【到達目標】3),9) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
10-12	9/17	13:50-16:40	補綴実習室	実習 左下6全部鋳造冠 高速切削 手持ち支台歯形成	(AL)模型実習	駒田 亘, 大竹 志保	【到達目標】7) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
13-15	9/26	12:50-15:40	その他	実習 左下6全部鋳造冠 手持ち支台歯形成	(AL)模型実習	大竹 志保	【到達目標】7) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
16-18	10/1	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義 支台築造	講義	駒田 亘	【到達目標】4),5) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
19-21	10/2	09:00-11:50	その他	実習 左上1前装冠 手持ち支台歯形成 仮封冠	(AL)模型実習	駒田 亘, 大竹 志保	【到達目標】7),12) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
22-24	10/3	12:50-15:40	補綴実習室	実習 左上1前装冠 築造窩洞形成 仮封冠	(AL)模型実習	大竹 志保, 古木 譲, 古木 紀子, 横須賀 祐介, 林 海里, 佐	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習

						藤 美穂	2024
25-27	10/9	09:00-11:50	補綴実習室	実習 左上1前装冠 レジン築造(直接法)	(AL)模型実習	大竹 志保, 古木 譲, 武井 規子, 古木 紀子, 植田 洋二, 林 海里	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
28-30	10/17	12:50-15:40	補綴実習室	実習 左下6臼歯部メタルコア 窩洞形成	(AL)模型実習	大竹 志保, 古木 譲, 阿部 晴臣, 古木 紀子, 山崎 有子, 瀧田 美奈	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
31-33	10/22	12:50-15:40	補綴実習室	実習 左下6メタルコア印象採得	(AL)模型実習	大竹 志保, 藤田 和久, 横須賀 祐介, 瀧田 美奈, 林 海里, 阿部 晴臣, 佐藤 美穂	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
34-36	10/23	12:50-15:40	補綴実習室	実習 左下6メタルコア模型作成, メタルコアワックスアップ	(AL)模型実習	大竹 志保, 瀧田 美奈, 石山 裕之, 武井 規子, 阿部 晴臣, 植田 洋二, 戸田 聡	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
37-39	10/29	13:50-16:40	補綴実習室	実習 左下6メタルコアワックスアップ	(AL)模型実習	駒田 亘, 大竹 志保, 瀧田 美奈, 石山 裕之, 武井 規子, 森川 理, 宮坂 宗永, 川和 篤史	【到達目標】6) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
40-42	11/5	12:50-15:40	補綴実習室	実習 左下6全部鋳造冠印象採得(含 個歯トレー)	(AL)模型実習	大竹 志保, 福井 雄二, 森川 理, 宮坂 宗永, 戸田 聡, 石山 裕之	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習 2024
43-45	11/6	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義 印象採得 咬合採得	講義	瀧田 美奈	【到達目標】9) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024

46-48	11/6	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠印象採得(含　個歯トレー)	(AL)模型実習	大竹　志保, 林　海里, 山本　将弘, 森川　理, 宮坂宗永, 藤田和久, 野田倫子, 福井雄二	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
49-51	11/12	12:50-15:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠作業用模型作製	(AL)模型実習	大竹　志保, 瀧田　美奈, 林　海里, 武井　秀典, 山本　将弘, 小椋　麗子, 糀田　恵梨香, 野崎　裕子, 横須賀　祐介, 川和　篤史	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
52-54	11/20	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義　技工操作(ロストワックス法)	講義	大竹　志保	【到達目標】8),10) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
55-57	11/20	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠咬合器装着　ワックスアップ	(AL)模型実習	駒田　亘, 大竹　志保, 瀧田　美奈, 林　海里, 岡田　大蔵, 武井　秀典, 山崎　有子, 小椋　麗子, 稲垣　祐久, 野田　倫子, 野崎　裕子	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
58-60	11/27	09:00-11:50	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠ワックスアップ	(AL)模型実習	大竹　志保, 糀田　恵梨香	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
61-63	12/5	09:00-11:50	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠ワックスアップ	(AL)模型実習	大竹　志保, 戸田　聡, 岡田　大蔵, 福井　雄二	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024

64-66	12/6	09:00-11:50	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠埋没，鋳造，研磨	(AL)模型実習	大竹　志保，瀧田　美奈，石山　裕之，武井　秀典，山崎　有子，稲垣　祐久，野田　倫子，根本　怜奈，川和　篤史	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
67-69	12/9	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義　口腔内試適，装着，術後管理	講義	駒田　亘	【到達目標】8),9) 【学習方法】遠隔講義 ZoomID:99960893623 Pass:927795 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
70-72	12/11	09:00-11:50	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠埋没，鋳造，研磨	(AL)模型実習	野﨑　裕子，瀧田　美奈，大竹　志保，石山　裕之，山本　将弘，小椋　麗子，稲垣　祐久，根本　怜奈，糀田　恵梨香，岡田　大蔵	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
73-75	12/16	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義　CAD/CAMシステム	講義	野﨑　浩佑	【到達目標】11) 【学習方法】遠隔講義 WebClass:IL2400206 D4 クラウンブリッジ講義 2024
76-78	12/17	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠埋没，鋳造，研磨	(AL)模型実習	石山　裕之，大竹　志保，根本　怜奈，植田　洋二，藤田　和久，佐藤　美穂，瀧田　美奈	【到達目標】10) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
79-81	12/23	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠高速切削	(AL)模型実習	駒田　亘，大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024

82-84	12/25	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下6全部鋳造冠高速切削	(AL)模型実習	大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
85-87	12/26	09:00-11:50	補綴実習室	実習　左上1前装冠 高速切削+CAD/CAM 実習	(AL)模型実習	大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
88-90	1/7	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左上1前装冠 高速切削+CAD/CAM 実習	(AL)模型実習	大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
91-93	1/9	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左上4CAD/CAM冠 高速切削 +CAD/CAM 実習	(AL)模型実習	大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
94-96	1/10	13:50-16:40	補綴実習室	実習　左下5全部鋳造冠高速切削+CAD/CAM 実習	(AL)模型実習	大竹　志保	【到達目標】13),14) 【学習方法】実習 WebClass:IL2400198 D4 クラウンブリッジ模型実習2024
97-99	1/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室,補綴実習室	クラウンブリッジ講義・実習試験		駒田　亘, 大竹　志保	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・実習が完了した後、実習における製作物の評価を行う。また、筆記、実習試験を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・実習が完了した後、実習における製作物の評価を行う。また、筆記、実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

WebClass 等のハンドアウト、動画教材を確認し、適切に予習、復習を行うこと。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

10 クラウン修復

11 支台築造

12 全部鋳造冠修復

13 前装冠修復 14 高速切削
モジュールの単位判定 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・実習が完了した後、実習における製作物の評価を行う。また、筆記、実習試験を行い、総括的評価を行う。
参考書 クラウンブリッジ補綴学 = Crown and bridge prosthodontics／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠, 木本克彦, 松香芳三 編集,矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之, 1955-,細川, 隆司,小川, 匠,木本, 克彦,松香, 芳三,:医歯薬出版, 2021 クラウンブリッジテクニック／三浦宏之 [ほか] 編,三浦, 宏之,:医歯薬出版, 2018 Contemporary Fixed Prosthodontics 4th Edition／Junhei Fujimoto:Mosby, 2006
履修上の注意事項 講義は、指定された参考書、実習書を熟読の上で臨むこと。　実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。
備考 本ユニットでは、一部アクティブラーニング(AL)(実習)を採用している。

時間割番号	021155			
科目名	インプラント補綴		科目 ID	DD-451905-Z
担当教員	丸川　恵理子，中田　秀美，下岸　将博，柴崎　真樹，山本　麻衣子[MARUKAWA ERIKO, NAKATA HIDEMI, SHIMOGISHI Masahiro, SHIBASAKI Masaki, YAMAMOTO Maiko]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール(ブロック)名:咬合回復(インプラント補綴)
モジュール(科目)単位:21単位
モジュール(科目)授業:講義:18コマ、演習:1コマ、実習:2コマ
必要自習時間:4時間
授業形態:講義、演習、実習
モジュール番号:21
ユニット番号:05

主な講義場所

7 号館補綴実習室

授業の目的、概要等

インプラント義歯を用いた咬合回復治療に必要な基礎的知識を修得する。

授業の到達目標

1)インプラント治療の利点と欠点を説明できる。D-5-3-3-1、D-5-3-3-2)。
2)インプラント治療に必要な検査および診断を説明できる(D-5-3-3-3)。
3)インプラント治療の外科術式を説明できる(D-5-3-3-4)。
4)インプラント治療の補綴術式を説明できる(D-5-3-3-5、D-5-3-3-6、D-5-3-3-7)。
5)インプラン治療におけるメインテナンスを説明できる(D-5-3-3-8)。
6)インプラント治療における問題点を説明できる(D-5-3-3-2)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	11/27	13:50-14:40	
2	11/27	14:50-15:40	
3	11/27	15:50-16:40	
4	11/29	13:50-14:40	
5	11/29	14:50-15:40	
6	11/29	15:50-16:40	
7	12/18	09:00-09:50	
8	12/18	10:00-10:50	
9	12/18	11:00-11:50	
10	12/24	13:50-14:40	
11	12/24	14:50-15:40	
12	12/24	15:50-16:40	
13	12/25	09:00-09:50	
14	12/25	10:00-10:50	
15	12/25	11:00-11:50	
16	1/8	09:00-09:50	
17	1/8	10:00-10:50	
18	1/8	11:00-11:50	
19	1/8	13:50-14:40	
20	1/8	14:50-15:40	
21	1/8	15:50-16:40	

授業方法

対面授業を行い、各到達目標毎に WebClass による試験を行う。

模型実習およびコンピュータシミュレーションにて問題演習を行う。

講義・実習での質問については当日中に適宜対応する。

授業内容

口腔インプラント総論

材料学・解剖学の基礎

口腔インプラント外科学

口腔インプラント補綴学

口腔インプラントの長期経過

成績評価の方法

試験および実習での成果物により総括的に評価する。

成績評価の基準

各到達目標毎の試験にて 60%以上の正答率を達成することにより、到達目標を概ね達成(B 評価)したと判断する。

実習への参加態度、グループディスカッションによる成果物の提出を評価対象として加味する。

準備学習等についての具体的な指示

歯を失った場合日々の生活においてどのような点で困るか、歯を失った患者さんに対して、どのような歯科治療が可能であるかについて調べる。

一般国民がもつインプラント治療のイメージおよび内容を調べる。

試験の受験資格

・モジュール(科目)全体で、3分の2以上出席していなければならない。

カードタッチによる出席確認を行う。

出席確認が出来ない場合はテストの回答、演習および実習での成果物にて出席を確認する。

構成ユニット

インプラント補綴

モジュールの単位判定

講義終了後に行う試験、演習、および実習への参加態度により総括的評価を行う。

教科書

よくわかる口腔インプラント学　赤川安正・松浦正朗・矢谷博文・渡邉文彦　編

医歯薬出版　ISBN978-4-263-45895-2

参考書

・Clinical Periodontology and Implant Dentistry. Lindhe Jan /Wiley-Blackwell

・Dental Implant Prosthetics. Misch Carl E. /Publisher:Elsevier MOSBY

備考

演習ではグループワークを行い、課題発表とそれに対して討論を行う(active learning: PBL, TBL)。

参照ホームページ

オフィスアワー:随時対応する。メールによりアポイントを取ること。

連絡先:下岸　将博

shimogishi.irm@tmd.ac.jp

時間割番号	021156			
科目名	咬合回復統合		科目 ID	DD-451906-Z
担当教員	野﨑　浩佑[NOZAKI KOSUKE]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

ユニット名:咬合回復統合
コマ数:24＋0(必要自習時間 3 時間)
授業形態:講義・実習

主な講義場所

歯学部第3講義室(7号館2階)
補綴実習室、補綴示説室(7号館3階)

授業の目的、概要等

咬合回復治療に関連する知識を統合的に修得する。

授業の到達目標

1) 補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。
2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。
3) 各種咬合器の特徴が説明できる。
4) フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。
5) 調節性咬合器の基本操作ができる。
6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。
7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。
8) 特殊義歯の特徴が説明できる。
9) 咬合回復後のメインテナンスの方法が説明できる。
10)新しい歯冠補綴装置の製作法を理解するための必要な知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	12/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	(講義)天然歯列の咬合、歯冠補綴物に付与する咬合		野﨑　浩佑	関連 SBOs 1,2 ミーティング ID: パスコード: 566126
2	12/2	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	(講義)総義歯に付与する咬合			関連 SBOs 1,2 パスコード:
3	12/2	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	(講義)部分床義歯に付与する咬合		髙草木　謙介	関連 SBOs 1,2 ミーティング ID: パスコード:
4	12/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	(講義)咬合回復に関連する歯科材料		駒田　亘	関連 SBOs 6　ミ

5	12/3	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	（講義）咬合回復に関連する歯科材料		山下 仁大	関連 SBOs 6 ミ
6	12/3	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	（講義）咬合回復に関連する歯科材料		宇尾 基弘	関連 SBOs 6 ミーティング ID: 972
7	12/20	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	（講義）各種咬合器の特徴と臨床応用		野崎 浩佑	関連 SBOs 3 ミ
8-9	12/20	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	（講義）Digital Dentistry		金澤 学	関連 SBOs 10 ミーティング ID: パスコード:
10	12/23	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	（講義）咬合回復治療後のメインテナンス 1		岩田 隆紀	関連 SBOs 9 ミ
11	12/23	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	（講義）咬合回復治療後のメインテナンス 2		野崎 浩佑	関連 SBOs 9 ミーティング ID: 972
12	12/23	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	（講義）顎機能異常		西山 暁	関連 SBOs 9 ミ
13-15	12/26	12:50-15:40	歯学科第 3 講義室, 遠隔授業（同期型）	（講義）特殊な義歯（即時義歯, 治療用義歯, 顎義歯）		隅田 由香, 原口 美穂子, Elbashti Mahmoud Ellarousi	関連 SBOs 8 ミーティング ID: 972
16-17	1/9	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	（実習）調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	AL	野崎 浩佑, 古木 譲, 吉田 隆義, 武井 秀典, 田中 義浩, 山崎 有子, 岡田 大蔵, 大竹 志保	関連 SBOs 4,5
18	1/9	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	（講義）補綴後の咀嚼様相		笛木 賢治	関連 SBOs 7 ミ
19-21	1/14	09:00-11:50	補綴実習室	（実習）調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバ	AL	野崎 浩佑, 古木 譲, 吉田 隆義, 武	関連 SBOs 4,5

				イト法		井 秀典, 田 中 義浩, 山 崎 有子, 岡 田 大蔵, 大 竹 志保	

成績評価の方法

・レポート内容により総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布される資料などを熟読の上、臨むこと。また調節性咬合器実習は、当日までに各種咬合器の特徴と臨床応用の講義を復習しておくとともに、事前に配布される実習書を熟読して臨むこと。

試験の受験資格

・講義はユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。また、実習は全ユニット実習コマ数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット名：咬合回復統合

モジュールの単位判定

・レポート内容により総括的に評価する。

備考

本ユニットにおいては一部アクティブラーニング（実習）を行う。

野﨑　浩佑　k.nozaki.fpro(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス（@）の部分を@に変えてください.

時間割番号	021157				
科目名	臨床体験実習			科目 ID	DD-452200-E
担当教員	木下淳博　　則武　加奈子				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:48(0)

授業形態:実習

モジュール番号:22

授業の目的、概要等

医療現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/6	09:00-09:50	
2	9/6	10:00-10:50	
3	9/6	11:00-11:50	
4	9/13	09:00-09:50	
5	9/13	10:00-10:50	
6	9/13	11:00-11:50	
7	9/27	09:00-09:50	
8	9/27	10:00-10:50	
9	9/27	11:00-11:50	
10	10/11	09:00-09:50	
11	10/11	10:00-10:50	
12	10/11	11:00-11:50	
13	10/18	09:00-09:50	
14	10/18	10:00-10:50	
15	10/18	11:00-11:50	
16	10/25	09:00-09:50	
17	10/25	10:00-10:50	
18	10/25	11:00-11:50	
19	11/1	09:00-09:50	
20	11/1	10:00-10:50	
21	11/1	11:00-11:50	
22	11/15	09:00-09:50	
23	11/15	10:00-10:50	
24	11/15	11:00-11:50	
25	11/22	09:00-09:50	
26	11/22	10:00-10:50	
27	11/22	11:00-11:50	
28	11/29	09:00-09:50	
29	11/29	10:00-10:50	
30	11/29	11:00-11:50	
31	12/6	09:00-09:50	
32	12/6	10:00-10:50	
33	12/6	11:00-11:50	
34	12/13	09:00-09:50	

35	12/13	10:00-10:50	
36	12/13	11:00-11:50	
37	12/20	09:00-09:50	
38	12/20	10:00-10:50	
39	12/20	11:00-11:50	
40	12/27	09:00-09:50	
41	12/27	10:00-10:50	
42	12/27	11:00-11:50	
43	1/10	09:00-09:50	
44	1/10	10:00-10:50	
45	1/10	11:00-11:50	
46	1/17	09:00-09:50	
47	1/17	10:00-10:50	
48	1/17	11:00-11:50	

成績評価の方法

D6体験実習、コンピュータシミュレーション実習の各ユニットの評点を1:1で按分して成績を付与する

成績評価の基準

両ユニットの到達目標をすべて達成した場合はA評価(80点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

WebClassに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

構成ユニット

01 D6体験実習

02 コンピュータシミュレーション実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

最終回終了時までに、科目評価(歯学科授業評価アンケートコース)の「D6 体験実習」および「コンピューターシミュレーション実習」に回答していること。

時間割番号	021158				
科目名	D6体験実習			科目 ID	DD-452201-E
担当教員	木下淳博				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:臨床体験実習
コマ数:24+0
授業形態:実習
ユニット番号:01

授業の目的、概要等

包括臨床実習現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。
歯科における治療計画立案の重要性を理解し、症例分析能力・治療計画立案能力を修得する。
包括臨床実習現場において、実際の患者さんに医療面接を行い、将来の歯科医師としての自覚を高め、医療面接に必要な基本的態度と知識を身につける。

授業の到達目標

1) 感染予防の概念を理解し、適切に実践できる。
2) 歯科臨床に必要な基本的態度(守秘義務、言動、服装等)を実践できる。
3) 診療室への患者の誘導を適切にできる。
4) 歯科診療の診査・検査結果を記録できる。
5) 歯科治療のアシストができる。
6) 歯科治療の準備ができる。
7) 口腔内状態の記録ができる。
8) 一口腔内で保存治療および 補綴治療を行った(行う必要のある)ひとりの患者について, 過去の治療経過および今後の治療方針を理解し, その内容をプレゼンテーションできる.
9) 他の学生による上記プレゼンテーションの内容を理解し、討論ができる。
10) 患者に挨拶して自己紹介できる。
11) 診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。
12) 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。
13) 初診時の主訴、初診時の現症、初診時までの病歴(初診時の現病歴)、既往歴、 現在の状態に関する医療面接が実施でき、適切に記録できる。
14) 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。
15) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
16) 的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。

成績評価の方法

・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。
・各回の討論において, 形成的評価を行う。
・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

成績評価の基準

到達目標をすべて達成した場合は A 評価(80 点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

WebClass に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

・最終回終了時までに、科目評価（歯学科授業評価アンケートコース）の「D6 体験実習」に回答していること。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

医療面接法 ： よりよい医師−患者関係のために／C.Knight Aldrich [著],田口博國 訳.：医学書院, 2000

備考

・第4学年学生を、グループ1、2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとコンピュータシミュレーション実習ユニットを交互に履修する。
・本ユニット内では、各グループを10名程度の3班に分け、各班学生を臨床系分野教員１名が担当する。

時間割番号	021159			
科目名	コンピュータシミュレーション実習		科目 ID	DD-452202-E
担当教員	秀島雅之　木下淳博			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床体験実習
コマ数:24＋0
授業形態:実習
ユニット番号:02

授業の目的、概要等

コンピュータを用いて歯科臨床のシミュレーションを行うことにより、歯科臨床の知識, 技能を自己学習する能力を身につける。

授業の到達目標

1) シミュレーション実習室の学生用システムを適切に操作できる。
2) マネキンを患者さんとして扱い、歯科の処置を繰り返し練習して、手本を模倣することができる。(支台歯形成、レジン充填、スケーリング、ルートプレーニング、歯肉切除、歯肉整形、髄腔開拡、根管形成等)
3) コンピュータ画面上で、医療面接、診査、検査、処置、準備、診断、治療方針立案等を繰り返し行い、歯科における典型的な症例、および稀にしか遭遇できない症例をひと通り体験する。
4) マネキンまたは学生相互で概形印象採得ができる。

成績評価の方法

・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。
・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。

成績評価の基準

到達目標をすべて達成した場合は A 評価(80 点)以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

WebClass に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。
・最終回終了時までに、科目評価(歯学科授業評価アンケートコース)の「コンピューターシミュレーション実習」に回答していること。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

・第4学年学生を、グループ1, 2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとD6体験実習ユニットを交互に履修する。
・本ユニット内では、各グループを約15名の2班に分け、シミュレーション実習室(ハードシム実習)と保存矯正実習室(ソフトシム実習)に交替で分かれて実習を行う。
・包括臨床実習の日程により、グループ1、グループ2の合同実習とする日がある。

時間割番号	021160				
科目名	歯周病			科目 ID	DD-452300-Z
担当教員	岩田　隆紀, 青木　章[IWATA Takanori, AOKI AKIRA]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:歯周病
モジュール総コマ数:89
モジュール番号:23
授業形態:講義、実習、演習(PBL、グループワーク、課題発表、討論、課題試験)
(授業形態に変更があった場合、Dream campus のメッセージで連絡を行うので確認すること)

主な講義場所

講義、演習、PBL、グループワーク、課題発表、討論:オンライン(Zoom、Webclass)
実習:保存矯正示説室(7 号館 5 階)
　補綴実習室(7 号館 3 階)

授業の目的、概要等

歯周病の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を習得する。

授業の到達目標

1)歯周病の病因・病態について説明できる。
2)歯周病の予防について説明できる。
3)歯周病の診断について説明できる。
4)歯周治療の意義について説明できる。
5)歯周治療の流れについて説明できる。
6)歯周治療に必要な器具操作ができる。

成績評価の方法

各ユニットごとに、形成的評価(小テスト、製作物評価)および試験を行う。

準備学習等についての具体的な指示

講義では小テストを行う予定なので、予習をしたうえでの受講が望ましい。

試験の受験資格

・「歯周病基礎編」「歯周病臨床編」「歯周病のトピックス」では、各ユニットごとに3分の2以上出席していなければならない。
・「歯周病・歯周治療実習」では、4分の3以上出席していなければならない。

構成ユニット

1　歯周病基礎編
2　歯周病臨床編
3　歯周病・歯周治療実習
4　歯周病のトピックス

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。
なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、小テストおよび定期試験の結果、製作物、平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

ザ・ペリオドントロジー　第4版／沼部 幸博 編集,齋藤 淳 編集,梅田 誠 編集,山本 松男 編集,岩田 隆紀 編集,小方 頼昌 編集,小牧 基浩 編集,五味 一博 編集,佐藤 聡 編集,高柴 正悟 編集,高橋 慶壮 編集,辰巳 順一 編集,中島 啓介 編集,西村 英紀 編集,古市 保志 編集,三谷 章雄 編集,八重柏 隆 編集,山田 聡 編集,沼部 幸博,齋藤 淳,梅田 誠,山本 松男,岩田 隆紀,小方 頼昌,小牧 基浩,五味 一博,佐藤 聡,高柴 正悟,高橋 慶壮,辰巳 順一,中島 啓介,西村 英紀,古市 保志,三谷 章雄:永末書店, 2023

臨床歯周病学第3版／村上伸也, 申　基喆, 齋藤　淳, 山田　聡編:医歯薬出版, 2020

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳:クインテッセンス出版, 2005

Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M. G. Newman, H. H. Takei, F. A. Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳:クインテッセンス出版, 2005

参考書

カラーアトラス歯周病学／Herbert F. Wolf, Edith M. Rateitschak, Klaus H. Rateitschak 著 ; 日本臨床歯周病学会 翻訳・監修:永末書店, 2008

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 2 Volume Set, 6th Edition／Niklaus P. Lang, Jan Lindhe:Wiley-Blackwell, 2015

Newman and Carranza's Clinical Periodontology,13th Edition／Michael G. Newman, Henry Takei, Perry R. Klokkevold, Fermin A. Carranza:Saunders, 2019

Periodontology／Herbert F. Wolf, Edith M Klaus H. Rateitschak:Thieme, 2004

インプラント周囲炎／ステファン・レンバート, ジャン・ルイ・ジョバンノーリ 著;山本松男, 弘岡秀明, 和泉雄一 監訳:クインテッセンス出版, 2013

Peri-Implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli:Quintessence, 2012

備考

責任教員: MC　岩田隆紀　主任教授　iwata.peri@tmd.ac.jp

副MC　青木 章　担当教授　aoperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー:月～木　17:00-18:00　10号館7階歯周病学分野

時間割番号	021161			
科目名	歯周病基礎編		科目ID	DD-452301-L
担当教員	前川　祥吾[MAEKAWA Shougo]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯周病
ユニットコマ数:9(講義7＋演習(AL、試験)2)
必要自習時間:4時間
授業形態:対面授業
(授業形態に変更があった場合、Dream campus のメッセージで連絡を行うので確認すること)
ユニット番号:1

主な講義場所

@1 号館 7 階歯学部基礎実習室
変更になる場合は Dream Campus を参照すること。

授業の目的、概要等

生涯にわたって健全な歯列と咬合を維持することの重要性を理解し、歯周組織の常態および歯周病の成因を理解する。

授業の到達目標

1)歯周病・歯周治療について説明できる。
2)歯周組織の機能および構造について説明できる。
3)歯周病の病態・症状・分類について説明できる。
4)歯周病の病因(細菌, 宿主(免疫, 炎症)、環境)についてできる。
5)歯周組織の修復と再生について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/21	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	基礎編1	歯周病・歯周治療とは	岩田　隆紀	【到達目標】1) 【学習方法】講義
2	10/21	13:50-14:40	歯学部基礎実習室	基礎編2	歯周病の病態・症状・分類	片桐　さやか	【到達目標】3) 【学習方法】講義
3	10/21	14:50-15:40	歯学部基礎実習室	基礎編3	歯周病の病因1:宿主、環境	小林　宏明	【到達目標】4) 【学習方法】講義 【その他】AL:グループ討議あり
4	10/21	15:50-16:40	歯学部基礎実習室	基礎編4	歯周病の病因1:宿主、環境	前川　祥吾	【到達目標】4) 【学習方法】講義 【その他】AL:グループ討議あり
5	10/31	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	基礎編5	歯周組織の病理変化	前川　祥吾	【到達目標】2) 【学習方法】講義
6	10/31	10:00-10:50	歯学部基礎実習室	基礎編6	歯周病の病因:プラークとバイオフィルム	芝　多佳彦	【到達目標】4) 【学習方法】講義
7	10/31	11:00-11:50	歯学部基礎実習室	基礎編7	歯周病の病因:プラークとバイオフィルム	芝　多佳彦	【到達目標】4) 【学習方法】講義
8	10/31	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	基礎編8	歯周組織再生:ティッシュエンジニアリング	岩田　隆紀	【到達目標】5) 【学習方法】講義
9	11/21	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	ユニット試験	筆記試験	前川　祥吾	【到達目標】1、2、3、4、5) 【学習

							方法】対面筆記試験 【その他】

授業方法

基本対面で授業を行う。

ユニット試験は筆記試験(対面式)を予定している。

成績評価の方法

適宜、形成的評価(小テスト)を行う。

総括的評価として、ユニットの講義終了後に筆記試験を行う。

準備学習等についての具体的な指示

基礎科目(組織学、病理学、生理学、細菌学等)を復習し、1. 正常歯周組織の構造と機能、2. 炎症の機序、3. 炎症に伴う歯周組織の病理的変化、4. 細菌の分類とその病原因子、5. 免疫担当細胞とその機能、6. 骨の代謝、について理解しておくこと。

試験の受験資格

本ユニットの授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

授業が行われる日は 2 日間しかないため(各 4 時間ずつ実施予定)、充分注意すること。

Webclass による視聴がある場合、その期限は歯周病基礎編の試験前日(2024 年 11 月 20 日)とする。

モジュールの単位判定

適宜、形成的評価(小テスト)を行うことあり。

総括的評価として、ユニットの講義終了後に筆記試験を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー 第4版／沼部 幸博 編集,齋藤 淳 編集,梅田 誠 編集,山本 松男 編集,岩田 隆紀 編集,小方 頼昌 編集,小牧 基浩 編集,五味 一博 編集,佐藤 聡 編集,高柴 正悟 編集,高橋 慶壮 編集,辰巳 順一 編集,中島 啓介 編集,西村 英紀 編集,古市 保志 編集,三谷 章雄 編集,八重柏 隆 編集,山田 聡 編集,沼部 幸博,齋藤 淳,梅田 誠,山本 松男,岩田 隆紀,小方 頼昌,小牧 基浩,五味 一博,佐藤 聡,高柴 正悟,高橋 慶壮,辰巳 順一,中島 啓介,西村 英紀,古市 保志,三谷 章雄:永末書店, 2023-02-20

臨床歯周病学 第3版／村上伸也, 申基喆,齋藤 淳, 山田 聡 編:医歯薬出版, 2020

Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman, H.H.Takei, F.A.Carranza 編著. 申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳.:クインテッセンス出版, 2005

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著. 岡本浩 監訳.:クインテッセンス出版, 2005

参考書

ペリオのための重要 16 キーワードベスト 320 論文 : 世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出／和泉雄一, 伊藤公一, 佐藤秀一 監修,岩野義弘, 武田朋子, 松浦孝典, 水谷幸嗣 著,和泉, 雄一,伊藤, 公一, 1947-,佐藤, 秀一, 歯学,岩野, 義弘,武田, 朋子,松浦, 孝典,:クインテッセンス出版, 2015

歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文 : Q&A で深める歯科衛生士臨床 : 世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出／和泉雄一, 佐藤秀一 監修,岩野義弘, 髙山忠裕, 武田朋子, 松浦孝典, 水谷幸嗣, 村上惠子 著,和泉, 雄一,佐藤, 秀一, 歯学,岩野, 義弘,髙山, 忠裕,武田, 朋子,:クインテッセンス出版, 2017

Newman and Carranza's clinical periodontology／[edited by] Michael G. Newman, Henry H. Takei, Perry R. Klokkevold ; Fermin A. Carranza, editor emeritus,Carranza, Fermin A.,Newman, Michael G.,Takei, Henry H.,Klokkevold, Perry R,:Elsevier, 2019

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 6th Edition／Jan Lindhe, Niklaus P. Lang, Thorkild Karring.:Wiley-Blackwell, 2015

Color Atlas of Dental Medicine: Periodontology／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak.:Thieme, 2004

歯周病学 : ラタイチャークカラーアトラス／Herbert F. Wolf, Edith M. , Klaus H. Rateitschak [著],日本臨床歯周病学会 翻訳・監修,大口弘和, 加藤熙 総監訳,川崎仁, 鈴木文雄, 船越栄次 監訳,Wolf, Herbert F,Rateitschak, Edith M,Rateitschak, Klaus H,大口, 弘和,加藤, 熙, 1938-,川崎, 仁,鈴木, 文雄,船越, 栄次,日本臨床歯周病学会,:永末書店, 2008

Peri-implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli,Renvert, Stefan,Giovannoli, Jean-Louis,:Quintessence International, 2012

インプラント周囲炎／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli 著,Renvert, Stefan,Giovannoli, Jean-Louis,山本, 松男,弘岡, 秀明,和泉, 雄一,:クインテッセンス出版, 2013

歯周病と全身の健康／日本歯周病学会編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

紙媒体での出席判定を行う。 Zoom や Webclass での授業がある場合は、出席判定はアクセスログを用いて行う。

備考

実務担当:前川祥吾
maekawa.peri@tmd.ac.jp
10号館7階　歯周病学分野第3研究室

時間割番号	021162			
科目名	歯周病臨床編		科目ID	DD-452302-L
担当教員	片桐　さやか[KATAGIRI SAYAKA]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯周病
ユニットコマ数:21(講義18＋演習(AL、試験)3)
必要自習時間:4時間
授業形態:講義(遠隔授業)
(授業形態に変更があった場合、Dream campus のメッセージで連絡を行うので確認すること。)
ユニット番号:2

主な講義場所

歯学部基礎実習室

授業の目的、概要等

歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。

授業の到達目標

1) 歯周病の検査・診断を説明する。
2) 歯歯周病の治療計画の立案法を説明する。
3) 歯周基本治療を手順および方法を説明する。
4) プラークコントロールの意義および方法を説明する。
5) スケーリング・ルートプレーニングの意義および方法を説明する。
6) 咬合性外傷とその治療法について説明する。
7) 歯周外科手術の種類と適応症、歯周組織再生治療について説明する。
8) 根分岐部病変・歯内-歯周病変の診断および治療法を説明する。
9) 歯周治療における薬物療法の目的および方法を説明する。
10) 歯周治療のメインテナンスをの意義および方法を説明する。
11) 歯周病と全身疾患との関係について説明する。
12) 歯周治療における矯正治療の意義を説明する。
13) 歯周治療におけるインプラント治療の意義を説明する。
14) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/7	13:50-14:40	歯学部基礎実習室	歯周病の検査・診断・治療計画1	歯周疾患の症状、診断、治療方針の立案、歯周治療の進め方	青木　章	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義
2	11/7	14:50-15:40	歯学部基礎実習室	歯周病の検査・診断・治療計画2	歯周疾患の症状、診断、治療方針の立案、歯周治療の進め方	青木　章	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義
3	11/7	15:50-16:40	歯学部基礎実習室	歯周基本治療1	歯周基本治療について、プラークコントロール、習癖	前川　祥吾	【到達目標】3)、4) 【学習方法】講義
4	11/8	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	歯周基本治療2	咬合性外傷の原因と臨床症状、診査、咬合調整、ブラキシズムに対する対応	芝　多佳彦	【到達目標】3)、6) 【学習方法】講義
5	11/8	10:00-10:50	歯学部基礎実習室	歯周基本治療3	スケーリング・ルートプレーニング、スケーラーの種類、シャープニング	水谷　幸嗣	【到達目標】3)、5) 【学習方法】講義
6	11/8	11:00-11:50	歯学部基礎実習室	歯周基本治療3	スケーリング・ルートプレーニング、スケーラーの種類、シャープ	水谷　幸嗣	【到達目標】3)、5) 【学習方法】講義

					ニング		
7	11/21	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	歯周治療における薬物療法	薬物療法の目的と効果、局所薬物伝達両方	前川 祥吾	【到達目標】9) 【学習方法】講義
8	11/21	10:00-10:50	歯学部基礎実習室	ペリオドンタルメディシン	歯周病と全身疾患の関わり	片桐 さやか	【到達目標】11) 【学習方法】講義
9	11/21	11:00-11:50	歯学部基礎実習室	歯周外科手術・歯周組織再生療法1	歯周外科の目的、種類、器具、手順、外科的療法と非外科的療法との比較。再生療法、歯周形成外科について	岩田 隆紀	【到達目標】7) 【学習方法】講義
10	11/22	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	歯周外科手術・歯周組織再生療法2	歯周外科の目的、種類、器具、手順、外科的療法と非外科的療法との比較。再生療法、歯周形成外科について	岩田 隆紀	【到達目標】7) 【学習方法】講義
11	11/22	13:50-14:40	歯学部基礎実習室	歯周外科手術・歯周組織再生療法3	歯周外科の目的、種類、器具、手順、外科的療法と非外科的療法との比較。再生療法、歯周形成外科について	岩田 隆紀	【到達目標】7) 【学習方法】講義
12	11/22	14:50-15:40	歯学部基礎実習室	根分岐部病変・エンドペリオ病変	根分岐部病変・歯内-歯周病変の分類、治療法	芝 多佳彦	【到達目標】8) 【学習方法】講義
13	11/25	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	歯周光線治療	歯周炎およびインプラント周囲炎におけるレーザー・LED の応用	青木 章	【到達目標】3)、13)、14) 【学習方法】講義
14	11/25	10:00-10:50	歯学部基礎実習室	メインテナンス	メインテナンスと SPT、治癒と病状安定	前川 祥吾	【到達目標】10) 【学習方法】講義
15	11/25	11:00-11:50	歯学部基礎実習室	歯周治療と矯正治療	歯周治療と矯正治療の関わり	森山 啓司	【到達目標】12) 【学習方法】講義
16	12/9	13:50-14:40	歯学部基礎実習室	症例供覧	症例供覧	土岡 弘明	【到達目標】14) 【学習方法】講義
17	12/9	14:50-15:40	歯学部基礎実習室	症例供覧	症例供覧	土岡 弘明	【到達目標】14) 【学習方法】講義
18	12/11	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	歯周治療とインプラント治療	歯周治療とインプラント治療の関わり	下岸 将博	【到達目標】12) 【学習方法】講義
19	12/11	13:50-14:40	歯学部基礎実習室	歯周治療のまとめ(問題演習)1	AL 歯周病・歯周治療に関する問題演習	大杉 勇人	【到達目標】1-14) 【学習方法】演習、AL
20	12/11	14:50-15:40	歯学部基礎実習室	歯周治療のまとめ(問題演習)2	AL 歯周病・歯周治療に関する問題演習	大杉 勇人	【到達目標】1-14) 【学習方法】演習、AL
21	1/8	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	筆記試験	筆記試験	片桐 さやか	【到達目標】1-14) 【学習方法】演習(試験) 【備考】第2、3講義室にて実施予定

授業方法

ZOOM もしくは webclass を用いた講義とする。
問題演習は AL とする。

授業内容

歯周治療を行うにあたり必要な知識・技能の講義とする。

成績評価の方法

ユニット授業において AL(問題演習)を行う。
適宜、形成的評価(小テスト)を行う。
総括的評価として、ユニットの講義終了後に筆記試験を行う。この際、出席状況等も加味する。

成績評価の基準

小テスト、筆記試験、出席状況を加味して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

これまで基礎科目(生化学、組織学、病理学、生理学、薬理学、細菌学等)、臨床科目で学んだこと、また歯周病基礎編で学んだことを復習し講義に臨むこと。
各回の授業に関し、事前に予習をして講義に臨むこと。

試験の受験資格

本ユニットの授業時間数(Webclass による視聴含む)のうち、3分の2以上出席していなければならない。
Webclass による視聴期限は講義最終日の翌日とする。

モジュールの単位判定

適宜、形成的評価(小テスト)を行う。
総括的評価として、ユニットの講義終了後に筆記試験を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー 第4版／沼部 幸博 編集,齋藤 淳 編集,梅田 誠 編集,山本 松男 編集,岩田 隆紀 編集,小方 頼昌 編集,小牧 基浩 編集,五味 一博 編集,佐藤 聡 編集,高柴 正悟 編集,高橋 慶壮 編集,辰巳 順一 編集,中島 啓介 編集,西村 英紀 編集,古市 保志 編集,三谷 章雄 編集,八重柏 隆 編集,山田 聡 編集,沼部 幸博,齋藤 淳,梅田 誠,山本 松男,岩田 隆紀,小方 頼昌,小牧 基浩,五味 一博,佐藤 聡,高柴 正悟,高橋 慶壮,辰巳 順一,中島 啓介,西村 英紀,古市 保志,三谷 章雄:永末書店, 2023
臨床歯周病学／村上伸也 [ほか] 編,村上, 伸也,申, 基喆,齋藤, 淳,山田, 聡,:医歯薬出版, 2020
歯周病およびインプラント周囲組織の疾患と状態に関する新分類 : アメリカ歯周病学会〈AAP〉/ヨーロッパ歯周病連盟〈EFP〉共催 2017 ワールドワークショップ会議録／Kenneth S.Kornman, Maurizio S.Tonetti 共編,村上伸也 監訳,日本歯周病学会, 日本臨床歯周病学会 共訳,Kornman, Kenneth S,Tonetti, Maurizio S,村上, 伸也, 1959-,日本歯周病学会,日本臨床歯周病学会,:クインテッセンス出版, 2020
Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳,Lindhe, Jan,Karring, Thorkild,Lang, Niklaus P,岡本, 浩, 1940-,:クインテッセンス出版, 2005
Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman, H.H.Takei, F.A.Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳,Newman, Michael G,Takei, Henry H, 1938-,Carranza, Fermin A,申, 基喆,河津, 寛, 1950-,嶋田, 淳, 1954-,:クインテッセンス出版, 2005

参考書

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 7th Edition／Niklaus P. Lang, Tord Berglundh, William V. Giannobile, Mariano Sanz : Wiley-Blackwell, 2021
PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる!スタッフも楽しくなる!歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法 : 医療コミュニケーションの専門家による確かな解説と歯周病専門医による 8 つの実例でサクサク理解!／新田浩, 礪波健一, 土岡弘明監著 ; 斎田寛之 [ほか] 著,新田, 浩(歯科医),礪波, 健一,土岡, 弘明,斎田, 寛之,:クインテッセンス出版, 2020
歯科用レーザー120%活用術 : よく・わかる／青木章, 和泉雄一 編著,青木, 章, 1963-,和泉, 雄一,:デンタルダイヤモンド社, 2012
歯周治療・インプラント周囲治療のための Er: YAG レーザーパーフェクトガイド : ベーシックから最新アドバンスまで／青木章, 谷口陽一, 水谷幸嗣 編著,青木, 章, 1963-,谷口, 陽一,水谷, 幸嗣,:Hyoron, 2023
非外科治療による歯周病コントロール : 歯科医師・歯科衛生士のための Clinical handbook／Paul A. Levi, Jr. [ほか] 著,Levi, Paul A.,Rudy, Robert J.,Jeong, Y. Natalie,Coleman, Daniel K.,和泉, 雄一,木下, 淳博,長澤, 敏行,青木, 章,:医歯薬出版, 2018
非外科的歯周治療 : 歯科衛生士の力でここまでできる／Marisa Roncati 著,和泉雄一, 浦野智 監訳,Roncati, Marisa,和泉, 雄一,浦野, 智,:クインテッセンス出版, 2018
歯周治療のガイドライン／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2022
糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2015
歯周病患者における抗菌薬適正使用のガイドライン／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2020
歯周病患者における再生治療のガイドライン／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会:医歯薬出版, 2014

他科目との関連

歯周病学基礎編の知識を有している前提での講義である。

履修上の注意事項
毎回、講義終了後に形成的評価(小テスト)を行うので、予め授業内容に関する予習が必要である。
備考
実務担当:片桐さやか　kataperi@tmd.ac.jp 10号館7階　歯周病学分野第4研究室

時間割番号	021163			
科目名	歯周病・歯周治療実習		科目ID	DD-452303-E
担当教員	岩田　隆紀, 水谷　幸嗣[IWATA Takanori, MIZUTANI KOJI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

保存矯正示説室(7号館5階)

補綴実習室(7号館3階)

授業の目的、概要等

歯周治療に必要な基本的な知識を理解し、その技能および態度を習得する。

全回とも実習あるいは試験によるアクティブラーニングを行う。

授業の到達目標

1) 歯周組織の構造および機能を説明する。
2) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を列挙する。
3) プロービングを含む歯周病の各種検査を実施する。
4) プラークコントロールの重要性と口腔清掃法を説明する。
5) スケーリングに必要な器具を列挙し、模型上で操作する。
6) 歯周外科手術に必要な器具を列挙し、操作する。
7) 咬合調整に必要な器具を列挙し、模型上で実施する。
8) 固定法に必要な器具を列挙し、模型上で実施する。
9) ナイトガードの製作・調整に必要な器具を列挙し、実施する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/1	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	歯周組織の構造　歯周病の検査	歯周組織の構 造・機能を学び、歯周病の検査(プロービング)を習得する	木下　淳博, 青木　章, 岩田　隆紀, 須永　昌代, 秋本　健, 原田　悠介, 水谷　幸嗣	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
4-6	10/7	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	歯周組織観察　精密検査　プラークコントロール	歯周病の検査を 習得する。プラークコントロールの重要性を学び、必要な器具操作を習得する	大杉　勇人, 臼井　通彦	【到達目標】2)、3)、4) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
7-9	10/18	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	スケーリング・ルートプレーニング 1	スケーリング・ ルートプレーニングに必要な器具操作を習得する	水谷　幸嗣, 妻沼　有香	【到達目標】5) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴

10-12	10/28	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	スケーリング・ルートプレーニング 2	スケーリング・ ルートプレーニングに必要な器具操作を習得する	水谷 幸嗣, 古瀬 大治	【到達目標】5) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴 ctice.shtml) 【備考】抜去歯を持参
13-15	11/5	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	咬合調整 1	咬合調整に必要 な器具操作を習得する	坪川 正樹, 三上 理沙子	【到達目標】7) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
16-18	11/13	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	咬合調整 2	咬合調整に必要 な器具操作を習得する	片桐 さやか, 小島 丈尚, 前川 祥吾	【到達目標】7) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
19-21	11/14	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	歯周外科 1 ナイトガード 1	歯肉切除術について、顎模 型を用いてその器具操作を習得する 石膏模型の咬合器装着を行う	前川 祥吾, 水谷 幸嗣	【到達目標】9) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
22-24	11/15	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	ナイトガード 2	ナイトガードに 必要な器具操作を習得する	前川 祥吾, 水谷 幸嗣	【到達目標】9) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
25-27	11/21	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	固定	固定法に必要な 器具操作を習得する	大杉 勇人	【到達目標】8) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴

28-30	11/25	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	歯周外科 2	フラップ手術について、顎模型を用いてその器具操作を習得する	片桐 さやか, 大杉 勇人, 菊池 重成	【到達目標】6) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
31-33	11/28	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	歯周外科 3	フラップ手術について、豚下顎骨を用いてその器具操作を習得する 歯科用レーザーを体験する	青木 章, 神山 剛史, 水谷 幸嗣	【到達目標】6) 【学習方法】実習 【事前学習】歯周病学基礎実習動画視聴
34-36	12/16	13:50-16:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	実習試験	OSCE 形式で 2 題の実習試験を行う	片桐 さやか, 水谷 幸嗣, 前川 祥吾, 大杉 勇人, 三上 理沙子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】実習 病学基礎実習動画視聴 ctice.shtml)、小テスト回答復習

成績評価の方法

実習項目ごとに、形成的評価(小テストあるいは製作物評価)を行う。
最終回に、総括的評価として OSCE 形式の試験を行う。

準備学習等についての具体的な指示

日本歯周病学会監修の歯周病学基礎実習動画(http://www.perio.jp/news/basic_practice.shtml)を見て、実習の内容を予習する。
これらを見て不明な部分は、提示した教科書や参考書等を用いて事前に調べておく。

試験の受験資格

本ユニットの授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

実習項目ごとに、形成的評価(小テストあるいは製作物評価)を行う。
最終回に、総括的評価として OSCE 形式の試験を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー／沼部, 幸博, 1958-,齋藤, 淳,梅田, 誠,山本, 松男,岩田, 隆紀,沼部幸博, 齋藤淳, 梅田誠, 山本松男, 岩田隆紀 編集主幹:永末書店, 2023.2
臨床歯周病学／村上, 伸也, 1959-,申, 基喆,齋藤, 淳,村上伸也, 申基喆, 齋藤淳, 山田聡 編:医歯薬出版, 2020.2
Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Lindhe, Jan,Karring, Thorkild,Lang, Niklaus P,岡本, 浩, 1940-,Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳:クインテッセンス出版, 2005.6
Carranza's クリニカルペリオドントロジー／Newman, Michael G,Takei, Henry H, 1938-,Carranza, Fermin A,申, 基喆,河津, 寛, 1950-,嶋田, 淳, 1954-,M.G.Newman, H.H.Takei, F.A.Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳:クインテッセンス出版, 2005.4

参考書

歯周病学 : ラタイチャークカラーアトラス／Wolf, Herbert F,Rateitschak, Edith M,Rateitschak, Klaus H,日本臨床歯周病学会,大口, 弘和,加藤, 熙, 1938-,川崎, 仁,鈴木, 文雄,船越, 栄次,Herbert F. Wolf, Edith M. , Klaus H. Rateitschak [著],日本臨床歯周病学会 翻訳・監修,大口弘和, 加

藤熙 総監訳,川崎仁, 鈴木文雄, 船越栄次 監訳:永末書店, 2008.6
歯周病学 : ラタイチャークカラーアトラス／Wolf, Herbert F,Rateitschak, Edith M,Rateitschak, Klaus H,日本臨床歯周病学会,大口, 弘和,加藤, 熙, 1938-,川崎, 仁,鈴木, 文雄,船越, 栄次,Herbert F. Wolf, Edith M. , Klaus H. Rateitschak [著],日本臨床歯周病学会 翻訳・監修,大口弘和, 加藤熙 総監訳,川崎仁, 鈴木文雄, 船越栄次 監訳:永末書店, 2008.6
非外科治療による歯周病コントロール : 歯科医師・歯科衛生士のための Clinical Handbook／Levi, Paul A,Rudy, Robert J,Jeong, Y.Natalie,和泉, 雄一,木下, 淳博, 歯学,長澤, 敏行,Paul A.Levi,Jr., Robert J.Rudy, Y.Natalie Jeong, Daniel K.Coleman 著,和泉雄一, 木下淳博, 長澤敏行, 青木章 監訳:医歯薬出版, 2018.6
非外科的歯周治療 : 歯科衛生士の力でここまでできる／Roncati, Marisa,和泉, 雄一,浦野, 智,Marisa Roncati 著,和泉雄一, 浦野智 監訳:クインテッセンス出版, 2018.3
歯周外科のベーシック＆アドバンス:㈱ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2022
歯周外科のハプニング&リカバリー : 早わかり Q&A 96／和泉, 雄一,小田, 茂, 1953-,竹内, 康雄,水谷, 幸嗣,和泉雄一 監著,小田茂, 竹内康雄, 水谷幸嗣 編著:クインテッセンス出版, 2016.11

参照ホームページ

http://www.perio.jp/news/basic_practice.shtml

連絡先（メールアドレス）

水谷 幸嗣:mizuperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水谷 幸嗣:10 号館 7 階 歯周病学分野医局

時間割番号	021164			
科目名	歯周病のトピックス		科目 ID	DD-452304-L
担当教員	三上理沙子			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:歯周病
ユニットコマ数:11(講義:2、演習:9)
必要自習時間:4時間
授業形態:講義、PBL、グループワーク、課題発表、討論
(授業形態に変更があった場合、Dream campus のメッセージで連絡を行うので確認すること)
ユニット番号:4

授業の目的、概要等

歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療を行う上で必要な基本的知識を理解する。

授業の到達目標

1) 歯周病の検査・診断法を説明する。
2) 歯周病の治療計画の立案法を説明する。
3) 診療ガイドラインに基づき適切な診断、治療法を選択する。
4) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明する。
5) 現在の歯周病の予防法および治療法の課題を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	12/27	12:50-13:40	歯学部基礎実習室	PBL 実習の説明		三上 理沙子	【到達目標】1)、2)、3)、5) 【学習方法】講義、PBL
2-4	12/27	13:50-16:40	歯学部基礎実習室	PBL 実習の発表準備	グループワーク	三上 理沙子	【到達目標】1)、2)、3)、5) 【学習方法】グループワーク
5-7	1/6	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	PBL 実習の発表準備	グループワーク 中間報告発表とそのフィードバック	三上 理沙子	【到達目標】1)、2)、3)、5) 【学習方法】グループワーク、課題発表
8	1/6	15:50-16:40	歯学部基礎実習室	特別講義	「歯周治療の基本と考え方」	三上 理沙子	【到達目標】4) 【学習方法】講義
9	1/15	09:00-09:50	歯学部基礎実習室	PBL 実習の発表準備	グループワーク	三上 理沙子	【到達目標】1)、2)、3)、5) 【学習方法】グループワーク
10-11	1/15	10:00-11:50	歯学部基礎実習室	グループ発表・討議	グループディスカッション 最終プロダクト発表 プロダクト提出	三上 理沙子	【到達目標】1)、2)、3)、5) 【学習方法】課題発表、討論

授業方法

講義、演習(PBL 形式)

成績評価の方法

グループ発表のプロダクト内容、プレゼンテーション、質疑に対する受け答え等に基づき、総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

これまで基礎科目(生化学、組織学、病理学、生理学、薬理学、細菌学等)、臨床科目で学んだこと、また歯周病基礎編・臨床編で学んだことを復習し講義に臨むこと。

各回の授業に関し、積極的なグループディスカッションができるよう事前に予習をして臨むこと。

試験の受験資格

本ユニットの授業時間数(Webclass による視聴含む)のうち、3分の2以上出席していなければならない。

モジュールの単位判定

グループ発表のプロダクト内容、プレゼンテーション、質疑に対する受け答え等に基づき、総括的評価を行う。

教科書

ザ・ペリオドントロジー 第4版／沼部 幸博 編集,齋藤 淳 編集,梅田 誠 編集,山本 松男 編集,岩田 隆紀 編集,小方 頼昌 編集,小牧 基浩 編集,五味 一博 編集,佐藤 聡 編集,高柴 正悟 編集,高橋 慶壮 編集,辰巳 順一 編集,中島 啓介 編集,西村 英紀 編集,古市 保志 編集,三谷 章雄 編集,八重柏 隆 編集,山田 聡 編集,沼部 幸博,齋藤 淳,梅田 誠,山本 松男,岩田 隆紀,小方 頼昌,小牧 基浩,五味 一博,佐藤 聡,高柴 正悟,高橋 慶壮,辰巳 順一,中島 啓介,西村 英紀,古市 保志,三谷 章雄:永末書店, 2023

臨床歯周病学／村上伸也 [ほか] 編,村上, 伸也,申, 基喆,齋藤, 淳,山田, 聡,:医歯薬出版, 2020

参考書

歯周治療のガイドライン = JSP Clinical Practice Guideline for the Periodontal Treatment／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2022

歯周病患者における抗菌薬適正使用のガイドライン 2020／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2020

歯周病患者における口腔インプラント治療指針およびエビデンス 2018／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2019

糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン 2014／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2015

歯周病患者における再生治療のガイドライン 2023／日本歯周病学会 編,日本歯周病学会,:医歯薬出版, 2023

備考

PBL、グループワーク、課題発表、討論を実施する

時間割番号	021176				
科目名	咬合育成・発達			科目 ID	DD-552400-L
担当教員	森山　啓司[MORIYAMA KEIJI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:99＋3
モジュール番号:24
モジュール単位:4.9単位、モジュール授業:講義・演習:48コマ、実習:51コマ

主な講義場所

講義(演習室 1-4)または遠隔講義
7 号館 5 階)5F 示説室(7 号館 5 階)
詳細はユニット毎に指示する。

授業の目的、概要等

健全な咬合育成・発達に向けた予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。止むを得ず講義・実習の出席が不足する場合は、これらのレポートの内容により受験資格の付与を検討する。
詳細はユニット毎に指示する。

構成ユニット

01　歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断
02　小児の成長発育と咬合育成
03　歯科矯正・顎顔面矯正の治療

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数ならびに平常学習態度等が評価に加味される。

備考

モジュール責任者:森山啓司
連絡先:k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

時間割番号	021177			
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断		科目 ID	DD-552401-L
担当教員	森山　啓司[MORIYAMA KEIJI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:咬合育成・発達
コマ数:34＋1 （必修自習時間　7時間）
授業形態:講義・実習・演習
ユニット番号:01

主な講義場所

講義:演習室 1-4 または遠隔
実習:保存実習室ならびに示説室(7 号館 5 階)

授業の目的、概要等

顎顔面頭蓋の成長発育様相とその異常、正常咬合の成立に必要な要件と不正咬合の原因および矯正力や顎整形力に対する歯、骨、軟組織の生体応答性など、矯正歯科治療のメカニズムを習得する上で必要な生体の構造と機能について理解を深める。

授業の到達目標

1)顎顔面頭蓋の正常な成長発育様相について説明できる。
2)矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。
3)正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
4)不正咬合によって生じる障害を列挙できる。
5)不正咬合の分類・原因を列挙しそれに起因する障害と予防法を説明できる。
6)不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。
7)矯正力、顎整形力(矯正歯科治療)によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/2	09:00-09:50	歯学部演習室	イントロダクション	講義　WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山　啓司	
2	4/2	10:00-10:50	歯学部演習室	成長発育概論	講義　WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山　啓司	
3	4/2	11:00-11:50	歯学部演習室	頭蓋の発生および成長発育	講義　WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小川　卓也	
4	4/3	09:00-09:50	歯学部演習室	顎顔面の発生および成長発育・歯列と咬合の成長発育	講義・総論演習 1 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小川　卓也	
5	4/3	10:00-10:50	歯学部演習室	咬合概論・正常咬合	講義・総論演習 2　WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小笠原　毅	
6	4/3	11:00-11:50	歯学部演習室	顎運動と生理機能	講義・総論演習 3　WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	東堀　紀尚	
7-9	4/4	09:00-11:50	5F 示説	基礎実習(矯正線屈曲1)	実習　WebClass: IL2400402 D5	森山　啓司,	

			室, 保存矯正実習室		歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原 毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
10	4/8	09:00-09:50	歯学部演習室	不正咬合とその分類	講義 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小川 卓也	
11	4/8	10:00-10:50	歯学部演習室	不正咬合の原因(先天的・後天的原因)	講義・総論演習 4 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小林 起穂	
12	4/8	11:00-11:50	歯学部演習室	診断・医療面接・形態的検査1	講義・診断学演習 1 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	米満 郁男	
13	4/8	12:50-13:40	歯学部演習室	診断学(検査1):形態的検査 2(セファロ分析)	講義・診断学演習 2 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	石田 雄之	
14	4/8	13:50-14:40	歯学部演習室	診断学(検査2):機能検査(含呼吸・脳機能等)	講義・診断学演習 3 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	大森 浩子	
15	4/8	14:50-15:40	歯学部演習室	予防、診断学(治療方針立案1):抜歯	講義・診断学演習 4 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	松本 芳郎	
16-18	4/9	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習(矯正線屈曲2・自在鑞着)	実習 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原 毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
19-21	4/12	12:50-15:40	5F 示説	診断学実習(セファロ分	実習 WebClass: IL2400402 D5	森山 啓司,	

			室, 保存矯正実習室	析)	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原 毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
22	4/12	15:50-16:40	特別講堂	診断学(治療方針立案2):立案	講義・診断学演習 5 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	細道 純	
23	4/15	12:50-13:40	歯学部演習室	生体反応(1)歯・歯周組織	講義・診断学演習 7 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	石田 雄之	
24	4/15	13:50-14:40	歯学部演習室	生体反応(2)顎骨・顎関節・拡大等	講義・診断学演習 8 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	松本 芳郎	
25	4/15	14:50-15:40	歯学部演習室	矯正装置	講義・診断学演習 6 WebClass:IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	加藤 千帆	
26-28	4/16	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	診断学実習(矯正装置)	実習 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原 毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
29-31	4/16	12:50-15:40	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習(舌側弧線装置1)	実習 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原	

						毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
32-34	4/23	09:00-11:50	5F 示説室, 保存矯正実習室	基礎実習(舌側弧線装置2)	実習 WebClass: IL2400402 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎と診断 2024	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 小川 卓也, 松本 芳郎, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小笠原 毅, 小林 起穂, 加藤 千帆, 大森 浩子, 仁木 佑紀	
35	5/7	11:00-11:50	歯学部演習室		ユニット試験	小野 卓史, 森山 啓司	

成績評価の方法

授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに、客観的試験、論述試験(2024 年 5 月 7 日)により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。止むを得ず講義・実習の出席が不足する場合は、これらのレポートの内容により受験資格の付与を検討する。

教科書

Orthodontics Current Principles & Techniques 7th Ed.／T. M. Graber 他:ELSEVIER/MOSBY, 2022

Handbook of Orthodontics 4th Ed.／R. E. Moyers:YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988

Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition／Hennekam/Krantz/Allanson:Oxford University Press, 2010

歯科矯正学 第6版／飯田順一郎 編集代表／葛西一貴・後藤滋巳・末石研二・槇宏太郎・山城隆 編著:医歯薬出版, 2019

Contemporary Orthodontics 6th Ed.／W.R.Proffit:ELSEVIER/MOSBY, 2018

歯科矯正学エッセンシャルテキスト. 編集委員:西井康, 新井一仁, 小野卓史, 須田直人, 友成博, 不島健持, 槇宏太郎, 本吉満, 森山啓司, 山口徹太郎. 永末書店. 2023 年

参考書

アトラス顎顔面矯正 : 顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療／黒田敬之 監修,大山紀美栄, 本橋信義, 鈴木聖一 編,:医歯薬出版, 2002

Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects／Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama: Needham Press,Inc., 2012

プロフィトの現代歯科矯正学／William R.Proffit 著,高田健治 訳,:クインテッセンス出版, 2004

歯科矯正治療と顎顔面矯正治療／McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳):東京臨床出版, 2006

Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity／Proffit WR, White RP, Sarver DM:Mosby, 2002

Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著],Antonio Nanci 編著,川崎堅三 監訳,:医歯薬出版, 2006

ムーア人体発生学／Moore and Persaud 著,瀬口春道 監訳,:医歯薬出版, 2001

カラーアトラス X 線解剖学とセファロ分析法／宮下邦彦 著:クインテッセンス出版, 2009

備考

一部ユニット講義においては、AL（演習）を行う。

ユニット責任者：森山啓司
連絡先：k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

時間割番号	021178			
科目名	小児の成長発育と咬合育成		科目 ID	DD-552402-L
担当教員	柿野　聡子, 岩本　勉[KAKINO SATOKO, IWAMOTO Tsutomu]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:咬合育成・発達

ユニットコマ数:講義 17 コマ+演習 1 コマ、実習 18 コマ、試験 1 コマ

主な講義場所

講義は遠隔授業として行う。

授業の目的、概要等

GIO:胎児期から成人に至るまでの定型発達児, 障害児, 有病児の身体的成長, 精神的・心理的発達について理解し, 健全な顎口腔を育成することの臨床的意義と方法を理解する.

授業の到達目標

SBOs:成長発達期にある小児の顎口腔領域の健全な育成が生涯に亘るQOLを支えることを認識し, 顎口腔領域の疾患や異常の予防, 診察・検査, 診断, 治療の方法ならびに口腔健康管理の方法について理解する(括弧はモデルコアカリ番号)。

1) 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる(C-3-2)-④)。
2) 口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる(E-2-3)-②)。
3) 口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる(E-2-3)-③)。
4) 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる(E-3-1)-①)。
5) 乳歯の形態と特徴を説明できる(E-3-1)-②)。
6) 歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる(E-3-1)-④)。
7) 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる(E-4-2)-①)。
8) 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる(E-4-2)-②)
9) 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる(E-4-2)-③)。
10) 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる(E-4-2)-④)。
11) 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる(E-4-2)-⑤)。
12) 小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる(E-4-2)-⑥)。
13) 小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる(E-4-2)-⑦)。
14) 咬合誘導の概念を説明できる(E-4-2)-⑧)。
15) 保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる(E-4-2)-⑨)。
16) 小児患者の対応を説明できる(E-4-2)-⑩)。
17) 小児の虐待の徴候と対応を説明できる(E-4-2)-⑪)。
18) 口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる(E-4-2)-⑫)。
19) 基本的臨床技能として、小児にラバーダム防湿ができる(F-3-1)-③)。
20) 基本的臨床技能として、小児にフッ化物の歯面塗布を実施できる(F-3-6)-①)。
21) 基本的臨床技能として、幼若永久歯の予防填塞を実施できる(F-3-6)-②)。
22) 基本的臨床技能として、小児のプラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる(F-3-6)-③)。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/2	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	講義・小児の成長発育と咬合育成	1. 小児歯科概論　2. 全身の成長・発達　3. 頭蓋・顎顔面の発育	岩本　勉	教科書 第1-3章(P1-P44) SBOs:1,2,3
4-6	4/5	09:00-11:50	遠隔授業	講義・小児の成長発育と	4. 口腔機能の発達　5. 歯の発育	柿野　聡子	教科書 第4-6章

			(非同期型)	咬合育成	と異常　6. 歯列および咬合の発育と異常		(P45-P103) SBOs:3,4,5,6,7,8
7-9	4/9	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	講義・小児の成長発育と咬合育成	7. 小児期の歯・歯周組織の特徴 8. 小児への歯科的対応法　9. 小児歯科診療の流れ・医療安全	和田　奏絵	教科書 第7-10章(P104-P150) SBOs: 7,8,9,10,11,12,13
10-12	4/10	12:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	講義・小児の成長発育と咬合育成	10. う蝕　11. 歯冠修復・歯内療法 12. 歯周疾患	杉本　明日菜	教科書 第11章、12章 (P151-P246) SBOs:13,14,15,18
13-15	4/12	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	講義・小児の成長発育と咬合育成	13. 歯の外傷　14. 口腔軟組織疾患および顎疾患、外科処置　15. 咬合誘導	大石　敦之	教科書 第13-16章(P247-P337) SBOs:1,13,16
16-18	4/17	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	講義・小児の成長発育と咬合育成	16. 歯科治療上注意すべき小児の全身疾患　17. 社会的問題と小児歯科のかかわり　18. 小児歯科演習	岩本　勉	教科書 第18-20章(P368-P421) SBOs:16,17,22
19-21	4/17	12:50-15:40	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習1:ラバーダム・断髄／乳歯冠①	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs: 6,7,8,9,10,11,19
22-24	4/19	09:00-11:50	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習2:乳歯冠②	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs:9
25-27	4/19	12:50-15:40	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習3:RSM①	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs:14,15
28-30	4/22	09:00-11:50	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習4:RSM②	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs:14,15
31-33	4/24	09:00-11:50	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習5:フッ素塗布、シーラント、模型提出	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs:7,20,21
34-36	4/24	12:50-15:40	保存矯正実習室	実習・小児の成長発育と咬合育成(小児歯科学)	実習6:ロールプレイ	岩本　勉, 柿野　聡子, 和田　奏絵, 大石　敦之, 杉本　明日菜	SBOs:22
37	5/30	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の成長発育と咬合育成	試験	岩本　勉	

成績評価の方法

講義においては、課題またはレポートの提出等により，また，実習においては観察記録および口頭試験，ならびにレポートにより形成的評価を行う。

さらに，モジュール最終回の客観試験，論述試験により総括的評価を行う。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義が行われる範囲の教科書を熟読の上で授業に臨むこと。実習に際しては，実習書を読み，授業前に、WebClass（歯学部、小児の成長発育と咬合育成）の資料を確認し、あらかじめ学習し、実習に際しては、内容に対応する講義のパートを復習して臨むこと。

構成ユニット

咬合育成・発達

教科書

小児歯科学 第 6 版／白川 哲夫 編集,福本 敏 編集,岩本 勉 編集,森川 和政 編集,白川 哲夫,福本 敏,岩本 勉,森川 和政,：医歯薬出版，2023-02-01

参考書

小児歯科マニュアル／前田隆秀編集,前田，隆秀,：南山堂，2005

Pediatric dentistry : a clinical approach／editors, Göran Koch and Sven Poulsen,Koch, Göran,Poulsen, Sven,：Wiley-Blackwell，2009

Pediatric dentistry : infancy through adolescence／[edited by] Jimmy R. Pinkham ...[et al.],Pinkham, J. R.,：Elsevier Saunders，2005

McDonald and Avery's dentistry for the child and adolescent／[edited by] Jeffrey A. Dean, David R. Avery, Ralph E. McDonald,McDonald, Ralph E.,Avery, David R.,Dean, Jeffrey A.,：Mosby Elsevier，2011

備考

AL（18 回目にケース演習）を行う。

時間割番号	021179			
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の治療		科目 ID	DD-552403-L
担当教員	小野卓史			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:咬合育成・発達
コマ数:29＋1 （必修自習時間 7時間）
授業形態:講義・実習・演習
ユニット番号:03

主な講義場所

演習室 1-4 または遠隔
保存・矯正実習室(7 号館 5 階)
ロールプレイ実習(2024 年 5 月 2 日)は当日別に指示する

授業の目的、概要等

不正咬合の病因と随伴する顎口腔領域の形態・機能異常を理解し、予防と治療の意義を踏まえた上で歯科矯正・外科的矯正治療の理論と方法を修得する。

授業の到達目標

1)歯科矯正治療・外科的矯正治療の目的と意義を説明できる。
2)不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。
3)矯正歯科治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
4)矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。
5)矯正歯科治療に必要な力学を説明できる。
6)後戻りと保定について説明できる。
7)先天異常および顎変形症患者における外科的矯正治療の診断・治療法を説明できる。
8)歯科矯正治療・外科的矯正治療の治療計画を立案できる。
9)顎変形症、口唇口蓋裂患者を含む先天異常患者に対する咬合改善のための包括治療の流れを説明できる。
10)矯正歯科治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/16	15:50-16:40	歯学部演習室	イントロ:治療学概論・矯正力・固定	AL, 講義・治療学演習 1-1 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	細道 純	
2	4/22	12:50-13:40	歯学部演習室	矯正用材料の特性	AL, 講義・治療学演習 1-2 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	米滿 郁男	
3	4/22	13:50-14:40	歯学部演習室	乳歯列期・混合歯列期の治療:下顎前突	AL, 講義・治療学演習 1-3 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	細道 純	
4	4/22	14:50-15:40	歯学部演習室	混合歯列期の治療:上顎前突・習癖・歯根吸収他	AL, 講義・治療学演習 1-4 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	石田 雄之	
5-7	4/25	09:00-11:50	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習 （タイポドント1）	AL, 実習: 上顎リンガルアーチ合着 補助弾線鑞着 前歯部被蓋改善	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 松本 芳郎, 東 堀 紀尚, 辻	模型実習

						美千子, 米滿郁男, 石田雄之, 上園将慶, 小林起穂, 加藤千帆, 大森浩子, 小笠原毅, 仁木 佑紀	
8-10	4/30	12:50-15:40	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習 （タイポドント2）	AL, 実習: 上顎前歯部マルチブラケット装置接着、レベリング	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 松本 芳郎, 東堀 紀尚, 辻美千子, 米滿郁男, 石田雄之, 上園将慶, 小林起穂, 小笠原毅, 加藤 千帆, 大森 浩子, 吉澤 英之, 仁木 佑紀	模型実習
11	4/30	15:50-16:40	歯学部演習室	口唇口蓋裂患者の矯正治療	AL, 講義・治療学演習 2-2 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	小川 卓也	
12-14	5/1	09:00-11:50	保存矯正実習室	矯正治療統合実習1	AL, 実習	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 松本 芳郎, 東堀 紀尚, 辻美千子, 米滿郁男, 石田雄之, 上園将慶, 小林起穂, 小笠原毅, 加藤 千帆, 大森 浩子, 吉澤 英之, 仁木 佑紀	グループワーク、討論、ディベート
15-17	5/1	12:50-15:40	保存矯正実習室	矯正治療統合実習2	AL, 実習	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 松本 芳郎, 東堀 紀尚, 辻美千子, 米滿郁男, 石田雄之, 上園	グループワーク、討論、ディベート

						将慶, 小林 起穂, 小笠原 毅, 加藤 千帆, 大森 浩子, 吉澤 英之, 仁木 佑紀	
18-20	5/2	09:00-11:50	歯学部演習室, 歯学部基礎実習室, 保存矯正実習室	医療面接実習(ロールプレイ)	AL, 実習	森山 啓司, 小野 卓史, 細道 純, 松本 芳郎, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 米満 郁男, 石田 雄之, 上園 将慶, 小林 起穂, 小笠原 毅, 加藤 千帆, 大森 浩子, 吉澤 英之, 仁木 佑紀	面接実習、ロールプレイ、フィードバック、見学実習
21	5/20	12:50-13:40	歯学部演習室	永久歯列期の治療:上顎前突・下顎前突	AL, 講義・治療学演習 1-5 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	松本 芳郎	
22	5/20	13:50-14:40	歯学部演習室	永久歯列期の治療:開咬・過蓋咬合	AL, 講義・治療学演習 1-6 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	米満 郁男	
23	5/20	14:50-15:40	歯学部演習室	永久歯列期の治療:叢生・空隙・埋伏他	AL, 講義・治療学演習 1-7 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	加藤 千帆	
24	5/20	15:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	顎変形症総論	講義 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	東堀 紀尚	非同期
25	5/23	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	顎変形症の外科的矯正治療、TADs	AL, 講義・治療学演習 2-1 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	東堀 紀尚	非同期
26	5/23	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	先天異常総論	講義 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	辻 美千子	非同期
27	5/31	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	先天異常患者の矯正治療	AL, 講義・治療学演習 2-3 WebClass: FDS21065 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	辻 美千子	非同期
28	5/31	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	保定	AL, 講義・治療学演習 2-4 WebClass: FDS210565 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	上園 将慶	非同期
29	5/31	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	口腔衛生管理、矯正歯科治療に伴う偶発症	AL, 講義・治療学演習 2-5 WebClass: FDS210565 D5 歯科矯正・顎顔面矯正の治療 2023	仁木 佑紀	非同期

30	6/10	14:50-15:40	歯学部演習室	ユニット 03 筆記試験	客観的試験、論述試験による総括的評価	小野 卓史, 森山 啓司	

成績評価の方法

授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに、モジュールの最終回の客観的試験、論述試験(2024 年 6 月 10 日)により総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書、WebClass 配布資料ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習帳および実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
止むを得ず講義・実習の出席が不足する場合は、これらのレポートの内容により受験資格の付与を検討する。

教科書

Contemporary Orthodontics 6th Ed.／W.R.Proffit:ELSEVIER/MOSBY, 2019

Orthodontics Current Principles & Techniques 7th Ed.／L.W. Graber 他:ELSEVER/MOSBY, 2022

Handbook of Orthodontics 4th Ed.／R. E. Moyers:YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988

歯科矯正学 第6版／飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 槇宏太郎, 山城隆 編集,飯田, 順一郎,葛西, 一貴, 1955-,後藤, 滋巳, 1952-,:医歯薬出版, 2019

Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition／Hennekam/Krantz/Allanson:Oxford University Press, 2010

参考書

アトラス顎顔面矯正 -顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療-／黒田敬之監修:医歯薬出版, 2002

Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects／Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama: Needham Press,Inc., 2012

Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity／Proffit WR, White RP, Sarver DM:Mosby, 2002

矯正歯科治療 : この症例にこの装置 第 2 版／後藤滋巳, 清水典佳, 槇宏太郎, 森山啓司, 石川博之 編著,:医歯薬出版, 2017

プロフィトの現代歯科矯正学／William R.Proffit 著,高田健治 訳:クインテッセンス出版, 2004

安心・安全歯科矯正用アンカースクリューこの症例にこの方法／後藤滋巳, 清水典佳, 森山啓司, 宮澤健, 槇宏太郎, 石川博之 編著,後藤滋巳 編集代表,:医歯薬出版, 2013

歯科矯正治療と顎顔面矯正治療／McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳):東京臨床出版, 2006

口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床／高橋庄二郎 著,:日本歯科評論社, 1996

Dentfacial Deformities／Epker BN, Wolford LM:Mosby, 1981

備考

一部ユニット講義においては、AL(演習)を行う。

1 日欠席しただけで 4-6 コマ欠席になる日もあるので、試験の受験資格を喪失しないように、体調管理に十分留意するとともに、出欠には余裕をもって講義・実習に臨むこと

参照ホームページ

http://lib02.tmd.ac.jp/webclass/login.php?rnd=b43ef&language=JAPANESE

時間割番号	021180				
科目名	顎口腔医療			科目 ID	DD-552500-L
担当教員	原田　浩之, 釘本　琢磨[HARADA HIROYUKI, KUGIMOTO Takuma]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール名:顎口腔医療

コマ数:53＋3(必要自習時間31時間)
授業形態:講義、ケースディスカッション(アクティブラーニング)および実習(対面)
ユニット番号:01

主な講義場所

講義:同期型
講義・実習:歯学科演習室 1～4

授業の目的、概要等

顔面・顎・口腔の構造と機能を理解し, 顔面・顎口腔疾患の原因, 症候, 病態, 診断と治療を学ぶとともに, ケースディスカッション(アクティブラーニング)を用いながら、基本的な技能を修得する。

授業の到達目標

1)顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。
2)顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
3)顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
4)顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
5)顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
6)口腔領域に発生する粘膜疾患の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
7)顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
8)顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
9)ヒト免疫不全ウィルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。
10)顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
11)顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。
12)顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。
13)顎関節疾患の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
14)前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。
15)前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
16)顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態, 診断(組織診、画像診断), 治療と予後を概説できる。
17)エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。
18)顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態, 診断(組織診、画像診断), 治療と予後を概説できる。
19)顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。
20)唾液腺疾患の病態, 診断, 治療と予後を説明できる。
21)がん薬物療法についてその概要を説明できる。
22)外科処置が必要な薬物療法中の患者管理についてその概要を説明できる。
23)薬物関連顎骨疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。
24)顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して, 基本的検査とカルテ記載ができる。
25)顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して, 基本的な外科処置ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1	4/1	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	講義：口腔外科学総論	原田　浩之	SBO 1
2-3	4/1	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義：基本手術（抜歯）	黒嶋　雄志	SBO 25
4-6	4/1	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義：粘膜疾患	津島　文彦	SBO 6, 9
7-9	4/3	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義：嚢胞（顎骨内、軟組織）	金　裕純	SBO 11, 12
10-11	4/25	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：血液疾患	倉沢　泰浩	SBO 7, 9
12-14	4/26	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：顎変形症	友松　伸允	SBO 3
15-17	4/26	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義：歯原性腫瘍	釘本　琢磨	SBO 16, 17
18-19	5/9	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：炎症	高原　楠旻	SBO 4, 8
20-22	5/14	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：基本手術（根切、骨整形、歯の移植）	高原　楠旻	SBO 25
23	5/15	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：前癌病変	津島　文彦	SBO 14, 15
24-25	5/15	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（診断法・治療法）	富岡　寛文	SBO 18, 21
26-27	5/16	15:50-17:40	遠隔授業（同期型）	講義：骨系統疾患	原園　陽介	SBO 2
28-29	5/17	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：先天異常	森田　圭一	SBO 2
30-31	5/24	12:50-14:40	歯学部演習室	講義：悪性腫瘍（癌腫）	上田　倫弘	SBO 18
32-34	5/29	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：消毒	西井　直人	SBO 25
35	5/31	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（肉腫・黒色腫・ 悪性リンパ腫）	道　泰之	SBO 18, 19
36	5/31	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（薬物療法）	道　泰之	SBO 21, 22
37	5/31	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：良性腫瘍	黒嶋　雄志	SBO 10, 16
38-40	6/3	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：切開・縫合	高原　楠旻	SBO 25
41-43	6/3	12:50-15:40	歯学部演習室	実習：抜歯の基本手技	黒嶋　雄志	SBO 25
44-45	6/6	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：顎関節疾患	儀武　啓幸	SBO 13
46-48	6/14	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：臨床検査	友松　伸允	SBO 24
49-50	6/17	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：唾液腺疾患	富岡　寛文	SBO 20
51-52	6/17	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義：外傷	及川　悠	SBO 5
53	6/18	09:00-09:50	遠隔授業	講義：薬剤関連顎骨疾患	道　泰之	SBO 23

			(同期型)			
54-56	6/20	12:50-15:40	歯学部演習室	顔面・顎口腔疾患 試験	釘本 琢磨	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

各講義・演習の日時・場所・内容を事前に確認の上、準備学習をし、積極的に討論に参加する。

試験の受験資格

・モジュール全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

顔面・顎・口腔疾患

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、ユニットの試験に合格していなければならない。なお、ユニットの合否判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、レポート提出内容、および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,榎本, 昭二, 1936-,道, 健一, 1936-,天笠, 光雄, 1946-,:医歯薬出版, 2017

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂, 2009

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 髙戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,戸塚, 靖則,髙戸, 毅, 1953-,飯田, 順一郎,伊藤, 公一, 1947-,岡野, 友宏, 1947-,:朝倉書店, 2019

Oral and maxillofacial surgery／edited by Raymond J. Fonseca,Fonseca, Raymond J.,:Saunders, 2000

口腔外科研修ハンドブック／日本口腔外科学会 編集,原田 浩之 編集,桐田 忠昭 編集,鄭 漢忠 編集,池邉 哲郎 編集,岸本 裕充 編集,日本口腔外科学会,原田 浩之,桐田 忠昭,鄭 漢忠,池邉 哲郎,岸本 裕充,:医歯薬出版, 2022-12-23

ISBN:9784263423158

書名:口腔癌

著者名:桐田忠昭・原田浩之 編集

出版社:医歯薬出版

出版年:2023 年 9 月

参考書

一からわかる口腔外科疾患の診断と治療／角保徳, 樋口勝規, 梅村長生 編,角, 保徳, 1956-,樋口, 勝規,梅村, 長生,:医歯薬出版, 2006

Clinical review of oral and maxillofacial surgery : a case-based approach／Shahrokh C. Bagheri,Bagheri, Shahrokh C.,:Elsevier Mosby, 2014

一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル = Hand manual of oral & maxillofacial surgery : 口腔外科 year book／日本口腔外科学会 編,日本口腔外科学会,:クインテッセンス出版, 2020

備考

モジュール責任者:

原田浩之 オフィスアワー 火曜日 16:00－17:00

E-mail:hiro-harada.osur@tmd.ac.jp

釘本琢磨 オフィスアワー 月曜日午後 16:00-17:00

E-mail:kugimoto.osur@tmd.ac.jp

時間割番号	021181			
科目名	顔面・顎・口腔疾患		科目ID	DD-552501-L
担当教員	原田浩之　　釘本琢磨			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:顎口腔医療

コマ数:53＋3(必要自習時間31時間)
授業形態:講義、ケースディスカッション(アクティブラーニング)および実習(対面)
ユニット番号:01

主な講義場所

講義:同期型
講義・実習:歯学科演習室 1～4

授業の目的、概要等

顔面・顎・口腔の構造と機能を理解し，顔面・顎口腔疾患の原因，症候，病態，診断と治療を学ぶとともに，ケースディスカッション(アクティブラーニング)を用いながら、基本的な技能を修得する。

授業の到達目標

1)顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。
2)顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態，診断，治療と予後を説明できる。
3)顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
4)顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態，診断，治療と予後を説明できる。
5)顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態，診断，治療と予後を説明できる。
6)口腔領域に発生する粘膜疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
7)顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
8)顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
9)ヒト免疫不全ウィルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。
10)顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
11)顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。
12)顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。
13)顎関節疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
14)前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。
15)前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
16)顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
17)エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。
18)顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態，診断(組織診、画像診断)，治療と予後を概説できる。
19)顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。
20)唾液腺疾患の病態，診断，治療と予後を説明できる。
21)がん薬物療法についてその概要を説明できる。
22)外科処置が必要な薬物療法中の患者管理についてその概要を説明できる。
23)薬物関連顎骨疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。
24)顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して，基本的検査とカルテ記載ができる。
25)顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して，基本的な外科処置ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1	4/1	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	講義：口腔外科学総論	原田　浩之	SBO 1
2-3	4/1	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義：基本手術（抜歯）	黒嶋　雄志	SBO 25
4-6	4/1	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義：粘膜疾患	津島　文彦	SBO 6, 9
7-9	4/3	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義：嚢胞（顎骨内、軟組織）	金　裕純	SBO 11, 12
10-11	4/25	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：血液疾患	倉沢　泰浩	SBO 7, 9
12-14	4/26	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：顎変形症	友松　伸允	SBO 3
15-17	4/26	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義：歯原性腫瘍	釘本　琢磨	SBO 16, 17
18-19	5/9	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：炎症	高原　楠旻	SBO 4, 8
20-22	5/14	09:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：基本手術（根切、骨整形、歯の移植）	高原　楠旻	SBO 25
23	5/15	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：前癌病変	津島　文彦	SBO 14, 15
24-25	5/15	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（診断法・治療法）	富岡　寛文	SBO 18, 21
26-27	5/16	15:50-17:40	遠隔授業（同期型）	講義：骨系統疾患	原園　陽介	SBO 2
28-29	5/17	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：先天異常	森田　圭一	SBO 2
30-31	5/24	12:50-14:40	歯学部演習室	講義：悪性腫瘍（癌腫）	上田　倫弘	SBO 18
32-34	5/29	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：消毒	西井　直人	SBO 25
35	5/31	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（肉腫・黒色腫・ 悪性リンパ腫）	道　泰之	SBO 18, 19
36	5/31	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	講義：悪性腫瘍（薬物療法）	道　泰之	SBO 21, 22
37	5/31	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義：良性腫瘍	黒嶋　雄志	SBO 10, 16
38-40	6/3	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：切開・縫合	高原　楠旻	SBO 25
41-43	6/3	12:50-15:40	歯学部演習室	実習：抜歯の基本手技	黒嶋　雄志	SBO 25
44-45	6/6	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：顎関節疾患	儀武　啓幸	SBO 13
46-48	6/14	09:00-11:50	歯学部演習室	実習：臨床検査	友松　伸允	SBO 24
49-50	6/17	12:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義：唾液腺疾患	富岡　寛文	SBO 20
51-52	6/17	14:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義：外傷	及川　悠	SBO 5
53	6/18	09:00-09:50	遠隔授業	講義：薬剤関連顎骨疾患	道　泰之	SBO 23

			(同期型)			
54-56	6/20	12:50-15:40	歯学部演習室	顔面・顎口腔疾患 試験	釘本 琢磨	

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。

・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

各講義・演習の日時・場所・内容を事前に確認の上、準備学習をし、積極的に討論に参加する。

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、3 分の 2 以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

顔面・顎・口腔疾患

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、ユニットの試験に合格していなければならない。なお、ユニットの合否判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、レポート提出内容、および平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,榎本, 昭二, 1936-,道, 健一, 1936-,天笠, 光雄, 1946-,:医歯薬出版, 2017

外科研修マニュアル／京都大学大学院医学研究科外科学講座編集,京都大学大学院医学研究科外科学講座,:南江堂, 2009

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 髙戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,戸塚, 靖則,髙戸, 毅, 1953-,飯田, 順一郎,伊藤, 公一, 1947-,岡野, 友宏, 1947-,:朝倉書店, 2019

Oral and maxillofacial surgery／edited by Raymond J. Fonseca,Fonseca, Raymond J.,:Saunders, 2000

口腔外科研修ハンドブック／日本口腔外科学会 編集,原田 浩之 編集,桐田 忠昭 編集,鄭 漢忠 編集,池邉 哲郎 編集,岸本 裕充 編集,日本口腔外科学会,原田 浩之,桐田 忠昭,鄭 漢忠,池邉 哲郎,岸本 裕充,:医歯薬出版, 2022-12-23

ISBN:9784263423158

書名:口腔癌

著者名:桐田忠昭・原田浩之 編集

出版社:医歯薬出版

出版年:2023 年 9 月

参考書

一からわかる口腔外科疾患の診断と治療／角保徳, 樋口勝規, 梅村長生 編,角, 保徳, 1956-,樋口, 勝規,梅村, 長生,:医歯薬出版, 2006

Clinical review of oral and maxillofacial surgery : a case-based approach／Shahrokh C. Bagheri,Bagheri, Shahrokh C.,:Elsevier Mosby, 2014

一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル = Hand manual of oral & maxillofacial surgery : 口腔外科 year book／日本口腔外科学会 編,日本口腔外科学会,:クインテッセンス出版, 2020

備考

ユニット講義内では適宜ケースディスカッションなど AL を行う。

時間割番号	021182				
科目名	全身と歯科医療			科目 ID	DD-552600-L
担当教員	前田　茂[MAEDA Shigeru]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:講義 49, 実習 6, 試験 5
授業形態:講義・実習
モジュール番号:26

授業の目的、概要等

1. 歯科医療に必要な臨床医学の基本的知識を身につける。
2. 特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を学び、それに対する歯科医療の知識と基本的な技能を修得する。
3. 歯科医療に必要な全身管理ならびに麻酔に関する知識と技能を身につける。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

ユニットごとに受験資格を定める。

構成ユニット

01 有病高齢者の歯科治療
02 障害と歯科医療
03 歯科医療と麻酔
04 歯科医療と救急医療
05 歯科での局所麻酔

モジュールの単位判定

すべてのユニットに合格していなければならない. なお, ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては, 出席日数, 提出レポート内容及び平常の学習態度などが評価に加味される.

教科書

歯科麻酔学／一戸達也 [ほか] 編 ; 福島和昭 [ほか] 執筆,一戸, 達也,福島, 和昭,:医歯薬出版, 2019
Miller's anesthesia／editor-in-chief, Michael A. Gropper ; honorary editor, Ronald D. Miller ; co-editors, Neal H. Cohen ... [et al.],Gropper, Michael A.,Miller, Ronald D.,Cohen, Neal H.,:Elsevier, 2020

備考

前田　茂
maedas.daop@tmd.ac.jp
オフィスアワー:火木 16 時から 18 時

時間割番号	021183			
科目名	有病高齢者の歯科治療		科目 ID	DD-552601-L
担当教員	猪越　正直[INOKOSHI MASANAO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:全身と歯科医療

コマ数:6+1
授業形態:同期型オンライン講義
必要自習時間:6 時間
ユニット番号:01

主な講義場所

Zoom による同期型オンライン講義

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な老年医学の基本的知識を修得する。 有病高齢者の歯科医療における特異性について理解する。歯科治療に関わる全身疾患について理解を深める。日本の超高齢者社会における歯科の役割、医科との関わりを理解する。

授業の到達目標

1) 加齢による口腔領域ならびに全身の生理的･病的変化を説明できる。
2) 高齢者の代表的な全身疾患の概念について説明できる。
3) 高齢者の代表的な全身疾患について自身で調査し、その詳細を理解し応用することができる。
4) 口腔領域疾患と全身疾患との関連について正確な医学的知識を背景に説明できる。
5) 歯科治療が高齢者の全身状態に及ぼす有害な影響を最小限にとどめるような全身管理を実践できる。
6) 超高齢社会において歯科医師の果たすべき役割について説明できる。
7) 学習した知識を国家試験問題への回答に応用できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1-3	4/5	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義　有病高齢者の歯科治療	講義　D5 有病高齢者の歯科治療	猪越　正直	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】同期型講義 ミーティング ID: パスコード:
4-6	4/8	15:50-18:40	遠隔授業（同期型）	講義　有病高齢者の歯科治療	講義　D5 有病高齢者の歯科治療	猪越　正直	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】同期型講義 ミーティング ID: パスコード:
7	4/17	17:50-18:40	歯学部演習室	試験　有病高齢者の歯科治療		猪越　正直	

授業方法

・同期型授業は、オンライン講義とする。

・同期型授業では、GoogleForm 等を使った参加型講義を実施する。

授業内容

有病高齢者に歯科治療を提供するにあたって必要な知識を学習する。

成績評価の方法

・ユニット最終日(2024 年 4 月 17 日・水)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

・筆記試験不合格の場合には適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

循環器、呼吸器、神経の基本的な解剖学と機能について理解する。

他の講義で学習した正常成人のバイタルサインについて理解をしておく。

高齢者と一般健常人との一般的な違いを理解しておく。

試験の受験資格

・ユニットの全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

有病高齢者の歯科治療

モジュールの単位判定

ユニット最後に実施する筆記試験の成績により、単位判定を行う。

教科書

高齢者歯科診療ガイドブック／日本老年歯科医学会 監修,下山和弘, 櫻井薫, 深山治久, 米山武義 編,:口腔保健協会, 2010

老年医学テキスト／日本老年医学会 編,:メジカルビュー社, 2008

全身的偶発症とリスクマネジメント : 高齢者歯科診療のストラテジー／大渡凡人 著,:医歯薬出版, 2012

老年歯科医学／森戸光彦 [ほか] 編,森戸, 光彦,山根, 源之,櫻井, 薫(歯学),羽村, 章,下山, 和弘,柿木, 保明,:医歯薬出版, 2015

参考書

ハリソン内科学／ダン L ロンゴ ほか 編,福井次矢, 黒川清 日本語版監修,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013

老年医学系統講義テキスト : カラー版／日本老年医学会 編集,:西村書店, 2013

備考

アクティブラーニングについて:授業中にスライドを見ながら discussion を行う予定であり、適宜発言の機会を与える。Google Form も使用予定である。

講義担当者:猪越正直

メールアドレス:m.inokoshi.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	021184			
科目名	障害と歯科医療		科目ID	DD-552602-L
担当教員	岩本　勉, 楠本　康香, 篠塚　修, 脇田　亮[IWAMOTO Tsutomu, KUSUMOTO YASUKA, SHINOZUKA Osamu, WAKITA RIYO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:全身と歯科医療
必要自習時間:2–3 時間
ユニットコマ数:講義 10 コマ+試験 1 コマ
ユニット番号:02

主な講義場所

Online: Zoom Meeting, WebClass

授業の目的、概要等

障害と障害者について社会的視点から理解するとともに、障害の種類、概要を学び障害者歯科医療に必要な知識を習得する。

授業の到達目標

1)障害の概念を理解できる。
2)障害者の医療、福祉制度について理解できる。
3)発達障害、身体障害の概要と口腔の特徴を説明できる。
4)行動調整法の種類と適応を説明できる。
5)障害者の歯科治療と口腔保健指導を説明できる。
6)有病者への歯科治療時の対応を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	障害者歯科概論	障害者と医療・福祉　障害と定義　国際生活機能分類　ノーマライゼーション　バリアフリー　障害者基本法	楠本　康香	【到達目標】1)2)【学習方法】遠隔同期　ミーティン習】レジュメ確認
2	4/1	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	障害者歯科各論	発達障害　身体障害　知的能力障害　脳性麻痺	楠本　康香, 篠塚　修	【到達目標】3)【学習方法】遠隔非同期　【事前学習】レジュメ確認
3-4	4/2	15:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	障害者歯科各論	発達障害　身体障碍　自閉スペクトラム症　てんかん　筋ジストロフィー　Down 症候群　視覚障害　聴覚障害	楠本　康香	【到達目標】3)【学習方法】遠隔非同期　【事前学習】レジュメ確認
5	4/9	15:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	障害者歯科各論	発達障害　身体障碍　自閉スペクトラム症　てんかん　筋ジストロフィー　Down 症候群　視覚障害　聴覚障害	楠本　康香	【到達目標】3)【学習方法】遠隔非同期　【事前学習】レジュメ確認
6	4/9	16:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	有病者の歯科治療	循環器疾患　糖尿病　膠原病　血液疾患	楠本　康香	【到達目標】6)【学習方法】遠隔非同期　【事前学習】レジュメ確認

7-8	4/10	15:50-17:40	遠隔授業（非同期型）	行動調整法	行動療法 体動コントロール	楠本 康香	【到達目標】4）【学習方法】遠隔非同期 【事前学習】レジュメ確認
9	4/22	15:50-16:40	遠隔授業（非同期型）	行動調整法	障害者歯科における全身麻酔 精神鎮静法	脇田 亮	【到達目標】4）【学習方法】遠隔非同期 【事前学習】レジュメ確認
10	4/22	16:50-17:40	遠隔授業（非同期型）	障害者の歯科治療と口腔保健指導	医療面接 行動観察 事故防止 口腔保健指導	楠本 康香	【到達目標】5）【学習方法】遠隔非同期 【事前学習】レジュメ確認
11	5/7	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験		楠本 康香	

授業方法

Online: Zoom Meeting, WebClass

遠隔授業（WebClass による非同期型遠隔講義）もあるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

講義についての質問も含めて担当教員（楠本）までメールも受け付ける。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

ユニット最終日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前にアップロードした資料に目を通して講義に臨むこと。

参考書を読んでおくことが望ましい。

講義に関する質問については、同期型遠隔講義中もしくは科目担当（楠本）までメールにて随時受け付ける

試験の受験資格

遠隔授業のため、課題提出状況を成績付与の参考とするが試験の受検要件には用いない。

成績評価の参考とするため同期型講義はできる限り出席することが望ましい。遠隔授業の際、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者（楠本）までメールで必ず連絡すること。

構成ユニット

全身と歯科治療

参考書

スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科／日本障害者歯科学会 編集.：医歯薬出版, 2017

障害者歯科／向井美穂 他著：医歯薬出版, 2013

履修上の注意事項

遠隔授業に関して、周知されている注意事項に留意すること。

備考

アクティブラーニング：ケース演習を行う

担当教員の Office hour 設けていないが、必要に応じて事前連絡の上相談とする

楠本康香 小児歯科学・障害者歯科学分野 yasu.dpd@tmd.ac.jp

連絡先（メールアドレス）

楠本 康香:楠本康香：yasu.dpd@tmd.ac.jp

時間割番号	021185			
科目名	歯科医療と麻酔		科目 ID	DD-552603-L
担当教員	前田　茂[MAEDA Shigeru]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:全身と歯科医療
ユニットコマ数:講義 18 コマ＋実習 6 コマ＋試験 1 コマ
必要自習時間:2–3 時間
授業形態:講義
ユニット番号:02

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な麻酔学の知識を修得する。 歯科医療との関連性を理解する。

授業の到達目標

1) 歯科医療における麻酔学の役割を理解できる。全身状態評価の概要を理解できる。
2) 全身状態評価の概要を理解できる。
3) モニタリングについて理解できる。
4) 麻酔薬について理解できる。
5) 血液ガス分析について理解できる。
6) 全身麻酔法について理解できる。
7) 精神鎮静法について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	11:00–11:50	歯学部演習室	歯科麻酔学総論	前田　茂	資料を webclass にあげています。AL として初めに資料についての選択問題によるテストを行います。
2	4/18	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	歯科麻酔学概論 1	飯島　毅彦	
3–6	4/23	12:50–16:40	遠隔授業（同期型）	術前評価	松村　朋香	歯科医療と麻酔 3 2024-04-23 12:50
7	4/30	09:00–09:50	遠隔授業（非同期型）	麻酔薬	前田　茂	
8–9	4/30	10:00–11:50	遠隔授業（非同期型）	血液ガス分析	小長谷　光	
10–11	5/2	12:50–14:40	遠隔授業	全身麻酔	前田　茂	

			(非同期型)			
12	5/7	12:50-13:40	歯学部演習室	歯科麻酔学概論 2	水田 健太郎	
13-14	5/7	13:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	全身麻酔	前田 茂	
15-17	5/9	09:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	精神鎮静法	前田 茂	
18-24	5/10	09:00-15:40	第2ｾﾐﾅｰﾙ室, 第1総合診療室	実習	脇田 亮, 松村 朋香, 馬場 有希子, 伊藤 孝哉, 深山 治久, 鈴木 千裕	
25	5/13	09:00-09:50	その他(歯学科)	試験	前田 茂	

成績評価の方法

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

歯科麻酔学／一戸達也 [ほか] 編 ; 福島和昭 [ほか] 執筆,一戸, 達也,福島, 和昭,:医歯薬出版, 2019

Miller's anesthesia／editor-in-chief, Michael A. Gropper ; honorary editor, Ronald D. Miller ; co-editors, Neal H. Cohen ... [et al.],Gropper, Michael A.,Miller, Ronald D.,Cohen, Neal H.,:Elsevier, 2020

備考

前田 茂

maedas.daop@tmd.ac.jp

アクティブラーニングとして 4 月 11 日の講義の最初に配布資料に基づいた試験を行う

時間割番号	021223			
科目名	歯科での局所麻酔		科目ID	
担当教員	前田 茂			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:全身と歯科医療
ユニットコマ数:講義 9 コマ＋試験 1 コマ
必要自習時間:2—3 時間
授業形態:講義
ユニット番号:05

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な局所麻酔に関する知識を修得する。

授業の到達目標

1) 局所麻酔薬の概要を理解できる。
2) 血管収縮薬の概要を理解できる。
3) 局所麻酔の合併症について理解できる。
4) 局所麻酔に関わる解剖について理解できる。
5) 局所麻酔の手技について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/18	10:00-13:40	遠隔授業(非同期型)	局所麻酔薬概論		脇田 亮	歯科での局所麻酔 1,2,3,4
5-7	5/10	12:50-15:40	特別講堂	局所麻酔の合併症		船山 拓也	歯科での局所麻酔 5,6,7
8-9	5/10	15:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	局所麻酔の実際		馬場 有希子	歯科での局所麻酔 8,9
10-16	5/13	09:00-15:40	第1ｾﾞﾐﾅｰﾙ室, 第2ｾﾞﾐﾅｰﾙ室, 第1総合診療室	実習	(浸潤麻酔, 心肺蘇生法, バイタルサイン測定)	前田 茂, 脇田 亮, 松村 朋香, 馬場 有希子, 伊藤 孝哉, 佐藤 裕, 鈴木 千裕	
17	5/15	11:00-11:50	歯学部演習室	試験		前田 茂	

成績評価の方法

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。
・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

歯科麻酔学第8版／福島和明他監修:医師薬出版, 2019
備考 前田　茂　maedas.daop@tmd.ac.jp オフィスアワー　火木 16-18 時 5 月 10 日の対面講義ではアクティブラーニングとして学生の発言を求める。

時間割番号	021186			
科目名	歯科医療と救急医療		科目 ID	DD-552604-L
担当教員	脇田　亮[WAKITA RIYO]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:全身と歯科医療
ユニットコマ数:6 コマ＋試験 1 コマ
必要自習時間:2―3 時間
授業形態:講義
ユニット番号:05

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な救急医学の基本的知識を習得する。歯科医療との関連性を理解する。

授業の到達目標

1) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症を理解できる。
2) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症に対処できる。
3) 心肺蘇生法が行える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	5/8	09:00-09:50	
2	5/8	10:00-10:50	
3	5/8	11:00-11:50	
4	5/10	09:00-09:50	
5	5/10	10:00-10:50	
6	5/10	11:00-11:50	
7	5/13	09:00-09:50	
8	5/13	10:00-10:50	
9	5/13	11:00-11:50	
10	5/13	12:50-13:40	
11	5/13	13:50-14:40	
12	5/13	14:50-15:40	
13	5/15	10:00-10:50	

成績評価の方法

最終日に筆記試験を行い，総括的評価を行う。
適宜レポートによる形成的評価を行う。
実習の習熟度による定性的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習と連携して行うため、実習前には知識の習得が必須となる。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席を必要とする。受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

BLS プロバイダーマニュアル AHA ガイドライン 2020 準拠
ACLS プロバイダーマニュアル AHA ガイドライン 2020 準拠

参考書

歯科麻酔学／一戸達也 [ほか] 編 ; 福島和昭 [ほか] 執筆,一戸, 達也,福島, 和昭,:医歯薬出版, 2019
臨床歯科麻酔学／丹羽均 [ほか] 編集委員,丹羽, 均,入舩, 正浩,小長谷, 光,澁谷, 徹,深山, 治久,:永末書店, 2019

備考

適宜ケース演習を行う
連絡先（メールアドレス） ryoanph@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水　17:00–18:00 10 号館 4 階

時間割番号	021188				
科目名	発展歯科臨床			科目 ID	DD-552700-L
担当教員	三浦雅彦				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

モジュール総コマ数:講義 68 コマ＋試験 6 コマ
モジュール番号:27

主な講義場所
遠隔講義(同期 Zoom、非同期ビデオ)、対面講義
各ユニットごとに事前に確認すること。

授業の目的、概要等
発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を確認し受講すること。

成績評価の方法
各ユニットの評価法を確認すること。

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの指示に従うこと。

試験の受験資格
各ユニットの受験資格による。

構成ユニット
01:臨床歯科放射線診断
02:臨床歯科放射線治療
03:スポーツ歯科臨床
04:顎機能障害
05:こころの病と歯科臨床
06:ケーススタディ
07:口腔顔面痛

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考
モジュール責任者:三浦雅彦
オフィスアワー:月・水・金、16:00～18:00、D 棟北 12 階教授室
メールアドレス:masa.mdth(@)tmd.ac.jp
※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えて下さい。

時間割番号	021189			
科目名	臨床歯科放射線診断		科目 ID	DD-552701-L
担当教員	渡邊　裕[WATANABE HIROSHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:発展歯科臨床
コマ数:8＋1
必要自習時間:3時間
授業形態:講義
ユニット番号:01

主な講義場所

講義は、WebClass および Zoom 上で行う。

授業の目的、概要等

発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。

授業の到達目標

1） 口腔顎顔面領域の嚢胞、良性腫瘍や炎症の画像所見を理解し、診断できる。
2） 口腔顎顔面領域の悪性腫瘍の画像所見を理解し、診断できる。
3） 顎関節疾患の画像所見を理解し、診断できる。
4） 唾液腺疾患の画像所見を理解し、診断できる。
5） 全身疾患や先天異常と関連する口腔顎顔面領域の特徴的画像所見を理解し、診断できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/15	15:50-17:40	その他（歯学科）	顎骨疾患の画像診断		中村　伸
3-4	5/9	15:50-17:40	その他（歯学科）	顎骨疾患の画像診断		渡邊　裕
5-6	5/22	10:00-11:50	その他（歯学科）	顎骨/軟組織疾患の画像診断		栗林　亜実
7-8	5/23	15:50-17:40	その他（歯学科）	顎骨/軟組織疾患の画像診断(AL)		渡邊　裕
9	6/10	12:50-13:40	歯学部演習室	試験		渡邊　裕

成績評価の方法

・6月10日の筆記試験を総括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

・本ユニットは、D3 ユニット「歯科放射線基礎」の発展型となりますので、あらかじめ過去の内容についての知識を深めておいてください。

試験の受験資格

・東京医科歯科大学試験規則第5条第3項の規定に基づく
・出席は取らず、テストで採点する。

参考書

歯科臨床における画像診断アトラス　第2版／日本歯科放射線学会　編,:医歯薬出版, 2020
歯科放射線診断 teaching file　第4版／金田隆, 倉林亨, 佐野司　編著,金田, 隆, 1959-,倉林, 亨, 1957-,佐野, 司,:砂書房, 2019
基本臨床画像診断／佐野司, 倉林亨　編著:医歯薬出版, 2014
DIAGNOSTIC IMAGING: ORAL AND MAXILLOFACIAL／Koenig LJ ed.:ELSEVIER, 2017

歯科放射線学 第6版／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集,岡野, 友宏, 1947-,小林, 馨, 1955-,有地, 榮一郎,:医歯薬出版, 2018 顎・口腔の CT・MRI = CT and MRI of the Jaw and Oral Cavity／酒井修, 金田隆 編集,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016
備考 ・ユニット授業においては、AL(ケース演習)を行う

時間割番号	021190			
科目名	臨床歯科放射線治療		科目 ID	DD-552702-L
担当教員	三浦　雅彦，吉村　亮一，戒田　篤志，渡邊　裕[MIURA MASAHIKO, YOSHIMURA RYOICHI, KAIDA ATSUSHI, WATANABE HIROSHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名：発展歯科臨床
ユニットコマ数（講義コマ数＋試験コマ数）：6＋1
必要自習時間：3時間
授業形態：講義（一部討論）
ユニット番号：02

主な講義場所

・1 号館 9F 特別講堂
・遠隔講義（WebClass あるいは Zoom）

授業の目的、概要等

種々の腫瘍に対する従来の放射線療法、高精度放射線治療、粒子線治療がどのように行われているかを、その診断・治療法の変遷とともに物理的、生物学的な要素を含めて理解する。口腔・顎顔面領域がんに対する放射線療法、特に小線源治療の有効性について理解する。症例も提示し、どのような放射線治療が適応となるかについて討論する。

授業の到達目標

1)放射線の物理学的特性を説明できる。
2)放射線の生物学的効果を説明できる。
3)治療可能比を説明できる。
4)種々の腫瘍に対する外照射と小線源治療の特徴を説明できる。
5)放射線治療の適応を診断できる。
5)分割照射の特徴を説明できる。
6)口腔がんに対する放射線治療の特徴を説明できる。
7)口腔がんの放射線治療成績を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/14	12:50-13:40	遠隔授業（非同期型）	講義　放射線物理学	放射線腫瘍学に必要な物理学	渡邊　裕	到達目標 1)・非同期ビデオ
2	5/14	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	講義　放射線生物学・腫瘍学	放射線腫瘍学に必要な生物学	戒田　篤志	到達目標 2)・非同期ビデオ
3	5/22	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	講義　放射線腫瘍学概論	口腔がん以外の他領域がんに対する外照射・小線源治療	吉村　亮一	到達目標 4),5)・遠隔講義（AL 討論）・ZoomID とパスコードは後日掲載
4	5/22	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義　放射線腫瘍学概論	口腔がん以外の他領域がんに対する外照射・小線源治療	吉村　亮一	到達目標 4),5)・遠隔講義（AL 討論）・ZoomID とパスコードは後日掲載

5	5/30	12:50-13:40	特別講堂	講義　口腔がんの放射線腫瘍学	口腔がんに対する外照射・小線源治療	三浦　雅彦	到達目標3),4),5),6),7)・対面講義(AL 討論)
6	5/30	13:50-14:40	特別講堂	講義　口腔がんの放射線腫瘍学	口腔がんに対する外照射・小線源治療	三浦　雅彦	到達目標3),4),5),6),7)・対面講義(AL 討論)
7	6/10	13:50-14:40	歯学部演習室	筆記試験		三浦　雅彦	

授業方法

講義(対面講義、遠隔講義)

成績評価の方法

2024 年 6 月 10 日(ユニット最終日)の筆記試験、授業での発表などによる統括的評価とする。
適宜レポートによる評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

D3 で学んだ放射線物理と放射線生物学の復習をしておくこと。

試験の受験資格

・出席率は受験資格の要件とはしない。全員に受験資格あり。

構成ユニット

02 臨床歯科放射線治療

参考書

歯科放射線学 第 6 版／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集:医歯薬出版, 2018
Radiobiology for the radiologist, 8th ed／Eric J. Hall, Amato J. Giaccia:Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2019
臨床放射線腫瘍学 = Clinical Radiation Oncology : 最新知見に基づいた放射線治療の実践／日本放射線腫瘍学会, 日本放射線腫瘍学研究機構 編集:南江堂, 2012
放射線医科学 : 生体と放射線・電磁波・超音波／大西武雄 監修,松本英樹 副監修,近藤隆, 島田義也, 田内広, 平岡真寛, 三浦雅彦, 宮川清, 宮越順二 編集:医療科学社, 2016

履修上の注意事項

WebClass にアップロードした資料を予習すること。　全授業から試験問題を出題するため、授業に出席し知識を深める。

備考

遠隔同期講義および対面講義にて AL(一部討論)を行う。
WebClass 情報、Zoom 情報は、授業前に授業明細に掲載するので確認すること。

三浦雅彦　masa.mdth(@)tmd.ac.jp
＊E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えて下さい。

時間割番号	021191			
科目名	スポーツ歯科臨床		科目 ID	DD-552703-L
担当教員	中禮　宏[CHUREI HIROSHI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:発展歯科臨床
授業形態:遠隔講義＋WebClass 学習
ユニット時間数:6 コマ
必修
遠隔授業(同期型;一部非同期型)
ユニット番号:03

主な講義場所

遠隔講義

授業の目的、概要等

スポーツ医歯学の基本的知識を習得し，スポーツ医歯科学サポートの在り方を理解する。
スポーツに関する外傷(E-2-4)-(2))も網羅する

授業の到達目標

1） 歯科領域のスポーツ傷害の診断・治療および予防(安全対策)について説明できる。
2） マウスガードおよびフェイスガードの調製法について説明できる。
3） 咬合と運動機能の関わりについて説明できる。
4） スポーツのためのデンタルチェックについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	5/30	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)
2	5/30	16:50-17:40	遠隔授業(同期型)
3	6/4	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)
4	6/4	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)
5	6/4	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)
6	6/4	15:50-16:40	遠隔授業(同期型)
7	6/10	09:00-09:50	特別講堂

成績評価の方法

・ユニット最終日の筆記試験による総括的評価を行い，合否を判定する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。

試験の受験資格

・3分の2以上出席を必要とする。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にま

たがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

要説スポーツ歯科医学／石上惠一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集,石上, 惠一, 1950-,上野, 俊明, 1967-,川良, 美佐雄,:医学情報社, 2015

実践スポーツマウスガード : 製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修,上野俊明 編集,大山, 喬史, 1939-,上野, 俊明, 1967-,:医学情報社, 2014

スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会編,日本スポーツ歯科医学会,:医学情報社, 2021

参考書

要説スポーツ歯科医学／石上惠一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集,石上, 惠一, 1950-,上野, 俊明, 1967-,川良, 美佐雄,:医学情報社, 2015

実践スポーツマウスガード : 製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修,上野俊明 編集,大山, 喬史, 1939-,上野, 俊明, 1967-,:医学情報社, 2014

スポーツ歯科入門ハンドブック : 健康スポーツ歯科をめざして／安井利一, 杉山義祥 編著,姫野かつよ [ほか]著,:医学情報社, 2009

スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会 編,:医学情報社, 2007

医師・歯科医師のための口腔診療必携 : 困ったときのマニュアル・ヒント集 202／青木茂樹 [ほか]編,高戸毅 監修,:金原出版, 2010

口と歯の事典／高戸毅, 天笠光雄, 葛西一貴, 古郷幹彦, 須佐美隆史, 鈴木茂彦, 谷口尚, 新美成二 編,:朝倉書店, 2008

スポーツ指導者のためのスポーツ医学／小出清一, 福林徹, 河野一郎 編,:南江堂, 2009

新スポーツのためのメディカルチェック／村山正博 監修,武者春樹 編,:南江堂, 2002

Textbook and Color Atlas of Traumatic Injuries to the Teeth, 4th Edition／Jens O. Andreasen (Editor), Frances M. Andreasen (Editor), Lars Andersson (Editor):Wiley-Blackwell, 2007

スポーツ医科学／中野昭一 編,:杏林書院, 1999

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

時間割番号	021192			
科目名	顎機能障害		科目ID	DD-552704-L
担当教員	西山 暁 梁 珊珊[NISHIYAMA AKIRA, Sansan Ryo]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:発展歯科臨床(27)
ユニット名:顎機能障害(4)
ユニットコマ数:全8コマ
必要自習時間:1 時間程度
授業形態:遠隔講義(一部演習あり)

主な講義場所

遠隔授業/WebClass

授業の目的、概要等

顎関節症について, 疫学, 病態, 診査法, 診断, 治療法の基礎的知識を習得する. また, 顎関節症の寄与因子の一つであるブラキシズム(睡眠時, 覚醒時)の基本的知識を習得する.

授業の到達目標

1. 顎機能障害(顎関節症)の定義を理解し説明できる.
2. 顎機能障害(顎関節症)の病態分類を理解し説明できる.
3. 顎機能障害(顎関節症)の診査を理解し説明できる.
4. 顎機能障害(顎関節症)の診断方法を理解し説明できる.
5. 顎機能障害(顎関節症)の治療方法を理解し説明できる.
6. ブラキシズム(睡眠時/覚醒時)について理解し説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	5/22	12:50-13:40	
2	5/22	13:50-14:40	
3	5/27	09:00-09:50	
4	5/27	10:00-10:50	
5	5/27	11:00-11:50	
6	5/28	09:00-09:50	
7	5/28	10:00-10:50	
8	5/28	11:00-11:50	
9	5/30	10:00-10:50	

授業方法

1. ライブでの遠隔講義(途中複数の質問あり)
2. ブレイクアウトルームでの演習および発表

※「顎関節症治療の指針 2020」を教科書とする(試験範囲となる)

成績評価の方法

主に試験の成績を基準とするが, 演習の参加状況および発表内容も加味して総合的に判断する.
なお, グループ発表の出来栄えについては, グループメンバー全員の統一評価とみなす.

準備学習等についての具体的な指示

本授業は, 日本学顎関節学会が出している「顎関節症治療の指針 2020」(http://kokuhoken.net/jstmj/publication/file/guideline/guideline_treatment_tmj_2020.pdf)をテキストとして用い, この内容を事前学習していることを前提に実施します(※本 PDF ファイルは無料でダウンロード可能です). また, 試験範囲は本資料全般とします.

試験の受験資格

遠隔授業に 6 コマ以上出席

教科書

新編顎関節症／日本顎関節学会,日本顎関節学会 編:永末書店, 2013.8

「顎関節症治療の指針 2020」(http://kokuhoken.net/jstmj/publication/file/guideline/guideline_treatment_tmj_2020.pdf)

他科目との関連

オクルージョン「顎関節症と咬合」, 口腔顔面痛の内容と一部関連します.

履修上の注意事項

本授業では, Zoom による双方向授業を予定しています. 講義中に知識確のための質問やや, グループディスカッションを行ってもらう予定です.

備考

2～3コマは演習を行う予定である. 演習についてはブレイクアウトルームを用いて, 課題に対するグループ形式での討論を行う. 討論後は各グループの代表者に発表を行ってもらう.

連絡先:西山 暁:anishi.tmj@tmd.ac.jp(研究室:10 号館 2 階 206 室)

時間割番号	021193			
科目名	こころの病と歯科臨床		科目 ID	DD-552705-L
担当教員	豊福　明, 渡邉　素子[TOYOFUKU AKIRA, WATANABE Motoko]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:発展歯科臨床

コマ数:13＋1
授業形態:講義および演習
ユニット番号:05

主な講義場所

zoom による遠隔講義と対面講義

授業の目的、概要等

歯科医療に必要な精神医学および歯科心身医学の基本的知識を修得する。
精神医学と歯科医療との関連性について討論し、理解を深める。
歯科医療に必要な歯科心身医学的対応について演習し、理解を深める。

授業の到達目標

1） 代表的 な精神疾患の概念を説明できる。
2） 精神疾患の代表的 な治療薬を説明できる。
3） 精神疾患患者の歯科治療上の問題を説明できる。
4） 歯科を受診する精神疾患患者への適切な対応を説明できる。
5） 歯科心身症の病態を 説明できる。
6） 代表的な歯科心身症の 診断と治療法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方
1	5/16	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	講義　パーソナリティ症（パーソナリティ障害）	AL	治徳　大介	討論あり
2	5/16	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	講義　統合失調症	AL	田村　赳紘	討論あり
3	6/6	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	講義　認知症	AL	竹内　崇	討論あり
4	6/6	16:50-16:40	遠隔授業	講義　てんかん	AL	宮島　美穂	討論あり

			（同期型）				
5	6/7	09:00-09:50	歯学部演習室	講義　歯科心身医学総論	AL	豊福　明, 渡邉　素子	討論あり
6	6/7	10:00-10:50	歯学部演習室	講義　Burning mouth syndrome（口腔灼熱症候群、舌痛症）	AL	豊福　明, 渡邉　素子	討論あり
7	6/7	11:00-11:50	歯学部演習室	講義　口腔セネストパチー（口腔異常感症）	AL	梅崎　陽二朗	討論あり
8	6/13	09:00-09:50	歯学部演習室	講義　非定型歯痛	AL	豊福　明	討論あり
9	6/13	10:00-10:50	歯学部演習室	講義　咬合違和感症候群（Phantom bite syndrome）	AL	渡邉　素子	討論あり
10	6/13	11:00-11:50	歯学部演習室	講義　睡眠障害・神経発達症（発達障害）	AL	髙木　俊輔	討論あり
11	6/17	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	講義　歯科における精神疾患患者の見極め方	AL	竹之下　美穂	演習あり
12	6/17	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	講義　気分障害・不安症（不安障害）	AL	藤野　純也	討論あり

13	6/17	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	講義　開業医における歯科心身医療	AL	吉川　達也	討論あり
14	6/20	11:00-11:50	歯学科第4講義室	試験		豊福　明	

授業方法

可及的に討論の場を設ける。

zoom による遠隔講義、対面講義

成績評価の方法

・ユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

精神疾患患者が歯科受診した場合の対処法、および歯科心身症の診断や治療について理解するため、教科書・参考書やインターネットなどを用いて疾患概念や病態および治療法などに関する予習をしておく。

試験の受験資格

・ユニット後に、全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

・レポート提出により受験資格を認めることがある。

教科書

歯科心身医学／日本歯科心身医学会 編：日本歯科心身医学会, 2003

ACP 内科医のための「こころの診かた」：ここから始める!あなたの心療／Robert K.Schneider, James L.Levenson [著],井出広幸, 内藤宏 監訳PIPC 研究会 訳：丸善, 2009

精神科専門医のためのプラクティカル精神医学／山内俊雄 総編集,岡崎祐士, 神庭重信, 小山司, 武田雅俊 編：中山書店, 2009

心身医療と歯科医療：歯・口腔・顎と心と健康科学／都温彦 編著,：新興医学出版社, 2005

DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association [編],日本精神神経学会 日本語版用語監修,髙橋三郎, 大野裕 監訳,染矢俊幸, 神庭重信, 尾崎紀夫, 三村將, 村井俊哉 訳：医学書院, 2014

参考書

ヒーリー精神科治療薬ガイド／デイヴィッド・ヒーリー [著],田島治, 江口重幸 監訳,冬樹純子 訳：みすず書房, 2009

カプラン臨床精神医学ハンドブック：DSM-Ⅴ診断基準による診療の手引／ベンジャミン・J.サドック, バージニア・A.サドック 編,融道男, 岩脇淳 監訳：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2020

プライマリ・ケア医による自殺予防と危機管理／杉山直也/河西千秋/井出広幸/宮崎　仁：南山堂

口腔内科学／山根源之/草間幹夫/久保田英朗：永末書店

備考

本ユニットの講義では可及的に討論の場を設ける。

豊福明　toyoompm(@)tmd.ac.jp

渡邉素子　totoompm(@)tmd.ac.jp

*E-mail は上記アドレスの(@)の部分を@に変えて下さい。

時間割番号	021194			
科目名	ケーススタディ		科目 ID	DD-552706-L
担当教員	笛木　賢治[FUEKI KENJI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール:発展歯科臨床
ユニット:ケーススタディ
ユニット責任者:笛木賢治
ユニット番号:06
解説時期:5年　前期
ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):18 + 0
授業形態:講義とグループワーク(アクテイブラーニング)
必要自習時間:　6 時間

主な講義場所

遠隔(Zoom)にて実施します.

授業の目的、概要等

複数の臨床科目の実践を必要とする症例に対する治療計画の立案法を理解する.

授業の到達目標

1)与えられた症例の情報から個々の患者の問題点を抽出できる。
2)NBM(主訴)を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。
3)EBM に基づいた治療計画の立案方法を説明できる。
4)複数の臨床科目の方法論を必要とする症例の治療計画を説明できる。
5)複数の臨床科目の中から症例に適した治療方法を選択する考え方を説明できる。
6)有病高齢者の口腔機能回復とその維持に対する方策を立案できる。
7)患者の社会的な背景を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/5	12:50-15:40	その他	症例 1(前半)課題抽出	症例情報を分析して課題を抽出する	石山　裕之, 笛木　賢治, 松村　茉由子, 牧　圭一郎, 木村　俊介
4-6	6/7	12:50-15:40	その他	症例 1(後半)課題解決	症例の課題に対する解決法を提案する	石山　裕之, 笛木　賢治, 松村　茉由子, 木村　俊介, 牧　圭一郎
7-9	6/11	09:00-11:50	その他	症例 2(前半)　課題抽出	症例情報を分析して課題を抽出する	笛木　賢治, 大沼　啓, 濵洋平, 芝　多佳彦, 土谷　洋輔

10-12	6/12	09:00-11:50	その他	症例2(後半)課題解決	症例の課題に対する解決法を提案する	笛木 賢治, 大沼 啓, 濵洋平, 芝 多佳彦, 土谷洋輔
13-15	6/12	12:50-15:40	その他	症例3(前半)課題抽出	症例情報を分析して課題を抽出する	村瀬 舞, 笛木 賢治, 髙草木 謙介, 田端 倫子
16-18	6/14	13:50-16:40	その他	症例3(後半)課題解決	症例の課題に対する解決法を提案する	村瀬 舞, 笛木 賢治, 髙草木 謙介, 田端 倫子

授業方法

講義とグループワークで行う.

授業内容

症例をベースとして問題点を見つけ解決策を考えて発表する. 歯科疾患の診断, 治療計画, 術式について講義を行う.

成績評価の方法

ユニットの合格判定には, グループ学習の成績を基にして, 出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される.

準備学習等についての具体的な指示

事前学習として必要な資料は, 授業2日前までに Web Class 上に掲示するので, 必ず閲覧し, 指示に従うこと.

試験の受験資格

・本ユニットの授業に 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

06 ケーススタディ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判 定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

患者の診かたと歯科診療／黒崎紀正 [ほか]編,:医歯薬出版, 2001

参考書

Behavioral Dentistry. Mostofsky (著), Fortune (著) Wiley-Blackwell; 2 版 (2013/12/31) ISBN-13: 978-1118272060

備考

ZOOM と WebClass を併用した遠隔(同期)授業と AL(グループワーク)を行います.

ZOOM 開催情報は, WebClass に掲示します.

連絡先:笛木賢治 kunfu.rpro@tmd.ac.jp オフィスアワー(木:13:00ー17:00)

連絡先(メールアドレス)

笛木 賢治:kunfu.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

笛木 賢治:毎週 月, 水, 金曜日 PM.17:00-18:00 歯科棟北11階 咬合機能健康科学分野 第1研究室

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	021212			
科目名	口腔顔面痛		科目 ID	DD-552707-L
担当教員	前田　茂			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

コマ数:8 コマ＋試験1コマ
必要自習時間:2–3時間
授業形態:講義
ユニット番号:07

授業の目的、概要等

口腔顔面痛の概念を理解し，診断，治療法について理解する。過去に学習した疼痛の生理学的機序や神経障害性疼痛との関連を考える。

授業の到達目標

1) 口腔顔面痛を分類できる。
2) 口腔顔面痛の発生機序を理解する。
3) 口腔顔面痛の診断基準を説明できる。
4) 東洋医学的疼痛管理について理解できる。
5) 有効な治療法を選択できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目
1	5/8	12:50–13:40	歯学部演習室	
2	5/8	13:50–14:40	歯学部演習室	
3	5/22	09:00–09:50	遠隔授業（同期型）	
4	5/31	15:50–16:40	遠隔授業（同期型）	
5	6/5	15:50–16:40	歯学部演習室	
6	6/5	16:50–17:40	歯学部演習室	
7	6/7	15:50–16:40	特別講堂	
8	6/7	16:50–17:40	遠隔授業（同期型）	
9	6/10	11:00–11:50	特別講堂	試験

成績評価の方法

6 月 10 日の筆記試験を基準とし、授業の参加、発表等なども含めて統括的評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

試験受験資格:3分の 2 以上の出席を必要とする。受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

ユニットの合格判定に際しては，出席日数，提出レポート内容及び平常の学習態度などが評価に加味される.

教科書

口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック／日本口腔顔面痛学会 編.日本口腔顔面痛学会,:医歯薬出版，2016

備考

前田　茂

maedas.daop@tmd.ac.jp

オフィスアワー　火木 16-18 時

アクティブラーニングとして 5 月 8 日の講義の初めに配布資料に基づいた試験を行う

時間割番号	021195				
科目名	臨床情報処理			科目 ID	DD-552800-L
担当教員	佐々木　好幸[SASAKI YOSHIYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:13(1)(＋包括臨床実習内の 3 コマ)(必要自習時間数 8 時間)
授業形態:演習
モジュール番号:28

モジュール単位:0.97 単位、モジュール授業:　講義:1 コマ、演習:12 コマ、実習:3 コマ

主な講義場所
各ユニットの講義場所を参照のこと

授業の目的、概要等
根拠に基づいた歯科医療を実践するために、情報を適切に処理・活用する能力を修得する。

授業の到達目標
各ユニットの到達目標を参照のこと

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/20	15:50-16:40	歯学部演習室	臨床情報処理 試験	試験	佐々木　好幸

成績評価の方法
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと

成績評価の基準
根拠に基づく歯科医療ユニット 50%
歯科医療法システムユニット 25%
歯科診療文書ユニット 25%
の重み付けで、
モジュール全体で、100 点満点で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示
各ユニットの指示を参照のこと。

試験の受験資格
ユニットごとに時間数合計の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

構成ユニット
1 根拠に基づく歯科医療
2 歯科医療情報システム
3 歯科診療文書

モジュールの単位判定
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

備考
モジュール責任者:佐々木 好幸
オフィスアワー:随時(事前にメールでアポイントを取ること)
メールアドレス:sasaki.prev@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

sasaki.prev@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時(事前にメールでアポイントを取ること)

時間割番号	021196			
科目名	根拠に基づく歯科医療		科目ID	DD-552801-L
担当教員	佐々木　好幸[SASAKI YOSHIYUKI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床情報処理
ユニットコマ数:6＋1／3(必要自習時間5時間)
授業形態:演習
ユニット番号:1

授業の目的、概要等

EBM(Evidence-based Medicine)の重要性を理解し、歯科医療に必要な情報を検索・収集・吟味し，歯科医療に応用する能力を修得する。

授業の到達目標

1） EBM の概念を説明できる.
2） 歯科治療に関する根拠を説明できる.
3） 根拠(Evidence)の信頼性について具体的に説明できる.
4） いくつかの症例における患者の問題を定式化できる.
5） 情報を自ら収集，分析して問題点を探し出すことができる.
6） 問題解決のための情報収集と絞込みができ，その評価の方法を説明できる.
7） 情報の批判的吟味ができる.
8） リスク比，オッズ比，感度，特異度，NNT を説明できる.
9） 統合された情報(二次情報)を解釈でき，いくつかの症例に適用できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/6	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	演習　EBM・EBD　Evidenced-based medicine　EBMの実践　EBM の 5 ステップ　EBM の実践演習	WebClass: IL2400017　D5 臨床情報処理 2024	佐々木　好幸	【到達目標】1),2),3),4),5),8)【学習方法】講義・演習　【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習
4-6	6/18	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習　EBM・EBD　論文の吟味グループワーク　論文の吟味結果の発表	WebClass: IL2400017　D5 臨床情報処理 2024	佐々木　好幸	【到達目標】2),3),6),7),9)【学習方法】演習・グループワーク【事前学習】指定の英論文を吟味してくること

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。
　到達目標をすべて達成したと評価された場合にユニットの成績を満点とする。

成績評価の基準

モジュール全体での 100 点満点の筆記試験で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

2 回目の演習までに指定の英論文を解釈し、ワークシートにまとめること。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

Evidence-based medicine : EBM の実践と教育／David L.Sackett [ほか]著,：エルゼビア・サイエンス, 2003

EBM の道具箱／カール・ヘネガン, ダグラス・バデノック 著,斉尾武郎 監訳,Heneghan, Carl,Badenoch, Douglas,斉尾, 武郎,：中山書店, 2007

EBM 楽しい演習帳／ポール・グラシュー, クリス・デルマー, ジャネット・ソールズベリー 著,斉尾武郎 訳,：金芳堂, 2004

Evidence-based medicine : how to practice and teach EBM 5thED／Straus, Sharon E,Glasziou, Paul P.,Richardson, W. Scott,Haynes, R. Brian,：Elsevier, 2019

履修上の注意事項

1 回目の演習に欠席した者は、速やかに担当教員に連絡すること。

備考

グループワーク、討論、発表を行う。

佐々木好幸　sasaki.prev(@)tmd.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

連絡先（メールアドレス）

sasaki.prev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時（事前にメールでアポイントを取ること）

時間割番号	021197			
科目名	歯科医療情報システム		科目 ID	DD-552802-L
担当教員	佐々木　好幸[SASAKI YOSHIYUKI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床情報処理

コマ数:3＋1／3(＋包括臨床実習の 3 コマ)(必要自習時間 1 時間)
授業形態:演習
ユニット番号:2

授業の目的、概要等

歯科医療における情報の特性を理解し、歯科医療情報を適切に処理・活用する能力を修得する。

授業の到達目標

1) 医療情報の特性を説明できる。
2) 医療情報における歯科の特性を説明できる。
3) 診療録が具備すべき要件を説明できる。
4) POMR の概念を説明できる。
5) 患者情報からプロブレムを発見し、プロブレムリストを作成できる。
6) 医療情報をプロブレムごとに SOAP にまとめることができる。
7) 患者情報から的確な治療方針を立案し説明できる。
8) 歯学部附属病院医療情報システムを操作できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/19	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	演習　医療情報学総論 医療情報、医療情報システム、電子カルテ、標準化　POS　Problem list　プログレスノート SOAP	WebClass: IL2400017　D5 臨床情報処理 2024	佐々木　好幸	【到達目標】1)～8)　【学習方法】講義・演習　【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習

成績評価の方法

・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。
　到達目標をすべて達成したと評価された場合にユニットの成績を満点とする。

成績評価の基準

モジュール全体での 100 点満点の筆記試験で、60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスを参照して、参考書のいずれかを予習しておくことが望ましい。誤った記載の情報が多いので、情報の信頼性に注意して予習すること。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

電子カルテってどんなもの?／電子カルテ研究会 編,開原成允 [ほか]著,:中山書店, 2002
POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム／日野原重明 著,:医学書院, 1993
あすかちゃんの POS : ナースのための POS 入門／中木高夫 原作,キリ光乗 作画,:照林社, 1993
POS をナースに／中木高夫 著,:医学書院, 1998
電子カルテ時代の POS : 患者指向の連携医療を推進するために／日野原重明 監修,渡辺直 著,:医学書院, 2012

履修上の注意事項

このユニットは歯学科第 5 学年前期の 3 時間の講義・演習と、歯学科第 5 学年の包括臨床実習内の電子総合診療録操作実習の両方の出席を要する。

備考

CBL を行う。
包括臨床実習中の 3 コマで、医療情報システム操作練習(実習)を行う。

佐々木好幸 sasaki.prev(@)tmd.ac.jp
※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

連絡先(メールアドレス)

sasaki.prev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(事前にメールでアポイントを取ること)

時間割番号	021198			
科目名	歯科診療文書		科目ID	DD-552803-L
担当教員	佐々木　好幸[SASAKI YOSHIYUKI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:臨床情報処理

コマ数:3＋1/3(必要自習時間2時間)
授業形態:演習
ユニット番号:03

授業の目的、概要等

日本における歯科医療保険制度の概要を理解し、適切な診療を実施するための基本的業務を理解する。

授業の到達目標

1） 守秘義務、医療情報のセキュリティー管理の重要性を説明できる。
2） 個人情報の適切な保護について説明できる。
3） プライバシーと個人情報の違いを説明できる。
4） 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。
5） 歯科医療における処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状などの文書を記述できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/19	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	講義・演習　医療情報の取り扱い　情報漏洩の実例　個人情報の保護、プライバシー　OECD8 原則　個人情報とプライバシーの違い　診療文書の作成　処方箋、紹介状、照会状	WebClass: IL2400017　D5 臨床情報処理 2024	佐々木　好幸	【到達目標】1)～5) 【学習方法】講義・演習 【事前学習】シラバスに沿った内容を参考書で予習

成績評価の方法

・筆記試験を行い、総括的評価を行う。
　到達目標をすべて達成したと評価された場合にユニットの成績を満点とする。

成績評価の基準

モジュール全体での 100 点満点の筆記試験で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスを参照して、参考図書や類似情報を予習しておくことが望ましい。

試験の受験資格

・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

カルテ改ざん／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編著,:さいろ社, 2004
歯科医療過誤訴訟の課題と展望 : 新しい医療の指針を求めて／若松陽子 編,:世界思想社, 2005
カルテ改ざん part2／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編,:さいろ社, 2006
カルテ改ざんはなぜ起きる : 検証:日本と海外／石川寛俊, カルテ改ざん問題研究会 著,:日本評論社, 2006

備考
診療文書作成の演習を行う。 佐々木好幸　sasaki.prev(@)tmd.ac.jp ※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。
連絡先(メールアドレス)
sasaki.prev@tmd.ac.jp
オフィスアワー
随時(事前にメールでアポイントを取ること)

時間割番号	021199				
科目名	包括臨床実習			科目 ID	DD-572900-E
担当教員	海老原　新, 秀島　雅之, 新田　浩, 島田　康史, 鶴田　潤[EBIHARA ARATA, HIDESHIMA MASAYUKI, NITTA HIROSHI, SHIMADA Yasushi, TSURUTA JIYUN]				
開講時期	2024 年度 1.5 通年（秋）	対象年次	5～6	単位数	41
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能は何であるのかを理解する。患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

準備学習等についての具体的な指示

包括的臨床実習は、5年前期までに修得してきた全ての知識、態度、技能の集大成の場でもある。将来歯科医師になるためには、包括的臨床実習を円滑に進めるとともに有意義なものにしなければならない。そのためにも臨床実習の準備学習は必須である。詳細は各ユニットに具体的に示してある。

構成ユニット

01 包括臨床実習 Phase Ⅰ
02 頭頸部解剖
03 包括臨床実習 Phase Ⅱ(A)
04 包括臨床実習 Phase Ⅱ(B)
05 包括臨床実習 Phase Ⅲ

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

参考書

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

連絡先(メールアドレス)

新田 浩:nitta.behd@tmd.ac.jp
秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp
海老原 新:a.ebihara.endo@tmd.ac.jp
島田 康史:shimada.ope@tmd.ac.jp
鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp

オフィスアワー

新田 浩:毎週 月・水・木曜日 PM.4:00-5:00 10 号館 3 階 教授室
秀島 雅之:水 17:00－18:00
海老原 新:月～金 16:00－18:00
歯科棟 10 階歯髄生物学分野 第1研究室
島田 康史:月・火・木・金 16:30-18:30
鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。

時間割番号	021200			
科目名	Phase Ⅰ		科目 ID	DD-572901-E
担当教員	海老原　新, 秀島　雅之, 新田　浩, 島田　康史, 鶴田　潤[EBIHARA ARATA, HIDESHIMA MASAYUKI, NITTA HIROSHI, SHIMADA Yasushi, TSURUTA JIYUN]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

231 コマ
モジュール番号　29-1

主な講義場所

各診療科により集合場所は異なる。包括臨床実習オリエンテーション時に配布する「歯学部包括臨床実習の手引き」に記載してあるので確認すること。

授業の目的、概要等

診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度、知識、技能は何であるのかを理解する。あわせて、治療計画の立案方法、チーム医療、医療安全、診療報酬算定、病院電子カルテ入力方法についても学習する。
6 年次学生が担当していた学生用患者の引き継ぎ(オーバーラップ)を行い、包括臨床実習 Phase Ⅱ が実施できる環境を整える。

授業の到達目標

1)　主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。
2)　患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
3)　患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。
4)　歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。
5)　診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
6)　診療室への患者の誘導を適切にできる。
7)　患者に挨拶して自己紹介できる。
8)　救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。
9)　患者との信頼関係を築くことができる。
10)　個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
11)　患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
12)　患者に最も適した医療を説明できる。
13)　必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
14)　説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
15)　説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
16)　患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
17)　患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。

成績評価の方法

基本的に Phase Ⅰ 全実習日数の 4 分の 3 以上の出席で成績評価を行う。さらに以下の項目を加味する。
1)各診療科における指導教員のチェックリスト
2)オーバーラップ時の引き継ぎ予定患者に対する医療面接時の観察
3)各科実習、オーバーラップ時の平常実習態度
4)必要に応じて臨床指導教員が適宜口頭試問を行う。また、適宜レポートを課す。

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間45時間:各科実習は、包括臨床実習 Phase Ⅱ への準備である。講義だけでなく、相互実習、治療見学・介助等、侵襲性の低い患者への歯科治療を行うので十分な予習が必要である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、基礎模型実習で習得した基本的な歯科技術練習をスキルスラボで復習することが望ましい。

試験の受験資格

試験はないが、Phase Ⅰ 全実習日数の 4 分の 3 以上の出席が履修判定に必要である。

参考書

口腔科学 = Stomatology／戸塚靖則, 髙戸毅 監修,飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集,:朝倉書店, 2013

実践クリティカル・シンキングのすすめ : 探究・臨床力をアップする EBM の学び方と活用ポイント／八重垣健 監著,:クインテッセンス出版, 2009

人間学入門 : 医療のプロをめざすあなたに／日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会/準備教育小委員会 編,:南山堂, 2009

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

履修上の注意事項

なお、診療系によっては欠席者に対して補習を行うことがある。補習を課せられた学生は、出席日数にかかわらず補習を受講しない限りPahse Ⅱに進めない。

備考

具体的な班分け、詳細な日程は包括臨床実習 Phase Ⅰ オリエンテーション時に示す。

連絡先(メールアドレス)

新田 浩:nitta.behd@tmd.ac.jp

秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

海老原 新:a.ebihara.endo@tmd.ac.jp

島田 康史:shimada.ope@tmd.ac.jp

鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp

オフィスアワー

新田 浩:毎週 月・水・木曜日 PM.4:00-5:00 10 号館 3 階 教授室

秀島 雅之:水 17:00－18:00

海老原 新:月～金 16:00－18:00

歯科棟 10 階歯髄生物学分野 第1研究室

島田 康史:月・火・木・金 16:30-18:30

鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。

時間割番号	021201			
科目名	PhaseⅡ(A)		科目ID	DD-572902-E
担当教員	海老原 新, 秀島 雅之, 鶴田 潤, 新田 浩, 島田 康史[EBIHARA ARATA, HIDESHIMA MASAYUKI, TSURUTA JIYUN, NITTA HIROSHI, SHIMADA Yasushi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

コマ数 616

モジュール番号 29-1

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標

1) 患者との信頼関係を築くことができる。
2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
4) 患者に最も適した医療を説明できる。
5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。
10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。
11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。
12) インフォームドコンセントを行うことができる。
13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。
14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。
15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。
16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。
17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。
18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。
19) 症例報告の準備ができる。
20) 症例報告ができる。

成績評価の方法

1)ポートフォリオによる自己チェック(形成評価)
2)エッセンシャルリクワイヤメント達成度(参考)
3)平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録)

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間70時間:基本的に毎日午前・午後のどちらかで患者治療を行うので、治療予定内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療内容についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。

試験の受験資格

特に試験は行わない。

モジュールの単位判定

5年後期の包括臨床実習 PhaseⅡ(A)の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ第6学年に進級できない。

参考書

1 からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック／猪越重久 著,:クインテッセンス出版, 2012
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編,:クインテッセンス出版, 2013
インレー修復 = inlay restoration : たしかな手技・臨床のかんどころ／笹崎弘己 著,笹崎, 弘己,:クインテッセンス出版, 2015

口腔機能の維持・向上による全身状態改善のためのオーラルケア・マネジメント実践マニュアル : 病院・施設・在宅における多職種協働を目指して／奥田聖介, 武井典子 編著,赤木重典 [ほか]著,別所和久 監修,奥田, 聖介,武井, 典子,赤木, 重典, 1952-,別所, 和久,:医歯薬出版, 2010

PMI ペリオドンタルモチベーショナルインタビューイング : 患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！歯周治療を成功に導く世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他,新田 浩 監修,礪波健一 著・文・その他,礪波健一 監修,土岡弘明 著・文・その他,土岡弘明 監修,斎田寛之 著・文・その他,酒井和人 著・文・その他,関根 聡 著・文・その他,竹内祥吾 著・文・その他,武田浩平 著・文・その他,中村一寿 著・文・その他,奈良嘉峰 著・文・その他,福場駿介 著・文・その他,新田 浩,礪波健一,土岡弘明,斎田寛之,酒井和人,関根聡,竹内祥吾,武田浩平,中村一寿,奈良嘉峰,福場駿介,:クインテッセンス出版, 2020-02-10

・「失敗しない歯髄保存療法」 須田英明 他 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「歯科領域における偶発症の予防とその対策」 藤井彰(編) ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「チェアサイドにおける＜アトラス＞義歯修理の押さえどころ」 小林賢一 医歯薬出版

・「印象採得・精密印象を知る―適合のよい補綴物製作のために」 中村公雄、西川 徹 他 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版

・「クラウンブリッジの臨床」 Stephen F. Rosenstiel ほか著、藤本順平共著・監訳 医歯薬出版

・「楽しく分かるクリニカルエンドドントロジー」 小林千尋 医歯薬出版

・「若手歯科医のための臨床の技 50 保存修復」 安田 登 ﾃﾞﾝﾀﾙﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ社

備考

・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 PhaseⅡ(A)の日程は別に定める

・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める

・本ユニットは患者実習、各科配属実習、病院外実習、臨床セミナー講義を行う。

時間割番号	021571			
科目名	PhaseⅡ(B)		科目ID	DD-672903-E
担当教員	海老原　新, 秀島　雅之, 新田　浩, 島田　康史, 鶴田　潤[EBIHARA ARATA, HIDESHIMA MASAYUKI, NITTA HIROSHI, SHIMADA Yasushi, TSURUTA JIYUN]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	6	
実務経験のある教員による授業	該当する			

732 コマ
モジュール番号 29-2

主な講義場所
第 1 総合診療室

授業の目的、概要等
患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標
1)　患者との信頼関係を築くことができる。
2)　個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
3)　患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
4)　患者に最も適した医療を説明できる。
5)　必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
6)　説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。
7)　説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
8)　患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
9)　医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。
10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。
11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。
12) インフォームドコンセントを行うことができる。
13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。
14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。
15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。
16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。
17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。
18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。
19) 症例報告の準備ができる。
20) 症例報告ができる。

授業方法
臨床実習

授業内容
第 1 総合診療室での一般的な歯科地用の実施
各科配属実習、学外実習、臨床セミナー(D6-OH4 症例検討合同授業を含む)からなる。

成績評価の方法
・エッセンシャルリクワイヤメント達成度
・共用試験臨床実地試験＋一斉技能試験
・臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表)
・ポートフォリオの提出状況
・平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録)
・総合試験

成績評価の基準

エッセンシャルリクワイヤメント達成度が 120 点以上

・共用試験臨床実地試験＋一斉技能試験+臨床能力判定試験の合格

・ポートフォリオの提出状況と平常点（包括臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）を加味する。

・総合試験の合格

準備学習等についての具体的な指示

必要自習時間150時間：基本的に毎日午前・午後のどちらかで患者治療を行うので、治療予定内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療内容についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。

試験の受験資格

6年の包括臨床実習 PhaseⅡ（B）の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）を受験することができない。

構成ユニット

本ユニットは患者実習、各科配属実習、学外実習、臨床セミナー（D6-OH4 症例検討合同授業を含む）からなる。

詳細な授業日程は 2024 年度 D5Phase 2 ガイダンス時に説明する。

モジュールの単位判定

・エッセンシャルリクワイヤメントを達成していること。

・共用試験臨床実地試験と一斉技能試験に合格すること。

・臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）に合格すること

・ポートフォリオを全日程で提出すること。

・平常点（包括臨床実習ライター、専門（特殊）診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録）。

・総合試験に合格すること。

参考書

歯内療法のケースアセスメントと臨床 ： 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著,：医歯薬出版, 2013

66 症例に学ぶ歯科臨床の問題解決 ： 診断・治療方針の決定・トラブルへの対応 ： こんな患者が来たらどうする?／Edward W.Odell 原著, 古賀剛人 監訳,柳献作, 鈴木弥佐士 訳Odell, E. W,古賀, 剛人, 1960-,柳, 献作,鈴木, 弥佐士,：医歯薬出版, 2018

垂直歯根破折歯を救え! ： いざという時使いたいサイエンス&テクニック／二階堂徹 監修,菅谷勉, 海老原新 執筆,：クインテッセンス出版, 2013

感染根管治療 Retreatment ： 感染制御の要点を知る／木ノ本喜史 編著,木ノ本, 喜史,：ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2019

エンド由来歯痛 ： 非歯原性歯痛への歯内療法からの挑戦／長谷川誠実 著,福西一浩 監修,長谷川, 誠実,福西, 一浩,：医歯薬出版, 2019

エンドの基本／吉岡隆知 編著,吉岡, 隆知, 1965-,：医歯薬出版, 2019

プロフェッショナルな実践のための Q&A55／藤本篤士 [ほか] 編著,藤本, 篤士,武井, 典子,東森, 秀年,糸田, 昌隆,大野, 友久,永田, 俊彦,：医歯薬出版, 2016

新解釈コンポジットレジン修復 ： 「MI」と「ESTHETIC」の両立を目指して／田代浩史 編著,田代, 浩史,：医歯薬出版, 2018

コンポジットレジン修復のベーシック&トレンド ： 診査・診断からメインテナンスまで／宮崎真至編集委員,宮崎, 真至,：デンタルダイヤモンド社, 2015

歯周外科のハプニング&リカバリー ： 早わかり Q&A96／和泉雄一監著 ； 小田茂, 竹内康雄, 水谷幸嗣編著,和泉, 雄一,小田, 茂,竹内, 康雄(歯科学),水谷, 幸嗣,：クインテッセンス出版, 2016

備考

・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 PhaseⅡ（B）の日程は別に定める。

・エッセンシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める。

・共用試験臨床実地試験＋一斉技能試験の実施方法、合格基準等は別に定める。

・臨床能力判定試験（終了時技能到達度確認試験＋OSCE、症例発表）の実施方法、合格基準等は別に定める。

時間割番号	021572			
科目名	PhaseⅢ		科目 ID	DD-672904-E
担当教員	海老原　新，秀島　雅之，新田　浩，鶴田　潤，島田　康史[EBIHARA ARATA, HIDESHIMA MASAYUKI, NITTA HIROSHI, TSURUTA JIYUN, SHIMADA Yasushi]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	6	
実務経験のある教員による授業	該当する			

実施期間は 2024 年 2 月 5 日～3 月 1 日（予定）である。詳細は別途連絡する。
106 コマ
モジュール番号 29-2

主な講義場所
各診療科外来、スキルスラボⅡ

授業の目的、概要等
卒後臨床研修の現場を体験するとともに、卒後臨床研修へ円滑に進めるために必要な態度・知識・技能を修得する。

授業の到達目標
1）　卒後臨床研修の意義を説明できる。
2）　卒後臨床研修の現場を体験する。
3）　診療の補助・介助が円滑にできる。
4）　症例報告に対して適切な質疑応答ができる。
5）　包括臨床実習 PhaseⅡで習得した基本的治療技術を実施できる。
6）　個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
7）　患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
8）　患者に最も適した医療を説明できる。
9）　必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。
10）説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
11）患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。
12）患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。

授業方法
実習、講義、演習

成績評価の方法
詳細は PhaseⅢオリエンテーション時に示す。

成績評価の基準
詳細は PhaseⅢオリエンテーション時に示す。

準備学習等についての具体的な指示
必要自習時間20時間：既に PhaseⅡ終了時までに、最低限の基本的な歯科治療内容の理解と実践は達成されているが、これだけでは卒後臨床研修を行うに当たり決して十分な準備が出来ているとは言い難い。そこで PhaseⅡで修得した知識・技術の再確認とさらなる向上を目指すために PhaseⅢを履修するのであるが、時間の許す限り、スキスルラボなどでの歯科技術の訓練を行うことが望ましい。

試験の受験資格
ユニット試験は行わない。

構成ユニット
01 包括臨床実習　Phase　Ⅰ
02 包括臨床実習　Phase　Ⅱ（A）
03 包括臨床実習　Phase　Ⅱ（B）
04 包括臨床実習　Phase　Ⅲ
05 頭頸部臨床解剖

モジュールの単位判定
各診療科が提示するアドバンス選択実習科目（半日1コース：1 クレジット）を選択し、12クレジット以上出席していなければユニット履修を

認めない。また、12 クレジット中4クレジット以上はスキルスラボⅡでの実習を必修とする。

参考書

歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice／住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編.:クインテッセンス出版, 2013

1 からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック／猪越重久 著,:クインテッセンス出版, 2012

チェアサイド・介護で役立つ口腔粘膜疾患アトラス : どこで見わけて、どう対応?／中川洋一 著,中川, 洋一, 1955-,:クインテッセンス出版, 2018

完全攻略スーパーボンド : 接着の悩み即解決／二階堂徹, 清村正弥 監著,二階堂, 徹,清村, 正弥,:クインテッセンス出版, 2018

研修医・歯科衛生士にこそ読んでもらいたい！学校では習わなかった義歯と義歯ケアの話 : オーラルフレイルの時代:患者さんに説明できますか？ 義歯と全身・食事・栄養のこと／水口俊介 監著 ; 古屋純一 監著,水口, 俊介,古屋, 純一,:クインテッセンス出版, 2018

象牙質知覚過敏症 : 目からウロコのパーフェクト治療ガイド／冨士谷盛興, 千田彰編,冨士谷, 盛興,千田, 彰,:医歯薬出版, 2017

写真でマスターする寒天アルジネート連合印象による誰でもできる簡単精密印象／新井俊樹, 山崎隼著,新井, 俊樹,山崎, 隼,:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2017

歯内療法成功のためのコーンビーム CT 活用術／Shanon Patel, Simon Harvey, Hagay Shemesh, Conor Durack, 月星光博 編著,興地隆史 監訳,Patel, Shanon,Harvey, Simon C,Shemesh, Hagay, 1966-,興地, 隆史,:クインテッセンス出版, 2018

治る歯髄治らない歯髄 : 歯髄保存の科学と臨床／泉英之 著,泉, 英之, 1974-,:クインテッセンス出版, 2018

世界基準の臨床歯内療法 = Global Standard in Clinical Endodontics／石井宏 著,石井, 宏,:医歯薬出版, 2015

備考

詳細な包括臨床実習 PhaseⅢの内容・実施日程は別に定める

本ユニットは、包括臨床実習 PhaseⅡ 終了までに習得した知識・技能・態度についての再確認を行うとおもに、歯科医師臨床研修開始に円滑な連携ができるように、患者実習、治療見学+介助、模型実習、講義を行う。

連絡先(メールアドレス)

新田 浩:nitta.behd@tmd.ac.jp

秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

海老原 新:a.ebihara.endo@tmd.ac.jp

島田 康史:shimada.ope@tmd.ac.jp

鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp

オフィスアワー

新田 浩:毎週 月・水・木曜日 PM.4:00-5:00 10 号館 3 階 教授室

秀島 雅之:水 17:00－18:00

海老原 新:月～金 16:00－18:00

歯科棟 10 階歯髄生物学分野 第1研究室

島田 康史:月・火・木・金 16:30-18:30

鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。

時間割番号	021213			
科目名	頭頸部臨床解剖		科目 ID	DD-532905-E
担当教員	岩永　譲, 吹野　恵子, 北河　憲雄[IWANAGA JO, FUKINO Keiko, KITAGAWA NORIO]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	5	
実務経験のある教員による授業	該当する			

モジュール名:包括臨床実習 (Phase 1)
科目名:頭頸部臨床解剖
ユニット責任者:岩永譲
開設時期:5 年　後期
コマ数(授業コマ数):28(講義実習)
授業形態:講義・実習
試験:講義内に小テスト、実習時間内に口頭試問を行う

授業日程

9/26(木)
9/27(金)
10/3(木)
10/4(金)

9:00-9:50 非同期
10:00-10:50 対面講義(D 棟 4 階歯学部特別講堂)
11:00-11:50 対面講義(D 棟 4 階歯学部特別講堂)
12:50-16:40 解剖実習(3 号館地下 解剖実習室)

9/27(金)のみ午後の実習もD 棟 4 階歯学部特別講堂にて行う(持ち物と服装は講義と同様で良い)。

主な講義場所

対面講義:D 棟 4 階歯学部特別講堂
解剖実習:3 号館地下 解剖実習室

9/27(金)のみ午後の実習もD 棟 4 階歯学部特別講堂にて行う。

授業の目的、概要等

歯科臨床における口腔顎顔面解剖の重要性を理解するために、臨床における視点から
局所解剖学的構造と機能を見直し、その後の人体解剖実習と連結させて統合的に修得する。

授業の到達目標

1)咀嚼筋、表情筋の構成と機能を説明できる。
2)舌と口蓋の形態学的特徴と機能を説明できる。
3)唾液腺の形態学的特徴と機能を説明できる。
3)頭頸部の脈管系を説明できる。
4)三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走向と分布および線維構成を説明できる。
5)頭頸部の筋膜と筋間隙について説明できる。
6)顔面神経麻痺に関連する解剖学的構造を説明できる。
7)インプラン ト治療と関連する上/下顎骨の形態学的特徴を説明できる。
8)顎関節疾患と関連する顎関節の構造と機能を説明できる。
9) 嚥下に関連する咽頭/喉頭の解剖学的構造を説明できる。
10)発声に関連する喉頭の解剖学的構造を説明できる。

11）国家試験出題範囲に含まれる構造物を確認する

成績評価の方法

講義の出席点及び態度、小テスト(講義中)、口頭試問(実習中)等により成績評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

D2 で履修した人体解剖学の知識がある前提での講義実習となる。

また、4日間ともに午前2コマ目の臨床講義(対面)、3コマ目の解剖講義(対面)は1コマ目にある非同期の録画講義を視聴した前提での受講となるため、必ず対面講義前に視聴すること。

試験の受験資格

実習は全て出席しなければならない。

受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

ビジュアル歯科臨床解剖 : 基礎から応用まで／岩永譲著,岩永, 譲.:クインテッセンス出版, 2020

口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修.:医歯薬出版, 2009

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著 ; 前田健康監訳,Norton, Neil Scott,前田, 健康.:医歯薬出版, 2012

参考書

「口腔解剖学 1-5」／上條雍彦:アナトーム社

プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部／Baker, Eric W. ,坂井建雄,天野修 監訳,BAKER、ERIC W.,ｻｶｲﾀﾂｵ,ｱﾏﾉｵｻﾑ,.:医学書院, 2012

Atlas of oral and maxillofacial anatomy／Joe Iwanaga, R. Shane Tubbs,Tubbs, R. Shane,岩永, 譲, 1981-,.:Springer, 2021

Netter atlas of human anatomy : classic regional approach／Frank H. Netter,Netter, Frank Henry, 1906-1991,.:Elsevier, 2023

Gray's anatomy : the anatomical basis of clinical practice／editor-in-chief, Susan Standring ; section editors, Neel Anand ... [et al.],Gray, Henry,Standring, Susan,Anand, Neel,.:Elsevier, 2021

エビデンスと解剖に基づいた臨床歯科麻酔学／岩永譲, 嘉村康彦, 田中毅編,岩永, 譲,嘉村, 康彦,田中, 毅.:医歯薬出版, 2020

履修上の注意事項

人体解剖実習用具は貸し出し。 実習着は各自準備が必要となる。

備考

本授業においては講義時実習時ともにアクティブラーニングを行う。

欠席の際は北河准教授まで理由を添えて連絡をすること(kitagawa.omfa@tmd.ac.jp)

時間割番号	021626				
科目名	デンタルエクスターンシップ(2024 年度)			科目 ID	
担当教員	井関祥子				
開講時期	2024 年度通年	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業内容

〇単位認定条件

1)短期海外歯科研修プログラム、歯学科教育委員会が認めたその他海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC730 点以上、もしくは他の英語検定で同等の成績)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中からいずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

(3) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績

2) オンライン学生国際交流プログラム

大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 ポイント以上あること(学年を越えた合算可)

・上記 1)の(1)、(3)以外のすべての要件を満たすこと

成績評価の方法

〇単位認定条件

1)短期海外歯科研修プログラム、歯学科教育委員会が認めたその他海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC730 点以上、もしくは他の英語検定で同等の成績)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中からいずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

(3) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績

2) オンライン学生国際交流プログラム

大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会等参加

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 ポイント以上あること(学年を越えた合算可)

・上記 1)の(1)、(3)以外のすべての要件を満たすこと

準備学習等についての具体的な指示

モジュールの単位判定

それぞれの海外研修プログラムの担当者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、歯学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。

単位の取扱いについては『歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取り扱い』を参照のこと。

履修上の注意事項

1. 短期海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目（卒業要件以外）の単位として1単位を認定する。　2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラム　における単位認定条件は別に定める。1）短期海外歯科研修プログラム、2）オンライン学生国際交流プログラム　3. 所定のプログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、　同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。

時間割番号	021i40				
科目名	デンタルエクスターンシップ(2024 年度)			科目 ID	
担当教員	井関祥子				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業内容

〇単位認定条件

1)短期海外歯科研修プログラム、歯学科教育委員会が認めたその他海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC730 点以上、もしくは他の英語検定で同等の成績)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中からいずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

(3) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績

2) オンライン学生国際交流プログラム

大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 ポイント以上あること(学年を越えた合算可)

・上記 1)の(1)、(3)以外のすべての要件を満たすこと

成績評価の方法

〇単位認定条件

1)短期海外歯科研修プログラム、歯学科教育委員会が認めたその他海外研修プログラム

(1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC730 点以上、もしくは他の英語検定で同等の成績)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の 3 つの中からいずれかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

(3) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修

(4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績

2) オンライン学生国際交流プログラム

大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会等参加

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 ポイント以上あること(学年を越えた合算可)

・上記 1)の(1)、(3)以外のすべての要件を満たすこと

準備学習等についての具体的な指示

モジュールの単位判定

それぞれの海外研修プログラムの担当者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、歯学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。

単位の取扱いについては『歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取り扱い』を参照のこと。

履修上の注意事項

1. 短期海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目（卒業要件以外）の単位として1単位を認定する。

2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラム　における単位認定条件は別に定める。

1）短期海外歯科研修プログラム、2）オンライン学生国際交流プログラム

3. 所定のプログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。

時間割番号	021202				
科目名	長寿口腔健康科学コース			科目 ID	DD-553600-L
担当教員	濵　洋平[HAMA YOHEI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	5	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

コマ数:30コマ
10 回×3 コマ(講義8回、演習2回)
授業形態:講義・演習
モジュール番号:36　　ユニット番号:01
必要自習時間　1 時間

主な講義場所
WebClass, Zoom を利用した遠隔授業

授業の目的、概要等
＜授業全体＞
健康長寿に対する先進的研究開発、教育の面からのアプローチができる人材及び地域医療の中で多職種連携を主導することができる人材養成を目標とし、他大学講義を含む全 10 回の授業で、健康長寿に関連する多岐に渡る領域について学ぶ。

以下、全 10 回の授業で構成される。
長寿を支える硬組織バイオロジー(同期型講義)
地域包括ケアシステム論(同期型講義)
健康長寿の歯科疫学・公衆衛生学(同期型講義)
在宅における摂食嚥下評価　1(同期型講義)
在宅における摂食嚥下評価　2(同期型演習)
アドバンス病態科学(同期型演習)
テイラード・コミュニケーション概論(非同期型講義)
地域連携と摂食支援(非同期型講義)
異分野融合型先端歯学・歯科医療(非同期型講義)
摂食嚥下のメカニズム(非同期型講義)

＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞
硬組織バイオロジーに関する知識を統合整理し、長寿社会における歯科医療の位置付けを確認する。

＜地域包括ケアシステム論＞
未曽有の超高齢化を目の前にして、今後わが国は後期高齢者が激増する。同時に認知症患者や独居高齢者、老夫婦のみの世帯も激増するとも推測される中、我が国の医療政策がまさに今問い直されている。すなわち、幅広い視点から医療・介護提供体制を大きく進化させていく時期に来ている。
高齢者の健康寿命を延ばすため、自助・共助・互助の精神の下、健康増進を普段から心掛け、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者自身も社会の支え手とする社会システムが求められる。さらに、たとえ自立度レベルが低下し要介助になった後でも、心を委ねられた医療人が横に寄り添う姿が必要であり、同時に医療介護の円滑なシステムと療養生活環境システムの両面サポートが存在することにより、はじめて「Aging in Place/ Aging in Community(できる限り元気で、住み慣れた街で弱っても安心して暮らす)」が達成される。よって、今後の医療制度改革は医療関係者の「意識改革」そのものと言っても過言ではない。今後、全国の様々な地域において目に見えるこれらの活動が実際に生まれ、そしてその地域に根付き、最終的には次の世代へ引き継がれることになって初めて意味のあるものになる。そのために、真の『地域包括ケアシステム』とは何かを理解する必要がある。それを達成するために、それまでの背景、その意義、今後の動向などを十分踏まえた上で、改めて若い歯科医療専門職として何を見据え、何をすべきかを熟慮し、視野の広い歯科医療人を目指して欲しい。

＜健康長寿の歯科疫学・公衆衛生学＞

口腔の健康の重要性の認識が近年変化してきている。口腔細菌や歯周組織の炎症といった生物医学的なメカニズム、食事や会話といった口腔機能とそれを通じた社会的交流など幅広い経路で口腔は健康長寿に影響していると考えられるようになった。それに加え、第74回WHO総会における口腔の決議にあるような高い有病率の公衆衛生的重要性も存在する。こうしたことを背景に疫学・公衆衛生学的に口腔と健康長寿を学習する。

＜在宅における摂食嚥下評価＞
摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。

＜アドバンス病態科学＞
超高齢社会を迎え、わが国の医療はさまざまな問題に直面している。チーム医療(多職種連携)は、この複雑な問題解決のための有用な方策であり、医療の質的向上とサービスの効率的提供を目的としている。我々歯科医療従事者が多職種連携を主導する key player のひとりになるためには、(歯科以外の)医師を始めとする医療従事者と共通の臨床医学的知識を基盤として、(歯科医療の)専門家としての議論が可能でなければならない。
本授業では、多彩な全身疾患を合併する患者のシナリオを、TBL に準拠した形式で議論することにより、病態の理解、ならびに臨床検査データの理解と評価を可能にし、有病高齢者の観血的処置における合理的なリスク管理方法を立案できるようにするのが目的である。なかでも、今後の歯科臨床あるいは医歯学融合教育を行う上で必須の臨床検査データの理解に重点を置く。

＜テイラード・コミュニケーション概論＞
臨床実習の場では、患者の訴えを漏れなく汲み取り、診断と実施すべき診療方法を患者に伝えて理解を得、そして治療に協力をしてもらうとともに、患者に必要な保健行動を実践してもらわねばならない。そこで、診療参加型臨床実習で適切な患者対応を行うために、コミュニケーションに関する知識、技能、態度を修得することを目的とする。

＜地域連携と摂食支援＞
要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。

＜異分野融合型先端歯学・歯科医療＞
将来の歯学・歯科医療の方向性の一つとして、異分野融合型の歯学およびそれに基づいた歯科医療のあり方について考察し、理解を深める。

＜摂食嚥下のメカニズム＞
正常な咀嚼・嚥下運動の遂行を担う生体機能を知る。
種々の疾患が引き金となって生じる摂食嚥下障害に対する臨床への興味につなげる。

授業の到達目標
＜授業全体＞
◯今後、歯科医師として健康長寿社会の達成に貢献することの必要性を理解する。
◯健康長寿社会の達成に、歯科医師が貢献できることについて理解する。
◯健康長寿社会の達成には歯科領域だけでなく、多面的なアプローチが必要であることを理解する。

＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞
1)骨構成細胞(破骨細胞、骨芽細胞、骨細胞)の役割と機能を説明できる。
2)ロコモティブ症候群と治療法を説明できる。
3)骨発生と遺伝子疾患の分子メカニズムが説明できる。

＜地域包括ケアシステム論＞
4)我が国の高齢者医療を取り巻く背景と、国の推し進める『地域包括ケアシステム』を理解する
5)従来の「治す医療」から『治し支える医療』という原点の理解: その象徴的存在である在宅医療の意義と歯科の関わりを理解する
6)「病人である前に『生活者』なのである」という理念の下に、住み慣れた街全体で生から死までを地域全体で支え、みて(診て・看て)いくという地域完結型の医療への進化を理解する
7)新たな大学ー地域間連携を構築しながら、地域医療にも視野を広げられる若手医療人の養成・早期医学教育にも触れる
8)より早期からの虚弱予防戦略を早期の段階から学ぶ:特に『オーラルフレイル(口腔機能の虚弱化)』から再考する

＜健康長寿の歯科疫学・公衆衛生学＞
9)口腔と健康長寿の人におけるエビデンス(疫学的エビデンス)を理解する
10)健康長寿にかかわる口腔の健康の決定要因を理解する
11)口腔と健康長寿の関係を調べる疫学研究の技法を理解する

＜在宅における摂食嚥下評価＞
12)摂食嚥下障害のアセスメントを覚える
13)摂食嚥下障害のスクリーニングテストができる
14)摂食嚥下障害患者への対応を考えることができる

＜アドバンス病態科学＞
15)歯科医療における(歯科領域以外の)臨床医学的知識の必要性を説明できる。
16)臨床的重要性が高い全身疾患の病態について説明できる。
17)臨床検査データの意味を理解し、その結果から各全身疾患の個体レベルでの評価ができる。
18)有病高齢者の安全な観血的歯科治療を行うためのリスク管理について正確な医学的知識を背景に立案できる。

＜テイラード・コミュニケーション概論＞
19)医療面接を説明する。
20)コミュニケーション技法・カウンセリング技法を説明する。
21)ラポール形成に必要な態度を説明する。

＜地域連携と摂食支援＞
22)在宅療養患者における特徴を述べる。
23)在宅診療の留意点を記述する。
24)摂食支援の実際を知る。
25)摂食嚥下機能の評価方法を説明する。
26)摂食嚥下機能の精密検査法を述べる。
27)摂食機能療法の計画・立案を説明する。

＜異分野融合型先端歯学・歯科医療＞
28)異分野融合型の歯学について説明できる。
29)先端歯科医療について説明できる。
30)将来の歯学・歯科医療のあり方について、自ら具体的に考察できる。
31)将来の歯学・歯科医療の変革や改善について、積極的に取り組む姿勢を持つ

＜摂食嚥下のメカニズム＞
32)摂食運動に関わる諸器官の構造と機能を説明する。
33)咀嚼と嚥下運動の機能意義を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	11/15	13:30-16:20	歯学部演習室	長寿を支える硬組織バイオロジー	AL　硬組織バイオロジーに関する知識を統合整理し、長寿社会における歯科医療の位置付けを確認する。	濵　洋平	[到達目標]1-3 [学習方法]遠隔講義　[事前学習]WebClass の資料予習
4-6	11/22	13:30-16:20	遠隔授業(非同期型)	テイラード・コミュニケーション概論(東京歯科大学　)	診療参加型臨床実習で適切な患者対応を行うために、コミュニケーションに関する知識、技能、態度を	濵　洋平	[到達目標]19-21 [学習方法]非同期ビデオ　[事前学

					修得することを目的とする。		習]特になし
7-9	11/29	13:30-16:20	遠隔授業（非同期型）	健康長寿の歯科疫学・公衆衛生学	AL　生物医学的なメカニズム、社会的交流など幅広い経路で口腔は健康長寿に影響していると考えられている。それに加え WHO 総会における口腔の決議にあるような高い有病率の公衆衛生的重要性も存在する。こうしたことを背景に疫学・公衆衛生学的に口腔と健康長寿を学習する。	相田　潤, 濵　洋平	[到達目標]9-11 [学習方法]遠隔講義　[事前学習]特になし
10-12	12/6	13:30-16:20	遠隔授業（非同期型）	異分野融合型先端歯学・歯科医療（東北大学）	将来の歯学・歯科医療の方向性の一つとして、異分野融合型の歯学およびそれに基づいた歯科医療のあり方について考察し、理解を深める。	濵　洋平	[到達目標]28-31 [学習方法]非同期ビデオ　[事前学習]特になし
13-15	12/13	13:30-16:20	遠隔授業（非同期型）	地域連携と摂食支援（日本歯科大学）	要介護高齢者に対する歯科訪問診療と摂食嚥下支援を行うために必要な知識を習得する。	濵　洋平	[到達目標]22-27 [学習方法]非同期ビデオ　[事前学習]特になし
16-18	12/20	13:30-16:20	歯学部演習室	摂食嚥下のメカニズム（新潟大学）	正常な咀嚼・嚥下運動の遂行を担う生体機能を知る。　種々の疾患が引き金となって生じる摂食嚥下障害に対する臨床への興味につなげる。	濵　洋平	[到達目標]19-21 [学習方法]非同期ビデオ　[事前学習]特になし
19-21	1/10	13:30-16:20	歯学部演習室	地域包括ケアシステム論	超高齢社会における歯科医師の役割について考えるために、地域包括ケアを中心として、現代の問題点を概説する。	飯島　勝矢（東大高齢総研）, 濵　洋平	[到達目標]4-8 [学習方法]遠隔講義　[事前学習]特になし
22-24	1/17	13:30-16:20	歯学部演習室	在宅における摂食嚥下評価1	AL　摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。（講義）	戸原　玄, 濵　洋平	[到達目標]12-14 [学習方法]遠隔講義　[事前学習]特になし
25-27	1/24	13:30-16:20	歯学部演習室	在宅における摂食嚥下評価2	AL　摂食嚥下障害の診察や評価、対応、更には在宅訪問診療のあり方を考えることを目的とする。（ロールプレイ、症例検討）	戸原　玄, 濵　洋平	[到達目標]12-14 [学習方法]グループワーク、PBL [事前学習]特になし
28-30	1/31	13:30-16:20	歯学部演習室	アドバンス病態科学	AL　多彩な全身疾患を合併する患者のシナリオを、TBL 形式で議論することにより、病態の理解、臨床検査データの理解と評価を可能にし、有病高齢者の観血的処置における合理的なリスク管理方法を立案できるようにするのが目的である。	大渡　凡人, 濵　洋平	[到達目標]15-18 [学習方法]グループワーク、TBL [事前学習]特になし

授業方法

＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞
＜地域包括ケアシステム論＞

＜健康長寿の歯科疫学・公衆衛生学＞
同期型(Zoom)講義後に、小テストを実施する。

＜在宅における摂食嚥下評価＞
摂食嚥下障害患者の見方を講義したのちにロールプレイを行う
もしくは
摂食嚥下障害患者の見方などを講義したのちにグループで新たな研究課題の提示および発表を行わせる

＜アドバンス病態科学＞
同期型(Zoom)を用いたグループワークを行う。

＜テイラード・コミュニケーション概論＞
＜地域連携と摂食支援＞
＜異分野融合型先端歯学・歯科医療＞
＜摂食嚥下のメカニズム＞
非同期型講義動画視聴後に、小テストを実施する。

成績評価の方法
出席および小テストの結果により判定する。

準備学習等についての具体的な指示
＜長寿を支える硬組織バイオロジー＞においては事前学習用の資料を WebClass にアップするので、予習してから授業に臨むこと。

構成ユニット
01 長寿口腔健康科学コース

モジュールの単位判定
出席、小テストの結果により判定する。

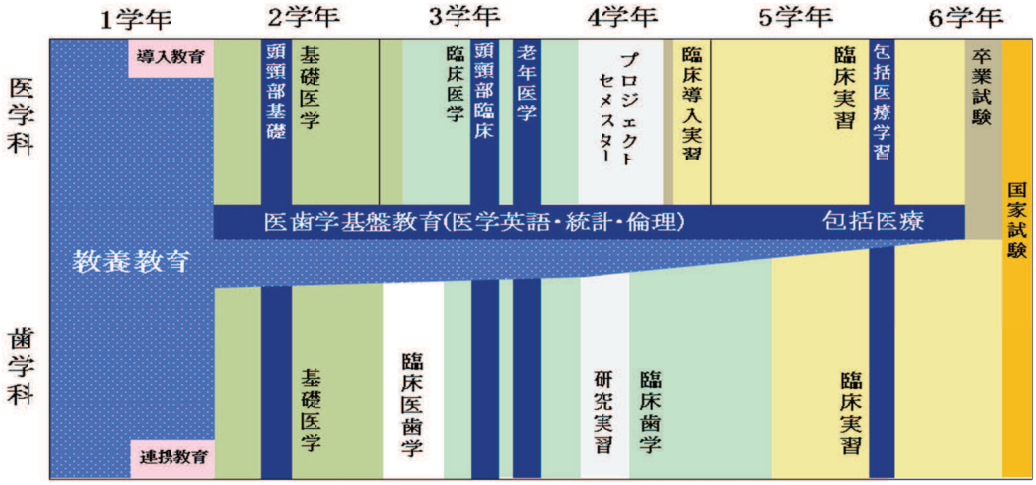
備考
「在宅における摂食嚥下評価」、「アドバンス病態科学」では数名ごとの班に分かれ、AL(グループディカッションやロールプレイ)を行う。

問い合わせ先:濵 洋平
y.hama.gerd@tmd.ac.jp
オフィスアワー メールで問い合わせお願いします

医歯学融合教育
医歯学基盤教育

● 医歯学融合教育

ますます進む高齢化や医療の進歩および複雑化により、これからの医療には多職種間で連携・協調のとれた包括的医療が必要とされます。そこで本学では、医学部と歯学部を併せ持つ医療系総合大学としての特色を活かし、複数学科の学生がともに共通目標に向かって学ぶ融合教育カリキュラムを開発しました。具体的には、複数学科、特に医学科と歯学科の学生が卒業時に獲得しておくべき知識・技能・態度のうち、共通するものであり共同で学ぶことにより学習効果が高まるもの、そして将来の連携・協調のもとの包括的医療提供のための基盤となるものを教育対象とし、以下のように6年間を通して様々な学習段階でともに教え合いながら学ぶ機会を創出しました。



● 医歯学基盤教育(2年次～4年次まで)

医学歯学を学ぶ上で基盤となる「英語」「臨床統計」「生命倫理」に関し、2年次から4年次にわたってともに学びます。従来「統計」「倫理」は医歯学専門教育の始まる前に行われていましたが、今回それらを関連する内容の専門教育と並行して配置し、そして内容をリンクさせることにより、学習効果を高める工夫を行いました。

● 頭頸部ブロック(2年次:頭頸部基礎(7月) 3年次：頭頸部臨床(1月))

頭頸部領域は、医師・歯科医師ともに診療にかかわる領域であり、医歯学生の両者にとっても非常に重要な領域です。医科および歯科の教員がそれぞれの得意分野を生かし、両学科の学生に同一の教育を行い、両学科の学生のより充実した学習につなげます。

2年次に行われる頭頸部基礎ブロックでは、頭頸部(頚から上の脳を除いた領域)に関する正常な構造・機能に関して、両学科の解剖学・生理学の教員が講義を行います。並行して2学科合同の実習を行い、知識の定着につなげます。

3年次に行われる頭頸部臨床ブロックでは、主として眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・形成外科・口腔外科の臨床5科の教員が臨床講義を行います。講義の形態として、患者参加型講義や症例基盤型学習機会なども用意される予定です。頭頸部領域の疾患を理解するうえで必要となる歯科・脳神経外科の講義の一部や頭頸部領域の病理実習もこの期間に含まれます。

● 老年医学ブロック(3年次(2月))

高齢化が進む我が国の未来社会において、「高齢者」とその生理的変化、および、高齢者によくみられる病態を知ることは、医学科・歯学科両学生共に必須のこととなります。3年次に2週間で行われる老年医学ブロックでは、医学科・歯学科合同の講義・実習を通じて高齢者について学びます。

● 包括医療学習(6年次)

6年次の最初に行わる包括医療学習では、専門知識・技能習得が進んだ医学部・歯学部の各学科最終学年の学生が一同に会し、各学科学生の混在する少人数グループ教育を行います。ここでは、症例シナリオをもとに、各学生がそれまでに学んだ知識・技能を振り返りながら統合・応用してグループとして共通の目標にむけて問題解決に取り組み、多職種間で連携・協調のとれた包括的医療を提供できる医療人となるための資質を養います。

科目を履修して得られる能力
歯学系コンピテンシーより

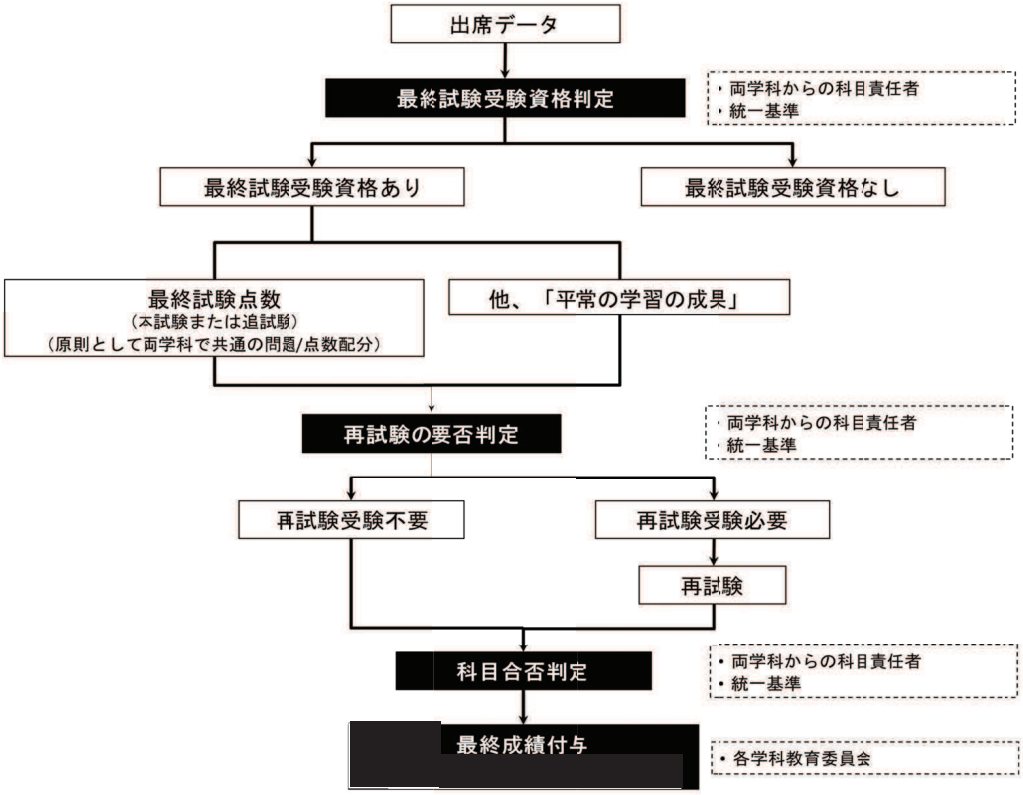
大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	2,3,4年次 医歯学基盤教育 生命倫理	臨床統計	グローバル・コミュニケーション	2年次 頭頸部基礎	3年次 頭頸部臨床	3年次 老年医学
国際人としての基盤	国際感覚／国際的視点	国際感覚／国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて議論できる	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて説明できる		B	B	B	B	B	B
	国際言語の運用力	国際言語（英語）の運用力	世界中から発信される医学/歯学における最新の情報につき常に自己アップデートする習慣を可能にする国際言語（英語）能力を有する	科学/医学/歯学の専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	非専門用語/表現の理解/表記/発音ができる		B	B	B	B	B	B
科学的探究心とEBD	情報収集・管理	守秘義務	患者情報の守秘義務を果たすことができる	守秘義務の実行方法について理解する	患者情報の守秘義務に必要性を理解する		C			C		
		情報のアップデート	常に新たな情報を探し求めることができる	必要な情報を新たに得る方法を習得する			B	B	B	B	B	B
	科学的探求への姿勢	問題発見・解決能力	臨床的あるいは科学的問題を認識し、その問題点を説明できる。	臨床的あるいは科学的問題を解決するための方法を理解する	臨床的あるいは科学的問題を知る		B	B	B	C	C	C
		研究活動の実践	指導教員のもとで研究を実践できる。	指導教員のもとで研究計画を立案できる。	研究の目的や手技を理解できる		B	B				
		研究発表	研究で明らかにした新知見を明確に説明できる	科学論文を読んで、その内容を理解し、紹介できる	科学論文を読んで、その内容を理解する				C			
		研究倫理の理解	研究倫理を理解して動物、ヒトもしくはヒト由来の標本を扱うことができる	実験動物、ヒトに関する研究の倫理的事項を概説できる			B					
プロフェッショナリズム	医療人としての姿勢・行動	対人関係	患者・家族に共感、敬意、思いやりをもって接することができる	医療における接遇の重要性を説明できる	コミュニケーションの重要性を理解している						A	
		対人関係	歯科医療チーム、他の専門職に対して、敬意、共感、責任感、誠実さを持って協働できる	チーム医療の必要性を理解している							B,A	B,A
		品位	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを実践できる	医療人として適切な服装、言葉遣い、立ち振る舞いを説明できる	医療人としての立場を理解している						A	
		リーダーシップ	歯科医療チームを管理する立場として行動できる	歯科医療チームを管理する立場を理解できる								B
		勤労習慣	医療人としての基本的行動規範を順守できる				A	A	A	A	A	A
	倫理	良識を伴った行動	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	物事の健全な考え方・正しい判断とは何かを身につける。			B	B	B	B	B	B
		患者中心医療の実践	患者中心の医療を理解し，行動することができる	模擬患者等に対して患者中心の医療に基いた対応ができる。	患者中心の医療に基づいた行動を具体的に説明できる。		C		C		BA	
		プライバシー尊重	患者のプライバシーを尊重できる	患者のプライバシーの尊重について説明できる。	患者のプライバシーの尊重について学習する。		B				A	
		患者権利の尊重	患者の権利を理解し、インフォームドコンセントを適切に取得することができる	模擬患者を使ってインフォームドコンセントを取得することができる。	インフォームドコンセントについてを説明できる。		C		C		C	
		インシデントへの対応	医療事故やインシデントに関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる	:医療事故やインシデントに関する情報を共有、重要性を理解し、再発防止に役立てることができることを理解する					B			
		著作権への対応	臨床記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	臨床・研究に関する学術発表や論文記述などの際に必要な著作権に関して説明できる。			A	A	A	A	A	A
		不正への対応	職務上の不正を認識し、倫理的に適切な対応を取る必要性を認識している	職務上の不正が社会に及ぼす影響を説明できる.					B			
		自己能力の認識	自分の能力の限界を認識し、行動すること必要性があることを理解している	自己能力を認識した行動ができる。	自己能力を認識する。		B	B	B	A	B	B
	法令、機関内規、規範等	法令、機関内規、規範等の遵守	大学の学則等の所属機関の内規、法令、規範等を遵守できる				A	A	A	A	A	A
	倫理	利益相反	利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	利益相反および回避するための行動を説明できる			B		B			
		企業との倫理的な関係	企業と倫理的に適切な関係を保つことができる	企業と倫理的に適切な関係を保つ必要性を説明できる			B		B			
	職業人としての生涯学習	生涯学習の必要性の理解	高度な歯科医療を提供するために、生涯にわたり研鑽を積むことの重要性を理解する								A	A
対人コミュニケーション	医師患者関係	医師患者関係	診療において、患者とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	患者とのラポール構築のための知識を持っている							B	B
			患者の心理状態や社会的背景に配慮できる	患者の心理状態や社会的背景を理解できる							B	B
	患者および家族とのコミュニケーションと情報共有	患者・家族の文化背景への対応	様々な背景や文化を持つ患者や患者家族と、効果的に意思疎通をとることができる	患者や患者家族の様々な背景や文化を認識することができる。							B	B
		患者中心の診療	患者の要望や懸念を認識し、診療計画策定を行い、診療することができる	患者の要望や懸念を認識することができる。							B	B
		患者との情報共有	患者や患者家族に、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を提示することができる	患者や患者家族にしめすための、口頭および書面にて、臨床所見/情報およびその後の計画を作成しまとめることができる。							B	B
	医療チームにおける意思疎通	医療チームにおける情報共有	歯科医療チームおよび他医療者に対して、口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすく提供することができる	歯科医療チームおよび他医療者に対して提示する患者に関する全ての臨床情報を、わかりやすくまとめることができる。							B	B
		多職種連携への基礎	多職種チームのすべてのメンバーと敬意を払いつつ効果的な議論ができる								A	A
		教育現場におけるコミュニケーション	指導教員、上級生、同級生、下級生と、良好な意思疎通を図ることができる								A	A
知識とその応用	基礎歯学（人体の構造・機能と病態科学）	頭頸部臨床	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を、頭頸部領域の診療に適用できる	頭頸部領域の基礎医学および臨床医学知識を持っている						B	B	
		解剖、生理、生化学	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を歯科臨床における現象の理解に適用できる	歯科医学に関連する解剖、生理、生化学の知識を持っている	人体の構造と機能および生命現象を司る物質的基盤を理解する					B	A	A
		病態科学	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を病態の理解に適用できる	口腔病変の病因と病理学的発生過程に関する知識を持っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の正常構造を理解する					B	B	A
		感染と生体防御	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を歯科臨床において適用できる	感染とその予防・治療に関する基礎的知識を持っている							A	A
		薬理	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	歯科臨床に関連する薬とその使用方法に関する知識を持っている								A

科目を履修して得られる能力
歯学系コンピテンシーより

大領域	小領域	要点	細目(Level A)	細目(Level B)	細目(Level C)	細目(Level D)	2,3,4年次 医歯学基盤教育 生命倫理	2,3,4年次 医歯学基盤教育 臨床統計	2,3,4年次 医歯学基盤教育 グローバル・コミュニケーション	2年次 頭頸部基礎	3年次 頭頸部臨床	3年次 老年医学
知識とその応用	臨床医学(口腔病態と全身病態)	老年医学:臨床の基礎	老年医学の知識を、高齢者の診療/歯科診療に適用できる	老年医学の知識を持っている	身体の構造と機能の加齢変化(常態)を理解する)							B
		内科・外科	薬とその使用方法に関する知識を歯科臨床に適用できる	薬とその使用方法に関する知識を持っている								B
		口腔病態と全身病態の関連	全身/口腔疾患の関連についての知識を、歯科医療に適用できる	全身/口腔疾患の関連についての知識を持っている								B
	臨床歯学(高度専門知識の応用)	口腔外科・矯正歯科	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を、個々の症例に適用し、適切に説明できる	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患に関する専門的知識を有する	外科的治療・矯正歯科治療を要する口腔顎顔面領域に生じる疾患の概略を知っている	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する				D		
		放射線治療	人体に対する放射線の影響を基礎としながら、放射線治療による治療効果や正常組織障害を適切に説明できる	人体に対する放射線の影響ならびに放射線治療による治療効果や正常組織障害に関する専門的知識を有する。							B	
診療の実践	科学的根拠に基づいた医療の展開	科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、得られた知見を診療に適用できる	臨床上の疑問を定義し、これらの疑問を解決するために適切な情報源にアクセスし、情報を得ることができる	臨床上の疑問を定義できる			C			B	B
		科学的根拠に基づいた医療の展開	臨床判断に際し、関連する質の高いエビデンスを、十分吟味した上で適用できる	質の高いエビデンスを、十分吟味できる	エビデンスに関する知識を身につける			C				
		科学的根拠に基づいた医療の展開	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を適用し、検討できる	患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義について、適切な疫学用語と疾病パターンの知識を身につける							B	B
		診療ガイドラインの利用	必要な診療ガイドラインを入手し内容を理解できる	診療ガイドラインに関する知識を身につける				B				
	診査診断と治療計画	診査と検査	症例に応じた診査と検査ができる	症例に応じた診査法と検査法を列挙できる	診査と検査に関する知識を身につける						B	B
		画像診断	適切な画像検査法を選択し、結果を解釈できる	各種画像検査法の種類と適応を説明できる	放射線に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける				D		
	治療とその技能	歯冠修復・欠損補綴	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置ができる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置を説明できる	基本的な歯冠修復・欠損補綴処置に関する知識を身につける	歯の形態と歯列、咬合に関する知識を身につける				D		
		歯周病	歯周病の基本的な治療ができる	歯周病の予防・診断および治療を説明できる	歯周病の病因・病態を理解できる	歯周組織の構造と発生の仕組み、加齢変化を理解する	D			D	D	D
		歯髄疾患と根尖歯周組織疾患	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の基本的な治療ができる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の予防・診断および治療を説明できる	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の病因・病態を理解できる	歯髄と歯周組織の構造と相互関係を理解する				D		
		外科処置	基本的な外科処置ができ、粘膜疾患への適切な対応ができる	基本的な外科処置が説明できる，粘膜疾患を理解できる	口腔・頭蓋・顎顔面領域に関する基礎的な知識を身につける					C	B	
		放射線	適切な画像検査を実施し、結果を解釈できる。	画像検査について説明できる	画像検査に関する知識を身につける	人体の正常解剖および病態に関する知識を身につける					D	
		小児歯科	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明でき、簡単な治療ができる	小児の口腔領域の基本的な疾患について、治療計画を説明できる	小児の口腔領域の基本的な疾患を理解できる	小児の口腔領域に関する知識を身につける	D			D		
		矯正歯科	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について、治療計画を説明できる	基本的な歯科矯正・外科的矯正治療について理解できる	顎口腔領域の形態・機能及びそれらの成長変化に関する知識を身につける					C	B	
		顎関節症	顎関節症の基本的な治療計画を説明できる	顎関節症の予防・診断および治療を説明できる	顎関節症の病因・病態および付随する機能障害を理解できる	顎関節と咀嚼筋に関する知識を身につける				D	B	
		全身管理と麻酔	歯科治療に必要な全身管理方法の立案ができ、麻酔手技について説明できる	歯科治療に必要な全身管理について説明できる	歯科治療に必要な全身管理に関する知識を身につける							B
		スペシャルケア	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価をし、治療計画について説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を説明できる	特別なケアを必要とする患者の全身状態に関する知識を身につける							B
		インプラント	インプラント治療の基礎的知識を治療計画立案に適用できる	インプラント治療の基礎的知識を身につける	口腔・頭蓋・顎顔面領域の諸構造とそれらの解剖学的相互関係を理解する					C	C	
	予防と口腔衛生の維持	予防と健康管理	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を実践できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理を説明できる	すべての年齢層での口腔疾患の予防と健康管理に関する知識を身につける		C	C			C	B
社会における予防と健康増進	地域における個人・家族・集団の口腔保健増進	病院・診療所運営システムの理解と応用	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを活用できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムを説明できる	学生、指導教員、多職種医療従事者により構成されるチーム医療に参加する際に、チーム医療を成立させる基盤システムに関する知識を身につける		B				B	B
		医療保険・費用等の知識	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を、個々の患者の診療に適用できる	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスに関する知識を身につける							B	B
		医療システムの理解と応用	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織(患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等)について理解する	地域・病院における医療展開およびそれに関わる組織(患者団体、病院、保険団体、行政機関、歯科材料会社等)について関する知識を身につける								A
		医療政策との関わり	医療政策の立案過程、および歯科医師が医療政策立案に関われる機会について、説明できる	医療政策に関する知識を身につける								B
		社会・文化・環境要因と疾病との関連	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因を説明できる	健康・疾病に影響を与える社会的、文化的、環境的要因に関する知識を身につける								B
		他医療の発展と口腔保健活動の関わりの重要性を理解し、歯科医療チームの基本的能力を向上する必要性を理解する	各種医療サービスと口腔保健活動の関わりの重要性を理解し、歯科医療チームの基本的能力を向上する必要性を理解する	各種医療サービスと口腔保健活動の関する知識を身につける								B

医歯学融合教育科目における成績評価判定について

- 医歯学融合教育科目の受験資格判定、採点および合否判定は科目責任者が行う。
- 原則として、試験問題、採点および合否判定は両学科共通とする。
- 医学科・歯学科の各教育委員会で成績の判定をする。



時間割番号	011009				
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)			科目ID	
担当教員	吉田　雅幸[YOSHIDA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	3		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行動をおこなってしまうのか、あるいはするべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省 HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和 4 年度改訂版)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html

PR-01-01)01,02
PR-01-02)01
PR-02-01)01
PR-02-02)01,02
PR-04-01)01,02,03
GE-01-02)01
GE-01-03)01,02
GE-01-06)04,05
RE-01-02)02
RE-03-01)01
RE-03-03)01,02,03
RE-05-02)01
CS-02
CS-03-03)01,02,03,04
CS-05-03)02
CS-05-05)02
CS-05-06)02
CM-01-02)01,02
CM-02-01)01,02
CM-02-02)01
CM-02-03)01,02,03,04
CM-03-01)01,02,03

CM-03-02)01,02
IP-02
IP-02-02)01
IP-02-04)01
SO-04-05)01
SO-05-01)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い（無礼、短気など）を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
[III-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる
[III-22-C]インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる
[III-23-B]著作権侵害にあたる行動を列挙できる
[III-24-B]利益相反および回避するための行動を説明できる
[III-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる
[IV-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる
[IV-7-B]重大で繊細な難しいトピック（sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど）について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる
[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる
[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－4	医の倫理「医科診療に潜む倫理的問題」	石井 秀人, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
2	4/11	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－3	医の倫理「歯科診療に関わる倫理的事項」	濵 洋平, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
3	4/18	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－5	医の倫理「保険診療・診療報酬と倫理的問題」	藍 真澄, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
4	4/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－8	医の倫理「医療事故と法的問題」	横野 恵, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照の

							こと
5	5/16	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－7	医の倫理「生殖医療に関わる倫理的問題」	江川 真希子, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
6	5/23	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－6	医の倫理「輸血に関連した倫理的問題」	梶原 道子, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
7-10	5/24	09:00-15:40	鈴木章夫記念講堂	チーム医療導入	M3D3N2MT2OH2OE3 を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップ	赤石 雄, 岡田 英理子, 鹿島田 彩子, 北畑 富貴子, 金子 英司, 中川 美奈, 沼沢 益行, 山口 久美子	アクティブ・ラーニング
11	5/30	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－10	「医療経済を考える」	井伊 雅子, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
12	6/6	09:00-10:20	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－9	「到達度評価・甲」	江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
13	1/9	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－11	医の倫理「救命救急と医療倫理（トリアージ等）」	森下 幸治, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
14	1/16	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－12	医の倫理「終末期医療と倫理（亜急性型の終末期、がん等）」	佐藤 信吾, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
15	1/16	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－13	医の倫理「終末期医療と倫理（慢性型の終末期）」	阿部 庸子, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
16	1/23	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－14	医の倫理「インフォームド・コンセント」	江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
17	1/23	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－15	研究倫理「医学系研究デザイン・実際」	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
18	1/30	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－16	「宗教と倫理」	小川 有閑, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと
19	1/30	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅰ－17	「宗教と倫理」	小川 有閑, 江花 有亮	②医療倫理 配布資料を参照のこと

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせて実施する。事前に配布した資料（スライドや動画など）をもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり。担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数を中心に、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+、A, B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の 3 分の 2 以上であること。第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの講義のうち 2／3 以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までのうち、2／3 以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、ZOOM 履歴と小レポートを通して確認する。

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,:Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,:Elsevier/AP, 2012

Principles of Biomedical Ethics／Tom L. Beauchamp, James F. Childress:Oxford Univ Pr, 2019

生命医学倫理／トム・Lビーチャム, ジェイムズ・F.チルドレス著 ; 立木教夫, 足立智孝監訳,Beauchamp, Tom L.,Childress, James F.,立木, 教夫,足立, 智孝,:麗澤大学出版会, 2009

入門・医療倫理／赤林朗 編,赤林, 朗, 1958-,:勁草書房, 2005

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。 「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2／3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。 医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

〇問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

江花 有亮: ebnysk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	011073			
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)		科目ID	
担当教員	小池　竜司, 能登　洋, 濵　洋平, 駒ヶ嶺　友梨子[KOIKE RYUJI, NOTO HIROSHI, AMA YOHEI, KOMAGAMINE YURIKO]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

オンラインによる遠隔講義

授業の目的、概要等

医学・歯学の診療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法(問題定式化・問題解決)を学ぶ

臨床統計Ⅲ終了時までに,実験デザインの基礎を学び,プロジェクトセメスターで臨床研究を行う際の研究基盤をつくる

授業の到達目標

1) エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する.

2) 実際の英文論文の批判的吟味ができ, 具体的な臨床研究の作り方の理解ができることを目標とする. 。

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる

[VI-1-B]情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる

[VI-2-B]臨床上の問題を明確化できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

[VI-4-B]医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNH など)を説明できる

[VI-5-C]入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる

[VI-6-B]診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる

[VI-7-B]診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1	8/29	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－1	エビデンスの読解・活用	能登　洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講　【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
2	8/29	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－2	エビデンスの読解・活用	能登　洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講　【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
3	9/5	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－3	エビデンスの読解・活用	能登　洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講　【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
4	9/5	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－4	エビデンスの読解・活用	能登　洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講　【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
5	9/12	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－5	エビデンスの読解・活用	能登　洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講　【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。

6	9/19	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－6	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講 【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
7	9/26	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－7	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講 【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
8	10/3	10:05-10:55	遠隔授業（非同期型）	臨床統計Ⅱ－8	臨床研究1	濵 洋平	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講(授業時間内に聴講)、演習
9	10/3	11:10-12:00	遠隔授業（非同期型）	臨床統計Ⅱ－9	臨床研究2	駒ヶ嶺 友梨子	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講(授業時間内に聴講)、演習
10	10/17	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－10	診療ガイドライン・メタアナリシス	能登 洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講 【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
11	10/24	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅱ－11	EBMの実践	能登 洋	【到達目標】1)、2)【学習方法】講義聴講 【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
12	11/7	10:05-10:55	医学科講義室1,	臨床統計Ⅱ－12	応用演習	能登 洋, 水口 俊介	【到達目標】1)、2)【学習方法】演習

			医学科講義室2				

授業方法

医歯学融合の講義・演習による .

Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義(同期型または非同期型)を行い, 出席はその視聴記録で確認する(アクセス記録の有無で判定).

同期型・非同期型いずれの講義も授業後に録画を再視聴できる.

同期授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う.

同期授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する. 授業後の質疑応答はメールを利用して行う.

Webclass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する. 質問は匿名で扱い, 次回授業や Webclass にて回答する. 授業内容以外のことを記載してもよく, 有効活用して欲しい.

授業内容

相関・診断・治療/予防に関する EBM(論文実践)を, 授業中の Zoom 投票機能やオンラインリアクションペーパー/小テストなども多用して学習・復習する(授業スケジュール参照)

成績評価の方法

応用演習(テスト)を主として評価する(約 90%). 小テスト回答や積極性や出席数についても適宜勘案する(約 10%).

授業中のクイズ・アンケートは出席数の計算にカウントしないが, 回答率を積極性として勘案する. 積極性はそのほかに授業態度なども含む. 授業後の小テストは出席点として加味したり Zoom トラブル時の出席カウント代替法として利用したりする. 小テストは学生の理解度を把握する目的なのでその得点は成績に関係しない.

成績評価の基準

上記の応用演習による得点および小テスト回答や積極性や出席数による得点を合計し, 100 点満点に換算して 60 点以上の場合に合格とする.

60 点以上の得点をそのまま当科目の最終評価点とする.

成績評価・追試・再試については, 上記成績評価(計 100%)に基づき, 原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.

準備学習等についての具体的な指示

教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること.

生協での教科書販売については生協に直接問い合わせること. 教科書は授業前に購入しておくことが望ましい.

試験の受験資格

臨床統計Ⅰ単位取得済みであること.(履修上の注意事項参照)

本学規定のとおり,ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする.出席数の計算に関しては,視聴履歴(アクセス記録の有無で判定)と小テスト回答数を確認し,従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する.

特別に勘案すべき事情により指示が達成できない場合や授業に出席できない場合には, その事情とともに締め切り期日前, ならびに授業の始まる前までに科目責任者または教務係にメールなどで日時の記録が残る形で連絡すること. 緊急の場合は電話でもよいが, その後メール連絡すること. 連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合はその限りでない. これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には, 事情に応じてレポートなどでの対応を行う.

教科書

スッキリわかる!臨床統計はじめの一歩 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登, 洋,:羊土社, 2018

参考書

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる!／能登, 洋,:羊土社, 2011

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である.

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため, WebClass を受講前に確認すること　・遠隔授業法(同期型/非同期型)が変更になることがあるため, WebClass を受講前に確認すること　・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する.　・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う.　・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない.また, 出席手続きやなどの不正に対しては厳正に対処

する.　・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため, 受講登録者以外に公開することを禁ずる.

備考

昨年からの改善点:スライドフォーマットや配色を実用性の高いものにする.

連絡先(メールアドレス)
能登 洋:hpnnytx@icloud.com

時間割番号	021121			
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)		科目ID	DD-323005-L
担当教員	戸原　玄, Janelle Renee MOROSS[TOHARA HARUKA, Janelle Renee MOROSS]			
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

クラス分け A-H: 遠隔授業(同期型), Zoom ID/Passcode はクラスによって異なる。(WebClass 参照)

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標

1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。

2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる。

3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Debate Basics-ORE practice (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習
2	5/9	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Free Dental Care: Pros & Cons Practice, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習、小テストは WebClass で行う(オンデマンド)

3	6/13	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Upper GI: Barium vs endoscopy, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
4	6/20	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Hypo vs Hyperthyroidism, On-demand quiz on WebClass （WebClass に資料がある）	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
5	6/27	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Exercise and Frailty, On-demand quiz on WebClass (Materials on WebClass)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
6	7/4	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Percutaneous Endogastric Tube (PEG), On-demand quiz on WebClass （WebClass に資料がある）	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができる グループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
7	7/11	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	COPD, On-demand quiz on WebClass	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)

				(WebClass に資料がある)			情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習
8	7/18	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Leukemia, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
9	7/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation/ Q&A Practice (all groups) (WebClass に資料がある)	全グループプレゼンテーション 1-6・Q&A. 教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
10	7/25	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Presentation/ Q&A Practice (all groups) (WebClass に資料がある)	全グループプレゼンテーション 1-6・Q&A. 教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
11	8/29	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Oral Cancer, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
12	9/5	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Autonomy, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマ

							ンド)
13	9/12	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Renal Function, On-demand quiz on WebClass （WebClass に資料がある）	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
14	9/19	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Prostate Cancer, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
15	9/26	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Atopic Dermatitis, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
16	10/3	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	Baby farming/ genetic design, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
17	10/10	09:00-09:50	遠隔授業	Presentation Group 1:	Q&A. 教員のフィードバック	Janelle Renee	1)プレゼンのスキ

			(同期型)	Abortion policies in Japan, On-demand quiz on WebClass		MOROSS	ルアップして、小テストはWebClassで行う(オンデマンド)
18	10/10	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	Genetic testing and abortion(WebClassに資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習
19	10/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Hay Fever, On-demand quiz on WebClass (WebClassに資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テストはWebClassで行う(オンデマンド)
20	10/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Chewing and Cognitive Function, On-demand quiz on WebClass (WebClassに資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	【到達目標】1) 2) 3)【学習方法】グループ討論【その他】個人の予習、小テストはWebClassで行う(オンデマンド)
21	10/31	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Presentation Group 2: Types of Diabetes, On-demand quiz on WebClass (WebClassに資料がある)	グループ1:プレゼンテーション・Q&A. 教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
22	10/31	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	Diabetes Testing (WebClassに資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テストはWebClassで行う(オンデマンド)
23	11/14	09:00-09:50	遠隔授業	Presentation Group 2:	グループ2:プレゼンテーション・	Janelle Renee	1)プレゼンのス

			(同期型)	Treatments for Hay fever, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	Q&A.　教員のフィードバック	MOROSS	キルアップして
24	11/14	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	Presentation Group 3: How flu vaccine is made, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	グループ 3:プレゼンテーション・Q&A.　教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
25	11/21	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Flu Shots (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
26	11/21	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	Presentation Group 4: HIV testing in Japan, On-demand quiz on WebClass　(WebClass に資料がある)	グループ 4:プレゼンテーション・Q&A.　教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
27	11/28	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	HIV (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持つことができるグループ討論、個人の予習、小テスは WebClass で行う(オンデマンド)
28	11/28	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	Presentation Group 5: Gallstones/ cholecystectomy, On-demand quiz (WebClass に資料がある)	グループ 5:プレゼンテーション・Q&A.　教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのスキルアップして
29	12/5	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	Cholesterol (WebClass に資料がある)	少少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏りのない思考 2)情報発信・議論する力 3)国内外の健康について、より広い視野を持

							つことができる グループ討論、 個人の予習、小 テスはWebClass で行う(オンデマ ンド)
30	12/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 6: What is LGBTQ+?, On-demand quiz on WebClass (WebClassに 資料がある)	グループ6:プレゼンテーション・ Q&A. 教員のフィードバック	Janelle Renee MOROSS	1)プレゼンのス キルアップして
31	12/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	LGBTQ+ Medical Disparities (WebClassに 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏 りのない思考 2) 情報発信・議論す る力 3)国内外の 健康について、よ り広い視野を持 つことができる グループ討論、 個人の予習、小 テスはWebClass で行う(オンデマ ンド)
32	12/12	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	Providing Quality Care to LGBT patients (WebClassに資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏 りのない思考 2) 情報発信・議論す る力 3)国内外の 健康について、よ り広い視野を持 つことができる グループ討論、 個人の予習、小 テスはWebClass で行う(オンデマ ンド)
33	12/19	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口頭試験+エッセイ (WebClassに資料があ る)	口頭試験+エッセイ	Janelle Renee MOROSS	1)スピーキングと ライティングの能 力を発揮する
34	12/19	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口頭試験+エッセイ (WebClassに資料があ る)	口頭試験+エッセイ	Janelle Renee MOROSS	1)スピーキングと ライティングの能 力を発揮する
35	1/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Giving Bad News (WebClassに資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	Janelle Renee MOROSS	1)より論理的で偏 りのない思考 2) 情報発信・議論す る力 3)国内外の 健康について、よ り広い視野を持 つことができる グループ討論、 個人の予習

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. 少人数グループ討論/アクティブラーニングを中心

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振返り機会を適宜用意する。※注: 生徒はTOEFLスコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。 学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、WebClass において（オンデマンド）小テストという形で学習度の確認を行う。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

・（オンデマンド）小テストスコア

・Class participation（議論/ 宿題）

・口頭試験+エッセイ

・Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

・（オンデマンド）小テストスコア（15%）

・Class participation（議論/ 宿題）（60%）

※ 注:グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が（10 点満点）与えられる。

・最後のセッションでの口頭試験+エッセイ（25%）

・Optional essays（bonus）

B 以上の評価を得るためには、授業に⅔以上出席し、クラスのディスカッション（各回 5～10 点評価）に積極的に参加し、語彙の小テストを受けて合格点を取り、最終課の口頭試験・作文で良い成績を取ることが必要です。

準備学習等についての具体的な指示

指示に従い小テストのための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示（文書・口頭）に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

小テストは授業中には行われません。授業当日の 24 時間前から授業の開始時間までに、WebClass で受験してください。

試験の受験資格

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」、「毎週の小テスト」、「口頭試験とエッセイ」によって評価される。なお、本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が以下に定める条件に足らず、不合格となった場合、留年となる。合格/進級のための出席関連必要条件、出欠確認方法および出欠ルール、最終警告通知を以下の通りとする。

【合格/進級のための出席関連必要条件】

・「欠席」が全セッションの 3 分の 1 以下であることを必要条件とする（十分条件ではない）。

・病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

・本科目では授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 DreamCampus と WebClass に掲示

する。
・出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】
・授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。
・授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする。
・授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

【欠席過多による「最終警告通知」】
・あと1回の欠席で不合格となる場合、TMDU メールに「最終警告通知」が送付される。
・「最終警告通知」には必ず返信し、通知される内容に従い、必ず担当教員と面談すること。
※注:「最終警告通知」に返答がない場合、保護者に通知がいくので注意すること。
※本学より学生各自に割り当てられたメールアドレス(学籍番号下6桁に+ ds@tmd.ac.jp / ms@tmd.ac.jp)宛に送られる連絡を速やかに確実に確認し対応することは、本学学生の義務です。指示を守れなかった場合に、「メールをみていなかった」は理由になりませんので、短い間隔で定期的に確実にチェックし、対応するようにしてください。

参考書

WebClass 参照

履修上の注意事項

本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が条件に足りない場合、不合格(留年)となる。 遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。 〰〰 講師が出席と参加を確認できるよう、ズームセッション中、学生は常にカメラをオンにして下さい。 インターネット接続が不十分等、カメラをオンにすることで参加やグループディスカッションが著しく損なわれる場合は、講師に口頭ないしはチャットで通知する必要があります。 そのような通知なしにカメラをオンにしていない学生は「欠席」とみなされます。 〰〰 前期・後期の授業終了後、科目についてのアンケートを webclass で実施する。 アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。 昨年のアンケートよりの改善点: 前年のアンケートに基づき、改善点を都度検討し、今後の運用に生かしている。

備考

学生や教員からのフィードバックに基づくコースの改善

連絡先(メールアドレス)

戸原 玄:h.tohara.swal@tmd.ac.jp
Janelle Renee MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

戸原 玄:随時(ただし必ず事前に連絡のこと)10 号館 5 階 戸原教授室
Janelle Renee MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	011080				
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024年度前期	対象年次	4		
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業の目的、概要等

なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。

医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、プロジェクトセメスターやクリニカルクラークシップなどの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標

医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

文部科学省HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html

CM-01-02)01,02

CM-02-01)01,02

CM-02-02)01

CM-02-03)01,02,03,04

CM-03-01)01,02,03

CM-03-02)01,02

CS-02

CS-03-03)01,02,03,04

CS-05-03)02

CS-05-05)02

CS-05-06)02

GE-01-02)01

GE-01-03)01,02

GE-01-06)04,05

IP-02

IP-02-02)01

IP-02-04)01

PR-01-01)01,02

PR-01-02)01

PR-02-01)01

PR-02-02)01,02

PR-04-01)01,02,03

RE-01-02)02

RE-03-01)01
RE-03-03)01,02,03
RE-05-02)01
SO-04-05)01
SO-05-01)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
[III-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる
[III-22-C]インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる
[III-23-B]著作権侵害にあたる行動を列挙できる
[III-24-B]利益相反および回避するための行動を説明できる
[III-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる
[IV-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる
[IV-7-B]重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる
[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる
[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－1	研究倫理「臨床治験と倫理的問題」	小池 竜司, 江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
2	4/4	11:10-12:00	遠隔授業(非同期型)	生命倫理Ⅱ－2	研究倫理「ゲノム研究に関する倫理的問題」	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
3	4/11	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－3	研究倫理「再生医療と倫理的問題」	片野 尚子, 江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
4	4/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	生命倫理Ⅱ－4	研究倫理「研究不正」	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照の

							こと
5	5/9	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅱ－5	到達度評価・乙	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
6	5/9	10:05-10:55	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅱ－6		江花 有亮	
7	5/9	11:10-12:00	遠隔授業（同期型）	生命倫理Ⅱ－7		江花 有亮	

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせて実施する。事前に配布した資料、スライドやこれまでに作成された講義動画などをWebClassを通して配信する。これらをもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり。担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数を中心に、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+、A, B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピペ、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の 3 分の 2 以上であること。第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの講義のうち 2／3 以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までのうち、2／3 以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、ZOOM 履歴と小レポートを通して確認する。

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,:Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,:Elsevier/AP, 2012

Principles of Biomedical Ethics／Tom L. Beauchamp, James F. Childress:Oxford Univ Pr, 2019

生命医学倫理／トム・L.ビーチャム, ジェイムズ・F.チルドレス著 ; 立木教夫, 足立智孝監訳,Beauchamp, Tom L.,Childress, James F.,立木, 教夫,足立, 智孝,:麗澤大学出版会, 2009

入門・医療倫理／赤林朗 編,赤林, 朗, 1958-,:勁草書房, 2005

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。 「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。 定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数の2／3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。 医師、歯科医師とい

った医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

〇問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

吉田　雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口　俊介: 随時

江花　有亮: ebnysk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	011081			
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)		科目ID	
担当教員	小池 竜司, 能登 洋, 石丸 美穂, 佐藤 宏征, 須藤 毅顕, 中林 潤, 平川 晃弘, [KOIKE RYUJI, NOTO HIROSHI, ISHIMARU MIHO, SATOU Hiroyuki, SUDOU Takeaki, NAKABAYASHI Junn, HIRAKAWA Akihiro]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			

主な講義場所

オンラインによる遠隔授業

授業の目的、概要等

臨床統計Ⅰ･Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床･臨床研究につながる発展学習を行う。具体的には、実データを解析して統計学的･臨床的解釈をする演習を行う。

臨床統計Ⅲ終了時までに、実験デザインの基礎を学び、プロジェクトセメスターで臨床研究を行う際の研究基盤をつくる。

授業の到達目標

1)臨床的データを適切に解析･活用できる実践技能を習得する。

2)具体的な臨床研究の作り方の理解ができる。

3)数理･データサイエンス･AI教育の応用基礎レベルの習得をする。

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識･能力･振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習･自己研鑽できる

[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる

[VI-1-B]情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる

[VI-2-B]臨床上の問題を明確化できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

[VI-4-B]医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNH など)を説明できる

[VI-5-C]入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる

[VI-6-B]診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる

[VI-7-B]診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方

							法・その他
1	4/11	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅲ－1	臨床研究の計画	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義聴講 【その他】授業中にZoom投票機能を利用してクイズに答える。また、授業終了時にWebClassにて小テストに解答する。
2-4	4/18	09:00-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅲ－2～4	データ解析・解釈演習1～3	中林 潤, 能登 洋, 須藤 毅顕, 石丸 美穂, 佐藤 宏征, 平川 晃弘	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中にZoomチャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。
5-7	4/25	09:00-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅲ－5～7	データ解析・解釈演習4～6	中林 潤, 平川 晃弘, 能登 洋, 須藤 毅顕, 石丸 美穂, 佐藤 宏征	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中にZoomチャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。
8-10	5/2	09:00-12:00	遠隔授業（同期型）	臨床統計Ⅲ－8～10	データ解析・解釈演習7～9	中林 潤, 能登 洋, 須藤 毅顕, 石丸 美穂	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中にZoomチャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。

授業方法

医歯学融合の講義・演習による。

Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義(同期型)を行い、視聴確認(アクセス記録の有無で確認)とともに演習課題レポート提出によって出席と見なす。レポート提出期限は各授業や WebClass にて通達する。

いずれの講義も授業後に録画を再視聴できる。

授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う。

授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する。授業後の質疑応答はメールを利用したり Zoom による相談窓口を設置したりして行う。

WebClass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する。質問は匿名で扱い、次回授業や WebClass にて回答する。授業内容以外のことを記載してもよく、有効活用して欲しい。

授業内容

臨床研究法について

オープンデータを利用したデータ管理・データ処理・データ加工・モデリングと評価・統計学的および臨床的解釈の仕方(TBL)

希望者を対象に、少人数ゼミも授業時間の一部を利用して開催する。AI・機械学習・多変量解析応用・論文の読み方書き方の注意点などの hands-on 学習とディスカッションを行う。

成績評価の方法

科目責任者がレポートを主として評価する(約 90%)。

小テスト回答や積極性についても勘案する(約 10%)。

成績評価の基準

統計学的解析・解釈のみならず、臨床的解釈・評価についても判定する。具体的には授業中に説明する。

上記の応用演習・レポートによる得点および小テスト回答や積極性による得点を合計し、100 点満点に換算して 60 点以上の場合に合格とする。

60 点以上の得点をそのまま当科目の最終評価点とする。

レポート内容については電子的ツールでも分析し、剽窃が判明した場合には減点対象とする。

成績評価・追試・再試については、上記成績評価(100%)に基づき、原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。

準備学習等についての具体的な指示

教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。

生協での教科書販売については生協に直接問い合わせること。教科書は授業前に購入しておくことが望ましい。

試験の受験資格

臨床統計 I・II 単位取得済みであること(履修上の注意事項参照)

本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席とレポートでの合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、視聴履歴(アクセス記録の有無で判定)と小テストの回答数を確認し、従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する。4/18、4/25、5/2 の演習では、視聴履歴があればそれぞれ 3 コマ全出席とし、なければ 3 コマ欠席とする。

特別に勘案すべき事情により指示が達成できない場合や授業に出席できない場合には、その事情とともに締め切り期日前、ならびに授業の始まる前までに科目責任者または教務係にメールなどで日時の記録が残る形で連絡すること。緊急の場合は電話でもよいが、その後メール連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合はその限りでない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどでの対応を行う。

教科書

スッキリわかる!臨床統計はじめの一歩 : 統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登, 洋,:羊土社, 2018

参考書

みんなの医療統計 : 12 日間で基礎理論と EZR を完全マスター!／新谷, 歩,:講談社, 2016

みんなの医療統計 多変量解析編 10 日間で基礎理論と EZR を完全マスター！／新谷, 歩,:講談社, 2017

日常診療にすぐに使える臨床統計学 : ベストな診断と治療ができる!／能登, 洋,:羊土社, 2011

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため，WebClass を受講前に確認すること　・遠隔授業法が変更になることがあるため、WebClass を受講前に確認すること　・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。　・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きやレポート内容などの不正に対しては厳正に対処する。　・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

昨年からの改善点：データを一新する。発展コースを自由参加にする。

連絡先(メールアドレス)

能登 洋: hpnnytx@icloud.com

連絡先（メールアドレス）

能登　洋:hironoto@luke.ac.jp

時間割番号	021122				
科目名	頭頸部臨床			科目 ID	DD-323200-L
担当教員	原田　浩之[HARADA HIROYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

授業科目名英訳:Head and Neck Clinical Medicine

主な講義場所

オンラインで行う場合がある。

授業の目的、概要等

頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3 年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。

授業の到達目標

①頭頸部領域の構造と機能の理解
②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解
③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解
④これらを利用した臨床推論が可能となること

文部科学省 HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度改訂版）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

D-2-3)③
D-7-1)⑭
D-14-1)①②③④⑤⑥
D-14-2)①②
D-14-3)-(1)①
D-14-3)-(2)①②
D-14-4)-(1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑫
D-14-4)-(2)①②
E-2-4)-(1)⑤
E-3-5)⑬
F-1-9)①②③
F-1-19)①②③
F-1-27)①②③
F-3-5)-(3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる
[Ⅳ-4-B]多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる
[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる
[Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる
[Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる
[Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる
[Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる
[Ⅴ-9-B]診療上必要な歯科医学の知識を提示できる
[Ⅴ-10-B]全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる
[Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる
[Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	1/6	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション　基礎医学復習テスト		堤 剛, 山口久美子	Zoom,Webclass で実施
3	1/6	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	耳鼻咽喉科　耳鼻咽喉科学総論　手術解剖		堤 剛	授業の到達目標①
4	1/6	13:50-14:40	遠隔授業(同期型)	耳鼻咽喉科　耳科学1(解剖・生理)		堤 剛	授業の到達目標①
5	1/6	14:50-15:40		耳鼻咽喉科　Prep.Time(めまい・平衡障害)	AL に向けての自習	堤 剛	授業の到達目標②③
6	1/6	15:50-16:40		予備枠			
7	1/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	耳鼻咽喉科　AL　耳科学2(めまい・平衡障害)		堤 剛	Active Learning(ケーススタディ)授業の到達目標④
8	1/7	10:00-10:50		耳鼻咽喉科　Prep.Time(聴覚障害)	AL に向けての自習	川島 慶之	
9	1/7	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	耳鼻咽喉科　AL　耳科学4(聴覚障害)		川島 慶之	授業の到達目標②③
10	1/7	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	耳鼻咽喉科　耳科学3(外耳・中耳・顔面神経)		伊藤 卓	WebClass で実施授業の到達目標②③
11	1/7	13:50-14:40		耳鼻咽喉科　Prep.Time(口腔・咽頭・唾液腺)	AL に向けての自習	本田 圭司	授業の到達目標②③
12	1/7	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	耳鼻咽喉科　AL　口腔・咽頭・唾液腺		本田 圭司	Active Learning(ケーススタディ)

							授業の到達目標④
13	1/7	15:50-16:40		予備枠			
14	1/8	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科 ミニケース		伊藤 卓	国家試験問題を利用した参加型講義 授業の到達目標④
15	1/8	10:00-10:50		耳鼻咽喉科 Prep.Time（喉頭）	ALに向けての自習	竹田 貴策	Active Learning（ケーススタディ）授業の到達目標④
16	1/8	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科 AL 喉頭		竹田 貴策	Active Learning（ケーススタディ）授業の到達目標④
17	1/8	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科 めまい・平衡障害の病態生理		髙橋 真有	授業の到達目標①②③
18	1/8	13:50-14:40	遠隔授業（非同期型）	耳鼻咽喉科 鼻科学		西尾 綾子	授業の到達目標②③
19	1/8	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	耳鼻咽喉科 嚥下・救急・気道管理		堤 剛	授業の到達目標④
20	1/8	15:50-16:40		予備枠			
21	1/9	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部領域の臨床解剖1（頸部）		秋田 恵一	
22	1/9	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部領域の臨床解剖2（頭蓋底）		秋田 恵一	
23	1/9	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	上・中咽頭の腫瘍		野村 文敬	
24	1/10	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	頭頸部外科学総論		朝蔭 孝宏	
25	1/10	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	口腔の腫瘍		朝蔭 孝宏	
26	1/10	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	下咽頭・喉頭の腫瘍		大野 十央	
27	1/10	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭蓋底腫瘍・脳神経		河野 能久	
28	1/10	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	鼻副鼻腔・頭蓋底の腫瘍		有泉 陽介	
29-30	1/10	13:50-15:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部外科 ミニケース		有泉 陽介	
31	1/14	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	形成外科総論		森 弘樹	Webclassで実施
32	1/14	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	形成外科 顔面領域の構造と外傷		石田 直也	Webclassで実施
33	1/14	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	形成外科 創傷外科		森 弘樹	Webclassで実施
34	1/14	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	頭頸部癌の放射線治療		吉村 亮一	

35	1/15	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	唾液腺の腫瘍		清川 佑介	
36	1/15	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	甲状腺腫瘍		岡田 隆平	
37	1/15	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	形成外科 組織再建の基本概念		田中 顕太郎	Webclass で実施
38-39	1/15	14:50-16:40		予備枠			
40-42	1/16	12:50-17:10	遠隔授業（同期型）	頭頸部病理実習		山本 浩平, 栢森 高, 伊藤 崇	
43	1/17	11:00-11:50	医学科講義室 1, 医学科講義室 2	頭頸部外科試験		大野 十央, 山口 久美子	
44	1/17	12:50-13:40	医学科講義室 1, 医学科講義室 2	耳鼻咽喉科 試験		堤 剛, 川島 慶之, 伊藤 卓, 本田 圭司, 西尾 綾子	
45	1/20	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	口腔外科総論		依田 哲也	授業の到達目標①
46	1/20	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	顎口腔の外傷		依田 哲也	授業の到達目標②③
47	1/20	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	顎口腔の悪性腫瘍		原田 浩之	授業の到達目標②③
48	1/20	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	形成外科 頭頸部再建・頭蓋底再建		田中 顕太郎	Webclass で実施
49	1/20	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	形成外科 皮膚軟部腫瘍		田中 顕太郎	Webclass で実施
50	1/20	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	形成外科 手足・体幹の先天異常と外傷		石田 直也	Webclass で実施
51	1/21	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	形成外科 熱傷の局所治療と瘢痕ケロイド		植村 法子	Webclass で実施
52	1/21	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	形成外科 顔面・頭部領域の先天異常		植村 法子	Webclass で実施
53	1/21	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	形成外科 乳房再建・美容外科		森 弘樹	Webclass で実施
54	1/21	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	歯科矯正治療		小川 卓也	授業の到達目標②③
55	1/21	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	口腔顎顔面の先天性疾患と顎顔面変形症		森田 圭一	授業の到達目標②③
56	1/21	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	顎口腔の良性腫瘍および嚢胞		黒嶋 雄志	授業の到達目標②③
57	1/22	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	顎関節疾患		儀武 啓幸	授業の到達目標②③
58	1/22	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	口腔粘膜疾患		津島 文彦	授業の到達目標②③
59	1/22	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	歯・歯周疾患と全身との関係		新田 浩	授業の到達目標②③

60	1/22	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	口腔外科ミニケース		釘本 琢磨	Active Learning（班に分かれてのケーススタディ）授業の到達目標④
61	1/22	14:50-15:40	遠隔授業（非同期型）	患者参加型講義		釘本 琢磨	
62	1/23	12:50-14:10	遠隔授業（同期型）	形成外科 ミニケース①		矢野 智之	Active Learning（班に分かれてのケーススタディ）
63	1/23	14:20-15:40	遠隔授業（同期型）	形成外科 ミニケース②		石田 直也	Active Learning（班に分かれてのケーススタディ）
64	1/24	09:00-09:50	医学科講義室1，医学科講義室2	形成外科 試験		植村 法子，石田 直也	
65	1/24	10:00-10:50	医学科講義室1，医学科講義室2	口腔外科・歯科 試験		津島 文彦	
66	1/27	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	眼科序論		五十嵐 多恵	
67	1/27	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	眼科検査方法・色覚		五十嵐 多恵	
68	1/27	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	小児眼科・未熟児眼		五十嵐 多恵	
69	1/27	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	網膜剥離・糖尿病網膜症		堀江 真太郎	
70	1/27	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	眼症候学		堀江 真太郎	
71	1/27	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	屈折異常・調節障害		浦本 賢吾	
72	1/28	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	救急疾患		髙橋 知成	
73	1/28	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	神経眼科		吉田 武史	
74	1/28	10:00-10:50		予備枠			
75	1/28	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	ぶどう膜炎		鴨居 功樹	
76-78	1/28	12:50-15:40		予備枠			
79	1/29	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	緑内障		吉田 武史	
80	1/29	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	斜視・弱視		大野 明子	
81	1/29	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	角膜		佐野 研二	
82	1/29	13:50-14:40	遠隔授業	網膜疾患		浦本 賢吾	

			(同期型)				
83	1/29	14:50-15:40	遠隔授業(同期型)	白内障		髙瀬 博	
84	1/30	12:50-14:10	遠隔授業(同期型)	眼科ミニケース	ケーススタディー	大野 京子	Active Learning(ケーススタディー)
85	1/30	14:20-15:40	遠隔授業(同期型)	眼科ミニケース	ケーススタディー	鴨居 功樹	Active Learning(班に分かれてのケーススタディ)
86	1/31	09:00-09:50	医学科講義室 1, 医学科講義室 2	眼科 試験		髙瀬 博, 髙橋 知成	

授業方法

講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義、active learning 含む)
病理実習 1 回
試験 5 回)
耳鼻咽喉科の AL(active learning)と表記のある講義については、あらかじめ提示した query を予習(preparation time にて)し、講義はすべて班ごとの case study と discussion 形式で行う。query に対するレポート提出を受け付ける(任意だが試験後の救済に使用する)。
配信型の講義については WebClass からの視聴をすること。

授業内容

ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第 1 週)、頭頸部外科(第 2 週)、形成外科(第 2～3 週)、口腔外科・歯科(第 3 週)、眼科(第 4 週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第 2 週)、放射線科(第 2 週)、脳外科(第 2 週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第 2 週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のアクティブラーニングやミニケースを行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第 2～4 週の最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得て TBL を行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。ただし本年度は試験会場の都合から通常の試験とする。

成績評価の方法

講義や実習の態度、基礎復習テストおよび 5 回の試験(英語での出題を含む)による総合成績で評価する。
耳鼻咽喉科の AL 講義については、レポート提出は任意だが成績判定に加味する場合がある。

成績評価の基準

5 回の試験の配点は均等とし、個々の試験において合格基準(60 点以上)を満たす事がブロック合格の条件となる。これを越えたものを B 評価以上とする。A+および A 評価は試験の点数にて行う。不合格の科に関して再試験を行う。不合格の場合の再試験は、当ブロック終了翌月の 3 月に行われる「頭頸部・臨床」再試験によって行う。「基礎医学復習テスト」についても成績判定に利用することがある。

準備学習等についての具体的な指示

・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。
・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよび WebClass 上の連絡事項を確認すること。
・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること

試験の受験資格

出席は確認しない。

教科書

新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著,野村恭也 監修,加我君孝 編集,:南山堂, 2013
標準形成外科学／平林慎一 監修,鈴木茂彦, 岡崎睦 編集,平林, 慎一, 1951-,鈴木, 茂彦,岡崎, 睦,:医学書院, 2019
最新口腔外科学 第 5 版／榎本昭二他:医歯薬出版, 2017
現代の眼科学／吉田晃敏, 谷原秀信 編,所敬 監修,:金原出版, 2012

参考書

イラスト手術手技のコツ耳鼻咽喉科・頭頸部外科／村上泰, 久育男 監修,小川郁, 河田了, 岸本誠司, 春名眞一 編集,村上, 泰, 1935-,久, 育男, 1949-,小川, 郁, 1955-,河田, 了,岸本, 誠司, 1948-,:東京医学社, 2017

がんを見逃さない : 頭頸部癌診療の最前線／岸本誠司 専門編集,:中山書店, 2013

Essentials of Plastic Surgery, 3rd ed／Jeffrey E. Janis:GEORG THIEME VERLAG, 2022

Operative Oral and Maxillofacial Surgery／John D. Langdon, Peter A. Brennan:Hodder Education, 2011

動画でみるみるわかる眼科検査テクニック : 基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる／松本長太 監修,前田裕子 編著,:メディカ出版, 2013

Clinical ophthalmology／Jack J. Kanski, Bradley Bowling:Elsevier Saunders, 2011

ENG アトラス = Atlas of Electronystagmography : めまい・平衡機能障害診断のために／小松崎篤 著,小松崎, 篤, 1933-,:医学書院, 2017

病気がみえる／医療情報科学研究所/編集,:メディックメディア, 2020-12

履修上の注意事項

講義、実習、試験は基本的に対面で実施するが、COVID-19 の感染状況によってはリモートとなる。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるため、時間厳守とし、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。

備考

【科目責任者】堤 剛(耳鼻咽喉科学)、原田 浩之(顎口腔腫瘍外科学分野)

問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。

耳鼻咽喉科:川島 慶之:kawashima.oto@tmd.ac.jp

頭頸部外科:大野 十央:ohno.hns@tmd.ac.jp

形成外科:植村 法子:noriplas@tmd.ac.jp

口腔外科:釘本琢磨:kugimoto.osur@tmd.ac.jp

眼科:高瀬 博:h.takase.oph@tmd.ac.jp

人体病理:山本 浩平:yamamoto.pth2@tmd.ac.jp

口腔病理:布川 裕規:yfukawa.mpa@tmd.ac.jp

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ http://www.jibika.or.jp/

日本頭頸部癌学会ホームページ http://www.jshnc.umin.ne.jp/

日本形成外科学会ホームページ http://www.jsprs.or.jp/

日本口腔外科学会ホームページ http://www.jsoms.or.jp/

日本眼科学会ホームページ http://www.nichigan.or.jp/index.jsp

http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html

時間割番号	021123A				
科目名	総合診療・地域医療			科目 ID	DD-323300-L
担当教員	猪越　正直[INOKOSHI MASANAO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

主な講義場所

講義:Zoom-Webclass による授業(同期型・非同期型)

実習:大学内、その他

実習(early exposure):地域の医療機関に訪問、またはZOOMによるインターラクティブな会話

授業の目的、概要等

実際に地域で展開されている医療などを知り、地域住民のニーズに合致した医療や多職種連携(医科歯科連携を含む)を理解し、全人的医療を実現させる総合診療、地域包括ケア、そして地域共生社会の重要性を認識できるようにする。

授業の到達目標

1.日本の医療の問題とその対策について説明できる。
2.総合診療やプライマリ・ケアの機能とその重要性を説明できる。
3.病院総合医の概要や役割について説明できる。
4.高齢者医療の全体像や重要な点について説明できる。
5.多職種連携の概要と医師の役割を説明できる
6.病診連携の概要を説明できる。
7.高齢者医療・老年医学の研究の概要を理解できる。
8.高齢者特有の症候(老年症候群・フレイルなど)の概要を説明できる
9.効果的な患者教育を説明できる。
10.臨床推論の手法の概要を理解し説明できる。
11.家庭医の役割を理解し概要を説明できる。
12.患者中心の医療の概要を説明できる。
13.臨床倫理の原則や実践の手法を説明できる。
14.地域住民が求めている医療やそのシステムを認識できる。

文部科学省 HP　医学教育モデル・コア・カリキュラム(平成 28 年度改訂版)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/033-2/toushin/1383962.htm

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
[III-2-C]専門職にある者としての立場を理解している
[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-21-A]患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる
[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる
[Ⅳ-4-B]多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる
[Ⅳ-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる
[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる
[Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる
[Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる
[Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる
[Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる
[Ⅴ-10-B]全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる
[Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる
[Ⅵ-12-A]高齢者の機能的評価を行える
[Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる
[Ⅶ-2-B]多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。
[Ⅶ-3-B]仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる
[Ⅶ-5-B]医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる
[Ⅶ-6-A]医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	2/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	日本の総合診療のあり方		橋本 正良	到達目標:1、2 学習方法:遠隔講義
2	2/3	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	老年医学のエッセンス・研究		秋下 雅弘	到達目標:7 学習方法:遠隔講義
3	2/3	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	摂食嚥下リハビリテーション		中根 綾子	到達目標8
4-6	2/3	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	高齢者疑似体験実習		本村 一朗	到達目標8
7-9	2/3	12:50-15:40	第1総合診療室	口腔ケア実習		鈴木 瞳, 吉田 直美	到達目標5
10	2/4	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	在宅歯科医からみた要介護高齢者の状況		猪原 健	
11	2/4	10:00-10:50	遠隔授業(同期型)	社会保障と医療と経済		相田 潤	
12	2/4	11:00-11:50	遠隔授業(同期型)	在宅医療の実践と研究		山中 崇	到達目標:4 学習方法:遠隔講義、グループ討論
13	2/4	12:50-13:40	遠隔授業(同期型)	家庭医療学総論		篠原 孝宏	到達目標:11

14	2/4	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	多職種連携と病診連携		福原　真理	到達目標:5、6
15	2/4	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	地域医療総論1　介護保険/医療・介護・福祉の連携		木村　琢磨	到達目標:2、5、6
16	2/4	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	地域医療総論2　生活と医療の橋渡し		木村　琢磨	到達目標:6、12、14
17-18	2/5	09:00-10:50	遠隔授業（同期型）	高齢者歯科		猪越　正直	到達目標5
19	2/5	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	周術期口腔管理		松尾　浩一郎	到達目標5
20	2/5	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	高齢者の栄養管理		豊島　瑞枝	到達目標:9　学習方法:遠隔講義、グループ討論
21	2/5	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	高齢者医療総論		馬渕　卓	到達目標:4、8
22	2/5	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	患者教育		馬渕　卓	到達目標:9、12
23	2/5	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	地域社会と地域医療 ― 認知機能低下への対応、意思決定支援―		福原　真理	到達目標:4、8、14
24-26	2/6	12:50-15:40	遠隔授業（同期型）	高齢者疑似体験実習		本村　一朗	到達目標8
27-29	2/6	12:50-15:40	第1総合診療室	口腔ケア実習		鈴木　瞳, 吉田　直美	到達目標5
30-36	2/7	09:00-17:10	外部病院等	学外実習（1回目）	※集合・終了時間は配属施設により異なる（別途周知する）	馬渕　卓	到達目標:4、14
37-43	2/10	09:00-17:10	外部病院等	学外実習（2回目）	※集合・終了時間は配属施設により異なる（別途周知する）	馬渕　卓	到達目標:4、14
44	2/12	09:00-09:50	遠隔授業（同期型）	臨床推論①（診断方法・バイアスなど）		赤石　雄	到達目標:10
45	2/12	10:00-10:50	遠隔授業（同期型）	臨床推論②（症例ベースの実践）		赤石　雄	到達目標:10
46	2/12	11:00-11:50	遠隔授業（同期型）	地域を診る		川越　正平	到達目標:14　学習方法:遠隔講義
47-48	2/12	12:50-17:10	遠隔授業（同期型）	病理実習		倉田　盛人	
49	2/13	12:50-13:40	遠隔授業（同期型）	病院総合医		山田　徹	到達目標:3
50	2/13	13:50-14:40	遠隔授業（同期型）	難しい診療方針をどう扱うか		山田　徹	到達目標:12、13
51	2/13	14:50-15:40	遠隔授業（同期型）	地域医療構想		石田　岳史	到達目標:1、2、14
52	2/13	15:50-16:40	遠隔授業（同期型）	地域包括ケアシステム		石田　岳史	到達目標:1、2、14
53	2/14	12:50-13:40	医学科講義室1, 医学科講	筆記試験		馬渕　卓, 本村　一朗	

			義室2				

授業方法

同期型(一部非同期型)の遠隔授業で知識を伝える。適宜、ブレインストーミング的に学生と対話する。また、実習によってその知識を技能として具備させる。さらに学外実習によってそれらの知識や技能を態度面にまで昇華させる。

授業内容

Ⅰ. 講 義

(1)総合診療総論

(2)医科歯科連携の基盤構築

・医療と経済、在宅歯科医から見た要介護高齢者の状況、摂食嚥下リハビリテーション、高齢者歯科、周術期口腔管理

(3)地域医療エッセンス

・高齢者医療総論、老年症候群・フレイル、高齢者の栄養管理、多職種連携・病診連携、
在宅診療と地域包括ケアシステム、家庭医

(4)総合診療のエッセンス

・臨床推論①②、カルテの書き方／プレゼンの方法、患者中心の医療
Hospitalist／病院総合医、難しい診療方針をどうするか
予防医療総論(1次予防/2次予防/ワクチン)、患者教育

(5)その他

老年医学研究

Ⅱ. 実 習

(1)口腔ケア実習

(2)高齢者体験実習

(3)病理実習

(4)学外実習

成績評価の方法

知識を確かめるための筆記試験を実施する。

成績評価の基準

筆記試験で60%の点数を取ることで合格(GPにおけるB基準)とする。

筆記試験で80%の点数を取ることで合格(GPにおけるA基準)とする。

筆記試験で90%の点数を取ることで合格(GPにおけるA+基準)とする。

準備学習等についての具体的な指示

各授業前までに下記書籍の該当場所を読んでおく事

新・総合診療医学 病院総合診療医学編 カイ書林

新・総合診療医学 診療所総合診療医学編 カイ書林

試験の受験資格

出席の有無を確認しない。しかし、試験はすべて授業項目から出題する。総合診療については、講義を受けないと、試験の解答は困難と考えてほしい。試験についてはできるだけ、授業を受けた学生に有利なものとする。

教科書

病院総合診療医学編 : 初めて総合診療を学ぶ人のために／阿部智一 [ほか] 編集委員,阿部, 智一,徳田, 安春,:カイ書林, 2019

診療所総合診療医学編／栄原智文, 関口由希公, 山田歩美編集委員,藤沼, 康樹,栄原, 智文,関口, 由希公,山田, 歩美,:カイ書林, 2019

ベイツ診察法／リン S. ビックリー, ピーター G. シラギ著 ; 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明監修,Bickley, Lynn S.,Szilagyi, Peter G.,石松, 伸一,岸本, 暢将,佐地, 勉,福井, 次矢,井部, 俊子,山内, 豊明,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015

在宅医療バイブル : 家庭医療学,老年医学,緩和医療学の 3 領域からアプローチする／川越正平 編著,川越, 正平, 1966-,:日本医事新報社, 2018

参考書

老年歯科医学 第2版／森戸光彦, 山根源之, 櫻井薫, 羽村章, 下山和弘, 柿木保明編集 ; 森戸光彦 [ほか] 執筆 = Gerodontology,森戸,光彦,山根, 源之,櫻井, 薫(歯学),羽村, 章,下山, 和弘,柿木, 保明,:医歯薬出版, 2022

履修上の注意事項 服装　各施設において適切と考えられる服装について注意すること。
備考 アクティブラーニングを配慮し、講義は一部を除き同期型とし、また実習もできる限り参加型としている。
参照ホームページ
連絡先（メールアドレス） 猪越　正直:m.inokoshi.gerd@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪越　正直:1 号館東 2 階高齢者歯科学分野第 2 研究室。事前にメール連絡してください。

時間割番号	021214				
科目名	包括医療統合教育			科目 ID	DD-623400-Z
担当教員	鶴田　潤[TSURUTA JIYUN]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	5～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

本モジュールは、職種間連携に基づく症例検討を主に扱うモジュールであるため、各学生は、歯科的な知識、歯科医療人としての責任を十分に自覚して、授業に望むことが期待される。
必要情報については、WebClass を利用しての情報提供となるため、情報の確認を授業前後では必ず行うこと。

主な講義場所

対面授業・遠隔授業(同期・非同期型)とする。

授業の目的、概要等

口腔医療、全身医療それぞれの進歩・複雑化により、高齢者や合併症や複雑な背景を抱える患者の医療には医、歯をはじめとした多職種間で連携性・協調性のとれた包括的医療が必要とされる。そのような観点から、本学では医療系総合大学の特性を生かし、学科横断、講座横断、および学年縦断的な医歯学融合教育の礎をつくる以下の 6 つの目的をかかげる。

授業の到達目標

①診療において、他の専門職、患者および患者家族に配慮し良好な関係を築くとともに、専門職種にふさわしい振る舞いができる。
②基礎医学の知識をもとに疾患の病因・病態・臨床徴候などを十分理解し、頻度の高い疾患や重篤な病態に関しては、適切な評価法を算定し所見を解釈すると同時に、診断および治療法に関する知識を診療に応用できる。
③全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる。
④高齢者包括的評価をおこなうことができる。
⑤医療機関内の制度、資源や社会における医療福祉制度を理解する。
⑥医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。
⑦メンタルストレスに直面した際の適切な自己管理、通常時の自己研鑽、自己学習ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/17	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討①	(AL)講義・演習　D6/OH4 混成班において、多職種連携に関しての討議を行う。　15:25～16:35(開始時間に注意)	樺沢　勇司, 鶴田　潤, 秀島　雅之, 海老原　新, 則武　加奈子, 日髙　玲奈, 三木　裕仁, 鈴木　瞳	講義・演習　到達目標　1、2、3、4、5、7　(Zoom)ミーティング ID: パスコード: tmd.ac.jp のアドレスでログインのこと。
2	5/24	15:30-16:20	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討②	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。　15:25～16:35(開始時間に注意)	樺沢　勇司, 鶴田　潤, 秀島　雅之, 海老原　新, 則武　加奈子, 日髙　玲奈, 安達　奈穂子, 三木　裕仁	演習　到達目標　1、2、3、4、5、7　対面:歯学部演習室1～11
3	5/31	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討③	(AL)演習　D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。　15:25～16:35(開始時間に注意)	吉田　直美, 鶴田　潤, 海老原　新, 則	演習　到達目標　1、2、3、4、5、7　(Zoom)　ミーティ

						武 加奈子, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 三木 裕仁	tmd.ac.jp のアドレスでログインのこと。
4	6/7	15:30-16:20	歯学部演習室	D6-OH4 合同症例検討④	(AL)演習 D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。 15:25～16:35(開始時間に注意)	品田 佳世子, 鶴田 潤, 海老原 新, 則武 加奈子, 伊藤 奏, 安達 奈穂子, 三木 裕仁, 秀島 雅之	演習 到達目標1、2、3、4、5、7 対面:歯学部演習室1～11
5	6/14	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討⑤	(AL)演習・発表会 D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。 15:25～16:35(開始時間に注意)	鶴田 潤, 海老原 新, 則武 加奈子, 安達 奈穂子, 三木 裕仁, 品田 佳世子, 伊藤 奏	演習 到達目標1、2、3、4、5、7 ミーティング ID: 950 7753 1092 パスコード: 115918 ＊ tmd.ac.jp のアドレスでログインのこと。
6	6/21	15:30-16:20	遠隔授業(同期型)	D6-OH4 合同症例検討⑥	(AL)演習・発表会 D6/OH4 混成班において、患者症例検討を行う。 15:25～16:35(開始時間に注意)	鶴田 潤, 海老原 新, 則武 加奈子, 安達 奈穂子, 三木 裕仁, 品田 佳世子, 伊藤 奏	演習 到達目標1、2、3、4、5、7 ミーティング ID: パスコード: tmd.ac.jp のアドレスでログインのこと。
7-14	6/25	09:00-16:40	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門1日目	(AL)演習 全学科最終学年・他大学学生にようる混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	演習 到達目標1、2、3、4、5、6、7 チーム医療入門実施要項を参照。 ZoomID: 実施要項を参照。 WebClass:チーム医療入門
15-22	6/26	09:00-16:40	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門2日目	(AL)演習 全学科最終学年・他大学学生にようる混成班において、患者症例検討を行う。	鶴田 潤, 則武 加奈子	演習 到達目標1、2、3、4、5、6、7 チーム医療入門実施要項を参照。 ZoomID: 実施要項を参照。 WebClass:チーム医療入門

23-24	6/28	12:50-15:40	5 階学生実習室, 6 階学生実習室	医歯学科合同講義	医学科学生に対し教え、医学科学生とともに学ぶ。	鶴田 潤, 則武 加奈子, 礪波 健一	演習 到達目標 1 WebClass: 包括医療統合教育 参照

授業方法

講義・グループ討論・自己学習とプレゼンテーションほか

成績評価の方法

それぞれの授業への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの提出状況・評価を総合的に扱い成績評価を行い、単位判定を行う。

特に、「提出物」については、提出期限の遵守を含む提出状況を評価に用いるため、必ず、提出を行うこと。

準備学習等についての具体的な指示

・講義の前には授業内容を確認し、予習してくること。

・課題が提示される場合には、課題を実施してくること。(グループ議論の準備)

・実習の前には要項に目を通し、予習してくること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い予習をおこなうこと。

試験の受験資格

①演習:D6-OH4合同症例セミナー 6 回(6 コマ)(毎週金曜日:5 月 17 日～6 月 21 日)

②演習:チーム医療入門 (6 月 25 日(火)、26 日(水)終日 6 コマ計 12 コマ)

③講義:医科との合同講義(午後 3 コマ)(6 月 28 日(金))

試験評価は、授業への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの評価を総合的に扱う。

チームで行う演習であるため、全授業への出席を基本とする。

出席は、提出物と WebClass で管理する。

構成ユニット

①演習:D6-OH4合同症例セミナー 6 回(6 コマ)(毎週金曜日:5 月 17 日～6 月 21 日)

②演習:チーム医療入門 (6 月 25 日(火)、26 日(水)終日 6 コマ計 12 コマ)

③講義:医科との合同講義(午後 3 コマ)(6 月 28 日(金))

モジュールの単位判定

授業への出席状況・個人およびグループ課題・レポートの提出状況・評価を総合的に扱い成績評価を行い、単位判定を行う。

履修上の注意事項

出席は、「講義:実習開始時の WebClass の出席ボタンへの登録」をもって確認する。ほか、出席状況がわかる資料については、「参考」としてのみ用いる。　早退や遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱われ、事前に申請の正当な理由のない早退や遅刻は欠席とみなす。　実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。　また、他実習同様に、守秘義務は徹底し、ツイッター等への投稿も厳に慎むこと。

規則集

東京医科歯科大学学則

（平成１６年４月１日
規程第４号）

第１章　総則

第１条　本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。
２　各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第２条　本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成１６年規程第１号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。
医　学　部　　医学科
　　保健衛生学科
歯　学　部　　歯学科
　　口腔保健学科
２　医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。
３　歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。
４　本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第３条　医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は６年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は４年とする。

第４条　学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学　部	学科・専攻		入学定員	編入学定員	収容定員
医 学 部			人	人	人
	医　学　科		８５	５（２年次編入）	５３５
	保健衛生学科				
	看護学専攻		５５		２２０
	検査技術学専攻		３５		１４０
歯 学 部					
	歯　学　科		５３		３１８
	口腔保健学科				
	口腔保健衛生学専攻		２２		８８
	口腔保健工学専攻		１０	５（２年次編入）	５５

第２章　授業科目

第５条　削除

第６条　本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

２　全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
３　全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
４　専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第３章　学年、学期及び休業日

第７条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

第８条　学年を分けて、次の学期とする。
　前期　４月１日から９月３０日まで
　後期　１０月１日から翌年３月３１日まで

第９条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。
⑴ 日曜日及び土曜日
⑵ 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
⑶ 本学創立記念日　　１０月１２日
⑷ 春季休業
⑸ 夏季休業
⑹ 冬季休業
２　前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
３　第１項第４号から第６号の期間は、各学部において別に定める。
４　第１項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第４章　入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第１０条　入学の時期は、学年の始期とする。

第１１条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
⑴ 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
⑵ 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
⑶ 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
⑷ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑸ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑹ 文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）
⑺ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
⑻ 学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
⑼ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

第１２条　大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第１３条　大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第１４条　医学部医学科の２年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴　大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）

⑵　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者

⑶　外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者（学校教育における１５年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第１５条　削除

第１６条　医学部保健衛生学科の２年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部に２年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第１７条　削除

第１８条　削除

第１８条の２　歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の２年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

⑴　高等専門学校又は短期大学を卒業した者

⑵　大学を卒業した者

⑶　歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１９条　本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

２　前項に規定するもののほか、第２５条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

３　前２項に規定するもののほか、第３１条の２の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第２０条　編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第３条に規定する年限を在学したものとみなす。

第２１条　本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第２２条　入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。
２　前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第２３条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第４５条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあっては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。
２　学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。
３　学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。
４　前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第２４条　学生は、病気、留学その他の事由により引き続き３月以上休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２５条　本学医学部医学科又は歯学部歯学科に４年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第２６条　前２条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続により、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２７条　休学期間は、通算して２年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することがある。
２　大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第２４条の規定による休学期間及び第２５条の規定による休学期間は、第１項の規定にかかわらず、通算して３年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することができる。
３　休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第２８条　学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第２９条　学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願するこ

とはできない。

第３０条　学生が転学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。
２　前項の許可を与えたときは、退学とする。

第３０条の２　本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。
２　前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。
３　前項の許可を得て留学する期間は、原則１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに１年を限度として留学期間の延長を認めることがある。
４　第３項の許可を受けて留学した期間は、第３条に規定する修業年限及び第３２条に規定する在学年限に算入する。ただし、第２４条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。
５　留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。
６　留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。
(1) 外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。
(2) 留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。
(3) その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。
７　留学に関する必要な事項は、別に定める。

第３１条　学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第３１条の２　四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第３２条　医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は１０年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は８年を超えて在学することができない。
２　編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第３３条　学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。
(1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
(2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者
(3) 在学期間が第３２条に定める在学年限を超える場合に退学の意思を示さないとき。

(4) 第２４条、第２５条又は第２８条により休学し、第２７条に定める期間内に復学又は退学の意思を示さないとき。
(5) 死亡又は行方不明となったとき。
(6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しないとき。
(8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
(9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
２　前項第６号は、第４５条第３項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第５章　教育課程、履修方法及び単位等

第３４条　本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。
２　教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第３４条の２　教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。
２　前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
３　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
４　第２項の授業を、外国において履修させることが出来る。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
５　卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前２項の規定による方法で履修し修得した単位数は、６０単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が１２４単位を超える学科にあっては、その超える単位数を６０単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第３４条の３　本学において必要と認めるときは、学校教育法第１０５条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。
２　前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第３４条の４　学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。
２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第３５条　前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第３６条　１単位の授業科目を、４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、１単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

⑴ 講義及び演習については、１５時間から３０時間の範囲

⑵ 実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間の範囲

第３６条の２　一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第３６条の３　各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第３６条の４　本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第３６条の５　各授業科目の評価は、A＋、A、B、C、D、Ｆに分け、A＋、A、B、Cを合格とし、D、Ｆを不合格とする。

２　学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

３　学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続により異議を申し立てることができる。

第３６条の６　本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

２　前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第３７条　本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和３１年文部省令第２８号）第３１条第１項及び第２項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計３０単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第３条に定める修業年限を短縮することはできない。

２　前項に係る手続等については、各学部及び教養部において定める。

第３８条　本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第１項及び同条第４項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて３０単位を限度とする。

３　第１項に係る手続等については、各学部及び教養部において定める。
４　第１項の規定は、第３０条の２により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第６章　卒業及び学位

第３９条　卒業の認定は、第３条に定める年限を在学し、かつ、第６条第３項及び第４項に定める授業科目を、医学部医学科においては２１９単位以上、歯学部歯学科においては１９９単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては１３０．５単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては１４２単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては１２８単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては１２９単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第４０条　前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学　部	学科・専攻	学　　位
医　学　部	医学科	学士（医　　学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看　護　学）
	検査技術学専攻	学士（保　健　学）
歯　学　部	歯学科	学士（歯　　学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第７章　検定料、入学料及び授業料

第４１条　授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第４２条　入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第４３条　授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の２分の１ずつを次の２期に分けて納付しなければならない。

前期　　５月３１日まで
後期　　１１月３０日まで

２　前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
３　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第１項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。

第４４条　既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。
２　第４２条の規定に基づき徴収した検定料について、第１段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第２段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
３　前条第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の３月３１日までに入学を辞退した場合には、第１項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
４　前条第２項及び第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第１項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
５　学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第１項の規定にかかわらず、返還することができる。

第４５条　本学に入学前１年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。
２　本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が　困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
３　入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に徴収猶予の申請をすることができる。
４　前３項の取扱いについては、別に定める。

第４６条　停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第４７条　行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は、所定の手続により徴収を猶予することがある。

第４８条　死亡又は行方不明、あるいは授業料の未納を理由として除籍を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第４９条　授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。
２　前項の取扱については別に定める。
３　各学期の中途で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末までの月割計算により復学の際徴収する。

第５０条　経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。
２　前項の取扱いについては別に定める。

第５１条　削除

第５２条　削除

第８章　大学院

第５３条　本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。
２　大学院の学則は、別に定める。

第９章　外国人留学生

第５４条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生については、別に定める。

第１０章　科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第５５条　本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
２　前項により入学した者には、第３４条の規定を準用し、単位を与える。
３　その他科目等履修生については、別に定める。

第５６条　特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生については、別に定める。

第５７条　他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。
２　特別聴講学生については、別に定める。

第５７条の２　本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。
２　短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第１１章　懲　戒

第５８条　学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。
２　懲戒は、退学、停学、訓告とする。
３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
(2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第１２章　寄　　宿　　舎

第５９条　本学に寄宿舎を置く。
２　寄宿舎に関する規定は、別に定める。

附　則
１　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。
２　第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成１６年度から平成１８年度までの３年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
３年次編入学定員	―	―	１０
収容定員	２５	５０	８５

３　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成１６年３月３１日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
４　この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和２７年学規第１号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附　則（平成１７年３月２３日規程第２号）
１　この学則は、平成１７年４月１日から施行する。
２　平成１７年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成１７年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成１８年３月２８日規程第１号）
１　この学則は平成１８年４月１日から施行する。
２　平成１８年３月３１日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成１８年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第３９条、別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（平成１９年３月２９日規程第３号）
１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。
２　平成１９年３月３１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成１９年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２０年１月１６日規程第１号）
１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成２０年度から平成２２年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収容定員		
	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	２１５	２１０	２１５
検査技術学専攻	１３５	１３０	１３５
歯学部口腔保健学科	１１８	１１６	１１８

附　則（平成２０年３月２６日規程第５号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　平成２０年４月１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び２０年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年１月８日規程第１号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。
２　この学則改正前に、本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成２１年４月１日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第２５条の２の規程を適用する
３　この学則の施行の際限に本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
４　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年３月１９日規程第３号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２１年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
医学部医学科	４８０	４９０	５００	５１０	５２０

３　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成２１年４月１日以降に歯学部口腔保健学科に３年次編入学する者については、改正後の別表（２）の規定を適用する。

附　則（平成２１年１２月１８日規程第９号）

この規程は、平成２２年１月１日から施行する。

附　則（平成２２年３月３０日規程第３号）

１　この学則は，平成２２年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２２年度から平成２６年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部医学科	５００	５２０	５４０	５６０	５８０

３　平成２２年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２３年３月４日規程第１号）

１　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度／区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度

収容定員	５２５	５５０	５７５	６００	６１５

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	３５８	３４６	３３４	３２２	３２０

４ 改正後の第４条の規定にかかわらず､歯学部口腔保健学科の平成２３年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	１１５	１１０	１０５
口腔保健工学専攻	２年次編入定員		５	５
	収容定員	１０	２５	４０

附　則（平成２３年６月３０日規程第６号）

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年３月３０日規程第３号）

１　この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２４年度から平成２７年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

年度 区分	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
編入学定員	５（２年次編入） ５（３年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５５５	５８０	６０５	６２０

３　平成２４年度においては、改正後の第１４条の「２年次」は「３年次及び２年次」と読み替えるものとする。

附　則（平成２４年９月２８日規程第８号）

この学則は、平成２４年１０月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月１２日規程第２号）

１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２５年度から平成２９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
収容定員	５８１	６０７	６２３	６２９	６３０

附　則（平成２７年３月３０日規則第５１号）

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年３月３１日規程第４号）

この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年５月１１日規程第７号）

この学則は、平成２８年５月１１日から施行し、平成２８年５月１日から適用する。

附　則（平成２８年１２月１２日規程第１１号）

この学則は、平成２８年１２月１２日から施行し、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３１日規程第１号）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年５月１日規程第１号）

この学則は、平成３０年５月１日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。

附　則（令和２年３月３１日規程第２号）

１　この学則は、令和２年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和２年度から令和８年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和２年度医学部入学定員の増加について（令和元年９月２日付け元文科高第３９１号・医政医発０９０２第３号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

区分＼年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
入学定員	１００	１００	８５	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	６３０	６２９	６１３	５９７	５８１

区分＼年度	令和７年度	令和８年度
入学定員	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５６５	５５０

附　則（令和２年１１月１０日規程第９号）

１　この学則は、令和３年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の令和３年度の収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	令和３年度
収容定員	９４

附　則（令和３年３月２４日規程第６号）

１　この学則は、令和３年４月１日から施行する。

２　令和年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和３年１２月２１日規程第１０号）

１　この学則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和４年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和４年１月１７日規程第１号）

１　この学則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和４年度から令和９年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和４年度医学部入学定員の増加について（令和３年８月１６日付け３文科高第５０１号・医政発０８１６第９号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

区分＼年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
入学定員	１００	８５	８５	８５	８５	８５
編入学定員	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	６２８	６１２	５９６	５８０	５６５	５５０

附　則（令和４年３月２８日規程第６号）

この学則は、令和４年４月１日から施行する。

附　則（令和４年１０月１１日規程第１２号）

１　この学則は令和５年４月１日から施行する。

２　令和５年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（令和５年１月１１日規則第１号）

１　この学則は、令和５年４月１日から施行する。

２　令和５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の単位数及び履修学年）
第２条　専門科目の単位数及び履修学年については、別表１に定めるとおりとする。
２　前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

（授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
(1) 講義及び演習については、１５時間から３０時間
(2) 実習については、３０時間から４５時間
２　前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
(1) 学習目標を十分に満たすこと
(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
３　第１項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の１単位当たりの授業時間は２５時間とし、講義１０時間・実習１５時間の割合で構成する。

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級等要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
２　休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、２年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第３３条第１項第１号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
３　前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
４　第２項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１６号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年３月１０日規則第１７号）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２７年６月１日規則第１４０号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、平成２３年度から平成２６年度までに入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２３年度以降に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２３年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表１（４）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○

」と、

「

長寿口腔健康科学コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～6												

」は、

「

長寿口腔健康科学コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1～8												

」と読み替え、平成２６年１２月１日から適用する。

３　平成２２年度以前に入学した者のうち、平成２６年１２月１日において、現に本学に在学する者（以下「平成２２年度以前に入学した在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に平成２２年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成２６年１２月１日から適用する。

授業科目	３年		４年		５年		６年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２８年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２）　国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３）　アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

３　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

１　この規則は、平成２９　年４月１日から施行する。

２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及　び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附　則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

１　この規則は、平成２９ 年４月１日から施行する。
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に　在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 １ の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ
附　則（平成２９年３月３１日規則第５４号）
この規則は、平成２９年４月１日から施行する。
附　則（平成２９年６月１日規則第６８号）
（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年６月１日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ
附　則（平成２９年７月６日規則第１０１号）
（施行期日等）
１　この規則は、平成２９年７月６日から施行し、平成２９年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表３（１）医学科（７）及び注３を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成２９年１２月２７日規則第１３７号）
この規則は、平成２９年１２月２７日から施行し、平成２９年４月１日から適用する
附　則（平成３０年５月８日規則第３２号）
１　この規則は、平成３０年５月８日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。
２　平成３０年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３０年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
別表１（２）　国際保健福祉Ａ、国際保健福祉Ｂ、国際保健福祉Ｃ、国際保健福祉Ｄ
別表１（３）　短期海外研修（Ａ）、短期海外研修（Ｂ）、短期海外研修（Ｃ）、短期海外研修（Ｄ）
生体医工学の科目については、平成２８年度入学者から適用する。
附　則（平成３０年９月２６日規則第１３０号）
１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（平成３０年１０月２４日規則第１３１号）
この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
附　則（平成３０年１２月２０日規則第１１９号）
１　この規則は、平成３１年４月１日から施行する。
２　平成２７年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２７年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（令和元年５月８日規則第５５号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）の次に掲げる科目及び別表３（１）医学科（８）及び注４を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。
別表１（１）臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ
附　則（令和元年５月８日規則第５６号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和元年５月８日から施行し、平成３１年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　平成３１年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成３１年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（１）及び（４）並びに別表３（１）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　総合診療・地域医療
別表１（４）　総合診療・地域医療
別表３（１）　総合診療・地域医療
別表３（３）　総合診療・地域医療
附　則（令和２年３月１１日規則第４９号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和２年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（１）、（３）及び（４）の次に掲げる科目並びに別表３（１）の（５）、注１及び別表３（３）の（４）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（１）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）、社会医学及び行動科学
別表１（３）　神経科学、心電図判読、Learning Medical English
別表１（４）　医歯学基盤教育（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ）
３　前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成３１年４月１日に入学した者のみ改正後の別表１（３）を適用する。
附　則（令和３年１月１５日　規則第３号）
１　この規則は、令和３年１月１５日から施行し、令和２年４月１日から適用する。
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（令和３年２月３日　規則第１６号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和３年２月３日より施行し、令和２年４月１日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（７）及び別表２のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（７）及び別表２　オンライン異文化交流
附　則（令和３年３月３１日規則第４０号）
この規則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、第９条、別表１（４）及び別表３（１）は、令和２年４月１日から適用する。
（施行期日等）
附　則（令和４年１月１７日規則第６号）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。
２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（２）及び別表１（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例（別表１（３）電子顕微鏡学を除く。）による。
別表１（２）インディペンデントスタディＡ
別表１（２）インディペンデントスタディＢ
別表１（２）インディペンデントスタディＣ
別表１（３）生命理工学概論
附　則（令和４年１月３１日規則第１０号）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。

２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（７）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（７）ポストコロナ社会における感染症対策
附　則（令和４年２月１５日規則第１５号）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表１（７）のうち次に掲げる科目は、令和５年３月３１日までの間は存続するものとする。
別表１（７）　Introduction to Medical Anthropology
別表１（７）　Decision-making in the Health Sciences
別表１（７）　Health in Contemporary Japanese Society
附　則（令和４年３月１日規則第１６号）
１　この規則は、令和４年４月１日より施行する。
２　令和４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（６）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１　（６）　口腔保健工学エクスターンシップ
附　則（令和４年３月２２日規則第４４号）
（施行期日等）
１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
２　令和４年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）のうち、令和２年度までに入学した者、及び令和４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者（以下「再入学等者」という。）のうち、令和２年度までに入学した者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。
別表１（７）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習
３　在学者のうち令和３年度に入学した者、及び再入学等者のうち令和３年度に入学した者の属する学年に再入学、転入学または編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。
別表１（１）及び（４）医療とAI・ビッグデータ応用
別表１（７）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習
附　則（令和４年１０月１１日規則第１３２号）
１　この規則は、令和５年４月１日から施行する。
２　令和５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則（令和５年１月１１日規則第４号）
１　この規則は、令和５年４月１日から施行する。
２　令和５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（３）及び（７）医療と AI・ビッグデータ応用
附　則（令和５年２月９日規則第９号）
１　この規則は、令和５年４月１日から施行する。
２　令和５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（７）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表１（７）疫学基礎

別表１（７）生物統計学基礎
別表１（７）生物統計学応用Ⅰ
別表１（７）生物統計学応用ⅡI
別表１（７）臨床試験方法論基礎
別表１（７）臨床試験方法論応用
別表１（７）口腔疫学基礎
別表１（７）疫学応用

附　則（令和５年３月６日規則第２６号）

１　この規則は、令和５年４月１日から施行する。

２　令和５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１
（１）医学科教育課程

授業科目	単位数		履修学年					
	必修	自由	１年	２年	３年	４年	５年	６年
多職種連携Ⅰ	0.5		○					
医学導入	6.5		○					
匠講話	1.0		○					
AI・データサイエンスのための数学	2.0		○					
医療とAI・ビッグデータ入門	2.0		○					
アカデミック・リテラシー	1.0		○					
人体構造総論	1.5		○					
細胞生物学	1.0		○					
生理学	3.0			○				
英語Ⅱ※1※2	1.0～4.0			○	○	○	○	○
System-based medical terminology Ⅰ	1.0				○			
System-based medical terminology Ⅱ	1.0				○			
IMRAD Format Presentation in English	1.0					○		
FOCUS (Fit for Overseas Clerkship opportUnitieS)	2.0						○	
組織学	3.5			○				
人体解剖学	7.5			○				
薬理学	2.0			○				
生化学	2.0			○				
分子遺伝学	1.0			○				
神経解剖学	3.0			○				
免疫学	2.0			○				
神経科学・基礎	3.5			○				
感染・基礎	2.0			○				
病理学	1.0			○				
医動物学	2.0			○				
腫瘍学	1.0			○				
基礎医学実習	1.0			○				
医療とAI・ビッグデータ応用	1.0			○				
臨床医学導入	1.0			○				
循環器	3.0			○				
呼吸器	2.0				○			
消化器	3.0				○			
腎臓・泌尿器	3.0				○			
内分泌・代謝	2.0				○			
血液・腫瘍	2.0				○			
一般外科	1.0				○			
神経科学・臨床	4.0				○			
骨・関節・脊椎	2.0				○			
膠原病、総合診療・地域医療・東洋医学、皮膚・アレルギー（皮膚・ア	1.0				○			

レルギー）								
膠原病、総合診療・地域医療・東洋医学、皮膚・アレルギー（膠原病）	1.0				○			
感染・臨床	1.0				○			
頭頸部・臨床	4.0				○			
膠原病、総合診療・地域医療・東洋医学、皮膚・アレルギー（総合診療・地域医療・東洋医学）	3.0				○			
生殖・発達	4.0				○			
救急・麻酔・集中治療	2.0				○			
法医学	1.0				○			
衛生学	1.0				○			
公衆衛生学	1.5				○			
行動科学	1.0				○			
生物統計学	1.0				○			
選択社会医学実習	1.0				○			
生命倫理	2.0				○			
多職種連携Ⅱ	0.5				○			
自由選択学習	12.0					○		
臨床導入実習	8.0					○		
臨床実習Ⅰ	40.0					○	○	
臨床実習Ⅱ	15.0							○
包括医療統合教育Ⅰ	1.0						○	○
包括医療統合教育Ⅱ	1.0							○
多職種連携Ⅲ	1.0							○
研究実践プログラムⅠ		2.0		○				
研究実践プログラムⅡ		2.0			○			
研究実践プログラムⅢ		2.0				○		
研究実践プログラムⅣ		2.0					○	
研究実践プログラムⅤ		2.0						○
計	183～186	10						

※１　英語Ⅱ（A)・(B)・(C)・(D)　各１単位
※２　全学科共通自由科目のうち、下記科目を履修し、単位を修得した学生は、その単位数に応じて英語Ⅱ（１．０～４．０単位）を履修したものとみなす。

別表１（７）Moral and Political Philosophy for Medicine
別表１（７）Biosocial Research Topics
別表１（７）Problem-solving in the Health Sciences
別表１（７）Applied Critical Thinking for Health Sciences
別表１（７）Fundamentals of Global Health
別表１（７）Leadership
別表１（７）Negotiation
別表１（７）Design Thinking

（２）保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備　考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2			○				
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1			○				
	微生物学	1			○				
	栄養学	1			○				
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	憲法			2	○	○	○	○	※3
	英語Ⅱ			1～4		○	○	○	※3 ※4
	System-based medical terminology Ⅰ	1					○		
	Nurse-Patient Communication	1						○	
	IMRAD Format Presentation in English			1			○	○	※3
	Diagnostic Procedures in English			1				○	
	アカデミック・リテラシー	1			○				
専門共通分野	AI・データサイエンスのための数学	2			○				
	医療とAI・ビッグデータ入門	2			○				
	国際保健看護学Ⅰ	1			○				
	国際保健看護学Ⅱ	1						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	看護制度論	1			○				
	健康教育学演習	1				○			
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2					○	○	
	実践看護英語Ⅰ			1		○			
	実践看護英語Ⅱ			1			○		
	実践看護英語Ⅲ			1				○	
	国際保健福祉Ａ			1	○				

		国際保健福祉Ｂ			1		○			
		国際保健福祉Ｃ			1			○		
		国際保健福祉Ｄ			1				○	
		インディペンデントスタディＡ			1		○			
		インディペンデントスタディＢ			1			○		
		インディペンデントスタディＣ			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	人間の健康と看護	1			○				
		基盤看護学Ⅰ	1				○			
		基盤看護学Ⅱ	1				○			
		基盤看護学演習Ⅰ	2				○			
		基盤看護学演習Ⅱ	1				○			
		基盤看護学実習Ⅰ	1			○				
		基盤看護学実習Ⅱ	2				○			
		フィジカルアセスメント	1				○			
	成人看護学	成人の健康と看護	2				○			
		成人看護学	2				○			
		クリティカルケア看護学	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人・老年看護学実習Ⅰ	3					○		
		緩和ケア看護学	1					○		
	精神看護学	心の健康と看護Ⅰ	2				○			
		心の健康と看護Ⅱ	1				○			
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
	小児看護学	小児の健康と看護	1				○			
		小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1					○		
		周産看護学Ⅰ	1					○		
		周産看護学Ⅱ	1					○		
		周産看護学演習	1					○		
		周産看護学実習	2					○		
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1					○		
		老年看護学	2					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※２		1				○		
		成人・老年看護学実習Ⅱ	3					○		
	公	公衆衛生看護学Ⅰ	1				○			
		公衆衛生看護学Ⅱ	1					○		

		公衆衛生看護学Ⅲ※１		2					○	
		公衆衛生看護学演習※１		3					○	
		公衆衛生看護学実習※１		4					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	2				○			
		在宅看護学Ⅱ	2					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践	1			○				
		多職種連携Ⅰ	0.5			○				
		多職種連携Ⅱ	0.5				○			
		看護の統合と実践実習	3						○	
		災害看護学	1				○			
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1						○	
		看護マネジメント学	1						○	
		成人・老年看護学実習Ⅲ※２		2					○	
		総合看護学実習※２		1					○	
計			98	13	15～18					

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の３科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の３科目を選択すること。

・※３　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

・※４　英語Ⅱ（A)・(B)・(C)・(D）各１単位

（３）保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	１年	２年	３年	４年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病理検査学講義（Ⅱ）	3				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2				○			
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義（Ⅰ）	2			○				
	生化学講義（Ⅱ）	1				○			
	生化学実習	1				○			
	薬理学	2				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	3					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	1			○				
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		

	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理学講義	3				○			
	臨床生理検査学講義（Ⅰ）	2				○			
	臨床生理検査学講義（Ⅱ）	2					○		
	生理学実習	1				○			
	臨床生理検査学実習（Ⅰ）	3				○			
	臨床生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	3				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	臨床検査総合管理学	1.5			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	多職種連携Ⅰ	0.5			○				全学共通
	多職種連携Ⅱ	0.5				○			全学共通
	多職種連携Ⅲ	1						○	全学共通
	総合講義	2						○	
	臨地実習	12					○		
	卒業研究（Ⅰ）	1					○		
	卒業研究（Ⅱ）	6						○	
	遺伝学（※１）		1			○	○	○	
	生命理工学概論（※１）		1			○	○		
	生体医工学		2				○		
	分子生物学（※１）		1			○	○	○	
	心臓生理学（※１）		1			○	○	○	
	アドバンスド生理機能検査学（※１）		1				○	○	
	心電図判読（※１）		1				○	○	
	AI 実践演習（※１）		1			○		○	
	四大学連合複合領域コース開講科目（※１）					○	○	○	
	短期海外研修Ａ			1	○				
	短期海外研修Ｂ			1		○			
	短期海外研修Ｃ			1			○		
	短期海外研修Ｄ			1				○	
	AI・データサイエンスのための数学	2			○				全学共通

	医療とAI・ビッグデータ入門	2			○				全学共通
	医療とAI・ビッグデータ応用（※１）		1			○	○	○	全学共通
	アカデミック・リテラシー	1			○				全学共通
外国語	Learning Medical English（※１）		1			○	○	○	
	英語Ⅱ（※１）（※２）		1～4			○	○	○	全学共通
	System-based medical terminology Ⅰ	1					○		全学共通
	Diagnostic Procedures in English	1						○	全学共通
	IMRAD Format Presentation in English（※１）			1			○	○	全学共通
計		102.5	12～15	5					

（選択科目の履修）

１　卒業要件として選択科目の中から６単位以上を修得しなければならない。第４学年ではそのうち２単位以上を修得しなければならない。

２　選択科目６単位のうち２単位以上は外国語科目を修得しなければならない。

３　四大学連合複合領域コース開講科目は，同コースで開講する授業科目のうち，東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合，４単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース　履修の手引き」を確認すること。

（自由科目の履修）

４　自由科目は卒業要件には含まれない。

※１　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

※２　英語Ⅱ（Ａ）・（Ｂ）・（Ｃ）・（Ｄ）　各１単位

（４）歯学科教育課程

授業科目	単位数		履修学年											
			１年		２年		３年		４年		５年		６年	
	必修	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
多職種連携Ⅰ	0.5		○											
歯学入門	1			○										
早期臨床体験実習	1			○										
基礎情報医歯学	1			○										
行動科学基礎	2			○										
社会と環境	1.5			○										
遺伝の分子的基盤	0.5			○										
細胞機能の分子的基盤	1			○										
生命を構成する分子とその代謝	1			○										
硬組織生化学の分子的基盤	1			○										
生命の分子的基盤実習	0.5			○										
人体の構造と機能（歯の解剖）	0.5			○										
研究入門Ⅰ	0.5			○										
研究入門Ⅰα		1		○										
AI・データサイエンスのための数学	2			○										
医療とAI・ビッグデータ入門	2			○										
アカデミック・リテラシー	1			○										
生命科学基礎	2			○										
英語Ⅱ※２・※３・※４	1～4				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
International Course For Clinical Dentistry L1　※4	2				○	○								
International Course For Clinical Dentistry L2　※4										○				
International Course For Clinical Dentistry L3　※4												○		
人体の構造と機能（人体解剖学）	4				○									
人体の構造と機能（人体解剖実習）	4				○									
人体の構造と機能（組織学総論）	1				○									
人体の構造と機能（組織学各論）	2					○								

人体の構造と機能（人体の発生）	1					○								
学年混合セミナーⅠ	0.5				○									
医療と AI・ビッグデータ応用	1				○									
人体の構造と機能（神経系の機能Ⅰ）	0.5				○									
人体の構造と機能（神経系の機能Ⅱ）	0.5				○									
人体の構造と機能（生命維持のための生体機能）	0.5					○								
人体の構造と機能（口腔生理）	0.5					○								
人体の構造と機能（生理学実習）	0.5					○								
人体の構造と機能（口腔組織学）	1					○								
予防と健康管理	3					○								
歯科医療基礎Ⅰ	1					○								
医療統計学・疫学基礎	1					○								
研究入門Ⅱ	0.5					○								
研究入門Ⅱα		1				○								
自然科学演習	1					○								
System-based medical terminology Ⅰ	1						○							
System-based medical terminology II ※２・※４	1							○		○		○		○
IMRAD Format Presentation in English ※２	1						○	○	○	○				
多職種連携Ⅱ	0.5						○							
臨床歯学ｲﾝﾄﾛﾀﾞｸｼｮﾝ	1						○							
感染と生体防御（免疫学・細菌学）	4						○							
病因と病態（病理学）	3.5						○							
病態科学演習	3.5						○							
生体と薬物（薬理学）	3						○							
歯科法医学	1						○							
隣接医学Ⅰ（内科等）	1.5						○							
隣接医学Ⅱ（外科・耳鼻科・眼科等）	1.5						○							
歯科医療基礎Ⅱ	2						○							
学年混合セミナーⅡ	0.5						○							
行動科学発展		1					○							

生命倫理	2						○	○						
歯科材料と歯科医療機器（歯科理工学）	3.5							○						
歯科放射線学基礎	1.5							○						
総合診療・地域医療	1							○						
課題統合セミナー	2							○						
研究入門Ⅲ	0.5							○						
研究実習Ⅰ	7							○						
研究実習Ⅱ	1								○					
保存修復学	2								○					
歯内治療学	2								○					
歯周病学	2								○					
全部床補綴学	2								○					
部分床補綴学	2								○					
口腔外科学	2								○					
歯科麻酔学	2								○					
高齢者歯科学	1								○					
歯科医療基礎Ⅲ	1.5								○					
学年混合セミナーⅢ	0.5								○					
冠橋義歯補綴学	2									○				
インプラント治療学	1.5									○				
歯科矯正学	2									○				
小児歯科学	2									○				
障害者歯科学	0.5									○				
歯科放射線学臨床	1									○				
医療統計学・疫学演習	1									○				
医療情報学	0.5									○				
基礎医歯学総合学習	0.5									○				
発展歯科臨床	3										○			
歯科心身医学	1										○			
包括臨床実習導入	4										○			
包括臨床実習Ⅰ	6										○			

International Course For Clinical Dentistry Advanced		0.5										○	○	
包括臨床実習Ⅱ	15											○		
口腔顎顔面臨床解剖	1.5											○		
長寿口腔健康科学	1.5											○		
包括医療統合教育Ⅰ	1											○		
多職種連携Ⅲ	1												○	
包括臨床実習Ⅲ	11												○	
包括医療統合教育Ⅱ	1												○	
歯科医療総合学習	2													○
配属選択実習		2												○
デンタルエクスターンシップ※２		1～6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	163	6.5～11.5												

※１　所定のプログラムを修了した学生に対し、１プログラムにつき１単位を認定する。
　　但し、同一年次・年度に認定できる単位は、１単位を上限とする。
※２　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。
※３　英語Ⅱ（A)・(B)・(C)・(D）各１単位
※４　５科目から２単位以上修得する。

（５）口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					１年		２年		３年		４年	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	英語Ⅱ※１			1～4			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1-L3 On-demand			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1-L3 On-line			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) Advanced			0.5								○
	人体の構造と機能	4				○	○	○				
	歯･口腔の構造と機能	5				○	○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障	1				○						
	高齢者福祉	1					○					
	保健医療サービス	2					○	○				
	社会調査・研究の基礎	1							○			
	生命倫理	0.5							○			
	メディア情報学基礎	1				○						
	多職種連携	1			○							
	AI・データサイエンスのための数学	2				○						
	医療とAI・ビッグデータ入門	2				○						
	アカデミック・リテラシー	1				○						
専門分野	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	6					○	○	○			

	チーム医療の実践	1							○	○		
	口腔機能管理実習	1							○	○		
	高齢者歯科学	1							○	○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	2							○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○			
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	2							○	○		
	歯科衛生学演習	2									○	○
	生体材料学	1					○					
	口腔内科学	1						○				
	歯科診療補助論	7					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	卒業研究	4				○	○	○	○	○	○	○
	児童・家庭福祉	1					○					
	障害児・者福祉	1						○				
	地域福祉	1					○					
	コミュニケーション論	1					○					
	社会福祉実習	1							○			
	口腔保健と国際協力※２		1						○	○		
	地域口腔保健論※２		1								○	○
	先端歯科医療学※２		1								○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療※２	1									○	○
口腔保健衛生選択	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○

	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
計		98,5	4	8.5～11.5								

※英語Ⅱ（A)・(B)・(C)・(D）各１単位
※選択科目から１単位以上修得する。

（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）教育課程

区分		授業科目	単位数			履修学年							
						１年		２年		３年		４年	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活	口腔保健と専門職	1				○						
		科学英語Ⅰ	1					○					
		科学英語Ⅱ	1							○			
		英語Ⅱ※１			1～4			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1-L3 On-demand※２		1				○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1-L3 On-line			1			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD) Advanced			0.5								○
		ヘルスプロモーション	1					○					
		メディア情報学基礎	1				○						
		メディア情報学応用	1				○						
		コミュニケーション学	1							○			
		造形美術概論実習	1				○						
		グローバル口腔保健工学	1						○				
		グローバル口腔保健工学実習	1							○	○		
		AI・データサイエンスのための数学	2				○						
		医療とAI・ビッグデータ入門	2				○						
		アカデミック・リテラシー	1				○						
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工士と法律	1									○	
		感染予防	2				○						
		ポストコロナ社会における感染症対策※２		1				○					
		口腔保健工学管理学	1							○			

		早期臨床体験実習	1				○						
		周産期手術支援工学	1							○			
		う蝕と歯周病	1				○						
		高齢者歯科工学	2								○		
	歯・口腔の構造と機能	人体の構造と機能	2				○						
		歯の解剖学	1				○						
		口腔と全身の基礎医学	2					○	○				
		硬組織薬理学※２		1				○					
		画像解析学※２		1								○	
		歯の形態実習	2					○	○				
		臨床咬合学	1							○			
	歯科材料・歯科技工機器と加工技術	口腔保健理工学	3					○					
		口腔保健理工学実習	3					○					
		デジタルデンティストリー基礎	1						○				
		デジタルデンティストリー応用	1							○			
専門分野	有床義歯技工学	顎顔面補綴学	1								○		
		顎補綴学実習	2.5								○		
		顔面補綴学実習	1								○		
		臨床義歯管理工学	1								○		
		スポーツ歯科学※２		1								○	
		顎関節症とオーラルアプライアンス※２		1								○	
		睡眠とオーラルアプライアンス※２		1								○	
		全部床義歯補綴学	1					○					
		全部床義歯実習	2					○					
		デジタル全部床義歯実習	2					○					
		部分床義歯補綴学	1						○				
		部分床義歯補綴学実習	4						○				
		デジタル金属床義歯実習	2							○			
	歯冠	歯冠修復学	2						○				

	修復技工学	歯冠修復学実習	5						○				
		審美修復学実習	2							○			
		デジタル歯冠修復学実習	1							○			
		デジタルデンティストリー実習	1									○	
		インプラント歯科補綴学実習	2							○			
	小児歯科技工学	小児歯科学	1								○		
		小児歯科学実習	1								○		
	矯正歯科技工学	矯正歯科学	2							○			
	歯科技工実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	3.5								○		
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	6									○	○
		再建工学包括臨床実習Ⅲ※３		2								○	○
		統合実習基礎	1.5										○
		統合実習応用※２		1									○
統合分野	総合口腔保健工学	医療倫理	1								○		
		研究体験実習※２		1			○						
		卒業研究Ⅰ	1								○		
		卒業研究Ⅱ	4									○	○
		卒業研究Ⅲ※３		2									○
		多職種連携Ⅰ	0.5			○							
		多職種連携Ⅱ	0.5							○			
		多職種連携Ⅲ	1									○	
		口腔保健工学エクスターンシップ			1	○	○	○	○	○	○	○	○
		口腔保健工学企業研修※３		2								○	○
計			93.5	15	3.5～6.5								

※１　英語Ⅱ(A)・(B)・(C)・(D) 各１単位
※２　９科目から５単位以上修得する。
※３　３科目の中から１科目修得する。

（７）全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流（※１）	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
医療とAI・ビッグデータ応用（※２）（※３）	1		○	○	○	○	○
AI実践演習（※３）	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	20.5～23						

※１　所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5 単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5 単位を上限とする。
※２　別表１（１）及び（４）のうち医療と AI・ビッグデータ応用を必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。
※３　別表１（３）のうち医療と AI・ビッグデータ応用及び AI 実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

（８）医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目

授業科目	単位数	履修学年					
		１年	２年	３年	４年	５年	６年
地域医療学習プログラム	1	○	○	○	○	○	○

※地域特別枠推薦入試による入学者は、別表（１）の授業科目に加え、上記１科目を必修科目とする。

別表２

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	Ａ＋	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	Ａ	
当該科目の到達目標を概ね達成した	Ｂ	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	Ｃ	
当該科目の到達目標を達成していない	Ｄ	不合格
到達目標の達成度を評価できない	Ｆ	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表３

（１）医学科

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第２学年に進級することができない。 多職種連携Ⅰ、医学導入、匠講話、AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、人体構造総論、細胞生物学
（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第３学年に進級することができない。 生理学、組織学、人体解剖学、薬理学、生化学、分子遺伝学、神経解剖学、免疫学、神経科学・基礎、感染・基礎、病理学、医動物学、腫瘍学、基礎医学実習、医療とAI・ビッグデータ応用、臨床医学導入、循環器
（３）第３学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第４学年に進級することができない。 呼吸器、消化器、腎臓・泌尿器、内分泌・代謝、血液・腫瘍、一般外科、神経科学・臨床、骨・関節・脊椎、感染・臨床、東洋医学、頭頸部・臨床、総合診療・地域医療、生殖・発達、救急・麻酔・集中治療、法医学、衛生学、公衆衛生学、行動科学、生物統計学、選択社会医学実習、生命倫理、多職種連携Ⅱ、System-based medical terminology Ⅰ、System-based Medical terminology Ⅱ
（４）第４学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第５学年に進級することができない。 自由選択学習、臨床導入実習、IMRAD Format Presentation in English
（５）共用試験〔コンピュータ活用試験（CBT）及び客観的臨床能力試験（PreCC OSCE)〕に合格 しなければ、第５学年に進級することができない。

（６）第５学年の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、第６学年に進級することができない。

臨床実習Ⅰ

注１：臨床導入実習は、共用試験〔コンピュータ活用試験（CBT）及び客観的臨床能力試験（PreCC OSCE)〕に合格しなければ、単位を修得することができない。
注２：臨床実習Ⅰは、実習を行う全ての診療科を合格しなければ、単位を修得することができない。
注３：臨床実習Ⅱは、実習を行う全ての診療科を合格し、かつ、共用試験〔客観的臨床能力試験（PostCC OSCE)〕に合格しなければ、単位を修得することができない。

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）
（看護学専攻）第１学年の必修科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が２科目以上あるときは、第２学年に進級することができない。
（検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が２科目以上あるときは、第２学年に進級することができない。

（２）
（看護学専攻）第１学年の必修科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第３学年に進級することができない。
（検査技術学専攻）第１学年の専門科目に不合格科目があるときは、第３学年に進級することができない。また、第２学年の必修科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が２科目以上あるときは、第３学年に進級することはできない。

（３）
（看護学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。
（検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考
未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。
不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

多職種連携Ⅰ、歯学入門、早期臨床体験実習、基礎情報医歯学、行動科学基礎、社会と環境、遺伝の分子的基盤、細胞機能の分子的基盤、生命を構成する分子とその代謝、硬組織生化学の分子的基盤、生命の分子的基盤実習、人体の構造と機能（歯の解剖）、研究入門Ⅰ、AI・データサイエンスのための数学、医療と AI・ビッグデータ入門　、アカデミック・リテラシー、生命科学基礎

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位を修得若しくは試験に合格しなければ、第３学年に進級する事ができない。

人体の構造と機能（人体解剖学）、人体の構造と機能（人体解剖実習）、人体の構造と機能（組織学総論）人体の構造と機能（組織学各論）、人体の構造と機能（人体の発生）、学年混合セミナーⅠ、医療と AI・ビッグデータ応用、人体の構造と機能（神経系の機能 I）、人体の構造と機能（神経系の機能 II）、人体の構造と機能（生命維持のための生体機能）、人体の構造と機能（口腔生理）、人体の構造と機能（生理学実習）、人体の構造と機能（口腔組織学）、予防と健康管理、歯科医療基礎Ⅰ、医療統計学・疫学基礎、研究入門Ⅱ、自然科学演習

（３）第３学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。

System-based medical terminology Ⅰ、多職種連携Ⅱ、臨床歯学ｲﾝﾄﾛﾀﾞｸｼｮﾝ、感染と生体防御（免疫学・細菌学）、病因と病態（病理学）、病態科学演習、生体と薬物（薬理学）、歯科法医学、隣接医学Ⅰ（内科等）、隣接医学Ⅱ（外科・耳鼻科・眼科等）、歯科医療基礎Ⅱ、学年混合セミナーⅡ、生命倫理、歯科材料と歯科医療機器（歯科理工学）、歯科放射線学基礎、総合診療・地域医療、課題統合セミナー、研究入門Ⅲ、研究実習Ⅰ

（４）第４学年の末までに次の授業科目の単位を修得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第５学年に進級することができない。

IMRAD Format Presentation in English、研究実習Ⅱ、保存修復学、歯内治療学、歯周病学、全部床補綴学、部分床補綴学、口腔外科学、歯科麻酔学、高齢者歯科学、歯科医療基礎Ⅲ、学年混合セミナーⅢ、冠橋義歯補綴学、インプラント治療学、歯科矯正学、小児歯科学、障害者歯科学、歯科放射線学臨床、医療統計学・疫学演習、医療情報学、基礎医歯学総合学習、共用試験（ＣＢＴ・ＯＳＣＥ）

（５）第５学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第６学年に進級することができない。

発展歯科臨床、歯科心身医学、包括臨床実習導入、包括臨床実習Ⅰ、包括臨床実習Ⅱ、口腔顔面臨床解剖、長寿口腔健康科学、包括医療統合教育Ⅰ

（４）口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障、歯科衛生学総論、メディア情報学基礎、多職種連携、AI・データサイエンスのための数学、医療と AI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、高齢者福祉、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、口腔内科学、臨床体験実習、児童・家庭福祉、障害児・者福祉、地域福祉、コミュニケーション論
（第 2 学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、歯科衛生過程

（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。 疾病の成り立ちと回復過程の促進、社会調査・研究の基礎、生命倫理、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、歯科衛生過程、社会福祉実習 （第 3 学年前期に実施される授業を対象とする）健康教育の企画と実践
（４）第３学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。 チーム医療の実践、口腔機能管理実習、高齢者歯科学、障害者歯科学、健康教育の企画と実践

（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。 口腔保健と専門職、メディア情報学基礎、メディア情報学応用、造形美術概論実習、AI・データサイエンスのための数学、医療と AI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、感染予防、早期臨床体験実習、う蝕と歯周病、人体の構造と機能、歯の解剖学、多職種連携Ⅰ
（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。 科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学、口腔と全身の基礎医学、歯の形態実習、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、デジタルデンティストリー基礎、全部床義歯補綴学、全部床義歯実習、デジタル全部床義歯実習、部分床義歯補綴学、部分床義歯補綴学実習、歯冠修復学、歯冠修復学実習
（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。 デジタル金属床義歯実習、審美修復学実習、デジタル歯冠修復学実習
（４）第３学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。 科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、グローバル口腔保健工学実習、口腔保健工学管理学、周術期手術支援工学、高齢者歯科学、臨床咬合学、デジタルデンティストリー応用、顎顔面補綴学、顎補綴学実習、顔面補綴学実習、臨床義歯管理工学、インプラント歯科補綴学実習、小児歯科学、小児歯科学実習、矯正歯科学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、研究実習Ⅰ、多職種連携Ⅱ

東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規

平成２３年２月２日
歯 学 部 長 制 定

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１１条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　定期試験及び追試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が１００点満点で採点し、履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Ｆとする。

３　第１項及び前項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

４　共用試験の評価については、歯学科教育委員会が別に定める。

５　学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

（必修科目及び仮進級等）

第３条　履修規則別表３(3)に掲げる科目は、必修科目とする。

２　風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限り、当該科目責任者の事前申告をもとに歯学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。

３　科目試験の不合格者については、特別な事情がある場合に限り、歯学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。この場合において、仮進級を認めることができるのは３科目までの不合格に限るものとする。

４　仮進級者は、原則として翌年度４月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。第２項を除き、当該単位認定にかかる成績は６０点を上限とする。

（ＧＰ）

第４条　評価とＧＰとの対応は次のとおりとする。

評価	Ａ＋	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｆ
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２２年３月３１日において現に歯学部歯学科に在学する者（以下「在学者」とい

う。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内　規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２８年３月３１日制定）

１　この内規は、平成２８年４月１日から施行する。

２　平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附　則（平成２８年１０月１９日制定）

この内規は、平成２８年１０月１９日から施行する。

評価区分	評価
秀	Ａ＋
優	Ａ
良	Ｂ
可	Ｃ
不可	Ｄ

附　則（令和３年３月１０日制定）

この内規は、令和３年３月１０日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

附　則（令和４年１０月２６日制定）

１　この内規は令和４年１０月２６日から施行し、令和４年４月１日から適用する。

２　令和５年３月３１日において現に本学に在学する者における第３条第３項の規定の適用については、同項中「３科目」とあるのは「３ユニット」とする。

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規則第１号）

（趣旨）
第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）
第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）
第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）
第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。
２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）
第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。
２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。
３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。
(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者
(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者
４　定期試験の結果は、公示する。
５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）
第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。
２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。
３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。
２ 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４ この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入　学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科　歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附　則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規

平成２３年２月２日
歯 学 部 長 制 定

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（ 平成２３年規則第１号。以下「試験規則」という。）　第５条第５項、第６条第３項、第７条第６項、第８条第６項、第９条第２項及び第１２条に基づき、歯学部歯学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（試験の種類）

第２条 試験規則第５条に規定する定期試験は、専門科目履修規則別表(4)において定める授業科目における試験（以下「科目試験」という）及び包括臨床実習終了判定試験とする。

（科目試験）

第３条 科目試験とは、専門科目履修規則別表(4)において定める授業科目における履修内容に関して行う試験をいう。

２　試験規則第５条第３項の規定にかかわらず、授業の目的，形態又は内容に応じ，受験資格を認定することができる。

３　試験規則第５条第３項の規定と異なる条件を付すときは、教育要項に明示する。

４　科目試験の実施日時は、原則として各科目の最終日に行う。

（包括臨床実習終了判定試験）

第４条　包括臨床実習終了判定試験とは、包括臨床実習中に実施する診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Ｐｏｓｔ－ＣＣ　ＰＸ）、臨床能力確認試験、および臨床推論能力試験（症例報告）をいう。

２ 包括臨床実習終了判定試験の合格基準は、別に定める。

（共用試験）

第５条 試験規則第６条第１項に規定する共用試験は、第５学年の包括臨床実習PhaseⅠ 前に実施するコンピューター活用試験（ＣＢＴ）及び客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）、包括臨床実習中に実施する診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（ Ｐｏｓｔ－ ＣＣＰＸ）をいう。

２ ＣＢＴ及びＯＳＣＥを受験できる者は、第５学年前期に開講される科目試験の受験資格を有する者とする。

３ Ｐｏｓｔ－ＣＣ ＰＸを受験できる者は、包括臨床実習PhaseⅡを履修している者とする。

４ 共用試験の合格基準は、別に定める。

（追試験）

第６条 科目試験に係る追試験の実施時期は、担当教員と追試験を受験しようとする者が相談して決めることが出来るものとする。

（再試験）

第７条 科目試験に係る再試験は、原則として学年末の再試験期間において実施する。

２ 共用試験及び臨床能力判定試験の再試験合格基準は、別に定める。

附 則

１ この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２ 東京医科歯科大学歯学部歯学科に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（ 以下「在学者」という。） 及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 （令和３年３月１０日制定）

この内規は、令和３年３月１０日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

附 則 （令和５年１月１７日制定）

この内規は、令和６年４月１日から適用する。

2022年9月21日

歯学科学生　各位

歯学部長
歯学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

歯学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

１．ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。

私物を置く場所について
・学生証；机上
・スマートフォン/スマートウォッチ等；
　電源をOFFにして、机上（監督者の指示でカバンに入れさせることもある）
・テイッシュペーパー：机上（監督者が確認して袋から出すこともある）
・その他のもの：カバンの中（カバンが無い場合は監督者が預かる）
・引き出し･天板下は、使用不可とする（カバンは床または隣の席に置く）

机上には原則、筆記用具と学生証、電源OFFにしたスマートフォン／スマートウォッチ以外は置かないこと。教科書や参考書、ノートやプリント、小型パソコンなどの電子機器を机上または天板下（机下の棚）に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。

２．遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。

３．トイレ等の申し出がある場合は挙手をし、監督者の指示に従うこと。

４．ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。

５．持ち帰りが認められていない試験において、故意・過失にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。
（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ　別表懲戒の標準より抜粋）

（１）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（２）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（３）答案を交換した場合	停学
（４）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

（令和２年１１月３０日
制　　定）

（趣旨）
第１条　この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

（公欠及びその要件）
第２条　この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。
２　本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。
⑴　感染症に罹患した場合
⑵　親族が死亡した場合
⑶　裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
⑷　その他学長が必要と認める場合

（公欠の手続及び様式）
第３条　前条第２項各号による公欠の具体的な基準及び手続については、別表のとおりとする。
２　前条第２項第３号又は第４号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

（公欠とされた学生への配慮義務）
第４条　授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

（公欠期間中の試験の取扱い）
第５条　公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

（公欠以外の欠席）
第６条　公欠以外の理由により１週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附　則
この要項は、令和２年１１月３０日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

別表（第３条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和３３年６月１３日文部省令第１８号）第１８条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和３３年６月１３日文部省令第１８号）第１９条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び１親等、２親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
		配偶者及び１親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続７日（休日を含む。）	
		２親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続３日（休日を含む。）	
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

（平成２０年２月８日
申　　合　　せ）

１．目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第５８条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

２．基本的な考え方

⑴ 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。

⑵ 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。

⑶ 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

３．懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

⑴ 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

⑵ 停学

① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。

② 停学は、無期停学及び有期停学とする。

③ 有期停学の期間は６か月未満とする。

④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（１か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。

⑤ 無期停学は、原則として６か月を経過した後でなければ解除することができない。

⑥ 停学期間には、学則第９条の「休業日」を含むものとする。

⑶ 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

４．謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

５．停学期間中の措置

(1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
(2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
(3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

６．懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

①学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

②調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式１）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

①調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

②調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式２）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

７．不服が申立てられた場合の手続

(1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して１４日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

⑵ 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。

⑶ 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。

⑷ 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

８．無期停学の解除

⑴ 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。

⑵ 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。

⑶ 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式３）を交付するものとする。

９．試験の無効等

⑴ 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

⑵ 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続きは可能とする。

１０．懲戒の標準は、別表のとおりとする。

１１．科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第１０章及び第１２章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

１２．大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のように字句を読み替えるものとする。

⑴ 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」

⑵ 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」

⑶ 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」

⑷ 様式２ 中、「東京医科歯科大学学則第５８条」を「東京医科歯科大学大学院学則第６０条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第５８条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成１６年４月１日規程第５号）第１２章から第１４章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。 」

１３．守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

１４. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附　則

この申合せは、平成２０年２月８日から施行する。

附　則（平成２４年２月２４日制定）

１　この申合せは、平成２４年４月１日から施行する。

２　この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成２４年９月３０日まで、なお従前の例による。

附　則（平成２８年１０月２１日制定）

この申合せは、平成２８年１０月２１日から施行する。

附　則（平成３０年２月２０日制定）

この申合せは、平成３０年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年１２月１３日制定）

この申合せは、平成３０年１２月１３日から施行し、平成３０年１１月３０日から適用する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
１．試験における不正行為	
(1)　代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
(2)　許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
(3)　答案を交換した場合	停学
(4)　その他、試験において不正行為を行った場合	停学又は訓告
２．その他の懲戒対象行為	
(1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪	
①　殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合	退学
②　窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合	退学又は停学
③　痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合	停学又は訓告
(2) 交通事故・交通法規違反	
①　人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く）	退学又は停学
②　飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合	退学、停学又は訓告
(3) ハラスメント等行為	
性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合	退学、停学又は訓告
(4) 社会的モラルを問われる行為	
①　未成年者の飲酒	停学又は訓告
②　未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合	停学又は訓告
③　喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為	停学又は訓告
④　その他本学の名誉・信用を失墜させる行為	停学又は訓告
(5) 薬物犯罪	
違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合	退学又は停学
(6) 個人情報の漏えい	
授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合	
①　情報の漏えいが故意の場合	退学又は停学
②　情報の漏えいが過失の場合	停学又は訓告
(7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為	退学、停学又は訓告
(8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為	
①　研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合	退学、停学又は訓告
②　剽窃を行った場合	停学又は訓告
③　知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学又は停学

④　学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学

３．再犯学生の懲戒

過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。

備考

・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。

・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

様式１

年　　月　　日

懲戒に関する事実認定の報告書

１．対象学生・　学部（研究科）　　学科（専攻）　課程・コース・学籍番号

・氏名　　年 月 日生

・入学年月　　年 月

・現住所　　電話番号

２．事件の経緯・概要

３．学生の弁明

４．審議経緯

５．その他参考資料等

記載要領

○ ２は，事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。

○ ３は，当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。

○ ５は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式２

懲戒通知書

学 部 名　　学籍番号　　氏　　名

東京医科歯科大学学則第５８条の規定により，下記のとおり懲戒する。

記

１．懲戒の種類

２．停学の期間（停学の場合）

３．処分理由

交付日付　　年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ６．により、この説明を受領した日の翌日から起算して１４日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式３

停学解除通知書

学 部 名　　学籍番号　　氏　　名

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ７の規定により，

年　　月　　日付けで停学を解除する。

年　　月　　日

東京医科歯科大学長

印

様式４

告　　示

　東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

１．懲戒処分となった学生の学部等
（学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。）

２．処分内容
（退学の場合）　　退　学
（停学の場合）　　停　学（有期停学の場合は期間）
　　（例：　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日）
（訓告の場合）　　訓　告

３．処分理由

年　　月　　日

国立大学法人
東 京 医 科 歯 科 大 学 長

印